工　事　設　計　書　等

工事設計書等のダウンロードにあたって

　知り得た情報は、関東地方整備局以外の者の権利を含む場合があるため、ダウンロードを行った個人又は法人における１次利用に限るものとし、有償無償に関わらず「第三者への提供行為※」を行わないでください。

※「他の第三者への提供行為」・・・PDFデータのまま、あるいは、紙に出力して等の手段に関わらず、ダウンロードを行った個人又は法人以外の他者による２次利用につながる一切の行為を指します。

国土交通省　関東地方整備局
大宮国道事務所

鏡

１．工事名

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事
工事地名	東京都板橋区四葉一丁目地先

２．工事内容

１）	発注年月	令和 7年11月	１２）	設計年月	令和 8年 1月
２）	事務所名	大宮国道事務所　工務課	１３）	機械損料一括補正	0　　労務費一括割増　　0%
３）	工事番号	2025010015	１４）	単価適用年月	2026年 1月
４）	契約区分	単年度（繰越を含む）の分任官	１５）	歩掛適用年月	2026年 1月
５）	変更回数	0回	１６）	前請負工事費	0
６）	主工種	橋梁保全工事	１７）	前請負代金額	0
７）	工事量		１８）	調整区分	0
８）	工期	456日間　自　令和 8年 3月 2日	１９）	共通仮設費対象額	
		（当初）　至　令和 9年 5月31日	２０）	現場管理費対象額	
		（ 0回変更）　至　年 月 日	２１）	一般管理費等対象額	
９）	施工県	東京都	２２）	処分費等	923,858
１０）	地区	東京６区	２３）	公告日	令和 7年11月19日
１１）	河川・路線	一般国道１７号	２４）	入札締切日	年 月 日

３．予算科目

1） 予算科目：	2） 目：	3） 目の細分：	4） 事業名：

国土交通省　関東地方整備局

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　（当　初）	事業区分	道路維持・修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
橋梁保全工事		式	1		81,257,942			
橋脚巻立て工 【P1橋脚】		式	1		2,753,151			
炭素繊維補強工		式	1		2,753,151			
下地処理		m2	39	3,936	153,504			単-1号
ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗布	ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾌﾟﾗｲﾏｰ	m2	39	2,065	80,535			単-2号
不陸修正	ｴﾎﾟｷｼﾊﾟﾃ	m2	39	5,602	218,478			単-3号
炭素繊維ｼｰﾄ接着	全面貼り　1層　目付量 200g/m2	m2	30	11,910	357,300			単-4号
炭素繊維ｼｰﾄ接着	全面貼り　2層　目付量 600g/m2	m2	36	47,150	1,697,400			単-5号
仕上げ塗装	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ	m2	39	6,306	245,934			単-6号
橋脚巻立て工 【P2橋脚】		式	1		2,812,789			
炭素繊維補強工		式	1		2,812,789			
下地処理		m2	41	3,936	161,376			単-7号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　（当　初）	事業区分	道路維持・修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗布	ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾌﾟﾗｲﾏｰ	m2	41	2,065	84,665			単-8号
不陸修正	ｴﾎﾟｷｼﾊﾟﾃ	m2	41	5,602	229,682			単-9号
炭素繊維ｼｰﾄ接着	全面貼り 1層 目付量200g/m2	m2	32	11,910	381,120			単-10号
炭素繊維ｼｰﾄ接着	全面貼り 2層 目付量600g/m2	m2	36	47,150	1,697,400			単-11号
仕上げ塗装	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ	m2	41	6,306	258,546			単-12号
橋脚巻立て工 【P3橋脚】		式	1		4,096,823			
炭素繊維補強工		式	1		4,096,823			
下地処理		m2	57	3,936	224,352			単-13号
ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗布	ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾌﾟﾗｲﾏｰ	m2	57	2,065	117,705			単-14号
不陸修正	ｴﾎﾟｷｼﾊﾟﾃ	m2	57	5,602	319,314			単-15号
炭素繊維ｼｰﾄ接着	全面貼り 1層 目付量200g/m2	m2	34	11,910	404,940			単-16号
炭素繊維ｼｰﾄ接着	全面貼り 2層 目付量450g/m2	m2	73	36,590	2,671,070			単-17号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　（当　初）	事業区分	道路維持・修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
仕上げ塗装	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ	m2	57	6,306	359,442			単-18号
橋脚巻立て工 【P4橋脚】		式	1		2,135,633			
炭素繊維補強工		式	1		2,135,633			
下地処理		m2	57	3,936	224,352			単-19号
ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗布	ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾌﾟﾗｲﾏｰ	m2	57	2,065	117,705			単-20号
不陸修正	ｴﾎﾟｷｼﾊﾟﾃ	m2	57	5,602	319,314			単-21号
炭素繊維ｼｰﾄ接着	全面貼り　1層　目付量 200g/m2	m2	70	11,910	833,700			単-22号
炭素繊維ｼｰﾄ接着	全面貼り　1層　目付量 400g/m2	m2	16	17,570	281,120			単-23号
仕上げ塗装	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ	m2	57	6,306	359,442			単-24号
橋脚巻立て工 【P5橋脚】		式	1		1,599,711			
炭素繊維補強工		式	1		1,599,711			
下地処理		m2	39	3,936	153,504			単-25号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　（当　初）	事業区分	道路維持・修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗布	ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾌﾟﾗｲﾏｰ	m2	39	2,065	80,535			単-26号
不陸修正	ｴﾎﾟｷｼﾊﾟﾃ	m2	39	5,602	218,478			単-27号
炭素繊維ｼｰﾄ接着	全面貼り 1層 目付量 200g/m2	m2	30	11,910	357,300			単-28号
炭素繊維ｼｰﾄ接着	全面貼り 1層 目付量 300g/m2	m2	8	14,940	119,520			単-29号
炭素繊維ｼｰﾄ接着	全面貼り 1層 目付量 600g/m2	m2	18	23,580	424,440			単-30号
仕上げ塗装	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ	m2	39	6,306	245,934			単-31号
橋脚巻立て工 【P6橋脚】		式	1		1,845,784			
炭素繊維補強工		式	1		1,845,784			
下地処理		m2	36	3,936	141,696			単-32号
ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗布	ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾌﾟﾗｲﾏｰ	m2	36	2,065	74,340			単-33号
不陸修正	ｴﾎﾟｷｼﾊﾟﾃ	m2	36	5,602	201,672			単-34号
炭素繊維ｼｰﾄ接着	全面貼り 1層 目付量 200g/m2	m2	18	11,910	214,380			単-35号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　（当　初）	事業区分	道路維持・修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
炭素繊維ｼｰﾄ接着	全面貼り 1層 目付量400g/m2	m2	32	17,570	562,240			単-36号
炭素繊維ｼｰﾄ接着	全面貼り 1層 目付量600g/m2	m2	18	23,580	424,440			単-37号
仕上げ塗装	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ	m2	36	6,306	227,016			単-38号
下部工補強工【A1橋台】		式	1		11,680,269			
作業土工		式	1		574,292			
床掘り	土砂 土留なし	m3	70	253.4	17,738			単-39号
床掘り	土砂 自立式	m3	70	335.4	23,478			単-40号
埋戻し	土砂 最大埋戻幅1m以上4m未満	m3	100	2,151	215,100			単-41号
埋戻し	土砂 最大埋戻幅4m以上	m3	70	1,160	81,200			単-42号
積込(ﾙｰｽﾞ)	土砂 土量50,000m3未満	m3	40	246.4	9,856			単-43号
土砂等運搬 土取場～施工箇所	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	m3	40	5,673	226,920			単-44号
橋台改良工(ﾌｰﾁﾝｸﾞ)		式	1		2,055,165			

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　（当　初）	事業区分	道路維持・修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
下地処理 ﾌｰﾁﾝｸﾞ部	ﾁｯﾋﾟﾝｸﾞ	m2	7.6	8,201	62,327			単-45号
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ26×250 下向き	孔	46	3,264	150,144			単-46号
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ29×200 横向き	孔	84	3,764	316,176			単-47号
基礎材	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ40～0 17.5cmを超え20.0cm以下	m2	10	1,475	14,750			単-48号
均しｺﾝｸﾘｰﾄ	各種 敷厚 10ｃｍ	m2	10	4,457	44,570			単-49号
ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉)一般養生	m3	26	41,350	1,075,100			単-50号
鉄筋	SD345 D13	t	0.12	179,600	21,552			単-51号
鉄筋	SD345 D16～25	t	0.66	199,100	131,406			単-52号
型枠	一般型枠	m2	22	10,870	239,140			単-53号
橋台天端改良工		式	1		3,101,101			
下地処理 ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ・たて壁・ｳｨﾝｸﾞ部	ﾁｯﾋﾟﾝｸﾞ	m2	33	8,201	270,633			単-54号
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ200×63 下向き	孔	4	8,886	35,544			単-55号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　（当　初）	事業区分	道路維持・修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ200×64 下向き	孔	4	8,886	35,544			単-56号
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ26×250 下向き	孔	77	3,265	251,405			単-57号
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ32×340 下向き	孔	38	4,161	158,118			単-58号
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ35×260 横向き	孔	54	4,225	228,150			単-59号
ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉) 一般養生	m3	26	31,850	828,100			単-60号
鉄筋	SD345 D13	t	0.2	184,000	36,800			単-61号
鉄筋	SD345 D16～25	t	1.68	185,300	311,304			単-62号
機械式継手	D13	箇所	6	1,445	8,670			単-63号
機械式継手	D16	箇所	14	1,609	22,526			単-64号
機械式継手	D22	箇所	66	1,943	128,238			単-65号
ﾌﾚｱ溶接	D16+D16	箇所	8	908	7,264			単-66号
型枠	一般型枠	m2	55	10,870	597,850			単-67号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　（当　初）	事業区分	道路維持・修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
支承箱抜き	円筒型枠　φ200×530	箇所	8	463.8	3,710			単-68号
支保	f≦40kN/m2[t≦120cm]	空m3	0.2	5,728	1,145			単-69号
足場	安全ﾈｯﾄ必要 手摺先行型枠組足場	掛m2	30	5,870	176,100			単-70号
表面被覆工		式	1		393,680			
ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗布		橋	1	46,180	46,180			単-71号
下塗り(ﾊﾟﾃ塗布)		橋	1	103,200	103,200			単-72号
中塗り材塗布		橋	1	122,000	122,000			単-73号
上塗り材塗布		橋	1	122,300	122,300			単-74号
構造物取壊し工		式	1		4,911,303			
ｺﾝｸﾘｰﾄはつり	t=30cm	m3	3	241,700	725,100			単-75号
殻積込	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻	m3	3	1,384	4,152			単-76号
ｺﾝｸﾘｰﾄ切断(乾式ﾜｲﾔｰｿｰｲﾝｸﾞ)	水平切断	m2	14	154,200	2,158,800			単-77号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　（当　初）	事業区分	道路維持・修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
ｺﾝｸﾘｰﾄ吊卸		m3	23	9,037	207,851			単-78号
ｺﾝｸﾘｰﾄ切断(乾式ﾜｲﾔｰｿｰｲﾝｸﾞ)	垂直切断	m2	2	163,600	327,200			単-79号
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物 機械施工	m3	70	21,260	1,488,200			単-80号
運搬処理工		式	1		644,728			
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3	70	4,212	294,840			単-81号
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	3	3,446	10,338			単-82号
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3	70	[redacted]	[redacted]			単-83号
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	3	[redacted]	[redacted]			単-84号
下部工補強工 【P1橋脚】		式	1		2,676,824			
作業土工		式	1		651,234			
床掘り	土砂 土留なし	m3	510	253.4	129,234			単-85号
埋戻し	土砂 最大埋戻幅4m以上	m3	450	1,160	522,000			単-86号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　（当　初）	事業区分	道路維持・修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
橋脚天端改良工		式	1		1,327,436			
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ29×295 下向き	孔	48	3,404	163,392			単-87号
ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉)一般養生	m3	3	31,850	95,550			単-88号
鉄筋	SD345 D16～25	t	0.48	210,300	100,944			単-89号
ﾌﾚｱ溶接	D19+D19	箇所	48	1,025	49,200			単-90号
型枠	一般型枠	m2	11	10,870	119,570			単-91号
型枠	一般型枠(合板円形型枠)	m2	2	14,710	29,420			単-92号
支承箱抜き	円筒型枠 φ250×730	箇所	8	782.6	6,260			単-93号
足場	安全ﾈｯﾄ必要 手摺先行型枠組足場	掛m2	130	5,870	763,100			単-94号
構造物取壊し工		式	1		644,382			
ｺﾝｸﾘｰﾄ切断(乾式ﾜｲﾔｰｿｰｲﾝｸﾞ)	水平切断	m2	3	154,200	462,600			単-95号
ｺﾝｸﾘｰﾄ吊卸		m3	6	9,037	54,222			単-96号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　（当　初）	事業区分	道路維持・修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物 機械施工	m3	6	21,260	127,560			単-97号
運搬処理工		式	1		53,772			
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3	6	4,212	25,272			単-98号
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3	6	[redacted]	[redacted]			単-99号
下部工補強工 【P2橋脚】		式	1		4,293,148			
作業土工		式	1		917,742			
床掘り	土砂 土留なし	m3	490	253.4	124,166			単-100号
埋戻し	土砂 最大埋戻幅4m以上	m3	480	1,160	556,800			単-101号
積込(ﾙｰｽﾞ)	土砂 土量50,000m3未満	m3	40	246.4	9,856			単-102号
土砂等運搬 残土置場～施工箇所	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	40	5,673	226,920			単-103号
橋脚改良工(ﾌｰﾁﾝｸﾞ)		式	1		1,291,001			
下地処理 ﾌｰﾁﾝｸﾞ部	ﾁｯﾋﾟﾝｸﾞ	m2	28	8,201	229,628			単-104号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　（当　初）	事業区分	道路維持・修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ35×260 下向き	孔	99	3,701	366,399			単-105号
鉄筋	SD345 D16～25	t	0.74	177,600	131,424			単-106号
型枠	一般型枠	m2	10	10,870	108,700			単-107号
ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉)一般養生	m3	11	41,350	454,850			単-108号
橋脚天端改良工		式	1		1,386,136			
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ29×295 下向き	孔	48	3,404	163,392			単-109号
ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉)一般養生	m3	3	31,850	95,550			単-110号
鉄筋	SD345 D16～25	t	0.48	210,300	100,944			単-111号
ﾌﾚｱ溶接	D19+D19	箇所	48	1,025	49,200			単-112号
型枠	一般型枠	m2	11	10,870	119,570			単-113号
型枠	一般型枠(合板円形型枠)	m2	2	14,710	29,420			単-114号
支承箱抜き	円筒型枠 Φ250×730	箇所	8	782.6	6,260			単-115号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　（当　初）	事業区分	道路維持・修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
足場	安全ﾈｯﾄ必要 手摺先行型枠組足場	掛m2	140	5,870	821,800			単-116号
構造物取壊し工		式	1		644,382			
ｺﾝｸﾘｰﾄ切断(乾式ﾜｲﾔｰｿｰｲﾝｸﾞ)	水平切断	m2	3	154,200	462,600			単-117号
ｺﾝｸﾘｰﾄ吊卸		m3	6	9,037	54,222			単-118号
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物 機械施工	m3	6	21,260	127,560			単-119号
運搬処理工		式	1		53,887			
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3	6	4,212	25,272			単-120号
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	0.02	3,446	68			単-121号
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3	6	[redacted]	[redacted]			単-122号
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	0.02	[redacted]	[redacted]			単-123号
下部工補強工 【P3橋脚】		式	1		5,053,187			
作業土工		式	1		637,100			

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　（当　初）	事業区分	道路維持・修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
床掘り	土砂 土留なし	m3	500	253.4	126,700			単-124号
埋戻し	土砂 最大埋戻幅4m以上	m3	440	1,160	510,400			単-125号
橋脚改良工(ﾌｰﾁﾝｸﾞ)		式	1		1,175,267			
下地処理 ﾌｰﾁﾝｸﾞ部	ﾁｯﾋﾟﾝｸﾞ	m2	23	8,201	188,623			単-126号
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ35×260 下向き	孔	68	3,701	251,668			単-127号
鉄筋	SD345 D16～25	t	0.61	177,600	108,336			単-128号
型枠	一般型枠	m2	12	10,870	130,440			単-129号
ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉)一般養生	m3	12	41,350	496,200			単-130号
橋脚天端改良工		式	1		1,883,656			
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ26×250 下向き	孔	64	3,266	209,024			単-131号
ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉)一般養生	m3	8	31,850	254,800			単-132号
鉄筋	SD345 D16～25	t	0.6	214,400	128,640			単-133号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　（当　初）	事業区分	道路維持・修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
ﾌﾚｱ溶接	D16+D16	箇所	64	908	58,112			単-134号
型枠	一般型枠	m2	17	10,870	184,790			単-135号
型枠	一般型枠(合板円形型枠)	m2	3	14,710	44,130			単-136号
支承箱抜き	円筒型枠　Φ250×730	箇所	8	782.6	6,260			単-137号
足場	安全ﾈｯﾄ必要　手摺先行型枠組足場	掛m2	170	5,870	997,900			単-138号
構造物取壊し工		式	1		1,258,467			
ｺﾝｸﾘｰﾄ切断(乾式ﾜｲﾔｰｿｰｲﾝｸﾞ)	水平切断	m2	6	154,200	925,200			単-139号
ｺﾝｸﾘｰﾄ吊卸		m3	11	9,037	99,407			単-140号
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物　機械施工	m3	11	21,260	233,860			単-141号
運搬処理工		式	1		98,697			
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3	11	4,212	46,332			単-142号
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	0.02	3,446	68			単-143号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　（当　初）	事業区分	道路維持・修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3	11	[redacted]	[redacted]			単-144号
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	0.02	[redacted]	[redacted]			単-145号
下部工補強工 【P4橋脚】		式	1		4,967,266			
作業土工		式	1		488,158			
床掘り	土砂 土留なし	m3	370	253.4	93,758			単-146号
埋戻し	土砂 最大埋戻幅4m以上	m3	340	1,160	394,400			単-147号
橋脚改良工(ﾌｰﾁﾝｸﾞ)		式	1		1,274,165			
下地処理 ﾌｰﾁﾝｸﾞ部	ﾁｯﾋﾟﾝｸﾞ	m2	23	8,201	188,623			単-148号
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ35×260 下向き	孔	68	3,701	251,668			単-149号
鉄筋	SD345 D16～25	t	0.64	177,600	113,664			単-150号
型枠	一般型枠	m2	13	10,870	141,310			単-151号
ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉) 一般養生	m3	14	41,350	578,900			単-152号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　（当　初）	事業区分	道路維持・修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
橋脚天端改良工		式	1		1,808,520			
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ26×250 下向き	孔	72	3,264	235,008			単-153号
ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉)一般養生	m3	8	31,850	254,800			単-154号
鉄筋	SD345 D16～25	t	0.61	213,800	130,418			単-155号
ﾌﾚｱ溶接	D16+D16	箇所	68	908	61,744			単-156号
型枠	一般型枠	m2	18	10,870	195,660			単-157号
型枠	一般型枠(合板円形型枠)	m2	3	14,710	44,130			単-158号
支承箱抜き	円筒型枠 φ250×730	箇所	8	782.6	6,260			単-159号
足場	安全ﾈｯﾄ必要 手摺先行型枠組足場	掛m2	150	5,870	880,500			単-160号
構造物取壊し工		式	1		1,288,764			
ｺﾝｸﾘｰﾄ切断(乾式ﾜｲﾔｰｿｰｲﾝｸﾞ)	水平切断	m2	6	154,200	925,200			単-161号
ｺﾝｸﾘｰﾄ吊卸		m3	12	9,037	108,444			単-162号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　（当　初）	事業区分	道路維持・修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物 機械施工	m3	12	21,260	255,120			単-163号
運搬処理工		式	1		107,659			
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3	12	4,212	50,544			単-164号
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	0.02	3,446	68			単-165号
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3	12	[redacted]	[redacted]			単-166号
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	0.02	[redacted]	[redacted]			単-167号
下部工補強工 【P5橋脚】		式	1		6,638,424			
作業土工		式	1		472,334			
床掘り	土砂 土留なし	m3	360	253.4	91,224			単-168号
埋戻し	土砂 最大埋戻幅1m以上4m未満	m3	10	2,151	21,510			単-169号
埋戻し	土砂 最大埋戻幅4m以上	m3	310	1,160	359,600			単-170号
橋脚改良工(ﾌｰﾁﾝｸﾞ)		式	1		3,200,156			

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　（当　初）	事業区分	道路維持・修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
下地処理 ﾌｰﾁﾝｸﾞ部	ﾁｯﾋﾟﾝｸﾞ	m2	22	8,201	180,422			単-171号
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ35×260 下向き	孔	92	3,698	340,216			単-172号
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ29×200 横向き	孔	104	3,762	391,248			単-173号
鉄筋	SD345 D16～25	t	2.09	186,000	388,740			単-174号
型枠	一般型枠	m2	34	10,870	369,580			単-175号
ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉)一般養生	m3	37	41,350	1,529,950			単-176号
橋脚天端改良工		式	1		1,272,260			
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ29×295 下向き	孔	48	3,404	163,392			単-177号
ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉)一般養生	m3	3	31,850	95,550			単-178号
鉄筋	SD345 D16～25	t	0.49	213,200	104,468			単-179号
ﾌﾚｱ溶接	D19+D19	箇所	48	1,025	49,200			単-180号
型枠	一般型枠	m2	11	10,870	119,570			単-181号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　（当　初）	事業区分	道路維持・修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
型枠	一般型枠(合板円形型枠)	m2	2	14,710	29,420			単-182号
支承箱抜き	円筒型枠　φ250×730	箇所	8	782.6	6,260			単-183号
足場	安全ﾈｯﾄ必要　手摺先行型枠組足場	掛m2	120	5,870	704,400			単-184号
構造物取壊し工		式	1		1,616,718			
ｺﾝｸﾘｰﾄはつり	t=30cm	m3	4	241,700	966,800			単-185号
殻積込	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻	m3	4	1,384	5,536			単-186号
ｺﾝｸﾘｰﾄ切断(乾式ﾜｲﾔｰｿｰｲﾝｸﾞ)	水平切断	m2	3	154,200	462,600			単-187号
ｺﾝｸﾘｰﾄ吊卸		m3	6	9,037	54,222			単-188号
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物　機械施工	m3	6	21,260	127,560			単-189号
運搬処理工		式	1		76,956			
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3	6	4,212	25,272			単-190号
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	4	3,446	13,784			単-191号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　（当　初）	事業区分	道路維持・修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3	6	[redacted]	[redacted]			単-192号
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	4	[redacted]	[redacted]			単-193号
下部工補強工　【P6橋脚】		式	1		6,243,867			
作業土工		式	1		106,540			
床掘り	土砂 土留なし	m3	100	253.4	25,340			単-194号
埋戻し	土砂 最大埋戻幅4m以上	m3	70	1,160	81,200			単-195号
橋脚改良工(ﾌｰﾁﾝｸﾞ)		式	1		3,198,504			
下地処理 ﾌｰﾁﾝｸﾞ部	ﾁｯﾋﾟﾝｸﾞ	m2	22	8,201	180,422			単-196号
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ35×260 下向き	孔	92	3,698	340,216			単-197号
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ29×200 横向き	孔	104	3,762	391,248			単-198号
鉄筋	SD345 D16～25	t	2.08	186,100	387,088			単-199号
型枠	一般型枠	m2	34	10,870	369,580			単-200号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　（当　初）	事業区分	道路維持・修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉)一般養生	m3	37	41,350	1,529,950			単-201号
橋脚天端改良工		式	1		1,272,260			
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ29×295 下向き	孔	48	3,404	163,392			単-202号
ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉)一般養生	m3	3	31,850	95,550			単-203号
鉄筋	SD345 D16～25	t	0.49	213,200	104,468			単-204号
ﾌﾚｱ溶接	D19+D19	箇所	48	1,025	49,200			単-205号
型枠	一般型枠	m2	11	10,870	119,570			単-206号
型枠	一般型枠(合板円形型枠)	m2	2	14,710	29,420			単-207号
支承箱抜き	円筒型枠 φ250×730	箇所	8	782.6	6,260			単-208号
足場	安全ﾈｯﾄ必要 手摺先行型枠組足場	掛m2	120	5,870	704,400			単-209号
構造物取壊し工		式	1		1,589,607			
ｺﾝｸﾘｰﾄはつり	t=30cm	m3	4	241,700	966,800			単-210号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　（当　初）	事業区分	道路維持・修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
殻積込	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻	m3	4	1,384	5,536			単-211号
ｺﾝｸﾘｰﾄ切断(乾式ﾜｲﾔｰｿｰｲﾝｸﾞ)	水平切断	m2	3	154,200	462,600			単-212号
ｺﾝｸﾘｰﾄ吊卸		m3	3	9,037	27,111			単-213号
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物 機械施工	m3	6	21,260	127,560			単-214号
運搬処理工		式	1		76,956			
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3	6	4,212	25,272			単-215号
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	4	3,446	13,784			単-216号
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3	6	[redacted]	[redacted]			単-217号
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	4	[redacted]	[redacted]			単-218号
下部工補強工【A2橋台】		式	1		10,351,197			
作業土工		式	1		514,204			
床掘り	土砂 土留なし	m3	40	253.4	10,136			単-219号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　（当　初）	事業区分	道路維持・修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
床掘り	土砂 土留自立式	m3	90	335.4	30,186			単-220号
埋戻し	土砂 最大埋戻幅1m以上4m未満	m3	100	2,151	215,100			単-221号
埋戻し	土砂 最大埋戻幅4m以上	m3	70	1,160	81,200			単-222号
積込(ﾙｰｽﾞ)	土砂 土量50,000m3未満	m3	30	246.4	7,392			単-223号
土砂等運搬 土取場～施工箇所	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	m3	30	5,673	170,190			単-224号
橋台天端改良工		式	1		4,750,666			
下地処理 ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ・たて壁・ｳｨﾝｸﾞ部	ﾁｯﾋﾟﾝｸﾞ	m2	53	8,201	434,653			単-225号
下地処理 ﾌｰﾁﾝｸﾞ部	ﾁｯﾋﾟﾝｸﾞ	m2	6	8,201	49,206			単-226号
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ200×61 下向き	孔	8	8,886	71,088			単-227号
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ26×250 下向き	孔	114	3,266	372,324			単-228号
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ32×340 下向き	孔	36	4,162	149,832			単-229号
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ35×260 横向き	孔	128	4,206	538,368			単-230号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　（当　初）	事業区分	道路維持・修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉) 一般養生	m3	41	31,850	1,305,850			単-231号
鉄筋	SD345 D13	t	0.31	182,500	56,575			単-232号
鉄筋	SD345 D16～25	t	2.35	183,000	430,050			単-233号
機械式継手	D13	箇所	6	1,445	8,670			単-234号
機械式継手	D16	箇所	14	1,609	22,526			単-235号
機械式継手	D22	箇所	60	1,943	116,580			単-236号
ﾌﾚｱ溶接	D16+D16	箇所	4	908	3,632			単-237号
型枠	一般型枠	m2	83	10,870	902,210			単-238号
支承箱抜き	円筒型枠　φ200×532	箇所	8	465.5	3,724			単-239号
支保	f≦40kN/m2[t≦120cm]	空m3	0.3	5,728	1,718			単-240号
足場	安全ﾈｯﾄ必要 手摺先行 型枠組足場	掛m2	20	5,870	117,400			単-241号
足場	安全ﾈｯﾄ必要 単管足場	掛m2	30	5,542	166,260			単-242号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　（当　初）	事業区分	道路維持・修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
表面被覆工		式	1		379,440			
ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗布		橋	1	44,340	44,340			単-243号
下塗り(ﾊﾟﾃ塗布)		橋	1	100,300	100,300			単-244号
中塗り材塗布		橋	1	117,300	117,300			単-245号
上塗り材塗布		橋	1	117,500	117,500			単-246号
構造物取壊し工		式	1		4,061,334			
ｺﾝｸﾘｰﾄ切断(乾式ﾜｲﾔｰｿｰｲﾝｸﾞ)	水平切断	m2	13	154,200	2,004,600			単-247号
ｺﾝｸﾘｰﾄ吊卸		m3	22	9,037	198,814			単-248号
ｺﾝｸﾘｰﾄ切断(乾式ﾜｲﾔｰｿｰｲﾝｸﾞ)	垂直切断	m2	2	163,600	327,200			単-249号
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物 機械施工	m3	72	21,260	1,530,720			単-250号
運搬処理工		式	1		645,553			
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3	72	4,212	303,264			単-251号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　（当　初）	事業区分	道路維持・修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	0.05	3,446	172			単-252号
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3	72	[redacted]	[redacted]			単-253号
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	0.05	[redacted]	[redacted]			単-254号
橋梁補修工		式	1		363,600			
断面修復工		式	1		363,600			
左官工法	0.1m3未満 ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理有	構造物	1	363,600	363,600			単-255号
排水構造物工		式	1		536,358			
側溝工		式	1		416,400			
ﾋｭｰﾑ管(B形管)	外圧管1種	m	8	17,700	141,600			単-256号
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝	300B	m	24	11,450	274,800			単-257号
集水桝・ﾏﾝﾎｰﾙ工		式	1		119,958			
現場打ち集水桝	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所	2	56,230	112,460			単-258号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　（当　初）	事業区分	道路維持・修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ集水桝	300用	箇所	1	6,613	6,613			単-259号
蓋	縞鋼板蓋 700×700	枚	2	442.7	885			単-260号
仮設工		式	1		13,209,911			
土留・仮締切工 【A1橋台】		式	1		2,801,628			
鋼矢板	III型 平均鋼矢板長さ 5m 鋼矢板打込長 4.5m 平均鋼矢板引抜長 4.5m	枚	11	26,430	290,730			単-261号
鋼矢板	III型 平均鋼矢板長さ 8m 鋼矢板打込長 7.5m 平均鋼矢板引抜長 7.5m	枚	24	52,740	1,265,760			単-262号
H鋼杭	H300 H鋼長さ(杭長)10.0m H鋼平均打込長9.5m H型鋼平均引抜長9.5m	本	2	443,200	886,400			単-263号
横矢板	松矢板 横矢板厚さ 0.085m	m2	8	15,240	121,920			単-264号
横矢板固定材取付	ﾎｲｰﾙｱﾝｶｰ打込み含む	箇所	1	9,618	9,618			単-265号
油圧式杭圧入引抜機据付・解体	Ⅲ型	回	1	227,200	227,200			単-266号
土留・仮締切工 【P2橋脚】		式	1		1,324,480			

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　（当　初）	事業区分	道路維持・修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
鋼矢板	III型 平均鋼矢板長さ 8m 鋼矢板打込長 7.5m 平均鋼矢板引抜長 7.5m	枚	24	45,720	1,097,280			単-267号
油圧式杭圧入引抜機据付・解体	Ⅲ型	回	1	227,200	227,200			単-268号
土留・仮締切工 【P6橋脚】		式	1		3,322,195			
鋼矢板	III型 平均鋼矢板長さ 7.5m 鋼矢板打込長 7m 平均鋼矢板引抜長 7m	枚	48	62,470	2,998,560			単-269号
鋼矢板切折	Ⅲ型	箇所	13	6,909	89,817			単-270号
油圧式杭圧入引抜機据付・解体	Ⅲ型	回	1	227,200	227,200			単-271号
現場発生品運搬	鋼矢板	t	0.39	16,970	6,618			単-272号
土留・仮締切工 【A2橋台】		式	1		2,744,328			
鋼矢板	III型 平均鋼矢板長さ 7m 鋼矢板打込長 6.5m 平均鋼矢板引抜長 6.5m	枚	14	34,210	478,940			単-273号
鋼矢板	III型 平均鋼矢板長さ 6.5m 鋼矢板打込長 6m 平均鋼矢板引抜長 6m	枚	26	37,230	967,980			単-274号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　（当　初）	事業区分	道路維持・修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
H鋼杭	H300 H鋼長さ(杭長)9.5m H鋼平均打込長9.0m H型鋼平均引抜長9.0m	本	2	439,800	879,600			単-275号
横矢板	松矢板 横矢板厚さ 0.11m	m2	9	20,110	180,990			単-276号
横矢板固定材取付	ﾎｲｰﾙｱﾝｶｰ打込み含む	箇所	1	9,618	9,618			単-277号
油圧式杭圧入引抜機据付・解体	Ⅲ型	回	1	227,200	227,200			単-278号
交通管理工		式	1		3,017,280			
交通誘導警備員	交通誘導員B	人日	168	17,960	3,017,280			単-279号
直接工事費		式	1		81,257,942			
共通仮設費		式	1		16,754,519			
共通仮設費		式	1		4,216,519			
運搬費		式	1		2,242,344			
建設機械運搬費		台	1	160,200	160,200			単-280号

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　（当　初）	事業区分	道路維持・修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
重建設機械分解組立費		回	1	1,322,000	1,322,000			単-281号
仮設材運搬費 A1橋台		t	16.7	12,320	205,744			単-282号
仮設材運搬費 P2橋脚		t	11.5	12,320	141,680			単-283号
仮設材運搬費 P6橋脚		t	15.7	12,320	193,424			単-284号
仮設材運搬費 A2橋台		t	17.8	12,320	219,296			単-285号
技術管理費		式	1		63,175			
道路施設基本ﾃﾞｰﾀ作成費用		式	1		63,175			内-1号
現場環境改善費（率計上）		式	1		1,911,000			
共通仮設費（率計上）		式	1		12,538,000			
純工事費		式	1		98,012,461			
現場管理費		式	1		47,477,000			
工事原価		式	1		145,489,461			

設計内訳書

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　（当　初）	事業区分	道路維持・修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
一般管理費等		式	1		23,750,539			
工事価格		式	1		169,240,000			
消費税相当額		式	1		16,924,000			
工事費計		式	1		186,164,000			

一式当たり内訳書

道路施設基本ﾃﾞｰﾀ作成費用

第　1号内訳書

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
技術員【週休2日補正対象外】		人	1.75	36,100	63,175			
合　計					63,175			

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－1号	下地処理		単位	m2	数量	1	単価	3,936

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
下地処理	無し 無し 無	ｍ２	1	3,936	3,936	
計					3,936	
単価					3,936	円／m2

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－2号	ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗布	ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾌﾟﾗｲﾏｰ	単位	m2	数量	1	単価	2,065

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
プライマー塗布	無し 無し 無 標準以外 0.15kg	ｍ２	1	2,065	2,065	
計					2,065	
単価					2,065	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－3号	不陸修正	ｴﾎﾟｷｼﾊﾟﾃ	単位	m2	数量	1	単価	5,602

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
不陸修正	無し 無し 無 標準以外 1kg	m２	1	5,602	5,602	
計					5,602	
単価					5,602	円／m2

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－4号	炭素繊維ｼｰﾄ接着	全面貼り 1層 目付量 200g/m2	単位	m2	数量	1	単価	11,910

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
連続繊維シート本体貼付	無し 無し 炭素繊維 1方向・高強度 目付200g/m2 引張3400N/mm2 無 標準	m２	1	11,910	11,910	
計					11,910	
単価					11,910	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－5号	炭素繊維ｼｰﾄ接着	全面貼り 2層 目付量 600g/m2	単位	m2	数量	1	単価	47,150

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
連続繊維シート本体貼付	無し 無し 炭素繊維 1方向・高強度 目付600g/m2 引張3400N/mm2 無 標準以外 2層	ｍ２	1	47,150	47,150	
計					47,150	
単価					47,150	円／m2

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－6号	仕上げ塗装	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ	単位	m2	数量	1	単価	6,306

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仕上げﾓﾙﾀﾙ・塗装（ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ＋ﾓﾙﾀﾙ用上塗り）	無し 無し 無 標準 標準	ｍ２	1	6,306	6,306	
計					6,306	
単価					6,306	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－7号	下地処理		単位	m2	数量	1	単価	3,936

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
下地処理	無し 無し 無	ｍ２	1	3,936	3,936	
計					3,936	
単価					3,936	円／m2

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－8号	ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗布	ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾌﾟﾗｲﾏｰ	単位	m2	数量	1	単価	2,065

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
プライマー塗布	無し 無し 無 標準以外 0.15kg	ｍ２	1	2,065	2,065	
計					2,065	
単価					2,065	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－9号	不陸修正	ｴﾎﾟｷｼﾊﾟﾃ	単位	m2	数量	1	単価	5,602

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
不陸修正	無し 無し 無 標準以外 1kg	ｍ２	1	5,602	5,602	
計					5,602	
単価					5,602	円／m2

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－10号	炭素繊維ｼｰﾄ接着	全面貼り 1層 目付量 200g/m2	単位	m2	数量	1	単価	11,910

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
連続繊維シート本体貼付	無し 無し 炭素繊維 1方向・高強度 目付200g/m2 引張3400N/mm2 無 標準	ｍ２	1	11,910	11,910	
計					11,910	
単価					11,910	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－11号	炭素繊維ｼｰﾄ接着	全面貼り 2層 目付量 600g/m2	単位	m2	数量	1	単価	47,150

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
連続繊維シート本体貼付	無し 無し 炭素繊維 1方向・高強度 目付600g/m2 引張3400N/mm2 無 標準以外 2層	ｍ２	1	47,150	47,150	
計					47,150	
単価					47,150	円／m2

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－12号	仕上げ塗装	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ	単位	m2	数量	1	単価	6,306

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仕上げﾓﾙﾀﾙ・塗装（ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ＋ﾓﾙﾀﾙ用上塗り）	無し 無し 無 標準 標準	ｍ２	1	6,306	6,306	
計					6,306	
単価					6,306	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－13号	下地処理		単位	m2	数量	1	単価	3,936

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
下地処理	無し 無し 無	ｍ２	1	3,936	3,936	
計					3,936	
単価					3,936	円／m2

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－14号	ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗布	ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾌﾟﾗｲﾏｰ	単位	m2	数量	1	単価	2,065

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
プライマー塗布	無し 無し 無 標準以外 0.15kg	ｍ２	1	2,065	2,065	
計					2,065	
単価					2,065	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－15号	不陸修正	ｴﾎﾟｷｼﾊﾟﾃ	単位	m2	数量	1	単価	5,602

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
不陸修正	無し 無し 無 標準以外 1kg	m２	1	5,602	5,602	
計					5,602	
単価					5,602	円／m2

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－16号	炭素繊維ｼｰﾄ接着	全面貼り 1層 目付量 200g/m2	単位	m2	数量	1	単価	11,910

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
連続繊維シート本体貼付	無し 無し 炭素繊維 1方向・高強度 目付200g/m2 引張3400N/mm2 無 標準	m２	1	11,910	11,910	
計					11,910	
単価					11,910	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－17号	炭素繊維ｼｰﾄ接着	全面貼り 2層 目付量 450g/m2	単位	m2	数量	1	単価	36,590

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
連続繊維シート本体貼付	無し 無し 炭素繊維 1方向・高強度 目付450g/m2 引張3400N/mm2 無 標準以外 2層	ｍ２	1	36,590	36,590	
計					36,590	
単価					36,590	円／m2

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－18号	仕上げ塗装	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ	単位	m2	数量	1	単価	6,306

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仕上げﾓﾙﾀﾙ・塗装（ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ＋ﾓﾙﾀﾙ用上塗り）	無し 無し 無 標準 標準	ｍ２	1	6,306	6,306	
計					6,306	
単価					6,306	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－19号	下地処理		単位	m2	数量	1	単価	3,936

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
下地処理	無し 無し 無	ｍ２	1	3,936	3,936	
計					3,936	
単価					3,936	円／m2

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－20号	ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗布	ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾌﾟﾗｲﾏｰ	単位	m2	数量	1	単価	2,065

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
プライマー塗布	無し 無し 無 標準以外 0.15kg	ｍ２	1	2,065	2,065	
計					2,065	
単価					2,065	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－21号	不陸修正	ｴﾎﾟｷｼﾊﾟﾃ	単位	m2	数量	1	単価	5,602

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
不陸修正	無し 無し 無 標準以外 1kg	ｍ２	1	5,602	5,602	
計					5,602	
単価					5,602	円／m2

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－22号	炭素繊維ｼｰﾄ接着	全面貼り 1層 目付量 200g/m2	単位	m2	数量	1	単価	11,910

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
連続繊維シート本体貼付	無し 無し 炭素繊維 1方向・高強度 目付200g/m2 引張3400N/mm2 無 標準	ｍ２	1	11,910	11,910	
計					11,910	
単価					11,910	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－23号	炭素繊維ｼｰﾄ接着	全面貼り 1層 目付量 400g/m2	単位	m2	数量	1	単価	17,570

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
連続繊維シート本体貼付	無し 無し 炭素繊維 1方向・高強度 目付400g/m2 引張3400N/mm2 無 標準	ｍ２	1	17,570	17,570	
計					17,570	
単価					17,570	円／m2

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－24号	仕上げ塗装	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ	単位	m2	数量	1	単価	6,306

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仕上げﾓﾙﾀﾙ・塗装（ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ＋ﾓﾙﾀﾙ用上塗り）	無し 無し 無 標準 標準	ｍ２	1	6,306	6,306	
計					6,306	
単価					6,306	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－25号	下地処理		単位	m2	数量	1	単価	3,936

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
下地処理	無し 無し 無	ｍ２	1	3,936	3,936	
計					3,936	
単価					3,936	円／m2

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－26号	ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗布	ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾌﾟﾗｲﾏｰ	単位	m2	数量	1	単価	2,065

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
プライマー塗布	無し 無し 無 標準以外 0.15kg	ｍ２	1	2,065	2,065	
計					2,065	
単価					2,065	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－27号	不陸修正	ｴﾎﾟｷｼﾊﾟﾃ	単位	m2	数量	1	単価	5,602

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
不陸修正	無し 無し 無 標準以外 1kg	m２	1	5,602	5,602	
計					5,602	
単価					5,602	円／m2

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－28号	炭素繊維ｼｰﾄ接着	全面貼り 1層 目付量 200g/m2	単位	m2	数量	1	単価	11,910

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
連続繊維シート本体貼付	無し 無し 炭素繊維 1方向・高強度 目付200g/m2 引張3400N/mm2 無 標準	m２	1	11,910	11,910	
計					11,910	
単価					11,910	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－29号	炭素繊維ｼｰﾄ接着	全面貼り 1層 目付量 300g/m2	単位	m2	数量	1	単価	14,940

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
連続繊維シート本体貼付	無し 無し 炭素繊維 1方向・高強度 目付300g/m2 引張3400N/mm2 無 標準	ｍ２	1	14,940	14,940	
計					14,940	
単価					14,940	円／m2

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－30号	炭素繊維ｼｰﾄ接着	全面貼り 1層 目付量 600g/m2	単位	m2	数量	1	単価	23,580

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
連続繊維シート本体貼付	無し 無し 炭素繊維 1方向・高強度 目付600g/m2 引張3400N/mm2 無 標準	ｍ２	1	23,580	23,580	
計					23,580	
単価					23,580	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－31号	仕上げ塗装	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ	単位	m2	数量	1	単価	6,306

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仕上げﾓﾙﾀﾙ・塗装（ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ＋ﾓﾙﾀﾙ用上塗り）	無し 無し 無 標準 標準	ｍ２	1	6,306	6,306	
計					6,306	
単価					6,306	円／m2

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－32号	下地処理		単位	m2	数量	1	単価	3,936

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
下地処理	無し 無し 無	ｍ２	1	3,936	3,936	
計					3,936	
単価					3,936	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－33号	ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗布	ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾌﾟﾗｲﾏｰ	単位	m2	数量	1	単価	2,065

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
プライマー塗布	無し 無し 無 標準以外 0.15kg	ｍ２	1	2,065	2,065	
計					2,065	
単価					2,065	円／m2

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－34号	不陸修正	ｴﾎﾟｷｼﾊﾟﾃ	単位	m2	数量	1	単価	5,602

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
不陸修正	無し 無し 無 標準以外 1kg	ｍ２	1	5,602	5,602	
計					5,602	
単価					5,602	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－35号	炭素繊維ｼｰﾄ接着	全面貼り 1層 目付量 200g/m2	単位	m2	数量	1	単価	11,910

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
連続繊維シート本体貼付	無し 無し 炭素繊維 1方向・高強度 目付200g/m2 引張3400N/mm2 無 標準	ｍ２	1	11,910	11,910	
計					11,910	
単価					11,910	円／m2

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－36号	炭素繊維ｼｰﾄ接着	全面貼り 1層 目付量 400g/m2	単位	m2	数量	1	単価	17,570

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
連続繊維シート本体貼付	無し 無し 炭素繊維 1方向・高強度 目付400g/m2 引張3400N/mm2 無 標準	ｍ２	1	17,570	17,570	
計					17,570	
単価					17,570	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－37号	炭素繊維ｼｰﾄ接着	全面貼り 1層 目付量 600g/m2	単位	m2	数量	1	単価	23,580

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
連続繊維シート本体貼付	無し 無し 炭素繊維 1方向・高強度 目付600g/m2 引張3400N/mm2 無 標準	ｍ２	1	23,580	23,580	
計					23,580	
単価					23,580	円／m2

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－38号	仕上げ塗装	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ	単位	m2	数量	1	単価	6,306

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仕上げﾓﾙﾀﾙ・塗装（ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ＋ﾓﾙﾀﾙ用上塗り）	無し 無し 無 標準 標準	ｍ２	1	6,306	6,306	
計					6,306	
単価					6,306	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－39号	床掘り	土砂 土留なし	単位	m3	数量	1	単価	253.4

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
床掘り	土砂 標準 無し 無し	ｍ３	1	253.4	253.4	
計					253.4	
単価					253.4	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－40号	床掘り	土砂 自立式	単位	m3	数量	1	単価	335.4

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
床掘り	土砂 標準 自立式 無し	ｍ３	1	335.4	335.4	
計					335.4	
単価					335.4	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－41号	埋戻し	土砂 最大埋戻幅1m以上4m未満	単位	m3	数量	1	単価	2,151

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
埋戻し	最大埋戻幅1m以上4m未満	ｍ３	1	2,151	2,151	
計					2,151	
単価					2,151	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－42号	埋戻し	土砂 最大埋戻幅4m以上	単位	m3	数量	1	単価	1,160

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
埋戻し	最大埋戻幅4m以上	ｍ３	1	1,160	1,160	
計					1,160	
単価					1,160	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－43号	積込(ﾙｰｽﾞ)	土砂 土量50,000m3未満	単位	m3	数量	1	単価	246.4

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
積込 (ルーズ)	土砂 土量50,000m3未満	m３	1	246.4	246.4	
計					246.4	
単価					246.4	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－44号	土砂等運搬 土取場～施工箇所	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	単位	m3	数量	1	単価	5,673

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂等運搬	標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 有り 60.0km以下	m３	1	5,673	5,673	
計					5,673	
単価					5,673	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－45号	下地処理 ﾌｰﾁﾝｸﾞ部	ﾁｯﾋﾟﾝｸﾞ	単位	m2	数量	1	単価	8,201

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
下地処理(ﾌｰﾁﾝｸﾞ部)【歩掛見積参考資料】	ﾁｯﾋﾟﾝｸﾞ	m2	1	8,201	8,201	
計					8,201	
単価					8,201	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－46号	ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ26×250 下向き	単位	孔	数量	46	単価	3,264

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート削孔（電動ハンマドリル）	200㎜以上400㎜以下	孔	46	1,086	49,956	
ｱﾝｶｰ定着工【歩掛見積参考資料】	φ26×250 下向き	箇所	46	1,786	82,156	
注入材	エポキシ	ｋｇ	5.3	3,400	18,020	
計					150,132	
単価					3,264	円／孔

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－47号	ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ29×200 横向き	単位	孔	数量	84	単価	3,764

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート削孔（電動ハンマドリル）	200㎜以上400㎜以下	孔	84	1,086	91,224	
ｱﾝｶｰ定着工【歩掛見積参考資料】	φ29×200 横向き	箇所	84	2,313	194,292	
注入材	エポキシ	ｋｇ	9	3,400	30,600	
計					316,116	
単価					3,764	円／孔

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－48号	基礎材	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ40～0 17.5cmを超え20.0cm以下	単位	m2	数量	1	単価	1,475

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
基礎砕石	17.5cmを超え20.0cm以下 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0 全ての費用	ｍ２	1	1,475	1,475	
計					1,475	
単価					1,475	円／m2

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－49号	均しｺﾝｸﾘｰﾄ	各種 敷厚 10ｃｍ	単位	m2	数量	10	単価	4,457

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート	無筋・鉄筋構造物 ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設 各種 養生無し 全ての費用	ｍ３	1	39,070	39,070	
型枠	一般型枠 均しｺﾝｸﾘｰﾄ	ｍ２	1	5,496	5,496	
計					44,566	
単価					4,457	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－50号	ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉) 一般養生	単位	m3	数量	1	単価	41,350

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート	無筋・鉄筋構造物 ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設 24-12-25(20)(高炉) 一般養生	ｍ３	1	41,350	41,350	
計					41,350	
単価					41,350	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－51号	鉄筋	SD345 D13	単位	t	数量	1	単価	179,600

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋工［市場単価］	SD345 D13 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 補正無(一般構造物)	t	1	179,600	179,600	
計					179,600	
単価					179,600	円／t

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－52号	鉄筋	SD345 D16～25	単位	t	数量	0.66	単価	199,100

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋工［市場単価］	SD345 D16～25 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む)	t	0.66	177,600	117,216	
機械式鉄筋定着加工費	鉄筋端部加工費 D16 1m超え～2m以下	箇所	42	337	14,154	
計					131,370	
単価					199,100	円／t

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－53号	型枠	一般型枠	単位	m2	数量	1	単価	10,870

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
型枠	一般型枠 鉄筋・無筋構造物	ｍ２	1	10,870	10,870	
計					10,870	
単価					10,870	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－54号	下地処理 ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ・たて壁・ｳｨﾝｸﾞ部	ﾁｯﾋﾟﾝｸﾞ	単位	m2	数量	1	単価	8,201

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
下地処理工(ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ・たて壁・ｳｨﾝｸﾞ部)	ﾁｯﾋﾟﾝｸﾞ	m2	1	8,201	8,201	
下地処理工は【歩掛見積参考資料】						
計					8,201	
単価					8,201	円／m2

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－55号	ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ200×63 下向き	単位	孔	数量	1	単価	8,886

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート削孔（コンクリート穿孔機）	180mm以上200mm以下 50mm以上200mm未満	孔	1	8,886	8,886	
計					8,886	
単価					8,886	円／孔

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－56号	ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ200×64 下向き	単位	孔	数量	1	単価	8,886

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート削孔（コンクリート穿孔機）	180㎜以上200㎜以下 50㎜以上200㎜未満	孔	1	8,886	8,886	
計					8,886	
単価					8,886	円／孔

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－57号	ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ26×250 下向き	単位	孔	数量	77	単価	3,265

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート削孔（電動ハンマドリル）	200㎜以上400㎜以下	孔	77	1,086	83,622	
ｱﾝｶｰ定着工【歩掛見積参考資料】	φ26×250 下向き	箇所	77	1,786	137,522	
注入材	エポキシ	ｋｇ	8.9	3,400	30,260	
計					251,404	
単価					3,265	円／孔

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－58号	ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ32×340 下向き	単位	孔	数量	38	単価	4,161

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート削孔（さく岩機）	300㎜以上400㎜未満	孔	38	1,686	64,068	
ｱﾝｶｰ定着工【歩掛見積参考資料】	φ32×340 下向き	箇所	38	1,786	67,868	
注入材	エポキシ	ｋｇ	7.7	3,400	26,180	
計					158,116	
単価					4,161	円／孔

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－59号	ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ35×260 横向き	単位	孔	数量	54	単価	4,225

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート削孔（さく岩機）	200㎜以上300㎜未満	孔	54	1,320	71,280	
ｱﾝｶｰ定着工【歩掛見積参考資料】	φ35×260 横向き	箇所	54	2,313	124,902	
注入材	エポキシ	ｋｇ	9.4	3,400	31,960	
計					228,142	
単価					4,225	円／孔

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－60号	ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉) 一般養生	単位	m3	数量	1	単価	31,850

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート	無筋・鉄筋構造物 ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ車打設 24-12-25(20)(高炉) 10m3以上100m3未満 一般養生 延長無し	ｍ３	1	31,850	31,850	
計					31,850	
単価					31,850	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－61号	鉄筋	SD345 D13	単位	t	数量	0.2	単価	184,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋工［市場単価］	SD345 D13 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 補正無(一般構造物)	t	0.2	179,600	35,920	
機械式鉄筋定着加工費	鉄筋端部加工費 D13 1m以下	箇所	3	292	876	
計					36,796	
単価					184,000	円／t

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－62号	鉄筋	SD345 D16～25	単位	t	数量	1.68	単価	185,300

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋工［市場単価］	SD345 D16～25 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む)	t	1.68	177,600	298,368	
機械式鉄筋定着加工費	鉄筋端部加工費 D16 1m超え～2m以下	箇所	38	337	12,806	
計					311,174	
単価					185,300	円／t

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－63号	機械式継手	D13	単位	箇所	数量	1	単価	1,445

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
機械式継手工	ねじ節鉄筋継手 無し 無し D13×D13	箇所	1	1,445	1,445	
計					1,445	
単価					1,445	円／箇所

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－64号	機械式継手	D16	単位	箇所	数量	1	単価	1,609

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
機械式継手工	ねじ節鉄筋継手 無し 無し D16×D16	箇所	1	1,609	1,609	
計					1,609	
単価					1,609	円／箇所

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－65号	機械式継手	D22	単位	箇所	数量	1	単価	1,943

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
機械式継手工	ねじ節鉄筋継手 無し 無し D22×D22	箇所	1	1,943	1,943	
計					1,943	
単価					1,943	円／箇所

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－66号	ﾌﾚｱ溶接	D16+D16	単位	箇所	数量	1	単価	908

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
フレア溶接工	無し 無し V型 下向き・横向き D16×D16	箇所	1	908	908	
計					908	
単価					908	円／箇所

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－67号	型枠	一般型枠	単位	m2	数量	1	単価	10,870

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
型枠	一般型枠 鉄筋･無筋構造物	ｍ２	1	10,870	10,870	
計					10,870	
単価					10,870	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－68号	支承箱抜き	円筒型枠 φ200×530	単位	箇所	数量	1	単価	463.8

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
【支承箱抜き工(円形型枠)の工事費は未計上】						
円形型枠	200×4.0	m	0.53	875	463.75	
計					463.75	
単価					463.8	円／箇所

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－69号	支保	f≦40kN/m2[t≦120cm]	単位	空m3	数量	1	単価	5,728

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
パイプサポート支保・くさび結合支保	ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ支保 V≦40空m3 f≦40kN/m2[t≦120cm]	空ｍ３	1	5,728	5,728	
計					5,728	
単価					5,728	円／空m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－70号	足場	安全ﾈｯﾄ必要 手摺先行型枠組足場	単位	掛m2	数量	1	単価	5,870

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
足場工	手摺先行型枠組足場 必要 標準	掛ｍ２	1	5,870	5,870	
計					5,870	
単価					5,870	円／掛m2

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－71号	ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗布		単位	橋	数量	1	単価	46,180

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
表面被覆工（塗装工法）プライマー塗布	25m2 2.5kg	橋	1	46,180	46,180	
計					46,180	
単価					46,180	円／橋

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－72号	下塗り(ﾊﾟﾃ塗布)		単位	橋	数量	1	単価	103,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
表面被覆工（塗装工法）下塗り（パテ塗布）	25m2 7.5kg	橋	1	103,200	103,200	
計					103,200	
単価					103,200	円／橋

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－73号	中塗り材塗布		単位	橋	数量	1	単価	122,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
表面被覆工（塗装工法）中塗り材塗布	25m2 8kg	橋	1	122,000	122,000	
計					122,000	
単価					122,000	円／橋

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－74号	上塗り材塗布		単位	橋	数量	1	単価	122,300

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
表面被覆工（塗装工法）上塗り材塗布	25m2 3.75kg	橋	1	122,300	122,300	
計					122,300	
単価					122,300	円／橋

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－75号	ｺﾝｸﾘｰﾄはつり	t=30cm	単位	m3	数量	1	単価	241,700

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ｺﾝｸﾘｰﾄはつり【歩掛見積参考資料】	t=30cm	m3	1	241,700	241,700	
計					241,700	
単価					241,700	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－76号	殻積込	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻	単位	m3	数量	1	単価	1,384

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
積込（コンクリート殻）	全ての費用	ｍ３	1	1,384	1,384	
計					1,384	
単価					1,384	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－77号	ｺﾝｸﾘｰﾄ切断(乾式ﾜｲﾔｰｿｰｲﾝｸﾞ)	水平切断	単位	m2	数量	1	単価	154,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ｺﾝｸﾘｰﾄ切断(乾式ﾜｲﾔｰｿｰｲﾝｸﾞ)【歩掛見積参考資料】	水平切折	m2	1	154,200	154,200	
【乾式装置(集塵機他 一式)の損料は未計上】						
計					154,200	
単価					154,200	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－78号	ｺﾝｸﾘｰﾄ吊卸		単位	m3	数量	1	単価	9,037

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
切断ｺﾝｸﾘｰﾄ吊卸工【歩掛見積参考資料】	水平切断後50tｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝによる地面までの吊卸	m3	1	9,037	9,037	
計					9,037	
単価					9,037	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－79号	ｺﾝｸﾘｰﾄ切断(乾式ﾜｲﾔｰｿｰｲﾝｸﾞ)	垂直切断	単位	m2	数量	1	単価	163,600

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ｺﾝｸﾘｰﾄ切断(乾式ﾜｲﾔｰｿｰｲﾝｸﾞ)【歩掛見積参考資料】	垂直切折	m2	1	163,600	163,600	
【乾式装置(集塵機他 一式)の損料は未計上】						
計					163,600	
単価					163,600	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－80号	ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物 機械施工	単位	m3	数量	1	単価	21,260

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
構造物とりこわし	鉄筋構造物 機械施工 無し 無し 必要	m３	1	21,260	21,260	
計					21,260	
単価					21,260	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－81号	殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	単位	m3	数量	1	単価	4,212

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 有り 23.2km以下 全ての費用	m３	1	4,212	4,212	
計					4,212	
単価					4,212	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－82号	殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	3,446

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし 機械積込 有り 23.2km以下 全ての費用	ｍ３	1	3,446	3,446	
計					3,446	
単価					3,446	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－83号	殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	単位	m3	数量	1	単価	[redacted]

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（ｍ３）		ｍ３	1	[redacted]	[redacted]	
計					[redacted]	
単価					[redacted]	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－84号	殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	[redacted]

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（ｍ３）		ｍ３	1	[redacted]	[redacted]	
計					[redacted]	
単価					[redacted]	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－85号	床掘り	土砂 土留なし	単位	m3	数量	1	単価	253.4

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
床掘り	土砂 標準 無し 無し	ｍ３	1	253.4	253.4	
計					253.4	
単価					253.4	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－86号	埋戻し	土砂 最大埋戻幅4m以上	単位	m3	数量	1	単価	1,160

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
埋戻し	最大埋戻幅4m以上	ｍ３	1	1,160	1,160	
計					1,160	
単価					1,160	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－87号	ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ29×295 下向き	単位	孔	数量	48	単価	3,404

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート削孔（電動ハンマドリル）	200㎜以上400㎜以下	孔	48	1,086	52,128	
ｱﾝｶｰ定着工【歩掛見積参考資料】	φ29×295 下向き	箇所	48	1,786	85,728	
注入材	エポキシ	ｋｇ	7.5	3,400	25,500	
計					163,356	
単価					3,404	円／孔

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－88号	ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉)一般養生	単位	m3	数量	1	単価	31,850

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート	無筋・鉄筋構造物 ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ車打設 24-12-25(20)(高炉) 10m3以上100m3未満 一般養生 延長無し	ｍ３	1	31,850	31,850	
計					31,850	
単価					31,850	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－89号	鉄筋	SD345 D16～25	単位	t	数量	0.48	単価	210,300

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋工［市場単価］	SD345 D16～25 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む)	t	0.48	177,600	85,248	
機械式鉄筋定着加工費	鉄筋端部加工費 D19 1m超え～2m以下	箇所	36	435	15,660	
計					100,908	
単価					210,300	円／t

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－90号	ﾌﾚｱ溶接	D19+D19	単位	箇所	数量	1	単価	1,025

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
フレア溶接工	無し 無し V型 下向き・横向き D19×D19	箇所	1	1,025	1,025	
計					1,025	
単価					1,025	円／箇所

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－91号	型枠	一般型枠	単位	m2	数量	1	単価	10,870

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
型枠	一般型枠 鉄筋･無筋構造物	ｍ２	1	10,870	10,870	
計					10,870	
単価					10,870	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－92号	型枠	一般型枠(合板円形型枠)	単位	m2	数量	1	単価	14,710

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
型枠	一般型枠 鉄筋・無筋構造物(合板円形型枠使用)	m２	1	14,710	14,710	
計					14,710	
単価					14,710	円／m2

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－93号	支承箱抜き	円筒型枠 φ250×730	単位	箇所	数量	1	単価	782.6

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
【支承箱抜き工(円形型枠)の工事費は未計上】						
円形型枠	250×4.0	m	0.73	1,072	782.56	
計					782.56	
単価					782.6	円／箇所

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－94号	足場	安全ﾈｯﾄ必要 手摺先行型枠組足場	単位	掛m2	数量	1	単価	5,870

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
足場工	手摺先行型枠組足場 必要 標準	掛ｍ２	1	5,870	5,870	
計					5,870	
単価					5,870	円／掛m2

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－95号	ｺﾝｸﾘｰﾄ切断(乾式ﾜｲﾔｰｿｰｲﾝｸﾞ)	水平切断	単位	m2	数量	1	単価	154,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ｺﾝｸﾘｰﾄ切断(乾式ﾜｲﾔｰｿｰｲﾝｸﾞ)【歩掛見積参考資料】	水平切折	m2	1	154,200	154,200	
【乾式装置(集塵機他 一式)の損料は未計上】						
計					154,200	
単価					154,200	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－96号	ｺﾝｸﾘｰﾄ吊卸		単位	m3	数量	1	単価	9,037

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
切断ｺﾝｸﾘｰﾄ吊卸工【歩掛見積参考資料】	水平切断後50tｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝによる地面までの吊卸	m3	1	9,037	9,037	
計					9,037	
単価					9,037	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－97号	ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物 機械施工	単位	m3	数量	1	単価	21,260

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
構造物とりこわし	鉄筋構造物 機械施工 無し 無し 必要	ｍ３	1	21,260	21,260	
計					21,260	
単価					21,260	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－98号	殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	単位	m3	数量	1	単価	4,212

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 有り 23.2km以下 全ての費用	ｍ３	1	4,212	4,212	
計					4,212	
単価					4,212	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－99号	殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	単位	m3	数量	1	単価	[redacted]

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（ｍ３）		ｍ３	1	[redacted]	[redacted]	
計					[redacted]	
単価					[redacted]	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－100号	床掘り	土砂 土留なし	単位	m3	数量	1	単価	253.4

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
床掘り	土砂 標準 無し 無し	ｍ３	1	253.4	253.4	
計					253.4	
単価					253.4	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－101号	埋戻し	土砂 最大埋戻幅4m以上	単位	m3	数量	1	単価	1,160

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
埋戻し	最大埋戻幅4m以上	ｍ３	1	1,160	1,160	
計					1,160	
単価					1,160	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－102号	積込(ﾙｰｽﾞ)	土砂 土量50,000m3未満	単位	m3	数量	1	単価	246.4

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
積込 (ルーズ)	土砂 土量50,000m3未満	m３	1	246.4	246.4	
計					246.4	
単価					246.4	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－103号	土砂等運搬 残土置場～施工箇所	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	単位	m3	数量	1	単価	5,673

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂等運搬	標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 有り 60.0km以下	m３	1	5,673	5,673	
計					5,673	
単価					5,673	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－104号	下地処理 ﾌｰﾁﾝｸﾞ部	ﾁｯﾋﾟﾝｸﾞ	単位	m2	数量	1	単価	8,201

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
下地処理工(ﾌｰﾁﾝｸﾞ部)【歩掛見積参考資料】	ﾁｯﾋﾟﾝｸﾞ	m2	1	8,201	8,201	
計					8,201	
単価					8,201	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－105号	ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ35×260 下向き	単位	孔	数量	99	単価	3,701

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート削孔（さく岩機）	200㎜以上300㎜未満	孔	99	1,320	130,680	
ｱﾝｶｰ定着工【歩掛見積参考資料】	φ35×260 下向き	箇所	99	1,786	176,814	
注入材	エポキシ	ｋｇ	17.3	3,400	58,820	
計					366,314	
単価					3,701	円／孔

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－106号	鉄筋	SD345 D16～25	単位	t	数量	1	単価	177,600

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋工［市場単価］	SD345 D16～25 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む)	t	1	177,600	177,600	
計					177,600	
単価					177,600	円／t

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－107号	型枠	一般型枠	単位	m2	数量	1	単価	10,870

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
型枠	一般型枠 鉄筋・無筋構造物	ｍ２	1	10,870	10,870	
計					10,870	
単価					10,870	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－108号	ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉) 一般養生	単位	m3	数量	1	単価	41,350

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート	無筋・鉄筋構造物 ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設 24-12-25(20)(高炉) 一般養生	ｍ３	1	41,350	41,350	
計					41,350	
単価					41,350	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－109号	ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ29×295 下向き	単位	孔	数量	48	単価	3,404

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート削孔（電動ハンマドリル）	200㎜以上400㎜以下	孔	48	1,086	52,128	
ｱﾝｶｰ定着工【歩掛見積参考資料】	φ29×295 下向き	箇所	48	1,786	85,728	
注入材	エポキシ	ｋｇ	7.5	3,400	25,500	
計					163,356	
単価					3,404	円／孔

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－110号	ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉)一般養生	単位	m3	数量	1	単価	31,850

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート	無筋・鉄筋構造物 ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ車打設 24-12-25(20)(高炉) 10m3以上100m3未満 一般養生 延長無し	ｍ３	1	31,850	31,850	
計					31,850	
単価					31,850	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－111号	鉄筋	SD345 D16～25	単位	t	数量	0.48	単価	210,300

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋工［市場単価］	SD345 D16～25 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む)	t	0.48	177,600	85,248	
機械式鉄筋定着加工費	鉄筋端部加工費 D19 1m超え～2m以下	箇所	36	435	15,660	
計					100,908	
単価					210,300	円／t

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－112号	ﾌﾚｱ溶接	D19+D19	単位	箇所	数量	1	単価	1,025

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
フレア溶接工	無し 無し V型 下向き・横向き D19×D19	箇所	1	1,025	1,025	
計					1,025	
単価					1,025	円／箇所

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－113号	型枠	一般型枠	単位	m2	数量	1	単価	10,870

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
型枠	一般型枠 鉄筋･無筋構造物	ｍ２	1	10,870	10,870	
計					10,870	
単価					10,870	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－114号	型枠	一般型枠(合板円形型枠)	単位	m2	数量	1	単価	14,710

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
型枠	一般型枠 鉄筋・無筋構造物(合板円形型枠使用)	m２	1	14,710	14,710	
計					14,710	
単価					14,710	円／m2

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－115号	支承箱抜き	円筒型枠 Φ250×730	単位	箇所	数量	1	単価	782.6

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
【支承箱抜き工(円形型枠)の工事費は未計上】						
円形型枠	250×4.0	m	0.73	1,072	782.56	
計					782.56	
単価					782.6	円／箇所

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－116号	足場	安全ﾈｯﾄ必要 手摺先行型枠組足場	単位	掛m2	数量	1	単価	5,870

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
足場工	手摺先行型枠組足場 必要 標準	掛ｍ２	1	5,870	5,870	
計					5,870	
単価					5,870	円／掛m2

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－117号	ｺﾝｸﾘｰﾄ切断(乾式ﾜｲﾔｰｿｰｲﾝｸﾞ)	水平切断	単位	m2	数量	1	単価	154,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ｺﾝｸﾘｰﾄ切断(乾式ﾜｲﾔｰｿｰｲﾝｸﾞ)【歩掛見積参考資料】	水平切折	m2	1	154,200	154,200	
【乾式装置(集塵機他 一式)の損料は未計上】						
計					154,200	
単価					154,200	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－118号	ｺﾝｸﾘｰﾄ吊卸		単位	m3	数量	1	単価	9,037

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
切断ｺﾝｸﾘｰﾄ吊卸工【歩掛見積参考資料】	水平切断後50tｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝによる地面までの吊卸	m3	1	9,037	9,037	
計					9,037	
単価					9,037	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－119号	ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物 機械施工	単位	m3	数量	1	単価	21,260

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
構造物とりこわし	鉄筋構造物 機械施工 無し 無し 必要	ｍ３	1	21,260	21,260	
計					21,260	
単価					21,260	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－120号	殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	単位	m3	数量	1	単価	4,212

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 有り 23.2km以下 全ての費用	ｍ３	1	4,212	4,212	
計					4,212	
単価					4,212	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－121号	殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	3,446

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし 機械積込 有り 23.2km以下 全ての費用	ｍ３	1	3,446	3,446	
計					3,446	
単価					3,446	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－122号	殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	単位	m3	数量	1	単価	[redacted]

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（ｍ３）		ｍ３	1	[redacted]	[redacted]	
計					[redacted]	
単価					[redacted]	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－123号	殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	[redacted]

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（ｍ３）		ｍ３	1	[redacted]	[redacted]	
計					[redacted]	
単価					[redacted]	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－124号	床掘り	土砂 土留なし	単位	m3	数量	1	単価	253.4

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
床掘り	土砂 標準 無し 無し	ｍ３	1	253.4	253.4	
計					253.4	
単価					253.4	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－125号	埋戻し	土砂 最大埋戻幅4m以上	単位	m3	数量	1	単価	1,160

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
埋戻し	最大埋戻幅4m以上	ｍ３	1	1,160	1,160	
計					1,160	
単価					1,160	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－126号	下地処理 ﾌｰﾁﾝｸﾞ部	ﾁｯﾋﾟﾝｸﾞ	単位	m2	数量	1	単価	8,201

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
下地処理工(ﾌｰﾁﾝｸﾞ部)【歩掛見積参考資料】	ﾁｯﾋﾟﾝｸﾞ	m2	1	8,201	8,201	
計					8,201	
単価					8,201	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－127号	ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ35×260 下向き	単位	孔	数量	68	単価	3,701

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート削孔（さく岩機）	200㎜以上300㎜未満	孔	68	1,320	89,760	
ｱﾝｶｰ定着工【歩掛見積参考資料】	φ35×260 下向き	箇所	68	1,786	121,448	
注入材	エポキシ	ｋｇ	11.9	3,400	40,460	
計					251,668	
単価					3,701	円／孔

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－128号	鉄筋	SD345 D16～25	単位	t	数量	1	単価	177,600

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋工［市場単価］	SD345 D16～25 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む)	t	1	177,600	177,600	
計					177,600	
単価					177,600	円／t

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－129号	型枠	一般型枠	単位	m2	数量	1	単価	10,870

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
型枠	一般型枠 鉄筋・無筋構造物	ｍ２	1	10,870	10,870	
計					10,870	
単価					10,870	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－130号	ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉) 一般養生	単位	m3	数量	1	単価	41,350

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート	無筋･鉄筋構造物 ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設 24-12-25(20)(高炉) 一般養生	ｍ３	1	41,350	41,350	
計					41,350	
単価					41,350	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－131号	ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ26×250 下向き	単位	孔	数量	64	単価	3,266

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート削孔（電動ハンマドリル）	200㎜以上400㎜以下	孔	64	1,086	69,504	
ｱﾝｶｰ定着工【歩掛見積参考資料】	φ26×250 下向き	箇所	64	1,786	114,304	
注入材	エポキシ	ｋｇ	7.4	3,400	25,160	
計					208,968	
単価					3,266	円／孔

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－132号	ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉)一般養生	単位	m3	数量	1	単価	31,850

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート	無筋・鉄筋構造物 ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ車打設 24-12-25(20)(高炉) 10m3以上100m3未満 一般養生 延長無し	ｍ３	1	31,850	31,850	
計					31,850	
単価					31,850	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－133号	鉄筋	SD345 D16～25	単位	t	数量	0.6	単価	214,400

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋工［市場単価］	SD345 D16～25 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む)	t	0.6	177,600	106,560	
機械式鉄筋定着加工費	鉄筋端部加工費 D16 1m超え～2m以下	箇所	32	337	10,784	
機械式鉄筋定着加工費	鉄筋端部加工費 D16 2m超え～3m以下	箇所	28	402	11,256	
計					128,600	
単価					214,400	円／t

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－134号	ﾌﾚｱ溶接	D16+D16	単位	箇所	数量	1	単価	908

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
フレア溶接工	無し 無し V型 下向き・横向き D16×D16	箇所	1	908	908	
計					908	
単価					908	円／箇所

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－135号	型枠	一般型枠	単位	m2	数量	1	単価	10,870

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
型枠	一般型枠 鉄筋･無筋構造物	ｍ２	1	10,870	10,870	
計					10,870	
単価					10,870	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－136号	型枠	一般型枠(合板円形型枠)	単位	m2	数量	1	単価	14,710

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
型枠	一般型枠 鉄筋・無筋構造物(合板円形型枠使用)	m２	1	14,710	14,710	
計					14,710	
単価					14,710	円／m2

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－137号	支承箱抜き	円筒型枠 Φ250×730	単位	箇所	数量	1	単価	782.6

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
【支承箱抜き工(円形型枠)の工事費は未計上】						
円形型枠	250×4.0	m	0.73	1,072	782.56	
計					782.56	
単価					782.6	円／箇所

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－138号	足場	安全ﾈｯﾄ必要 手摺先行型枠組足場	単位	掛m2	数量	1	単価	5,870

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
足場工	手摺先行型枠組足場 必要 標準	掛ｍ２	1	5,870	5,870	
計					5,870	
単価					5,870	円／掛m2

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－139号	ｺﾝｸﾘｰﾄ切断(乾式ﾜｲﾔｰｿｰｲﾝｸﾞ)	水平切断	単位	m2	数量	1	単価	154,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ｺﾝｸﾘｰﾄ切断(乾式ﾜｲﾔｰｿｰｲﾝｸﾞ)【歩掛見積参考資料】	水平切折	m2	1	154,200	154,200	
【乾式装置(集塵機他 一式)の損料は未計上】						
計					154,200	
単価					154,200	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－140号	ｺﾝｸﾘｰﾄ吊卸		単位	m3	数量	1	単価	9,037

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
切断ｺﾝｸﾘｰﾄ吊卸工【歩掛見積参考資料】	水平切断後50tｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝによる地面までの吊卸	m3	1	9,037	9,037	
計					9,037	
単価					9,037	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－141号	ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物 機械施工	単位	m3	数量	1	単価	21,260

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
構造物とりこわし	鉄筋構造物 機械施工 無し 無し 必要	ｍ３	1	21,260	21,260	
計					21,260	
単価					21,260	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－142号	殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	単位	m3	数量	1	単価	4,212

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 有り 23.2km以下 全ての費用	ｍ３	1	4,212	4,212	
計					4,212	
単価					4,212	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－143号	殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	3,446

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし 機械積込 有り 23.2km以下 全ての費用	ｍ３	1	3,446	3,446	
計					3,446	
単価					3,446	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－144号	殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	単位	m3	数量	1	単価	[redacted]

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（ｍ３）		ｍ３	1	[redacted]	[redacted]	
計					[redacted]	
単価					[redacted]	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－145号	殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	[redacted]

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（ｍ３）		ｍ３	1	[redacted]	[redacted]	
計					[redacted]	
単価					[redacted]	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－146号	床掘り	土砂 土留なし	単位	m3	数量	1	単価	253.4

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
床掘り	土砂 標準 無し 無し	m３	1	253.4	253.4	
計					253.4	
単価					253.4	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－147号	埋戻し	土砂 最大埋戻幅4m以上	単位	m3	数量	1	単価	1,160

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
埋戻し	最大埋戻幅4m以上	m３	1	1,160	1,160	
計					1,160	
単価					1,160	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－148号	下地処理 ﾌｰﾁﾝｸﾞ部	ﾁｯﾋﾟﾝｸﾞ	単位	m2	数量	1	単価	8,201

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
下地処理工(ﾌｰﾁﾝｸﾞ部)【歩掛見積参考資料】	ﾁｯﾋﾟﾝｸﾞ	m2	1	8,201	8,201	
計					8,201	
単価					8,201	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－149号	ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ35×260 下向き	単位	孔	数量	68	単価	3,701

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート削孔（さく岩機）	200㎜以上300㎜未満	孔	68	1,320	89,760	
ｱﾝｶｰ定着工【歩掛見積参考資料】	φ35×260 下向き	箇所	68	1,786	121,448	
注入材	エポキシ	ｋｇ	11.9	3,400	40,460	
計					251,668	
単価					3,701	円／孔

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－150号	鉄筋	SD345 D16～25	単位	t	数量	1	単価	177,600

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋工［市場単価］	SD345 D16～25 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む)	t	1	177,600	177,600	
計					177,600	
単価					177,600	円／t

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－151号	型枠	一般型枠	単位	m2	数量	1	単価	10,870

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
型枠	一般型枠 鉄筋・無筋構造物	ｍ２	1	10,870	10,870	
計					10,870	
単価					10,870	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－152号	ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉) 一般養生	単位	m3	数量	1	単価	41,350

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート	無筋･鉄筋構造物 ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設 24-12-25(20)(高炉) 一般養生	ｍ３	1	41,350	41,350	
計					41,350	
単価					41,350	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－153号	ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ26×250 下向き	単位	孔	数量	72	単価	3,264

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート削孔（電動ハンマドリル）	200㎜以上400㎜以下	孔	72	1,086	78,192	
ｱﾝｶｰ定着工【歩掛見積参考資料】	φ26×250 下向き	箇所	72	1,786	128,592	
注入材	エポキシ	ｋｇ	8.3	3,400	28,220	
計					235,004	
単価					3,264	円／孔

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－154号	ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉)一般養生	単位	m3	数量	1	単価	31,850

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート	無筋・鉄筋構造物 ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ車打設 24-12-25(20)(高炉) 10m3以上100m3未満 一般養生 延長無し	ｍ３	1	31,850	31,850	
計					31,850	
単価					31,850	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－155号	鉄筋	SD345 D16～25	単位	t	数量	0.61	単価	213,800

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋工［市場単価］	SD345 D16～25 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む)	t	0.61	177,600	108,336	
機械式鉄筋定着加工費	鉄筋端部加工費 D16 1m超え～2m以下	箇所	32	337	10,784	
機械式鉄筋定着加工費	鉄筋端部加工費 D16 2m超え～3m以下	箇所	28	402	11,256	
計					130,376	
単価					213,800	円／t

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－156号	ﾌﾚｱ溶接	D16+D16	単位	箇所	数量	1	単価	908

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
フレア溶接工	無し 無し V型 下向き・横向き D16×D16	箇所	1	908	908	
計					908	
単価					908	円／箇所

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－157号	型枠	一般型枠	単位	m2	数量	1	単価	10,870

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
型枠	一般型枠 鉄筋･無筋構造物	ｍ２	1	10,870	10,870	
計					10,870	
単価					10,870	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－158号	型枠	一般型枠(合板円形型枠)	単位	m2	数量	1	単価	14,710

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
型枠	一般型枠 鉄筋・無筋構造物(合板円形型枠使用)	m２	1	14,710	14,710	
計					14,710	
単価					14,710	円／m2

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－159号	支承箱抜き	円筒型枠 φ250×730	単位	箇所	数量	1	単価	782.6

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
【支承箱抜き工(円形型枠)の工事費は未計上】						
円形型枠	250×4.0	m	0.73	1,072	782.56	
計					782.56	
単価					782.6	円／箇所

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－160号	足場	安全ﾈｯﾄ必要 手摺先行型枠組足場	単位	掛m2	数量	1	単価	5,870

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
足場工	手摺先行型枠組足場 必要 標準	掛ｍ２	1	5,870	5,870	
計					5,870	
単価					5,870	円／掛m2

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－161号	ｺﾝｸﾘｰﾄ切断(乾式ﾜｲﾔｰｿｰｲﾝｸﾞ)	水平切断	単位	m2	数量	1	単価	154,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ｺﾝｸﾘｰﾄ切断(乾式ﾜｲﾔｰｿｰｲﾝｸﾞ)【歩掛見積参考資料】	水平切折	m2	1	154,200	154,200	
【乾式装置(集塵機他 一式)の損料は未計上】						
計					154,200	
単価					154,200	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－162号	ｺﾝｸﾘｰﾄ吊卸		単位	m3	数量	1	単価	9,037

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
切断ｺﾝｸﾘｰﾄ吊卸工【歩掛見積参考資料】	水平切断後50tｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝによる地面までの吊卸	m3	1	9,037	9,037	
計					9,037	
単価					9,037	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－163号	ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物 機械施工	単位	m3	数量	1	単価	21,260

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
構造物とりこわし	鉄筋構造物 機械施工 無し 無し 必要	ｍ３	1	21,260	21,260	
計					21,260	
単価					21,260	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－164号	殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	単位	m3	数量	1	単価	4,212

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 有り 23.2km以下 全ての費用	ｍ３	1	4,212	4,212	
計					4,212	
単価					4,212	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－165号	殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	3,446

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし 機械積込 有り 23.2km以下 全ての費用	ｍ３	1	3,446	3,446	
計					3,446	
単価					3,446	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－166号	殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	単位	m3	数量	1	単価	[redacted]

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（ｍ３）		ｍ３	1	[redacted]	[redacted]	
計					[redacted]	
単価					[redacted]	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－167号	殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	[redacted]

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（ｍ３）		ｍ３	1	[redacted]	[redacted]	
計					[redacted]	
単価					[redacted]	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－168号	床掘り	土砂 土留なし	単位	m3	数量	1	単価	253.4

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
床掘り	土砂 標準 無し 無し	m３	1	253.4	253.4	
計					253.4	
単価					253.4	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－169号	埋戻し	土砂 最大埋戻幅1m以上4m未満	単位	m3	数量	1	単価	2,151

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
埋戻し	最大埋戻幅1m以上4m未満	m３	1	2,151	2,151	
計					2,151	
単価					2,151	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－170号	埋戻し	土砂 最大埋戻幅4m以上	単位	m3	数量	1	単価	1,160

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
埋戻し	最大埋戻幅4m以上	ｍ３	1	1,160	1,160	
計					1,160	
単価					1,160	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－171号	下地処理 ﾌｰﾁﾝｸﾞ部	ﾁｯﾋﾟﾝｸﾞ	単位	m2	数量	1	単価	8,201

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
下地処理工(ﾌｰﾁﾝｸﾞ部)【歩掛見積参考資料】	ﾁｯﾋﾟﾝｸﾞ	m2	1	8,201	8,201	
計					8,201	
単価					8,201	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－172号	ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ35×260 下向き	単位	孔	数量	92	単価	3,698

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート削孔（さく岩機）	200㎜以上300㎜未満	孔	92	1,320	121,440	
ｱﾝｶｰ定着工【歩掛見積参考資料】	φ35×260 下向き	箇所	92	1,786	164,312	
注入材	エポキシ	ｋｇ	16	3,400	54,400	
計					340,152	
単価					3,698	円／孔

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－173号	ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ29×200 横向き	単位	孔	数量	104	単価	3,762

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート削孔（電動ハンマドリル）	200㎜以上400㎜以下	孔	104	1,086	112,944	
ｱﾝｶｰ定着工【歩掛見積参考資料】	φ29×200 横向き	箇所	104	2,313	240,552	
注入材	エポキシ	ｋｇ	11.1	3,400	37,740	
計					391,236	
単価					3,762	円／孔

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－174号	鉄筋	SD345 D16～25	単位	t	数量	2.09	単価	186,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋工［市場単価］	SD345 D16～25 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む)	t	2.09	177,600	371,184	
機械式鉄筋定着加工費	鉄筋端部加工費 D16 1m超え～2m以下	箇所	52	337	17,524	
計					388,708	
単価					186,000	円／t

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－175号	型枠	一般型枠	単位	m2	数量	1	単価	10,870

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
型枠	一般型枠 鉄筋・無筋構造物	ｍ２	1	10,870	10,870	
計					10,870	
単価					10,870	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－176号	ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉) 一般養生	単位	m3	数量	1	単価	41,350

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート	無筋･鉄筋構造物 ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設 24-12-25(20)(高炉) 一般養生	ｍ３	1	41,350	41,350	
計					41,350	
単価					41,350	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－177号	ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ29×295 下向き	単位	孔	数量	48	単価	3,404

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート削孔（電動ハンマドリル）	200㎜以上400㎜以下	孔	48	1,086	52,128	
ｱﾝｶｰ定着工【歩掛見積参考資料】	φ29×295 下向き	箇所	48	1,786	85,728	
注入材	エポキシ	ｋｇ	7.5	3,400	25,500	
計					163,356	
単価					3,404	円／孔

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－178号	ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉)一般養生	単位	m3	数量	1	単価	31,850

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート	無筋・鉄筋構造物 ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ車打設 24-12-25(20)(高炉) 10m3以上100m3未満 一般養生 延長無し	ｍ３	1	31,850	31,850	
計					31,850	
単価					31,850	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－179号	鉄筋	SD345 D16～25	単位	t	数量	0.49	単価	213,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋工［市場単価］	SD345 D16～25 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む)	t	0.49	177,600	87,024	
機械式鉄筋定着加工費	鉄筋端部加工費 D19 1m超え～2m以下	箇所	40	435	17,400	
計					104,424	
単価					213,200	円／t

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－180号	ﾌﾚｱ溶接	D19+D19	単位	箇所	数量	1	単価	1,025

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
フレア溶接工	無し 無し V型 下向き・横向き D19×D19	箇所	1	1,025	1,025	
計					1,025	
単価					1,025	円／箇所

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－181号	型枠	一般型枠	単位	m2	数量	1	単価	10,870

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
型枠	一般型枠 鉄筋･無筋構造物	ｍ２	1	10,870	10,870	
計					10,870	
単価					10,870	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－182号	型枠	一般型枠(合板円形型枠)	単位	m2	数量	1	単価	14,710

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
型枠	一般型枠 鉄筋・無筋構造物(合板円形型枠使用)	m２	1	14,710	14,710	
計					14,710	
単価					14,710	円／m2

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－183号	支承箱抜き	円筒型枠 φ250×730	単位	箇所	数量	1	単価	782.6

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
【支承箱抜き工(円形型枠)の工事費は未計上】						
円形型枠	250×4.0	m	0.73	1,072	782.56	
計					782.56	
単価					782.6	円／箇所

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－184号	足場	安全ﾈｯﾄ必要 手摺先行型枠組足場	単位	掛m2	数量	1	単価	5,870

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
足場工	手摺先行型枠組足場 必要 標準	掛ｍ２	1	5,870	5,870	
計					5,870	
単価					5,870	円／掛m2

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－185号	ｺﾝｸﾘｰﾄはつり	t=30cm	単位	m3	数量	1	単価	241,700

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ｺﾝｸﾘｰﾄはつり【歩掛見積参考資料】	t=30cm	m3	1	241,700	241,700	
計					241,700	
単価					241,700	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－186号	殻積込	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻	単位	m3	数量	1	単価	1,384

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
積込（コンクリート殻）	全ての費用	ｍ３	1	1,384	1,384	
計					1,384	
単価					1,384	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－187号	ｺﾝｸﾘｰﾄ切断(乾式ﾜｲﾔｰｿｰｲﾝｸﾞ)	水平切断	単位	m2	数量	1	単価	154,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ｺﾝｸﾘｰﾄ切断(乾式ﾜｲﾔｰｿｰｲﾝｸﾞ)【歩掛見積参考資料】	水平切折	m2	1	154,200	154,200	
【乾式装置(集塵機他 一式)の損料は未計上】						
計					154,200	
単価					154,200	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－188号	ｺﾝｸﾘｰﾄ吊卸		単位	m3	数量	1	単価	9,037

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
切断ｺﾝｸﾘｰﾄ吊卸工【歩掛見積参考資料】	水平切断後50tｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝによる地面までの吊卸	m3	1	9,037	9,037	
計					9,037	
単価					9,037	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－189号	ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物 機械施工	単位	m3	数量	1	単価	21,260

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
構造物とりこわし	鉄筋構造物 機械施工 無し 無し 必要	ｍ３	1	21,260	21,260	
計					21,260	
単価					21,260	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－190号	殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	単位	m3	数量	1	単価	4,212

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 有り 23.2km以下 全ての費用	ｍ３	1	4,212	4,212	
計					4,212	
単価					4,212	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－191号	殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	3,446

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし 機械積込 有り 23.2km以下 全ての費用	ｍ３	1	3,446	3,446	
計					3,446	
単価					3,446	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－192号	殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	単位	m3	数量	1	単価	[redacted]

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（ｍ３）		ｍ３	1	[redacted]	[redacted]	
計					[redacted]	
単価					[redacted]	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－193号	殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	[redacted]

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（ｍ３）		ｍ３	1	[redacted]	[redacted]	
計					[redacted]	
単価					[redacted]	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－194号	床掘り	土砂 土留なし	単位	m3	数量	1	単価	253.4

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
床掘り	土砂 標準 無し 無し	ｍ３	1	253.4	253.4	
計					253.4	
単価					253.4	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－195号	埋戻し	土砂 最大埋戻幅4m以上	単位	m3	数量	1	単価	1,160

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
埋戻し	最大埋戻幅4m以上	ｍ３	1	1,160	1,160	
計					1,160	
単価					1,160	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－196号	下地処理 ﾌｰﾁﾝｸﾞ部	ﾁｯﾋﾟﾝｸﾞ	単位	m2	数量	1	単価	8,201

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
下地処理工(ﾌｰﾁﾝｸﾞ部)【歩掛見積参考資料】	ﾁｯﾋﾟﾝｸﾞ	m2	1	8,201	8,201	
計					8,201	
単価					8,201	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－197号	ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ35×260 下向き	単位	孔	数量	92	単価	3,698

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート削孔（さく岩機）	200㎜以上300㎜未満	孔	92	1,320	121,440	
ｱﾝｶｰ定着工【歩掛見積参考資料】	φ35×260 下向き	箇所	92	1,786	164,312	
注入材	エポキシ	ｋｇ	16	3,400	54,400	
計					340,152	
単価					3,698	円／孔

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－198号	ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ29×200 横向き	単位	孔	数量	104	単価	3,762

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート削孔（電動ハンマドリル）	200㎜以上400㎜以下	孔	104	1,086	112,944	
ｱﾝｶｰ定着工【歩掛見積参考資料】	φ29×200 横向き	箇所	104	2,313	240,552	
注入材	エポキシ	ｋｇ	11.1	3,400	37,740	
計					391,236	
単価					3,762	円／孔

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－199号	鉄筋	SD345 D16～25	単位	t	数量	2.08	単価	186,100

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋工［市場単価］	SD345 D16～25 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む)	t	2.08	177,600	369,408	
機械式鉄筋定着加工費	鉄筋端部加工費 D16 1m超え～2m以下	箇所	52	337	17,524	
計					386,932	
単価					186,100	円／t

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－200号	型枠	一般型枠	単位	m2	数量	1	単価	10,870

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
型枠	一般型枠 鉄筋・無筋構造物	ｍ２	1	10,870	10,870	
計					10,870	
単価					10,870	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－201号	ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉) 一般養生	単位	m3	数量	1	単価	41,350

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート	無筋・鉄筋構造物 ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設 24-12-25(20)(高炉) 一般養生	ｍ３	1	41,350	41,350	
計					41,350	
単価					41,350	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－202号	ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ29×295 下向き	単位	孔	数量	48	単価	3,404

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート削孔（電動ハンマドリル）	200㎜以上400㎜以下	孔	48	1,086	52,128	
ｱﾝｶｰ定着工【歩掛見積参考資料】	φ29×295 下向き	箇所	48	1,786	85,728	
注入材	エポキシ	ｋｇ	7.5	3,400	25,500	
計					163,356	
単価					3,404	円／孔

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－203号	ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉)一般養生	単位	m3	数量	1	単価	31,850

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート	無筋・鉄筋構造物 ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ車打設 24-12-25(20)(高炉) 10m3以上100m3未満 一般養生 延長無し	ｍ３	1	31,850	31,850	
計					31,850	
単価					31,850	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－204号	鉄筋	SD345 D16～25	単位	t	数量	0.49	単価	213,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋工［市場単価］	SD345 D16～25 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む)	t	0.49	177,600	87,024	
機械式鉄筋定着加工費	鉄筋端部加工費 D19 1m超え～2m以下	箇所	40	435	17,400	
計					104,424	
単価					213,200	円／t

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－205号	ﾌﾚｱ溶接	D19+D19	単位	箇所	数量	1	単価	1,025

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
フレア溶接工	無し 無し V型 下向き・横向き D19×D19	箇所	1	1,025	1,025	
計					1,025	
単価					1,025	円／箇所

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－206号	型枠	一般型枠	単位	m2	数量	1	単価	10,870

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
型枠	一般型枠 鉄筋･無筋構造物	ｍ２	1	10,870	10,870	
計					10,870	
単価					10,870	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－207号	型枠	一般型枠(合板円形型枠)	単位	m2	数量	1	単価	14,710

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
型枠	一般型枠 鉄筋・無筋構造物(合板円形型枠使用)	m２	1	14,710	14,710	
計					14,710	
単価					14,710	円／m2

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－208号	支承箱抜き	円筒型枠 φ250×730	単位	箇所	数量	1	単価	782.6

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
【支承箱抜き工(円形型枠)の工事費は未計上】						
円形型枠	250×4.0	m	0.73	1,072	782.56	
計					782.56	
単価					782.6	円／箇所

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－209号	足場	安全ﾈｯﾄ必要 手摺先行型枠組足場	単位	掛m2	数量	1	単価	5,870

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
足場工	手摺先行型枠組足場 必要 標準	掛ｍ２	1	5,870	5,870	
計					5,870	
単価					5,870	円／掛m2

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－210号	ｺﾝｸﾘｰﾄはつり	t=30cm	単位	m3	数量	1	単価	241,700

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ｺﾝｸﾘｰﾄはつり【歩掛見積参考資料】	t=30cm	m3	1	241,700	241,700	
計					241,700	
単価					241,700	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－211号	殻積込	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻	単位	m3	数量	1	単価	1,384

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
積込（コンクリート殻）	全ての費用	ｍ３	1	1,384	1,384	
計					1,384	
単価					1,384	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－212号	ｺﾝｸﾘｰﾄ切断(乾式ﾜｲﾔｰｿｰｲﾝｸﾞ)	水平切断	単位	m2	数量	1	単価	154,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ｺﾝｸﾘｰﾄ切断(乾式ﾜｲﾔｰｿｰｲﾝｸﾞ)【歩掛見積参考資料】	水平切折	m2	1	154,200	154,200	
【乾式装置(集塵機他 一式)の損料は未計上】						
計					154,200	
単価					154,200	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－213号	ｺﾝｸﾘｰﾄ吊卸		単位	m3	数量	1	単価	9,037

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
切断ｺﾝｸﾘｰﾄ吊卸工【歩掛見積参考資料】	水平切断後50tｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝによる地面までの吊卸	m3	1	9,037	9,037	
計					9,037	
単価					9,037	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－214号	ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物 機械施工	単位	m3	数量	1	単価	21,260

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
構造物とりこわし	鉄筋構造物 機械施工 無し 無し 必要	ｍ３	1	21,260	21,260	
計					21,260	
単価					21,260	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－215号	殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	単位	m3	数量	1	単価	4,212

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 有り 23.2km以下 全ての費用	ｍ３	1	4,212	4,212	
計					4,212	
単価					4,212	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－216号	殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	3,446

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし 機械積込 有り 23.2km以下 全ての費用	ｍ３	1	3,446	3,446	
計					3,446	
単価					3,446	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－217号	殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	単位	m3	数量	1	単価	[redacted]

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（ｍ３）		ｍ３	1	[redacted]	[redacted]	
計					[redacted]	
単価					[redacted]	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－218号	殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	[redacted]

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（ｍ３）		ｍ３	1	[redacted]	[redacted]	
計					[redacted]	
単価					[redacted]	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－219号	床掘り	土砂 土留なし	単位	m3	数量	1	単価	253.4

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
床掘り	土砂 標準 無し 無し	ｍ３	1	253.4	253.4	
計					253.4	
単価					253.4	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－220号	床掘り	土砂 土留自立式	単位	m3	数量	1	単価	335.4

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
床掘り	土砂 標準 自立式 無し	ｍ３	1	335.4	335.4	
計					335.4	
単価					335.4	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－221号	埋戻し	土砂 最大埋戻幅1m以上4m未満	単位	m3	数量	1	単価	2,151

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
埋戻し	最大埋戻幅1m以上4m未満	ｍ３	1	2,151	2,151	
計					2,151	
単価					2,151	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－222号	埋戻し	土砂 最大埋戻幅4m以上	単位	m3	数量	1	単価	1,160

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
埋戻し	最大埋戻幅4m以上	ｍ３	1	1,160	1,160	
計					1,160	
単価					1,160	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－223号	積込(ﾙｰｽﾞ)	土砂 土量50,000m3未満	単位	m3	数量	1	単価	246.4

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
積込 (ルーズ)	土砂 土量50,000m3未満	m３	1	246.4	246.4	
計					246.4	
単価					246.4	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－224号	土砂等運搬 土取場～施工箇所	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	単位	m3	数量	1	単価	5,673

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂等運搬	標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 有り 60.0km以下	m３	1	5,673	5,673	
計					5,673	
単価					5,673	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－225号	下地処理 ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ・たて壁・ｳｨﾝｸﾞ部	ﾁｯﾋﾟﾝｸﾞ	単位	m2	数量	1	単価	8,201

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
下地処理工(ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ・たて壁・ｳｨﾝｸﾞ部)	ﾁｯﾋﾟﾝｸﾞ	m2	1	8,201	8,201	
下地処理工は【歩掛見積参考資料】						
計					8,201	
単価					8,201	円／m2

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－226号	下地処理 ﾌｰﾁﾝｸﾞ部	ﾁｯﾋﾟﾝｸﾞ	単位	m2	数量	1	単価	8,201

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
下地処理工(ﾌｰﾁﾝｸﾞ部)【歩掛見積参考資料】	ﾁｯﾋﾟﾝｸﾞ	m2	1	8,201	8,201	
計					8,201	
単価					8,201	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－227号	ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ200×61 下向き	単位	孔	数量	1	単価	8,886

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート削孔（コンクリート穿孔機）	180㎜以上200㎜以下 50㎜以上200㎜未満	孔	1	8,886	8,886	
計					8,886	
単価					8,886	円／孔

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－228号	ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ26×250 下向き	単位	孔	数量	114	単価	3,266

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート削孔（電動ハンマドリル）	200㎜以上400㎜以下	孔	114	1,086	123,804	
ｱﾝｶｰ定着工【歩掛見積参考資料】	φ26×250 下向き	箇所	114	1,786	203,604	
注入材	エポキシ	ｋｇ	13.2	3,400	44,880	
計					372,288	
単価					3,266	円／孔

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－229号	ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ32×340 下向き	単位	孔	数量	36	単価	4,162

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート削孔（さく岩機）	300㎜以上400㎜未満	孔	36	1,686	60,696	
ｱﾝｶｰ定着工【歩掛見積参考資料】	φ32×340 下向き	箇所	36	1,786	64,296	
注入材	エポキシ	ｋｇ	7.3	3,400	24,820	
計					149,812	
単価					4,162	円／孔

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－230号	ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ35×260 横向き	単位	孔	数量	128	単価	4,206

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート削孔（さく岩機）	200㎜以上300㎜未満	孔	128	1,320	168,960	
ｱﾝｶｰ定着工【歩掛見積参考資料】	φ35×260 横向き	箇所	128	2,293	293,504	
注入材	エポキシ	ｋｇ	22.3	3,400	75,820	
計					538,284	
単価					4,206	円／孔

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－231号	ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉) 一般養生	単位	m3	数量	1	単価	31,850

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート	無筋・鉄筋構造物 ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ車打設 24-12-25(20)(高炉) 10m3以上100m3未満 一般養生 延長無し	ｍ３	1	31,850	31,850	
計					31,850	
単価					31,850	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－232号	鉄筋	SD345 D13	単位	t	数量	0.31	単価	182,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋工［市場単価］	SD345 D13 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 補正無(一般構造物)	t	0.31	179,600	55,676	
機械式鉄筋定着加工費	鉄筋端部加工費 D13 1m以下	箇所	3	292	876	
計					56,552	
単価					182,500	円／t

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－233号	鉄筋	SD345 D16～25	単位	t	数量	2.35	単価	183,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋工［市場単価］	SD345 D16～25 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む)	t	2.35	177,600	417,360	
機械式鉄筋定着加工費	鉄筋端部加工費 D16 1m超え～2m以下	箇所	37	337	12,469	
計					429,829	
単価					183,000	円／t

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－234号	機械式継手	D13	単位	箇所	数量	1	単価	1,445

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
機械式継手工	ねじ節鉄筋継手 無し 無し D13×D13	箇所	1	1,445	1,445	
計					1,445	
単価					1,445	円／箇所

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－235号	機械式継手	D16	単位	箇所	数量	1	単価	1,609

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
機械式継手工	ねじ節鉄筋継手 無し 無し D16×D16	箇所	1	1,609	1,609	
計					1,609	
単価					1,609	円／箇所

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－236号	機械式継手	D22	単位	箇所	数量	1	単価	1,943

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
機械式継手工	ねじ節鉄筋継手 無し 無し D22×D22	箇所	1	1,943	1,943	
計					1,943	
単価					1,943	円／箇所

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－237号	ﾌﾚｱ溶接	D16+D16	単位	箇所	数量	1	単価	908

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
フレア溶接工	無し 無し V型 下向き・横向き D16×D16	箇所	1	908	908	
計					908	
単価					908	円／箇所

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－238号	型枠	一般型枠	単位	m2	数量	1	単価	10,870

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
型枠	一般型枠 鉄筋･無筋構造物	ｍ２	1	10,870	10,870	
計					10,870	
単価					10,870	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－239号	支承箱抜き	円筒型枠 φ200×532	単位	箇所	数量	1	単価	465.5

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
【支承箱抜き工(円形型枠)の工事費は未計上】						
円形型枠	200×4.0	m	0.532	875	465.5	
計					465.5	
単価					465.5	円／箇所

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－240号	支保	f≦40kN/m2[t≦120cm]	単位	空m3	数量	1	単価	5,728

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
パイプサポート支保・くさび結合支保	ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ支保 V≦40空m3 f≦40kN/m2[t≦120cm]	空ｍ３	1	5,728	5,728	
計					5,728	
単価					5,728	円／空m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－241号	足場	安全ﾈｯﾄ必要 手摺先行型枠組足場	単位	掛m2	数量	1	単価	5,870

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
足場工	手摺先行型枠組足場 必要 標準	掛ｍ２	1	5,870	5,870	
計					5,870	
単価					5,870	円／掛m2

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－242号	足場	安全ﾈｯﾄ必要 単管足場	単位	掛m2	数量	1	単価	5,542

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
足場工	単管足場 必要 標準	掛ｍ２	1	5,542	5,542	
計					5,542	
単価					5,542	円／掛m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－243号	ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗布		単位	橋	数量	1	単価	44,340

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
表面被覆工（塗装工法）プライマー塗布	22.8m2 2.28kg	橋	1	44,340	44,340	
計					44,340	
単価					44,340	円／橋

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－244号	下塗り（ﾊﾟﾃ塗布）		単位	橋	数量	1	単価	100,300

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
表面被覆工（塗装工法）下塗り（パテ塗布）	22.8m2 6.84kg	橋	1	100,300	100,300	
計					100,300	
単価					100,300	円／橋

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－245号	中塗り材塗布		単位	橋	数量	1	単価	117,300

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
表面被覆工（塗装工法）中塗り材塗布	22.8m2 7.296kg	橋	1	117,300	117,300	
計					117,300	
単価					117,300	円／橋

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－246号	上塗り材塗布		単位	橋	数量	1	単価	117,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
表面被覆工（塗装工法）上塗り材塗布	22.8m2 3.42kg	橋	1	117,500	117,500	
計					117,500	
単価					117,500	円／橋

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－247号	ｺﾝｸﾘｰﾄ切断(乾式ﾜｲﾔｰｿｰｲﾝｸﾞ)	水平切断	単位	m2	数量	1	単価	154,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ｺﾝｸﾘｰﾄ切断(乾式ﾜｲﾔｰｿｰｲﾝｸﾞ)【歩掛見積参考資料】	水平切折	m2	1	154,200	154,200	
【乾式装置(集塵機他 一式)の損料は未計上】						
計					154,200	
単価					154,200	円／m2

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－248号	ｺﾝｸﾘｰﾄ吊卸		単位	m3	数量	1	単価	9,037

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
切断ｺﾝｸﾘｰﾄ吊卸工【歩掛見積参考資料】	水平切断後50tｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝによる地面までの吊卸	m3	1	9,037	9,037	
計					9,037	
単価					9,037	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－249号	ｺﾝｸﾘｰﾄ切断(乾式ﾜｲﾔｰｿｰｲﾝｸﾞ)	垂直切断	単位	m2	数量	1	単価	163,600

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ｺﾝｸﾘｰﾄ切断(乾式ﾜｲﾔｰｿｰｲﾝｸﾞ)【歩掛見積参考資料】	垂直切折	m2	1	163,600	163,600	
【乾式装置(集塵機他 一式)の損料は未計上】						
計					163,600	
単価					163,600	円／m2

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－250号	ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物 機械施工	単位	m3	数量	1	単価	21,260

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
構造物とりこわし	鉄筋構造物 機械施工 無し 無し 必要	ｍ３	1	21,260	21,260	
計					21,260	
単価					21,260	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－251号	殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	単位	m3	数量	1	単価	4,212

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 有り 23.2km以下 全ての費用	ｍ３	1	4,212	4,212	
計					4,212	
単価					4,212	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－252号	殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	3,446

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし 機械積込 有り 23.2km以下 全ての費用	ｍ３	1	3,446	3,446	
計					3,446	
単価					3,446	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－253号	殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	単位	m3	数量	1	単価	[redacted]

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（ｍ３）		ｍ３	1	[redacted]	[redacted]	
計					[redacted]	
単価					[redacted]	円／m3

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－254号	殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	[redacted]

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（ｍ３）		ｍ３	1	[redacted]	[redacted]	
計					[redacted]	
単価					[redacted]	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－255号	左官工法	0.1m3未満 ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理有	単位	構造物	数量	1	単価	363,600

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
断面修復工（左官工法）	有り 0.1m3未満 0.014m3	構造物	1	363,600	363,600	
計					363,600	
単価					363,600	円／構造物

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－256号	ﾋｭｰﾑ管(B形管)	外圧管1種	単位	m	数量	10	単価	17,700

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ヒューム管（B形管）	据付 200mm 90° 巻き 有り 外圧管1種 18-8-25(20)(高炉) 全ての費用	m	10	17,700	177,000	
計					177,000	
単価					17,700	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－257号	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝	300B	単位	m	数量	10	単価	11,450

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
U型側溝	据付け 無し 無し 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄU型 JIS A 5372 300B 300×300×600 無し 無し 有り 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0	m	10	11,450	114,500	
計					114,500	
単価					11,450	円／m

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－258号	現場打ち集水桝	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	単位	箇所	数量	10	単価	56,230

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）	18-8-25(高炉) 0.28m3を超え0.30m3以下 ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設	箇所	10	56,230	562,300	
計					562,300	
単価					56,230	円／箇所

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－259号	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ集水桝	300用	単位	箇所	数量	10	単価	6,613

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
プレキャスト集水桝	据付 200kgを超え400kg以下 有り 全ての費用	基	10	6,613	66,130	
【プレキャスト集水桝（材料費）は未計上】						
計					66,130	
単価					6,613	円／箇所

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－260号	蓋	縞鋼板蓋 700×700	単位	枚	数量	10	単価	442.7

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40kg/枚以下 無し 無し	枚	10	442.7	4,427	
【縞鋼板蓋(材料費)は未計上】						
計					4,427	
単価					442.7	円／枚

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－261号	鋼矢板	III型 平均鋼矢板長さ 5m 鋼矢板打込長 4.5m 平均鋼矢板引抜長 4.5m	単位	枚	数量	1	単価	26,430

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼矢板圧入（Ｎｍａｘ≦２５）	陸上 III型 6m以下	枚	1	12,050	12,050	
鋼矢板引抜き	陸上 III型 6m以下	枚	1	7,267	7,267	
鋼矢板賃料（普通鋼矢板）	III型 5m/枚 111日 無 有 3650円 無 1回	枚	1	7,105	7,105	
計					26,422	
単価					26,430	円／枚

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－262号	鋼矢板	III型 平均鋼矢板長さ 8m 鋼矢板打込長 7.5m 平均鋼矢板引抜長 7.5m	単位	枚	数量	1	単価	52,740

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼矢板圧入（Ｎｍａｘ≦５０）	陸上 25<Nmax≦50 III型 9m以下	枚	1	27,790	27,790	
鋼矢板引抜き	陸上 III型 9m以下	枚	1	8,652	8,652	
鋼矢板賃料（普通鋼矢板）	III型 8m/枚 239日 無 有 3650円 無 1回	枚	1	16,290	16,290	
計					52,732	
単価					52,740	円／枚

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－263号	H鋼杭	H300 H鋼長さ(杭長)10.0m H鋼平均打込長9.5m H型鋼平均引抜長9.5m	単位	本	数量	1	単価	443,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
H鋼杭打込み工(油圧式ﾊﾞｲﾌﾞﾛﾊﾝﾏ)	H300 H鋼長さ(杭長)10.0m H鋼平均打込長9.5m	本	1	226,100	226,100	
H鋼杭打込み工は【歩掛見積参考資料】						
H鋼杭引抜き工(油圧式ﾊﾞｲﾌﾞﾛﾊﾝﾏ)	H300 H鋼長さ(杭長)10.0m H鋼平均引抜長9.5m	本	1	199,000	199,000	
H鋼杭引抜き工は【歩掛見積参考資料】						
H形鋼杭賃料	H300 10m/本 113日 無 有 3650円 無 1回	本	1	18,030	18,030	
計					443,130	
単価					443,200	円／本

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－264号	横矢板	松矢板 横矢板厚さ 0.085m	単位	m2	数量	1	単価	15,240

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
横矢板設置・撤去	設置･撤去 0.085m	ｍ２	1	15,240	15,240	
【横矢板（材料費）は歩掛見積参考資料】						
計					15,240	
単価					15,240	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－265号	横矢板固定材取付	ﾎｲｰﾙｱﾝｶｰ打込み含む	単位	箇所	数量	1	単価	9,618

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
【横矢板固定材取付工の工事費は未計上】						
等辺山形鋼	大形　ＳＳ４００　１２×１５０×１５０	t	0.073	120,000	8,760	
ﾎｰﾙｲﾝｱﾝｶｰ	本体打込み式 M16	本	6	143	858	
計					9,618	
単価					9,618	円／箇所

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－266号	油圧式杭圧入引抜機据付・解体	Ⅲ型	単位	回	数量	1	単価	227,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
油圧式杭圧入引抜機据付・解体	圧入(Nmax≦50) III型 陸上	回	1	160,500	160,500	
油圧式杭圧入引抜機据付・解体	引抜き III型 陸上	回	1	66,670	66,670	
計					227,170	
単価					227,200	円／回

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－267号	鋼矢板	III型 平均鋼矢板長さ 8m 鋼矢板打込長 7.5m 平均鋼矢板引抜長 7.5m	単位	枚	数量	1	単価	45,720

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼矢板圧入（Ｎｍａｘ≦５０）	陸上 25<Nmax≦50 III型 9m以下	枚	1	27,790	27,790	
鋼矢板引抜き	陸上 III型 9m以下	枚	1	8,652	8,652	
鋼矢板賃料（普通鋼矢板）	III型 8m/枚 65日 無 有 3650円 無 1回	枚	1	9,271	9,271	
計					45,713	
単価					45,720	円／枚

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－268号	油圧式杭圧入引抜機据付・解体	Ⅲ型	単位	回	数量	1	単価	227,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
油圧式杭圧入引抜機据付・解体	圧入(Nmax≦50) III型 陸上	回	1	160,500	160,500	
油圧式杭圧入引抜機据付・解体	引抜き III型 陸上	回	1	66,670	66,670	
計					227,170	
単価					227,200	円／回

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－269号	鋼矢板	III型 平均鋼矢板長さ 7.5m 鋼矢板打込長 7m 平均鋼矢板引抜長 7m	単位	枚	数量	48	単価	62,470

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼矢板圧入（Ｎｍａｘ≦５０）	陸上 25<Nmax≦50 III型 9m以下	枚	48	27,790	1,333,920	
鋼矢板引抜き	陸上 III型 9m以下	枚	35	8,652	302,820	
鋼矢板・H形鋼（埋設）	鋼矢板 中古品	t	5.85	180,000	1,053,000	
鋼矢板賃料（普通鋼矢板）	III型 7.5m/枚 68日 無 有 3650円 無 1回	枚	35	8,820	308,700	
計					2,998,440	
単価					62,470	円／枚

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－270号	鋼矢板切折	Ⅲ型	単位	箇所	数量	1	単価	6,909

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ガス切断	鋼矢板(II, III, IV, V, VL, IIw, IIIw, IVw, 10H, 25H型)	箇所	1	6,909	6,909	
計					6,909	
単価					6,909	円／箇所

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－271号	油圧式杭圧入引抜機据付・解体	Ⅲ型	単位	回	数量	1	単価	227,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
油圧式杭圧入引抜機据付・解体	圧入(Nmax≦50) III型 陸上	回	1	160,500	160,500	
油圧式杭圧入引抜機据付・解体	引抜き III型 陸上	回	1	66,670	66,670	
計					227,170	
単価					227,200	円／回

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－272号	現場発生品運搬	鋼矢板	単位	t	数量	1	単価	16,970

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場発生品及び支給品運搬	ﾄﾗｯｸ[ｸﾚｰﾝ装置付]ﾍﾞｰｽﾄﾗｯｸ2t積、吊能力2.9t 有り 11.5km以下	t	1	6,783	6,783	
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し	ﾄﾗｯｸ[ｸﾚｰﾝ装置付]ﾍﾞｰｽﾄﾗｯｸ2t積、吊能力2.9t	t	1	10,180	10,180	
計					16,963	
単価					16,970	円／t

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－273号	鋼矢板	III型 平均鋼矢板長さ 7m 鋼矢板打込長 6.5m 平均鋼矢板引抜長 6.5m	単位	枚	数量	1	単価	34,210

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼矢板圧入（Ｎｍａｘ≦２５）	陸上 III型 9m以下	枚	1	15,160	15,160	
鋼矢板引抜き	陸上 III型 9m以下	枚	1	8,652	8,652	
鋼矢板賃料（普通鋼矢板）	III型 7m/枚 122日 無 有 3650円 無 1回	枚	1	10,390	10,390	
計					34,202	
単価					34,210	円／枚

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－274号	鋼矢板	III型 平均鋼矢板長さ 6.5m 鋼矢板打込長 6m 平均鋼矢板引抜長 6m	単位	枚	数量	1	単価	37,230

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼矢板圧入（Ｎｍａｘ≦５０）	陸上 25<Nmax≦50 III型 6m以下	枚	1	22,980	22,980	
鋼矢板引抜き	陸上 III型 6m以下	枚	1	7,267	7,267	
鋼矢板賃料（普通鋼矢板）	III型 6.5m/枚 50日 無 有 3650円 無 1回	枚	1	6,976	6,976	
計					37,223	
単価					37,230	円／枚

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－275号	H鋼杭	H300 H鋼長さ(杭長)9.5m H鋼平均打込長9.0m H型鋼平均引抜長9.0m	単位	本	数量	1	単価	439,800

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
H鋼杭打込み工(油圧式ﾊﾞｲﾌﾞﾛﾊﾝﾏ)	H300 H鋼長さ(杭長)9.5m H鋼平均打込長9.0m	本	1	226,100	226,100	
H鋼杭打込み工は【歩掛見積参考資料】						
H鋼杭引抜き工(油圧式ﾊﾞｲﾌﾞﾛﾊﾝﾏ)	H300 H鋼長さ(杭長)9.5m H鋼平均引抜長9.0m	本	1	195,900	195,900	
H鋼杭引抜き工は【歩掛見積参考資料】						
H形鋼杭賃料	H300 9.5m/本 120日 無 有 3650円 無 1回	本	1	17,730	17,730	
計					439,730	
単価					439,800	円／本

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－276号	横矢板	松矢板 横矢板厚さ 0.11m	単位	m2	数量	1	単価	20,110

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
横矢板設置・撤去	設置･撤去 0.11m	ｍ２	1	20,110	20,110	
【横矢板（材料費）は歩掛見積参考資料】						
計					20,110	
単価					20,110	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－277号	横矢板固定材取付	ﾎｲｰﾙｱﾝｶｰ打込み含む	単位	箇所	数量	1	単価	9,618

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
【横矢板固定材取付工の工事費は未計上】						
等辺山形鋼	大形　ＳＳ４００　１２×１５０×１５０	t	0.073	120,000	8,760	
ﾎｰﾙｲﾝｱﾝｶｰ	本体打込み式 M16	本	6	143	858	
計					9,618	
単価					9,618	円／箇所

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－278号	油圧式杭圧入引抜機据付・解体	Ⅲ型	単位	回	数量	1	単価	227,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
油圧式杭圧入引抜機据付・解体	圧入(Nmax≦50) III型 陸上	回	1	160,500	160,500	
油圧式杭圧入引抜機据付・解体	引抜き III型 陸上	回	1	66,670	66,670	
計					227,170	
単価					227,200	円／回

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－279号	交通誘導警備員	交通誘導員B	単位	人日	数量	1	単価	17,960

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員B		人日	1	17,960	17,960	
計					17,960	
単価					17,960	円／人日

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－280号	建設機械運搬費		単位	台	数量	1	単価	160,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
貨物自動車による運搬（１車１回）	油圧式杭圧入引抜機 鋼矢板II･III･IV型用 11.4km 無 有 9100円	台	2	80,100	160,200	
計					160,200	
単価					160,200	円／台

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－281号	重建設機械分解組立費		単位	回	数量	1	単価	1,322,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
重建設機械分解組立輸送	分解組立+輸送(往復) ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ系 35t吊超80t吊以下(ﾀﾗﾑ平積0.6m3超2m3下) 標準(1.0)	回	1	1,322,000	1,322,000	
計					1,322,000	
単価					1,322,000	円／回

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－282号	仮設材運搬費 A1橋台		単位	t	数量	1	単価	12,320

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
【往路】						
仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬	関東・中部・近畿 11.4km 12m以内 各種(実数入力) 0無 無	t	1	4,660	4,660	
仮設材等の積込み，取卸し費	積込み,取卸し(片道分)	t	1	1,500	1,500	
【復路】						
仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬	関東・中部・近畿 11.4km 12m以内 各種(実数入力) 0無 無	t	1	4,660	4,660	
仮設材等の積込み，取卸し費	積込み,取卸し(片道分)	t	1	1,500	1,500	
計					12,320	
単価					12,320	円／t

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－283号	仮設材運搬費 P2橋脚		単位	t	数量	1	単価	12,320

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
【往路】						
仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬	関東・中部・近畿 11.4km 12m以内 各種(実数入力) 0無 無	t	1	4,660	4,660	
仮設材等の積込み，取卸し費	積込み,取卸し(片道分)	t	1	1,500	1,500	
【復路】						
仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬	関東・中部・近畿 11.4km 12m以内 各種(実数入力) 0無 無	t	1	4,660	4,660	
仮設材等の積込み，取卸し費	積込み,取卸し(片道分)	t	1	1,500	1,500	
計					12,320	
単価					12,320	円／t

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－284号	仮設材運搬費 P6橋脚		単位	t	数量	1	単価	12,320

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
【往路】						
仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬	関東・中部・近畿 11.4km 12m以内 各種(実数入力) 0無 無	t	1	4,660	4,660	
仮設材等の積込み，取卸し費	積込み,取卸し(片道分)	t	1	1,500	1,500	
【復路】						
仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬	関東・中部・近畿 11.4km 12m以内 各種(実数入力) 0無 無	t	1	4,660	4,660	
仮設材等の積込み，取卸し費	積込み,取卸し(片道分)	t	1	1,500	1,500	
計					12,320	
単価					12,320	円／t

１次単価表

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－285号	仮設材運搬費 A2橋台		単位	t	数量	1	単価	12,320

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
【往路】						
仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬	関東・中部・近畿 11.4km 12m以内 各種(実数入力) 0無 無	t	1	4,660	4,660	
仮設材等の積込み，取卸し費	積込み,取卸し(片道分)	t	1	1,500	1,500	
【復路】						
仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬	関東・中部・近畿 11.4km 12m以内 各種(実数入力) 0無 無	t	1	4,660	4,660	
仮設材等の積込み，取卸し費	積込み,取卸し(片道分)	t	1	1,500	1,500	
計					12,320	
単価					12,320	円／t

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	下地処理	無し 無し 無	単位	m２	数量	1	単価	3,936

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
下地処理 昼間	時間制約無 固定足場	m２	1	3,936.18	3,936	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					3,936	
単価					3,936	円／m２

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	プライマー塗布	無し 無し 無 標準以外 0.15kg	単位	m２	数量	1	単価	2,065

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
プライマー塗布 昼間	時間制約無 固定足場	m２	1	1,653.42	1,653	
プライマー		ｋｇ	0.15	2,750	412	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					2,065	
単価					2,065	円／m２

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	不陸修正	無し 無し 無 標準以外 1kg	単位	ｍ２	数量	1	単価	5,602

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
不陸修正 昼間	時間制約無 固定足場	ｍ２	1	3,822.96	3,822	
エポキシ樹脂パテ		ｋｇ	1	1,780	1,780	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					5,602	
単価					5,602	円／ｍ２

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	連続繊維シート本体貼付	無し 無し 炭素繊維 1方向・高強度 目付200g/m2 引張3400N/mm2 無 標準	単位	m２	数量	1	単価	11,910

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
連続繊維シート本体貼付 昼間	制約無 200以上400g/m2未満 固定足場	m２	1	4,569.6	4,569	
炭素繊維シート	1方向高強度　目付量200g/m2　引張強度3,400N/mm2	m２	1.07	5,140	5,499	
エポキシ樹脂含浸材		ｋｇ	0.67	2,750	1,842	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					11,910	
単価					11,910	円／m２

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	連続繊維シート本体貼付	無し 無し 炭素繊維 1方向・高強度 目付600g/m2 引張3400N/mm2 無 標準以外 2層	単位	m２	数量	1	単価	47,150

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
連続繊維シート本体貼付 昼間	制約無 600以上850g/m2未満 固定足場	m２	2	7,617.36	15,234	
炭素繊維シート	1方向高強度　目付量600g/m2　引張強度3,400N/mm2	m２	2.14	11,700	25,038	
エポキシ樹脂含浸材		ｋｇ	2.5	2,750	6,875	
諸雑費（まるめ）		式	1		3	
計					47,150	
単価					47,150	円／m２

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	仕上げﾓﾙﾀﾙ・塗装（ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ＋ﾓﾙﾀﾙ用上塗り）	無し 無し 無 標準 標準	単位	ｍ２	数量	1	単価	6,306

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仕上げモルタル・塗装（モルタル＋上塗り）昼間	時間制約無 厚1mm 固定足場	ｍ２	1	4,369.68	4,369	
仕上げモルタル	ポリマーセメント	ｋｇ	2.31	490	1,131	
水性アクリル樹脂系	モルタル用上塗り	ｋｇ	0.32	2,520	806	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					6,306	
単価					6,306	円／ｍ２

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	連続繊維シート本体貼付	無し 無し 炭素繊維 1方向・高強度 目付450g/m2 引張3400N/mm2 無 標準以外 2層	単位	m２	数量	1	単価	36,590

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
連続繊維シート本体貼付 昼間	制約無 400以上600g/m2未満 固定足場	m２	2	5,719.14	11,438	
炭素繊維シート	1方向高強度　目付量450g/m2　引張強度3,400N/mm2	m２	2.14	9,080	19,431	
エポキシ樹脂含浸材		ｋｇ	2.08	2,750	5,720	
諸雑費（まるめ）		式	1		1	
計					36,590	
単価					36,590	円／m２

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	連続繊維シート本体貼付	無し 無し 炭素繊維 1方向・高強度 目付400g/m2 引張3400N/mm2 無 標準	単位	m２	数量	1	単価	17,570

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
連続繊維シート本体貼付 昼間	制約無 400以上600g/m2未満 固定足場	m２	1	5,719.14	5,719	
炭素繊維シート	1方向高強度　目付量400g/m2　引張強度3,400N/mm2	m２	1.07	8,500	9,095	
エポキシ樹脂含浸材		ｋｇ	1	2,750	2,750	
諸雑費（まるめ）		式	1		6	
計					17,570	
単価					17,570	円／m２

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	連続繊維シート本体貼付	無し 無し 炭素繊維 1方向・高強度 目付300g/m2 引張3400N/mm2 無 標準	単位	m２	数量	1	単価 14,940

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
連続繊維シート本体貼付 昼間	制約無 200以上400g/m2未満 固定足場	m２	1	4,569.6	4,569	
炭素繊維シート	1方向高強度　目付量300g/m2　引張強度3,400N/mm2	m２	1.07	7,500	8,025	
エポキシ樹脂含浸材		ｋｇ	0.85	2,750	2,337	
諸雑費（まるめ）		式	1		9	
計					14,940	
単価					14,940	円／m２

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	連続繊維シート本体貼付	無し 無し 炭素繊維 1方向・高強度 目付600g/m2 引張3400N/mm2 無 標準	単位	m２	数量	1	単価	23,580

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
連続繊維シート本体貼付 昼間	制約無 600以上850g/m2未満 固定足場	m２	1	7,617.36	7,617	
炭素繊維シート	1方向高強度　目付量600g/m2　引張強度3,400N/mm2	m２	1.07	11,700	12,519	
エポキシ樹脂含浸材		ｋｇ	1.25	2,750	3,437	
諸雑費（まるめ）		式	1		7	
計					23,580	
単価					23,580	円／m２

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	下地処理(ﾌｰﾁﾝｸﾞ部)【歩掛見積参考資料】	ﾁｯﾋﾟﾝｸﾞ	単位	m2	数量	10	単価	8,201

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.5	33,048	16,524	
特殊作業員		人	1.5	30,498	45,747	
普通作業員		人	0.5	27,336	13,668	
諸雑費（率＋まるめ） 8%		式	1		6,071	
計					82,010	
単価					8,201	円／m2

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	アンカー定着工【歩掛見積参考資料】	φ26×250 下向き	単位	箇所	数量	100	単価	1,786

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	1.47	33,048	48,580	
特殊作業員		人	2.94	30,498	89,664	
普通作業員		人	1.47	27,336	40,183	
諸雑費（率＋まるめ） 0.1%		式	1		173	
計					178,600	
単価					1,786	円／箇所

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	アンカー定着工【歩掛見積参考資料】	φ29×200 横向き	単位	箇所	数量	100	単価	2,313

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	1.89	33,048	62,460	
特殊作業員		人	3.77	30,498	114,977	
普通作業員		人	1.89	27,336	51,665	
諸雑費（率＋まるめ） 1%		式	1		2,198	
計					231,300	
単価					2,313	円／箇所

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鉄筋工［市場単価］	SD345 D13 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む) 補正無(一般構造物)	単位	t	数量	1	単価 179,600

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋コンクリート用棒鋼	ＳＤ３４５　Ｄ１３	t	1.03	110,000	113,300	
鉄筋工	加工・組立共　一般構造物	t	1	66,300	66,300	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					179,600	
単価					179,600	円／ｔ

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鉄筋工［市場単価］	SD345 D16～25 一般構造物 10t以上(標準) 無 無 無 無 補正無(鉄筋割合10%未満含む)	単位	t	数量	1	単価 177,600

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋コンクリート用棒鋼	ＳＤ３４５　Ｄ１６～２５	t	1.03	108,000	111,240	
鉄筋工	加工・組立共　一般構造物	t	1	66,300	66,300	
諸雑費（まるめ）		式	1		60	
計					177,600	
単価					177,600	円／ｔ

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	下地処理工(ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ・たて壁・ｳｨﾝｸﾞ部)	ﾁｯﾋﾟﾝｸﾞ	単位	m2	数量	10	単価	8,201

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.5	33,048	16,524	
特殊作業員		人	1.5	30,498	45,747	
普通作業員		人	0.5	27,336	13,668	
諸雑費（率＋まるめ） 8%		式	1		6,071	
計					82,010	
単価					8,201	円／m2

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	アンカー定着工【歩掛見積参考資料】	φ26×250 下向き	単位	箇所	数量	100	単価	1,786

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	1.47	33,048	48,580	
特殊作業員		人	2.94	30,498	89,664	
普通作業員		人	1.47	27,336	40,183	
諸雑費（率＋まるめ） 0.1%		式	1		173	
計					178,600	
単価					1,786	円／箇所

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	アンカー定着工【歩掛見積参考資料】	φ32×340 下向き	単位	箇所	数量	100	単価	1,786

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	1.47	33,048	48,580	
特殊作業員		人	2.94	30,498	89,664	
普通作業員		人	1.47	27,336	40,183	
諸雑費（率＋まるめ） 0.1%		式	1		173	
計					178,600	
単価					1,786	円／箇所

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	アンカー定着工【歩掛見積参考資料】	φ35×260 横向き	単位	箇所	数量	100	単価	2,313

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	1.89	33,048	62,460	
特殊作業員		人	3.77	30,498	114,977	
普通作業員		人	1.89	27,336	51,665	
諸雑費（率＋まるめ） 1%		式	1		2,198	
計					231,300	
単価					2,313	円／箇所

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	機械式継手工	ねじ節鉄筋継手 無し 無し D13×D13	単位	箇所	数量	1	単価	1,445

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ねじ節鉄筋継手 昼間	時間制約無 有機ｹﾞﾗｳﾄ材･ﾛｯｸﾅｯﾄ無 D13×D13	箇所	1	455.94	455	
機械式継手	ねじ節鉄筋継手 D13 土木用	組	1	990	990	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					1,445	
単価					1,445	円／箇所

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	機械式継手工	ねじ節鉄筋継手 無し 無し D16×D16	単位	箇所	数量	1	単価	1,609

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ねじ節鉄筋継手 昼間	時間制約無 有機ｸﾞﾗｳﾄ材･ﾛｯｸﾅｯﾄ無 D16×D16	箇所	1	549.78	549	
機械式継手	ねじ節鉄筋継手 D16 土木用	組	1	1,060	1,060	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					1,609	
単価					1,609	円／箇所

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	機械式継手工	ねじ節鉄筋継手 無し 無し D22×D22	単位	箇所	数量	1	単価	1,943

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ねじ節鉄筋継手 昼間	時間制約無 有機ｹﾞﾗｳﾄ材･ﾛｯｸﾅｯﾄ無 D22×D22	箇所	1	703.8	703	
機械式継手	ねじ節鉄筋継手 D22 土木用	組	1	1,240	1,240	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					1,943	
単価					1,943	円／箇所

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	フレア溶接工	無し 無し V型 下向き・横向き D16×D16	単位	箇所	数量	1	単価	908

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
フレア溶接工　V型溶接　昼間	時間的制約無　下向き・横向き　D16×D16	箇所	1	908.82	908	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					908	
単価					908	円／箇所

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	パイプサポート支保・くさび結合支保	ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ支保 V≦40空m3 f≦40kN/m2[t≦120cm]	単位	空ｍ３	数量	100	単価	5,728

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	2.9	33,048	95,839	
型わく工		人	5.3	32,334	171,370	
とび工		人	2.5	33,558	83,895	
普通作業員		人	5.7	27,336	155,815	
諸雑費（率＋まるめ） 13%		式	1		65,881	
計					572,800	
単価					5,728	円／空ｍ３

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	足場工	手摺先行型枠組足場 必要 標準	単位	掛m２	数量	100	単価	5,870

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	1.6	33,048	52,876	
とび工		人	8.5	33,558	285,243	
普通作業員		人	1.3	27,336	35,536	
ラフテレーンクレーン［油圧伸縮ジブ型］	２５ｔ吊	日	1.4	53,200	74,480	
諸雑費（率＋まるめ） 31%		式	1		138,865	
計					587,000	
単価					5,870	円／掛m２

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	表面被覆工（塗装工法）プライマー塗布	25m2 2.5kg	単位	橋	数量	1	単価	46,180

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.31	33,048	10,244	
特殊作業員		人	0.62	30,498	18,908	
普通作業員		人	0.31	27,336	8,474	
ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾌﾟﾗｲﾏｰ	CC-B	ｋｇ	2.5	2,520	6,300	
諸雑費（率＋まるめ） 6%		式	1		2,254	
計					46,180	
単価					46,180	円／橋

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	表面被覆工（塗装工法）下塗り（パテ塗布）	25m2 7.5kg	単位	橋	数量	1	単価	103,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.66	33,048	21,811	
特殊作業員		人	1.32	30,498	40,257	
普通作業員		人	0.66	27,336	18,041	
ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾊﾟﾃ	CC-B	ｋｇ	7.5	2,450	18,375	
諸雑費（率＋まるめ） 6%		式	1		4,716	
計					103,200	
単価					103,200	円／橋

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	表面被覆工（塗装工法）中塗り材塗布	25m2 8kg	単位	橋	数量	1	単価	122,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.76	33,048	25,116	
特殊作業員		人	1.52	30,498	46,356	
普通作業員		人	0.76	27,336	20,775	
柔軟形ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料中塗	CC-B	ｋｇ	8	3,030	24,240	
諸雑費（率＋まるめ） 6%		式	1		5,513	
計					122,000	
単価					122,000	円／橋

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	表面被覆工（塗装工法）上塗り材塗布	25m2 3.75kg	単位	橋	数量	1	単価	122,300

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.76	33,048	25,116	
特殊作業員		人	1.52	30,498	46,356	
普通作業員		人	0.76	27,336	20,775	
柔軟形ふっ素樹脂塗料上塗	CC-B	ｋｇ	3.75	6,540	24,525	
諸雑費（率＋まるめ） 6%		式	1		5,528	
計					122,300	
単価					122,300	円／橋

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ｺﾝｸﾘｰﾄはつり【歩掛見積参考資料】	t=30cm	単位	m3	数量	1	単価	241,700

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	1	33,048	33,048	
特殊作業員		人	4	30,498	121,992	
普通作業員		人	2	27,336	54,672	
空気圧縮機運転	ｴﾝｼﾞﾝｺﾝﾌﾟﾚｯｻ 5m3/分	日	2	8,113	16,226	
諸雑費（率＋まるめ） 7%		式	1		15,762	
計					241,700	
単価					241,700	円／m3

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ｺﾝｸﾘｰﾄ切断(乾式ﾜｲﾔｰｿｰｲﾝｸﾞ)【歩掛見積参考資料】	水平切折	単位	m2	数量	10	単価	154,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	2.71	33,048	89,560	
特殊作業員		人	2.71	30,498	82,649	
普通作業員		人	2.71	27,336	74,080	
ｺﾝｸﾘｰﾄ壁面ｶｯﾀ損料	直付式ﾜｲﾔｰｿｰ 2m	日	2.71	47,000	127,370	
発動発電機運転	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ駆動 出力45kVA	日	2.71	7,514	20,362	
ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞﾜｲﾔｰ		m	19.7	50,000	985,000	
諸雑費（率＋まるめ） 41.41%		式	1		162,979	
計					1,542,000	
単価					154,200	円／m2

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	切断ｺﾝｸﾘｰﾄ吊卸工【歩掛見積参考資料】	水平切断後50tｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝによる地面までの吊卸	単位	m3	数量	100	単価 9,037

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.57	33,048	18,837	
特殊作業員		人	11.43	30,498	348,592	
ラフテレーンクレーン［油圧伸縮ジブ型］	５０ｔ吊	日	5.71	92,000	525,320	
諸雑費（率＋まるめ） 3%		式	1		10,951	
計					903,700	
単価					9,037	円／m3

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ｺﾝｸﾘｰﾄ切断(乾式ﾜｲﾔｰｿｰｲﾝｸﾞ)【歩掛見積参考資料】	垂直切折	単位	m2	数量	10	単価	163,600

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	3.17	33,048	104,762	
特殊作業員		人	3.17	30,498	96,678	
普通作業員		人	3.17	27,336	86,655	
ｺﾝｸﾘｰﾄ壁面ｶｯﾀ損料	直付式ﾜｲﾔｰｿｰ 2m	日	3.17	47,000	148,990	
発動発電機運転	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ駆動 出力45kVA	日	3.17	7,514	23,819	
ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞﾜｲﾔｰ		m	19.71	50,000	985,500	
諸雑費（率＋まるめ） 41.31%		式	1		189,596	
計					1,636,000	
単価					163,600	円／m2

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	構造物とりこわし	鉄筋構造物 機械施工 無し 無し 必要	単位	m３	数量	1	単価	21,260

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋構造物	昼間　機械施工　制約無	m３	1	21,260.6	21,260	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					21,260	
単価					21,260	円／m３

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	処分費（m３）		単位	m３	数量	100	単価	[redacted]

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(有筋)	埼玉46（株)ﾀｶﾁﾎ	m３	100	[redacted]	[redacted]	
計					[redacted]	
単価					[redacted]	円／m３

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	処分費（m３）		単位	m３	数量	100	単価	[redacted]

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	埼玉46 (株)ﾀｶﾁﾎ	m３	100	[redacted]	[redacted]	
計					[redacted]	
単価					[redacted]	円／m３

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	アンカー定着工【歩掛見積参考資料】	φ29×295 下向き	単位	箇所	数量	100	単価	1,786

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	1.47	33,048	48,580	
特殊作業員		人	2.94	30,498	89,664	
普通作業員		人	1.47	27,336	40,183	
諸雑費（率＋まるめ） 0.1%		式	1		173	
計					178,600	
単価					1,786	円／箇所

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	フレア溶接工	無し 無し V型 下向き・横向き D19×D19	単位	箇所	数量	1	単価	1,025

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
フレア溶接工　V型溶接　昼間	時間的制約無　下向き・横向き　D19×D19	箇所	1	1,025.1	1,025	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					1,025	
単価					1,025	円／箇所

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	下地処理工(ﾌｰﾁﾝｸﾞ部)【歩掛見積参考資料】	ﾁｯﾋﾟﾝｸﾞ	単位	m2	数量	10	単価	8,201

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.5	33,048	16,524	
特殊作業員		人	1.5	30,498	45,747	
普通作業員		人	0.5	27,336	13,668	
諸雑費（率＋まるめ） 8%		式	1		6,071	
計					82,010	
単価					8,201	円／m2

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	アンカー定着工【歩掛見積参考資料】	φ35×260 下向き	単位	箇所	数量	100	単価	1,786

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	1.47	33,048	48,580	
特殊作業員		人	2.94	30,498	89,664	
普通作業員		人	1.47	27,336	40,183	
諸雑費（率＋まるめ） 0.1%		式	1		173	
計					178,600	
単価					1,786	円／箇所

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	アンカー定着工【歩掛見積参考資料】	φ35×260 下向き	単位	箇所	数量	100	単価	1,786

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	1.47	33,048	48,580	
特殊作業員		人	2.94	30,498	89,664	
普通作業員		人	1.47	27,336	40,183	
諸雑費（率＋まるめ） 0.1%		式	1		173	
計					178,600	
単価					1,786	円／箇所

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	アンカー定着工【歩掛見積参考資料】	φ26×250 下向き	単位	箇所	数量	100	単価	1,786

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	1.47	33,048	48,580	
特殊作業員		人	2.94	30,498	89,664	
普通作業員		人	1.47	27,336	40,183	
諸雑費（率＋まるめ） 0.1%		式	1		173	
計					178,600	
単価					1,786	円／箇所

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	アンカー定着工【歩掛見積参考資料】	φ26×250 下向き	単位	箇所	数量	100	単価	1,786

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	1.47	33,048	48,580	
特殊作業員		人	2.94	30,498	89,664	
普通作業員		人	1.47	27,336	40,183	
諸雑費（率＋まるめ） 0.1%		式	1		173	
計					178,600	
単価					1,786	円／箇所

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	アンカー定着工【歩掛見積参考資料】	φ35×260 下向き	単位	箇所	数量	100	単価	1,786

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	1.47	33,048	48,580	
特殊作業員		人	2.94	30,498	89,664	
普通作業員		人	1.47	27,336	40,183	
諸雑費（率＋まるめ） 0.1%		式	1		173	
計					178,600	
単価					1,786	円／箇所

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	アンカー定着工【歩掛見積参考資料】	φ29×200 横向き	単位	箇所	数量	100	単価	2,313

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	1.89	33,048	62,460	
特殊作業員		人	3.77	30,498	114,977	
普通作業員		人	1.89	27,336	51,665	
諸雑費（率＋まるめ） 1%		式	1		2,198	
計					231,300	
単価					2,313	円／箇所

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	アンカー定着工【歩掛見積参考資料】	φ26×250 下向き	単位	箇所	数量	100	単価	1,786

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	1.47	33,048	48,580	
特殊作業員		人	2.94	30,498	89,664	
普通作業員		人	1.47	27,336	40,183	
諸雑費（率＋まるめ） 0.1%		式	1		173	
計					178,600	
単価					1,786	円／箇所

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	アンカー定着工【歩掛見積参考資料】	φ32×340 下向き	単位	箇所	数量	100	単価	1,786

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	1.47	33,048	48,580	
特殊作業員		人	2.94	30,498	89,664	
普通作業員		人	1.47	27,336	40,183	
諸雑費（率＋まるめ） 0.1%		式	1		173	
計					178,600	
単価					1,786	円／箇所

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	アンカー定着工【歩掛見積参考資料】	φ35×260 横向き	単位	箇所	数量	100	単価	2,293

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	1.89	33,048	62,460	
特殊作業員		人	3.77	30,498	114,977	
普通作業員		人	1.89	27,336	51,665	
諸雑費（率＋まるめ） 0.1%		式	1		198	
計					229,300	
単価					2,293	円／箇所

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	足場工	単管足場 必要 標準	単位	掛ｍ２	数量	100	単価	5,542

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	1.9	33,048	62,791	
とび工		人	8.4	33,558	281,887	
普通作業員		人	1.8	27,336	49,204	
ラフテレーンクレーン［油圧伸縮ジブ型］	２５ｔ吊	日	0.8	53,200	42,560	
諸雑費（率＋まるめ） 27%		式	1		117,758	
計					554,200	
単価					5,542	円／掛ｍ２

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	表面被覆工（塗装工法）プライマー塗布	22.8m2 2.28kg	単位	橋	数量	1	単価	44,340

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.3	33,048	9,914	
特殊作業員		人	0.6	30,498	18,298	
普通作業員		人	0.3	27,336	8,200	
ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾌﾟﾗｲﾏｰ	CC-B	ｋｇ	2.28	2,520	5,745	
諸雑費（率＋まるめ） 6%		式	1		2,183	
計					44,340	
単価					44,340	円／橋

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	表面被覆工（塗装工法）下塗り（パテ塗布）	22.8m2 6.84kg	単位	橋	数量	1	単価	100,300

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.65	33,048	21,481	
特殊作業員		人	1.3	30,498	39,647	
普通作業員		人	0.65	27,336	17,768	
ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾊﾟﾃ	CC-B	ｋｇ	6.84	2,450	16,758	
諸雑費（率＋まるめ） 6%		式	1		4,646	
計					100,300	
単価					100,300	円／橋

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	表面被覆工（塗装工法）中塗り材塗布	22.8m2 7.296kg	単位	橋	数量	1	単価	117,300

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.74	33,048	24,455	
特殊作業員		人	1.48	30,498	45,137	
普通作業員		人	0.74	27,336	20,228	
柔軟形ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料中塗	CC-B	ｋｇ	7.296	3,030	22,106	
諸雑費（率＋まるめ） 6%		式	1		5,374	
計					117,300	
単価					117,300	円／橋

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	表面被覆工（塗装工法）上塗り材塗布	22.8m2 3.42kg	単位	橋	数量	1	単価	117,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.74	33,048	24,455	
特殊作業員		人	1.48	30,498	45,137	
普通作業員		人	0.74	27,336	20,228	
柔軟形ふっ素樹脂塗料上塗	CC-B	ｋｇ	3.42	6,540	22,366	
諸雑費（率＋まるめ） 6%		式	1		5,314	
計					117,500	
単価					117,500	円／橋

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	断面修復工（左官工法）	有り 0.1m3未満 0.014m3	単位	構造物	数量	1	単価	363,600

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	2.8	33,048	92,534	
特殊作業員		人	5.3	30,498	161,639	
普通作業員		人	2.8	27,336	76,540	
ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ	左官工法用(ｺﾃ塗り)	ｍ３	0.017	380,000	6,460	
諸雑費（率＋まるめ） 8%		式	1		26,427	
計					363,600	
単価					363,600	円／構造物

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	U型側溝	据付け 無し 無し 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄU型 JIS A 5372 300B 300×300×600 無し 無し 有り 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0	単位	m	数量	10	単価	11,450

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
U型側溝	L６００　３００ｋｇ以下　昼　無	m	10	7,479.66	74,796	
鉄筋コンクリートU形	３００Ｂ　３００×３００×６００	個	16.5	2,360	38,940	
再生クラッシャーラン	ＲＣ－４０	m３	0.6	1,170	702	
諸雑費（まるめ）		式	1		62	
計					114,500	
単価					11,450	円／m

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	蓋版	据付け 無し 蓋版(各種) 40kg/枚以下 無し 無し	単位	枚	数量	100	単価 442.7

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版コンクリート・鋼製	４０ｋｇ以下　昼　無	枚	100	442.68	44,268	
【縞鋼板蓋(材料費)は未計上】	700×700×3.2 くさり付(止金具含む)	枚	100	0	0	
諸雑費（まるめ）		式	1		2	
計					44,270	
単価					442.7	円／枚

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼矢板圧入（Ｎｍａｘ≦２５）	陸上 III型 6m以下	単位	枚	数量	10	単価	12,050

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.294	33,048	9,716	
特殊作業員		人	0.294	30,498	8,966	
とび工		人	0.588	33,558	19,732	
油圧式杭圧入引抜機運転	圧入(Nmax≦25) III型	日	0.294	179,500	52,773	
ラフテレーンクレーン運転	25t吊 排出ｶﾞｽ対策型(第3次基準値)	日	0.294	95,650	28,121	
諸雑費（率＋まるめ） 1%		式	1		1,192	
計					120,500	
単価					12,050	円／枚

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼矢板引抜き	陸上 III型 6m以下	単位	枚	数量	10	単価	7,267

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.179	33,048	5,915	
特殊作業員		人	0.179	30,498	5,459	
とび工		人	0.357	33,558	11,980	
油圧式杭圧入引抜機運転	引抜き III型	日	0.179	179,500	32,130	
ラフテレーンクレーン運転	25t吊 排出ｶﾞｽ対策型(第3次基準値)	日	0.179	95,650	17,121	
諸雑費（率＋まるめ） 0.1%		式	1		65	
計					72,670	
単価					7,267	円／枚

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼矢板賃料（普通鋼矢板）	III型 5m/枚 111日 無 有 3650円 無 1回	単位	枚	数量	1	単価	7,105

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼矢板（本矢板）	3型（６０ｋｇ／ｍ）	t	0.3	10,545	3,163	
鋼矢板　修理費及び損耗費		t	0.3	13,140	3,942	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					7,105	
単価					7,105	円／枚

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼矢板圧入（Ｎｍａｘ≦５０）	陸上 25<Nmax≦50 III型 9m以下	単位	枚	数量	10	単価	27,790

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.526	33,048	17,383	
特殊作業員		人	0.526	30,498	16,041	
とび工		人	1.053	33,558	35,336	
油圧式杭圧入引抜機運転	圧入(Nmax≦50) III型	日	0.526	179,500	94,417	
杭打ち用ウォータジェット運転		日	0.526	88,010	46,293	
ラフテレーンクレーン運転	25t吊 排出ｶﾞｽ対策型(第3次基準値)	日	0.526	95,650	50,311	
諸雑費（率＋まるめ） 7%		式	1		18,119	
計					277,900	
単価					27,790	円／枚

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼矢板引抜き	陸上 III型 9m以下	単位	枚	数量	10	単価	8,652

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.213	33,048	7,039	
特殊作業員		人	0.213	30,498	6,496	
とび工		人	0.426	33,558	14,295	
油圧式杭圧入引抜機運転	引抜き III型	日	0.213	179,500	38,233	
ラフテレーンクレーン運転	25t吊 排出ｶﾞｽ対策型(第3次基準値)	日	0.213	95,650	20,373	
諸雑費（率＋まるめ） 0.1%		式	1		84	
計					86,520	
単価					8,652	円／枚

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼矢板賃料（普通鋼矢板）	III型 8m/枚 239日 無 有 3650円 無 1回	単位	枚	数量	1	単価 16,290

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼矢板（本矢板）	3型（６０ｋｇ／ｍ）	t	0.48	20,793	9,980	
鋼矢板　修理費及び損耗費		t	0.48	13,140	6,307	
諸雑費（まるめ）		式	1		3	
計					16,290	
単価					16,290	円／枚

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	H鋼杭打込み工(油圧式ﾊﾞｲﾌﾞﾛﾊﾝﾏ)	H300 H鋼長さ(杭長)10.0m H鋼平均打込長9.5m	単位	本	数量	2	単価	226,100

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	1	33,048	33,048	
とび工		人	2	33,558	67,116	
普通作業員		人	1	27,336	27,336	
ﾊﾞｲﾌﾞﾛﾊﾝﾏ(単体)運転	油圧式・可変超高周波型 473kN 振子式 排対3次	日	1	320,300	320,300	
諸雑費（率＋まるめ） 1%		式	1		4,400	
計					452,200	
単価					226,100	円／本

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	H鋼杭引抜き工(油圧式ﾊﾞｲﾌﾞﾛﾊﾝﾏ)	H300 H鋼長さ(杭長)10.0m H鋼平均引抜長9.5m	単位	本	数量	2	単価	199,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	1	33,048	33,048	
とび工		人	2	33,558	67,116	
普通作業員		人	1	27,336	27,336	
ﾊﾞｲﾌﾞﾛﾊﾝﾏ(単体)運転	油圧式・可変超高周波型 473kN 振子式 排対3次	日	1	269,900	269,900	
諸雑費（率＋まるめ） 0.2%		式	1		700	
計					398,100	
単価					199,000	円／本

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	H形鋼杭賃料	H300 10m/本 113日 無 有 3650円 無 1回	単位	本	数量	1	単価	18,030

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
H形鋼（杭用）	３００型（９３ｋｇ／m）	t	0.93	10,735	9,983	
H形鋼　修理費及び損耗費		t	0.93	8,650.5	8,044	
諸雑費（まるめ）		式	1		3	
計					18,030	
単価					18,030	円／本

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	横矢板設置・撤去	設置･撤去 0.085m	単位	m２	数量	10	単価	15,240

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.6	33,048	19,828	
普通作業員		人	1.8	27,336	49,204	
横矢板【歩掛見積参考資料】	松矢板 t=85mm L=2700mm	m３	0.85	98,000	83,300	
諸雑費（まるめ）		式	1		68	
計					152,400	
単価					15,240	円／m２

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	油圧式杭圧入引抜機据付・解体	圧入(Nmax≦50) III型 陸上	単位	回	数量	1	単価	160,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.5	33,048	16,524	
特殊作業員		人	0.5	30,498	15,249	
とび工		人	1	33,558	33,558	
油圧式杭圧入引抜機運転	圧入(Nmax≦50) III型	日	0.29	179,500	52,055	
ラフテレーンクレーン運転	25t吊 排出ｶﾞｽ対策型(第3次基準値)	日	0.45	95,650	43,042	
諸雑費（まるめ）		式	1		72	
計					160,500	
単価					160,500	円／回

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	油圧式杭圧入引抜機据付・解体	引抜き III型 陸上	単位	回	数量	1	単価	66,670

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.19	33,048	6,279	
特殊作業員		人	0.19	30,498	5,794	
とび工		人	0.39	33,558	13,087	
油圧式杭圧入引抜機運転	引抜き III型	日	0.13	179,500	23,335	
ラフテレーンクレーン運転	25t吊 排出ｶﾞｽ対策型(第3次基準値)	日	0.19	95,650	18,173	
諸雑費（まるめ）		式	1		2	
計					66,670	
単価					66,670	円／回

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼矢板賃料（普通鋼矢板）	III型 8m/枚 65日 無 有 3650円 無 1回	単位	枚	数量	1	単価 9,271

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼矢板（本矢板）	3型（６０ｋｇ／ｍ）	t	0.48	6,175	2,964	
鋼矢板　修理費及び損耗費		t	0.48	13,140	6,307	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					9,271	
単価					9,271	円／枚

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼矢板・H形鋼（埋設）	鋼矢板 中古品	単位	t	数量	1	単価	180,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼矢板 Ⅲ型	SY295 H=7.5m	t	1	180,000	180,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					180,000	
単価					180,000	円／t

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼矢板賃料（普通鋼矢板）	III型 7.5m/枚 68日 無 有 3650円 無 1回	単位	枚	数量	1	単価 8,820

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼矢板（本矢板）	3型（６０ｋｇ／ｍ）	t	0.45	6,460	2,907	
鋼矢板　修理費及び損耗費		t	0.45	13,140	5,913	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					8,820	
単価					8,820	円／枚

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ガス切断	鋼矢板(II, III, IV, V, VL, IIw, IIIw, IVw, 10H, 25H型)	単位	箇所	数量	1	単価	6,909

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
溶接工		人	0.13	37,740	4,906	
普通作業員		人	0.04	27,336	1,093	
酸素	ボンベ	m3	0.63	522	328	
アセチレン	ボンベ	kg	0.26	2,220	577	
諸雑費（率＋まるめ） 0.1%		式	1		5	
計					6,909	
単価					6,909	円／箇所

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼矢板圧入（Ｎｍａｘ≦２５）	陸上 III型 9m以下	単位	枚	数量	10	単価	15,160

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.37	33,048	12,227	
特殊作業員		人	0.37	30,498	11,284	
とび工		人	0.741	33,558	24,866	
油圧式杭圧入引抜機運転	圧入(Nmax≦25) III型	日	0.37	179,500	66,415	
ラフテレーンクレーン運転	25t吊 排出ｶﾞｽ対策型(第3次基準値)	日	0.37	95,650	35,390	
諸雑費（率＋まるめ） 1%		式	1		1,418	
計					151,600	
単価					15,160	円／枚

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼矢板賃料（普通鋼矢板）	III型 7m/枚 122日 無 有 3650円 無 1回	単位	枚	数量	1	単価 10,390

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼矢板（本矢板）	3型（６０ｋｇ／ｍ）	t	0.42	11,590	4,867	
鋼矢板　修理費及び損耗費		t	0.42	13,140	5,518	
諸雑費（まるめ）		式	1		5	
計					10,390	
単価					10,390	円／枚

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼矢板圧入（Ｎｍａｘ≦５０）	陸上 25<Nmax≦50 III型 6m以下	単位	枚	数量	10	単価	22,980

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.435	33,048	14,375	
特殊作業員		人	0.435	30,498	13,266	
とび工		人	0.87	33,558	29,195	
油圧式杭圧入引抜機運転	圧入(Nmax≦50) III型	日	0.435	179,500	78,082	
杭打ち用ウォータジェット運転		日	0.435	88,010	38,284	
ラフテレーンクレーン運転	25t吊 排出ｶﾞｽ対策型(第3次基準値)	日	0.435	95,650	41,607	
諸雑費（率＋まるめ） 7%		式	1		14,991	
計					229,800	
単価					22,980	円／枚

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼矢板賃料（普通鋼矢板）	III型 6.5m/枚 50日 無 有 3650円 無 1回	単位	枚	数量	1	単価	6,976

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼矢板（本矢板）	3型（６０ｋｇ／ｍ）	t	0.39	4,750	1,852	
鋼矢板　修理費及び損耗費		t	0.39	13,140	5,124	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					6,976	
単価					6,976	円／枚

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	H鋼杭打込み工(油圧式ﾊﾞｲﾌﾞﾛﾊﾝﾏ)	H300 H鋼長さ(杭長)9.5m H鋼平均打込長9.0m	単位	本	数量	2	単価	226,100

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	1	33,048	33,048	
とび工		人	2	33,558	67,116	
普通作業員		人	1	27,336	27,336	
ﾊﾞｲﾌﾞﾛﾊﾝﾏ(単体)運転	油圧式・可変超高周波型 473kN 振子式 排対3次	日	1	320,300	320,300	
諸雑費（率＋まるめ） 1%		式	1		4,400	
計					452,200	
単価					226,100	円／本

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	H鋼杭引抜き工(油圧式ﾊﾞｲﾌﾞﾛﾊﾝﾏ)	H300 H鋼長さ(杭長)9.5m H鋼平均引抜長9.0m	単位	本	数量	2	単価	195,900

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
とび工		人	1	33,558	33,558	
普通作業員		人	2	27,336	54,672	
土木一般世話役		人	1	33,048	33,048	
ﾊﾞｲﾌﾞﾛﾊﾝﾏ(単体)運転	油圧式・可変超高周波型 473kN 振子式 排対3次	日	1	269,900	269,900	
諸雑費（率＋まるめ） 0.2%		式	1		722	
計					391,900	
単価					195,900	円／本

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	H形鋼杭賃料	H300 9.5m/本 120日 無 有 3650円 無 1回	単位	本	数量	1	単価	17,730

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
H形鋼（杭用）	３００型（９３ｋｇ／m）	t	0.884	11,400	10,077	
H形鋼　修理費及び損耗費		t	0.884	8,650.5	7,647	
諸雑費（まるめ）		式	1		6	
計					17,730	
単価					17,730	円／本

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	横矢板設置・撤去	設置･撤去 0.11m	単位	m２	数量	10	単価	20,110

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.6	33,048	19,828	
普通作業員		人	1.8	27,336	49,204	
横矢板【歩掛見積参考資料】	松矢板 t=1100mm L=3500mm	m３	1.1	120,000	132,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		68	
計					201,100	
単価					20,110	円／m２

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	交通誘導警備員Ｂ		単位	人日	数量	1	単価	17,960

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ｂ		人	1	17,952	17,952	
諸雑費（まるめ）		式	1		8	
計					17,960	
単価					17,960	円／人日

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	貨物自動車による運搬（1車1回）	油圧式杭圧入引抜機 鋼矢板II･III･IV型用 11.4km 無 有 9100円	単位	台	数量	1	単価	80,100

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
貨物自動車基本運賃	20t車以上30t車まで 20kmまで	台	1	71,000	71,000	
貨物自動車運送料金	運搬中の賃料（損料）K（K’）	台	1	9,100	9,100	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					80,100	
単価					80,100	円／台

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	重建設機械分解組立輸送	分解組立+輸送(往復) ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ系 35t吊超80t吊以下(ｸﾗﾑ平積0.6m3超2m3下) 標準(1.0)	単位	回	数量	1	単価	1,322,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員		人	5.5	30,498	167,739	
ラフテレーンクレーン［油圧伸縮ジブ型］	２５ｔ吊	日	1.5	53,200	79,800	
運搬費等率 434%		式	1		1,074,319	
諸雑費（まるめ）		式	1		142	
計					1,322,000	
単価					1,322,000	円／回

参考資料（1）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運	関東・中部・近畿 11.4km 12m以内 各種(実数入力) 0無 無	単位	t	数量	1	単価	4,660

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
基本運賃区分A	製品長12m以内 20kmまで	t	1	4,660	4,660	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					4,660	
単価					4,660	円／t

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	仮設材等の積込み，取卸し費	積込み,取卸し(片道分)	単位	t	数量	1	単価	1,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
積込み．取卸し費（仮設材等）		t	1	1,500	1,500	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					1,500	
単価					1,500	円／t

参考資料（2）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	空気圧縮機運転	ｴﾝｼﾞﾝｺﾝﾌﾟﾚｯｻ 5m3/分	単位	日	数量	1	単価	8,113

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
軽油		L	42	133	5,586	
空気圧縮機［可搬式・エンジン駆動・スクリュ型］	吐出量５．０ｍ３／ｍｉｎ	日	1.56	1,620	2,527	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					8,113	
単価					8,113	円／日

参考資料（2）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	発動発電機運転	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ駆動 出力45kVA	単位	日	数量	1	単価	7,514

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
軽油		L	40	133	5,320	
発動発電機［ディーゼルエンジン駆動］	４５ｋＶＡ	日	1.18	1,860	2,194	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					7,514	
単価					7,514	円／日

参考資料（2）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	発動発電機運転	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ駆動 出力45kVA	単位	日	数量	1	単価	7,514

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
軽油		L	40	133	5,320	
発動発電機［ディーゼルエンジン駆動］	４５ｋＶＡ	日	1.18	1,860	2,194	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					7,514	
単価					7,514	円／日

参考資料（2）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	油圧式杭圧入引抜機運転	圧入(Nmax≦25) III型	単位	日	数量	1	単価	179,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
軽油		L	128	133	17,024	
油圧式杭圧入引抜機［エンジン式ユニット］	排ガス型（２０１４年規制）　圧入８００ｋＮ	供用日	1.49	109,000	162,410	
諸雑費（まるめ）		式	1		66	
計					179,500	
単価					179,500	円／日

参考資料（2）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ラフテレーンクレーン運転	25t吊 排出ｶﾞｽ対策型(第3次基準値)	単位	日	数量	1	単価	95,650

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人	1	31,110	31,110	
軽油		L	92	133	12,236	
ラフテレーンクレーン［油圧伸縮ジブ型］	排出ガス対策型（第３次基準値） ２５ｔ吊	供用日	1.49	35,100	52,299	
諸雑費（まるめ）		式	1		5	
計					95,650	
単価					95,650	円／日

参考資料（2）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	油圧式杭圧入引抜機運転	引抜き 111型	単位	日	数量	1	単価	179,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
軽油		L	128	133	17,024	
油圧式杭圧入引抜機［エンジン式ユニット］	排ガス型（２０１４年規制）　圧入８００ｋＮ	供用日	1.49	109,000	162,410	
諸雑費（まるめ）		式	1		66	
計					179,500	
単価					179,500	円／日

参考資料（2）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	油圧式杭圧入引抜機運転	圧入(Nmax≦50) III型	単位	日	数量	1	単価	179,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
軽油		L	128	133	17,024	
油圧式杭圧入引抜機［エンジン式ユニット］	排ガス型（２０１４年規制）　圧入８００ｋＮ	供用日	1.49	109,000	162,410	
諸雑費（まるめ）		式	1		66	
計					179,500	
単価					179,500	円／日

参考資料（2）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	杭打ち用ウォータジェット運転		単位	日	数量	1	単価	88,010

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
軽油		L	134	133	17,822	
杭打ち用ウォータジェット［エンジン式］	排ガス型（第３次）１４．７ＭＰａ３２５Ｌ／ｍｉｎ	供用日	1.49	47,100	70,179	
諸雑費（まるめ）		式	1		9	
計					88,010	
単価					88,010	円／日

参考資料（2）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	バイブロハンマ(単体)運転	油圧式・可変超高周波型 473kN 振子式 排対3次	単位	日	数量	1	単価	320,300

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人	1	31,110	31,110	
軽油		L	473	133	62,909	
バイブロハンマ（単体）［油圧式・可変超高周波型］	排ガス型（第３次）　振り子式　４７３ｋＮ	供用日	1.31	109,000	142,790	
クローラクレーン［油圧駆動ウインチ・ラチスジブ］	排出ガス対策型（２０１４年規制）５０～５５ｔ吊	供用日	1.31	63,700	83,447	
諸雑費（まるめ）		式	1		44	
計					320,300	
単価					320,300	円／日

参考資料（2）

単価使用年月	2026. 1
歩掛使用年月	2026. 1
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	バイブロハンマ(単体)運転	油圧式・可変超高周波型 473kN 振子式 排対3次	単位	日	数量	1	単価	269,900

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人	1	31,110	31,110	
軽油		L	484	133	64,372	
バイブロハンマ（単体）［油圧式・可変超高周波型］	排ガス型（第３次）　振り子式　４７３ｋＮ	供用日	1.21	109,000	131,890	
ラフテレーンクレーン［油圧伸縮ジブ型］	排出ガス対策型（第３次基準値）２５ｔ吊	供用日	1.21	35,100	42,471	
諸雑費（まるめ）		式	1		57	
計					269,900	
単価					269,900	円／日

（土木工事、鋼橋工場製作工事）

Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事

（　当　　初　）　請負工事費計算書

(1)直接工事費	81,257,942		
(2)共通仮設費	16,754,519		
(3)純工事費 (1)+(2)	98,012,461		
(4)現場管理費	47,477,000		
(5)工期延長等に伴う現場維持等の費用	0	(16)工場製作純工事費	0
		(17)工場管理費	0
(6)工事原価 (3)+(4)+(5)+(18)	145,489,461	(18)工場製作原価 (16)+(17)	0
(7')一般管理費等(計上額)	23,750,539	((7)一般管理費等(計算額)	23,758,428)
(8')その他費目計	0		
(9)業務委託料等	0		
(10)工事価格 (6)+(7')+(8')+(9)（万円未満切り捨て）	169,240,000		

(11)消費税相当額	16,924,000
(12)請負工事価格 (10)+(11)	186,164,000
(13)入札書比較価格 (請負工事費の100/110)	169,240,000
(14)調査基準価格	168,047,000
(15)調査基準価格の100/110 (万円未満切り捨て)	152,770,000

共通仮設費

主たる工種

単独（追加工事）： 橋梁保全工事　　合算工事： 0

対象工事費	81,257,942	直接工事費	81,257,942	準備費	0	事業損失	0
対象工事費に含まれる全処分費額		単独（追加工事）	923,858	現工事	0	合算工事	0

非対象額計（－）	0	
管理費区分１	0	（橋梁、ＰＣ桁、門扉、ポンプ等購入費）
管理費区分２， ７	0	（工場原価）
管理費区分５	0	（一般管理費等のみ対象額）
管理費区分９	0	（間接費非対象額）
管理費区分Ｔ	0	（全処分費等のうち３％または３０００万円を超える額 ）
対象額　支　給　品（＋）	0	
無償貸付機械評価額（＋）	0	

共通仮設費対象額

単独（追加工事）	81,257,942	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く共通仮設費対象額	80,334,084		0		0

共通仮設費（率分）

率（補正前）	10.81 %		0 %		
施工地域等補正	1.4	ICT施工補正	1		
率（補正後）	15.43 % （15.13% × 週休1.02）				
計上額	12,538,000		0		0

比較結果	当該追加工事	A			
	0	0		調整工事計上額	0

共通仮設費

現場環境改善費対象工事費	80,334,084	直接工事費	81,257,942
非対象額計（－）	923,858		
管理費区分１	0	（橋梁、ＰＣ桁、門扉、ポンプ等購入費）	
管理費区分２，７	0	（工場原価）	
管理費区分５	0	（一般管理費等のみ対象額）	
管理費区分９	0	（間接費非対象額）	
管理費区分Ｔ	923,858	（直接工事費に含まれる処分費等）	
対象額　支　給　品（＋）	0		
無償貸付機械評価額（＋）	0		
現場環境改善費対象額（Ｐｉ）			
単独（追加工事）	80,334,084	現工事	0
		合算工事	0

現場環境改善費					
率（補正前）	2.38 %		0 %		0 %
施工地域等補正	市街地				
率（補正後）	2.38 %				
計上額	1,911,000		0		0

比較結果	当該追加工事	A		調整工事計上額	0
	0	0			

共通仮設費

共通仮設費（積上分）	2,305,519				
運搬費	2,242,344	準備費	0	事業損失防止施設費	0
安全費	0	役務費	0	技術管理費	63,175
営繕費	0	現場環境改善費	0		

共通仮設費計	16,754,519

現場管理費

単独（追加工事）純工事費	98,012,461	単独（追加工事）直接工事費	81,257,942	単独（追加工事）共通仮設費	16,754,519
非対象額計（－）	0				
管理費区分２，７	0	（工場原価）			
管理費区分５	0	（一般管理費等のみ対象額）			
管理費区分９	0	（間接費非対象額）			
管理費区分Ｔ	0	（全処分費等のうち３％または３０００万円を超える額）			
対象額　支　給　品（＋）	0				
無償貸付機械等評価額（＋）	0				
現場管理費対象純工事費					
単独（追加工事）	98,012,461	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く	97,088,603		0		0
現場管理費対象純工事費（調整工事入力で使用）					
率（補正前）	39.19 %		0 %		0 %
施工地域等補正	1.2				
施工時期補正	0 %	熱中症補正	0 %	ICT施工補正	1
緊急工事補正	0 %				
砂防・地すべり補正	0 %		0 %		
率（補正後）	48.44 %	（47.32% × 週休1.03）	0 %		
計上額	47,477,000		0		0
			6,549,588	（工事価格に含まれる平均的な法定福利費概算額）	
比較結果　当該追加工事	A				
0	0			調整工事計上額	0

一般管理費等（当初）

事務所名	大宮国道事務所　工務課			工事番号	2025010015	第 0 回変更
発注年月	令和07年11月	契約区分	単年度（繰越を含む）の分任官	主工種	橋梁保全工事	

工事原価	145,489,461						
純工事費	98,012,461	現場管理費	47,477,000	工期延長等に伴う現場維持費		0	
非対象額計（－）	0						
管理費区分９	0	（支給品を除く間接費非対象額）					
管理費区分Ｔ	0	（全処分費等のうち３％または３０００万円を超える額）					
一般管理費等対象工事原価							
単独（追加工事）	145,489,461	現工事	0	合算工事		0	
全処分費等を除く							
一般管理費等対象工事原価	144,565,603	現工事	0	合算工事		0	
（調整工事入力で使用）							
前払金支出割合による補正係数	1	現工事					
財団法人等による補正係数	1						
契約保証に係る一般管理費対象工事原価	145,489,461						
契約保証に係る補正値	0.04 %						
一般管理費率							
単独（追加工事）	16.29 %	現工事	0 %	合算工事		0 %	

一般管理費	23,750,539	
業務委託料等	0	
調査基準価格	168,047,000	
調査基準価格の100/110	152,770,000	（ 90.27 %）

工　事　数　量　総　括　表

工 事 名　　Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事

国土交通省　関東地方整備局
大宮国道事務所　工務課

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
橋梁保全工事		式		1		
橋脚巻立て工 【P1橋脚】		式		1		
炭素繊維補強工		式		1		
下地処理		m2		39		
ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗布	ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾌﾟﾗｲﾏｰ	m2		39		
不陸修正	ｴﾎﾟｷｼﾊﾟﾃ	m2		39		
炭素繊維ｼｰﾄ接着	全面貼り 1層 目付量 200g/m2	m2		30		
炭素繊維ｼｰﾄ接着	全面貼り 2層 目付量 600g/m2	m2		36		
仕上げ塗装	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ	m2		39		
橋脚巻立て工 【P2橋脚】		式		1		
炭素繊維補強工		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
下地処理		m2		41		
ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗布	ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾌﾟﾗｲﾏｰ	m2		41		
不陸修正	ｴﾎﾟｷｼﾊﾟﾃ	m2		41		
炭素繊維ｼｰﾄ接着	全面貼り 1層 目付量 200g/m2	m2		32		
炭素繊維ｼｰﾄ接着	全面貼り 2層 目付量 600g/m2	m2		36		
仕上げ塗装	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ	m2		41		
橋脚巻立て工 【P3橋脚】		式		1		
炭素繊維補強工		式		1		
下地処理		m2		57		
ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗布	ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾌﾟﾗｲﾏｰ	m2		57		
不陸修正	ｴﾎﾟｷｼﾊﾟﾃ	m2		57		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
炭素繊維ｼｰﾄ接着	全面貼り 1層 目付量 200g/m2	m2		34		
炭素繊維ｼｰﾄ接着	全面貼り 2層 目付量 450g/m2	m2		73		
仕上げ塗装	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ	m2		57		
橋脚巻立て工 【P4橋脚】		式		1		
炭素繊維補強工		式		1		
下地処理		m2		57		
ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗布	ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾌﾟﾗｲﾏｰ	m2		57		
不陸修正	ｴﾎﾟｷｼﾊﾟﾃ	m2		57		
炭素繊維ｼｰﾄ接着	全面貼り 1層 目付量 200g/m2	m2		70		
炭素繊維ｼｰﾄ接着	全面貼り 1層 目付量 400g/m2	m2		16		
仕上げ塗装	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ	m2		57		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
橋脚巻立て工 【P5橋脚】		式		1		
炭素繊維補強工		式		1		
下地処理		m2		39		
ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗布	ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾌﾟﾗｲﾏｰ	m2		39		
不陸修正	ｴﾎﾟｷｼﾊﾟﾃ	m2		39		
炭素繊維ｼｰﾄ接着	全面貼り 1層 目付量 200g/m2	m2		30		
炭素繊維ｼｰﾄ接着	全面貼り 1層 目付量 300g/m2	m2		8		
炭素繊維ｼｰﾄ接着	全面貼り 1層 目付量 600g/m2	m2		18		
仕上げ塗装	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ	m2		39		
橋脚巻立て工 【P6橋脚】		式		1		
炭素繊維補強工		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
下地処理		m2		36		
ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗布	ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾌﾟﾗｲﾏｰ	m2		36		
不陸修正	ｴﾎﾟｷｼﾊﾟﾃ	m2		36		
炭素繊維ｼｰﾄ接着	全面貼り 1層 目付量 200g/m2	m2		18		
炭素繊維ｼｰﾄ接着	全面貼り 1層 目付量 400g/m2	m2		32		
炭素繊維ｼｰﾄ接着	全面貼り 1層 目付量 600g/m2	m2		18		
仕上げ塗装	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ	m2		36		
下部工補強工【A1橋台】		式		1		
作業土工		式		1		
床掘り	土砂 土留なし	m3		70		
床掘り	土砂 自立式	m3		70		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
埋戻し	土砂 最大埋戻幅1m以上4m未満	m3		100		
埋戻し	土砂 最大埋戻幅4m以上	m3		70		
積込(ﾙｰｽﾞ)	土砂 土量50,000m3未満	m3		40		
土砂等運搬 土取場～施工箇所	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	m3		40		
橋台改良工(ﾌｰﾁﾝｸﾞ)		式		1		
下地処理 ﾌｰﾁﾝｸﾞ部	ﾁｯﾋﾟﾝｸﾞ	m2		7.6		
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ26×250 下向き	孔		46		
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ29×200 横向き	孔		84		
基礎材	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ40～0 17.5cmを超え20.0cm以下	m2		10		
均しｺﾝｸﾘｰﾄ	各種 敷厚 10ｃｍ	m2		10		
ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉) 一般養生	m3		26		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
鉄筋	SD345 D13	t		0.12		
鉄筋	SD345 D16～25	t		0.66		
型枠	一般型枠	m2		22		
橋台天端改良工		式		1		
下地処理 ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ・たて壁・ｳｨﾝｸﾞ部	ﾁｯﾋﾟﾝｸﾞ	m2		33		
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ200×63 下向き	孔		4		
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ200×64 下向き	孔		4		
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ26×250 下向き	孔		77		
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ32×340 下向き	孔		38		
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ35×260 横向き	孔		54		
ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉) 一般養生	m3		26		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
鉄筋	SD345 D13	t		0.2		
鉄筋	SD345 D16～25	t		1.68		
機械式継手	D13	箇所		6		
機械式継手	D16	箇所		14		
機械式継手	D22	箇所		66		
ﾌﾚｱ溶接	D16+D16	箇所		8		
型枠	一般型枠	m2		55		
支承箱抜き	円筒型枠　φ200×530	箇所		8		
支保	f≦40kN/m2[t≦120cm]	空m3		0.2		
足場	安全ﾈｯﾄ必要 手摺先行型枠組足場	掛m2		30		
表面被覆工		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗布		橋		1		
下塗り(ﾊﾟﾃ塗布)		橋		1		
中塗り材塗布		橋		1		
上塗り材塗布		橋		1		
構造物取壊し工		式		1		
ｺﾝｸﾘｰﾄはつり	t=30cm	m3		3		
殻積込	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻	m3		3		
ｺﾝｸﾘｰﾄ切断(乾式ﾜｲﾔｰｿｰｲﾝｸﾞ)	水平切断	m2		14		
ｺﾝｸﾘｰﾄ吊卸		m3		23		
ｺﾝｸﾘｰﾄ切断(乾式ﾜｲﾔｰｿｰｲﾝｸﾞ)	垂直切断	m2		2		
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物 機械施工	m3		70		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
運搬処理工		式		1		
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3		70		
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3		3		
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3		70		
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3		3		
下部工補強工 【P1橋脚】		式		1		
作業土工		式		1		
床掘り	土砂 土留なし	m3		510		
埋戻し	土砂 最大埋戻幅4m以上	m3		450		
橋脚天端改良工		式		1		
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ29×295 下向き	孔		48		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉)一般養生	m3		3		
鉄筋	SD345 D16～25	t		0.48		
ﾌﾚｱ溶接	D19+D19	箇所		48		
型枠	一般型枠	m2		11		
型枠	一般型枠(合板円形型枠)	m2		2		
支承箱抜き	円筒型枠　φ250×730	箇所		8		
足場	安全ﾈｯﾄ必要　手摺先行型枠組足場	掛m2		130		
構造物取壊し工		式		1		
ｺﾝｸﾘｰﾄ切断(乾式ﾜｲﾔｰｿｰｲﾝｸﾞ)	水平切断	m2		3		
ｺﾝｸﾘｰﾄ吊卸		m3		6		
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物　機械施工	m3		6		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
運搬処理工		式		1		
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3		6		
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3		6		
下部工補強工 【P2橋脚】		式		1		
作業土工		式		1		
床掘り	土砂 土留なし	m3		490		
埋戻し	土砂 最大埋戻幅4m以上	m3		480		
積込(ﾙｰｽﾞ)	土砂 土量50,000m3未満	m3		40		
土砂等運搬 残土置場～施工箇所	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		40		
橋脚改良工(ﾌｰﾁﾝｸﾞ)		式		1		
下地処理 ﾌｰﾁﾝｸﾞ部	ﾁｯﾋﾟﾝｸﾞ	m2		28		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ35×260 下向き	孔		99		
鉄筋	SD345 D16～25	t		0.74		
型枠	一般型枠	m2		10		
ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉) 一般養生	m3		11		
橋脚天端改良工		式		1		
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ29×295 下向き	孔		48		
ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉)一般養生	m3		3		
鉄筋	SD345 D16～25	t		0.48		
ﾌﾚｱ溶接	D19+D19	箇所		48		
型枠	一般型枠	m2		11		
型枠	一般型枠(合板円形型枠)	m2		2		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
支承箱抜き	円筒型枠　Φ250×730	箇所		8		
足場	安全ﾈｯﾄ必要　手摺先行型枠組足場	掛m2		140		
構造物取壊し工		式		1		
ｺﾝｸﾘｰﾄ切断(乾式ﾜｲﾔｰｿｰｲﾝｸﾞ)	水平切断	m2		3		
ｺﾝｸﾘｰﾄ吊卸		m3		6		
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物　機械施工	m3		6		
運搬処理工		式		1		
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3		6		
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3		0.02		
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3		6		
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3		0.02		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
下部工補強工 【P3橋脚】		式		1		
作業土工		式		1		
床掘り	土砂 土留なし	m3		500		
埋戻し	土砂 最大埋戻幅4m以上	m3		440		
橋脚改良工(ﾌｰﾁﾝｸﾞ)		式		1		
下地処理 ﾌｰﾁﾝｸﾞ部	ﾁｯﾋﾟﾝｸﾞ	m2		23		
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ35×260 下向き	孔		68		
鉄筋	SD345 D16～25	t		0.61		
型枠	一般型枠	m2		12		
ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉) 一般養生	m3		12		
橋脚天端改良工		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ26×250 下向き	孔		64		
ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉)一般養生	m3		8		
鉄筋	SD345 D16～25	t		0.6		
ﾌﾚｱ溶接	D16+D16	箇所		64		
型枠	一般型枠	m2		17		
型枠	一般型枠(合板円形型枠)	m2		3		
支承箱抜き	円筒型枠 Φ250×730	箇所		8		
足場	安全ﾈｯﾄ必要 手摺先行型枠組足場	掛m2		170		
構造物取壊し工		式		1		
ｺﾝｸﾘｰﾄ切断(乾式ﾜｲﾔｰｿｰｲﾝｸﾞ)	水平切断	m2		6		
ｺﾝｸﾘｰﾄ吊卸		m3		11		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物 機械施工	m3		11		
運搬処理工		式		1		
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3		11		
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3		0.02		
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3		11		
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3		0.02		
下部工補強工 【P4橋脚】		式		1		
作業土工		式		1		
床掘り	土砂 土留なし	m3		370		
埋戻し	土砂 最大埋戻幅4m以上	m3		340		
橋脚改良工(ﾜｰﾁﾝｸﾞ)		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
下地処理 ﾌｰﾁﾝｸﾞ部	ﾁｯﾋﾟﾝｸﾞ	m2		23		
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ35×260 下向き	孔		68		
鉄筋	SD345 D16～25	t		0.64		
型枠	一般型枠	m2		13		
ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉) 一般養生	m3		14		
橋脚天端改良工		式		1		
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ26×250 下向き	孔		72		
ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉)一般養生	m3		8		
鉄筋	SD345 D16～25	t		0.61		
ﾌﾚｱ溶接	D16+D16	箇所		68		
型枠	一般型枠	m2		18		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
型枠	一般型枠(合板円形型枠)	m2		3		
支承箱抜き	円筒型枠　φ250×730	箇所		8		
足場	安全ﾈｯﾄ必要　手摺先行型枠組足場	掛m2		150		
構造物取壊し工		式		1		
ｺﾝｸﾘｰﾄ切断(乾式ﾜｲﾔｰｿｰｲﾝｸﾞ)	水平切断	m2		6		
ｺﾝｸﾘｰﾄ吊卸		m3		12		
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物　機械施工	m3		12		
運搬処理工		式		1		
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3		12		
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3		0.02		
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3		12		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3		0.02		
下部工補強工 【P5橋脚】		式		1		
作業土工		式		1		
床掘り	土砂 土留なし	m3		360		
埋戻し	土砂 最大埋戻幅1m以上4m未満	m3		10		
埋戻し	土砂 最大埋戻幅4m以上	m3		310		
橋脚改良工(ﾌｰﾁﾝｸﾞ)		式		1		
下地処理 ﾌｰﾁﾝｸﾞ部	ﾁｯﾋﾟﾝｸﾞ	m2		22		
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ35×260 下向き	孔		92		
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ29×200 横向き	孔		104		
鉄筋	SD345 D16～25	t		2.09		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
型枠	一般型枠	m2		34		
ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉) 一般養生	m3		37		
橋脚天端改良工		式		1		
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ29×295 下向き	孔		48		
ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉)一般養生	m3		3		
鉄筋	SD345 D16～25	t		0.49		
ﾌﾚｱ溶接	D19+D19	箇所		48		
型枠	一般型枠	m2		11		
型枠	一般型枠(合板円形型枠)	m2		2		
支承箱抜き	円筒型枠 φ250×730	箇所		8		
足場	安全ﾈｯﾄ必要 手摺先行型枠組足場	掛m2		120		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
構造物取壊し工		式		1		
ｺﾝｸﾘｰﾄはつり	t=30cm	m3		4		
殻積込	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻	m3		4		
ｺﾝｸﾘｰﾄ切断(乾式ﾜｲﾔｰｿｰｲﾝｸﾞ)	水平切断	m2		3		
ｺﾝｸﾘｰﾄ吊卸		m3		6		
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物 機械施工	m3		6		
運搬処理工		式		1		
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3		6		
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3		4		
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3		6		
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3		4		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
下部工補強工 【P6橋脚】		式		1		
作業土工		式		1		
床掘り	土砂 土留なし	m3		100		
埋戻し	土砂 最大埋戻幅4m以上	m3		70		
橋脚改良工(ﾌｰﾁﾝｸﾞ)		式		1		
下地処理 ﾌｰﾁﾝｸﾞ部	ﾁｯﾋﾟﾝｸﾞ	m2		22		
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ35×260 下向き	孔		92		
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ29×200 横向き	孔		104		
鉄筋	SD345 D16～25	t		2.08		
型枠	一般型枠	m2		34		
ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉) 一般養生	m3		37		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
橋脚天端改良工		式		1		
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ29×295 下向き	孔		48		
ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉)一般養生	m3		3		
鉄筋	SD345 D16～25	t		0.49		
ﾌﾚｱ溶接	D19+D19	箇所		48		
型枠	一般型枠	m2		11		
型枠	一般型枠(合板円形型枠)	m2		2		
支承箱抜き	円筒型枠 φ250×730	箇所		8		
足場	安全ﾈｯﾄ必要 手摺先行型枠組足場	掛m2		120		
構造物取壊し工		式		1		
ｺﾝｸﾘｰﾄはつり	t=30cm	m3		4		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
殻積込	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻	m3		4		
ｺﾝｸﾘｰﾄ切断(乾式ﾜｲﾔｰｿｰｲﾝｸﾞ)	水平切断	m2		3		
ｺﾝｸﾘｰﾄ吊卸		m3		3		
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物 機械施工	m3		6		
運搬処理工		式		1		
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3		6		
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3		4		
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3		6		
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3		4		
下部工補強工【A2橋台】		式		1		
作業土工		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
床掘り	土砂 土留なし	m3		40		
床掘り	土砂 土留自立式	m3		90		
埋戻し	土砂 最大埋戻幅1m以上4m未満	m3		100		
埋戻し	土砂 最大埋戻幅4m以上	m3		70		
積込(ﾙｰｽﾞ)	土砂 土量50,000m3未満	m3		30		
土砂等運搬 土取場～施工箇所	土砂(岩塊･玉石混り土含む)	m3		30		
橋台天端改良工		式		1		
下地処理 ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ・たて壁・ｳｨﾝｸﾞ部	ﾁｯﾋﾟﾝｸﾞ	m2		53		
下地処理 ﾌｰﾁﾝｸﾞ部	ﾁｯﾋﾟﾝｸﾞ	m2		6		
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ200×61 下向き	孔		8		
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ26×250 下向き	孔		114		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ32×340 下向き	孔		36		
ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔	φ35×260 横向き	孔		128		
ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(高炉) 一般養生	m3		41		
鉄筋	SD345 D13	t		0.31		
鉄筋	SD345 D16～25	t		2.35		
機械式継手	D13	箇所		6		
機械式継手	D16	箇所		14		
機械式継手	D22	箇所		60		
ﾌﾚｱ溶接	D16+D16	箇所		4		
型枠	一般型枠	m2		83		
支承箱抜き	円筒型枠　φ200×532	箇所		8		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
支保	f≦40kN/m2[t≦120cm]	空m3		0.3		
足場	安全ﾈｯﾄ必要 手摺先行型枠組足場	掛m2		20		
足場	安全ﾈｯﾄ必要 単管足場	掛m2		30		
表面被覆工		式		1		
ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗布		橋		1		
下塗り(ﾊﾟﾃ塗布)		橋		1		
中塗り材塗布		橋		1		
上塗り材塗布		橋		1		
構造物取壊し工		式		1		
ｺﾝｸﾘｰﾄ切断(乾式ﾜｲﾔｰｿｰｲﾝｸﾞ)	水平切断	m2		13		
ｺﾝｸﾘｰﾄ吊卸		m3		22		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
ｺﾝｸﾘｰﾄ切断(乾式ﾜｲﾔｰｿｰｲﾝｸﾞ)	垂直切断	m2		2		
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	鉄筋構造物 機械施工	m3		72		
運搬処理工		式		1		
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3		72		
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3		0.05		
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(鉄筋)	m3		72		
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3		0.05		
橋梁補修工		式		1		
断面修復工		式		1		
左官工法	0.1m3未満 ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理有	構造物		1		
排水構造物工		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
側溝工		式		1		
ﾋｭｰﾑ管(B形管)	外圧管1種	m		8		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝	300B	m		24		
集水桝･ﾏﾝﾎｰﾙ工		式		1		
現場打ち集水桝	現場打材 18-8-25(高炉) 法面作業補正無	箇所		2		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ集水桝	300用	箇所		1		
蓋	縞鋼板蓋 700×700	枚		2		
仮設工		式		1		
土留･仮締切工 【A1橋台】		式		1		
鋼矢板	III型 平均鋼矢板長さ 5m 鋼矢板打込長 4.5m 平均鋼矢板引抜長 4.5m	枚		11		
鋼矢板	III型 平均鋼矢板長さ 8m 鋼矢板打込長 7.5m 平均鋼矢板引抜長 7.5m	枚		24		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
H鋼杭	H300 H鋼長さ(杭長)10.0m H鋼平均打込長9.5m H型鋼平均引抜長9.5m	本		2		
横矢板	松矢板 横矢板厚さ 0.085m	m2		8		
横矢板固定材取付	ﾎｲｰﾙｱﾝｶｰ打込み含む	箇所		1		
油圧式杭圧入引抜機据付・解体	Ⅲ型	回		1		
土留･仮締切工 【P2橋脚】		式		1		
鋼矢板	III型 平均鋼矢板長さ 8m 鋼矢板打込長 7.5m 平均鋼矢板引抜長 7.5m	枚		24		
油圧式杭圧入引抜機据付・解体	Ⅲ型	回		1		
土留･仮締切工 【P6橋脚】		式		1		
鋼矢板	III型 平均鋼矢板長さ 7.5m 鋼矢板打込長 7m 平均鋼矢板引抜長 7m	枚		48		
鋼矢板切折	Ⅲ型	箇所		13		
油圧式杭圧入引抜機据付・解体	Ⅲ型	回		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
現場発生品運搬	鋼矢板	t		0.39		
土留･仮締切工 【A2橋台】		式		1		
鋼矢板	III型 平均鋼矢板長さ 7m 鋼矢板打込長 6.5m 平均鋼矢板引抜長 6.5m	枚		14		
鋼矢板	III型 平均鋼矢板長さ 6.5m 鋼矢板打込長 6m 平均鋼矢板引抜長 6m	枚		26		
H鋼杭	H300 H鋼長さ(杭長)9.5m H鋼平均打込長9.0m H型鋼平均引抜長9.0m	本		2		
横矢板	松矢板 横矢板厚さ 0.11m	m2		9		
横矢板固定材取付	ﾎｲｰﾙｱﾝｶｰ打込み含む	箇所		1		
油圧式杭圧入引抜機据付・解体	Ⅲ型	回		1		
交通管理工		式		1		
交通誘導警備員	交通誘導員B	人日		168		
直接工事費		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
共通仮設費		式		1		
共通仮設費		式		1		
運搬費		式		1		
建設機械運搬費		台		1		
重建設機械分解組立費		回		1		
仮設材運搬費 A1橋台		t		16.7		
仮設材運搬費 P2橋脚		t		11.5		
仮設材運搬費 P6橋脚		t		15.7		
仮設材運搬費 A2橋台		t		17.8		
技術管理費		式		1		
道路施設基本ﾃﾞｰﾀ作成費用		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
現場環境改善費（率計上）		式		1		
共通仮設費（率計上）		式		1		
純工事費		式		1		
現場管理費		式		1		
工事原価		式		1		
一般管理費等		式		1		
工事価格		式		1		
消費税相当額		式		1		
工事費計		式		1		

Ｒ７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事

特記仕様書

令和７年１１月

国土交通省　関東地方整備局
大宮国道事務所

第１章　総　則

第１条　適用

１．この特記仕様書は、関東地方整備局 土木工事共通仕様書(令和７年度版)（以下「共通仕様書」という。)でいう特記仕様書で、本工事の施工に適用する。

２．この工事の施工にあたっての一般的事項は、共通仕様書によるものとする。

３．この特記仕様書に添付されていない別紙様式等については以下 URL よりダウンロードするものとする。

URL　https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/inDex00000015.html

４．本工事における「条件明示」については、別紙－１「明示項目および明示事項」に記載のとおりとする。

第２条　主任技術者等（契約書第 10 条）

本工事の主任技術者又は監理技術者は、次に掲げる基準を満たす者を専任で配置することとする。

（１)主任技術者は、１級土木施工管理技士又はこれと同等以上の資格を有する者であること。なお､｢これと同等以上の資格を有する者」とは、次のとおりである。

①１級建設機械施工技士の資格を有する者

②技術士（建設部門、農業部門（選択科目を「農業農村工学」とするものに限る。）、森林部門（選択科目を「森林土木」とするものに限る。）又は総合技術監理部門（選択科目を「建設」、「農業－農業農村工学」又は「森林－森林土木」とするものに限る。））の資格を有する者

③これらと同等以上の資格を有するものと国土交通大臣が認定した者

④本発注工事の工事種別に対応した登録基幹技能者講習修了証を有する者

（２）監理技術者は、１級土木施工管理技士又はこれと同等以上の資格を有する者であること。なお､｢これと同等以上の資格を有する者」とは、次のとおりである。

①１級建設機械施工技士の資格を有する者

②技術士（建設部門、農業部門（選択科目を「農業農村工学」とするものに限る。）、森林部門（選択科目を「森林土木」とするものに限る。）又は総合技術監理部門（選択科目を「建設」、「農業－農業農村工学」又は「森林－森林土木」とするものに限る。））の資格を有する者

③これらと同等以上の資格を有するものと国土交通大臣が認定した者

第３条　主任技術者等の専任期間

１．契約締結日の翌日から工事の始期までの期間については、主任技術者又は監理技術者の配置を要しない。

２．契約締結日の翌日から現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、発注者と受注者の間で書面により明確にした場合に限って、主任技術者又は監理技術者の工事現場での専任を要しない。

３．工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続後、後片付け等のみが残っている期間については、発注者と受注者の間で書面により明確にした場合に限って、主任技術者又は監理技術者の工事現場での専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日（例：「完成通知書」等における日付）とする。

４．主任技術者又は監理技術者が技術研鑽のための研修、講習、試験等で短期間工事現場を離れる場合は、適切な施工ができる体制を確保したうえで、監督職員の承諾を得るものとする。

第４条　専任特例１号の場合の監理技術者又は主任技術者の配置

本工事は、建設業法第 26 条第３項第一号の規定の適用を受ける監理技術者又は主任技術者の配置は認めない。

第５条　専任特例２号の場合の監理技術者の配置

１．本工事において、建設業法第２６条第３項第二号の規定の適用を受ける監理技術者（以下、「専任特例２号の場合の監理技術者」という。）の配置を行う場合は以下の（１）～（８）の要件を全て満たさなければならない。

（１）建設業法第２６条第３項第二号による監理技術者の職務を補佐する者（以下、「監理技術者補佐」という。）を専任で配置すること。

（２）監理技術者補佐は、一級施工管理技士補又は一級施工管理技士等の国家資格者、学歴や実務経験により監理技術者の資格を有する者であること。なお、監理技術者補佐の建設業法第２７条の規定に基づく技術検定種目は、専任特例２号の場合の監理技術者に求める技術検定種目と同じであること。

（３）監理技術者補佐は、直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。

（４）同一の専任特例２号の場合の監理技術者が配置できる工事は、本工事を含め同時に２件までとする。なお、専任特例１号の場合の監理技術者又は主任技術者を活用した工事と兼務することは出来ない。

（ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約工期の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それぞれの工事の対象となる工作物等に一体性が認められるものについては、これら複数の工事を一の工事とみなす。）

（５）専任特例２号の場合の監理技術者が兼務できる工事は東京都または埼玉県内の工事でなければならない。

（６）専任特例２号の場合の監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の立会等の職務を適正に遂行しなければならない。

（７）専任特例２号の場合の監理技術者と監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制であること。

（８）監理技術者補佐が担う業務等について、明らかにすること。

２．現場の安全管理体制について、平成７年４月２１日付基発第２６７号の２「元方事業者による建設現場安全管理指針」において、「統括安全衛生責任者の選任を要するときには、その事業場に専属の者とすること。」とされていることから、施工体制に留意すること。

３．本工事の監理技術者が専任特例２号の場合の監理技術者として兼務し、本工事に監理技術者補佐を配置する事を予定している場合、以下の書類を提出すること。

１）監理技術者補佐の資格を有する書類（一級施工管理技士等の国家資格者の合格証の写しなど）

２）監理技術者補佐の直接的かつ恒常的な雇用関係を証明する書類（監理技術者資格者証、市区町村が作成する住民税特別徴収税額通知書、健康保険・厚生年金被保険者標準報酬決定通知書、所属会社の雇用証明書又はこれらに準ずる資料（いずれも写し可））

３）専任特例２号の場合の監理技術者が兼務する工事の箇所、内容を示す書類（ＣＯＲＩＮＳの写し）

４．本工事の監理技術者が専任特例２号の場合の監理技術者として兼務し、本工事に監理技術者補佐を配置する事となった場合、第１項（５）～（８）について施工計画書へ記載し、提出すること。

５．本工事において、専任特例２号の場合の監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は、コリンズ（ＣＯＲＩＮＳ）への登録・修正を適切に行うこと。

第６条　工事場所

工事場所については、下記のとおりとする。

東京都板橋区四葉一丁目地先

第７条　コリンズ（CORINS）への登録

１．工事カルテの作成、登録については、土木工事共通仕様書「1-1-1-7 コリンズ（CORINS）への登録」によるものとする。

２．受注者は、工事受注後又は施工中において当該工事に係る悪質で不誠実な行為(一括下請負等)が発覚し、指名停止の措置を受けた場合は、登録済みの工事カルテの取り下げを行うものとする。

３．技術者の従事期間は、工期をもって登録するものとする。（余裕期間を含まないことに留意するものとする。）

第８条　コリンズ（CORINS）への位置情報の入力

土木工事共通仕様書 1-1-1-7 コリンズ（CORINS）への登録に定める「登録のための確認のお願い」を作成するにあたり、位置情報については以下のとおりとし、工事場所および座標（緯度、経度）を記載するものとする。なお、座標は、世界測地系（JGD2024）に準拠する。

東京都板橋区四葉一丁目地先　緯度 北緯３５°４６’４０”　経度 東経１３９°３９’２”

第９条　コリンズ（CORINS）への工事概要の入力

土木工事共通仕様書 1-1-1-7 コリンズ（CORINS）への登録に定める「登録のための確認のお願い」を受注時に作成するにあたり、工事概要について必須登録とし、記載例を参考にすること。

記載例）

本工事は、国道 17 号(東京都板橋区四葉一丁目地先)付近における、新大宮バイパス予定地の既設橋梁下部の補強工事である。

作業土工	１式
橋台改良工（フーチング、橋脚巻き立て）	６基
橋台改良工（表面被覆）	２基
仮設工	１式

第１０条　コリンズ（CORINS）への設計業務名及びテクリス番号の入力

土木工事共通仕様書 1-1-1-7 コリンズ（CORINS）への登録に定める「登録のための確認のお願い」を作成するにあたり、設計業務名およびテクリス番号を登録すること。設計業務名およびテクリス番号については以下のとおりとする。

コリンズへ登録する業務名およびテクリス番号

業務名	テクリス番号
Ｒ３新大宮バイパス橋梁詳細設計業務	4044912116

第１１条　施工体制台帳

工事成績優秀企業に認定され、認定有効期限内に、工事発注の契約を行った工事の監理技術者、主任技術者（工事成績優秀企業に認定された下請負を含む）は、工事成績優秀企業認定マークの使用や金色帯線（黄色もしくは橙色の帯線でも可）を名札上部に印刷することが出来るものとする。



注意１）用紙の大きさは名刺サイズ以上とする。

注意２）所属会社の写真とする。

第１２条　調査・試験に対する協力　（低入札価格調査制度調査対象工事について）

１．契約担当官等が工事の中間において技術検査の必要を認めた場合は、速やかに監督職員の指示に従い、検査を受けなければならない。なお、検査は工事請負契約書及び共通仕様書に適用する条項に準じて行うものとする。

２．予算決算及び会計令第 85 条の基準に基づく価格を下回る価格で落札した場合においては、受注者は「低入札価格調査制度調査対象工事に係る監督体制の強化」の追加として下記の調査に協力しなければならない。

（１）受注者は、下請負者の協力を得て間接工事費等諸経費動向調査票（営繕工事においては共通費実態調査票）の作成を行い、工事完了後、速やかに発注者に提出するものとする。

（２）受注者は、提出された間接工事費等諸経費動向調査票（営繕工事においては共通費実態調査票）の費用の内訳についてヒアリング調査に応じるものとする。この場合において、受注者は下請負者についてもヒアリングに参加させるものとする。

（３）工事コスト調査（調査結果でも可）に係る資料は、下記のとおりとし、関東地方整備局又は、大宮国道事務所のホームページにより公表する。

（４）低入札価格調査と工事コスト調査の結果に大きな乖離がある場合、又は、工事コスト調査資料の提出が無い場合には、工事成績評点を減点する場合がある。

なお、低入札価格調査対象工事については、工事コスト調査終了した後に、工事成績評点を通知する。

公表資料は以下（別紙様式－０）のとおり。

資料名	内　　訳
低価格理由とその詳細	当該工事が低価格で施工可能となる理由を示した資料
比較表－１	積算内訳書の発注者と元請けにおける当初と実績の比較表
比較表－２	積算内訳書に対する明細書の発注者と元請における当初と実績の比較表
比較表－３	元請の手持ち資料の当初と実績の比較表
比較表－４	元請の資材購入先一覧の当初と実績の比較表
比較表－５	手持ち機械の当初と実績の比較表
比較表－６	労務者確保計画の当初と実績の比較表
比較表－７	工種別労務者配置計画の当初と実績の比較表
比較表－８	建設副産物の搬出の当初と実績の比較表
諸経費動向調査（工事費）	元請、下請の工事費内訳

第１３条　低入札契約におけるモニターカメラの設置

本工事は、予算決算及び会計令第８５条の基準に基づく価格を下回る価格で落札した場合においては、工事の監督補助としてモニターカメラの設置を行う対象工事とする。

なお、モニターカメラの設置費用については、発注者の負担によるものとする。

第１４条　不可視部分の出来形管理について

予算決算及び会計令第８５条の基準に基づく価格を下回る価格で落札した場合においては、以下に示す工種の不可視部分について、ビデオカメラを用いた出来形管理を行うこととし、撮影した映像については監督職員に提出するものとする。

①橋脚巻立て工

②下部工補強工

第１５条　不具合等発生時の措置

受注者は、工事施工途中に工事目的物や工事材料等の不具合等が発生した場合、又は公益通報者等から当該工事に関する情報が寄せられた場合には、その内容を監督職員に直ちに通知しなければならない。

第１６条　工事書類の作成

１．工事書類の作成に当たっては、別に定める「土木工事電子書類作成マニュアル（令和７年３月）」に基づき実施するものとする。

２．工事書類の作成に当たっては、別に定める「土木工事電子書類スリム化ガイド（令和７年３月）」を参考に書類の電子化、受発注者間での作成書類の役割分担の明確化、書類の削減等に留意すること。

３．「工事関係書類一覧表」（別紙様式－１５）により、工事着手前に「作成書類の役割分担」、「作成書類の位置付け」に関して「協議」するものとする。

また、「協議」の内容を変更する場合は、改めて、受発注者で協議を行うものとする。

４．電子により提出、提示した書類については、検査時その他の場合においても紙での提示、提出は行わないものとする。

第１７条　設計図書の照査

発注者は、設計図書の照査の範囲を超える資料の作成については、監督職員の指示とし、その作成費用は、設計変更の対象とする。なお、設計変更の対象については、「土木工事における工事請負契約における設計変更ガイドライン（総合版）：令和７年３月」によるものとする。

第１８条　情報共有システムの活用

１．本工事は、監督職員及び受注者の間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システムの活用対象工事である。なお、活用にあたっては「土木工事の情報共有システム活用ガイドライン」（令和７年３月版）に基づき実施すること。

２．受注者は、本工事で使用する情報共有システムを選定し、使用する情報共有システムは次の要件を満たすものとする。

・工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件（Rev5.7）令和７年３月版　国土交通省（国土技術政策総合研究所）

３．監督職員及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行うものとする。また、利用開始日、必要なユーザーＩＤ数、ディスク容量等の仕様やワークフロー機能の対象者等については、監督職員の確認を得た上で決定すること。

４．受注者は、サービス提供者と次の内容を含めた契約を締結するものとする。

①　情報共有システムに関する障害を適正に処理、解決できる体制を整える旨

②　サービス提供者が善良なる管理者の注意をもってしても防御し得ない不正アクセス等により、情報漏洩、データ破壊、システム停止等があった場合、速やかに受注者に連絡を行い適正な処置を行う旨

③　②の場合において、サービス提供者に重大な管理瑕疵があると監督職員若しくは受注者が判断した場合、又は復旧若しくは処理対応が不適切な場合には、受注者はサービス提供者と協議の上情報共有システムの利用を停止することができる旨

５．受注者は、監督職員等から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためのアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第１９条　「設計・施工技術連絡会議（三者会議）」の設置

本工事は、公共工事の品質確保及び円滑な事業執行を目的として、発注者、設計者、施工者（工事受注者）の三者が工事着手前等において一堂に会して、事業目的、設計思想・条件等の情報の共有及び施工上の課題、新たな技術提案に対する意見交換等を行う「設計・施工技術連絡会議（三者会議）」（以下、「三者会議」という。）の設置対象工事であり、工事着手前に１回以上開催するものとする。

第２０条　「三者会議」の運用にあたっては、「設計・施工技術連絡会議（「三者会議」）運用方針」（http://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html）によるものとする。質確保及び円滑な事業執行を目的として、発注者、設計者、施工者（工事受注者）の三者が工事着手前等において一堂に会して、事業目的、設計思想・条件等の情報の共有及び施工上の課題、新たな技術提案に対する意見交換等を行う「設計・施工技術連絡会議（三者会議）」（以下、「三者会議」という。）の設置対象工事であり、工事着手前に１回以上開催するものとする。

「三者会議」の運用にあたっては、「設計・施工技術連絡会議（「三者会議」）運用方針」（http://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html）によるものとする。

第２１条　設計審査会の設置

本工事は、発注者と受注者が一堂に会して、現場着手前（準備期間内）に工事工程クリティカルパスの共有及び工事工程の照合（クロスチェック）を実施し、併せて協議資料作

成等の受発注者間の役割分担を明確にする場、また、設計変更手続きの透明性と公正性の向上及び迅速化のため、設計変更の妥当性の審議及び設計変更等に伴う工事中止等の判断等を行う場として開催する「設計審査会」（以下、「審査会」という。）の設置対象工事である。

「審査会」の運用にあたっては、「設計審査会設置運用方針 」（http://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html）によるものとする。

第２２条　工事環境の改善

本工事の実施にあたっては、工事環境の改善に取り組むウィークリースタンスを考慮するものとする。

ウィークリースタンスの実施にあたっては、関東地方整備局ホームページhttps://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html に掲載している工事環境改善実施要領に基づき、監督職員と確認・調整した内容について取り組むものとする。

第２３条　ワンデーレスポンス

１．この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。

・「ワンデーレスポンス」とは

受注者からの質問、協議等への回答は、基本的に「その日のうち」に指示、通知等行うよう対応する。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議の上、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」に通知することである。

２．受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議をおこなうこと。

３．受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督職員へ報告すること。

４．ワンデーレスポンスの実施にあたっては、関東地方整備局ホームページhttps://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html に掲載しているワンデーレスポンス実施の手引き（令和５年１２月）に基づき、取り組むものとする。

５．効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合があるため、協力すること。

第２４条　契約内容の変更手続きについて

本工事における契約内容の変更は、以下によるものとする。

①　本工事における設計変更や契約変更は書面に基づき行うことを徹底し、指示書・協議書があるもののみを契約変更の対象とする。

②　受注者は、工事期間中及び工事完成後において、監督職員から契約図書の規定に違反する等の不適切な指示を受けたと思料されるときは、当該監督職員を経由せずに、事務所長へ直接又は契約担当課長経由で書面により、その旨を報告することができる。

第２５条　設計図書の変更

設計変更等については、契約書第１８条から第２５条及び共通仕様書共通編１－１－１－１６から１－１－１－１８に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「土木工事における工事請負契約における設計変更ガイドライン（総合版）：令和７年３月」によることとする。

第２６条　スライド条項

工事請負契約書第２６条（スライド条項）については、物価水準の変動により請負代金が不適当となったと認められた時に、相手方に請負代金の変更を請求することができる条項となっている。

単品スライドについては、鋼材類・燃料油の他、コンクリート類、購入土などの主要工

事材料も対象となるので、物価水準の変動により請負代金が不適当となった場合には、相手方に対して請負代金額の変更を請求することができる。

第２７条　工事現場発生品

１．本工事箇所から発生する現場発生品の引き渡し場所は、第２項のとおりとする。

２．現場発生品は下表のとおりとする。

品目	規格	単位	数量	引渡場所	運搬距離	摘要
鋼矢板	Ⅲ型 L0.5m	枚	13	浦和出張所	10.4 km	昼間運搬

なお、これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。

３．現場発生品は、再使用するものとする。ただし、破損等が甚大で再使用出来ないものについては監督職員の確認を受けなければならない。

第２８条　公共建設工事における分別解体等・再資源化等及び再生資源活用工事実施要領（土木）

１．受注者は下記の資材の使用に際し、再生資材を利用するものとする。

資　材　名	規　　格	備　　考
再生クラッシャーラン	ＲＣ－４０	基礎材

なお、使用に際し「舗装再生便覧」等を遵守するものとする。

２．本工事は建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律((平成１２年法律第１０４号最終改正令和４年６月１７日法律６８号)。以下「建設リサイクル法」という。）に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

なお、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「８解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と受注者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。ただし工事発注後に明らかになった事情により予定した条件により難い場合は監督職員と協議するものとする。

（１）分別解体等の方法

	工程	作業内容	分別解体等の方法
工程ごと作業内容及び解体方法	①仮設	仮設工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 ■有　□無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 ■有　□無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑥その他（構造物取壊し工）	その他の工事 ■有　□無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用

（２）再資源化等をする施設の名称及び所在地

特定建設資材の廃棄物の種類	施設の名称	所　在　地
コンクリート殻（鉄筋）	(株)タカチホ	埼玉県さいたま市緑区寺山字中 240-1
コンクリート殻（無筋）	(株)タカチホ	埼玉県さいたま市緑区寺山字中 240-1

上記（２）については、積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。

なお、受注者の提示する施設と異なる場合でも設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項については、監督職員と協議の上、契約変更の対象とすることができる。

（３）受入時間

(株)タカチホ　　：８時００分～１７時００分

３．受注者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第１８条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督職員に報告することとする。なお、書面は「建設リサイクルガイドライン（平成１４年５月）」に定めた様式１〔再生資源利用計画書（実施書）〕及び様式２〔再生資源利用促進計画書（実施書）〕を兼ねるものとする。

・再生資源化等が完了した年月日
・再生資源化等をした施設の名称及び所在地
・再生資源化等に要した費用

４．工事発注後に明らかになった事情により予定していた条件により難い場合は、監督職員と協議するものとする。

第２９条　建設リサイクル法第１１条通知の徹底

受注者は、「建設工事に係る資材の再生資源化等に関する法律」（平成１２年５月３１日法律第１０４号）第１１条に基づく、都道府県知事に対する通知を行った旨の書面を監督職員より受領した後に、工事着手（建設リサイクル法第１０条第１項に規定する工事着手をいう。）するものとする。なお、これによりがたい場合は監督職員と協議の上決定するものとする。

第３０条　コンクリート副産物から再生された資源について

１．コンクリート副産物から再生された資材を利用する場合には、「コンクリート副産物の再生利用に関する用途別品質基準」によるものとする。

２．受注者は、コンクリート副産物から再生された資材の利用を希望する場合は、工事着手時にその適用の有無を監督職員と協議するものとする。

３．受注者は、工場が発行する再生骨材コンクリートの配合計画書及び納入書を整備および管理し、監督職員または検査職員からの請求があった場合は速やかに提示しなければならない。

４．受注者は、再生骨材コンクリートの品質を確かめるための検査を JIS A 5022（再生骨材Ｍを用いたコンクリート）、JIS A 5023（再生骨材Ｌを用いたコンクリート）により実施しなければならない。また、再生骨材Ｍを用いたプレキャストコンクリート製品の検査については、JIS A 5365（プレストキャストコンクリート製品－検査方法通則）により実施しなければならない。なお、生産者等に検査のため試験を代行させる場合は受注者がその試験に臨場しなければならない。

５．再生骨材コンクリートの配合については、「土木工事共通仕様書第１編３－３－３　配合」に従うものとする。

第３１条　工事完成図

本工事は、道路工事完成図等作成要領（第２版）（国土技術政策総合研究所資料、平成

２０年１２月）に基づく電子納品の対象工事である。http://www.nilim-cdrw.jp/dl_std.html

第３２条　施工管理

１．本工事の施工管理は、関東地方整備局土木工事施工管理基準及び規格値(令和７年度版)によるものとする。なお、この管理基準により難い場合及び基準、規格値が定められていない工種については、監督職員と協議の上、施工管理を行うものとする。

２．本工事の写真管理は、関東地方整備局土木工事写真管理基準(令和７年度版)によるものとする。なお、「撮影項目」、「撮影頻度」等が工事内容に合致しない場合は、監督職員の指示により追加、削減するものとする。

３．本工事の施工管理における適用工種毎の基準類は、ＩＣＴ活用工事実施要領(令和７年３月改定)の関連要領等一覧（ＵＲＬ「https://www.mlit.go.jp/tec/constplan/sosei_constplan_tk_000051.html」）によるものとする。

第３３条　デジタル工事写真の小黒板情報電子化について

デジタル工事写真の小黒板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における小黒板の記載情報の電子的記入および、工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。

本工事では、以下の１．から４．の全てを実施することとする。

１．対象機器の導入

受注者は、デジタル工事写真の小黒板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等（以降、「使用機器」と称する）については、関東地方整備局土木工事写真管理基準（令和７年度版）（以下、写真管理基準）「2-2 撮影方法」に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認（改ざん検知機能）を有するものを使用することとする。なお、信憑性確認（改ざん検知機能）は、「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」（URL「https://www.cryptrec.go.jp/list.html」）に記載している技術を使用していること。また、受注者は監督職員に対し、工事着手前に、本工事での使用機器について提示するものとする。

なお、使用機器の事例を以下に示す。

【使用機器の事例】

デジタル工事写真の小黒板情報電子化対応ソフトウェア，（一社）施工管理ソフトウェア産業協会，<https://www.jcomsia.org/kokuban>.

※ここでは使用機器の事例を示したものであり、この使用機器の事例からの選定に限定するものではない

２．デジタル工事写真における小黒板情報の電子的記入

受注者は、同条１．の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と小黒板情報を電子画像として同時に記録してもよい。小黒板情報の電子的記入を行う項目は、写真管理基準「2-2 撮影方法」による。

ただし、対象工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工種については、使用機器の利用を限定するものではない。

３．小黒板情報の電子的記入の取扱い

本工事の工事写真の取扱いは、写真管理基準及びデジタル写真管理情報基準（令和５年３月）（以下、デジタル写真管理情報基準）に準ずるが、同条２．に示す小黒板情報の電子的記入については、写真管理基準「2-5 写真編集等」及びデジタル写真管理情報基準（令和５年３月）「6.写真編集等」で規定されている写真編集には該当しない。

４．小黒板情報の電子的記入を行った写真の納品

受注者は、同条２．に示す小黒板情報の電子的記入を行った写真（以下、「小黒板情報電子化写真」と称する。）を、工事完成時に監督職員へ納品するものとする。なお納品時に、受注者は改ざん検知機能（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウ

ェアや工事写真ビューアソフトを用いて、小黒板情報電子化写真の信憑性確認を行い、その結果を併せて監督職員へ提出するものとする。なお、提出された信憑性確認の結果を、監督職員が確認することがある。

また、下記のチェックツールを使用して信憑性確認を行い、結果を出力したものでもよい。

【チェックツールの事例】

信憑性チェックツール（一社）施工管理ソフトウェア産業協会
<https://www.jcomsia.org/kokuban>.

※ここでは使用機器の事例を示したものであり、この使用機器の事例からの選定に限定するものではないなお、デジタル工事写真の小黒板情報電子化を実施しない工事写真がある場合は、工事契約後、監督職員の承諾を得ること。

第３４条　ＩＣＴ活用工事（作業土工（床掘工））について

１．ＩＣＴ活用工事

本工事は、国土交通省が提唱する i-Construction に基づき、ＩＣＴ施工技術の全面的活用を図るため、受注者の提案・協議により、起工測量、設計図書の照査、施工、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について３次元データを活用するＩＣＴ活用工事の対象工事である。

２．定義

（１）i-Construction とは、ＩＣＴ施工技術の全面的な活用、規格の標準化、施工時期の平準化等の施策を建設現場に導入することによって、建設現場のプロセス全体の最適化を図る取り組みである。本工事では、受注者の希望により、その実現に向けてＩＣＴ施工技術を活用した工事（ＩＣＴ活用工事）を実施するものとする。

（２）ＩＣＴ活用工事とは、施工プロセスの以下段階において、ＩＣＴ施工技術を全面的に活用する工事である。また、本工事においては、次の①（選択）②③⑤の段階でＩＣＴ施工技術を活用することをＩＣＴ活用工事とする。

対象は、作業土工（床掘工）を含む工事とする。

① 起工測量（選択）
② ３次元設計データ作成
③ ＩＣＴ建設機械による施工
④ 該当なし
⑤ ３次元データの納品

３．受注者は、特記仕様書に指定された作業土工以外の工種に、ＩＣＴ施工技術の活用を行う希望がある場合、契約後、施工計画書の提出（施工数量や現場条件の変更による、変更施工計画書の提出を含む）までに監督職員へ提案・協議を行い、協議が整った場合に以下４～６によりＩＣＴ施工技術の活用を行うことができる。

４．ＩＣＴ施工技術を用い、土工について以下の施工を実施する。

① 起工測量（選択）

受注者は、起工測量にあたって、従来手法による起工測量またはＩＣＴ施工技術を用いた起工測量を選択できるものとし、作業土工以外の工種で取得した３次元起工測量データがある場合は、積極的に活用するものとする。

ＩＣＴ施工技術を用いた起工測量としては、３次元測量データを取得するため、以下１）～７）から選択（複数選択可）して測量を行うことができるものとする。

１）空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量
２）地上型レーザースキャナーを用いた起工測量
３）無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
４）地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
５）ＴＳ等光波方式を用いた起工測量
６）ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた起工測量
７）ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた起工測量

② ３次元設計データ作成

受注者は、４．①で得られたデータと発注者が貸与する発注図データを用いて、ＩＣＴ建設機械による施工を行うため、３次元設計データを作成する。

③ ＩＣＴ建設機械による施工

４．②で作成した３次元設計データを用いて、作業に応じて以下に示すＩＣＴ建設機械を選択して施工を実施する。位置・標高をリアルタイムに取得するに当たっては、国土地理院の電子基準点のほか、国土地理院に登録された民間等電子基準点を活用することができる。

なお、位置情報サービス事業者が提供する位置情報サービスの利用においては、当該サービスが国家座標に準拠し、かつ、作業規程の準則（令和５年３月３１日 国土交通省告示第２５０号）付録１測量機器検定基準２－６の性能における検定基準を満たすこと。

１）３次元ＭＣまたは３次元ＭＧ建設機械※

※ＭＣとは「マシンコントロール」、ＭＧとは「マシンガイダンス」の略称である。

建設機械の作業装置の位置・標高をリアルタイムに取得し、施工用データとの差分に基づき建設機械の作業装置を自動制御する３次元マシンコントロール技術または、建設機械の作業装置の位置・標高をリアルタイムに取得し、施工用データとの差分を表示し、建設機械の作業装置を誘導する３次元マシンガイダンス技術を用いて、河川・海岸・道路土工の掘削等を実施する。

但し、現場条件により、③ＩＣＴ建設機械による施工が困難又は非効率となる場合は監督職員との協議の上、従来型建設機械による施工を実施してよいものとするが、丁張設置等には積極的に３次元設計データ等を活用するものとする。

④ ３次元出来形管理等の施工管理

作業土工であるため、該当しない。

⑤ ３次元データの納品

４．②により作成した３次元設計データを工事完成図書として電子納品する。

ただし、１－３①において、３次元起工測量を実施した場合は、取得した３次元測量データも３次元データ納品の対象とする。

５．上記４．①（選択）②③の施工を実施するために使用するＩＣＴ機器類は、受注者が調達すること。また、施工に必要な施工用データは、受注者が作成するものとする。使用するアプリケーション・ソフト、ファイル形式については、事前に監督職員と協議するものとする。

発注者は、３次元設計データの作成に必要となる詳細設計において作成したＣＡＤデータを受注者に貸与する。また、ＩＣＴ施工技術の活用を実施する上で有効と考えられる詳細設計等において作成した成果品と関連工事の完成図書は、施工区間の前後を含め必要な範囲を積極的に受注者に貸与するものとする。

６．本特記仕様書に疑義を生じた場合または記載のない事項については、監督職員と協議するものとする。

第３５条　ＩＣＴ活用工事における適用（用語の定義）について

１．図面

図面とは、入札に際して発注者が示した設計図、発注者から変更または追加された設計図、工事完成図、３次元モデルを復元可能なデータ（以下「３次元データ」という。）等をいう。

なお、設計図書に基づき監督職員が受注者に指示した図面及び受注者が提出し、監督職員が書面により承諾した図面を含むものとする。

第３６条　ＩＣＴ活用工事の費用について

１．受注者が、契約後施工計画書の提出（施工数量や現場条件の変更による、変更施工

計画書の提出を含む）までに、作業土工（床掘工）及び作業土工（床掘工）以外の工種に関するＩＣＴ活用の具体的な工事内容・数量及び対象範囲について明示し、監督職員へ協議を行い、協議が整った場合、ＩＣＴ施工技術の活用を実施する項目については、各段階を設計変更の対象とし、以下の積算要領より費用を計上することとする。

・ＩＣＴ活用工事（作業土工（床掘工））積算要領

ただし、監督職員の指示に基づき、３次元起工測量を実施するとともに３次元設計データの作成を行った場合は、受注者は発注者からの依頼に基づき、見積書を提出するものとする。

２．施工合理化調査を実施する場合はこれに協力すること。

第３７条　ＩＣＴ活用工事の活用効果等に関する調査

ＩＣＴ活用工事を行った施工者は、活用目的等の把握のための「ＩＣＴ活用工事の活用効果等に関する調査」の対象であり、別途監督職員より指示される調査票に基づき実施するものとする。

施工者は、工事完了後直ちに調査票を監督職員へ提出・確認後、発注者が指示するメールアドレスまで調査票を電子メールにより提出すること。また調査票の聞き取り調査等を実施する場合はこれに協力するものとする。

調査費用については当初は計上していないため、設計変更の対象とする。

第３８条　デジタルデータを活用した鉄筋出来形計測に関する工事

１．デジタルデータを活用した鉄筋出来形計測に関する工事

「デジタルデータを活用した鉄筋出来形計測に関する工事（以下、「本工事」という。）」は、受注者における「段階確認に伴う準備作業（鉄筋へのマーカー設置等）、手待ち時間の削減や確認書類の簡素化」や発注者（監督員）における「現場臨場の削減による効率的な時間の活用」等を目指し、段階確認時の配筋の出来形計測をデジタルカメラ等で撮影した画像計測により行うものである。

撮影画像（計測結果）は、遠隔地から確認することも可能であり、監督職員の遠隔臨場を実施する場合は、「建設現場における遠隔臨場に関する実施要領（案）」、及び「建設現場の遠隔臨場に関する監督・検査実施要領（案）」に準拠するものとする。

２．実施内容

(1) 段階確認時の実施内容

段階確認時の配筋間隔の計測において、従来のスケール等による実測とデジタルカメラで撮影した画像計測を併用し、両者の計測値の差を整理するものとする。また、計測時の条件（撮影箇所、撮影距離、気象条件等）は、必ず記録するものとする。

(2) 機器の準備

本工事に要する画像計測機器等は、受注者が手配するものとし、詳細については、監督職員と協議し決定するものとする。

(3) 計測精度の検証

本工事による画像計測の精度検証のため、計測データを監督職員に提出するものとする。

(4) 効果の検証

本工事を通じた効果の検証（生産性向上効果の検証）及び課題の抽出に関するアンケート調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示による。

(5) 費用

本工事にかかる費用については、全額を受注者の負担とする。

第３９条　現場環境改善（快適トイレの設置）

１．内 容

受注者は、現場に以下の（１）～（11）の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。

（12）～（17）については、満たしていればより快適に使用出来ると思われる項目であり、必須ではない。

【快適トイレに求める機能】

（１）洋式（洋風）便器

（２）水洗及び簡易水洗機能（し尿処理装置付き含む）

（３）臭い逆流防止機能

（４）容易に開かない施錠機能

（５）照明設備

（６）衣類掛け等のフック、又は、荷物の置ける棚等（耐荷重を５kg 以上とする）

【付属品として備えるもの】

（７）現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示

（８）周囲からトイレの入口が直接見えない工夫

（９）サニタリーボックス（女性用トイレに必ず設置）

(10) 鏡と手洗器

(11) 便座除菌クリーナー等の衛生用品

【推奨する仕様、付属品】

(12) 室内寸法 900㎜×900㎜ 以上（面積ではない）

(13) 擬音装置（機能を含む）

(14) 着替え台

(15) 臭気対策機能の多重化

(16) 室内温度の調整が可能な設備

(17) 小物置き場等

（トイレットペーパー予備置き場等）

２．快適トイレに要する費用

快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。

受注者は、上記１の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとし、精算変更時において、見積を提出するものとする。【快適トイレに求める機能】（１）～（６）及び【付属品として備えるもの】（７）～(11) の費用については、従来品相当を差し引いた後、51,000 円/基・月を上限に設計変更の対象とする。

なお、設計変更数量の上限は、男女別で各１基ずつ２基／工事までとする。

また、運搬・設置費は共通仮設費（率）に含むものとし、２基／工事より多く設置する場合や積算上限額を超える費用については、現場環境改善費 (率)を想定しており、別途計上は行わない。

３．快適トイレの「質の向上」に要する費用

快適トイレの「質の向上」として、積算上限額を超える費用について現場環境改善費（率）を充当することができる。現場環境改善費（率）の充当を希望する場合は、上記２．の協議時に見積書を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとする。

なお、現場環境改善費（率）を充当することにより、特記仕様書に明示されたその他の費目の実施が困難な場合には、実施費目数の変更を合わせて協議することとする。

４．その他

快適トイレの手配が困難の場合は、監督職員と協議の上、本条項の対象外とする。

第４０条　BIM/CIM 活用工事について

本工事は、BIM/CIM 適用工事（受注者希望型）である。受注者が希望する場合、３次元モデルの活用を提案することができる。詳細については、受発注者で協議し実施する。

（参考）３次元モデル作成の目安

詳細度	２００～３００程度※1 ※1　構造形式がわかるモデル～主構造の形状がわかるモデル
属性情報	３次元形状データが何を表すかを識別する情報をオブジェクトごとに属性情報として設定する（BIM/CIM 取扱要領「附属資料２　オブジェクト分類」を参照）。

１．BIM/CIM 実施計画書の作成

受発注者において、BIM/CIM の実施内容や、納品方法等を協議し決定した結果を「BIM/CIM 実施計画書」として整理し、提出する。内容に変更が生じた場合は、受発注者間で協議し、BIM/CIM 実施（変更）計画書を作成する。

また、作成した BIM/CIM 実施計画書（変更含む）に基づき、本工事を実施する。

１）工事概要
２）整理すべき課題
３）BIM/CIM の実施内容（３次元モデルの活用内容、期待する効果等）
４）３次元モデルの作成仕様（作成範囲、詳細度、属性情報、別業務等で作成された３次元モデルの仕様等）
５）３次元モデル作成に用いるソフトウェア、オリジナルデータの種類
６）３次元モデル閲覧、データ共有ができるソフトウェアの種類、成果物の納品ファイル形式
７）３次元モデルの作成・活用に要する費用

２．BIM/CIM 実施報告書の作成

BIM/CIM 実施計画書に基づき実施した内容について、BIM/CIM 実施報告書を作成する。以下の内容を BIM/CIM 実施計画書に追記して作成する。

８）後段階への引継事項（データかつ用事の留意点、更なる検討が必要な内容、２次元図面との整合等）
９）省人化の効果（前段階から引き継いだデータの活用により省人化した効果、３次元での検討により省人化した効果等）

３．成果物の納品

以下の内容を納品する。様式については別添資料を参照すること。

１）BIM/CIM 実施計画書・見積書（変更含む）
２）BIM/CIM 実施報告書（３次元モデル作成引継書シート、３次元モデル照査時チェックシートを含む）
３）作成した３次元モデル（オリジナルデータ、標準的なデータ形式（J-LandXML 形式、IFC 形式）、統合モデル、動画等）

４．貸与資料

本工事に関連する以下の業務等において作成した３次元モデルのデータを貸与することができる

・ Ｒ３新大宮バイパス橋梁詳細設計業務

５．その他

最新の情報は BIM/CIM ポータルサイト（https://www.nilim.go.jp/lab/qbg/bimcim/bimcimindex.html）で提供されているので、適宜参照すること。

第４１条　DX データセンターの使用

本工事は DX データセンターを使用することで、VDI による専用ソフトの利用及び受発注

者間のデータ共有の円滑化を図る工事である。

３次元モデルを活用するにあたり、受注者が希望する場合、国土技術政策総合研究所が運用するDX データセンターにインストールされている専用ソフトウェアを使用することができる。

ＤＸデータセンター内の有償ソフトウェアを使用する場合は、受注者が有償ソフトウェアの使用契約手続きを行うものとする。

なお、ＤＸデータセンターの詳細については、ＤＸデータセンターの参考資料（https://dxportal.nilim.go.jp/exonym/reference）及びポータルサイト（https://dxportal.nilim.go.jp/exonym）を参照すること。

第４２条　工事中の安全確保

１．工事の施工にあたっては、関東地方整備局長が定める「重点的安全対策」について留意し、工事事故の防止を図らなければならない。

なお、令和７年度における重点的安全対策項目は以下の７項目である。

Ⅰ．架空線等上空施設の損傷事故防止
Ⅱ．建設機械等の稼働に関連した人身事故防止
Ⅲ．資機材等の下敷きによる人身事故防止
Ⅳ．足場・法面等からの墜落事故防止
Ⅴ．地下埋設物の損傷事故防止
Ⅵ．第三者の負傷・第三者車両等に対する損害
Ⅶ．事故防止

２．受注者は、工事に従事する就業制限業務及び作業主任者を選任する業務における資格者のうち、資格取得後一定期間経過した資格者に対し、次に掲げる再教育の受講が推進されるよう努めるものとする。

①労働安全衛生法第19条の2に基づく足場組立等作業主任者等に対する能力向上教育
②労働安全衛生法第60条の2に基づく車両系建設機械運転従事者、移動式クレーン運転士、玉掛業務従事者等に対する危険有害業務従事者教育
③厚生労働省通達に基づくドラグ・ショベル運転業務従事者等に対する危険再認識教育

３．工事の施工にあたっては、工事等の時期、工事等の方法の概要 及び 工事等を行なう場合における道路交通に対する措置について「道路工事保安施設設置基準（案）（令和６年２月）」に基づき監督職員へ確認を行うものとする。

４．工事中看板、工事情報看板及び工事説明看板の記載内容及び設置箇所については、監督職員の承諾を得るものとする。

５．工事期間中に配置する交通誘導警備員は、以下のとおり計上するものとする。ただし、交通管理者等との協議条件など社会的要件、現地精査に基づき配置人員の変更が必要になった場合は、監督職員と協議するものとする。

工種	作業区分	交通整理員（延人数）	備考
全工種	昼間作業	１６８人（うち有資格誘導員０人）	交代要員含む
合計		１６８人（うち有資格誘導員０人）	

６．UAV 等を使用する際の安全面への配慮について

受注者は、起工測量等においてUAV 等を使用する場合、安全面への配慮として下記URLに基づいてUAV 等を使用すること。

URL https://www.gsi.go.jp/KOUKYOU/sokuryosidou41042.html

第４３条　安全管理推進技術査等認定について

１．概要

関東地方整備局（港湾・空港部・営繕部関係を除く）が発注した工事（以下、「直轄工事」という）において、無事故で完成させた技術者に対して、「安全管理推進技術者」

（以下、「認定技術者」という）として認定する

２．認定条件

対象とする技術者は、以下の条件によって認定する。

・直轄工事において、無事故にて完成させた「安全管理担当者」として、施工期間中、全ての工事（準備工を除く）に従事した者。なお、「安全管理担当者」とは、施工体制上、受注者が配置する「統括安全衛生責任者」、「元方安全衛生管理者」、「ずい道等救護技術管理者」、「店社安全衛生管理者」、「工事現場責任者」として安全管理に従事した者で、現場代理人または、主任（監理）技術者が兼務した場合も認定するものとする。

・直轄工事にて、認定技術者として過去５回認定された者については、「優秀安全管理推進技術者」（以下、「優秀認定技術者」という）として認定する。

３．認定技術者の認証

・認定技術者及び優秀認定技術者に認定された者については、「安全管理推進技術者認定ロゴマーク」（以下、「認定ロゴマーク」という）を「企業の名刺」、「ヘルメット貼付」等に使用（印刷、シール）することができる。

・紛失等による認定書の再発行は行わない。

・「認定ロゴマーク」については、当該地方整備局管内で行う直轄工事のみに使用でき、それに要する費用は、当該企業が負担するものとする。

４．認定技術者の認証期間

認定技術者へ授与した認証については、その使用期間に制限を設けないものとする。

５．不適切事項への措置による認証の取り扱い

認定技術者が関係する工事にて、粗雑工事等の発覚より、関東地方整備局から措置（指名停止、文書注意、口頭注意）を受けた場合であっても、過去の認証の取り消しは行わない。ただし、工事完成後、安全管理に関して不適切な事象が発覚した場合、または、不正による認定取得が確認された場合については、認定を取り消す。

第４４条　熱中症対策に資する現場管理費の補正

１．本工事は、夏季における真夏日などの気候状況を考慮し、工事現場の熱中症対策に掛かる経費に関して「熱中症対策に資する現場管理費の補正」を行う試行工事である。

２．真夏日の考え方は下記のとおりである。

（１）真夏日の定義

日最高気温が３０℃以上の日を指す。

ただし、夜間工事の場合は作業時間帯の最高気温が３０℃以上の場合とする。

（２）試行にあたっての真夏日の計上の考え方

下記①～③のいずれかに該当する場合、真夏日として計上する。

①　環境省が公表している暑さ指数（WBGT）が日最高２５℃以上の場合。

施工現場から最寄りの環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）が２５℃以上となる日を、真夏日とみなす。

②　気象庁が公表している地上気象観測所の日最高気温が３０℃以上の場合。施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温が３０℃以上の日を、真夏日とする。

③　夜間工事については、作業時間帯の最高気温が３０℃以上の場合。

施工現場から最寄りの観測地点における作業時間帯の最高気温が３０℃以上、又はWBGTが２５℃以上の場合、真夏日とする。

なお、休工日においては、上記に該当した場合でも真夏日としては計上しない。

上記①～③によりがたい場合は、監督職員と協議すること。

（３）工期

工事着手から工事完成日までの期間を指す。なお、年末年始休暇６日間、夏季休暇３日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まれない。

（４）基準日

受発注者協議により、「基準日」を定めるものとする。「基準日」は工事着手日を基本とする。当該「基準日」より工期末までの期間のうち、真夏日にあたる日数を算出する。

なお、夏季休暇３日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間、現場休工日は含まないものとする。

（５）真夏日率

以下の式により算出された率をいう。

・真夏日率　＝　基準日から工期末までの真夏日　÷　工期

（６）現場管理費の補正

現場管理費の補正は、工期中の日最高気温の状況に応じて補正値を算出し、現場管理費に加算する。なお、補正は契約変更において行うものとする。

・補正値（%）　＝　真夏日率　×　補正係数※

※真夏日補正係数：１．２

第４５条　交通誘導警備員の資格

交通誘導警備員については、資格者（警備業法第２３条に規定する都・県公安委員会の行う１級又は２級検定に合格した者）又は、経験１年以上の者を配置すること。

なお、これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。

第４６条　事業損失防止施設

工事施工に伴い、工事箇所近隣の事前事後調査を下記の要領で行い、監督職員に報告しなければならない。なお、工事施工期間中、工事箇所近隣に被害があった場合には、速やかに状況を調査し、監督職員に報告しなければならない。

工事施工箇所の近隣の建物等について工事施工の事前、事後調査を行い、その結果を提出するものとする。

詳細については、監督職員の指示によるものとし、調査内容、報告については次のとおりとする。

①　調査内容

柱、壁、屋根、基礎等の構造体及びタイル張面、建具等の傾斜や損傷状況と門、塀、コンクリート叩き、井戸等の工作物についても調査を行い、工事との因果関係が把握できるよう資料を作成するものとする。

②　報告書

調査区域の平面図、家屋調査一覧表（住所、所有者、構造等）家屋平面図等を取りまとめ、状況写真集とともに製本して２部提出するものとする。

なお、家屋調査に要する費用については、当初は計上していないため、監督職員と協議するものとする。

第４７条　路上工事の縮減等

受注者は、路上工事による交通への影響の緩和を図るため、施工方法・規制時間帯・施工日数の短縮等の検討を行い、監督職員に提出するとともに工事完了時に実施結果を提出するものとし、路上工事の縮減等に努めるものとする。

第４８条　交通規制日数の報告

現道上での（改築・維持修繕）工事等により交通規制を実施した場合には、月毎に実交通規制日数を監督職員へ提出するものとする。

第４９条　環境対策

受注者は、工事に伴う公害防止（騒音、振動、粉塵、排出ガス等）のため、下記によらなければならない。

１．工種
　構造物取壊し工（ｺﾝｸﾘｰﾄ切断）
２．施工方法
　コンクリート切断：乾式ワイヤーソーイング
３．施工にあたり現地状況を十分把握し、安全性、経済性等の検討を行い、施工方法に変更が生じた場合、又は上記により難い場合は、監督職員と協議しなければならない。

第５０条　特定調達品目の調達実績の調査

受注者は、本工事の資材、建設機械の使用にあたっては、必要とされる強度や耐久性、機能の確保等に留意しつつ、環境物品等の調達の推進に関する基本方針に定められた国土交通省の特定調達品目（以下、「特定調達品目」という）の使用を積極的に推進するものとする。設計図書に定めがあるものについて、特定調達品目への変更が可能である場合は、監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。ただし、東日本大震災の影響により、特定調達品目の使用が困難な場合には、監督職員と協議するものとする。

受注者は、特定調達品目の調達実績の集計を行い、工事完了後（工期が令和８年度以降に及ぶものは、監督職員の指示する日まで）に、電子データにより監督職員に提出するものとする。集計の方法については、監督職員より指示する。

第５１条　環境対策（建設機械の使用）

受注者は、本工事において「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」（昭和６２年３月３０日建設省経機第５８号）に基づき、低騒音型建設機械の使用原則を図られた場合は、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」に基づき指定された低騒音型建設機械を使用するものとする。

第５２条　ディーゼル車排出ガス規制に適合した車輌の使用

１．受注者は、本工事現場で使用し又は使用される関係車輌（以下、本工事関係車輌という。）が、埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県のディーゼル車排出ガス規制条例（以下、関係法令等という。）の適用を受ける場合は、これに適合した車輌を使用しなければならない。
２．受注者は、本工事の施工に先立ち、本工事関係車輌の「ディーゼル車排出ガス規制に適合する車輌の使用」について、関係法令等の遵守を施工計画書に記載しなければならない。
３．受注者は、本工事関係車輌にディーゼル車を使用する場合には、車検証等のコピーを保管し、本工事関係車輌を把握しなければならない。
４．受注者は、取締りにより本工事関係車輌に違法行為等があった場合には、直ちに監督職員に報告しなければならない。
５．受注者は、資機材の搬出入等において、資材納入業者に関係法令等を遵守させるものとする。

第５３条　交通安全管理（工事現場管理）

受注者は、工事の施工にあたっては、次の事項を遵守するものとする。
１．積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
２．さし枠装着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
３．過積載車輌、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等過積載を助長することのないようにすること。
４．取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行った場合、さし枠装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
５．建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたって、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
６．以上のことにつき、下請業者にも十分指導すること。

第５４条　交通安全管理（特殊車両通行許可関係図書の確認及び提出）

共通仕様書１－１－１－３６交通安全管理第１４項における道路法第４７条の２に基づく通行許可の確認は下記について実施するものとする。また監督職員からの求めがあった場合には確認結果等を提示しなければならない。

①　当該車両に関する特殊車両通行許可証

②　現場到着地点及び現場出発時における荷姿（荷姿全景、ナンバープレート等通行許可証と照合可能な写真を撮影しておくこと）

③　車両通行記録計（タコグラフ）（夜間走行条件の場合のみ）

なお、当該車両の特殊車両通行許可証については、当該経路に関する部分の写しを、共通仕様書１－１－１－３９官公庁等への手続等第３項に基づき、監督職員へ提示するものとする。

第５５条　通行許可等

１．受注者は、建設機械、資材の運搬にあたり、道路法第４７条第１項、車両制限令第３条における一般的制限値を超える車両を通行させようとする場合は、運搬資機材毎に運搬計画（車種区分、車両番号等、車両諸元及び積載重量、資材の積載限度数量、通行経路、許可証等の有効期限等の確認方法と確認頻度）を作成し、施工計画書に記載しなければならない。

２．受注者は、運搬計画どおりに運行していることを確認しなければならない。また、確認を行った資料については、整理保管するとともに、監督職員または検査職員の要求があった場合は速やかに提示しなければならない

第５６条　現場環境改善

１．現場環境改善として実施する内容は、下記のとおりとするが、現場条件等により実施が困難になった場合には、監督職員と協議するものとする。

⑴仮設備関係

緑化・花壇を実施するものとする。

⑵営繕関係

現場事務所の快適化、現場休憩所の快適化を実施するものとする。

⑶安全関係

盗難防止対策（警報機等）を実施するものとする。

⑷地域連携

デザイン工事看板（各工事ＰＲ看板含む）を実施するものとする。

２．現場環境改善については具体的な内容、実施時期について施工計画書に含め提出するものとする。

３．主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策については、工事契約後、監督職員と協議するものとし、現場環境改善費（率）の 50%を上限として設計変更の対象とする。

第５７条　工期

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間と実工事期間を合わせた全体工期を設定した工事であり、発注者が示した工事完了期限までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定できる。なお、契約を締結するまでの間に、別紙様式－１６により、工事の始期及び終期を通知すること。

余裕期間内は、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

全体工期：契約締結日の翌日から令和９年５月３１日まで

※ 契約締結後において、工期の始期の変更の必要が生じた場合は、監督職員と協議の上、工期に係る契約を変更することにより、工事に着手することができるものとする。なお、

条件の変更がない場合において、契約時に設定した工期の変更は行わない。

①準備期間	６０日間
②後片付け期間	２０日間
③雨休率（実働工期日数に休日と悪天候により作業が出来ない日数を見込むための係数　実働日数×係数）	０．８３

※雨休率を算出した際の日換算した年間の作業不能日は以下の通りである。（当該工事の作業不能日ではない。）

イ）１日の降雨・降雪量が１０㎜/日以上の日：２９日間

ロ）８時から１７時までの WBGT 値が３１以上の時間を足し合わせた日数：１１日間

（少数第１位を四捨五入（整数止め）し、日数換算した日数）

過去５か年（2020 年～2024 年）の気象庁（東京観測所）及環境省（東京地点）のデータより年間の平均発生日数を算出（雨休率を算出した際の日換算した年間の作業不能日）

第５８条　工事工程クリティカルパスの共有

受注者は、現場着手前（準備期間内）に設計図書等を踏まえた工事工程表（クリティカルパスを含む）を作成し、監督職員と共有すること。工程に影響する事項がある場合は、その事項の処理対応者（「発注者」又は「受注者」）を明確にすること。

施工中に工事工程表のクリティカルパスに変更が生じた場合は、適切に受発注者間で共有することとし、工程の変更理由が以下の①～⑤に示すような受注者の責によらない場合は、工期の延長が可能となる場合があるので協議すること。

① 受発注者間で協議した工事工程の条件に変更が生じた場合

② 著しい悪天候や気象状況より「天候等による作業不能日」が工程（官積算）で見込んでいる日数から著しく乖離し、かつ、作業を休止せざるを得なかった場合

③ 工事中止や工事一部中止により全体工程に影響が生じた場合

④ 資機材や労働需要のひっ迫により、全体工程に影響が生じた場合

⑤ その他特別な事情により全体工程に影響が生じた場合

第５９条　工事工程表の開示の試行工事

１．本工事は、工期設定の根拠とした工事に必要な関係機関との調整、住民合意、用地確保、法定手続きなどの進捗状況を踏まえた工事工程表を開示するとともに、設計審査会等において工事工程クリティカルパスの共有や発注者が作成する工程と受注者が作成する工事工程の照合（クロスチェック）を行うことにより、適切な工期設定の取組を行う「工事工程表の開示の試行工事」である。

２．工事契約後、設計審査会等において、「前条　工事工程クリティカルパスの共有」により作成した工事工程表を確認し、受注者・発注者間でクリティカルパスの共有を行うものとする。

３．設計審査会等において、発注者が開示した工事工程表（別紙-5）との照合（クロスチェック）を実施し、必要に応じて工期延伸の判断について審査を行うなど、適正な工事工程の確保に努めるものとする。

４．本試行に関するアンケート調査を実施する場合はこれに協力すること。

第６０条　週休２日制適用工事

１．本工事は、監督職員と受注者双方が工程調整を行うことにより、完全週休２日（土日）を達成するよう工事を実施する「現場閉所による週休２日制適用工事（完全週休２日）（受注者希望方式）」の試行工事である。

受注者は、工事契約後、完全週休２日（土日）の取組を希望するか判断の上、発注者に協議するものとし、希望しない場合は月単位の週休２日に取組むものとする。

２．週休２日の考え方は下記のとおりである。

１）週休２日

①完全週休２日（土日）

対象期間内の全ての土日において、現場閉所を行ったと認められる状態をいう。

受注者の責によらず土日に施工を行わざるを得ない場合は、協議により、同一の週に土日に代わる現場閉所日（以下、「代替休日」という。）を設定することによって、土日に現場閉所を行ったとみなす。なお、週の定義は月曜日から日曜日までとする。

②月単位の週休２日

対象期間内の全ての月において、現場閉所日数の割合（以下、「現場閉所率」という。）が、28.5%（８日/28 日）以上となる現場閉所を行ったと認められる状態をいう。

なお、降雨、降雪等による予定外の現場閉所日についても、現場閉所日数に含めるものとする。

２）対象期間

工事着手日から工事完成日までの期間をいう。なお、年末年始休暇６日間、夏季休暇３日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間など）は含まない。

また、工事着手後、受注者の責によらず週休２日の実施が困難な期間が生じる場合は、受発注者間で協議して週休２日の対象外とする作業と期間を決定するとともに、変更契約時の設計図書に対象外とする作業と期間を明示する。ただし、対象外とする期間は災害対応等のやむを得ない期間に限定すること。

３）現場閉所

巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて１日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

３．天候等を天候等による作業環境が厳しい時期を避けることを目的に、１年単位の変形労働時間制を活用する場合は、１週４０時間または１日８時間を超える労働時間を設定した月は、週休２日工事の対象期間外とする。また１ 年単位の変形労働時間制の活用について施工計画書に反映し、労働基準監督署へ提出した下記の資料を提出すること。

・１年単位の変形労働時間制を活用する労働者とその使用者が締結した労使協定

・変更した就業規則

４．現場閉所を行うときは、監督職員へ事前に連絡すること。ただし、以下に該当する場合は、連絡は不要である。

①施工計画書に記載した法定休日・所定休日の場合

②週間工程会議等により監督職員が事前に把握している場合

③官公庁の休日の場合

完全週休２日（土日）の実施にあたり、受注者の責に寄らず土日に施工を行わざるを得ない場合は、協議により、同一の週に代替休日を設定すること。なお、夜間工事の場合は作業に着手した日を作業日とみなす。

また、天候等による作業環境が厳しい時期を避けることを目的に、１年単位の変形労働時間制を適用し休日を振り替える場合には、振替前後の日にちが把握出来るよう施工計画書に記載しておくこと。

５．監督職員は、受注者の月毎の現場閉所率の状況を適宜確認するものとし、受注者側の週休２日の取組状況が十分でない場合は、受発注者双方において要因を分析し、週休２日が確保できるよう改善に取り組むものとする。

６．工事完了後、週休２日の取得結果が確認できる「取得報告書」を作成し、監督職員に提出するものとする。

７．アンケート調査を実施する場合はこれに協力すること。

８．明らかに受注者側に月単位の週休２日に取り組む姿勢が見られなかった場合については、内容に応じて、工事成績評定から点数を減ずる措置を行うものとする。

９．週休２日に掛かる費用については、当初予定価格から完全週休２日（土日）を達成した

場合の補正係数を労務費、市場単価、土木工事標準単価、共通仮設費率、現場管理費率に乗じているが、現場閉所の達成状況を確認後、完全週休２日（土日）が未達成の場合は、月単位の週休２日の補正係数に変更する。月単位の週休２日が未達成の場合は、補正係数を除して変更する。

完全週休２日（土日）の取組を希望しない場合は、月単位の週休２日の補正係数に変更する。また、現場閉所の達成状況を確認後、月単位の週休２日が未達成の場合は、補正係数を除して変更する。

第６１条　悪天候等により工期変更が必要となる場合の協議を簡素化する試行

１．受注者は、著しい悪天候により作業不稼働日が多く発生し、工期内に工事を完成することが困難な場合はその理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。

著しい悪天候とは、当該工事の工期月の雨休率が、直近５カ年における工期月の雨休率の平均値を超える場合をいう。

工期月とは、工事着手日から工事完成予定日までの期間のうちの、工期の延長変更請求時までにかかる月（ただし、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は除く）をいう。

なお、本工事の降雨降雪日は、気象庁のデータにおける１ 日の降雨・降雪量雨が 10㎜以上/日の日を想定している。

２．アンケート調査を行う場合は、これに協力すること。

第６２条　担い手確保・育成貢献について

本工事は建設産業の担い手の確保・育成工事に関する取り組みが優れた工事について、企業に対して表彰を行う「大宮国道事務所建設産業担い手確保・育成貢献工事表彰制度」の対象工事であり、受注者は、自ら立案実施した担い手の確保対策や育成貢献のための取り組みにおいて評価できる項目について、工事完成時までに所定の様式「別紙―８（１）～（２）」により、監督職員に提出する事ができる。

第６３条　個人情報の取扱について

１．基本的事項

受注者は、個人情報の保護の重要性を認識し、この契約による事務を処理するための個人情報の取り扱いに当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報の保護に関する法律（平成１５年５月３０日法律第５８号）第６６条第２項第１号の規定に基づき、個人情報の漏えい、滅失、改ざん又はき損の防止その他の個人情報の安全管理のために必要かつ適切な措置を講じなければならない。

２．秘密の保持

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

３．取得の制限

受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示しなければならない。また、当該利用目的の達成に必要な範囲内で、適正かつ公正な手段で個人情報を取得しなければならない。

４．利用及び提供の制限

受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務を処理するための利用目的以外の目的のために個人情報を自ら利用し、又は提供してはならない。

５．複写等の禁止

受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務を処理するために発注者から提供を受けた個人情報が記録された資料等を複写し、又は複製してはならない。

６．再委託の禁止

受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務を処理するための個人情報については自ら取り扱うものとし、第三者にその取り扱いを伴う事務を再委託してはならない。なお、発注者の指示又は承諾により第三者に個人情報の取り扱いを伴う事務を再委託する場合（二以上の段階にわたる委託を含む。）には、受注者は当該第三者に対して、個人情報の保護に関する法律（平成１５年５月３０日法律第 57 号）第 66 条第２項第４号に基づく個人情報の漏えい、滅失、改ざん又はき損の防止その他の個人情報の安全管理のために必要かつ適切な措置を講じさせなければならない。

７．事案発生時における報告

受注者は、個人情報の漏えい等の事案が発生し、又は発生するおそれがあることを知ったときは、速やかに発注者に報告し、発注者の指示に従うものとする。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

８．資料等の返却等

（１）受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から貸与され、又は受注者が収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等を、この契約の終了後又は解除後速やかに発注者に返却し、又は引き渡さなければならない。ただし、発注者が、廃棄又は消去など別の方法を指示したときは、当該指示に従うものとする。なお、発注者の指示又は承諾により個人情報が記録された資料等を複写等した場合には、確実にそれらを廃棄又は消去するとともに、証明書（別紙－２）を発注者に提出しなければならない。

（２）前項の規定は、発注者の指示又は承諾により第三者に個人情報の取り扱いを伴う事務を再委託する場合（二以上の段階にわたる委託を含む。）において準用する。

９．管理の確認等

発注者は、受注者における個人情報の管理の状況について適時確認することができる。

また、発注者は必要と認めるときは、受注者に対し個人情報の取り扱い状況について報告を求め、又は検査することができる。

１０．管理体制の整備

受注者は、この契約による事務に係る個人情報の管理に関する責任者を特定するなど管理体制を定めなければならない。

１１．従事者への周知

受注者は、従事者に対し、在職中及び退職後においてもこの契約による事務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならないことなど、個人情報の保護に関して必要な事項を周知しなければならない。

第６４条　施工時期及び施工時間の変更

本工事の作業区分は下記によるものとする。

作 業 区 分	施　工　区　分	標準作業時間
昼 間 作 業	全ての工種	８：００～ １７：００

上記については、積算上の条件明示であり、作業時間を指定するものではない。

各々の標準作業時間には、日々の作業準備、後片付け、ＫＹ等安全活動なども含まれる。

ただし、上記区分に変更を要する場合は、監督職員と協議するものとする。

第６５条　新技術の活用「新技術の定義」

１．本工事は、新技術活用の促進を図ることを目的とした、新技術活用工事である。

２．新技術の定義

新技術活用の原則化における新技術の定義は以下による。

①技術の成立性が技術を開発した民間事業者等により実験等の方法で確認されている技術

②公共工事等において実用段階に達している技術

③当該技術の適用範囲において従来技術に比べて活用の効果が同程度以上の技術又は同程

度以上と見込まれる技術
④実用段階に達していない技術又は要素技術など研究開発段階にある技術であって国により導入促進を図る技術

３．対象とする新技術

新技術活用の原則義務化の対象とする新技術は以下のとおりとする。

1) 新技術情報提供システム（NETIS）登録技術
URL　http://www.netis.mlit.go.jp

2) NETIS のテーマ設定型の技術比較表に掲載されている技術

3) 新技術導入促進（Ⅱ）型により活用する技術

4) 新技術のニーズ・シーズマッチングにより現場実証し、従来技術と同等以上と確認できた技術

対象とする技術は、NETIS「マッチング」に掲載された技術のうち、「標準化推進技術」「普及促進技術」のいずれかに該当するものとする。

なお、NETIS 掲載期間終了技術は対象外とする。

第６６条　新技術の活用（施工者選定型）

１．本工事は、施工者が原則１技術以上の新技術を選択したうえで活用を図る新技術活用工事である。

２．本工事において、第６５条　新技術の活用「新技術の定義」３．対象とする新技術に示す 1)～4)の技術が選定されていない場合、受注者は施工に先立ち、当該工事内容について十分把握の上、新技術を原則一つ以上選定し、監督職員の承諾を得た上で活用するものとし、活用する新技術の名称及び内容等を施工計画書に記載するものとする。活用する新技術が NETIS 登録技術の場合は新技術活用計画書も提出するものとする。

３．受注者は、選定した新技術が第６５条　新技術の活用「新技術の定義」３．対象とする新技術に示す 1)～4)のいずれの新技術であるか確認できるよう、施工計画書に記載する。

４．当該技術については、設計図書等で定められた事項に係る部分でない場合は、設計変更の対象としない。

５．受注者は、試行現場照会中の技術を活用する場合において当該技術の施工にあたり NETIS 申請者が実施する「試行調査」に協力するものとする。なお、試行調査に係る費用は NETIS 申請者が負担する。

６．試行現場照会中の技術を活用する場合、当該工事の実施箇所において標準的に使用される技術の施工費相当額を超える費用については、試行調査に係る費用とみなし、NETIS 申請者の負担とする。

７．受注者は、活用する新技術が情報種別記号「－ＶＥ」以外の NETIS 登録技術の場合は、当該技術の施工にあたり「活用効果調査」を行うものとする。「活用効果調査」は、「新技術情報提供システム(NETIS)」より作成し、監督職員に提出するものとする。

８．受注者は、本工事によって知り得た当該技術に係わる情報は、監督職員の許可なく公表してはならない。

第６７条　建設現場の遠隔臨場における遠隔臨場の実施（発注者指定型）

１．建設現場における遠隔臨場の実施

「建設現場における遠隔臨場の実施」は、受注者における「段階確認に伴う手待ち時間の削減や確認書類の簡素化」や発注者（監督員）における「現場臨場の削減による効率的な時間の活用」を目指し、動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）と Web 会議システム等を介して「段階確認」、「材料確認」と「立会」の遠隔臨場を行うものとする。

なお、遠隔臨場の実施にあたっては「建設現場における遠隔臨場に関する実施要領（案）R5.3」を参考に実施するものとする。

URL　https://www.mlit.go.jp/tec/content/001594449.pdf

２．遠隔臨場を適用する工種、確認項目

現場での適用・不適用については、受発注者間にて協議の上、適用する工種・確認項

目を選定することとする。

３．実施内容

(1) 段階確認・材料確認、立会での確認

①受注者が動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）により取得した映像及び音声を Web 会議システム等を介して「段階確認」、「材料確認」と「立会」を行うものとする。

②確認実施者が現場技術員の場合、現場技術員は使用する PC にて遠隔臨場の映像（実施状況）を画面キャプチャ等で記録し、情報共有システム（ASP）等に登録して保管する。（従来の立会資料の管理と同様とする。）

(2) 動画撮影

動画撮影は、撮影者の安全を確保するため、撮影者が移動の際に横転等が考えられるいわゆる「歩きスマホ」（カメラを手に持って歩きながら撮影）での撮影はしないこと。

動画撮影は、静止して撮影又は撮影者のヘルメットや胸ポケットに付ける等の安全に配慮するものとする。

(3) 機器の準備

遠隔臨場に要する動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）や Web 会議システム等は受注者が手配、設置するものとする。これによらない場合は監督職員等と協議し決定するものとする。

なお、配信に利用するシステムは、「パッケージ化したシステム」、「情報共有システム（ASP）」、「Web 会議システム（teams､zoom 等）」等、何れのシステムを利用してよい。

(4) 遠隔臨場を中断した場合の対応

電波状況等により遠隔臨場が中断された場合の対応について、事前に受発注者間で協議を行うものとする。対応方法に関しては、確認箇所を画像・映像で記録したものをメール等の代替手段で共有し、監督職員等は机上確認することも可能とする。

なお、本項目は受発注者間で協議し、別日の現場臨場に変更することを妨げるものではない。

(5) フォローアップ調査

工事完了時に別紙様式-１９を監督職員へ提出するものとする。

また、遠隔臨場を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示によるものとする。

(6) 費用

遠隔臨場にかかる費用については、工事実施に必要な施工管理費として、全必要額を技術管理費に積み上げ計上し、設計変更するものとする。

なお、機器の手配は基本的にリースとし、その賃料を計上するものとするが、やむを得ず購入せざるを得ない機器がある場合は、その購入費に、機器の耐用年数に対する使用期間（日単位）割合を乗じた分を計上するものとする。また、受注者が所持する機器を使用する場合も、基本的には同様の考え方とするものとする。

(7) 不正行為

遠隔臨場において故意に不良箇所を撮影しない等の不正行為等を行った場合は、「建設業者の不正行為等に対する監督処分の基準　令和 5 年 3 月 3 日（国不建第 578 号）」等に従い、監督処分を実施する場合がある。

(8) 通信環境

遠隔臨場の実施にかかる通信環境整備は、発注者の費用負担にて行うものとする。

なお、通信環境整備に関する詳細は、監督職員と協議を行うものとする。

第６８条　建設現場における遠隔臨場を活用した工事検査の実施について

１．建設現場における遠隔臨場を活用した工事検査の実施

「遠隔臨場を活用した工事検査」は、受注者における「工事検査に伴う移動時間の削減や工事関係書類の簡素化」や発注者（監督職員・検査職員）における「現場実地（現場

臨場）の削減による効率的な時間の活用」等を目指し、動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ、360 度カメラ等）と Web 会議システム等を介して工事実施状況、出来形、品質と出来ばえの各検査項目を遠隔で行うものである。なお、遠隔臨場による工事検査は、『遠隔臨場による工事検査に関する実施要領（案）』の内容に従い実施する。

２．遠隔臨場を活用した工事検査の対象

遠隔臨場を活用した工事検査は、完成検査、中間技術検査、既済部分検査、完済部分検査における、工事実施状況、出来形、品質、出来ばえの各検査項目を対象とし、以下の表に示す。また、全ての検査を対象とするが、現場条件や、『遠隔臨場による工事検査に関する実施要領（案）』「7.3 検査項目の適応性」を踏まえ、従来方法（対面書類検査、現場実地検査）を選択することも可能である。

凡例　〇：遠隔臨場による工事検査の対象

	工事実施状況	出来形		品質		出来ばえ	
	書類	書類	実施	書類	実施	書類	実施
完成検査	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
中間技術検査	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
既済部分検査	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
完済部分検査	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

３．遠隔臨場を活用した工事検査を適用する検査項目

現場条件により遠隔臨場による工事検査の適応性が一致しない場合も想定されることから、検査項目での適用・不適用については、監督職員が検査職員と調整・決定し、受注者に遠隔臨場による工事検査を適用する検査項目を連絡する。遠隔臨場による工事検査を適用する検査項目については、『遠隔臨場による工事検査に関する実施要領（案）』「7.3 検査項目の適応性」を踏まえ判断する。

４．実施内容

(1) 技術検査、工事検査での実施

受注者が動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ、360 度カメラ等）により取得した映像及び音声を Web 会議システム等を介して工事実施状況、出来形、品質と出来ばえの各検査を実施するものである。

(2) 機器の準備

遠隔臨場による工事検査に要する動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ、360 度カメラ等）や Web 会議システム等は受注者が手配、設置するものとする。これによらない場合は監督職員と協議し決定するものとする。

(3) 遠隔臨場による工事検査を中断した場合の対応

電波状況等により遠隔臨場による工事検査が中断された場合の対応について、事前に受発注者間で予備日を取り決めて検査日を連絡する。

(4) 効果の検証

遠隔臨場による工事検査を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示による。

(5) 費用

遠隔臨場による工事検査にかかる費用については、受発注者間の協議を踏まえ、技術管理費に積上げ計上する。なお、監督業務で遠隔臨場を実施する工事については、遠隔検査を行うために追加で要する費用が生じた場合に監督職員と協議するものとする。

(6) 不正行為

遠隔臨場による工事検査において故意に不良箇所を撮影しない等の不正行為等を行った場合は、『建設業者の不正行為等に対する監督処分の基準 令和 3 年 9 月 30 日（国不建第 273 号）』等に従い、監督処分を実施する場合がある。

第６９条　契約後ＶＥ方式

１．定義

「ＶＥ提案」とは、契約書第１９条の２の規定に基づき、設計図書に定める工事の目的物の機能、性能等を低下させることなく請負代金額を低減することを可能とする工事材料、施工方法等に係る設計図書の変更について、受注者が発注者に行う提案である。

２．ＶＥ提案の意義及び範囲

①受注者がＶＥ提案を行う範囲は、設計図書に定められている内容のものとする。

②以下の提案は、ＶＥ提案の範囲に含まないものとする。

（１）施工方法等を除く工期の延長等の施工条件の変更を伴う提案。

（２）契約書第１８条に規定された条件変更等に該当する事実との関係が認められる提案。

（３）提案の実施に当たり、関係機関協議等、第三者との調整等を要する提案。

３．ＶＥ提案書の提出

①受注者は、前項のＶＥ提案を行う場合は、次に掲げる事項をＶＥ提案書（別紙様式－１～４）に記載し、発注者に提出しなければならない。

（１）設計図書に定める内容とＶＥ提案の内容の対比及び提案理由

（２）ＶＥ提案の実施方法に関する事項（当該提案に係る施工上の条件等を含む）

（３）ＶＥ提案が採用された場合の工事代金額の概算低減額及び算出根拠

（４）発注者が別途発注する関連工事との関係

（５）工業所有権等の排他的権利を含むＶＥ提案である場合、その取扱いに関する事項

（６）その他ＶＥ提案が採用された場合に留意すべき事項

②発注者は、提出されたＶＥ提案書に関する追加的資料、図書その他の書類の提出を受注者に求めることができる。

③受注者は、前項のＶＥ提案を契約の締結日より、当該ＶＥ提案に係る部分の施工に着手する３５日前までに、発注者に提出できるものとする。

④ＶＥ提案の提出費用は、受注者の負担とする。

４．ＶＥ提案の審査

提出されたＶＥ提案は、施工の確実性、安全性が確保され、かつ設計図書に定める工事の目的物と比較し、機能、性能等が同等以上で経済性が優位であると判断されるものについては、ＶＥ提案として採用することを原則として審査を行い、当該提案の採否を決定するものとする。

５．ＶＥ提案の採否等

ＶＥ提案の採否について、原則として、ＶＥ提案の受領後１４日以内に書面（別紙様式－５）により通知するものとする。ただし、受注者の同意を得た上でこの期間を延長することができるものとする。また、ＶＥ提案を採用しなかった場合には、その理由を付して通知するものとする。

６．ＶＥ提案を採用した場合の設計変更等

①ＶＥ提案を採用した場合において、必要があるときは、発注者は設計図書の変更を行わなければならない。

②前項の規定により設計図書の変更が行われた場合において、発注者は、必要があるときは請負代金額を変更しなければならない。

③前項の変更を行う場合においては、ＶＥ提案により請負代金額が低減すると見込まれる額の１０分の５に相当する金額（以下「ＶＥ管理費」という。）を削減しないものとする。

④ＶＥ提案を採用した後、契約書第１８条の条件変更が生じた場合、発注者がＶＥ提案に対する変更案を求めた場合、受注者はこれに応じるものとする。なお、ＶＥ管理費については、原則として変更しないものとする。

７．ＶＥ提案の活用と保護

評定の結果、当該ＶＥ提案内容の活用が効果的であると認められた場合は、他の工事においても積極的に活用を図るものとする。その場合、工業所有権等の排他的権利を有する提案については、当該権利の保護に留意するものとする。

８．責任の所在

発注者がＶＥ提案等を採用し、設計図書の変更を行った場合においても、ＶＥ提案を行った受注者の責任が否定されるものではない。

第７０条　生産性向上チャレンジ工事

１．試行の実施

本工事は、受注者の発案による施工手順の工夫等の創意工夫による生産性向上の取組みを推進する「生産性向上チャレンジ」の試行対象工事である。

２．試行の内容

工事契約後、受注者は、当該工事において、省人化等の生産性向上に資する取組みを実施することができる。

本取組みを実施する場合は、施工計画書に「生産性向上チャレンジ工事」の項目を設け、①取組内容、②期待される効果等を明記するものとし、完成検査までに実施内容及び効果を報告するものとする。また、期待される効果等について、人員削減や作業時間削減等の定量的な効果を記載できる場合は記載することとする。

なお、「技術提案で提案済みの内容」及び「特記仕様書第６５条 新技術活用「新技の定義」」において採用した取組については本試行の対象外とする。

３．工事成績評定

施工計画書で位置づけられた「生産性向上チャレンジ工事」の取組の履行が確認出来た場合は加点を行うこととする。

４．本試行に係る費用については、原則、受注者負担によるものとする。

第７１条　現場技術員

本工事は、現場技術員の配置対象工事であり、現場技術業務を建設コンサルタント等に委託する予定としている。

第７２条　施工体制調査員

本工事は、現場における施工体制の点検補助を建設コンサルタント等に委託する予定としている。また、本工事の施工体制の点検を担当する施工体制調査員の氏名は、別途監督職員より通知する。

なお、施工体制調査員は、工事の情報共有システム（ＡＳＰ）により電子書類を閲覧し、点検を行うため、施工体制調査員を情報共有システム（ＡＳＰ）のユーザーに登録するものとする。（「閲覧のみ可能」で登録）

第７３条　施工体制の点検

１．受注者は「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」（平成１２年法律第１２７号　最終改正令和６年１２月１３日）第１５条３により発注者から施工体制について点検を求められたときは、これを受けることを拒んではならない。

２．施工体制の点検員は当該工事の監督職員、施工体制調査員及び発注担当事務所の職員である。

３．施工体制調査員は、業務証明書を携帯し、胸に委託業務名、委託先、業務職（施工体制調査員）、氏名、顔写真の入った名札を着用している。

４．当該工事の監督職員及び発注担当事務所の職員は、所属、氏名、顔写真の入った名札を着用している。

５．施工体制調査員は、施工体制の点検を行う者で、指示等の権限は有しない。

６.施工体制調査員は、電子書類の点検を工事の情報共有システム（ＡＳＰ）により「閲覧」し、点検する。

７．施工体制調査員は、第１回目の現地点検は現地で点検するが、以降の点検は、映像により点検が可能な項目は、必要に応じ、工事の受注者が導入しているＷＥＢ会議や遠隔臨場システムを活用し、点検することを可能とする。

ただし、立会や打合せ等においてＷＥＢ会議や遠隔臨場システムを導入していない工事や現地での点検を希望する工事は、従来通り、現地で点検する。

第７４条　品質証明

本工事は、品質証明対象工事とする。なお、提出様式は別紙様式－１２によるものとする。

第７５条　工事完成図書の納品

１．本工事は電子納品対象工事とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでいう電子成果品とは、「工事完成図書の電子納品等要領(令和５年３月)：(以下「要領」という。)」に基づいて作成した電子データを指す。

「要領」で特に記載がない項目については、原則として電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は監督職員と協議の上、電子化の是非を決定する。

なお、電子納品の運用にあたっては、「電子納品等運用ガイドライン【土木工事編】(令和６年３月)」を参考とするものとする。

２．本工事は「オンライン電子納品実施要領」に基づき、オンライン電子納品を行うものとする。

オンライン電子納品は、発注者が用意した電子納品保管管理サーバへのオンラインによる納品を原則とする。

なお。オンラインによる納品が実施できない場合は、監督職員と協議の上、電子媒体に格納して納品するものとする。

３．成果品の提出の際には、電子納品チェックシステムによるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウィルス対策を実施したうえで提出すること。

第７６条　技術検査

１．本工事は、中間技術検査対象工事とし、実施回数は２回以上を原則とする。なお、工事成績優秀企業の適用工事にあたっては、減免することが出来るものとする。但し、低入札価格調査制度対象工事となった工事及び監督強化価格対象工事については、減免の適用の対象外とする。

２．中間技術検査の実施時期は、完成、既済部分(完済を含む)の検査時期及び当該工事の主要工種を考慮し、施工上の重要な変化点で行うことを原則とする。実施時期は、監督職員が選定するものとし、監督職員は、受注者に対して書面をもって検査日及び検査職員名を通知するものとする。

３．中間技術検査は、上記を標準として実施することとするが、中間技術検査の主旨を踏まえ、現場条件、工事規模、内容、工期等を考慮して、実施時期、実施回数を変更することが出来る。

第７７条　書類限定検査

１．本工事は、検査に必要な書類を限定し、監督職員と技術検査官の重複確認廃止の徹底及び受注者における説明用資料等の書類削減により効率化を図る「書類限定検査」の対象である。

２．書類限定検査とは、検査時に下記の１０書類に限定して資料検査を行うものとする。

①施工計画書	⑥出来形管理図表
②施工体制台帳（下請引取検査書類を含む）	⑦品質管理図表
③工事打合せ簿（協議）	⑧品質規格証明資料
④工事打合せ簿（提出）	⑨品質証明書
⑤工事打合せ簿（承諾）	⑩工事写真

なお、以下の工事については対象外とする。

・「低入札価格対象工事」又は「監督体制強化工事」は対象外

・施工中、監督職員より文書等により改善指示が発出された工事は対象外

３．実施状況や改善点等を把握するためのアンケートに協力する。

第７８条　ウィルス対策

受注者は、電子納品時のみならず、監督職員に工事に関する事項について電子データを提出する際には、ウイルス対策を実施した上で提出しなければならない。

また、ウイルスチェックソフトは常に最新データに更新（アップデート）しなければならない。

第２章　土　工

第７９条　土取り場からの建設発生土の利用について

埋戻しで不足する土砂については、熊谷バイパス（埼玉県鴻巣市箕田地先）の建設発生土を利用するものとする。（運搬距離４１．８㎞）

これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。

第８０条　掘削工

掘削土は埋戻しに流用するものとする。

また、構造物の床掘により、発生した土砂は、埋戻しに流用するものとする。

第３章　無筋・鉄筋コンクリート

第８１条　レディーミクストコンクリート

１．コンクリートは、レディーミクストコンクリートを原則とし、下記の仕様によるものとする。

用　　途	粗骨材の最大寸法	ｽﾗﾝﾌﾟ	水ｾﾒﾝﾄ比	呼び強度	ｾ ﾒ ﾝ ﾄ の 種 類
橋台 フーチング 竪壁 パラペット 橋脚 フーチング	２５㎜	１２㎝	５５％以下	２４N/㎟	高炉ｾﾒﾝﾄＢ種
均しｺﾝｸﾘｰﾄ部 現場打集水桝	２５㎜	８㎝	－	１８N/㎟	高炉ｾﾒﾝﾄＢ種

ただし、これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。

２．コンクリートの耐久性向上の対策は「コンクリートの耐久性向上」仕様書（土木編）（平成１４年８月一部改正）により行うものとする。

第８２条　配合

水セメント比については、示方配合表により監督職員の確認を得なければならない。

なお、水セメント比を減じることにより施工性が著しく低下する場合は、必要に応じて、高性能減水剤の使用等を検討しなければならない。また、下記構造物については適用除外とする。

・仮設構造物（建設後数年の内に撤去するもの。）
・最大高さ１ｍ未満の擁壁・水路・側溝及び街渠等の構造物。
・管（函）渠等（φ600 未満、600㎜×600㎜ 未満）の構造物。
・道路照明、標識、防護柵等の構造物。
・耐久性を期待しない構造物。

第８３条　テストハンマーによる強度推定調査

１．適用範囲

強度確認調査の対象工事については、高さが５ｍ以上の鉄筋コンクリート擁壁、内空断面積が２５ｍ２以上の鉄筋コンクリートカルバート類、橋梁上・下部工、トンネル及び高さが３ｍ以上の堰・水門・樋門とする。

但し、いずれの工種についても、プレキャスト製品及びプレストレストコンクリートは測定の対象としない。

２．調査頻度

１）調査頻度は、鉄筋コンクリート擁壁及びカルバート類については目地間、トンネルについては１打設部分、その他の構造物については強度が同じブロックを１構造物の単位として、各単位につき３ヶ所の調査を実施しなければならない。

２）調査結果、所定の強度が得られない場合については、その箇所の周辺において再調査を５ヶ所実施しなければならない。

３．測定方法及び測定時期

１）測定方法は、「硬化コンクリートのテストハンマー強度の試験方法（ＪＳＣＥ－Ｇ５０４）」により実施しなければならない。

２）測定は、足場が存置されている間に実施しなければならない。これにより難い場合は、監督職員の承諾を得るものとする。

４．測定の立ち会い

監督職員等及び受注者が立ち会いのうえテストハンマー強度推定調査を実施しなければならない。

５．調査の報告

構造物毎に別紙様式－９により調査票を作成し、完成検査時に提出しなければならない。

第８４条　圧縮強度試験

１．コアの採取

所定の強度を得られない箇所の付近において、原位置のコアを採取するものとし採取位置については監督職員と協議を行い実施しなければならない。また、コア採取位置、供試体の抜き取り寸法等の決定に際しては、設置された鉄筋を損傷させないよう十分な検討を行なわなければならない。

２．試験方法

「コンクリートからのコア及びはりの切取り方法並びに強度試験法（ＪＩＳ　Ａ　１１０７）」により実施しなければならない

３．試験の立ち会い

監督職員等及び受注者が立ち会いのうえ圧縮強度試験を実施しなければならない。

４．試験の報告

構造物毎に別紙様式－１０により調査票を作成し提出しなければならない。

第８５条　ひび割れ発生状況の調査

１．適用範囲

ひび割れ発生状況の調査の対象工種については、高さが５ｍ以上の鉄筋コンクリート擁壁、内空断面積が２５ｍ２以上の鉄筋コンクリートカルバート類、橋梁上・下部工、及び高さが３ｍ以上の堰・水門・樋門とする。但し、いずれの工種についても、プレキャスト製品及びプレストレストコンクリートは測定の対象としない。

２．調査方法

１）０．２mm以上のひび割れ幅について、展開図を作成するものとし、展開図に対応する写真についても提出しなければならない。

２）ひび割れ等変状の認められた部分のマーキングを実施しなければならない

３．調査時期

調査は、足場が存置されている間に実施しなければならない。これにより難い場合は、監督職員の承諾を得るものとする。

４．調査の報告

構造物毎に別紙様式－１１により調査票を作成し提出しなければならない。

５．調査結果の評価

調査結果の評価に当たっては、「ひび割れ調査結果の評価に関する留意事項」を参考にした評価を行ない評価書（様式自由）を提出しなければならない。

第８６条　コンクリート構造物非破壊試験（配筋状態及びかぶり測定）について

１．コンクリート構造物非破壊試験(配筋状態及びかぶり測定)は、「非破壊試験等によるコンクリートの品質管理について」（平成３０年１０月２４日付け国官技第４４号）（http://www.mlit.go.jp/tec/tec_tk_000052.html を参照）により行うものとする

２．本工事での試験箇所数は、監督職員と協議の上、対象構造物、箇所数等を決定するものとする。

第８７条　微破壊・非破壊試験によるコンクリートの強度測定

１．微破壊・非破壊試験によるコンクリートの強度測定は、「非破壊試験等によるコンクリートの品質管理について」（平成３０年１０月２４日付け国官技第４４号）（http://www.mlit.go.jp/tec/tec_tk_000052.html を参照）により行うものとする。

２．本工事での試験箇所数は、現地状況、試験実施機関の実情等により、監督職員と協議の上、測定方法、対象構造物及び箇所数等を決定するものとする。

第８８条　組立て

配筋・組立において、鉄筋組立固定架台、鉄筋固定金具を使用する場合は監督職員と協議しなければならない。

第８９条　機械式鉄筋継手

機械式鉄筋定着工法を採用する場合は、「機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン（平成２８年７月）」に基づき実施するものとする。

受注者は、施工する工法について、求める性能に関する公的認証機関による建設技術審査証明の写しを監督職員へ提出し、承諾を得なければならない。

また、現場施工における取付箇所の品質確認方法について、監督職員と協議するものとする。

第９０条　機械式鉄筋継手工法について

機械式鉄筋継手工法を採用する場合は、「現場打ちコンクリート構造物に適用する機械式継手工法ガイドライン（平成２９年３月）」に基づき実施するものとする。

受注者は、施工する工法について、求める性能に関する公的機関等による技術的な確認を受けた証明書の写しについて、監督職員の承諾を得なければならない。

また、現場施工における取付位置や等級、品質確認方法について、監督職員と協議するものとする。

施工前には、施工要領書について監督職員の承諾を得なければならない。施工時には、工法に関して教育、講習等を受けた有資格者の管理の下で施工しなければならない。

第９１条　型枠穴孔の補修

型枠セパレータで除去タイプのコーンを用いる場合は、セパレータ端部が鉄筋かぶり内に残らないようにすること。

また、モルタル等による型枠穴孔の補修を行う場合は、専用コテ等で入念に仕上げること。

型枠穴孔の補修材の落下による第三者被害が想定される箇所については、落下の懸念が少ない方法によることとし、その方法を施工計画書に記載しなければならない。

第９２条　エンクローズ溶接

当初発注時はエンクローズ溶接を見込んでいない。これにより難い場合は監督職員と協議するものとし設計変更の対象とする。

第９３条　支承箱抜き

当初発注時は支承箱抜きの材料費のみを見込んでおり､工事費を見込んでいない。これにより難い場合は監督職員と協議するものとし設計変更の対象とする。

第４章　材　　料

第９４条　砕石

構造物の基礎には再生クラッシャーラン（ＲＣ－４０）を使用するものとする。

第５章　一般施工

第９５条　仮設工

１．土留・仮締切工

① 本工事の土留・仮締切工に関する仮設にあたっては、現地の状況を十分把握し、安全性、細部構造等については請負者において十分検討を行い、受注者の責任において決定し、施工するものとする。

② 上記の決定にあたっては、下記条件等を遵守するものとする。
なお、下記条件等に変更が生じた場合には、監督職員と協議のうえ変更するものとする。
・設計条件
土質定数は貸与する報告書にて照査を行うこととする。また、疑義が生じた場合は、監督職員と協議することとする。
③ その他
鋼矢板の打ち込み、引き抜きは油圧圧入工法を見込んでいる。
また、H鋼杭の打ち込み、引き抜きはバイブロハンマ工法を見込んでいる。
鋼矢板及びH鋼杭の打ち込み工法や、引き抜き工法などは、現地状況を十分把握し、安全性等については受注者において十分検討を行い、受注者の責任において決定し施工するものとする。
なお、現地状況、施工条件等に変更が生じたことに伴い、上記の施工方法が変更となる場合は監督職員と協議しなければならない。

第９６条 鉄筋切断
当初発注時は鉄筋切断を見込んでいない。これにより難い場合は監督職員と協議するものとし設計変更の対象とする。

第９７条 縞鋼板蓋
当初発注時は現場内集水桝の縞鋼板蓋(700×700×3.2 くさり､止金具付)の材料費を見込んでいない。これにより難い場合は監督職員と協議するものとし設計変更の対象とする。

第９８条 既設構造物撤去
当初発注時は既設構造物撤去を見込んでいない。撤去、撤去及び復旧が生じた場合は、監督職員と協議するものとし設計変更の対象とする。

第９９条 工事用道路
当初発注時は工事用道路を見込んでいない。これにより難い場合は監督職員と協議するものとし設計変更の対象とする。

第１００条 横矢板固定材取付
当初発注時は横矢板固定材取付の材料費のみを見込んでおり､工事費を見込んでいない。これにより難い場合は監督職員と協議するものとし設計変更の対象とする。

第６章 橋 梁 下 部

第１０１条 橋脚フーチングエ フーチングの箱抜きの施工
支承部箱抜きの施工については、共通仕様書１０－３－８－９『６．フーチングの箱抜きの施工』により行うこととされているが、下記のとおり段階的な確認も踏まえて、出来形確認の徹底を行うものとする。
①コンクリートの打込み及び締固めなどの影響で型枠などの浮き上がりや、ずれが生じる事があるため、箱抜き用型枠材料を下部構造の鉄筋に固定する等の対策をしているか確認を行うこと。
②支承部アンカーボルトの箱抜き規格値の確認については、施工計画書、作業手順書などで、計測方法・位置等について、事前に確認を行うこと。
特に鉛直度の計測は、箱抜き孔の全長（箱抜き深さ）に対応した定規等を用いて、全長（深さ）に対する鉛直度の測定を行うこと。

③施工完了後、箱抜きの形状（位置及び深さ）、補強鉄筋配置などの測量結果を検査記録に必ず記載すること。

（単位：㎜）

支承部アンカーボルトの箱抜き規格値	計画高さ	＋１０～－２０
	平面位置	±２０
	ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ孔の鉛直度	１/５０以下

「土木工事施工管理基準及び規格値」橋台工、RC橋脚工　抜粋

第１０２条　橋梁下部工

１．受注者は、橋梁下部工（直接基礎）の施工に先立ち平板載荷試験（地盤工学会基準 JIS1521）を実施するものとし、地盤反力（支持力）を測定の上、監督職員に報告すること。なお、地盤反力（支持力）が設計時の値を満足しない場合は監督職員と協議するものとし、構造等に変更が生じた場合は設計変更の対象とする。

　また、測定箇所及び測定回数等についても監督職員と協議するものとする。

２．当初契約時において、橋梁下部工（直接基礎・杭基礎）に係わるジャストボーリングがない場合は、受注者の責においてジャストボーリングの必要性を検討し、監督職員と協議するものとする。

　なお、ボーリング位置、深さ等についても監督職員と協議するものとし、費用については設計変更の対象とする。

第７章　道 路 修 繕

第１０３条　無収縮モルタル及びエポキシ系樹脂の規格

　無収縮モルタル及びエポキシ系樹脂は下記の試験項目と規格値に適合することを証明する試験成績表を１ロット毎に提出しなければならない。なお、無収縮モルタルはセメント系プレミックスタイプとする。

無収縮モルタル（プレミックスタイプ）の試験項目と規格

項　　目	規　　格　　値	備　　考
コンシステンシー（流下時間）	セメント系：８±２秒	J_{14}ロート試験
ブリージング	練り混ぜ２時間後でブリージングがないものとする	JIS A 1123
凝結時間	始発：　１時間以上(500psi) 終結：１０時間以上(4000psi)	ASTM C 403 米国工兵隊規格
膨張収縮率	材令７日で収縮なし	CRD C 589 改良式 供試体　径 5cm×高さ 10cm
圧縮強度	材令 7 日：24.5N/mm² 以上 材令 28 日：44.1N/mm² 以上	JIS A 1108 供試体　径 5cm×高さ 10cm

シールおよびパテ用エポキシ系樹脂の試験項目と規格

試験項目	試験方法	試験条件	単位	規格値
比重	JIS K 7112	20°C 7 日間	―	1.7±0.2
可使時間	温度上昇法	20°C	分	60 以上
圧縮降伏強度	JIS K 7208	20°C 7 日間	N/mm²	50　〃
曲げ強度	JIS K 7203	20°C 7 日間	N/mm²	35　〃
引張強度	JIS K 7113	20°C 7 日間	N/mm²	20　〃
圧縮弾性係数	JIS K 7208	20°C 7 日間	N/mm²	(1.0～8.0)x10³以上
引張せん断強度	JIS K 6850	20°C 7 日間	N/mm²	10 以上
衝撃強度	JIS K 7111	20°C 7 日間	KJ/m²	1.5〃
硬度	JIS K 7215	20°C 7 日間	H D D	80 以上

定着アンカー注入用エポキシ系樹脂の試験項目と規格

試　験　項　目	試験方法	試 験 条 件	単　位	規　格　値
比　　重	JIS K 7112	20°C 7 日間	―	1.2±0.2
可 使 時 間	温度上昇法	20°C	分	30 以上
粘　　度	JIS K 6833	20°C	mPa・s	5,000 以下
圧縮降伏強度	JIS K 7208	20°C 7 日間	N/mm²	50 以上
曲 げ 強 度	JIS K 7203	20°C 7 日間	N/mm²	40 以上
引 張 強 度	JIS K 7113	20°C 7 日間	N/mm²	20 以上
圧縮弾性係数	JIS K 7208	20°C 7 日間	N/mm²	(1.0～8.0)×10³以上
引張せん断強度	JIS K 6850	20°C 7 日間	N/mm²	10 以上
衝 撃 強 度	JIS K 7111	20°C 7 日間	KJ/m²	3 以上
硬　　度	JIS K 7215	20°C 7 日間	H D D	80 以上

第１０４条　無収縮モルタル及びエポキシ系樹脂の現場管理

１．無収縮モルタル

無収縮モルタルの現場管理項目と試験頻度は、下記によるものとし、規格値と比較してその性能に問題のないことを確認するものとする。

無収縮モルタルの現場管理試験

項目	試験頻度
コンシステンシー（流下時間）	１日に２回（午前、午後各１回） 圧縮強度試験用供試体作成時
練り上がり温度	
膨張収縮率	無収縮モルタル充填開始前に１回 （３個／回）
圧縮強度	１ｍ³に１回または１日に１回 材令　７日　：　３個／回 材令２８日　：　３個／回

２．エポキシ系樹脂

定着アンカーの注入用エポキシ系樹脂の現場管理は、以下の試験項目、検査頻度により行うものとする。

（１）施工中、１日１回、樹脂を紙コップに採取して、その硬化状態を観察するものとする。

（２）上記にて硬化状態を確認するほかに施工中１月１回、現場採取した供試体で下記の試験を行い、規格値と比較してその性能に問題のないことを確認するものとする。

試験項目：比重（硬化物）、圧縮降伏強度、曲げ強度、引張強度、圧縮弾性係数

なお、シール用エポキシ系樹脂については、注入用エポキシ系樹脂を注入する時に硬化を確認できるので省略してよい。

第１０５条　炭素繊維シートの接着

１．下地処理

既設コンクリートの表面は、炭素繊維シート接着工法による補強効果が十分に発揮

されるように、適切な下地処理方法により、脆弱部分や汚れがなく、また炭素繊維シートの強度に悪影響を及ぼすような凹凸のない平坦な状態にしなければならない。

下記２～４は、参考に記載する。

２．プライマー

既設コンクリートの表面の強化として、また炭素繊維シートとの接着性を向上させるために、下地処理後プライマーを塗布しなければならない。

プライマーの機能を損なうことがないように、塗布する際にはコンクリート表面が十分に乾燥していることを確認する。原則として、気温が 5℃以下あるいは雨天等湿度 85%以上の場合は施工してはならない。ただし、施工現場の保湿や湿潤面専用プライマーなどの使用など適切な処置を講じる場合は、この限りではない。

３．不陸修正

コンクリートの表面の平坦性が炭素繊維シートの接着性を左右するので、下地処理で平坦に処理できない型枠目地等や、シートの浮きの原因となるエアホールなどは、不陸調整材を用いて平坦に仕上げなければならない。

４．接着

接着位置をコンクリート表面に墨出しを行い、炭素繊維シートの直線性を確保しなければならない。

炭素繊維シートの接着は、原則として気温が 5℃以下、あるいは雨天等湿度 85%以上の場合は、施工してはならない。ただし、施工現場の保温等の適切な処置を行う場合はこの限りではない。

５．仕上げ塗装

仕上げ塗装は、設計で定められた保護材の品質を確保するように念入りに施工する必要がある。塗装材料は受入時に設計で定める品質を満足していることを確認しなければならないとともに、塗装の施工は材料に適合した方法で行わなければならない。塗装を行う前には、塗装面の水分、付着油脂類、塩分など塗装に悪影響を及ぼすものを除去しなければならない。また、塗装は各工程ごとに十分な施工管理を行うものとする。

６．これによりがたい場合は、監督職員と協議するものとする。

第１０６条　削孔作業

受注者は、既設鉄筋コンクリート構造物の削孔作業にあたっては、以下を実施する。

なお、これによりがたい場合は、監督職員と協議することとする。

①事前調査

受注者は、設計図書により既設構造物の配筋状況を確認しなければならない。また、工事着手前に鉄筋探査機等により調査し、削孔範囲周辺の配筋状況を確認しなければならない。但し、設計図書において鉄筋探査等による既設構造物の配筋状況が確認されている場合はこの限りでない。

②削孔計画図の作成

受注者は、上記①の事前調査の結果を踏まえ、削孔計画図を作成し、監督職員に提出する。

③削孔作業の実施

受注者は、削孔計画図に基づき、削孔作業を実施することとする。

なお、施工中に鉄筋に接触するなどにより削孔計画図に修正が生じた際は監督職員に変更削孔計画図を提出する。

変更削孔計画図により構造計算を実施する。（構造計算に必要な費用については設計変更の対象とする。）

④段階確認

受注者は、削孔作業について、段階確認を受けなければならない。

また、受注者は、段階確認時まで、削孔によるコアを保存しなければならない。

段階確認の内容は以下のとおりとする

・確認時期：削孔作業完了時
・確認事項：削孔計画図（変更削孔計画図）と削孔位置の照合、コアの状況、削孔長、削孔径、削孔の間隔、孔内状況
・確認数量：全数

⑤鉄筋損傷を防ぐ削孔機の使用

受注者は、鉄筋損傷を防ぐ削孔機を使用する場合は、監督職員と協議を行うものとし、設計変更の対象とする。

第１０７条　アンカーボルト

受注者は、既設のコンクリート構造物に対する後付けアンカーボルトの施工にあたっては、以下を実施する。なお、「後付けアンカーボルト」とは具体には削孔後のアンカーボルト・アンカー鉄筋（以下、アンカーボルトという。）を指すものである。

なお、これによりがたい場合は、監督職員と協議することとする。

① 受注者は、既設 RC 構造物への削孔後の孔内を十分に乾燥させ、削り屑は確実に除去してから、エポキシ系樹脂を製品の取扱説明書等に基づき適切に注入するなどによりアンカーボルトを定着させなければならない。

②受注者は、アンカーボルト挿入時に何らかの理由により施工が困難となった場合は、監督職員と協議するものとする。

③受注者は、アンカーボルトの材料搬入時に設計図書に示す長さ・径・材質について全数を確認するものとする。

④施工管理

1)受注者は、出来形管理としてアンカーボルト孔の削孔長を曲がらない定規で全数を確認することとし、その規格値は設計値以上とする。

2)受注者は、アンカーボルト定着後、所定のアンカーボルト定着長が確保されているか確認のための試験を超音波探傷器を用いて全数を確認するものとする。所定のアンカーボルト定着長の規格値は、設計値－20mm 又は－1D（アンカーボルト径）のいずれか小さい値とする。

3)試験方法は、「超音波パルス反射法によるアンカーボルト長さ測定要領(案)」(平成 15 年 11 月)(以下、測定要領という。)に基づき実施し、その測定は、超音波探傷器に精通した第三者機関の測定技術者が全数を行うものとし、測定結果をその都度記録(プリント出力機能がある探傷器を使用した場合は、プリント出力)するものとする。

測定要領を受注者が所持しない場合は、監督職員に通知を求めるものとする。

なお、実施方法については、事前に監督職員に提出するものとする。

⑤アンカーボルト定着の品質管理

受注者は、アンカーボルト定着の品質管理として、監督職員が指示するアンカーボルト設置位置で引張耐力試験を以下のとおり実施する。

試験方法、規格値：設計図書に別途定める。

試験の頻度：上部工への施工は 1 径間毎に 3 本以上、
下部工への施工は下部工 1 基毎に 3 本以上。

⑥上記①～⑤の資料及び実施状況について、デジタル写真等にて整備・保管し、監督職員の請求があった場合は直ちに提示するとともに、検査時に提出しなければならない。

第１０８条　表面処理工

１．既設のコンクリート面については、チッピング等により、表面の不良コンクリート等を除去するものとする。除去したコンクリート殻等は放置せず回収するものとする。

なお、処分の方法については、監督職員と協議するものとし設計変更の対象とする。

２．既設のコンクリート表面の劣化、損傷等により不良部分が著しい場合は、断面修復等補修を実施するものとする。

なお、補修方法については、監督職員と協議するものとし設計変更の対象とする。

第１０９条　断面修復工

１．断面修復工は左官工法（鉄筋ケレン･鉄筋防錆処理を含む）を見込んでいる。既設のコンクリートのはつり等により、除去したコンクリート殻等は放置せず回収するものとする。

なお、処分の方法については、監督職員と協議するものとし設計変更の対象とする。

２．設計図書及び現場条件を確認し､配筋状況の確認が必要な場合は、監督職員と協議するものとし設計変更の対象とする。

３．現場条件により特殊な養生が必要な場合は、監督職員と協議するものとし設計変更の対象とする。

第１１０条　コンクリート切断（乾式ワイヤーソーイング）

当初発注時は乾式装置の損料を見込んでいない。これにより難い場合は監督職員と協議するものとし設計変更の対象とする。

第８章　その他

第１１１条　震災対策

１．地震発生等の天災に備えて、あらかじめその対応策を定めておくものとする。

２．地震注意情報等が発令された場合は、直ちに工事を中断し、その情報に応じた適切な保全措置等を講ずるものとする。

第１１２条　道路施設基本データの作成

本工事完成時には、以下に示す『道路施設基本データ』を作成し、監督職員に提出するものとする。ただし、本工事に該当しない施設の基本データは作成しないものとする。

なお、完成後でも、発注者は受注者に対して、『道路施設基本データ』の内容について、説明を求めることがある。

１．道路施設基本データの種類

区分	施設番号	施設名	区分	施設番号	施設名
	C020	縦断勾配	付属物及び付属施設	E060	道路情報板
	C030	平面線形		E070	交通遮断機
	C050	舗装		E080	I.T.V
	C060	道路交差点		E090	車両感知器
	C070	鉄道交差点		E100	車両諸元計測施設
	C080	歩道及び自転車歩行者道		E110	気象観測施設
	C090	独立専用自歩道		E120	災害予知装置
	C100	中央帯		E130	自動車駐車場等
	C110	環境施設帯		E140	自転車駐車場
構造物	D010	橋梁		E150	雪崩防止施設
	D020	橋側歩道橋		E160	落石防止施設
	D030	横断歩道橋		E170	消雪ﾊﾟｲﾌﾟ
	D040	ﾄﾝﾈﾙ		E180	ﾛｰﾄﾞﾋｰﾃｨﾝｸﾞ
	D050	洞門		E190	除雪ｽﾃｰｼｮﾝ
	D060	ｽﾉｰｼｪｯﾄﾞ		E200	防災備蓄
	D070	地下横断歩道		E210	共同溝
	D080	道路 BOX 等		E220	CAB 電線共同溝
	D090	横断 BOX 等		E230	植栽
	D100	ﾊﾟｲﾌﾟｶﾙﾊﾞｰﾄ		E240	遮音施設
	D120	擁壁		E250	遮光ﾌｪﾝｽ
	D130	ｽﾉｰｼｪﾙﾀｰ		E270	流雪溝
	E010	防護柵		E310	防雪林
	E020	道路照明		E320	路側放送
	E030	視線誘導標(反射式)		E330	光ｹｰﾌﾞﾙ施設
	E040	視線誘導標(自光式)		E340	道路反射鏡
	E050	道路標識		E350	ﾋﾞｰｺﾝ

２．道路施設基本データの作成は、別に定める『道路管理データベースデータ作成マニュアル（案）』によるものとする。

３．道路施設基本データは、『道路施設基本データ作成システム』で作成する。

４．道路施設基本データ作成にあたって工事番号は、ＣＯＲＩＮＳ登録時の「工事契約コード番号」とする。

５．道路施設基本データに係わる以下のものを電子データにて提出すること。

①道路施設台帳作成総括表
②道路施設基本データ総括表
③道路施設基本データー覧表
④道路施設台帳チェックシート
⑤「道路工事完成図等チェックプログラム」によるチェック結果
⑥「電子納品チェックプログラム」によるチェック結果
⑦ 工事数量総括表

第１１３条　道路橋維持管理資料の作成

１．本工事において施工した橋梁について、施工に関する記録などを保存するため「道路橋関連資料の保存要領（案）」に基づき電子媒体を作成し、監督職員に提出すること。

２．本工事において作成する資料の対象は、「道路橋関連資料の保存要領（案）」に基づき監督職員の指示によるものとする。なお、作成に要する費用については、当初は計上していないため、設計変更の対象とする。

第１１４条　全国道路施設点検データベース（道路橋）への登録について

１．受注者は、必要に応じ管理運営団体の定める方法によりユーザー登録を行った上で、施工結果等のデータを、全国道路施設点検データベース（道路橋）（以下「点検 DB（道路橋）」）に登録する。

登録するデータは以下の通りとし、事前に監督職員と協議しなければならない。登録するデータに係る権利は、第１１７条に定めるとおりとする。なお、点検 DB（道路橋）の管理運営団体に支払う登録料については設計変更の対象とする。

【全国道路施設点検データベース（道路橋）への登録データ】

「道路管理データベース データ作成マニュアル（案）」の対象工事に関するデータ・点検 DB（道路橋）で扱う「道路管理データベース データ作成マニュアル（案）」対象項目

橋梁基本（D010）、橋梁幅員構成（D011）、橋梁高欄防護柵（D012）、橋梁交差状況（D013）、橋梁添架物（D014）、橋梁上部工（D015）、橋梁下部工（D016）、橋梁径間（D017）、橋梁図面類（D018）、橋梁塗装歴（D019）

２．受注者は、状況写真や地形図を含む一般図などの画像データ等において、個人情報が表示されないよう加工を施したものを使用するとともに、点検 DB（道路橋）へ登録するデータに個人情報が含まれないことを確認しなければならない。また、登録するデータに個人情報が含まれないことを確認する手法について施工計画書に明記し、個人情報が含まれないことを確認した書類として「別紙－７」に示すチェックリストを提出すること。

なお、受注者と発注者の双方がチェックリストにより、個人情報が含まれないことを確認した後でなければ、データ登録を行ってはならない。

第１１５条　登録するデータに係る権利について

１．本工事の成果として点検 DB（道路橋）へ登録されるデータ及びこれに係る特許、実用新案登録、意匠登録等を受ける権利及び当該権利に基づき取得する産業財産権並びに著作権（著作権法第 27 条及び第 28 条に定める権利を含む。）その他の知的財産権（ノウハウ等に関する権利を含む。）は、すべて登録・確定と同時に発注者に帰属する。

２．点検 DB（道路橋）へ登録されるデータに係る知的財産権のうち、受注者又は第三者が従前から保有していた知的財産権が含まれる場合、受注者は、発注者、発注者が指定する者及び点検 DB（道路橋）を利用する者（以下「発注者等」という。）に対し、当該知的財産権の利用を許諾し、又は許諾させるものとする。

３．受注者は、自ら（受注者に所属する者を含む。）又は第三者をして、発注者等に対し、点検 DB（道路橋）へ登録されるデータを構成する著作物に係る著作者人格権を行使せず又は行使させない。

４．前三項の場合において、受注者は、発注者に知的財産権を帰属させ若しくは発注者が適法に知的財産権を行使するため、又は発注者等による点検 DB（道路橋）の運用及び利用のために必要となる一切の手続（第三者からの許諾取得を含む。）を履践するものとする。

５．発注者及び受注者は、前四項に定める権利の帰属及び不行使並びに手続履践の対価が委託料に含まれることを相互に確認する。

６．受注者は、点検 DB（道路橋）へ登録されるデータが知的財産権を含む第三者の権利を侵害しないことを表明及び保証し、受注者がかかる表明保証に違反したことにより発注者が第三者から訴訟を提起され又は権利を主張される等の紛争が生じた場合には当該紛争の解決に協力するとともに、発注者に生じた損害、損失及び費用（合理的な範囲の弁護士費用を含む。）について、発注者に対してこれを補償するものとする。

第１１６条　「問合せ番号」及び「路上規制情報提供システム」

受注者は、「路上規制情報提供システム」への入力を行うものとし、別途監督職員が通知する「問合せ番号」を工事情報看板及び工事説明看板に掲示するものとする。

なお、これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。

第１１７条　工事現場における説明性の向上

受注者は、事業名、事業の目的・内容・効果、工事名、工事内容、連絡先を記した工事説明書を作成し、近隣住民等から事業内容等の説明を求められた場合は、工事の安全確保に支障のない範囲において、当該工事説明書を配布する等、工事現場の説明性の向上を図るものとする。

また、受注者は、工事現場作業員に対し、工事内容及び事業目的・効果を周知するものとする。

別紙－１

明示項目及び明示事項

明示項目	明示事項	記載条項
工程関係	■ 施工時期、施工時間及び施工方法が制限される場合は、制限される施工内容、施工時期、施工時間及び施工方法。 ■ 設計工程上見込んでいる休日日数等作業不能日数。	第６４条 第５７条
公害関係	■ 工事に伴う公害防止（騒音、振動、粉塵、排出ガス等）のため、施工方法、建設機械・設備、作業時間等を指定する必要がある場合は、その内容。 ■ 工事の施工に伴って発生する騒音、振動、地盤沈下、地下水の枯渇等、電波障害等に起因する事業損失が懸念される場合は、事前・事後調査の区分とその調査時期、未然に防止するために必要な調査方法、範囲等。	第４９条 第５１条、第５２条 第４６条
安全対策関係	■ 交通誘導員、警戒船及び発破作業等の保全設備、保安要員の配置を指定する場合又は発破作業等に制限がある場合は、その内容。	第４２条
建設副産物関係	■ 建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合は、その処理方法、処理場等の処理条件。 なお、再資源化処理施設又は最終処分場を指定する場合は、その受入場所、距離、時間等の処分条件。	第２８条
その他	■ 工事現場発生品がある場合は、その品名、数量、現場内での再使用の有無、引き渡し場所等。	第２７条

概略工事工程表

工事名　:R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事

工　種	単位	数　量	令和7年度			令和8年度											令和9年度		備考
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
準備工	式	1																		・60日間+余裕期間
橋脚巻立て工【P1橋脚】	式	1																		・1pt
橋脚巻立て工【P2橋脚】	式	1																		・1pt
橋脚巻立て工【P3橋脚】	式	1																		・1pt
橋脚巻立て工【P4橋脚】	式	1																		・1pt
橋脚巻立て工【P5橋脚】	式	1																		・1pt
橋脚巻立て工【P6橋脚】	式	1																		・1pt
下部工補強工【A1橋台】	式	1																		・1pt
下部工補強工【P1橋脚】	式	1																		・1pt
下部工補強工【P2橋脚】	式	1																		・1pt
下部工補強工【P3橋脚】	式	1																		・1pt
下部工補強工【P4橋脚】	式	1																		・1pt
下部工補強工【P5橋脚】	式	1																		・1pt
下部工補強工【P6橋脚】	式	1																		・1pt
下部工補強工【A2橋台】	式	1																		・1pt
橋梁補修工	式	1																		・1pt
排水構造物工	式	1																		・1pt
仮設工	式	1																		・1pt
後片付け	式	1																		・20日間
年末年始、お盆		―																		・12月下旬～1月上旬 ・8月中旬
		―																		
		―																		

余裕期間
※任意で設定可能

《余裕期間制度(フレックス)の活用について》
　本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建築資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、発注者があらかじめ設定した全体工期(余裕期間と工期を合わせた期間)の内で、受注者は工事の始期と終期を任意に設定することができます。
　なお、工事の始期までの余裕期間は、監理技術者等の配置が不要となります。

別紙－5

別紙－７

全国道路施設点検データベースにおける個人情報掲載のチェックリスト

1. 業務等名称

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

2. 受注者名

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

3. 個人情報掲載の確認結果【受注者】

☐ 個人情報の掲載がないこと／記載された個人情報のすべての削除 を確認済

4. 発注担当課

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

5. 個人情報掲載の確認結果【発注者】

☐ 個人情報の掲載がないこと／記載された個人情報のすべての削除 を確認済

担い手確保・育成に関する実施状況 （概要報告）

工 事 名	○○工事	受注者名	△△建設（株）

項　　目	実施内容
□ 建設業界への入職のきっかけづくりとなる取組	・子供、学生等に対する現場見学会、インターンシップの実施 建設工事の施工体験、測量機器等の操作体験 等
□ 建設業の社会的意義・役割や魅力・やりがいを知ってもらうための取組	・地域の防災訓練に参加、災害時に地域住民等を支援 ・建設現場での新技術の活用、i-Construction・情報化施工等の取組を社会にアピール 等
□ 建設現場の労働環境を改善する取組	・労働者に対する週休2日の確保を徹底 ・働きやすい環境（更衣室、休息場所の設置など）の整備
□ 若手技術者育成、女性技術者育成のための取組	・当該工事現場をフィールドにした若手技術者、女性技術者に対する研修や講習会等を実施 等
□ その他	

担い手育成・確保

担い手確保・育成に関する実施状況 （詳細報告）

担当出張所名：□□出張所

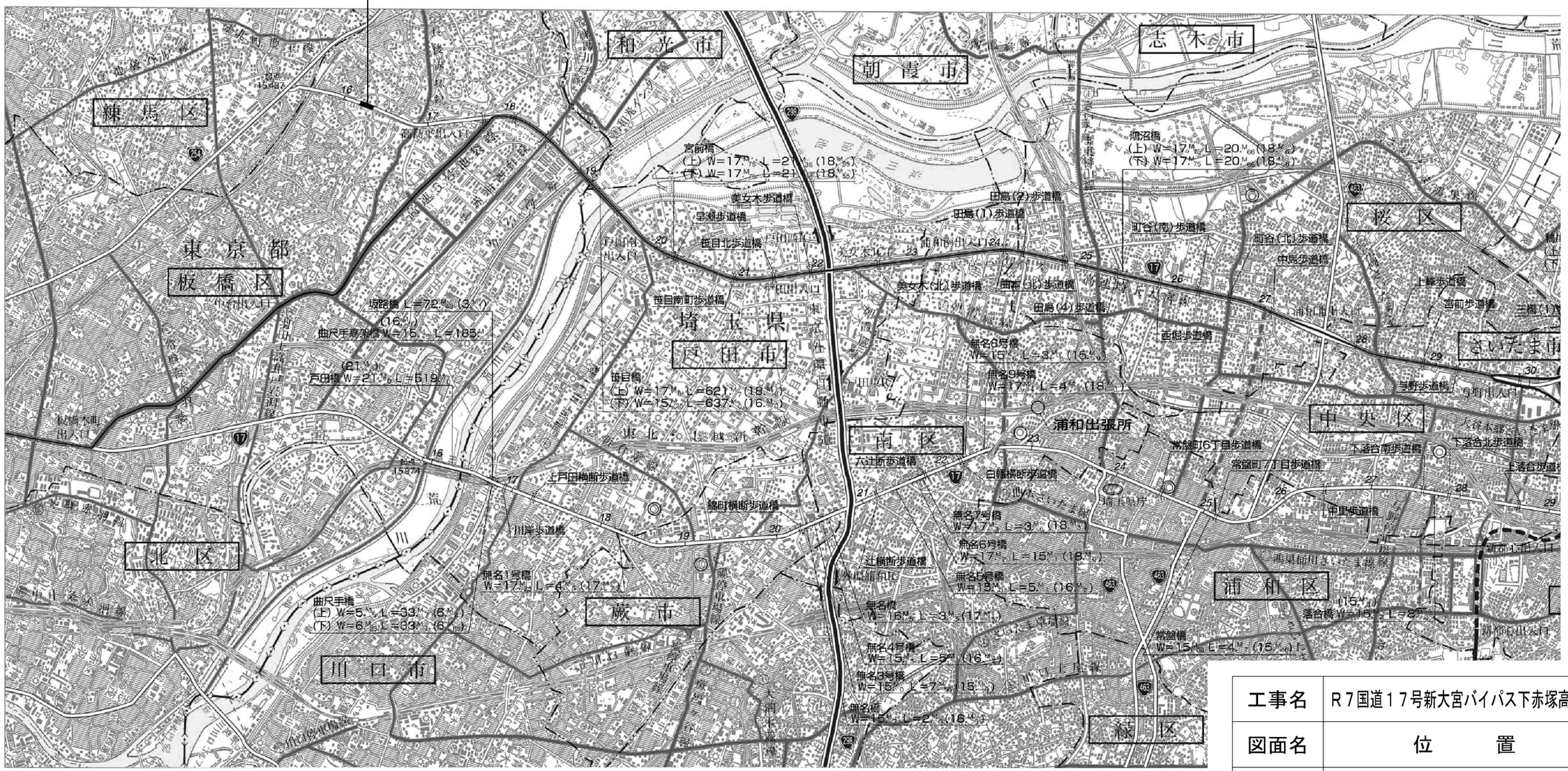
工 事 名	○○工事	受注者名	○○建設（株）
項　　目	前頁の「項目」を記載		
実施内容	前頁の「実施内容」を記載		
実施日（期間）	○年○月○日～○年○月○日（○日間）	対象者・人数	○○高校、○名
他工事との合同実施	□有り　□無し	合同実施工事名	（○○工事）
マスコミ取材	□有り　□無し	取材会社名	（○○新聞社、△△テレビ）

（具体的な実施内容の説明）

（添付図・写真）

説明資料は簡潔に作成するものとし、必要に応じて別葉とする。

位　　置　　図　S=1:50,000



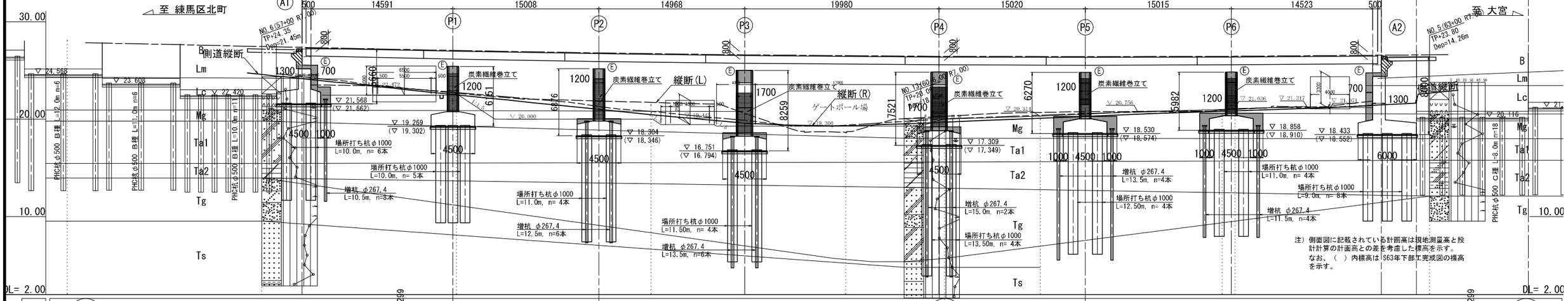
工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	位　　置　　図		
作成年月日	令 和 7 年 11 月　　日		
縮　尺	1:50,000	図面番号	1 ／ 64
会社名	株式会社 長 大		

所長		副所長		課長		建設専門官		係長		担当	

事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

側 面 図 S=1:200

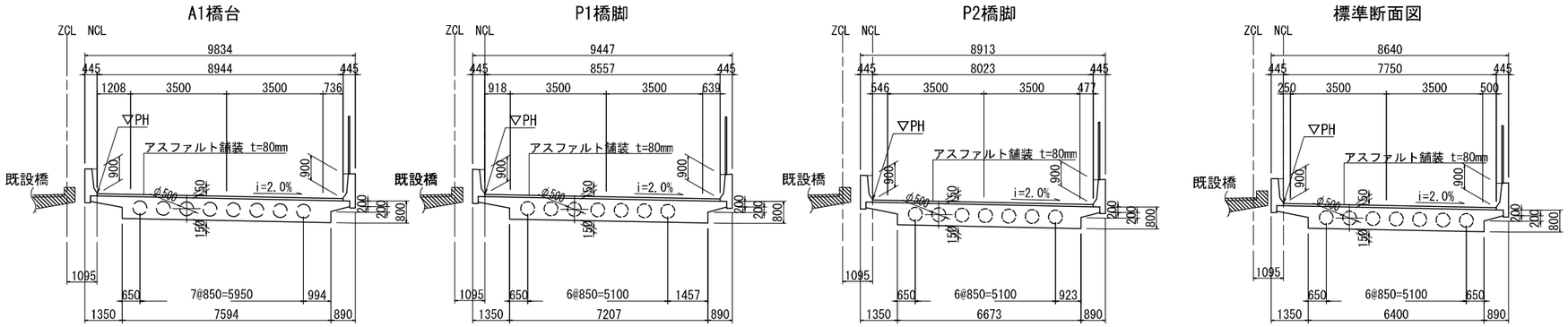
橋長 L=110905
桁長 L=110105



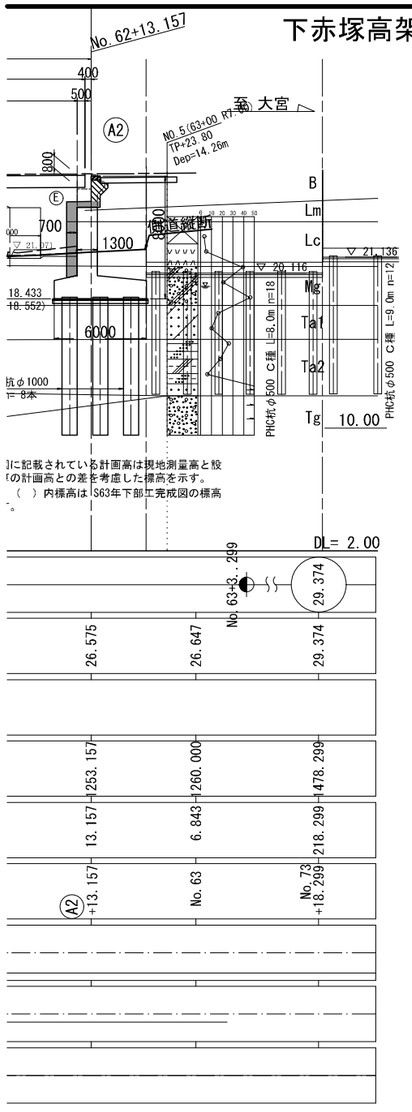
| | | |

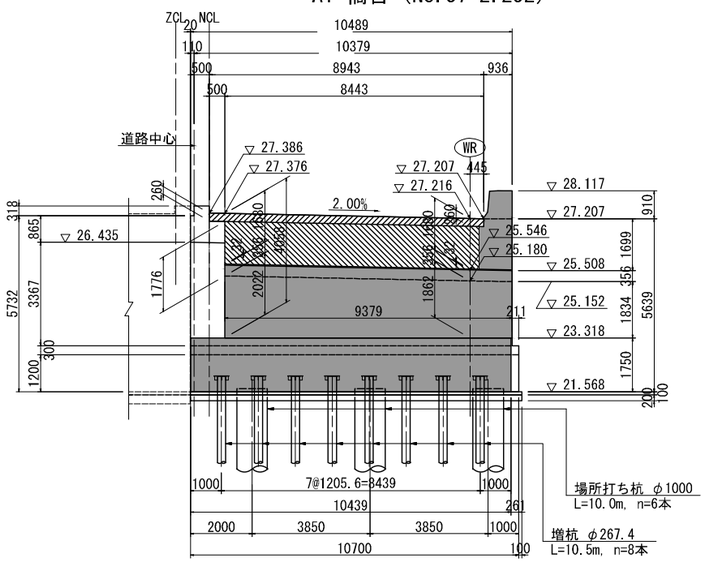
下赤塚高架橋 橋梁一般図

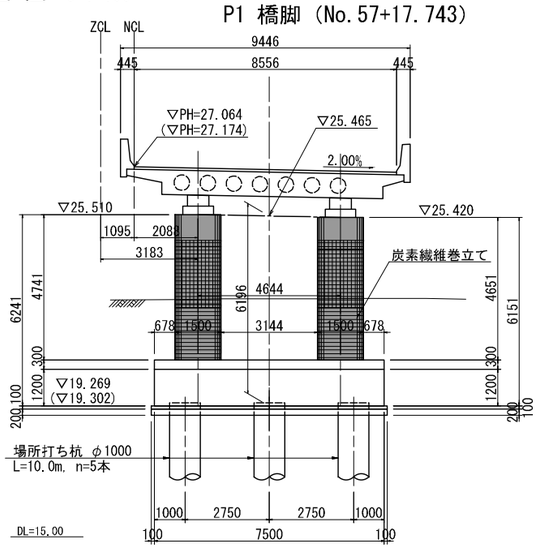
横 断 図 S=1:100

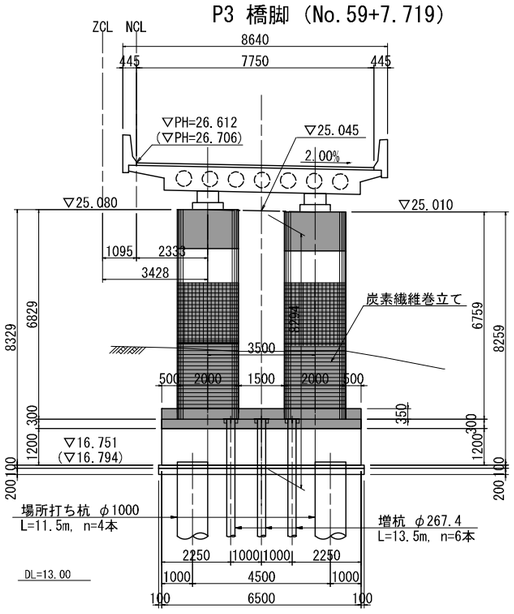


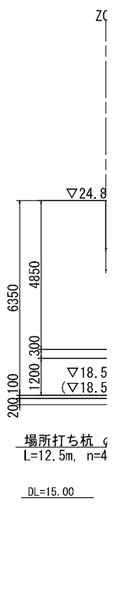
下 部 工 断 面 図 S=1:100

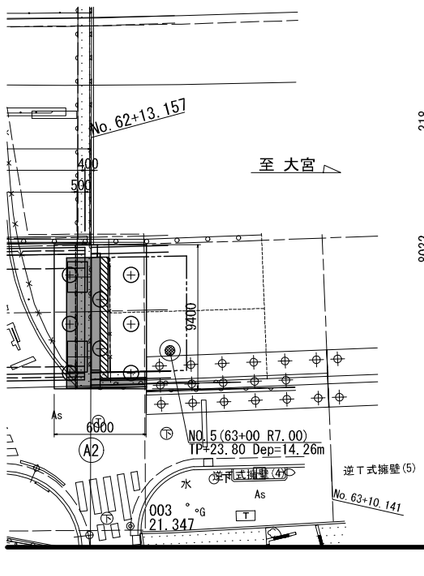


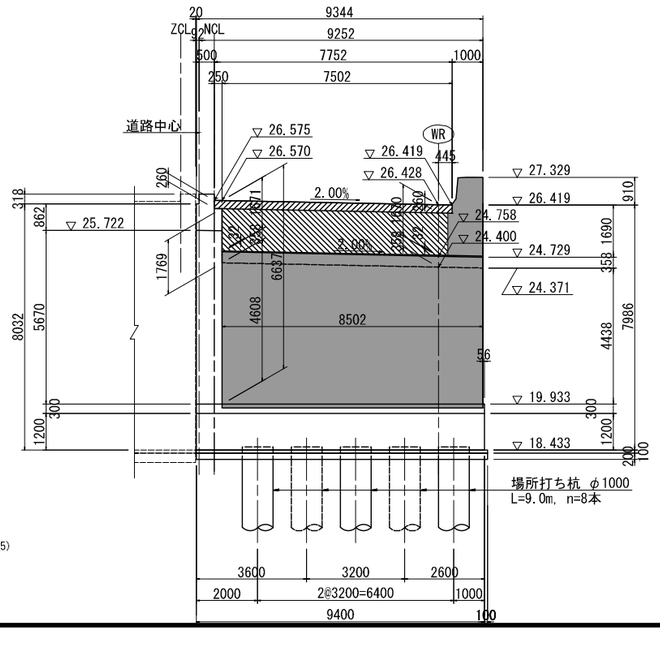


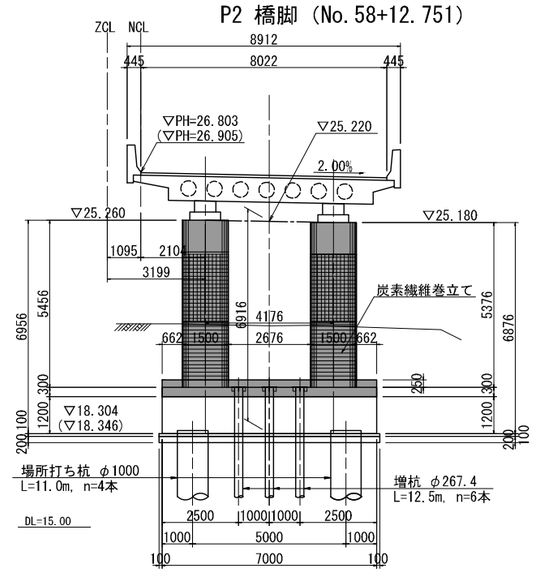


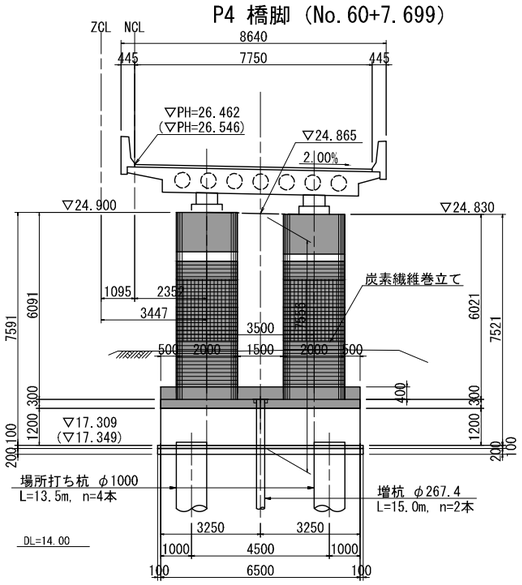


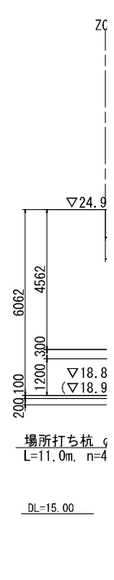




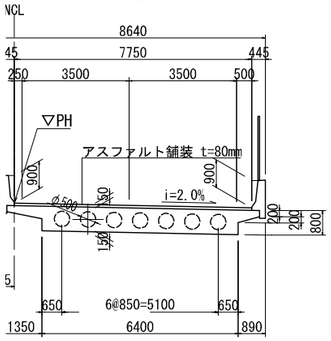






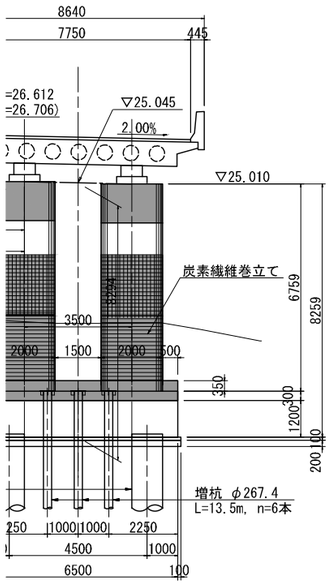


標準断面図

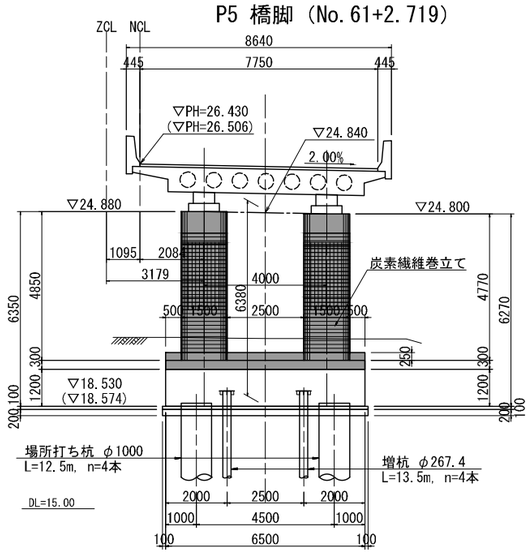


注）側面図に記載されている計画高は現地測量高と設計計算の計画高との差を考慮した標高を示す。
なお、（ ）内標高は S63年下部工完成図の標高を示す。

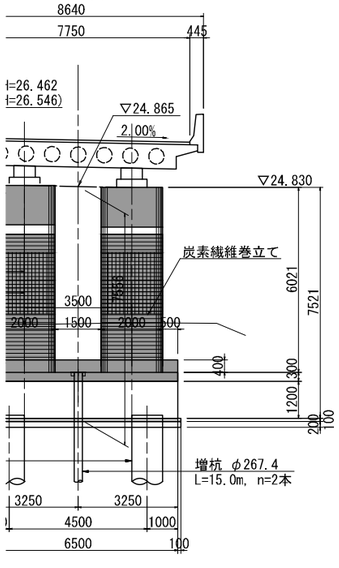
P3 橋脚（No.59+7.719）



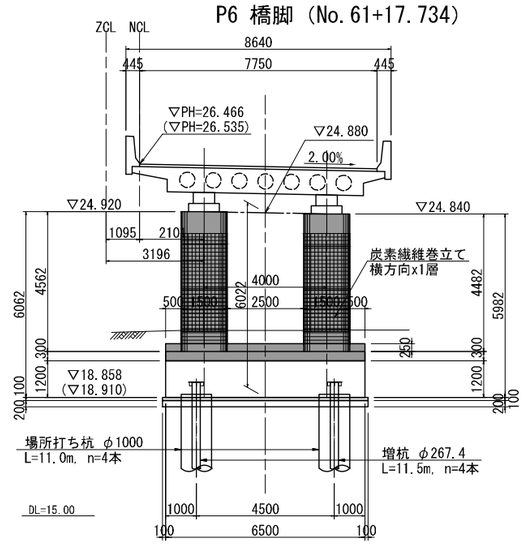
P5 橋脚（No.61+2.719）



P4 橋脚（No.60+7.699）



P6 橋脚（No.61+17.734）

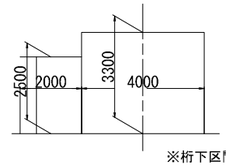


現橋　橋梁諸元		
橋梁名		下赤塚高架橋（上り線）
路線名		一般国道17号　新大宮バイパス
道路規格		第4種　第1級（下部工施工時）
竣工年		昭和63年3月
設計活荷重		B活荷重
橋長（下部工竣工図より）		110.944 m
桁長（下部工竣工図より）		110.244 m
支間長（下部工竣工図より）		15.137 m + 15.000 m + 14.988 m + 19.988 m + 14.999 m + 15.000 m + 15.132 m
有効幅員		8.897m～7.750m
平面線形		R = ∞、R = 800m
縦断勾配		2.10%＼＿／1.25%（VCL 110m、R 3300m）
横断勾配		2.0%＼＿
斜角		A1:90° 6′ 20″、P1:89° 50′ 14″、P2:89° 51′ 15″、P3:90° 4′ 23″、P4:90° 4′ 23″、P5:89° 53′ 27″、P6:89° 49′ 59″、A2:88° 42′ 27″
下部工	形式	既設橋台；逆T式橋台（A1, A2）
		既設橋脚；二柱式橋脚（P1, P2, P3, P4, P5, P6）
	コンクリート	σck = 21 N/mm2
	鉄筋	SD295
基礎工	形式	既設A1, A2橋台；場所打ち杭φ1.000m
		既設P1, P2, P3, P4, P5, P6橋脚；場所打ち杭φ1.000m
	コンクリート	σck = 24 N/mm2
	鉄筋	SD295
	支持層	Ts層
設計震度		Kh = 0.22
添架物件		なし
適用示方書		・昭和55年道路橋示方書・同解説（日本道路協会）
		Ⅰ　共通編
		Ⅲ　コンクリート橋編
		Ⅳ　下部構造編
		Ⅴ　耐震設計編

下部工補強工　設計条件表			
下部工補強工	沓座拡幅工		
	形　式		RC拡幅
	使用材料	コンクリート	設計基準強度；σck＝24 N/mm2
		鉄　筋	SD345
	橋脚柱耐震補強工		
	形　式		炭素繊維シート補強工
	目付量		P1,P2橋脚；周方向1層（目付量200g/m2）,周方向2層（目付量600g/m2）
			軸方向1層（目付量200g/m2）
			P3橋脚；周方向1層（目付量200g/m2）,周方向2層（目付量450g/m2）
			軸方向1層（目付量200g/m2）
			P4橋脚；周方向1層（目付量200g/m2）
			軸方向1層（目付量200g/m2）
			P5橋脚；周方向1層（目付量200g/m2）,周方向1層（目付量600g/m2）
			軸方向1層（目付量200g/m2）
			P6橋脚；周方向1層（目付量200g/m2）,周方向1層（目付量600g/m2）
			軸方向1層（目付量400g/m2）
	橋台天端改良工		
	形　式		パラペット・沓座部分撤去・再構築
	使用材料	コンクリート	設計基準強度；σck＝24 N/mm2
		鉄　筋	SD345
	橋脚改良工		
	形　式		橋脚天端改良工
	使用材料	コンクリート	設計基準強度；σck＝24 N/mm2
		鉄　筋	SD345
	基礎補強工		
	形　式		高耐久性マイクロパイル；φ267.4
	支　持　層		------
設　計　震　度			レベル1(Kh = 0.25)、レベル2(タイプⅠKh = 1.30、タイプⅡKh = 1.75)
適　用　基　準			平成29年道路橋示方書・同解説Ⅰ～Ⅴ（日本道路協会）
			平成24年道路橋示方書・同解説Ⅰ～Ⅴ（日本道路協会）
			「既設橋の耐震補強設計に関する技術資料（国総研資料第700号）」（平成24年11月）
			「既設橋の耐震補強設計における道路橋示方書の留意事項について（事務連絡）」（平成24年12月）
			「橋、高架の道路等の技術基準」の修繕設計時の適用基準としての当面の扱いについて（事務連絡）」（令和2年7月）
			「橋、高架の道路等の技術基準を既設橋の修繕設計に適用する場合の留意事項（参考）（事務連絡）」（令和2年7月）

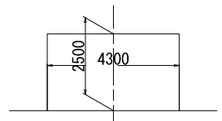
交 差 条 件　S=1:100

板橋区道(P6～A2)



※桁下区間は国土交通省管理

遊歩道(P3～P4)



※桁下区間は国土交通省管理

注記：本図は、現地計測及び「赤塚高架橋下部工事完成図昭和63年度」を基に作成した。

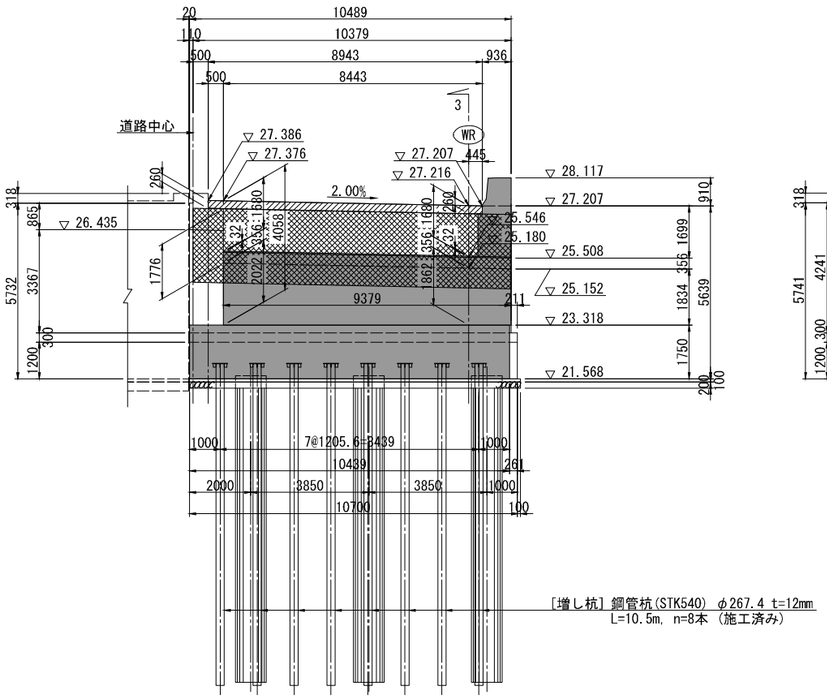
注）
ZCL:座標変換した道路計画線
CL ：S62道路計画線
NCL:橋梁計画線

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

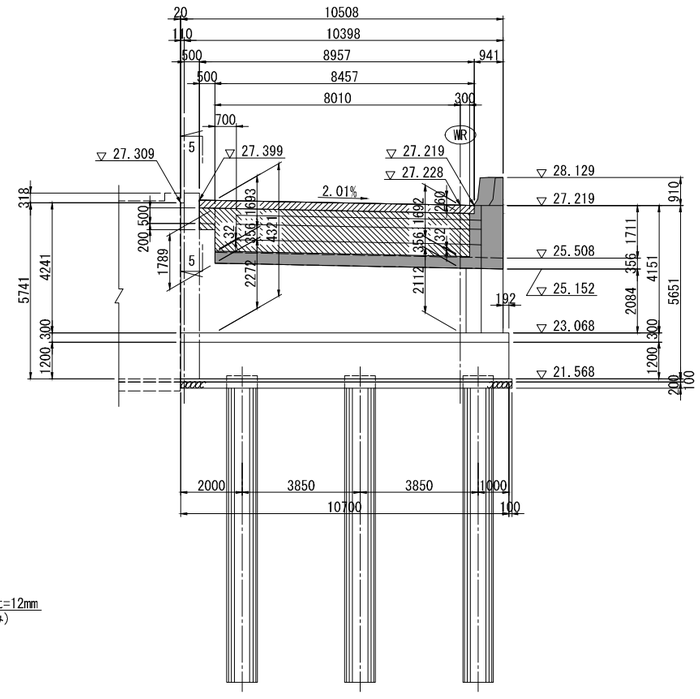
工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	下赤塚高架橋 橋梁一般図		
作成年月日	令 和 7 年 11 月　日		
縮　尺	図示	図面番号	2 ／ 64
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

A1橋台 補強構造図(その1)　S=1:100

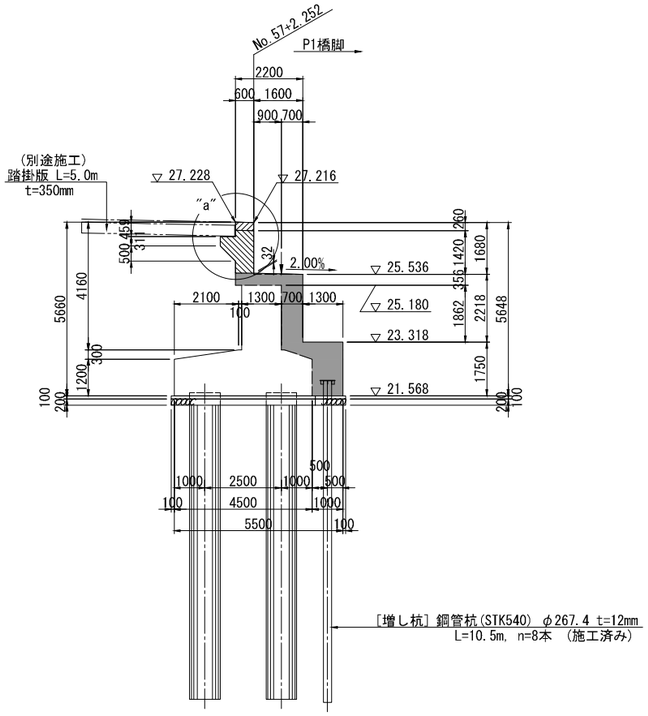
正 面 図 (1 － 1)



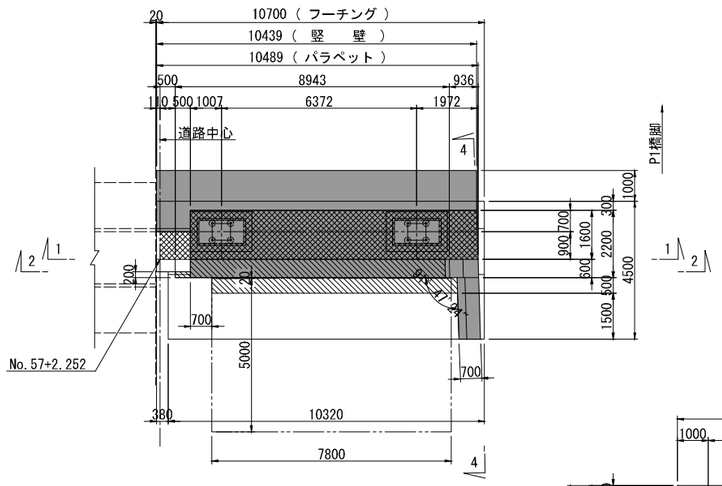
背 面 図 (2 － 2)



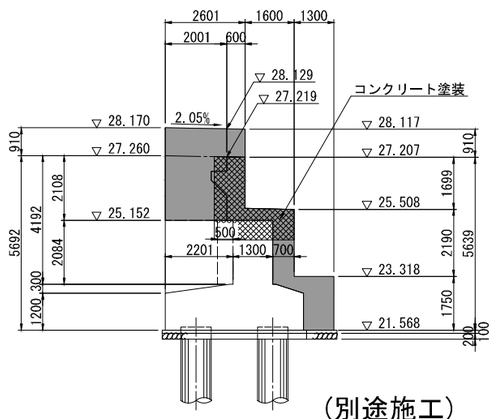
断 面 図 (3 － 3)



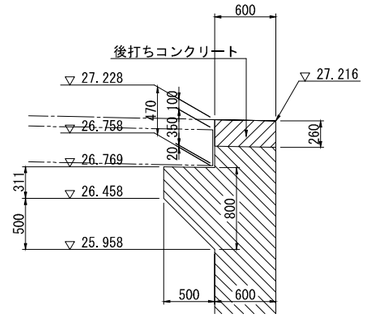
平 面 図



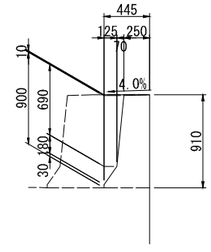
4 － 4



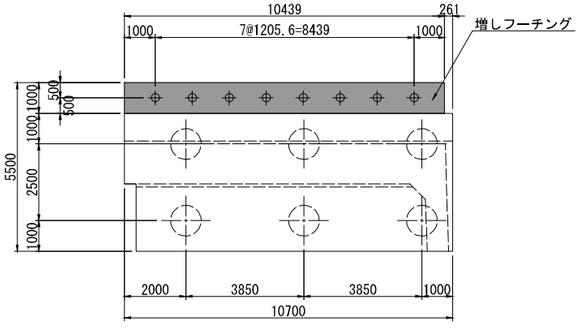
(別途施工) "a" 部詳細図　S=1:30



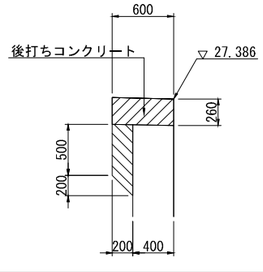
壁高欄詳細図　S=1:30



杭 配 置 図



(別途施工) 5 － 5



注) 1. ▨ は後打ちコンクリートを示す。(別途施工)
2. ▨ は上部工施工を示す。(別途施工)
3. ▨ はコンクリート塗装を示す。

使用材料一覧表

	コンクリート	鉄　筋
躯　体	σck = 24 N/mm²	SD345
増しフーチング	σck = 24 N/mm²	SD345

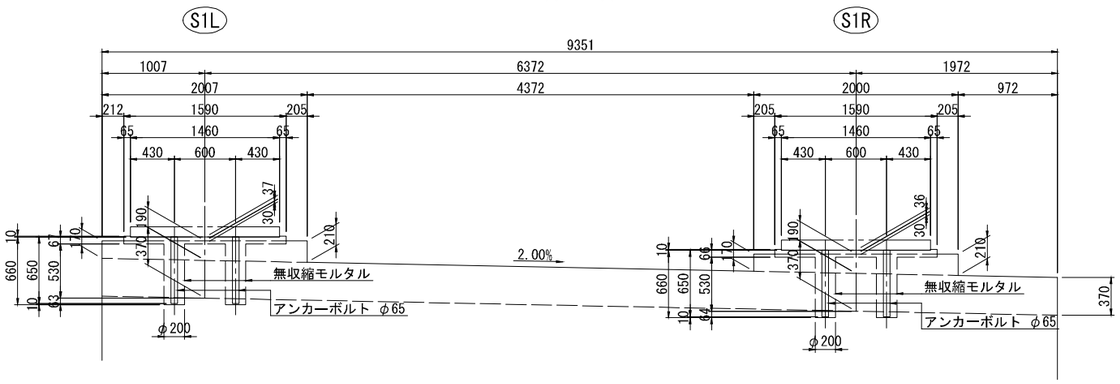
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

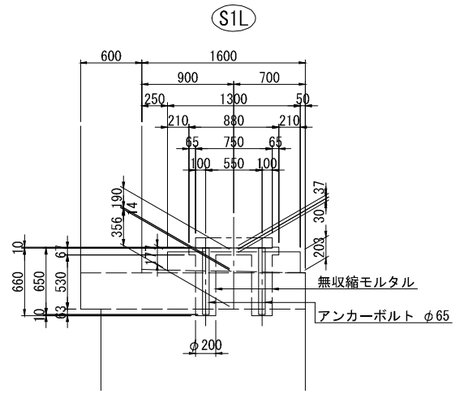
工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	A1橋台 補強構造図(その1)		
作成年月日	令 和 7 年 11 月　日		
縮　尺	図 示	図面番号	3 ／ 64
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

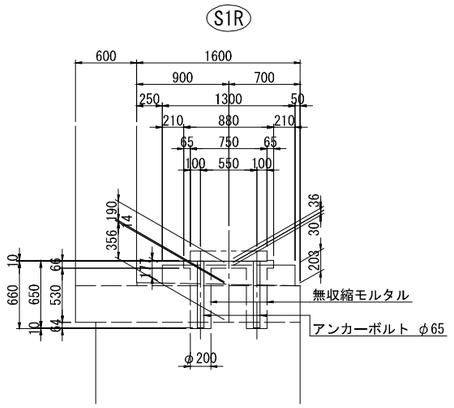
A1橋台 補強構造図(その2)　S=1:30

支承部詳細図

A － A

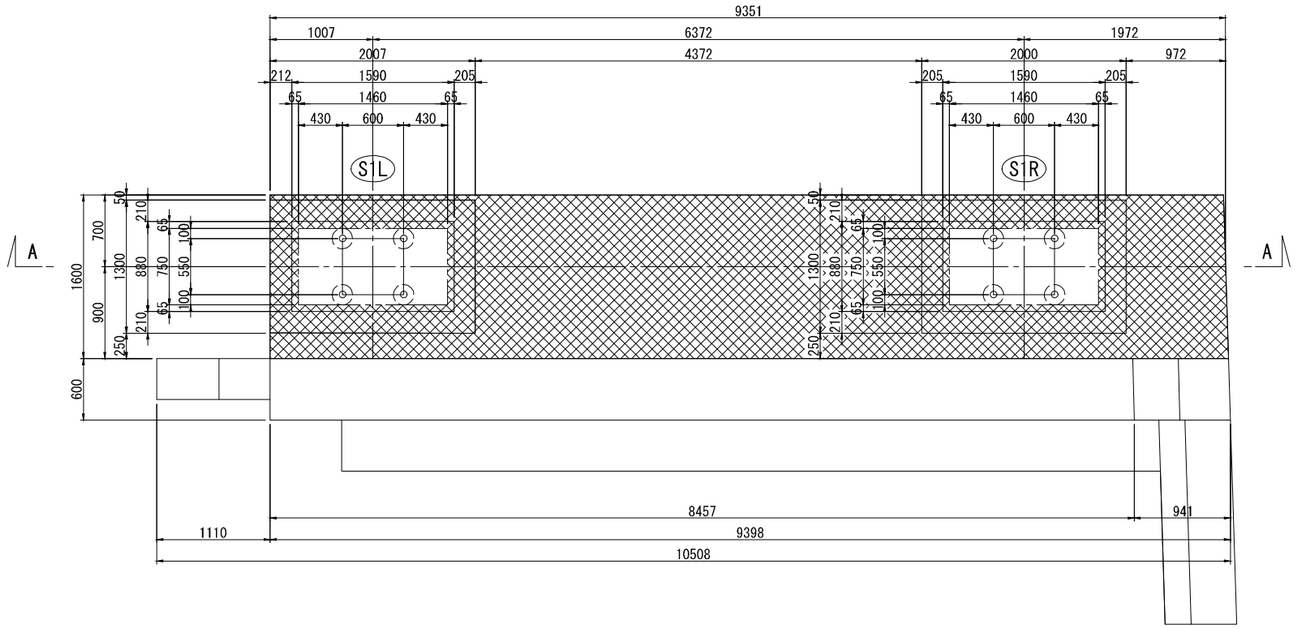






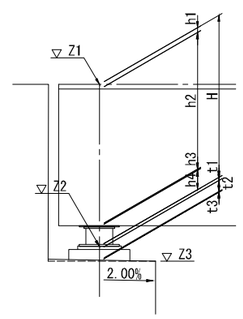
※支承部施工は箱抜きまでとする。

平 面 図



構造高表

		A1橋台(S1)	
		S1L	S1R
路面計画高	Z1	27.337	27.209
舗装厚	h1	0.080	0.080
桁高	h2	0.800	0.800
レアー厚	h3	0.100	0.100
支承高	h4	0.441	0.441
小計	H	1.421	1.421
沓下面高	Z2	25.916	25.788
モルタル厚	t1	0.037	0.036
台座コンクリート	t2	0.190	0.190
排水勾配分	t3	0.014	0.014
下部工天端高	Z3	25.675	25.548



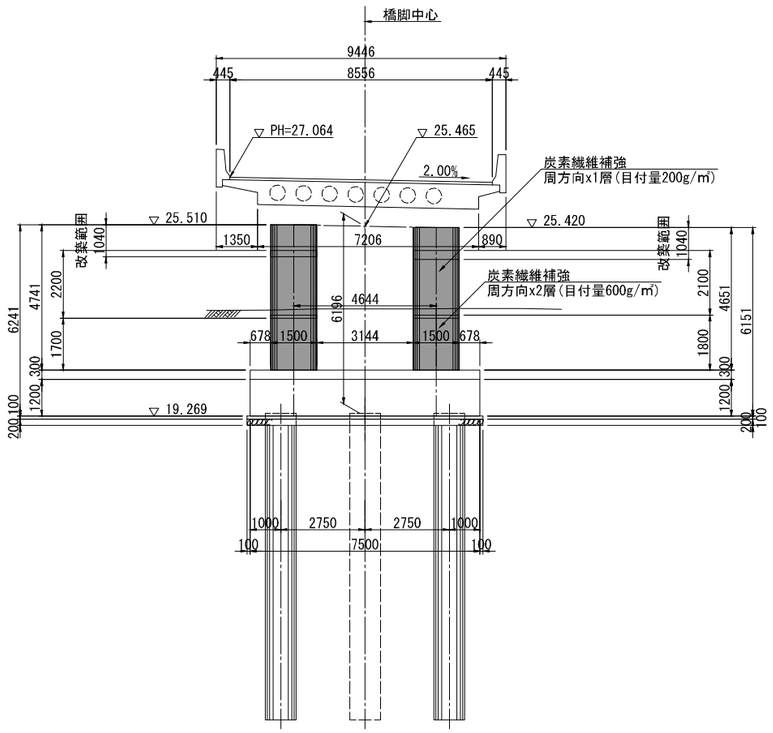
注) 1. ▨ はコンクリート塗装を示す。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

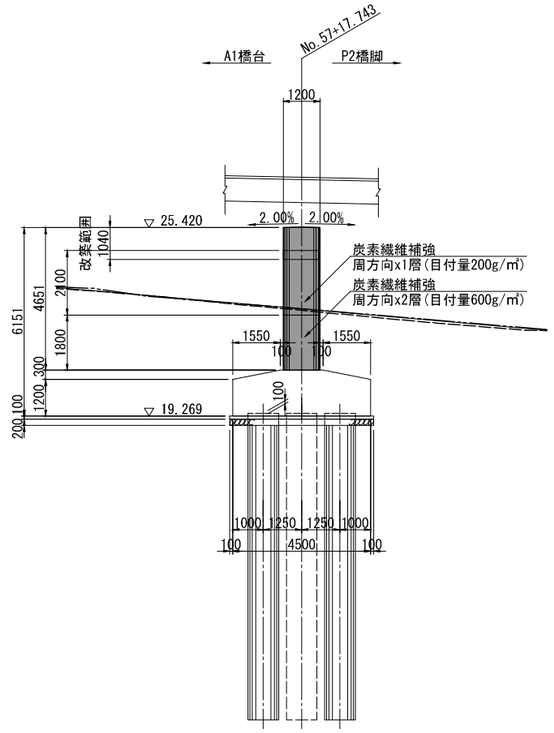
工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	A1橋台 補強構造図(その2)		
作成年月日	令 和 7 年 11 月　日		
縮尺	1:30	図面番号	4 ／ 64
会社名	株式会社 長大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

P1橋脚 補強構造図　S=1:100

正 面 図



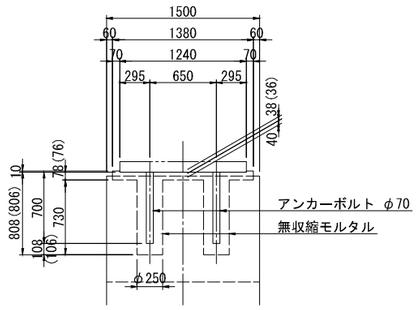
側 面 図



支承部詳細図　S=1:30

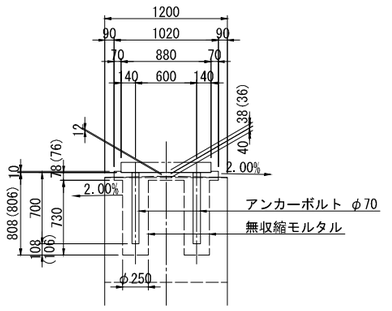
A － A

P1SL（P1SR）



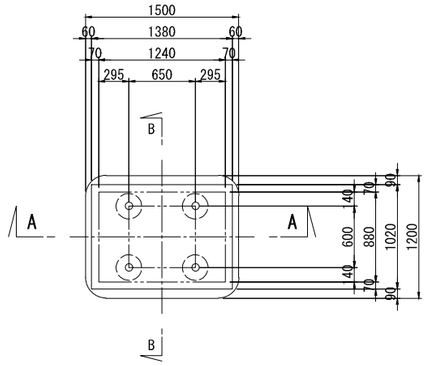
B － B

P1SL（P1SR）

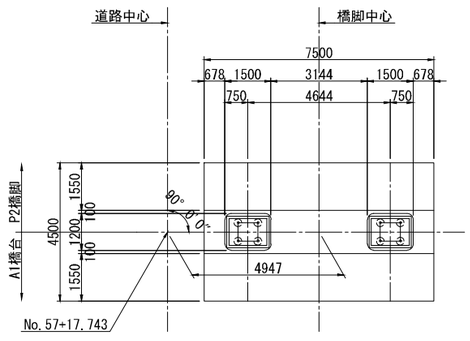


※支承部施工は箱抜きまでとする。

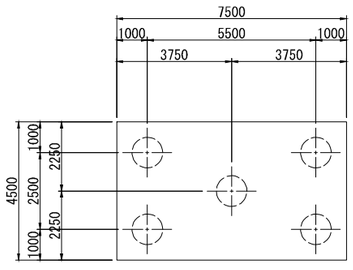
平 面 図



平 面 図

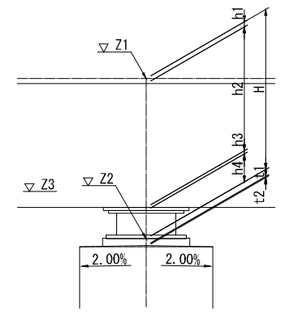


杭 配 置 図



構造高表

		P1橋脚	
		P1SL	P1SR
路面計画高	Z1	27.022	26.930
舗装厚	h1	0.080	0.080
桁高	h2	0.800	0.800
レアー厚	h3	0.164	0.164
支承高	h4	0.418	0.418
小計	H	1.462	1.462
沓下面高	Z2	25.560	25.468
モルタル厚	t1	0.038	0.036
排水勾配分	t2	0.012	0.012
下部工天端高	Z3	25.510	25.420



使用材料一覧表

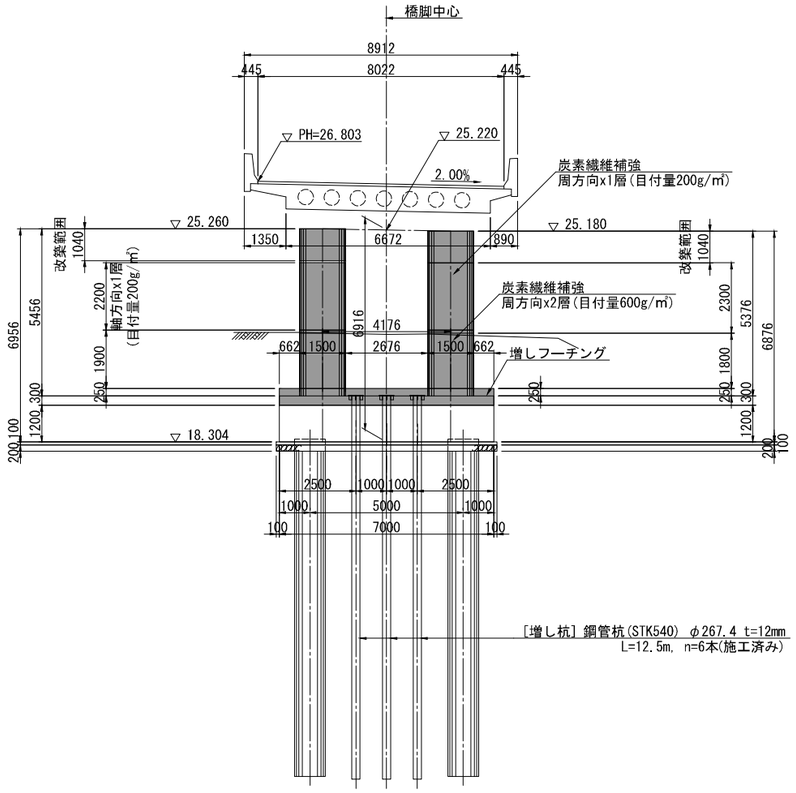
	コンクリート	鉄筋
橋座	σck = 24 N/mm²	SD345
増しフーチング	σck = 24 N/mm²	SD345

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

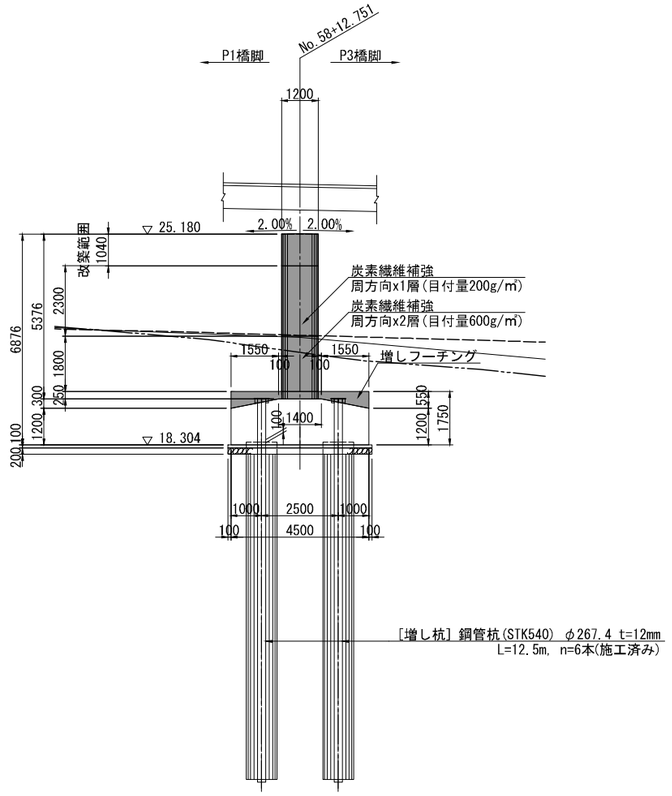
工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	P1橋脚 補強構造図		
作成年月日	令和 7 年 11 月　日		
縮尺	図示	図面番号	5 ／ 64
会社名	株式会社 長大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

P2橋脚 補強構造図 S=1:100

正 面 図

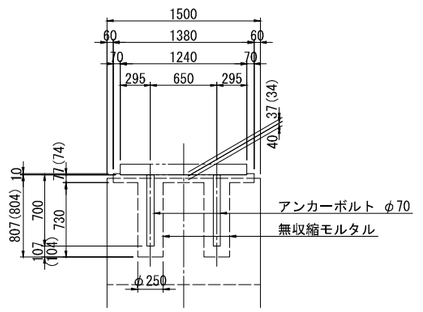


側 面 図

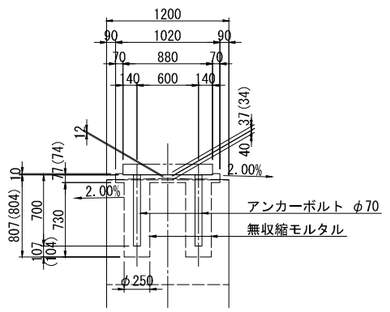


支承部詳細図 S=1:30

A － A

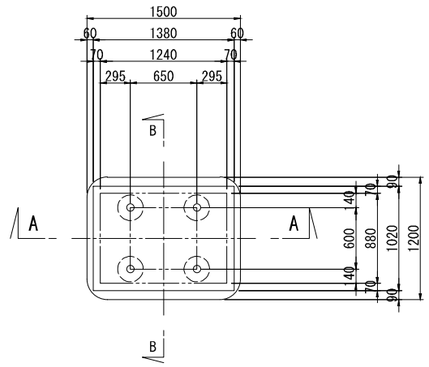


B － B

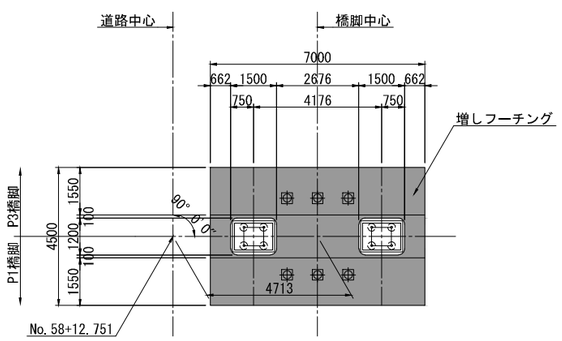


※支承部施工は箱抜きまでとする。

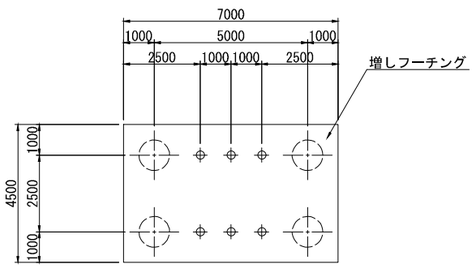
平 面 図



平 面 図

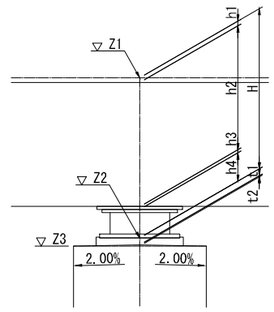


杭 配 置 図



構造高表

		P2橋脚	
		P2SL	P2SR
路面計画高	Z1	26.761	26.678
舗装厚	h1	0.080	0.080
桁高	h2	0.800	0.800
レアー厚	h3	0.154	0.154
支承高	h4	0.418	0.418
小計	H	1.452	1.452
沓下面高	Z2	25.309	25.226
モルタル厚	t1	0.037	0.034
排水勾配分	t2	0.012	0.012
下部工天端高	Z3	25.260	25.180



使用材料一覧表

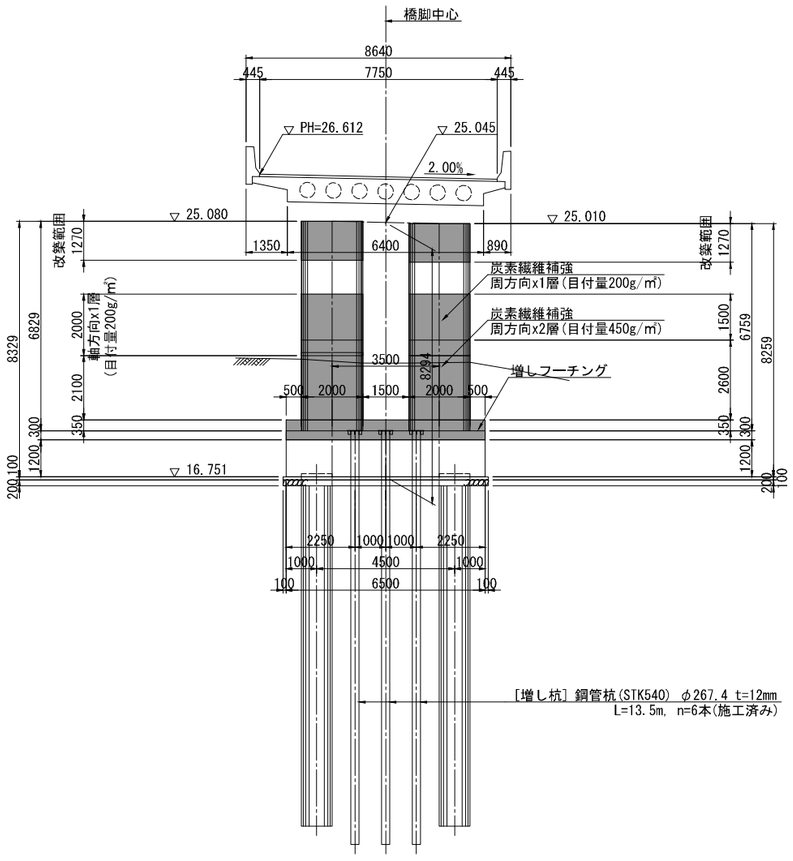
	コンクリート	鉄筋
橋座	σck = 24 N/mm²	SD345
増しフーチング	σck = 24 N/mm²	SD345

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

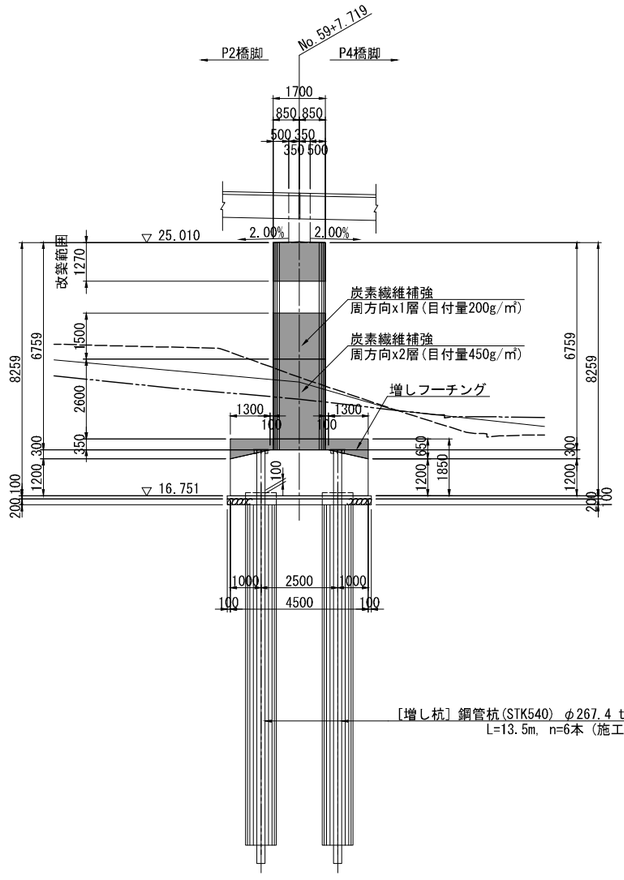
工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	P2橋脚 補強構造図		
作成年月日	令和 7 年 11 月 日		
縮尺	図示	図面番号	6 ／ 64
会社名	株式会社 長大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

P3橋脚 補強構造図 S=1:100

正 面 図

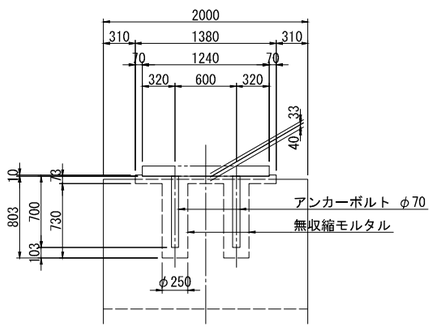


側 面 図

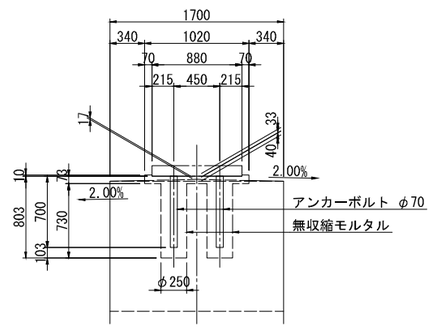


支承部詳細図 S=1:30

A － A

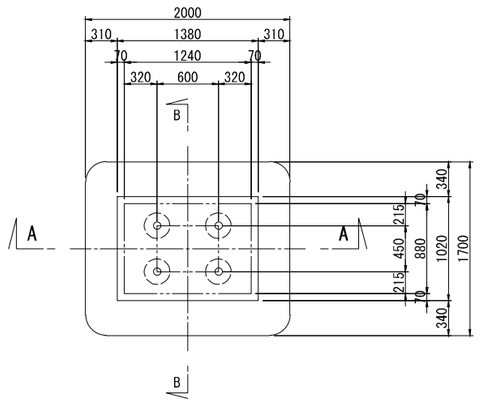


B － B

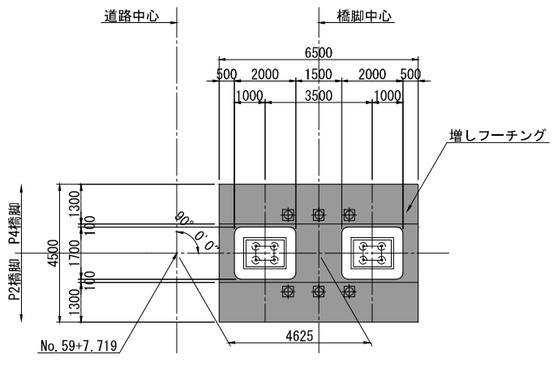


※支承部施工は箱抜きまでとする。

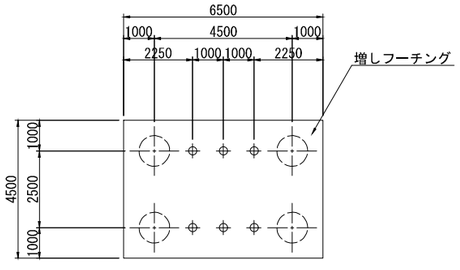
平 面 図



平 面 図

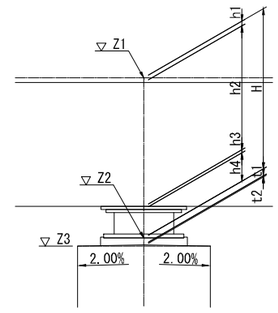


杭 配 置 図



構造高表

		P3橋脚	
		P3SL	P3SR
路面計画高	Z1	26.565	26.495
舗装厚	h1	0.080	0.080
桁高	h2	0.800	0.800
レアー厚	h3	0.137	0.137
支承高	h4	0.418	0.418
小計	H	1.435	1.435
沓下面高	Z2	25.130	25.060
モルタル厚	t1	0.033	0.033
排水勾配分	t2	0.017	0.017
下部工天端高	Z3	25.080	25.010



使用材料一覧表

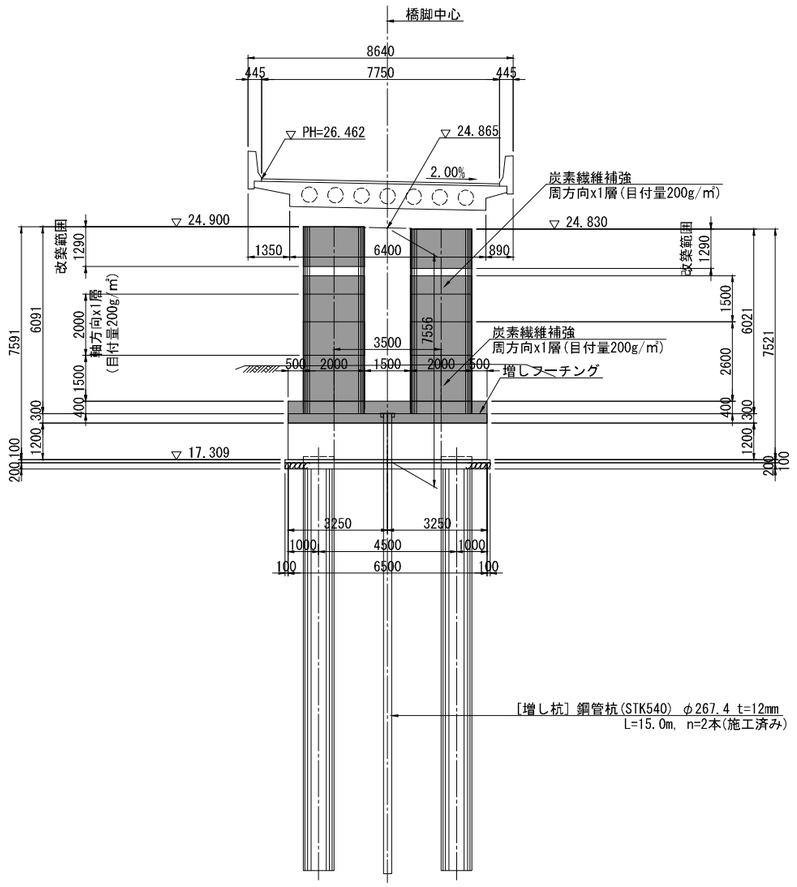
	コンクリート	鉄筋
橋座	σck = 24 N/mm²	SD345
増しフーチング	σck = 24 N/mm²	SD345

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

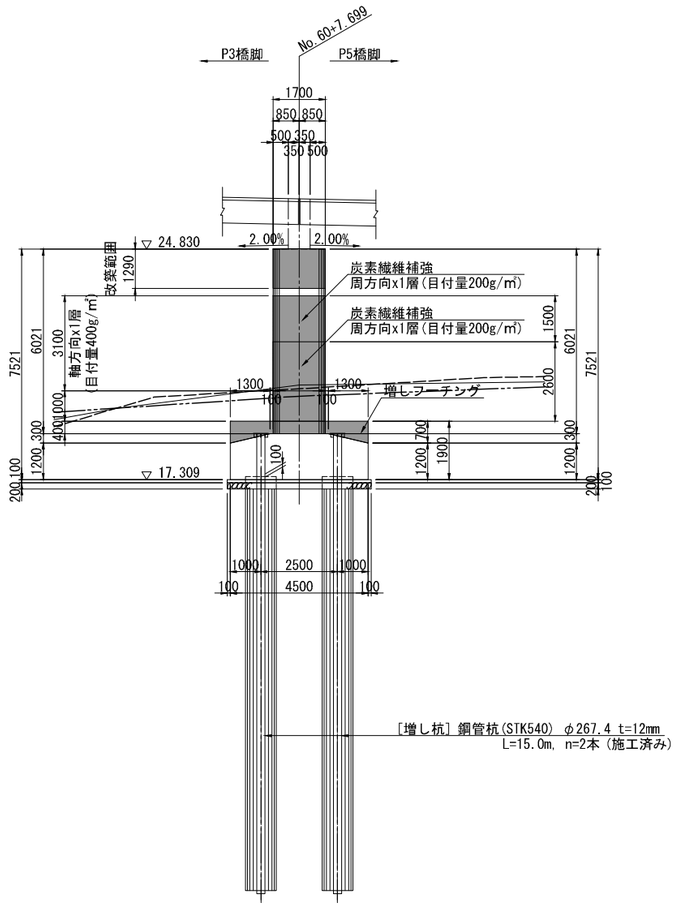
工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事
図面名	P3橋脚 補強構造図
作成年月日	令和 7 年 11 月 日
縮尺	図示
図面番号	7 ／ 64
会社名	株式会社 長大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

P4橋脚 補強構造図　S=1:100

正 面 図

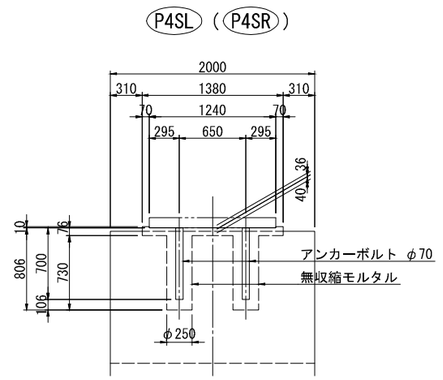


側 面 図

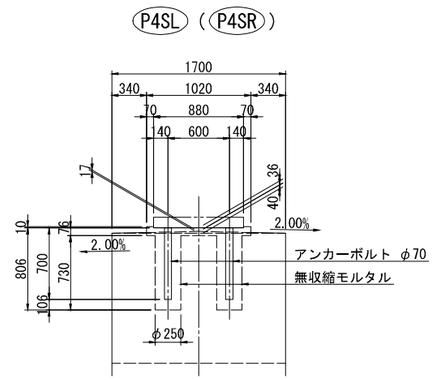


支承部詳細図　S=1:30

A － A

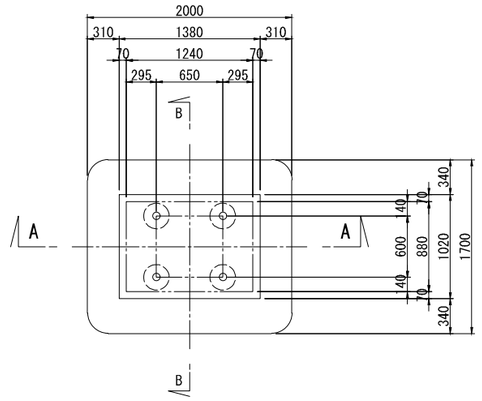


B － B



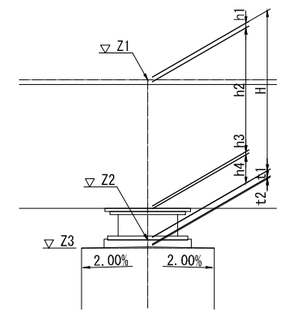
※支承部施工は箱抜きまでとする。

平 面 図

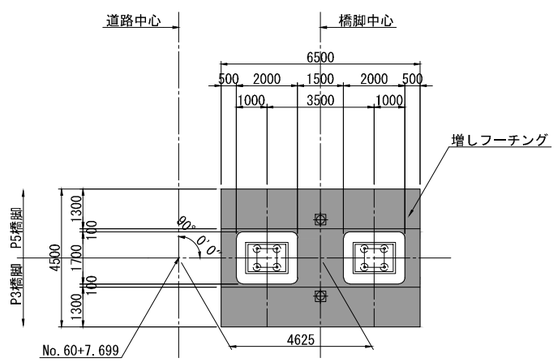


構造高表

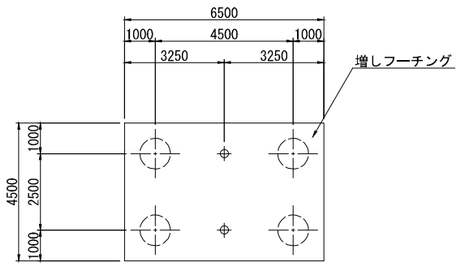
		P4橋脚	
		P4SL	P4SR
路面計画高	Z1	26.415	26.345
舗装厚	h1	0.080	0.080
桁高	h2	0.800	0.800
レアー厚	h3	0.164	0.164
支承高	h4	0.418	0.418
小計	H	1.462	1.462
沓下面高	Z2	24.953	24.883
モルタル厚	t1	0.036	0.036
排水勾配分	t2	0.017	0.017
下部工天端高	Z3	24.900	24.830



平 面 図



杭 配 置 図



使用材料一覧表

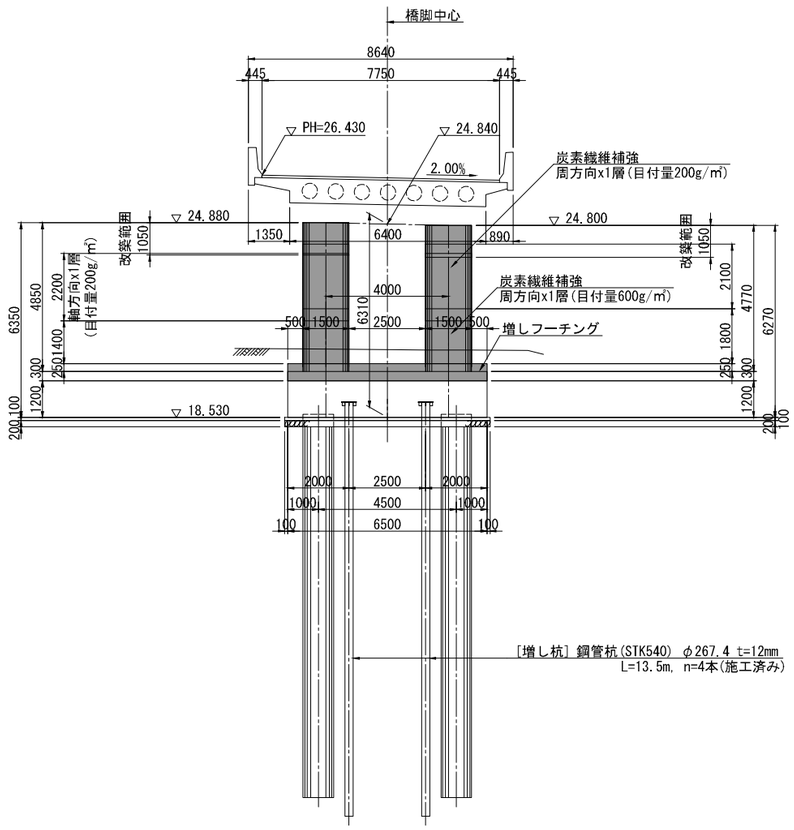
	コンクリート	鉄筋
橋座	σck = 24 N/mm²	SD345
増しフーチング	σck = 24 N/mm²	SD345

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

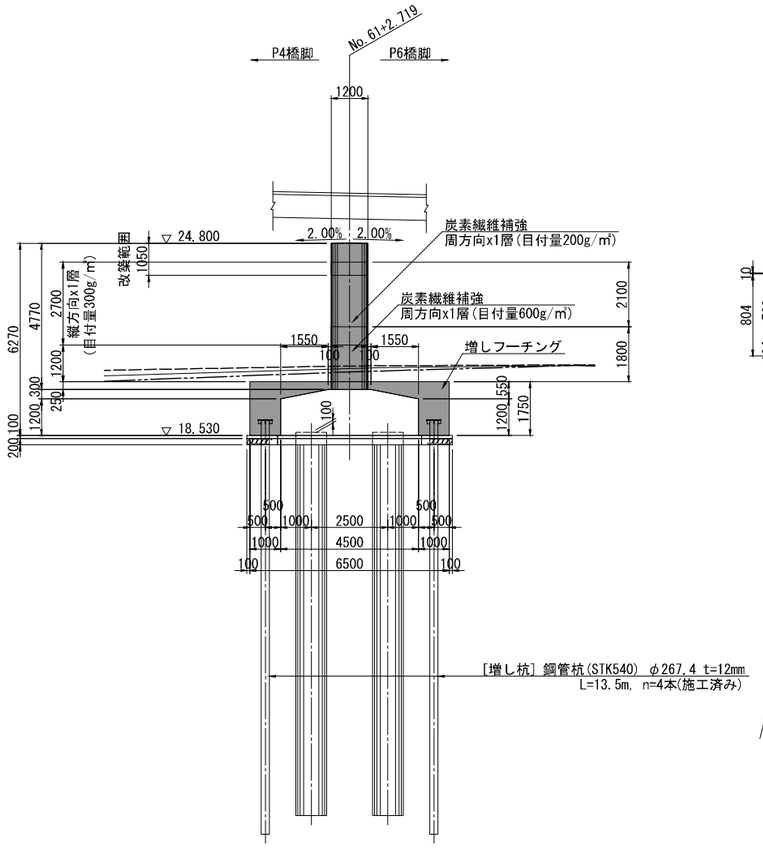
工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	P4橋脚 補強構造図		
作成年月日	令和7年11月　日		
縮尺	図示	図面番号	8 ／ 64
会社名	株式会社 長大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

P5橋脚 補強構造図 S=1:100

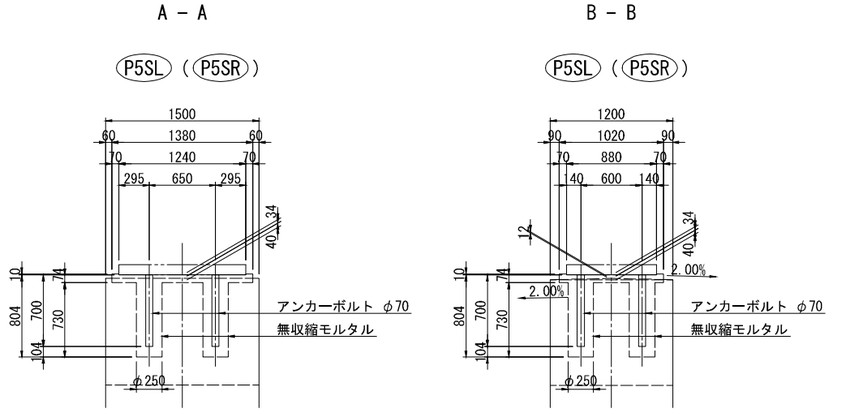
正 面 図



側 面 図

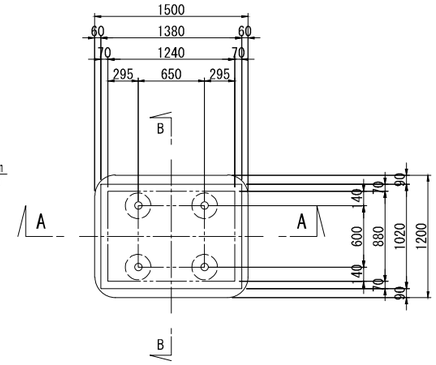


支承部詳細図 S=1:30



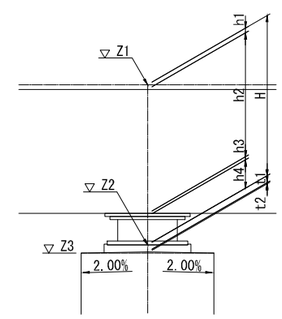
※支承部施工は箱抜きまでとする。

平 面 図

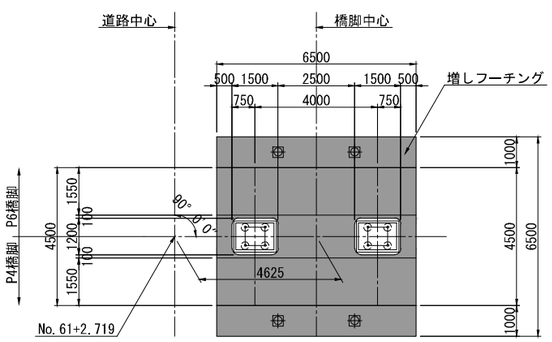


構造高表

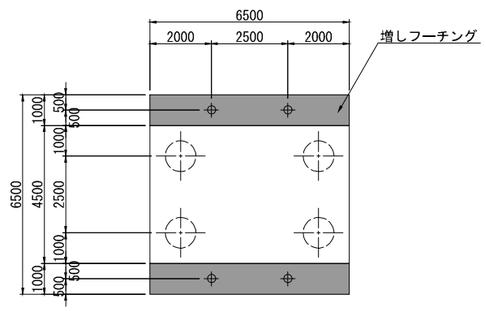
		P5橋脚	
		P5SL	P5SR
路面計画高	Z1	26.388	26.308
舗装厚	h1	0.080	0.080
桁高	h2	0.800	0.800
レアー厚	h3	0.158	0.158
支承高	h4	0.424	0.424
小計	H	1.462	1.462
沓下面高	Z2	24.926	24.846
モルタル厚	t1	0.034	0.034
排水勾配分	t2	0.012	0.012
下部工天端高	Z3	24.880	24.800



平 面 図



杭 配 置 図



使用材料一覧表

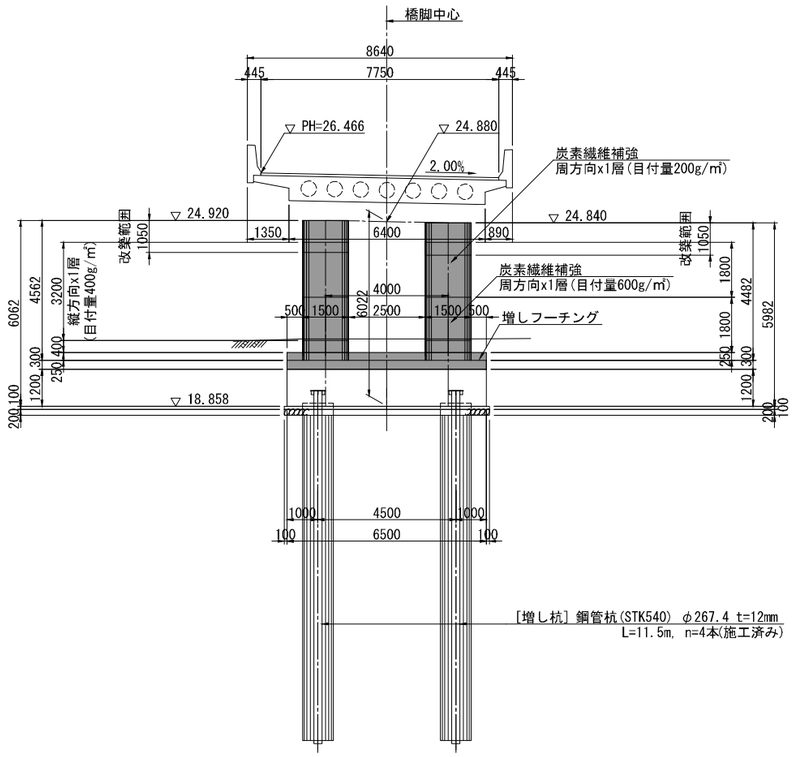
	コンクリート	鉄筋
橋座	σck = 24 N/mm²	SD345
増しフーチング	σck = 24 N/mm²	SD345

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

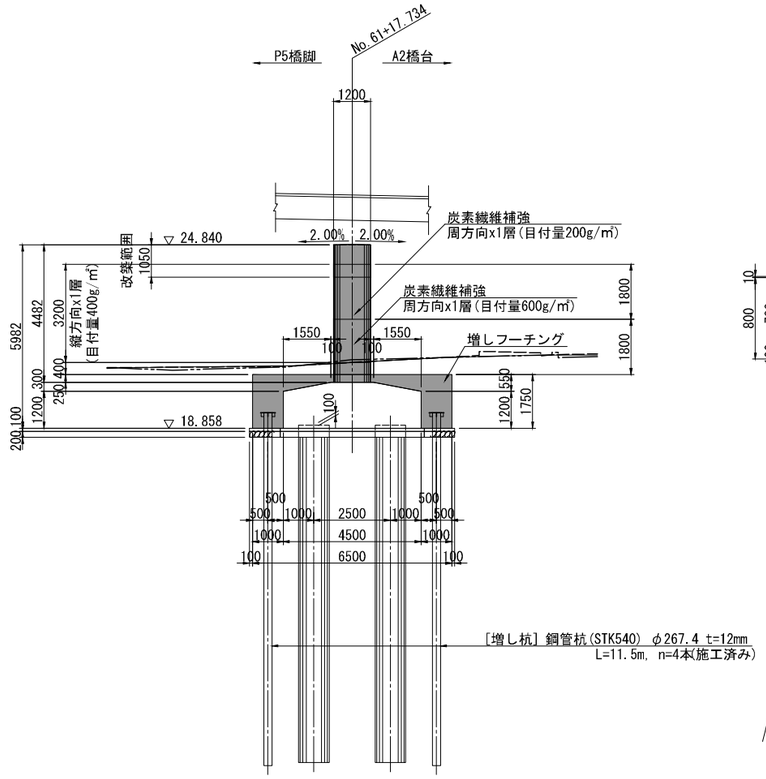
工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	P5橋脚 補強構造図		
作成年月日	令和 7 年 11 月 日		
縮尺	図示	図面番号	9 ／ 64
会社名	株式会社 長大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

P6橋脚 補強構造図 S=1:100

正 面 図

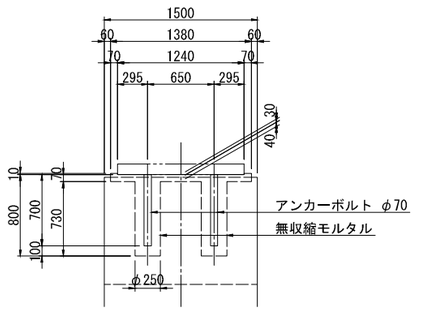


側 面 図

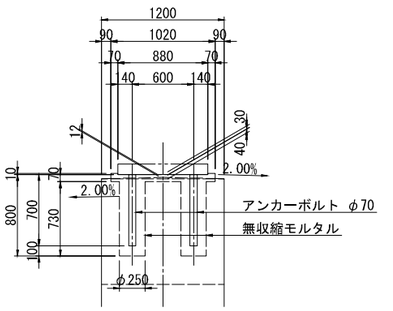


支承部詳細図 S=1:30

A － A

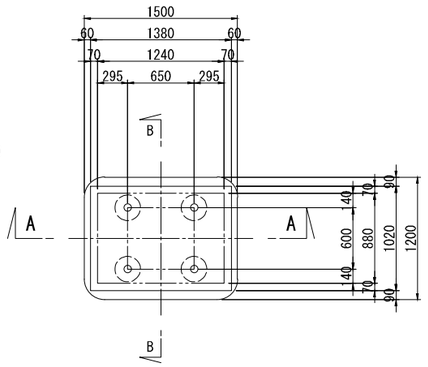


B － B

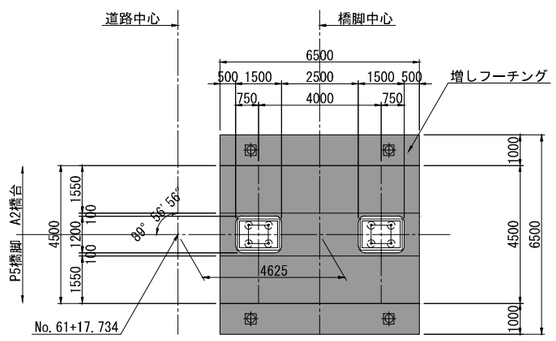


※支承部施工は箱抜きまでとする。

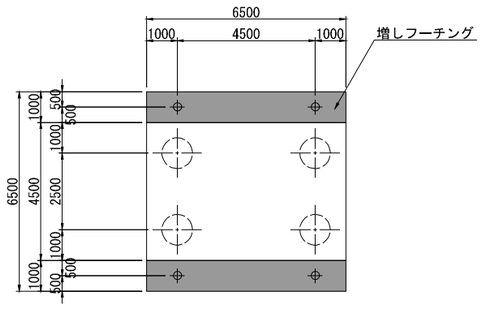
平 面 図



平 面 図

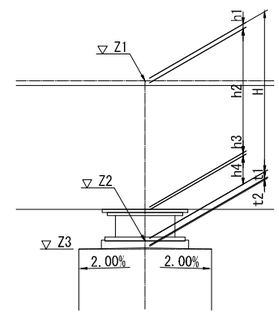


杭 配 置 図



構造高表

		P6橋脚	
		P6SL	P6SR
路面計画高	Z1	26.424	26.344
舗装厚	h1	0.080	0.080
桁高	h2	0.800	0.800
レアー厚	h3	0.158	0.158
支承高	h4	0.424	0.424
小計	H	1.462	1.462
省下面高	Z2	24.962	24.882
モルタル厚	t1	0.030	0.030
排水勾配分	t2	0.012	0.012
下部工天端高	Z3	24.920	24.840



使用材料一覧表

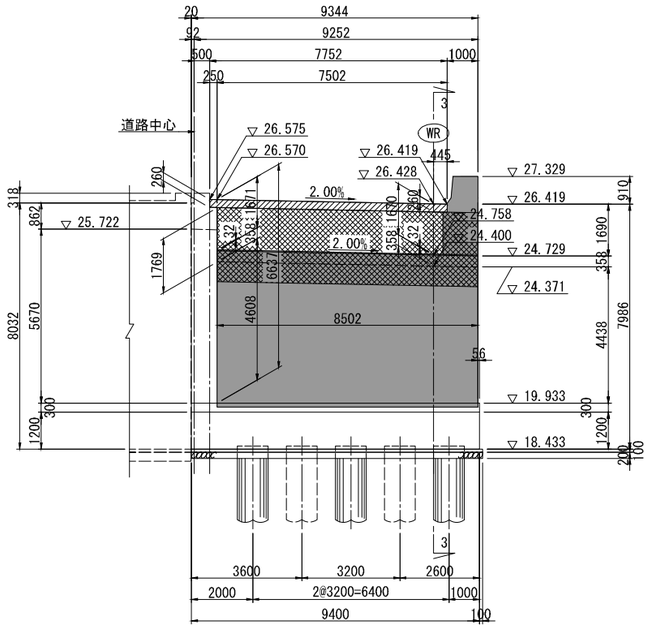
	コンクリート	鉄筋
橋座	σck = 24 N/mm²	SD345
増しフーチング	σck = 24 N/mm²	SD345

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

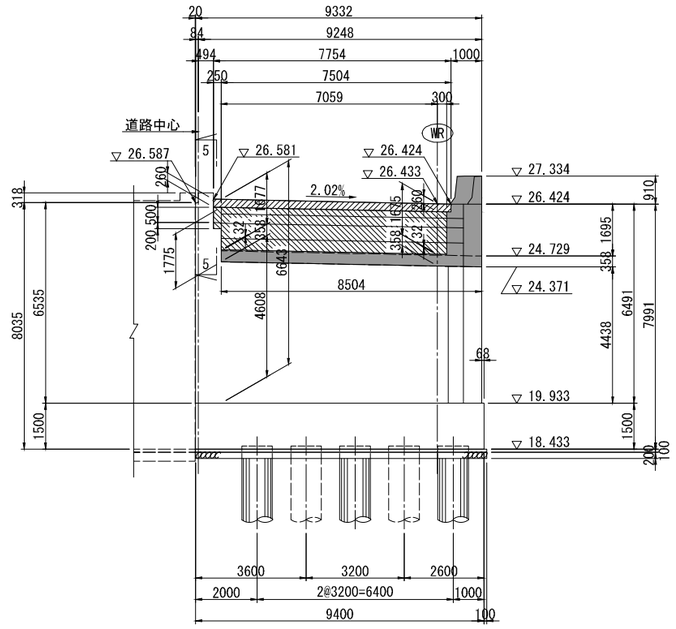
工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	P6橋脚 補強構造図		
作成年月日	令和 7 年 11 月 日		
縮尺	図示	図面番号	10 ／ 64
会社名	株式会社 長大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

A2橋台 補強構造図(その1)　S=1:100

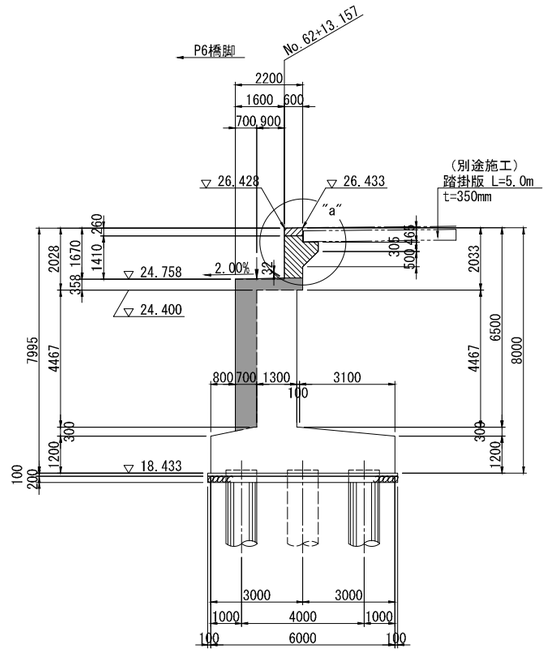
正 面 図 (1 － 1)



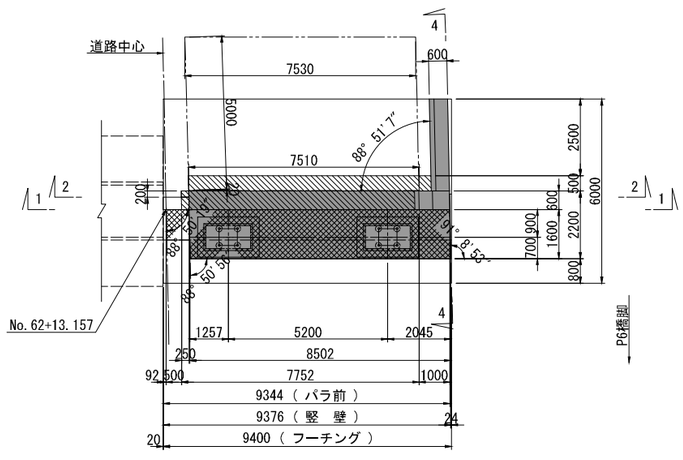
背 面 図 (2 － 2)



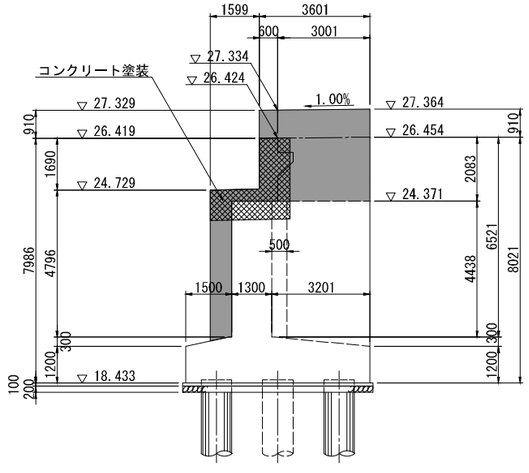
断 面 図 (3 － 3)



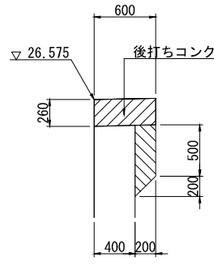
平 面 図



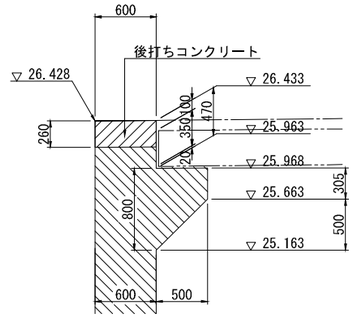
4 － 4



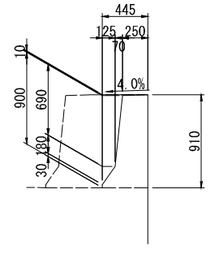
(別途施工) 5 － 5



(別途施工) "a" 部詳細図　S=1:30



壁高欄詳細図　S=1:30



注）1. ▨ は後打ちコンクリートを示す。(別途施工)
2. ▨ は上部工施工を示す。(別途施工)
3. ▨ はコンクリート塗装を示す。

使用材料一覧表

	コンクリート	鉄　筋
躯　体	σck = 24 N/mm²	SD345
増しフーチング	σck = 24 N/mm²	SD345

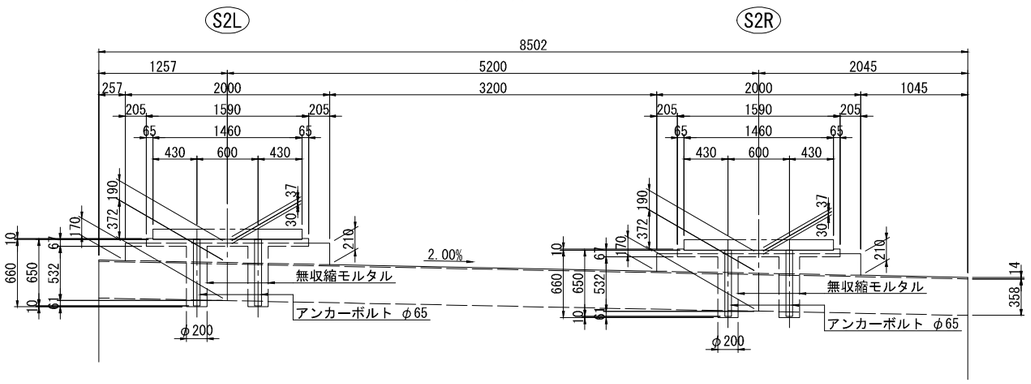
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

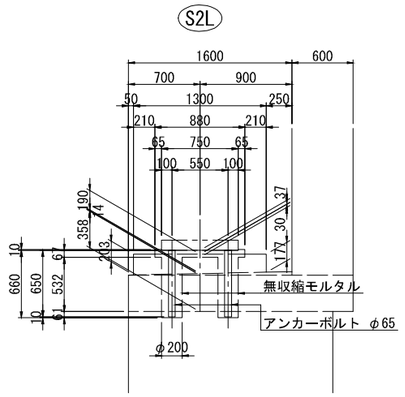
工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	A2橋台 補強構造図(その1)		
作成年月日	令 和 7 年 11 月　日		
縮　尺	図 示	図面番号	11 ／ 64
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

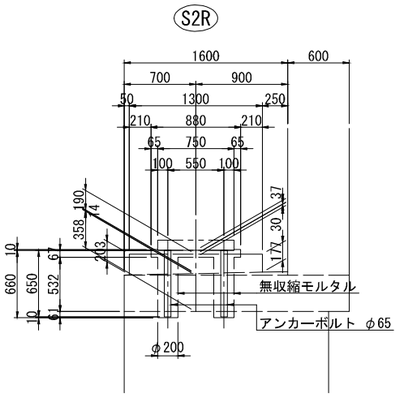
A2橋台 補強構造図(その2)　S=1:30

支承部詳細図

A － A

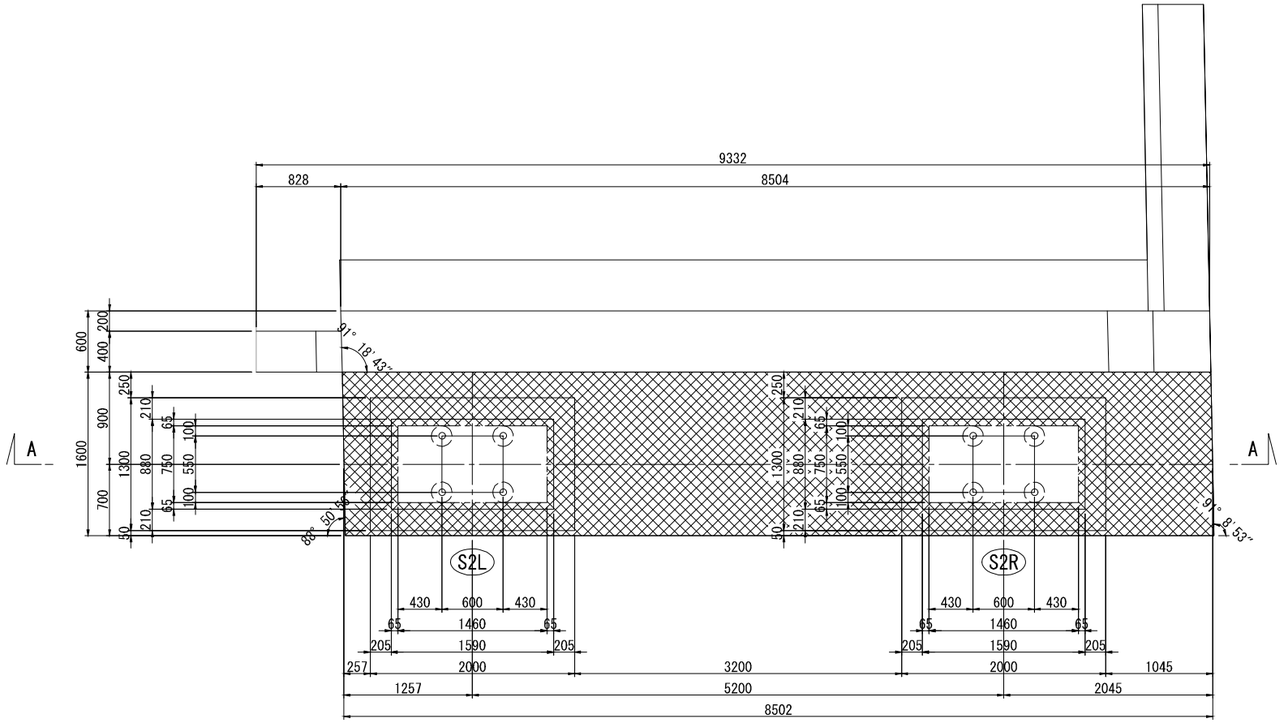






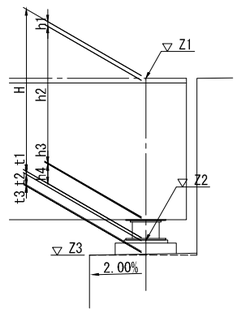
※支承部施工は箱抜きまでとする。

平 面 図



構造高表

		A2橋台(S2)	
		S2L	S2R
路面計画高	Z1	26.536	26.432
舗装厚	h1	0.080	0.080
桁高	h2	0.800	0.800
レアー厚	h3	0.100	0.100
支承高	h4	0.441	0.441
小計	H	1.421	1.421
沓下面高	Z2	25.115	25.011
モルタル厚	t1	0.037	0.037
台座コンクリート	t2	0.190	0.190
排水勾配分	t3	0.014	0.014
下部工天端高	Z3	24.874	24.770



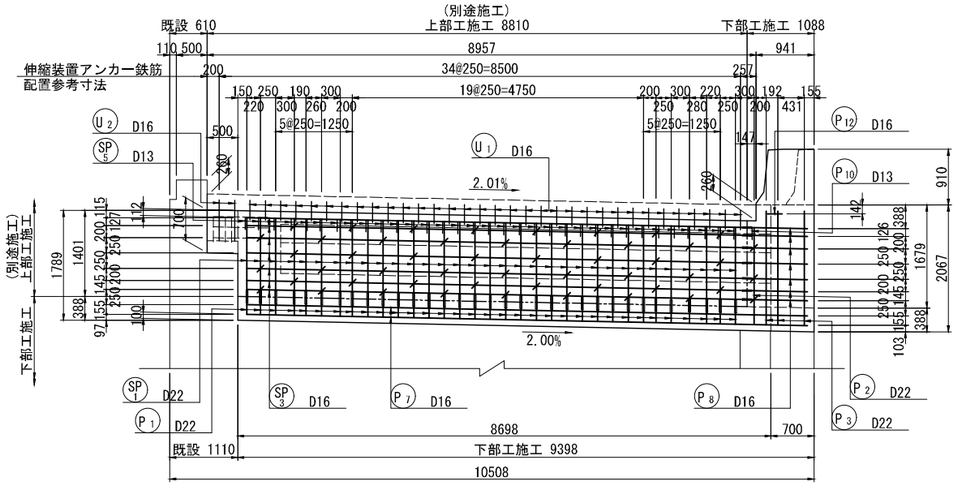
注）1. ▨ はコンクリート塗装を示す。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

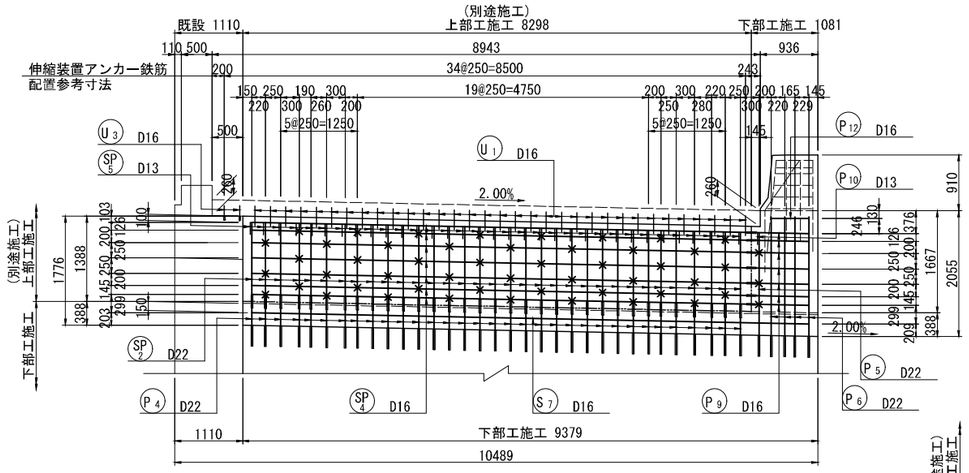
工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	A2橋台 補強構造図(その2)		
作成年月日	令 和 7 年 11 月　日		
縮尺	1:30	図面番号	12 ／ 64
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

A1橋台 改築配筋図(その1)　S=1:50

1 － 1



2 － 2

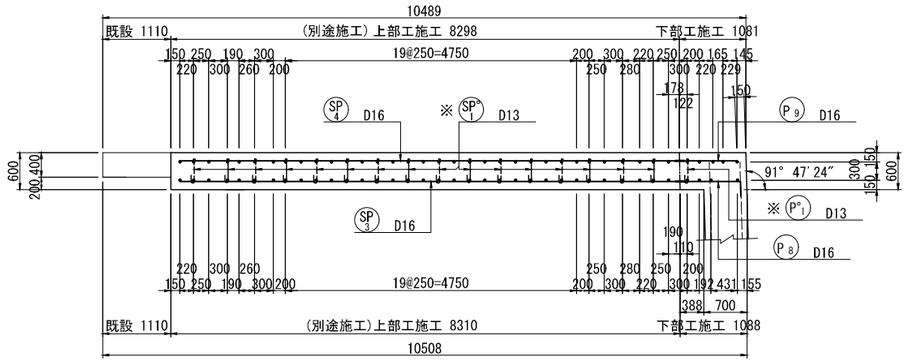


凡例

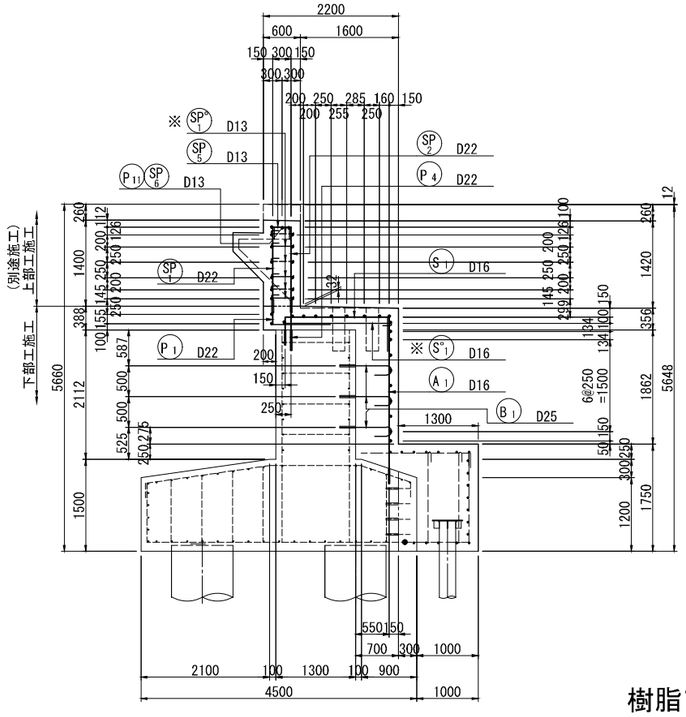
記号	配置位置
ノ	半円形フック側
×	定着体側

注）伸縮装置アンカー鉄筋 (U1)(U2)(U3) は上部工『伸縮装置詳細図』を参照し、必要に応じて配置の見直しを行うこと。

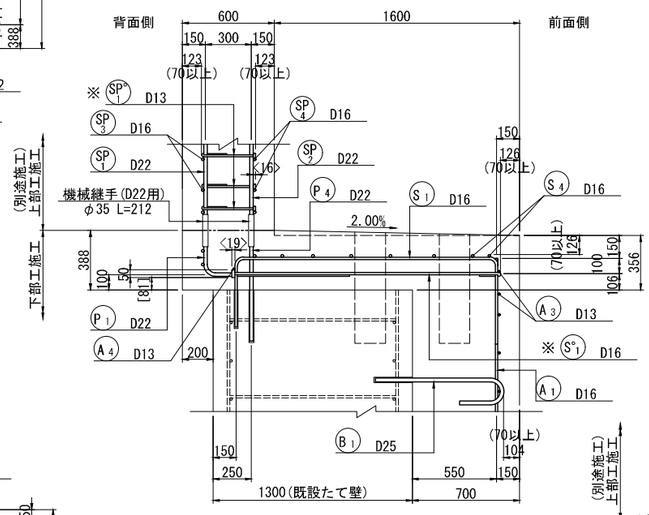
3 － 3



4 － 4



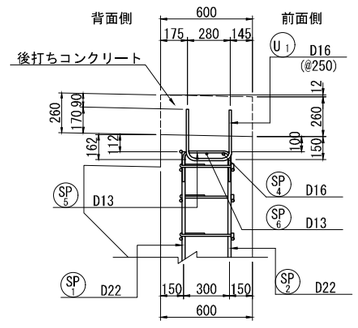
かぶり詳細図　S=1:20



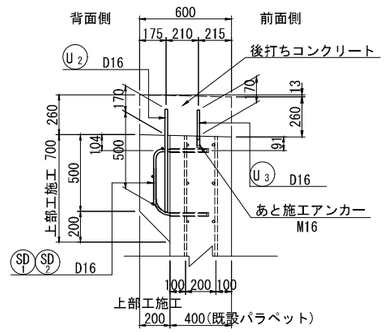
注）1. パラペットのスターラップ (P°1)(SP°1) は半円形フックを背面側に配置する。
2. 水平補強鉄筋 (S°1) は半円形フックを前面側に配置する。
3. < >内数値は、建設技術審査証明を取得した機械式鉄筋定着工法一覧(土木)の最大値を示す。
cf. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
4. [ ]内寸法は鉄筋のあきを示し、鉄筋径の1.5倍以上または40㎜以上かつ粗骨材の最大寸法の4/3以上を確保した。

(別途施工) パラペット頂部詳細図　S=1:20

標準部

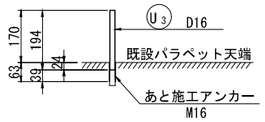


既設パラペット拡幅部

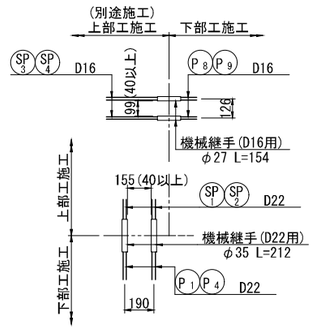


注）1. 伸縮装置アンカー鉄筋は上部工『伸縮装置詳細図』を参照し、必要に応じて見直しを行うこと。
2. 既設パラペットに設置するあと施工アンカーは、既設鉄筋と干渉しないよう、施工の際は事前調査を行った上、本図面と異なる場合には必要に応じて見直しを行うこと。

(別途施工) あと施工アンカー詳細図　S=1:10

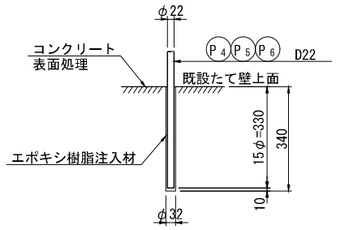


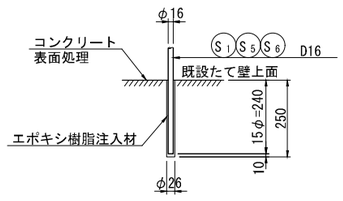
機械継手部あき詳細図　S=1:20



注）上図は最小ピッチの値で作画し、鉄筋のあきを示す。なお、鉄筋のあきは鉄筋径の1.5倍以上または40㎜以上かつ粗骨材の最大寸法の4/3以上を確保する。

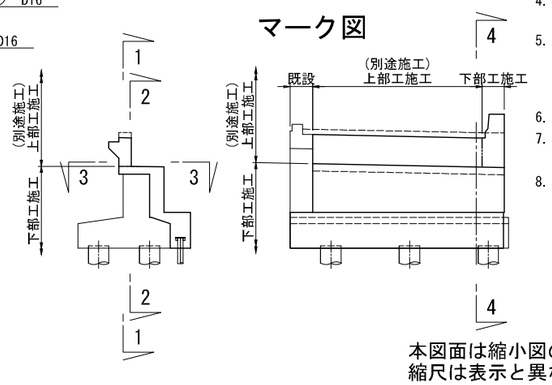
樹脂アンカー詳細図　S=1:10





注）1. ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
(1) 道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
(2) 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
2. この図面の機械式定着工法は参考図であり製品を指定するものではない。
3. ※印表記の鉄筋長は、採用した機械式鉄筋定着工法に応じて適宜調整すること。
4. 機械継手を使用する鉄筋の鉄筋長は使用する機械継手の製品に応じて適宜調整すること。
5. 既設たて壁やフーチングに設置する樹脂アンカーは、既設鉄筋と干渉しないよう、施工の際は事前調査を行った上、本図と異なる場合には必要に応じて見直しを行うこと。なお、既設鉄筋は切断しないこと。
6. 細破線は、既設の鉄筋配置を示す。
7. 既設コンクリートの表面は十分な下地処理を行い、新旧コンクリートの一体化を図ること。
8. 鉄筋記号 (S*n)(SPn)(Un) は上部工施工の鉄筋を示す。(別途施工)

マーク図

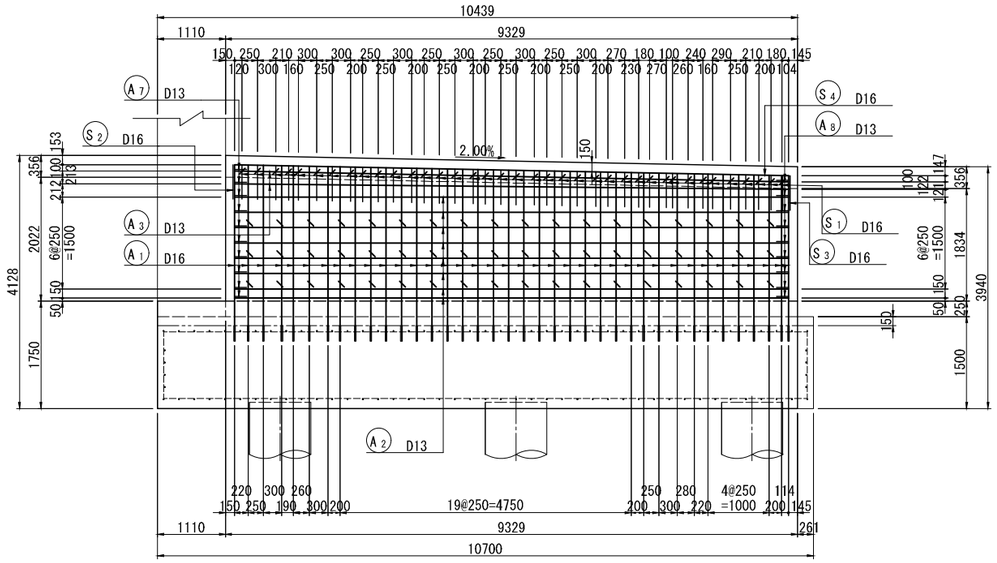


本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

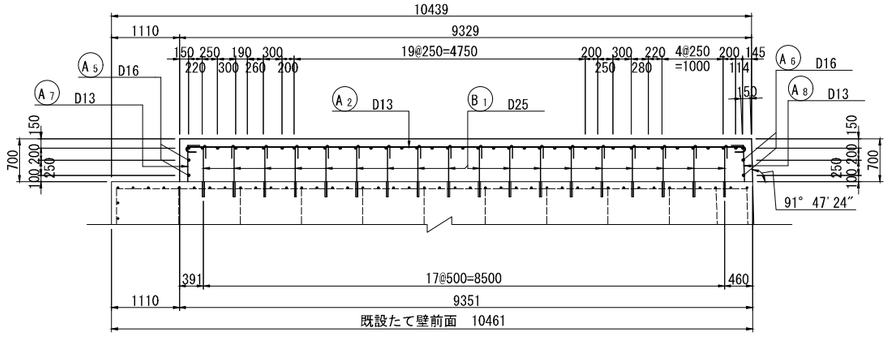
工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事
図面名	A1橋台 改築配筋図(その1)
作成年月日	令 和 7 年 11 月　日
縮　尺	図 示
図面番号	13 ／ 64
会社名	株式会社 長 大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

A1橋台 改築配筋図(その2)　S=1:50

5 － 5

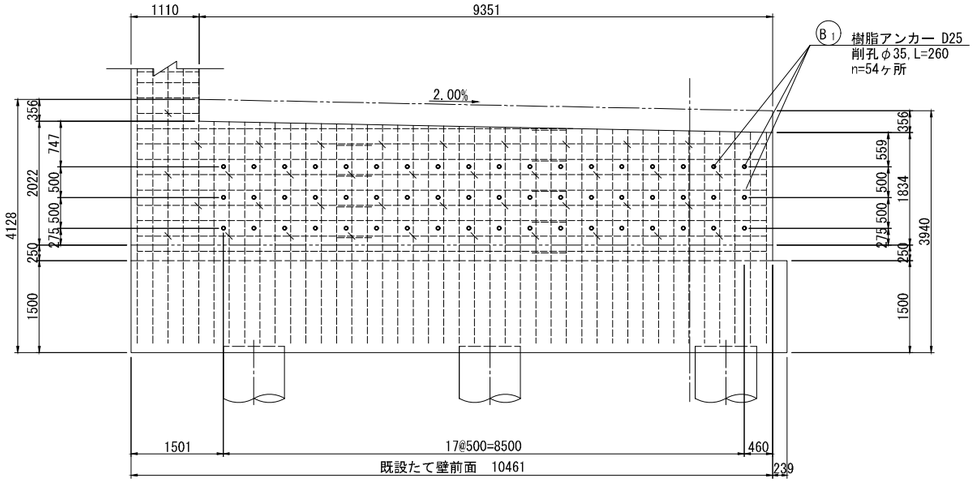


6 － 6

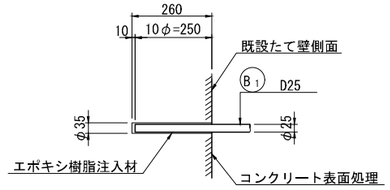


ずれ止めアンカー配置図

既設たて壁 （②－②）

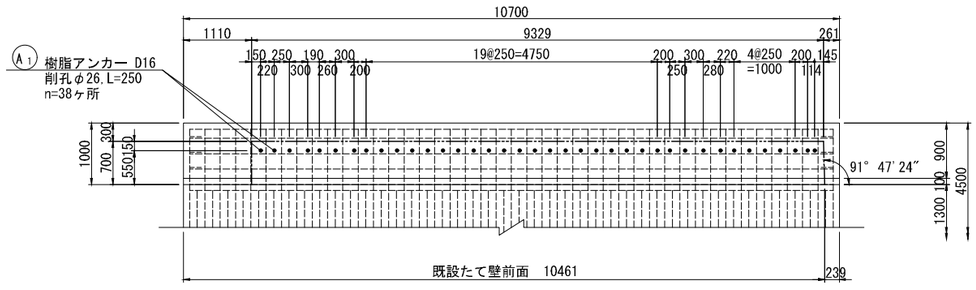


ずれ止めアンカー詳細図　S=1:10

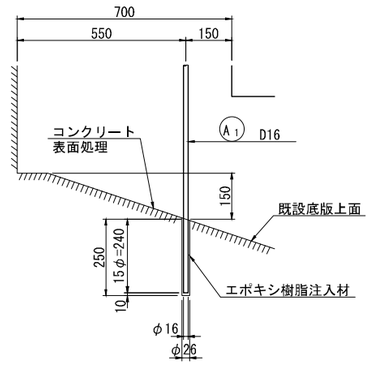


樹脂アンカー配置図

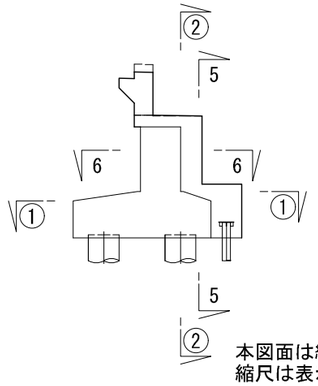
既設フーチング （①－①）



樹脂アンカー詳細図　S=1:10



マーク図



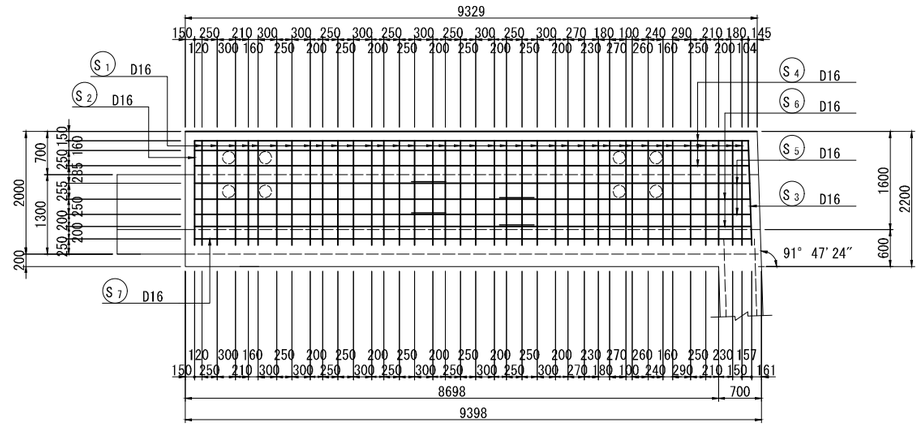
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

注）1. ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
(1) 道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
(2) 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
2. この図面の機械式定着工法は参考図であり製品を指定するものではない。
3. ※印表記の鉄筋長は、採用した機械式鉄筋定着工法に応じて適宜調整すること。
4. 機械継手を使用する鉄筋の鉄筋長は使用する機械継手の製品に応じて適宜調整すること。
5. 既設たて壁やフーチングに設置する樹脂アンカーは、既設鉄筋と干渉しないよう、施工の際は事前調査を行った上、本図と異なる場合には必要に応じて見直しを行うこと。なお、既設鉄筋は切断しないこと。
6. 細破線は、既設の鉄筋配置を示す。
7. 既設コンクリートの表面は十分な下地処理を行い、新旧コンクリートの一体化を図ること。

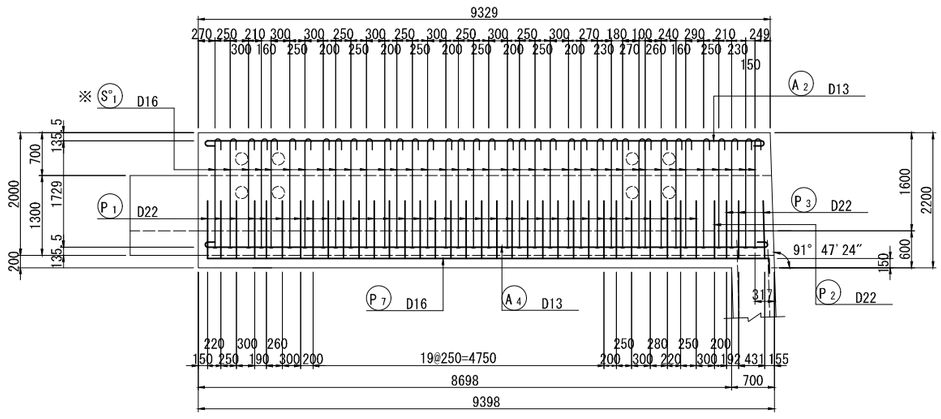
工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	A1橋台 改築配筋図(その2)		
作成年月日	令 和 7 年 1 1 月　日		
縮　尺	図 示	図面番号	14 ／ 64
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

A1橋台 改築配筋図(その3)　S=1:50

7 - 7

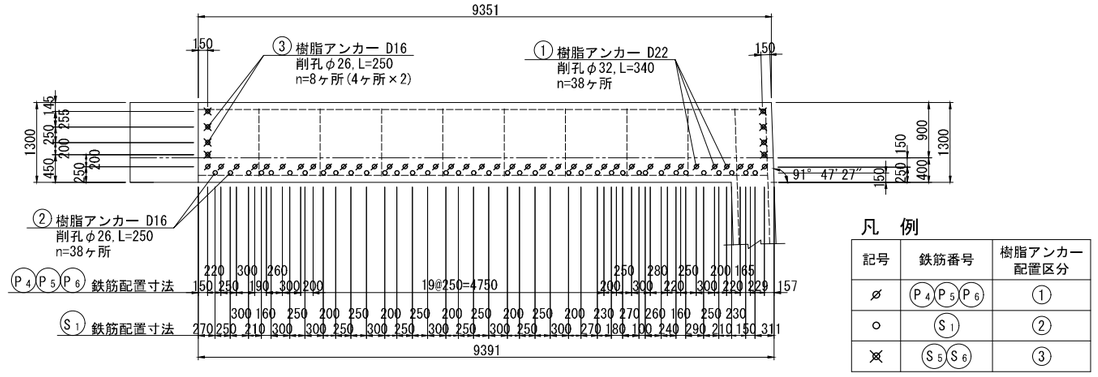


8 - 8



樹脂アンカー配置図

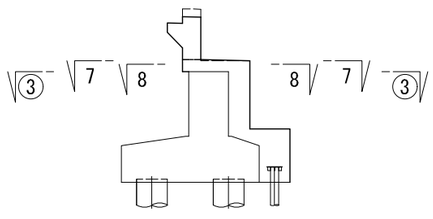
既設たて壁 （③－③）



凡　例

記号	鉄筋番号	樹脂アンカー配置区分
⌀	P4 P5 P6	①
○	S1	②
⊗	S5 S6	③

マーク図



注）1. ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準等を満足すること。
(1) 道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
(2) 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
2. この図面の機械式定着工法は参考図であり製品を指定するものではない。
3. ※印表記の鉄筋長は、採用した機械式鉄筋定着工法に応じて適宜調整すること。
4. 機械継手を使用する鉄筋の鉄筋長は使用する機械継手の製品に応じて適宜調整すること。
5. 既設たて壁やフーチングに設置する樹脂アンカーは、既設鉄筋と干渉しないよう、施工の際は事前調査を行った上、本図と異なる場合には必要に応じて見直しを行うこと。なお、既設鉄筋は切断しないこと。
6. 細破線は、既設の鉄筋配置を示す。
7. 既設コンクリートの表面は十分な下地処理を行い、新旧コンクリートの一体化を図ること。

工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	A1橋台 改築配筋図(その3)		
作成年月日	令 和 7 年 11 月　日		
縮　尺	1:50	図面番号	15 ／ 64
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

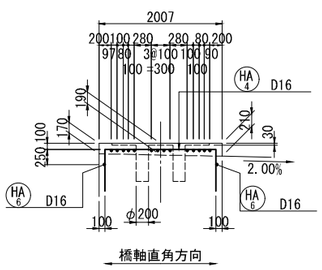
A1橋台 改築配筋図(その4)　S=1:50

沓座配筋図

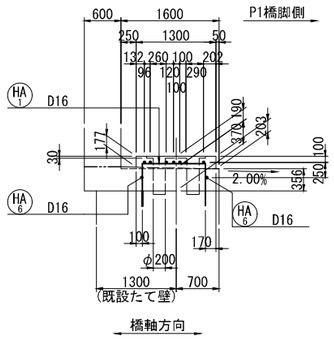
S1L

断 面 図

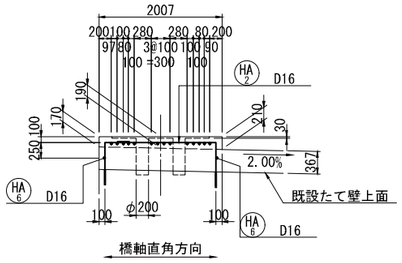
A － A



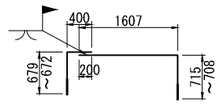
C － C



B － B

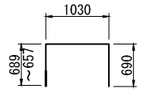


HA2-1 2 － D16 × 1080 （平均長）

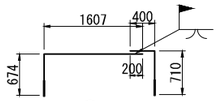


HA2-2 2 － D16 × 2320 （平均長）

HA1 14 － D16 × 2390 （平均長）

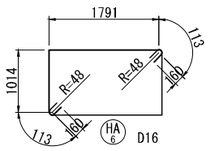


HA3-1 1 － D16 × 2280

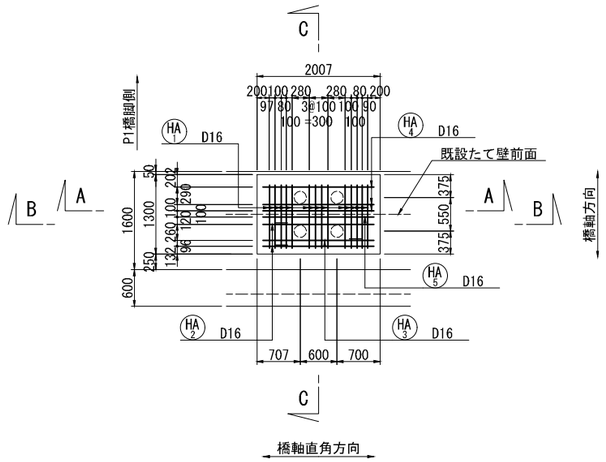


HA3-2 1 － D16 × 1110

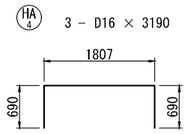
HA6 2 － D16 × 3350



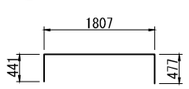
平 面 図



HA4 3 － D16 × 3190



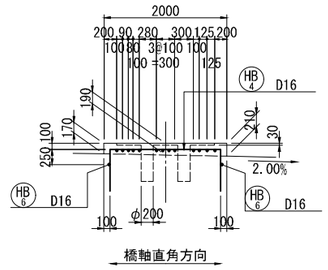
HA5 1 － D16 × 2730



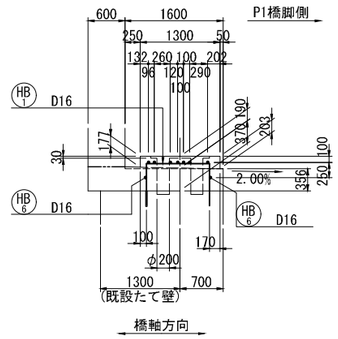
S1R

断 面 図

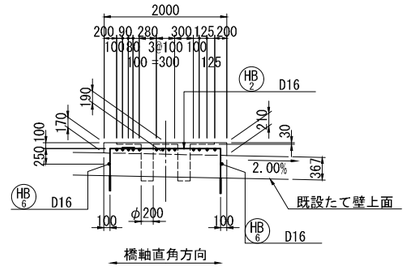
D － D



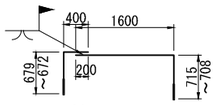
F － F



E － E

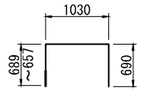


HB2-1 2 － D16 × 1080 （平均長）

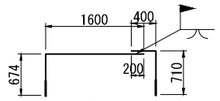


HB2-2 2 － D16 × 2310 （平均長）

HB1 13 － D16 × 2390 （平均長）

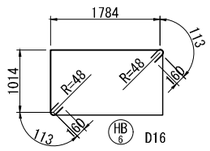


HB3-1 1 － D16 × 2270

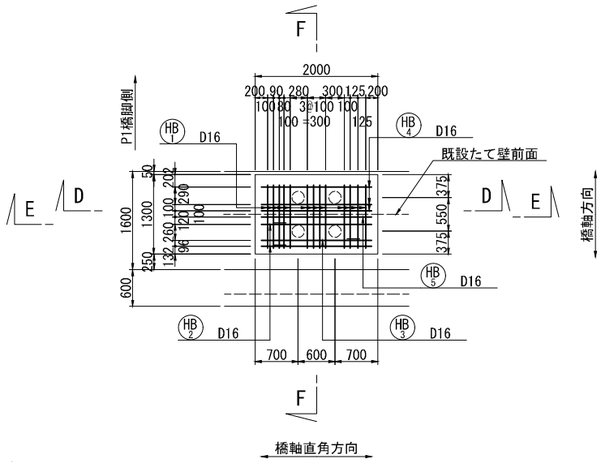


HB3-2 1 － D16 × 1110

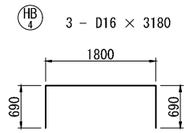
HB6 2 － D16 × 3340



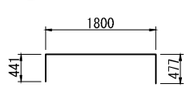
平 面 図



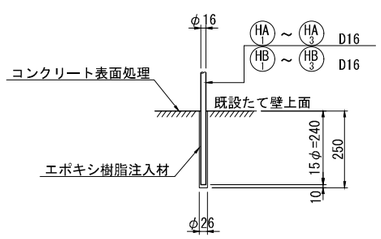
HB4 3 － D16 × 3180



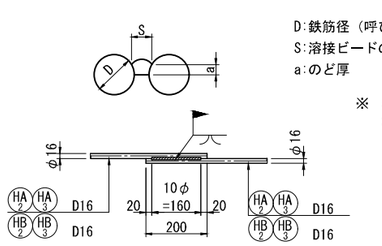
HB5 1 － D16 × 2720



樹脂アンカー詳細図　S=1:10



フレアー溶接詳細図　S=1:10



D:鉄筋径（呼び径）　16mm
S:溶接ビードの幅　8mm
a:のど厚　3.2mm

※　a=0.39D-3
　　S= 0.5D

注）既設たて壁に設置する樹脂アンカーは、既設鉄筋と干渉しないよう、施工の際は事前調査を行った上、本図と異なる場合には必要に応じて見直しを行うこと。
なお、既設鉄筋は切断しないこと。

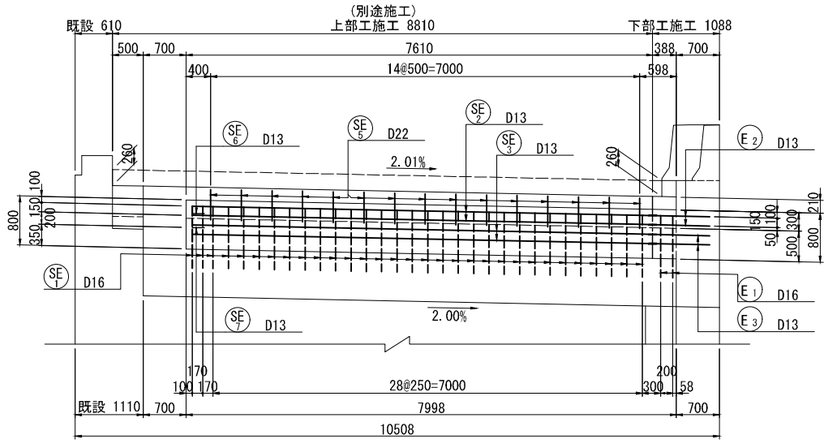
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	A1橋台 改築配筋図(その4)		
作成年月日	令 和 7 年 11 月　日		
縮　尺	図 示	図面番号	16 ／ 64
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

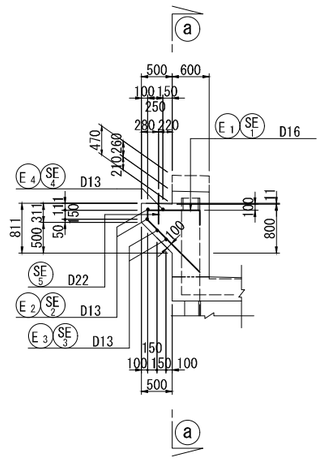
A1橋台 改築配筋図(その5)　S=1:50

踏掛版受台配筋図

背面図 (ⓐ－ⓐ)

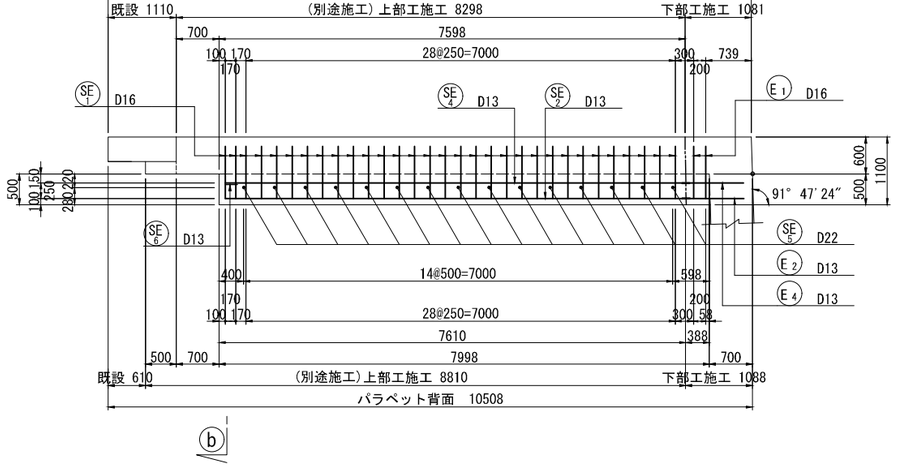


断面図

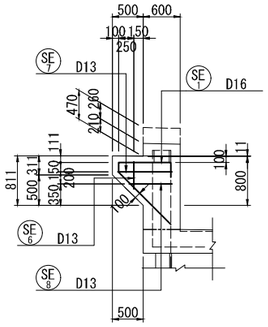


注）アンカー鉄筋 (SE5) の詳細は『A1橋台 踏掛版構造図』を参照こと。

平面図

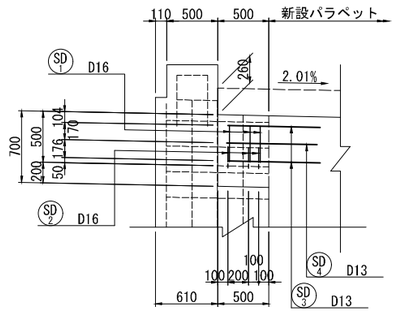


ⓑ－ⓑ

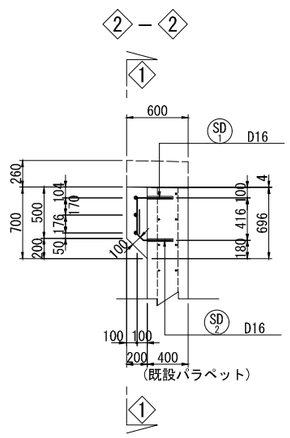


(別途施工) 既設パラペット拡幅部　S=1:30

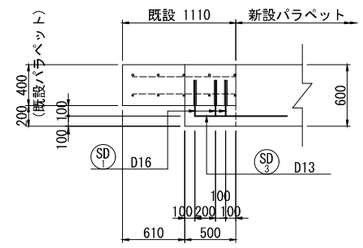
背面図 (①－①)



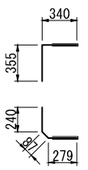
②－②



③－③

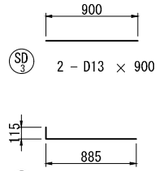


SD1 3 － D16 × 700



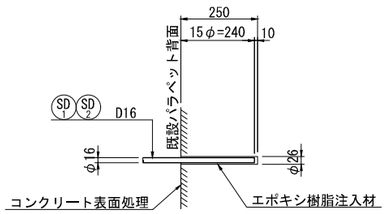
SD2 3 － D16 × 610

SD3 2 － D13 × 900

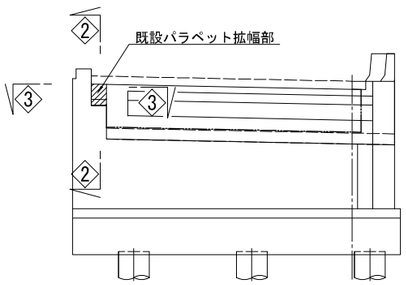


SD4 1 － D13 × 1000

(別途施工) 樹脂アンカー詳細図　S=1:10



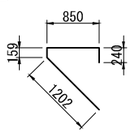
マーク図



注）1. 機械継手を使用する鉄筋の鉄筋長は使用する機械継手の製品に応じて適宜調整すること。
2. 既設コンクリートの表面は十分な下地処理を行い、新旧コンクリートの一体化を図ること。
3. 細破線は、既設の鉄筋配置を示す。
4. 鉄筋記号 (S*n)(SP*n) は上部工施工の鉄筋を示す。(別途施工)

SE1 31 － D16 × 2450

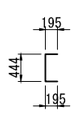
E1 2 － D16 × 2450

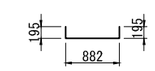


SE5 15 － D22 × 500

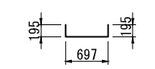


SE6 1 － D13 × 830



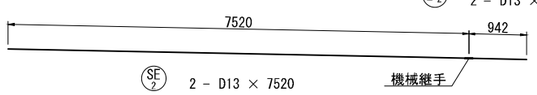


SE7 1 － D13 × 1270



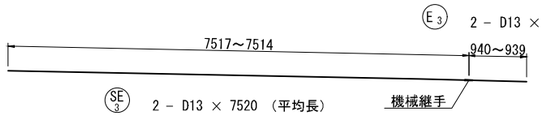
SE8 1 － D13 × 1090

E2 2 － D13 × 940



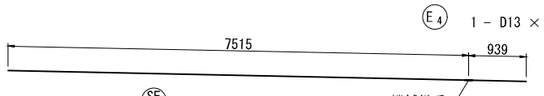
SE2 2 － D13 × 7520

E3 2 － D13 × 940　(平均長)



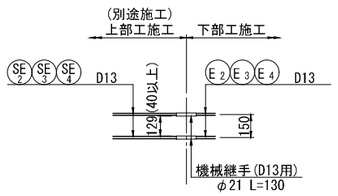
SE3 2 － D13 × 7520　(平均長)

E4 1 － D13 × 940



SE4 1 － D13 × 7520

機械継手部あき詳細図　S=1:20

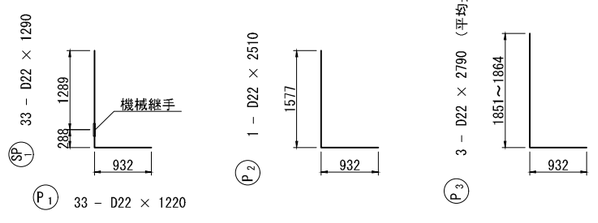


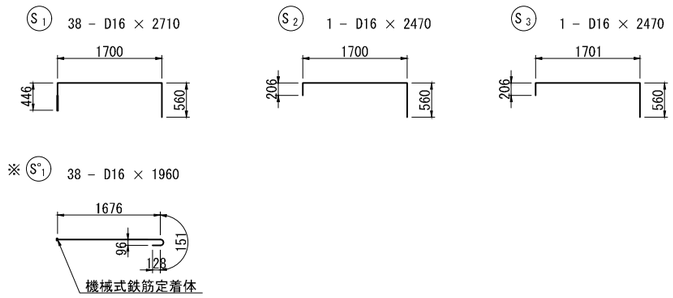
注）上図は最小ピッチの値で作画し、鉄筋のあきを示す。
なお、鉄筋のあきは鉄筋径の1.5倍以上または40mm以上かつ粗骨材の最大寸法の4/3以上を確保する。

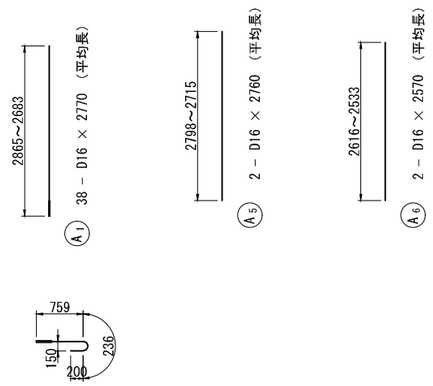
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事
図面名	A1橋台 改築配筋図(その5)
作成年月日	令 和 7 年 11 月　日
縮 尺	図 示
図面番号	17 ／ 64
会社名	株式会社 長 大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

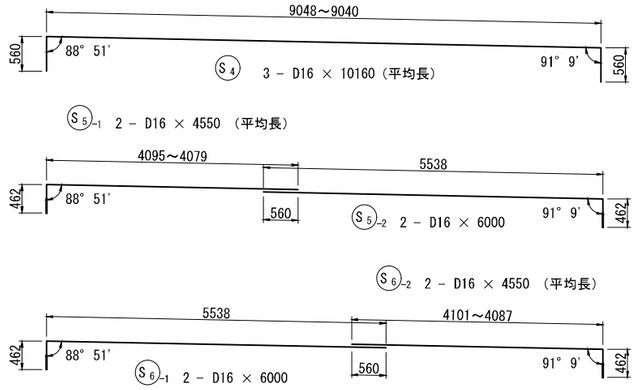
A1橋台 改築配筋図(その6)　S=1:50

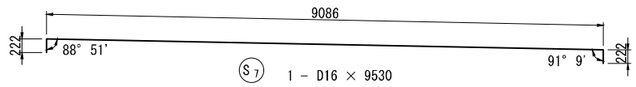


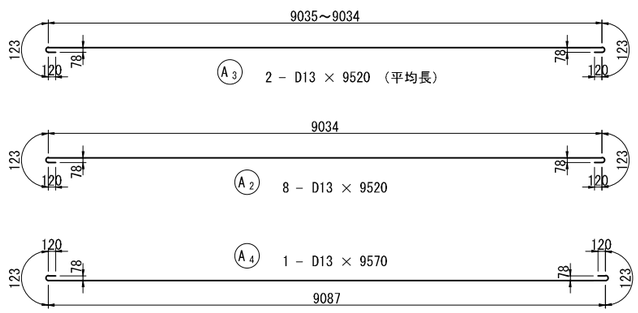


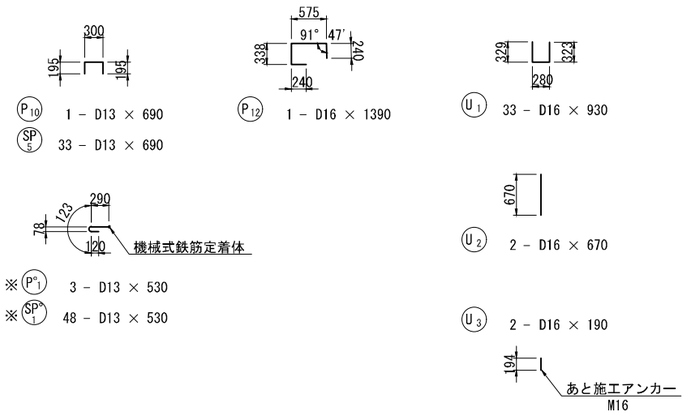












注）1. ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準等を満足すること。
(1) 道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
(2) 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
2. この図面の機械式定着工法は参考図であり製品を指定するものではない。
3. ※印表記の鉄筋長は、採用した機械式鉄筋定着工法に応じて適宜調整すること。
4. 機械継手を使用する鉄筋の鉄筋長は使用する機械継手の製品に応じて適宜調整すること。
5. 既設たて壁やフーチングに設置する樹脂アンカーは、既設鉄筋と干渉しないよう、施工の際は事前調査を行った上、本図と異なる場合には必要に応じて見直しを行うこと。なお、既設鉄筋は切断しないこと。
6. 既設コンクリートの表面は十分な下地処理を行い、新旧コンクリートの一体化を図ること。
7. 鉄筋記号 (S*n)(SPn)(Un) は上部工施工の鉄筋を示す。(別途施工)

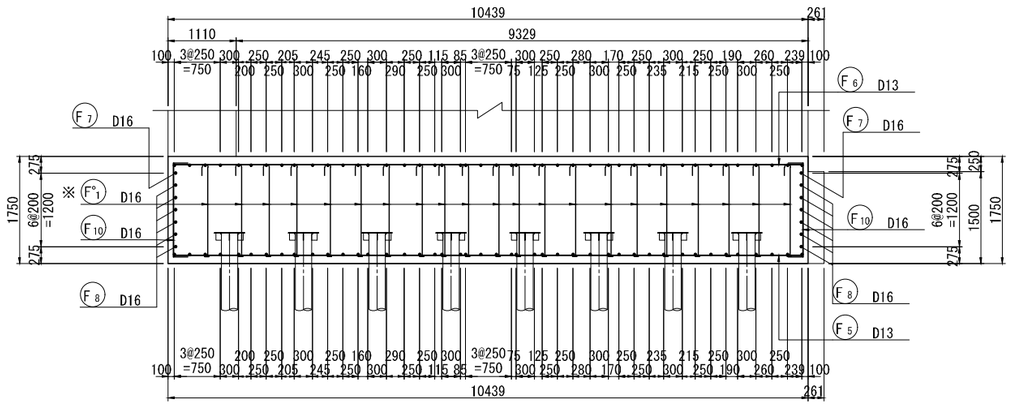
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	A1橋台 改築配筋図(その6)		
作成年月日	令 和 7 年 11 月　日		
縮　尺	1:50	図面番号	18 ／ 64
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

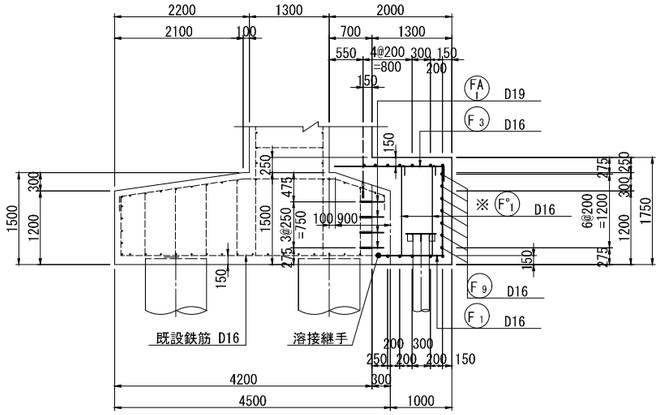
A1橋台 改築配筋図(その7)　S=1:50

増しフーチング(1)

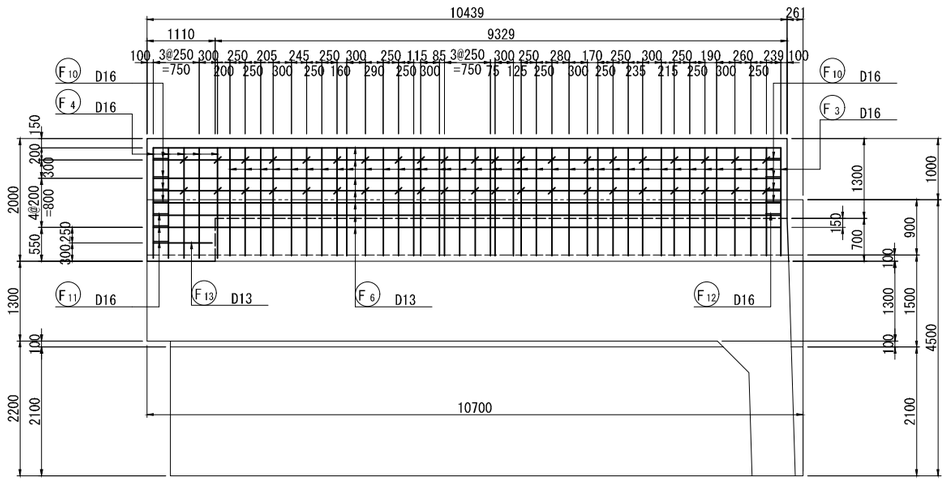
1 － 1



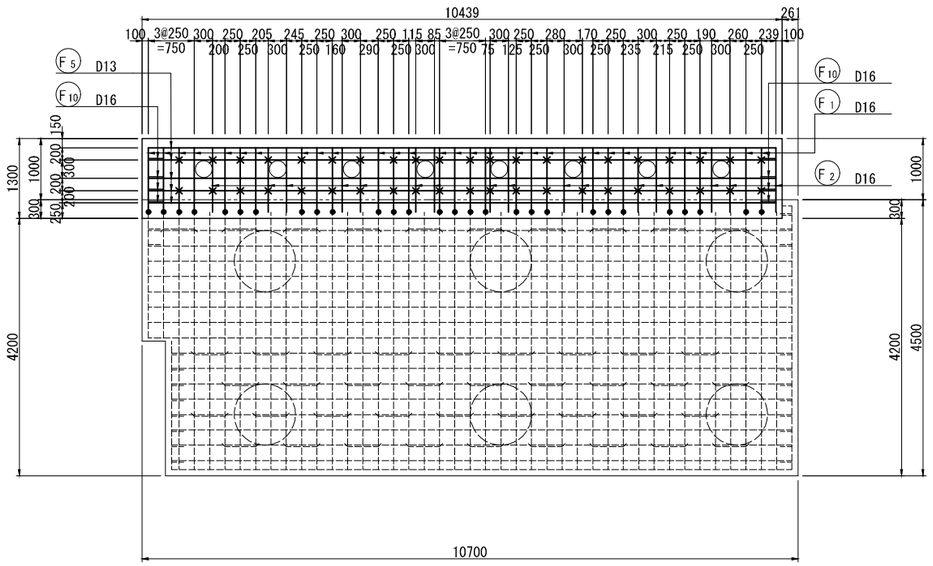
2 － 2



3 － 3



4 － 4

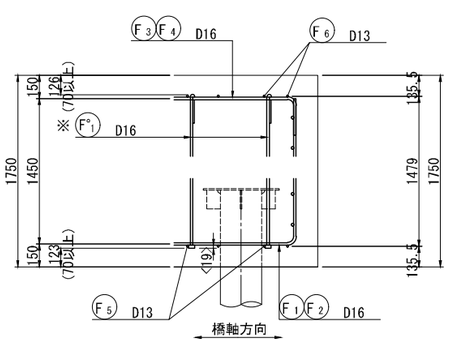


凡例

記号	配置位置
／	半円形フック側
×	定着体側

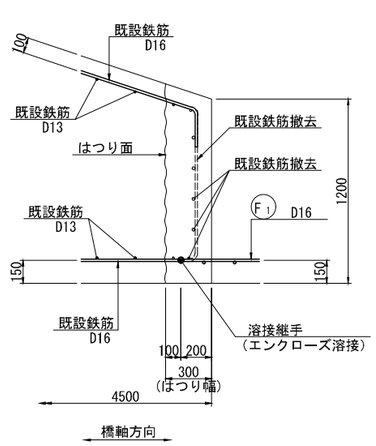
注）1. ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
(1) 道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
(2) 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
2. この図面の機械式定着工法は参考図であり製品を指定するものではない。
3. ※印表記の鉄筋長は、採用した機械式鉄筋定着工法に応じて適宜調整すること。
4. 既設フーチングに設置する樹脂アンカーは、既設鉄筋と干渉しないよう、施工の際は事前調査を行った上、本図と異なる場合には必要に応じて見直しを行うこと。なお、既設鉄筋は切断しないこと。
5. 細破線は、既設の鉄筋配置を示す。
6. 既設コンクリートの表面は十分な下地処理を行い、新旧コンクリートの一体化を図ること。

かぶり詳細図　S=1:20

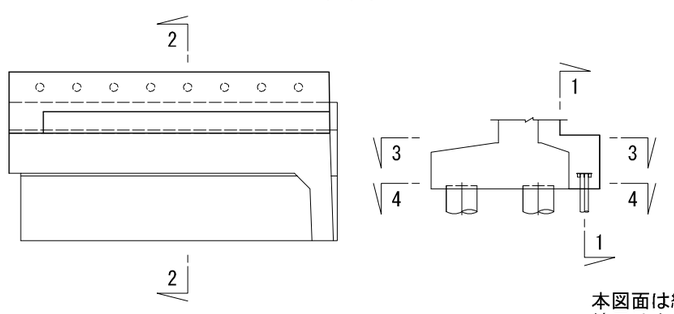


注）1. スターラップ F°1 は上面に半円形フックを配置する。
2. < >内数値は、建設技術審査証明を取得した機械式鉄筋定着工法一覧(土木)の拡径部厚さ(最大値)を示す。
cf. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン

既設底版部鉄筋処理図　S=1:20



マーク図



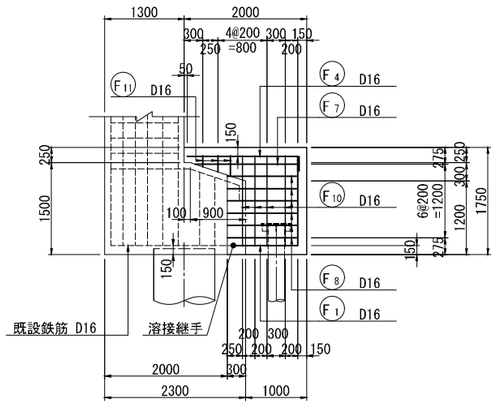
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	A1橋台 改築配筋図(その7)		
作成年月日	令 和 7 年 11 月　日		
縮　尺	図 示	図面番号	19 ／ 64
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

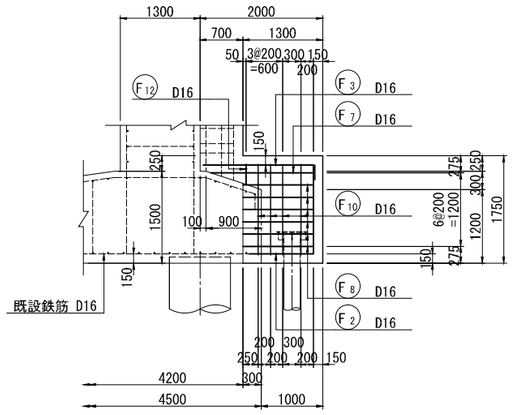
A1橋台 改築配筋図(その8)　S=1:50

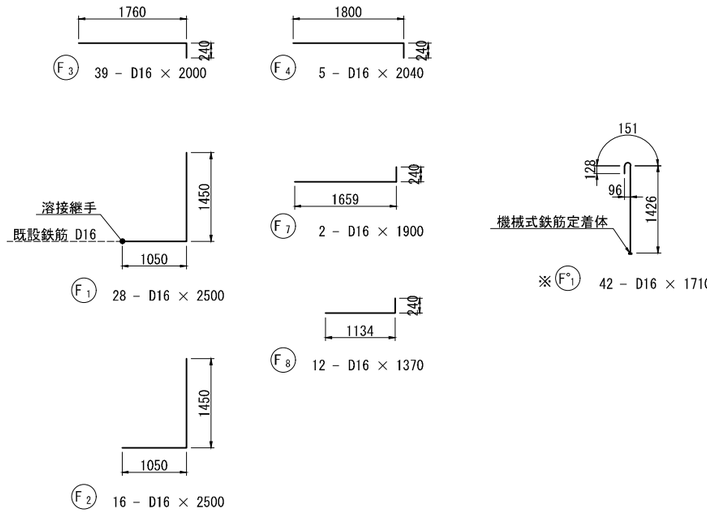
増しフーチング(2)

5 － 5

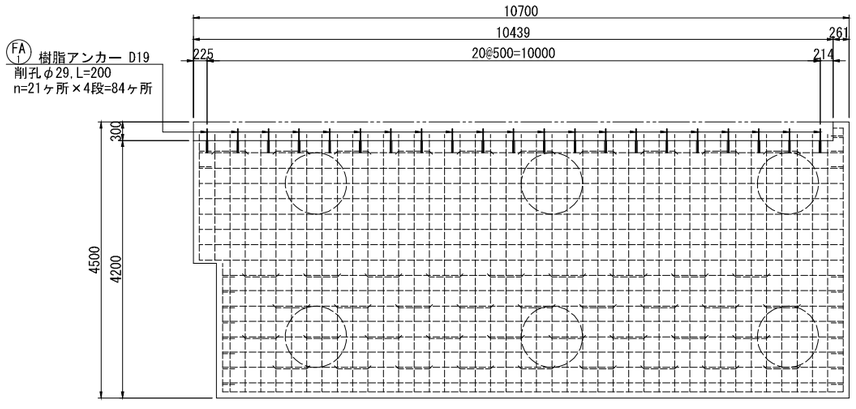


6 － 6

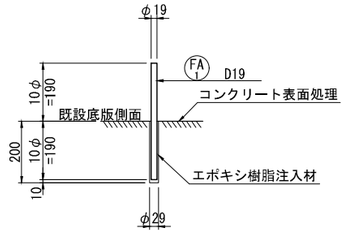


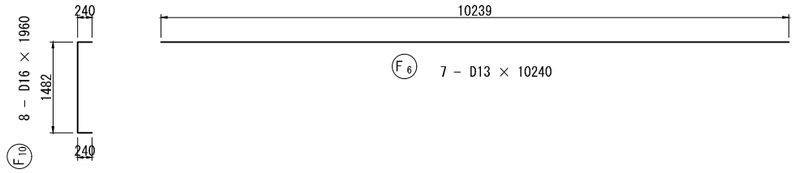


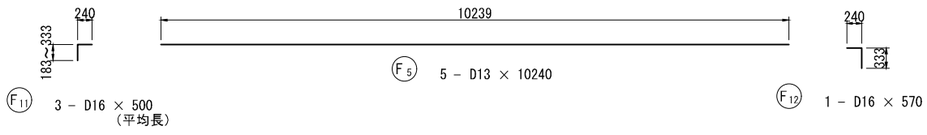
ずれ止めアンカー配置図



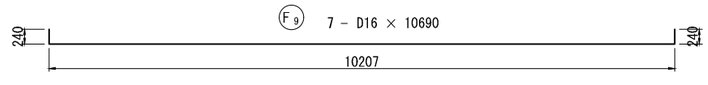
ずれ止めアンカー詳細図　S=1:10

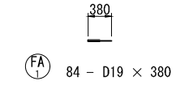




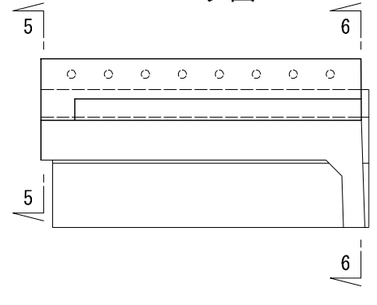








マーク図



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

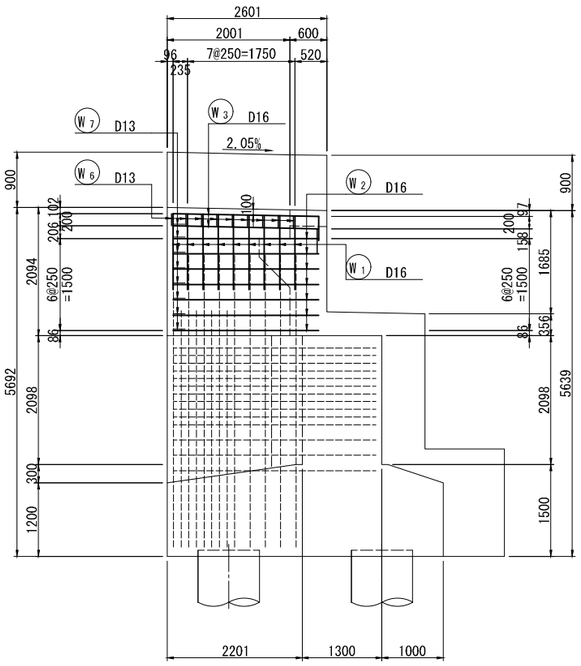
注）1. ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準等を満足すること。
(1) 道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
(2) 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
2. この図面の機械式定着工法は参考図であり製品を指定するものではない。
3. ※印表記の鉄筋長は、採用した機械式鉄筋定着工法に応じて適宜調整すること。
4. 既設フーチングに設置する樹脂アンカーは、既設鉄筋と干渉しないよう、施工の際は事前調査を行った上、本図と異なる場合には必要に応じて見直しを行うこと。なお、既設鉄筋は切断しないこと。
5. 細破線は、既設の鉄筋配置を示す。
6. 既設コンクリートの表面は十分な下地処理を行い、新旧コンクリートの一体化を図ること。

工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	A1橋台 改築配筋図(その8)		
作成年月日	令 和 7 年 11 月　日		
縮　尺	図 示	図面番号	20 ／ 64
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

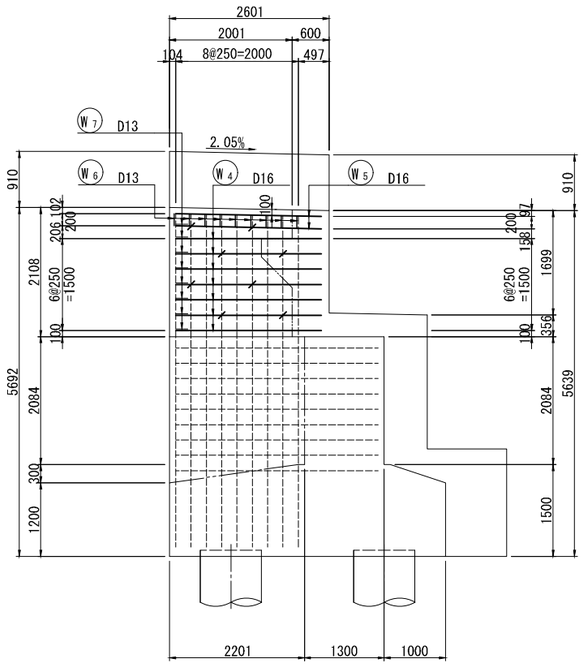
A1橋台 改築配筋図(その9) S=1:50

ウイング

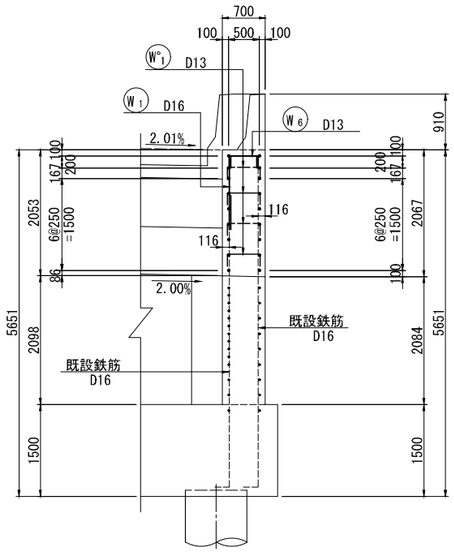
1 － 1



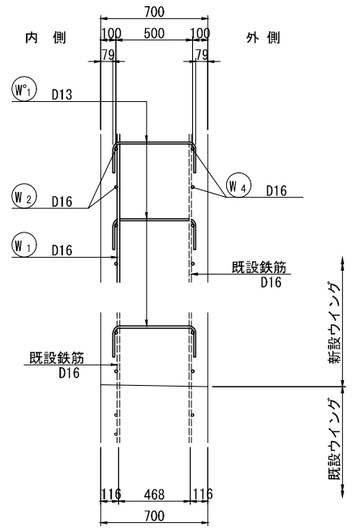
2 － 2



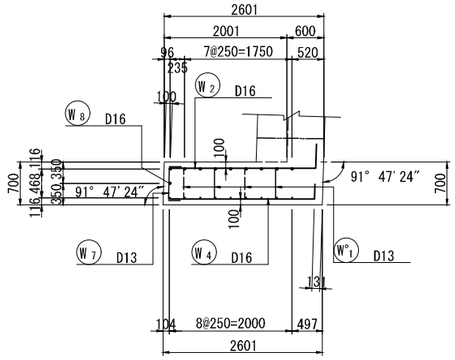
3 － 3

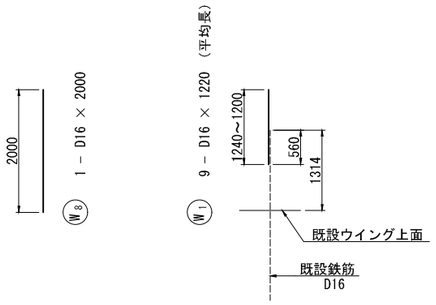


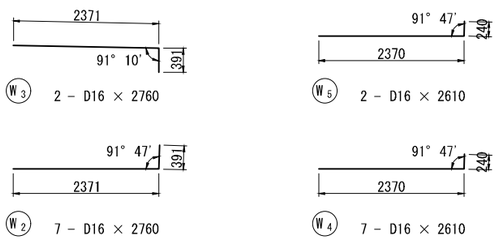
かぶり詳細図 S=1:20

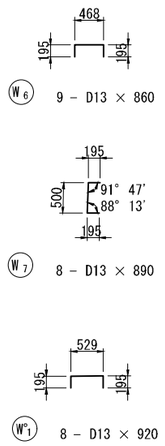


4 － 4

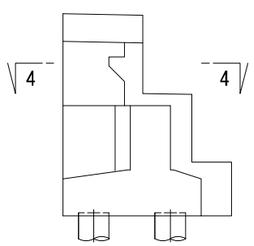


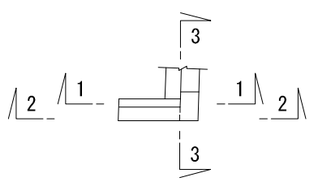






マーク図





注）1. 細破線は、既設の鉄筋配置を示す。
施工の際は事前調査を行った上、本図と異なる場合には必要に応じて見直しを行うこと。

2. 既設コンクリートの表面は十分な下地処理を行い、新旧コンクリートの一体化を図ること。

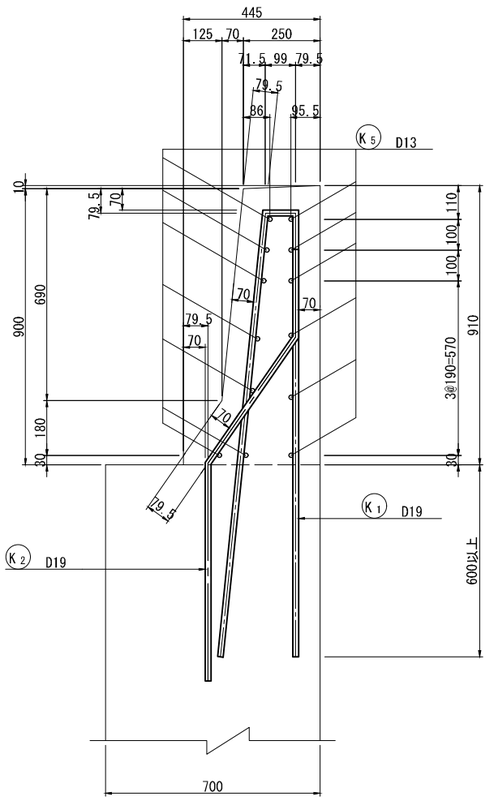
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	A1橋台 改築配筋図(その9)		
作成年月日	令 和 7 年 11 月 日		
縮 尺	図 示	図面番号	21 ／ 64
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

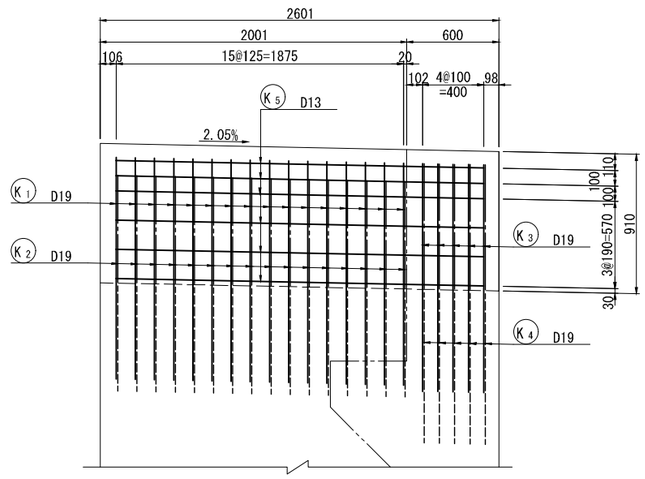
A1橋台 改築配筋図(その10)　S=1:20

壁高欄

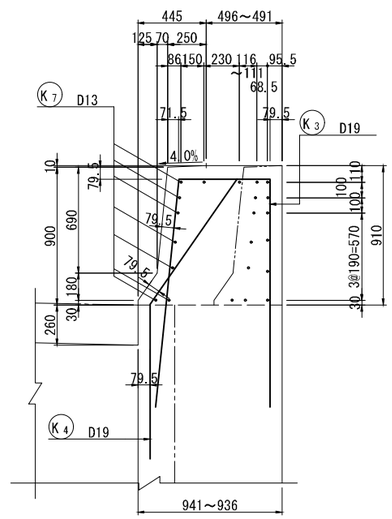
断 面 図　S=1:10



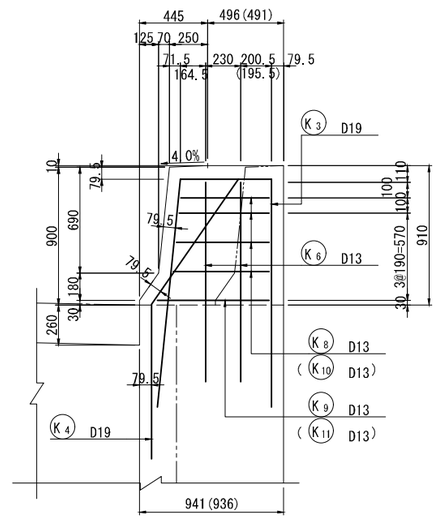
1 － 1



2 － 2

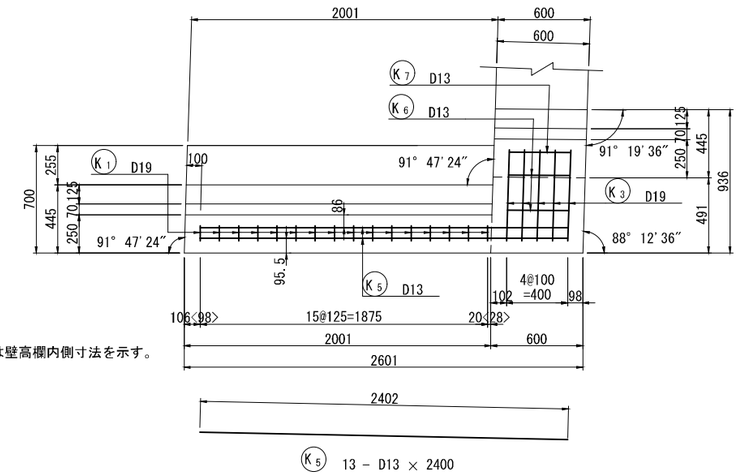


3 － 3



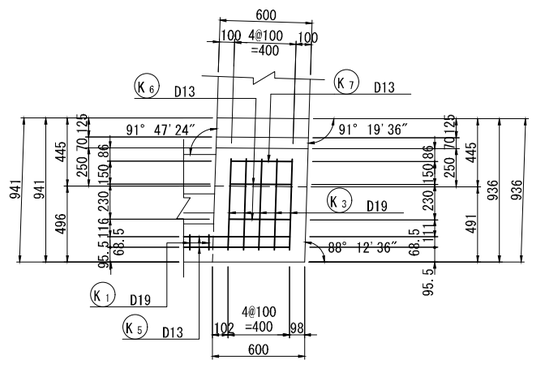
注）（ ）内はパラペット前面側を示す。

平 面 図



注）〈 〉内は壁高欄内側寸法を示す。

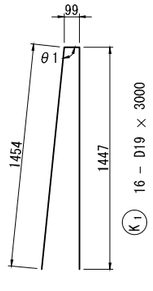
パラペット部

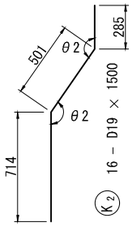


K5　13 － D13 × 2400

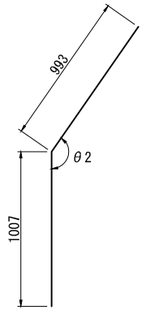
K3　5 － D19 × 3570 （平均長）

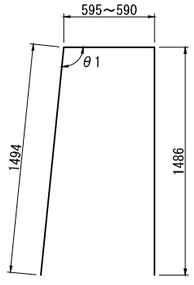
K6　2 － D13 × 3000

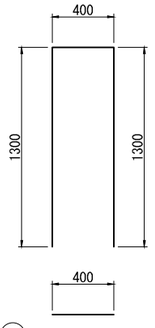


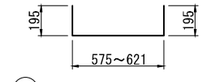


θ1= 95° 48′
θ2=145° 13′

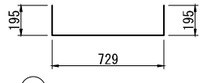




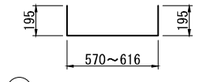




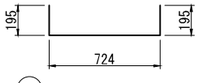
K8　4 － D13 × 990 （平均長）



K9　1 － D13 × 1120

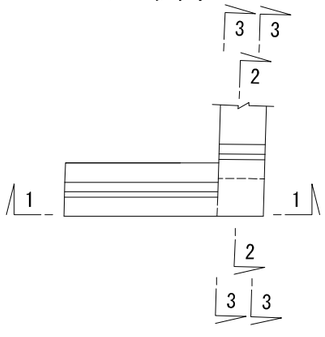


K10　4 － D13 × 980 （平均長）



K11　1 － D13 × 1110

マーク図



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	A1橋台 改築配筋図(その10)		
作成年月日	令 和 7 年 11 月　日		
縮　尺	図 示	図面番号	22 ／ 64
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

A1橋台 改築配筋図(その11)

鉄筋質量表 (下部工施工)

	符号		径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
	P	1	D22	1220	33	3.04	3.71	122	【33】
		2	〃	2510	1	〃	7.63	8	
		3	〃	2790	3	〃	8.48	25	〃 (平均長)
		4	〃	720	33	〃	2.19	72	〈33〉 【33】
		5	〃	2010	1	〃	6.11	6	〃 〈1〉
		6	〃	2280	4	〃	6.93	28	〃 〈4〉 (平均長)
		7	D16	9390	2	1.56	14.65	29	
		8	〃	1230	7	〃	1.92	13	【7】
		9	〃	930	7	〃	1.45	10	【7】
		10	D13	690	1	0.995	0.69	1	
		11	〃	930	1	〃	0.93	1	【1】
		12	D16	1390	1	1.56	2.17	2	
								317 kg	
※	P°	1	D13	530	3	0.995	0.53	2	(3)
								2 kg	
	E	1	D16	2450	2	1.56	3.82	8	
		2	D13	940	2	0.995	0.94	2	【2】
		3	〃	940	2	〃	0.94	2	〃 【2】 (平均長)
		4	〃	940	1	〃	0.94	1	〃 【1】
								13 kg	
	A	1	D16	2770	38	1.56	4.32	164	〈38〉 (平均長)
		2	D13	9520	8	0.995	9.47	76	
		3	〃	9520	2	〃	9.47	19	〃 (平均長)
		4	〃	9570	1	〃	9.52	10	
		5	D16	2760	2	1.56	4.31	9	(平均長)
		6	〃	2570	2	〃	4.01	8	〃 (平均長)
		7	D13	760	10	0.995	0.76	8	
		8	〃	760	9	〃	0.76	7	
								301 kg	
	B	1	D25	1200	54	3.98	4.78	258	〈54〉
								258 kg	
	S	1	D16	2710	38	1.56	4.23	161	〈38〉
		2	〃	2470	1	〃	3.85	4	
		3	〃	2470	1	〃	3.85	4	〃
		4	〃	10160	3	〃	15.85	48	(平均長)
		5-1	〃	4550	2	〃	7.10	14	〈2〉 (平均長)
		5-2	〃	6000	2	〃	9.36	19	〈2〉
		6-1	〃	6000	2	〃	9.36	19	〈2〉
		6-2	〃	4550	2	〃	7.10	14	〈2〉 (平均長)
		7	〃	9530	1	〃	14.87	15	
								298 kg	
※	S°	1	D16	1960	38	1.56	3.06	116	(38)
								116 kg	
	HA	1	D16	2390	14	1.56	3.73	52	〈14〉 (平均長)
		2-1	〃	1080	2	〃	1.68	3	≪2≫〈2〉 (平均長)
		2-2	〃	2320	2	〃	3.62	7	〈2〉 (平均長)
		3-1	〃	2280	1	〃	3.56	4	≪1≫〈1〉 (平均長)
		3-2	〃	1110	1	〃	1.73	2	〈1〉 (平均長)
		4	〃	3190	3	〃	4.98	15	
		5	〃	2730	1	〃	4.26	4	〃
		6	〃	3350	2	〃	5.23	10	
								97 kg	
	HB	1	D16	2390	13	1.56	3.73	48	〈13〉 (平均長)
		2-1	〃	1080	2	〃	1.68	3	≪2≫〈2〉 (平均長)
		2-2	〃	2310	2	〃	3.60	7	〈2〉 (平均長)
		3-1	〃	2270	1	〃	3.54	4	≪1≫〈1〉 (平均長)
		3-2	〃	1110	1	〃	1.73	2	〈1〉 (平均長)
		4	〃	3180	3	〃	4.96	15	
		5	〃	2720	1	〃	4.24	4	〃
		6	〃	3340	2	〃	5.21	10	
								93 kg	

	符号		径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
	F	1	D16	2500	28	1.56	3.90	109	[28]
		2	〃	2500	16	〃	3.90	62	
		3	〃	2000	39	〃	3.12	122	
		4	〃	2040	5	〃	3.18	16	〃
		5	D13	10240	5	0.995	10.19	51	
		6	〃	10240	7	〃	10.19	71	〃
		7	D16	1900	2	1.56	2.96	6	
		8	〃	1370	12	〃	2.14	26	〃
		9	〃	10690	7	〃	16.68	117	
		10	〃	1960	8	〃	3.06	24	
		11	〃	500	3	〃	0.78	2	(平均長)
		12	〃	570	1	〃	0.89	1	
		13	D13	960	1	0.995	0.96	1	
								608 kg	
※	F°	1	D16	1710	42	1.56	2.67	112	(42)
								112 kg	
	FA	1	D19	380	84	2.25	0.86	72	〈84〉
								72 kg	
	W	1	D16	1220	9	1.56	1.90	17	(平均長)
		2	〃	2760	7	〃	4.31	30	
		3	〃	2760	2	〃	4.31	9	
		4	〃	2610	7	〃	4.07	28	
		5	〃	2610	2	〃	4.07	8	〃
		6	D13	860	9	0.995	0.86	8	
		7	〃	890	8	〃	0.89	7	
		8	D16	2000	1	1.56	3.12	3	
								110 kg	
	W°	1	D13	920	8	0.995	0.92	7	
								7 kg	
	K	1	D19	3000	16	2.25	6.75	108	
		2	〃	1500	16	〃	3.38	54	
		3	〃	3570	5	〃	8.03	40	(平均長)
		4	〃	2000	5	〃	4.50	23	
		5	D13	2400	13	0.995	2.39	31	
		6	〃	3000	2	〃	2.99	6	
		7	〃	400	7	〃	0.40	3	
		8	〃	990	4	〃	0.99	4	(平均長)
		9	〃	1120	1	〃	1.11	1	〃
		10	〃	980	4	〃	0.98	4	〃 (平均長)
		11	〃	1110	1	〃	1.10	1	〃
								275 kg	

下部工施工 鉄筋質量合計

			機械継手	機械式鉄筋定着	エンクローズ溶接	フレアー溶接	樹脂アンカー
D25	258	kg					〈54〉
D22	261	〃	【66】				〈38〉
D19	297	〃					〈84〉
D16	1539	〃	【14】	(80)	[28]	≪6≫	〈123〉
D13	324	〃	【6】	(3)			
合 計	2679	kg	【86】	(83)	[28]	≪6≫	〈299〉

注) 【 】は機械継手、( )は機械式鉄筋定着、[ ]はエンクローズ溶接、
≪≫はフレアー溶接、〈 〉は樹脂アンカーの箇所数を示す。

鉄筋質量表 (上部工施工)(別途施工)

	符号		径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
	SP	1	D22	1290	33	3.04	3.92	129	
		2	〃	1290	33	〃	3.92	129	〃
		3	D16	8160	7	1.56	12.73	89	
		4	〃	8150	7	〃	12.71	89	〃
		5	D13	690	33	0.995	0.69	23	
		6	〃	8160	1	〃	8.12	8	
								467 kg	
※	SP°	1	D13	530	48	0.995	0.53	25	(48)
								25 kg	
	U	1	D16	930	33	1.56	1.45	48	
		2	〃	670	2	〃	1.05	2	
		3	〃	190	2	〃	0.30	1	〔2〕
								51 kg	
	SE	1	D16	2450	31	1.56	3.82	118	
		2	D13	7520	2	0.995	7.48	15	
		3	〃	7520	2	〃	7.48	15	〃 (平均長)
		4	〃	7520	1	〃	7.48	7	〃
		5	D22	500	15	3.04	1.52	23	
		6	D13	830	1	0.995	0.83	1	
		7	〃	1270	1	〃	1.26	1	
		8	〃	1090	1	〃	1.08	1	〃
								181 kg	
	SD	1	D16	700	3	1.56	1.09	3	〈3〉
		2	〃	610	3	〃	0.95	3	〈3〉
		3	D13	900	2	0.995	0.90	2	
		4	〃	1000	1	〃	1.00	1	
								9 kg	

上部工施工 鉄筋質量合計

			機械式鉄筋定着	樹脂アンカー	あと施工アンカー
D22	281	kg			
D16	353	〃		〈6〉	〔2〕
D13	99	〃	(48)		
合 計	733	kg			

注) ( )は機械式鉄筋定着、〈 〉は樹脂アンカー、〔 〕はあと施工アンカーの
箇所数を示す。

機械式鉄筋定着工法数量表 (下部工施工)

鉄筋径	箇所数					
	0<L≦1m	1m<L≦2m	2m<L≦3m	3m<L≦4m	4m<L≦5m	5m<L≦6m
D25	—	—	—	—	—	—
D22	—	—	—	—	—	—
D19	—	—	—	—	—	—
D16	—	80	—	—	—	—
D13	3	—	—	—	—	—
小 計	3	80	—	—	—	—
合 計	83					

機械式鉄筋定着工法数量表 (上部工施工)(別途施工)

鉄筋径	箇所数					
	0<L≦1m	1m<L≦2m	2m<L≦3m	3m<L≦4m	4m<L≦5m	5m<L≦6m
D25	—	—	—	—	—	—
D22	—	—	—	—	—	—
D19	—	—	—	—	—	—
D16	—	—	—	—	—	—
D13	48	—	—	—	—	—
小 計	48	—	—	—	—	—
合 計	48					

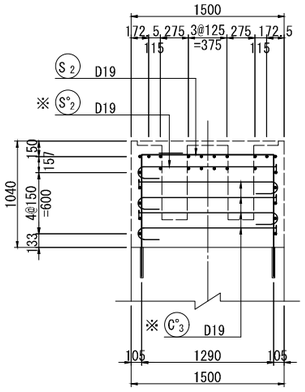
注) 1. ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準等を満足すること。
(1) 道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
(2) 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体
と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
2. この図面の機械式定着工法は参考図であり製品を指定
するものではない。
3. ※印表記の鉄筋長は、採用した機械式鉄筋定着工法に
応じて適宜調整すること。
3. 機械継手を使用する鉄筋の鉄筋長は使用する機械継手
の製品に応じて適宜調整すること。
4. 既設コンクリートの表面は十分な下地処理を行い、
新旧コンクリートの一体化を図ること。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

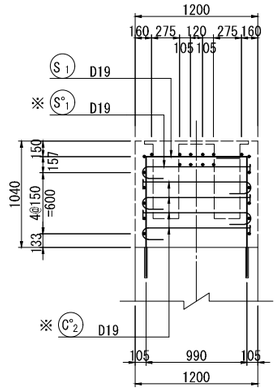
工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	A1橋台 改築配筋図(その11)		
作成年月日	令 和 7 年 11 月 日		
縮 尺	——	図面番号	23 ／ 64
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

P1橋脚 改築配筋図 S=1:30

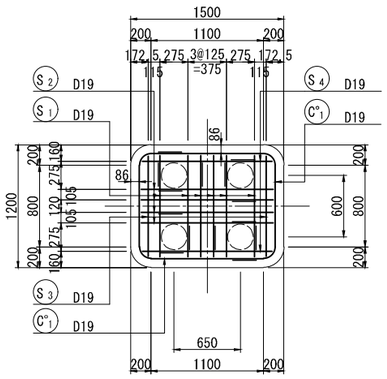
1 － 1



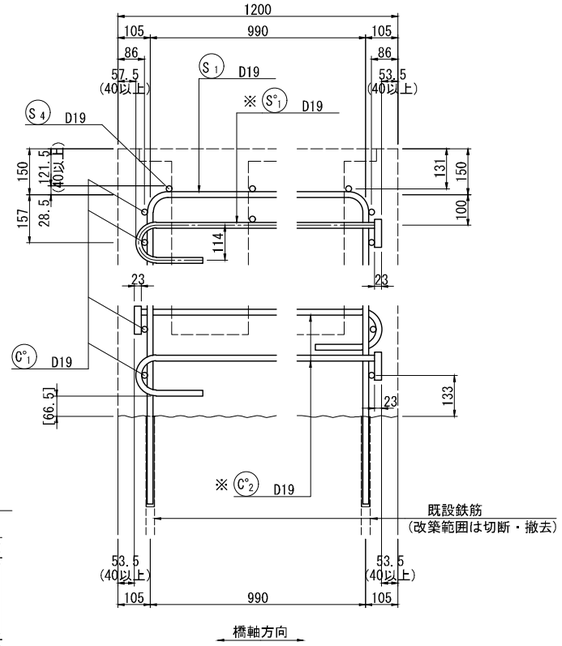
3 － 3



5 － 5



かぶり詳細図 S=1:10



注）1. 水平補強鉄筋は半円形フックを千鳥に配置する。
2. ＜ ＞内数値は、建設技術審査証明を取得した機械式鉄筋定着工法一覧(土木)の拡径部厚さ(最大値)を示す。
cf. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
3. [ ]内寸法は鉄筋のあきを示し、鉄筋径の1.5倍以上または40mm以上かつ粗骨材の最大寸法の4/3以上を確保した。

鉄筋質量表

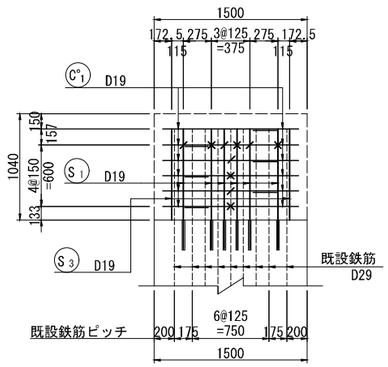
符号		径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
S	1-1	D19	2100	12	2.25	4.73	57	≪12≫ ＜12＞
	1-2	〃	1480	12	〃	3.33	40	＜12＞
	2-1	〃	2310	8	〃	5.20	42	≪8≫ ＜8＞
	2-2	〃	1590	8	〃	3.58	29	＜8＞
	3	〃	2760	4	〃	6.21	25	
	4-1	〃	1590	4	〃	3.58	14	≪4≫ ＜4＞
	4-2	〃	2290	4	〃	5.15	21	＜4＞
							228 kg	
※	S° 1	D19	1330	12	2.25	2.99	36	(12)
※	2	〃	1630	8	〃	3.67	29	(8)
							65 kg	
	C° 1	D19	2490	24	2.25	5.60	134	≪24≫
※	2	〃	1330	8	〃	2.99	24	(8)
※	3	〃	1630	8	〃	3.67	29	(8)
							187 kg	
						機械式鉄筋定着	フレアー溶接	樹脂アンカー
	合 計	D19		480 kg		(36)	≪48≫	＜48＞

注）（ ）は機械式鉄筋定着、≪ ≫はフレアー溶接、＜ ＞は樹脂アンカーの箇所数を示す。

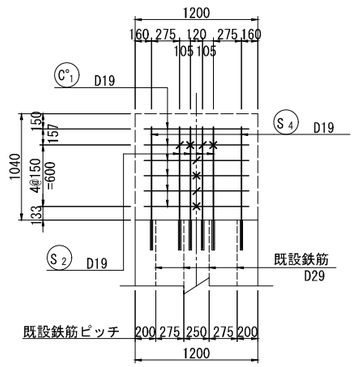
機械式鉄筋定着工法数量表

鉄筋径	箇所数					
	0＜L≦1m	1m＜L≦2m	2m＜L≦3m	3m＜L≦4m	4m＜L≦5m	5m＜L≦6m
D25	—	—	—	—	—	—
D22	—	—	—	—	—	—
D19	—	36	—	—	—	—
D16	—	—	—	—	—	—
D13	—	—	—	—	—	—
小 計	—	36	—	—	—	—
合 計	36					

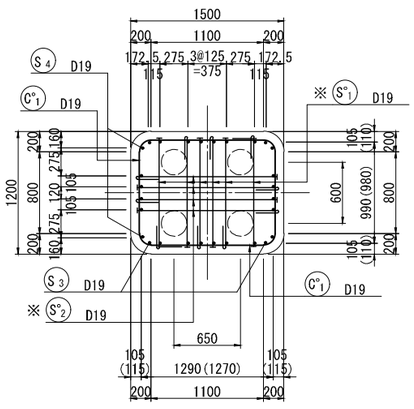
2 － 2



4 － 4



6 － 6

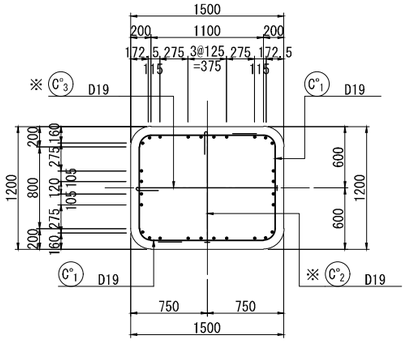


注）（ ）内寸法は S3 S4 鉄筋を示す。

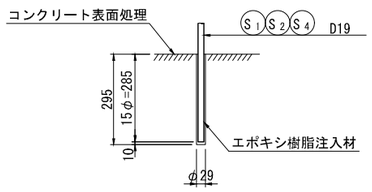
凡例

記号	配置位置
ノ	半円形フック側
×	定着体側

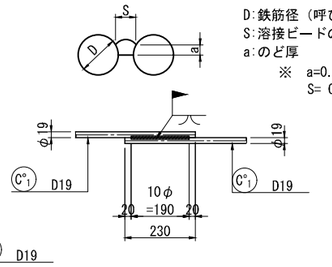
7 － 7



樹脂アンカー詳細図 S=1:10

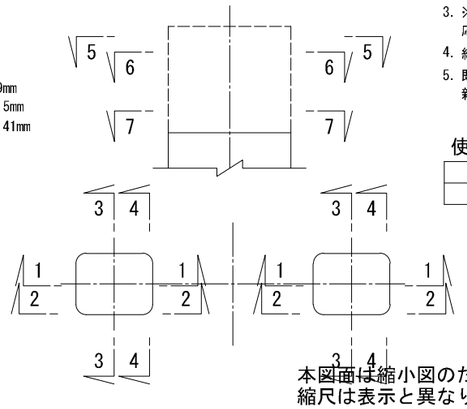


フレアー溶接詳細図 S=1:10



D:鉄筋径（呼び径） 19mm
S:溶接ビードの幅 9.5mm
a:のど厚 4.41mm
※ a=0.39D-3
S= 0.5D

マーク図

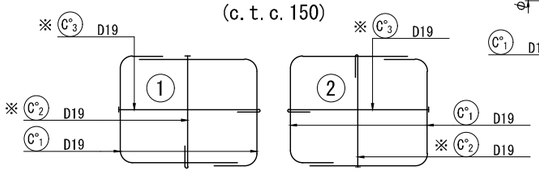


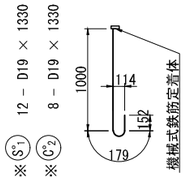
使用材料一覧表

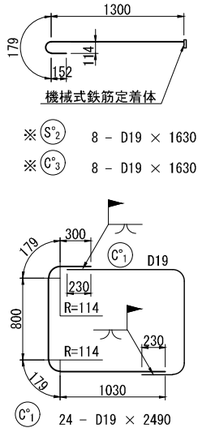
	コンクリート	鉄 筋
橋 座	σck = 24 N/mm²	SD345

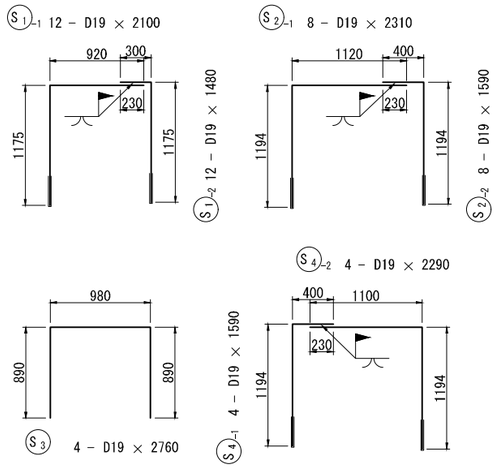
注）1. ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
(1) 道路標示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
(2) 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
2. この図面の機械式定着工法は参考図であり製品を指定するものではない。
3. ※印表記の鉄筋長は、採用した機械式鉄筋定着工法に応じて適宜調整すること。
4. 細破線は、既設の鉄筋配置を示す。
5. 既設コンクリートの表面は十分な下地処理を行い、新旧コンクリートの一体化を図ること。

帯鉄筋組立図 (c.t.c.150)







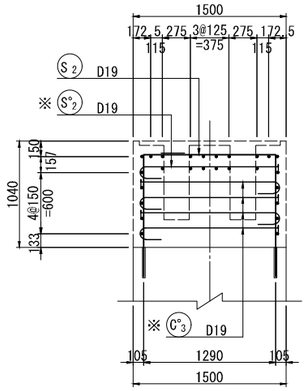


本図面は縮小図のため縮尺は表示と異なります

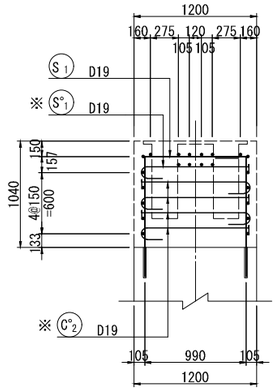
工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事
図面名	P1橋脚 改築配筋図
作成年月日	令 和 7 年 11 月 日
縮 尺	図 示
図面番号	24 ／ 64
会社名	株式会社 長 大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

P2橋脚 改築配筋図 S=1:30

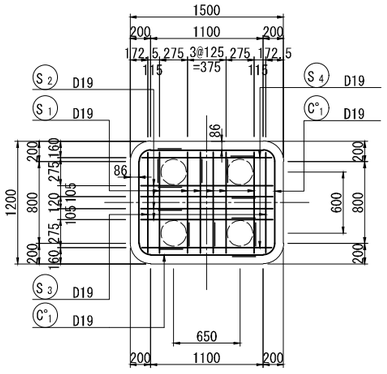
1 － 1



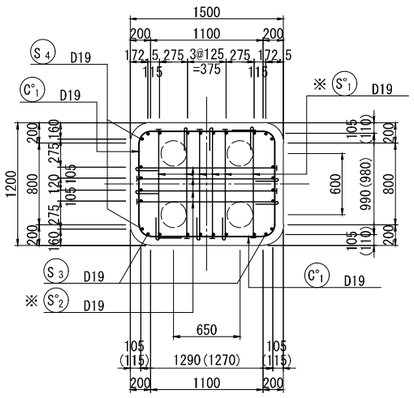
3 － 3



5 － 5

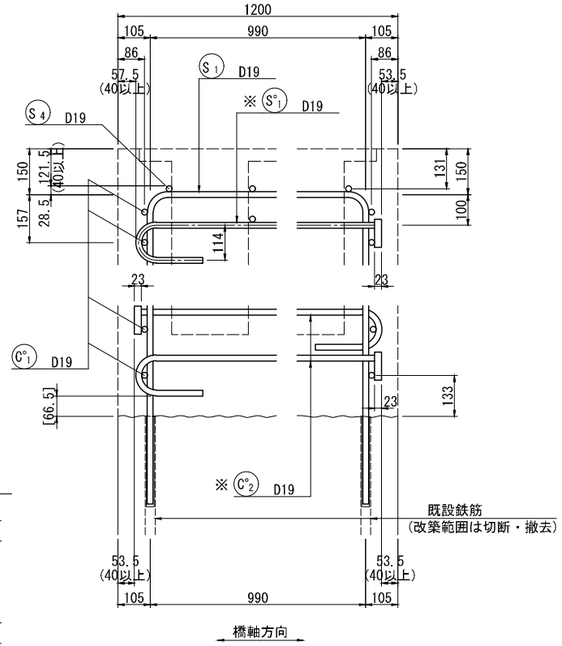


6 － 6



注）（ ）内寸法は S3 S4 鉄筋を示す。

かぶり詳細図 S=1:10



注）1. 水平補強鉄筋は半円形フックを千鳥に配置する。
2. < >内数値は、建設技術審査証明を取得した機械式鉄筋定着工法一覧（土木）の拡径部厚さ（最大値）を示す。
cf. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
3. [ ]内寸法は鉄筋のあきを示し、鉄筋径の1.5倍以上または40mm以上かつ粗骨材の最大寸法の4/3以上を確保した。

鉄筋質量表

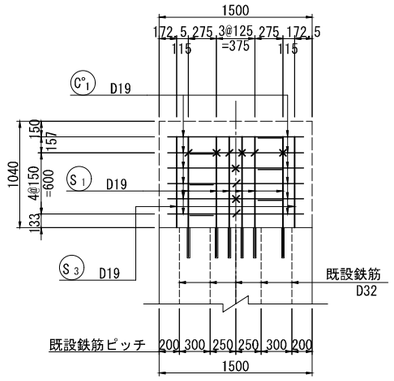
符号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
S 1-1	D19	2100	12	2.25	4.73	57	≪12≫ <12>
1-2	〃	1480	12	〃	3.33	40	<12>
2-1	〃	2310	8	〃	5.20	42	≪8≫ <8>
2-2	〃	1590	8	〃	3.58	29	<8>
3	〃	2760	4	〃	6.21	25	
4-1	〃	1590	4	〃	3.58	14	≪4≫ <4>
4-2	〃	2290	4	〃	5.15	21	<4>
						228 kg	
※ S° 1	D19	1330	12	2.25	2.99	36	(12)
※ 2	〃	1630	8	〃	3.67	29	(8)
						65 kg	
C° 1	D19	2490	24	2.25	5.60	134	≪24>
※ 2	〃	1330	8	〃	2.99	24	(8)
※ 3	〃	1630	8	〃	3.67	29	(8)
						187 kg	
				機械式鉄筋定着	フレアー溶接	樹脂アンカー	
合 計	D19	480 kg		(36)	≪48≫	<48>	

注）（ ）は機械式鉄筋定着、≪ ≫はフレアー溶接、< >は樹脂アンカーの箇所数を示す。

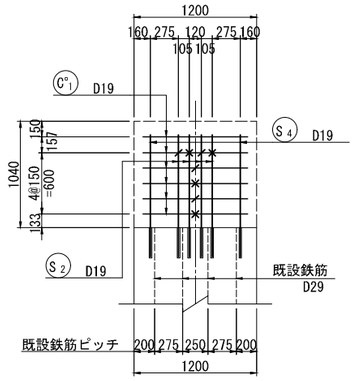
機械式鉄筋定着工法数量表

鉄筋径	箇所数					
	0<L≦1m	1m<L≦2m	2m<L≦3m	3m<L≦4m	4m<L≦5m	5m<L≦6m
D25	—	—	—	—	—	—
D22	—	—	—	—	—	—
D19	—	36	—	—	—	—
D16	—	—	—	—	—	—
D13	—	—	—	—	—	—
小 計	—	36	—	—	—	—
合 計	36					

2 － 2



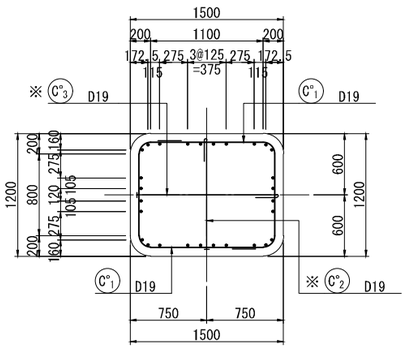
4 － 4



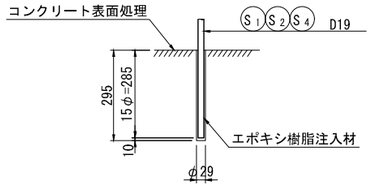
凡例

記号	配置位置
／	半円形フック側
×	定着体側

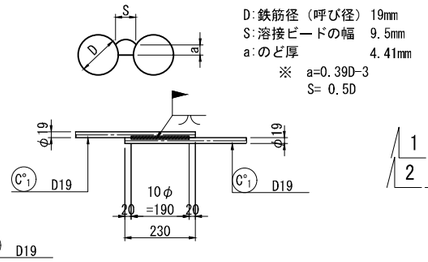
7 － 7



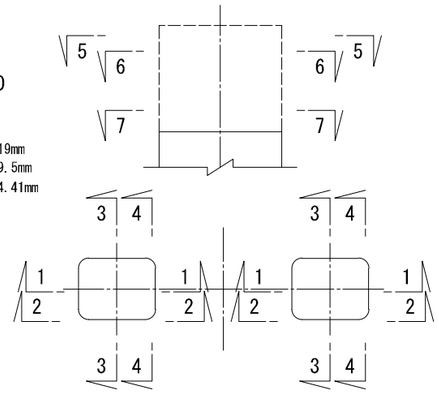
樹脂アンカー詳細図 S=1:10



フレアー溶接詳細図 S=1:10



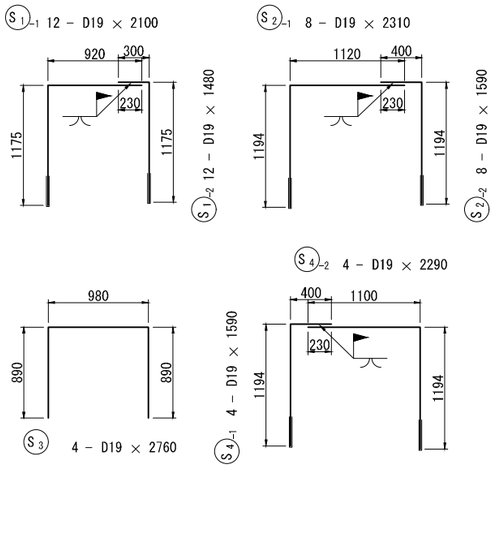
マーク図

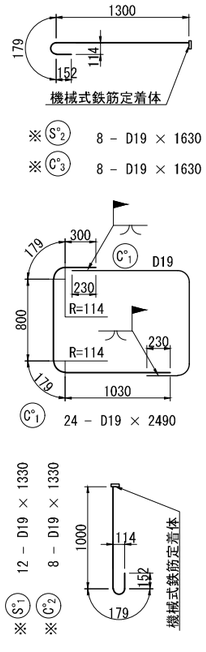


使用材料一覧表

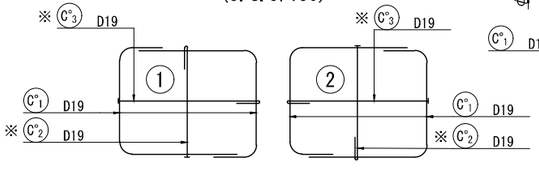
	コンクリート	鉄 筋
橋 座	σck = 24 N/mm²	SD345

注）1. ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
(1) 道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
(2) 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
2. この図面の機械式定着工法は参考図であり製品を指定するものではない。
3. ※印表記の鉄筋長は、採用した機械式鉄筋定着工法に応じて適宜調整すること。
4. 細破線は、既設の鉄筋配置を示す。
5. 既設コンクリートの表面は十分な下地処理を行い、新旧コンクリートの一体化を図ること。





帯鉄筋組立図 (c.t.c.150)

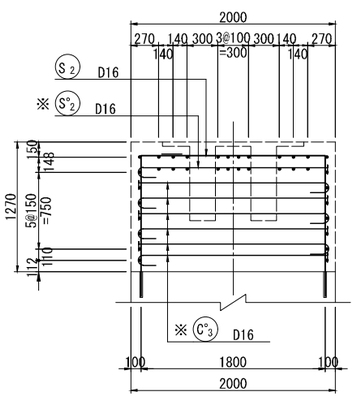


本図面は縮小図のため縮尺は表示と異なります

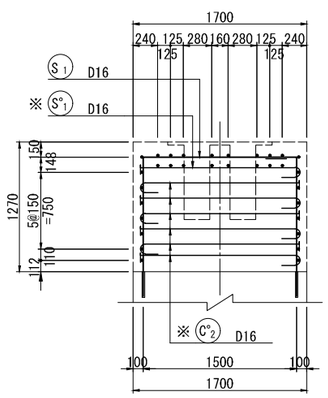
工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事
図面名	P2橋脚 改築配筋図
作成年月日	令 和 7 年 11 月 日
縮 尺	図 示
図面番号	25 ／ 64
会社名	株式会社 長 大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

P3橋脚 改築配筋図 S=1:30

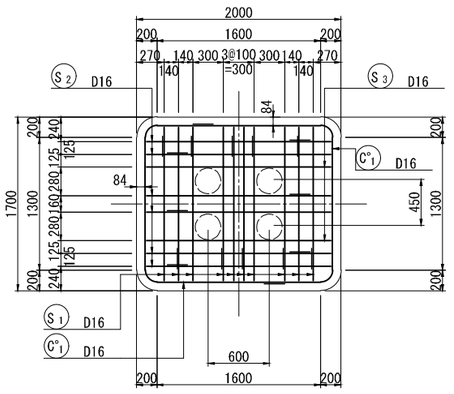
1 － 1



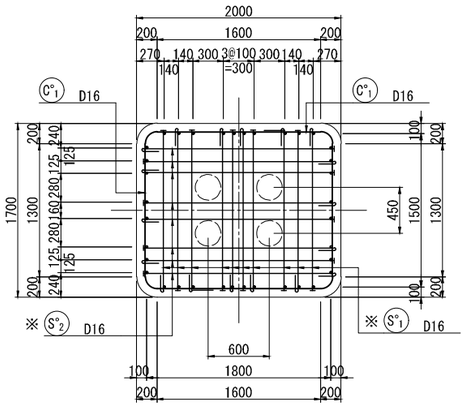
3 － 3



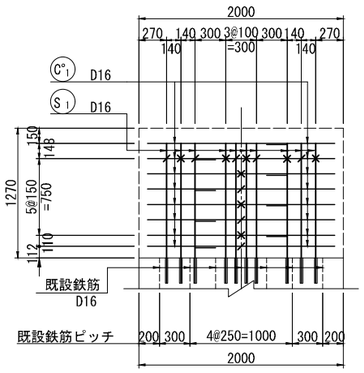
5 － 5



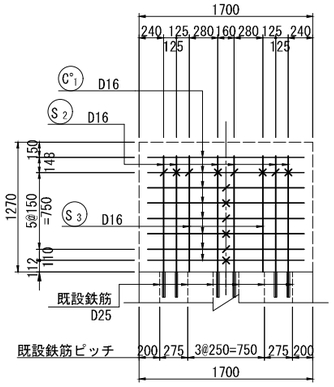
6 － 6



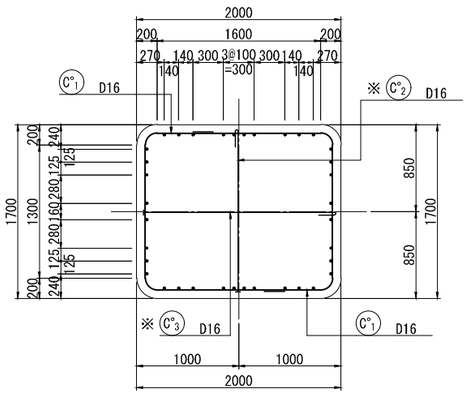
2 － 2



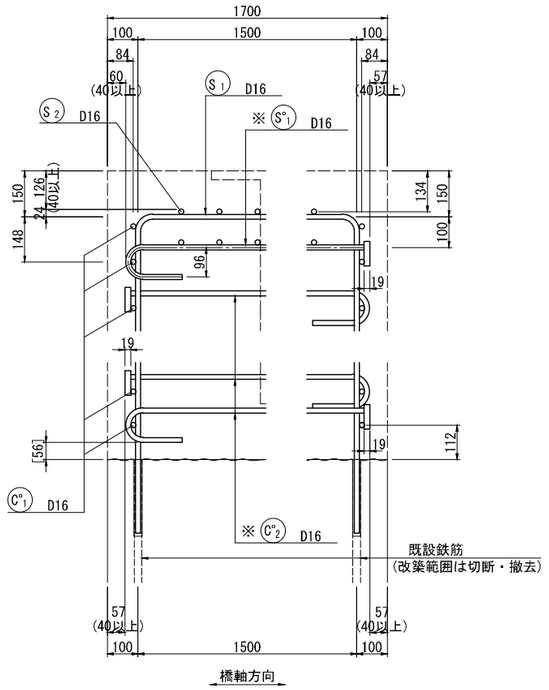
4 － 4



7 － 7



かぶり詳細図 S=1:10



注）1. 水平補強鉄筋は半円形フックを千鳥に配置する。
2. 〈 〉内数値は、建設技術審査証明を取得した機械式鉄筋定着工法一覧(土木)の拡径部厚さ(最大値)を示す。
cf. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
3. [ ]内寸法は鉄筋のあきを示し、鉄筋径の1.5倍以上または40mm以上かつ粗骨材の最大寸法の4/3以上を確保した。

鉄筋質量表

	符号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
	S 1-1	D16	2760	20	1.56	4.31	86	≪20≫ 〈20〉
	1-2	〃	1660	20	〃	2.59	52	〈20〉
	2-1	〃	1780	12	〃	2.78	33	≪12≫ 〈12〉
	2-2	〃	2980	12	〃	4.65	56	〈12〉
	3	〃	4070	4	〃	6.35	25	
							252 kg	
※	S° 1	D16	1790	20	1.56	2.79	56	(20)
※	2	〃	2090	16	〃	3.26	52	(16)
							108 kg	
※	C° 1	D16	3460	32	1.56	5.40	173	≪32≫
※	2	〃	1790	12	〃	2.79	33	(12)
	3	〃	2090	12	〃	3.26	39	(12)
							245 kg	
						機械式鉄筋定着	フレアー溶接	樹脂アンカー
	合 計	D16	605 kg			(60)	≪64≫	〈64〉

注）（ ）は機械式鉄筋定着、≪ ≫はフレアー溶接、〈 〉は樹脂アンカーの箇所数を示す。

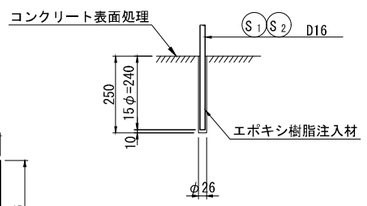
機械式鉄筋定着工法数量表

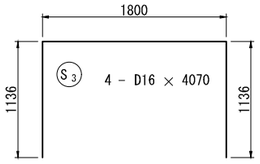
鉄筋径	箇所数					
	0＜L≦1m	1m＜L≦2m	2m＜L≦3m	3m＜L≦4m	4m＜L≦5m	5m＜L≦6m
D25	—	—	—	—	—	—
D22	—	—	—	—	—	—
D19	—	—	—	—	—	—
D16	—	32	28	—	—	—
D13	—	—	—	—	—	—
小 計	—	32	28	—	—	—
合 計	60					

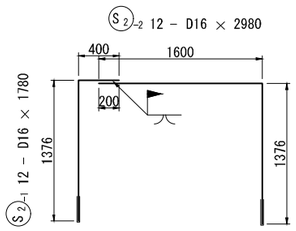
凡例

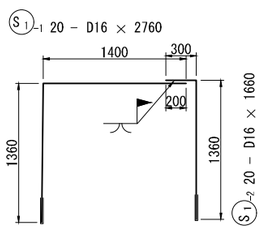
記号	配置位置
ノ	半円形フック側
×	定着体側

樹脂アンカー詳細図 S=1:10

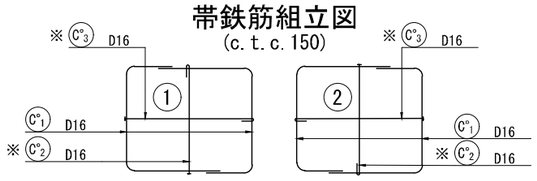




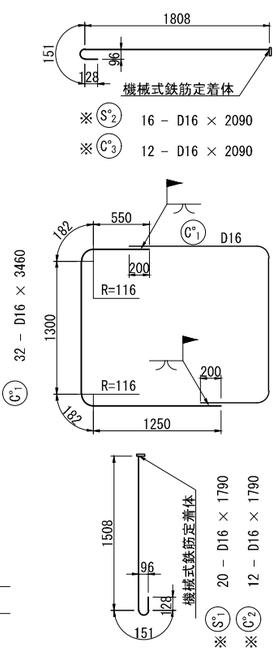


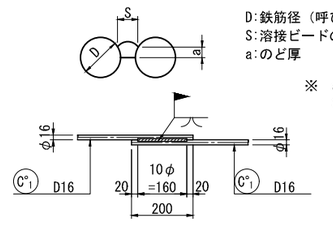


帯鉄筋組立図 (c.t.c.150)



フレアー溶接詳細図 S=1:10

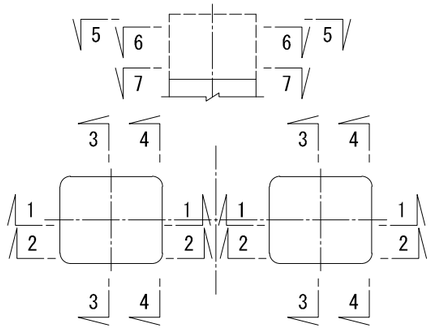




D:鉄筋径（呼び径） 16mm
S:溶接ビードの幅 8.0mm
a:のど厚 3.24mm

※ a=0.39D-3
S= 0.5D

マーク図



注）1. ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
(1) 道路標示方書・同解説（H29.11 日本道路協会）
(2) 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
2. この図面の機械式定着工法は参考図であり製品を指定するものではない。
3. ※印表記の鉄筋長は、採用した機械式鉄筋定着工法に応じて適宜調整すること。
4. 細破線は、既設の鉄筋配置を示す。
5. 既設コンクリートの表面は十分な下地処理を行い、新旧コンクリートの一体化を図ること。

使用材料一覧表

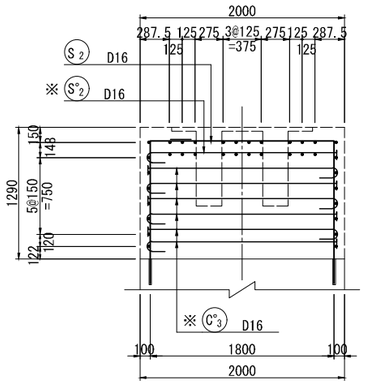
	コンクリート	鉄 筋
橋 座	σck = 24 N/mm²	SD345

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

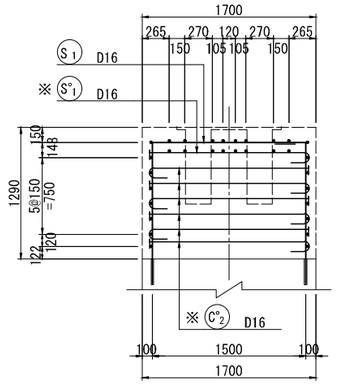
工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事
図面名	P3橋脚 改築配筋図
作成年月日	令 和 7 年 11 月 日
縮 尺	図 示
図面番号	26 ／ 64
会社名	株式会社 長 大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

P4橋脚 改築配筋図 S=1:30

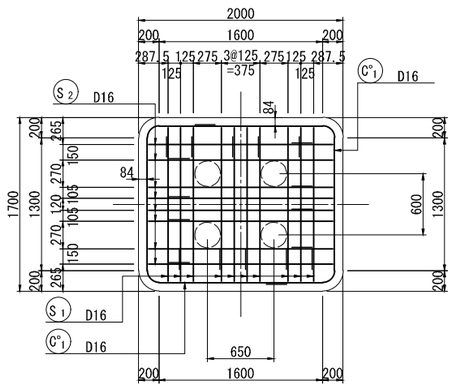
1 － 1



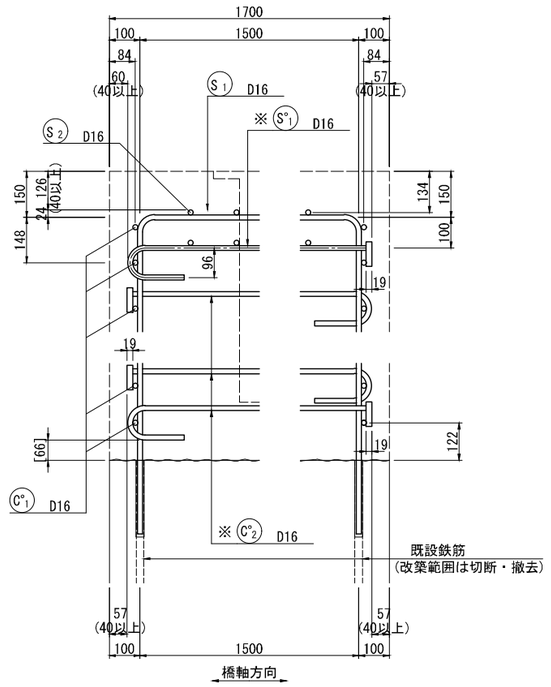
3 － 3



5 － 5



かぶり詳細図 S=1:10



注）1. 水平補強鉄筋は半円形フックを千鳥に配置する。
2. < >内数値は、建設技術審査証明を取得した機械式鉄筋定着工法一覧(土木)の拡径部厚さ(最大値)を示す。
cf. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
3. [ ]内寸法は鉄筋のあきを示し、鉄筋径の1.5倍以上または40mm以上かつ粗骨材の最大寸法の4/3以上を確保した。

鉄筋質量表

	符号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
	S 1-1	D16	2780	20	1.56	4.34	87	≪20≫ <20>
	1-2	〃	1680	20	〃	2.62	52	<20>
	2-1	〃	1800	16	〃	2.81	45	≪16≫ <16>
	2-2	〃	3000	16	〃	4.68	75	<16>
							259 kg	
※	S' 1	D16	1790	20	1.56	2.79	56	(20)
※	2	〃	2090	16	〃	3.26	52	(16)
							108 kg	
	C' 1	D16	3460	32	1.56	5.40	173	≪32≫
※	2	〃	1790	12	〃	2.79	33	(12)
※	3	〃	2090	12	〃	3.26	39	(12)
							245 kg	

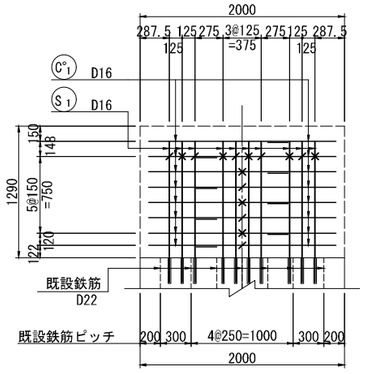
	機械式鉄筋定着	フレアー溶接	樹脂アンカー
合 計 D16 612 kg	(60)	≪68≫	<72>

注）( )は機械式鉄筋定着、≪ ≫はフレアー溶接、< >は樹脂アンカーの箇所数を示す。

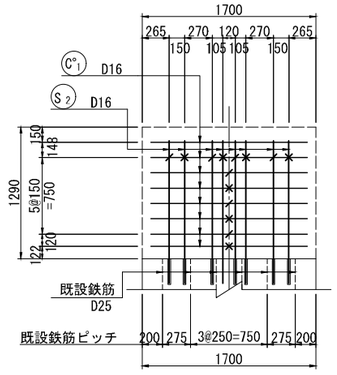
機械式鉄筋定着工法数量表

鉄筋径	箇所数					
	0<L≦1m	1m<L≦2m	2m<L≦3m	3m<L≦4m	4m<L≦5m	5m<L≦6m
D25	—	—	—	—	—	—
D22	—	—	—	—	—	—
D19	—	—	—	—	—	—
D16	—	32	28	—	—	—
D13	—	—	—	—	—	—
小 計	—	32	28	—	—	—
合 計	60					

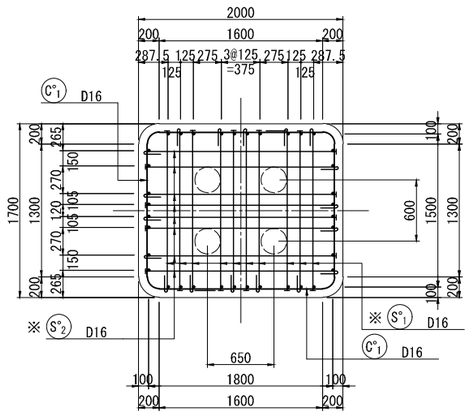
2 － 2



4 － 4



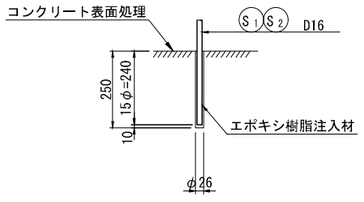
6 － 6

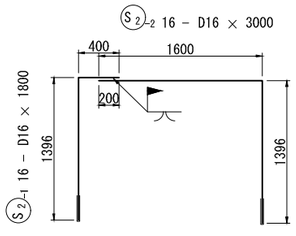


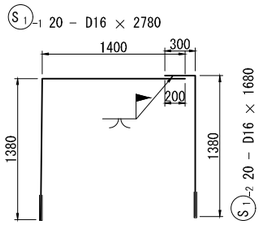
凡例

記号	配置位置
／	半円形フック側
×	定着体側

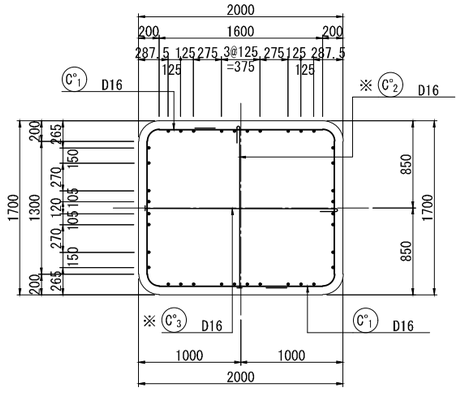
樹脂アンカー詳細図 S=1:10



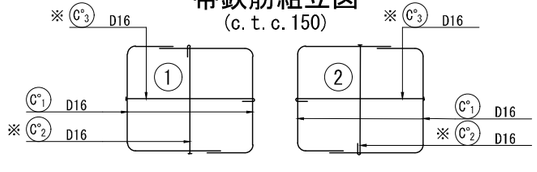


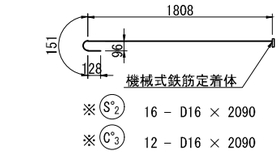


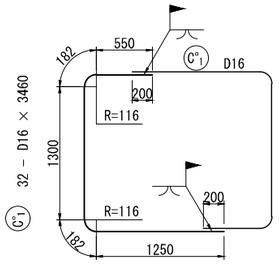
7 － 7

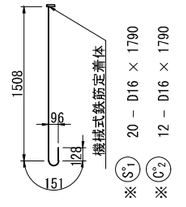


帯鉄筋組立図 (c.t.c.150)

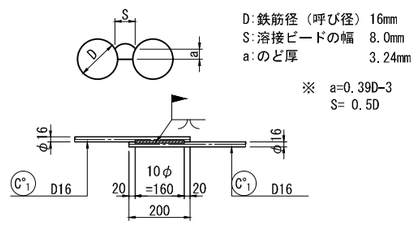






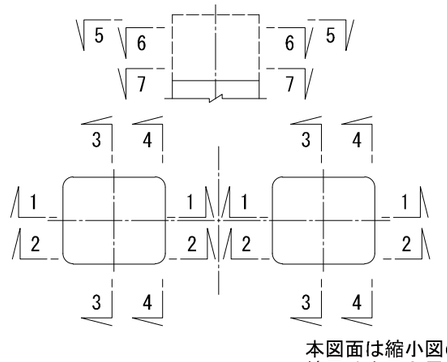


フレアー溶接詳細図 S=1:10



D:鉄筋径（呼び径）16mm
S:溶接ビードの幅 8.0mm
a:のど厚 3.24mm
※ a=0.39D-3
S= 0.5D

マーク図



注）1. ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
(1) 道路標示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
(2) 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
2. この図面の機械式定着工法は参考図であり製品を指定するものではない。
3. ※印表記の鉄筋長は、採用した機械式鉄筋定着工法に応じて適宜調整すること。
4. 細破線は、既設の鉄筋配置を示す。
5. 既設コンクリートの表面は十分な下地処理を行い、新旧コンクリートの一体化を図ること。

使用材料一覧表

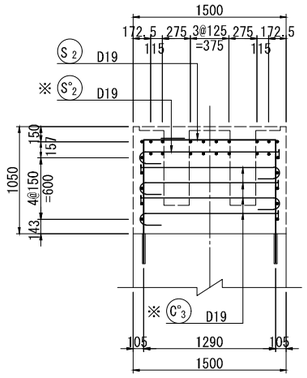
	コンクリート	鉄 筋
橋 座	σck = 24 N/mm²	SD345

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

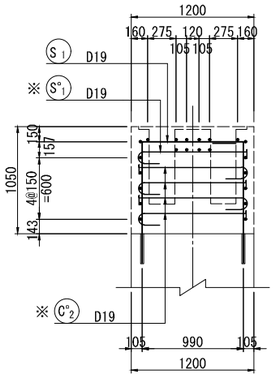
工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事
図面名	P4橋脚 改築配筋図
作成年月日	令 和 7 年 11 月 日
縮 尺	図 示
図面番号	27 ／ 64
会社名	株式会社 長 大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

P5・P6橋脚 改築配筋図 S=1:30

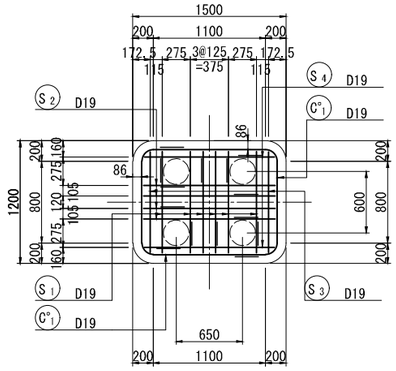
1 － 1



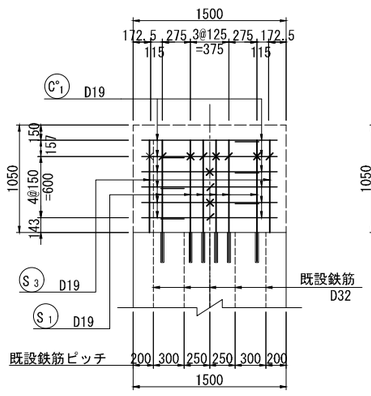
3 － 3



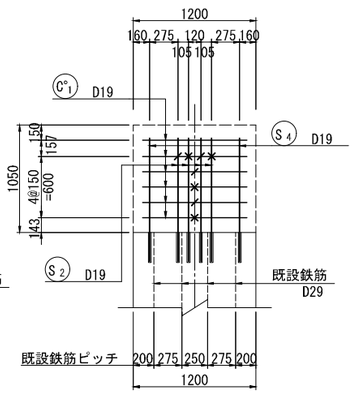
5 － 5



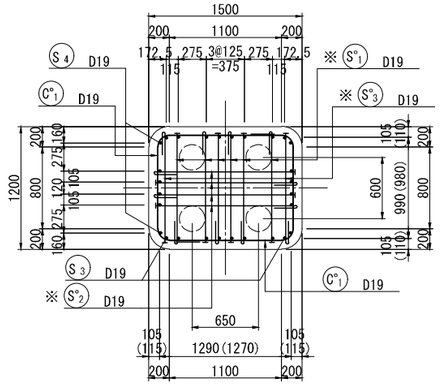
2 － 2



4 － 4

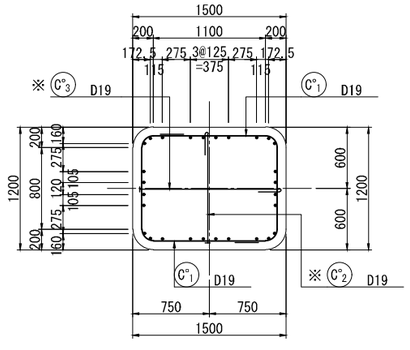


6 － 6

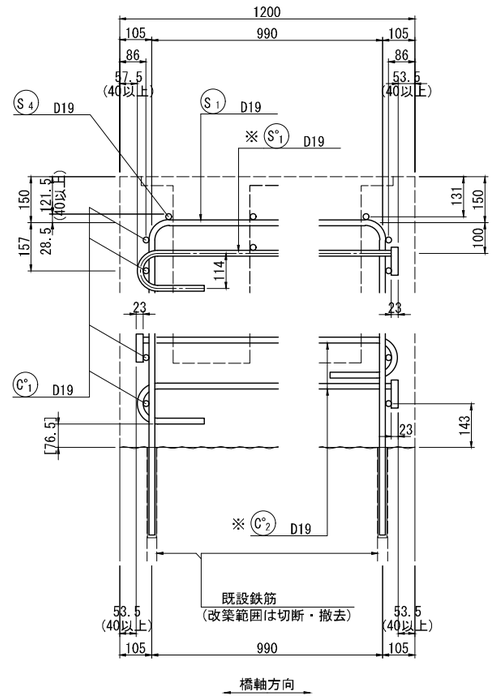


注）（ ）内寸法は S3 S4 鉄筋を示す。

7 － 7



かぶり詳細図 S=1:10



橋軸方向

注）1. 水平補強鉄筋は半円形フックを千鳥に配置する。
2. < >内数値は、建設技術審査証明を取得した機械式鉄筋定着工法一覧（土木）の拡径部厚さ（最大値）を示す。
cf. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
3. [ ]内寸法は鉄筋のあきを示し、鉄筋径の1.5倍以上または40mm以上かつ粗骨材の最大寸法の4/3以上を確保した。

鉄筋質量表

	符号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
	S 1-1	D19	2110	12	2.25	4.75	57	≪12≫ 〈12〉
	1-2	〃	1490	12	〃	3.35	40	〈12〉
	2-1	〃	1600	8	〃	3.60	29	≪8≫ 〈8〉
	2-2	〃	2320	8	〃	5.22	42	〈8〉
	3	〃	2780	4	〃	6.26	25	
	4-1	〃	2300	4	〃	5.18	21	≪4≫ 〈4〉
	4-2	〃	1600	4	〃	3.60	14	〈4〉
							228 kg	
※	S° 1	D19	1330	12	2.25	2.99	36	(12)
※	2	〃	1630	8	〃	3.67	29	(8)
※	3	〃	1330	4	〃	2.99	12	(4)
							77 kg	
	C° 1	D19	2490	24	2.25	5.60	134	≪24≫
※	2	〃	1330	8	〃	2.99	24	(8)
※	3	〃	1630	8	〃	3.67	29	(8)
							187 kg	

橋脚１基当たり	機械式鉄筋定着	フレアー溶接	樹脂アンカー
合 計 D19 492 kg	(40)	≪48≫	〈48〉

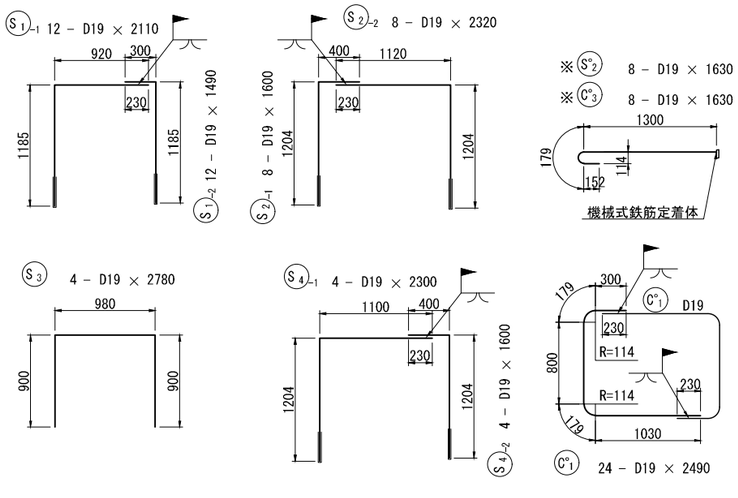
橋脚２基当たり	機械式鉄筋定着	フレアー溶接	樹脂アンカー
合計 D19 492 ×2= 984 kg	(80)	≪96≫	〈96〉
	40×2=80	48×2=96	48×2=96

機械式鉄筋定着工法数量表

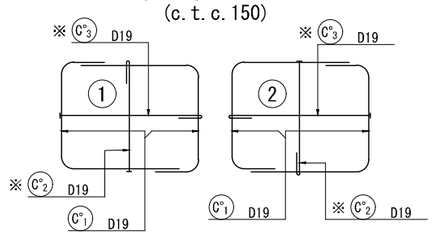
鉄筋径	箇所数					
	0<L≦1m	1m<L≦2m	2m<L≦3m	3m<L≦4m	4m<L≦5m	5m<L≦6m
D25	—	—	—	—	—	—
D22	—	—	—	—	—	—
D19	—	80	—	—	—	—
D16	—	—	—	—	—	—
D13	—	—	—	—	—	—
小 計	—	80	—	—	—	—
合 計	80					

凡例

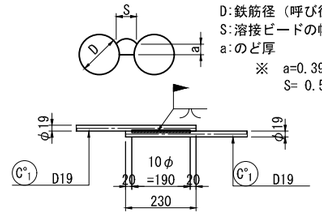
記号	配置位置
／	半円形フック側
×	定着体側



帯鉄筋組立図 (c. t. c. 150)

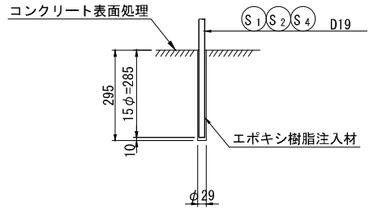


フレアー溶接詳細図 S=1:10



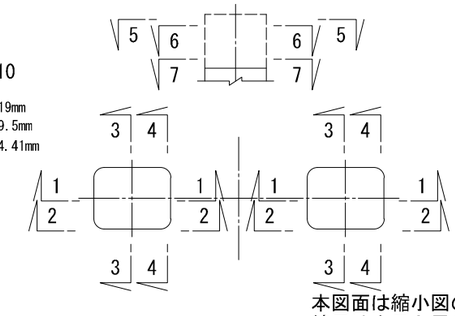
D:鉄筋径（呼び径） 19mm
S:溶接ビードの幅 9.5mm
a:のど厚 4.41mm
※ a=0.39D-3
S= 0.5D

樹脂アンカー詳細図 S=1:10



注）1. ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
(1) 道路標示方書・同解説（H29.11 日本道路協会）
(2) 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン（H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会）
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
2. この図面の機械式定着工法は参考図であり製品を指定するものではない。
3. ※印表記の鉄筋長は、採用した機械式鉄筋定着工法に応じて適宜調整すること。
4. 細破線は、既設の鉄筋配置を示す。
5. 既設コンクリートの表面は十分な下地処理を行い、新旧コンクリートの一体化を図ること。

マーク図



使用材料一覧表

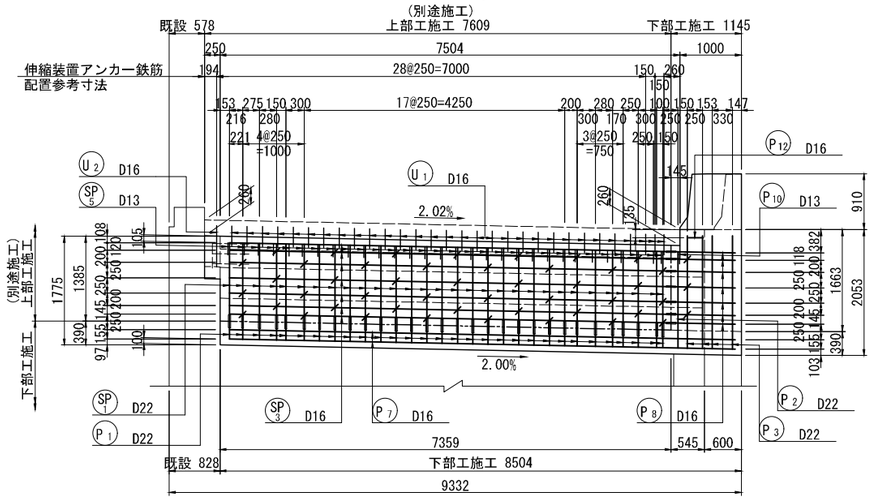
	コンクリート	鉄 筋
橋 座	σck = 24 N/mm²	SD345

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

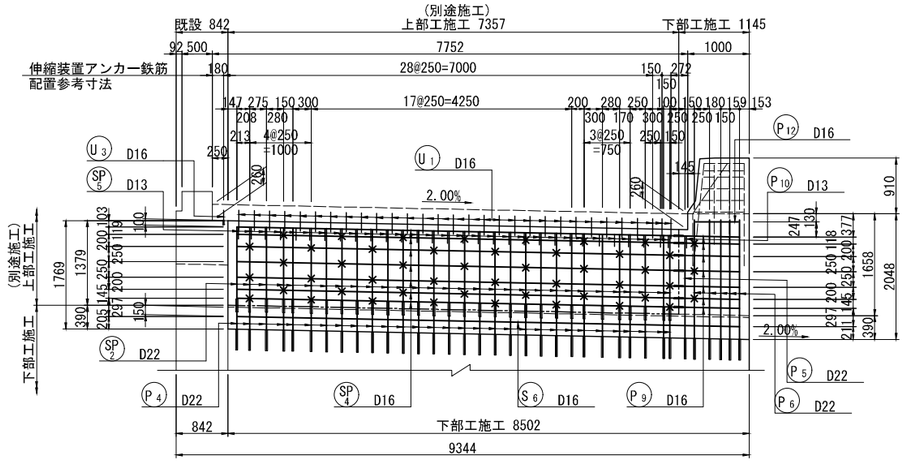
工事名	R７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事
図面名	P5・P6橋脚 改築配筋図
作成年月日	令 和 ７ 年 １１ 月 日
縮 尺	図 示 図面番号 28 ／ 64
会社名	株式会社 長 大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

A2橋台 改築配筋図(その1) S=1:50

1 － 1



2 － 2

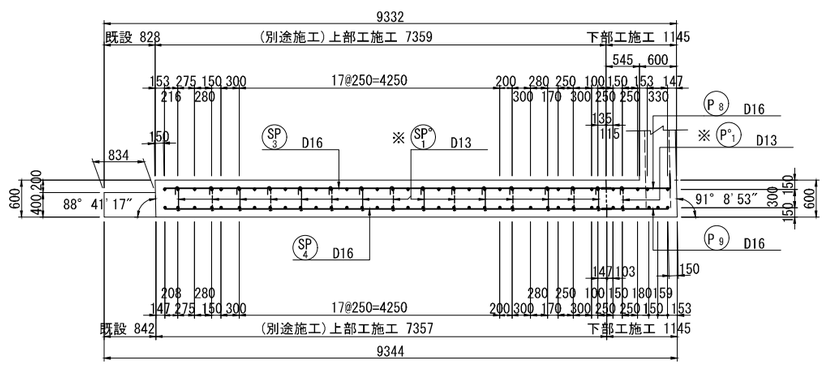


凡例

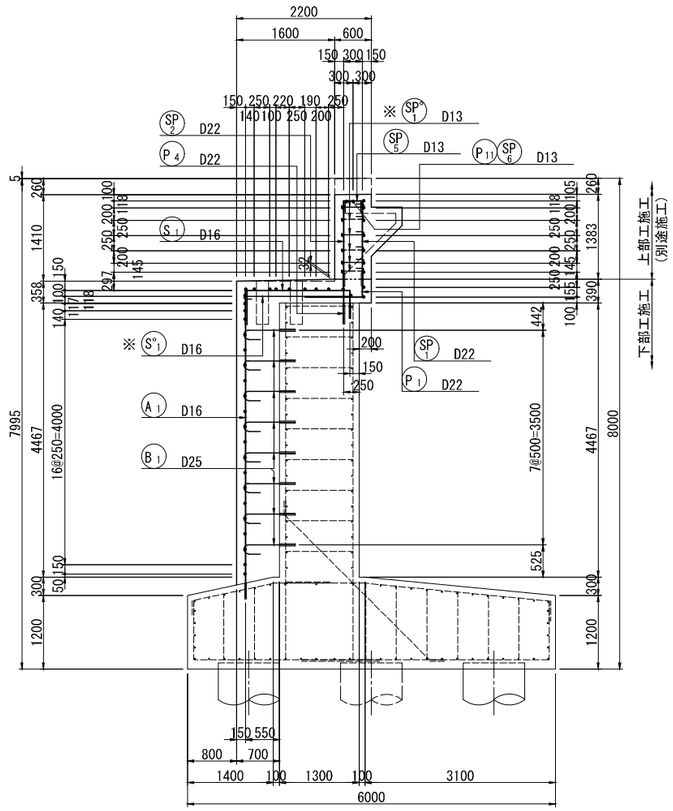
記号	配置位置
ノ	半円形フック側
×	定着体側

注) 伸縮装置アンカー鉄筋 U1 U2 U3 は上部工『伸縮装置詳細図』を参照し、必要に応じて配置の見直しを行うこと。

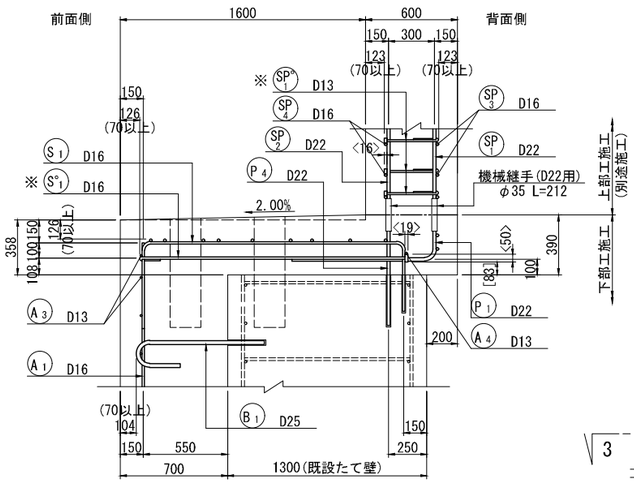
3 － 3



4 － 4



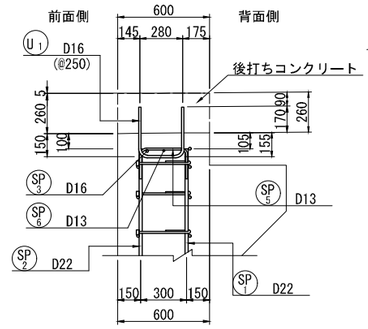
かぶり詳細図 S=1:20



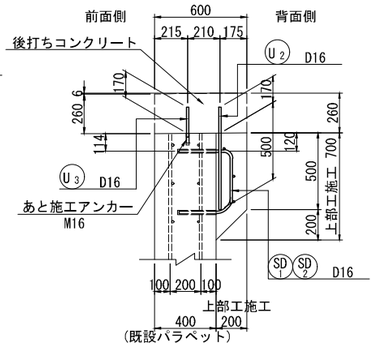
注) 1. パラペットのスターラップ P°1 SP°1 は半円形フックを背面側に配置する。
2. 水平補強鉄筋 S°1 は半円形フックを前面に配置する。
3. < >内数値は、建設技術審査証明を取得した機械式鉄筋定着工法一覧(土木)の拡径部の最大値を示す。
cf. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
4. [ ]内寸法は鉄筋のあきを示し、鉄筋径の1.5倍以上または40mm以上かつ粗骨材の最大寸法の4/3以上を確保した。

(別途施工) パラペット頂部詳細図 S=1:20

標準部

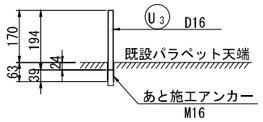


既設パラペット拡幅部

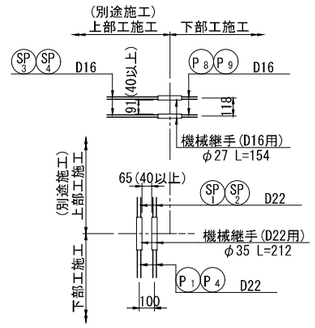


注) 1. 伸縮装置アンカー鉄筋は上部工『伸縮装置詳細図』を参照し、必要に応じて見直しを行うこと。
2. 既設パラペットに設置するあと施工アンカーは、既設鉄筋と干渉しないよう、施工の際は事前調査を行った上、本図面と異なる場合には必要に応じて見直しを行うこと。

(別途施工) あと施工アンカー詳細図 S=1:10

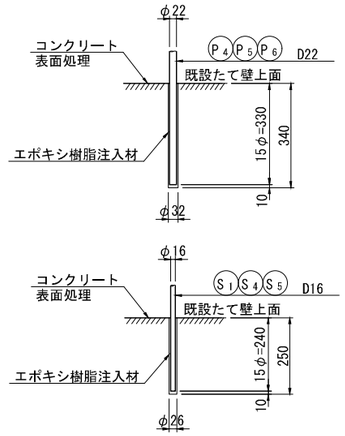


機械継手部あき詳細図 S=1:20

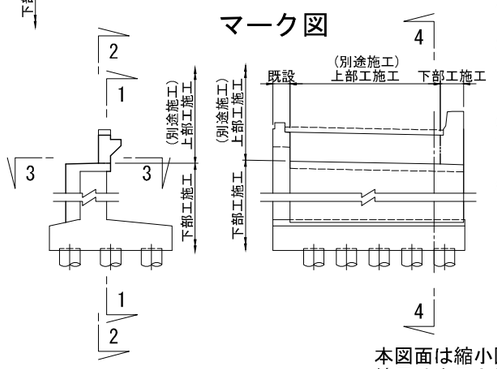


注) 上図は最小ピッチの値で作画し、鉄筋のあきを示す。
なお、鉄筋のあきは鉄筋径の1.5倍以上または40mm以上かつ粗骨材の最大寸法の4/3以上を確保する。

樹脂アンカー詳細図 S=1:10



マーク図



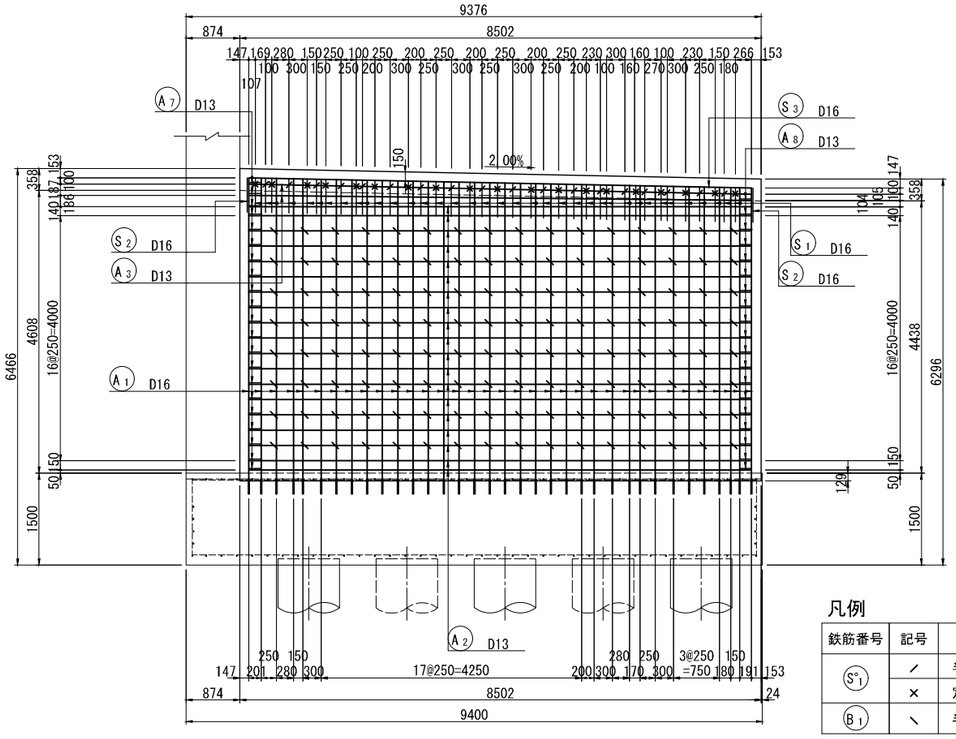
注) 1. ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
(1) 道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
(2) 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
2. この図面の機械式定着工法は参考図であり製品を指定するものではない。
3. ※印表記の鉄筋長は、採用した機械式鉄筋定着工法に応じて適宜調整すること。
4. 機械継手を使用する鉄筋の鉄筋長は使用する機械継手の製品に応じて適宜調整すること。
5. 既設たて壁やフーチングに設置する樹脂アンカーは、既設鉄筋と干渉しないよう、施工の際は事前調査を行った上、本図と異なる場合には必要に応じて見直しを行うこと。なお、既設鉄筋は切断しないこと。
6. 細破線は、既設の鉄筋配置を示す。
7. 既設コンクリートの表面は十分な下地処理を行い、新旧コンクリートの一体化を図ること。
8. 鉄筋記号 S*n SPn Un は上部工施工の鉄筋を示す。(別途施工)

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事
図面名	A2橋台 改築配筋図(その1)
作成年月日	令 和 7 年 11 月 日
縮 尺	図 示
図面番号	29 ／ 64
会社名	株式会社 長 大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

A2橋台 改築配筋図(その2)　S=1:50

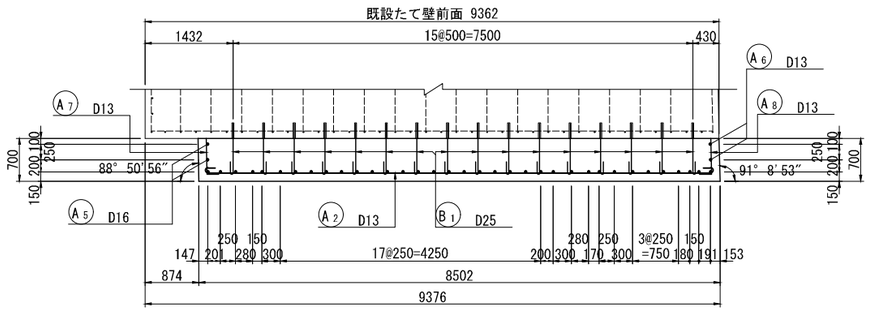
5 － 5



凡例

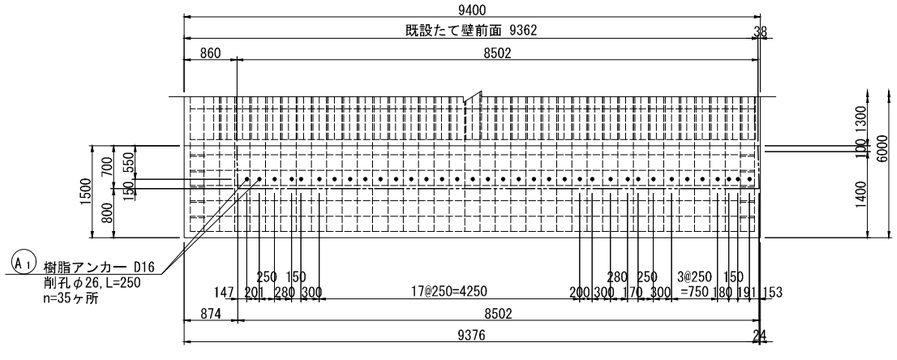
鉄筋番号	記号	配置位置
S1	／	半円形フック側
	×	定着体側
B1	＼	半円形フック側

6 － 6



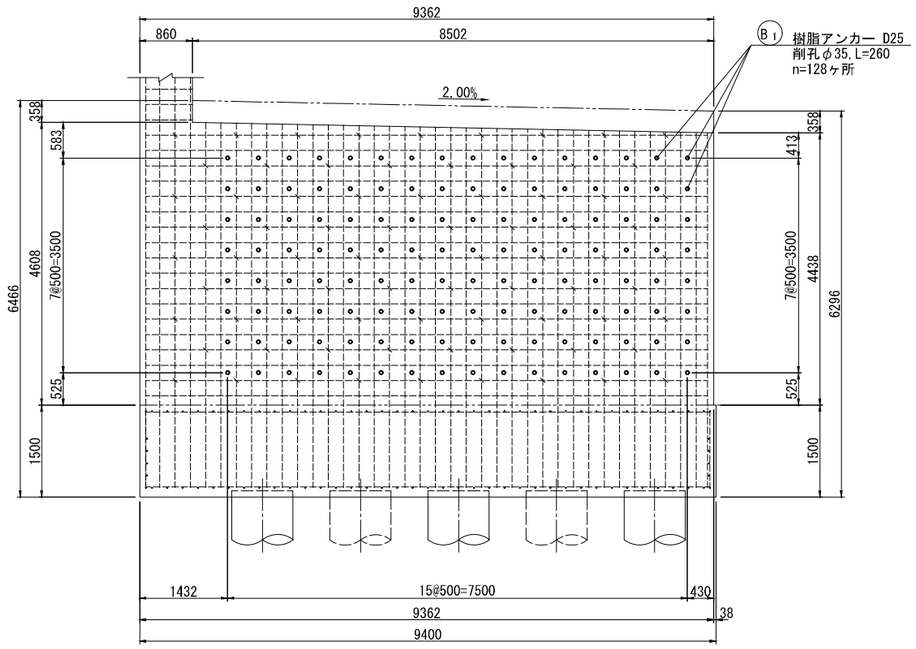
樹脂アンカー配置図

既設フーチング（①－①）

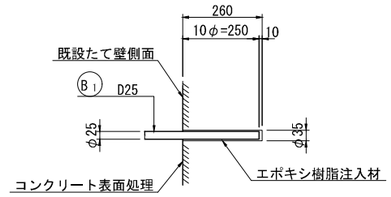


ずれ止めアンカー配置図

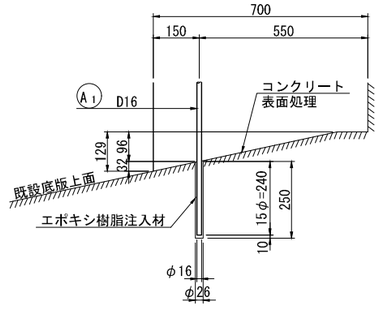
既設たて壁（②－②）



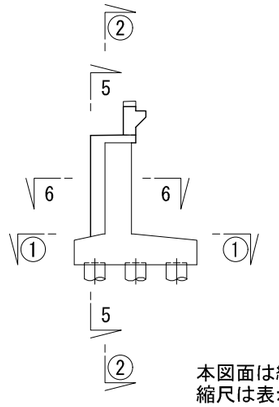
ずれ止めアンカー詳細図　S=1:10



樹脂アンカー詳細図　S=1:10



マーク図



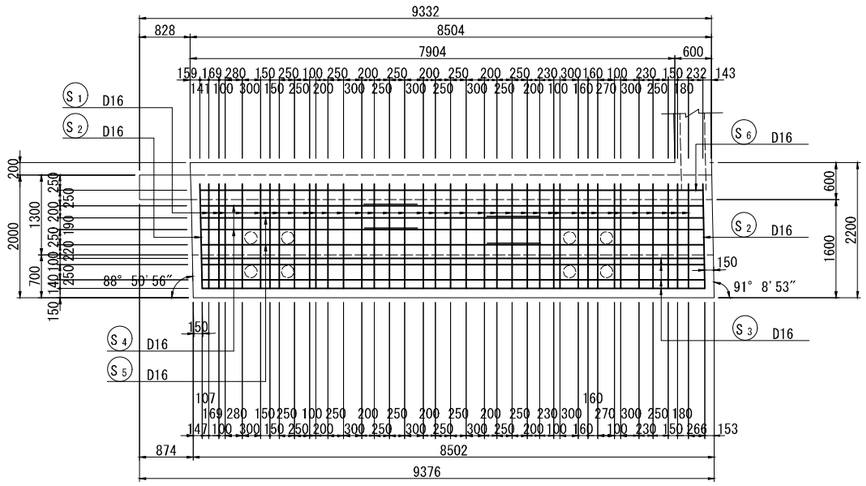
注）1. ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
(1) 道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
(2) 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
2. この図面の機械式定着工法は参考図であり製品を指定するものではない。
3. ※印表記の鉄筋長は、採用した機械式鉄筋定着工法に応じて適宜調整すること。
4. 機械継手を使用する鉄筋の鉄筋長は使用する機械継手の製品に応じて適宜調整すること。
5. 既設たて壁やフーチングに設置する樹脂アンカーは、既設鉄筋と干渉しないよう、施工の際は事前調査を行った上、本図と異なる場合には必要に応じて見直しを行うこと。なお、既設鉄筋は切断しないこと。
6. 細破線は、既設の鉄筋配置を示す。
7. 既設コンクリートの表面は十分な下地処理を行い、新旧コンクリートの一体化を図ること。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

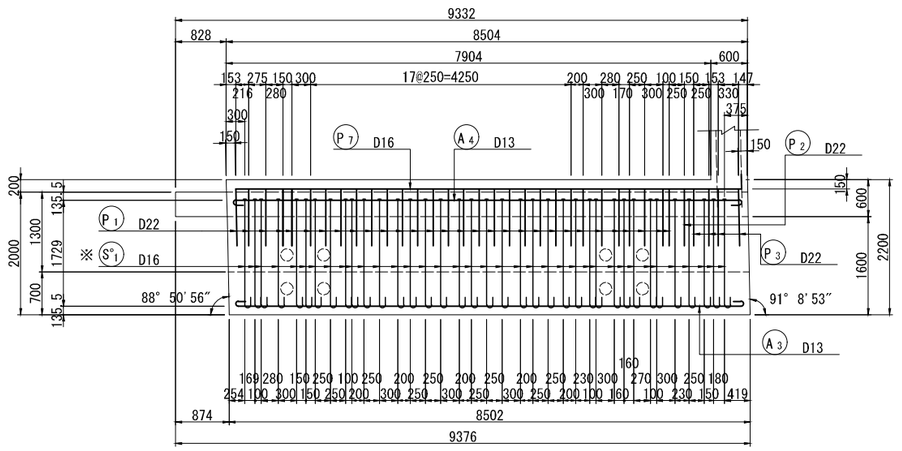
工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事
図面名	A2橋台 改築配筋図(その2)
作成年月日	令 和 7 年 11 月　日
縮　尺	図 示
図面番号	30 ／ 64
会社名	株式会社 長 大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

A2橋台 改築配筋図(その3) S=1:50

7 － 7

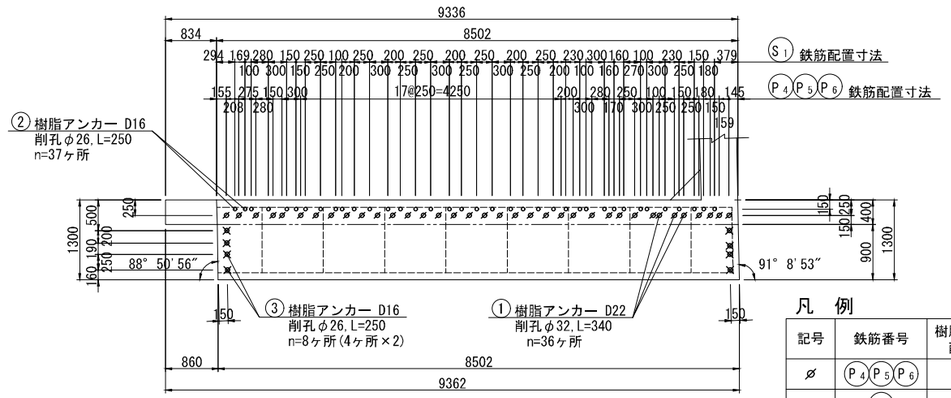


8 － 8



樹脂アンカー配置図

既設たて壁 （③－③）



凡 例

記号	鉄筋番号	樹脂アンカー配置区分
⌀	P4 P5 P6	①
○	S1	②
⊗	S4 S5	③

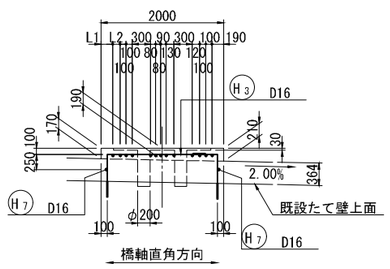
沓座配筋図

S2L S2R

(n=2ヶ所)

断 面 図

A － A

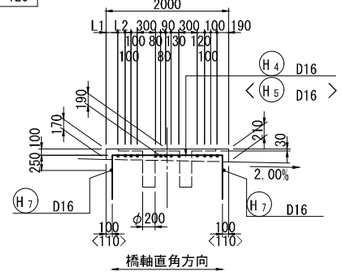


寸法表

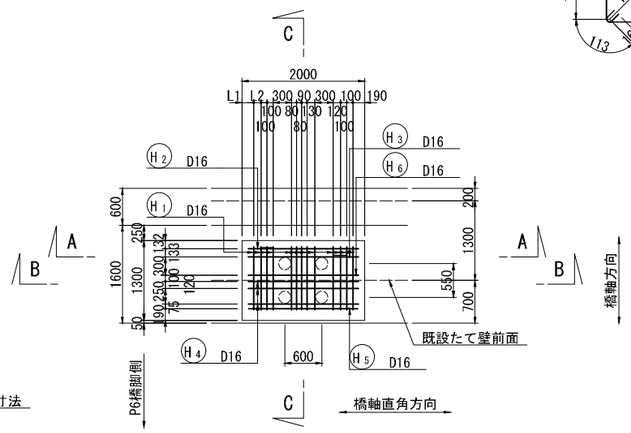
	L1	L2
S2L	200	110
S2R	190	120

B － B

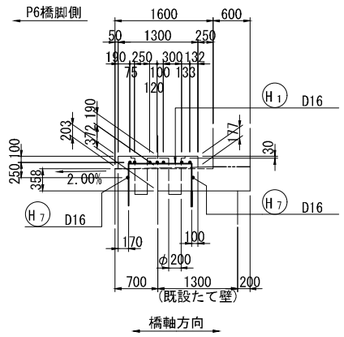
（たて壁拡幅部）



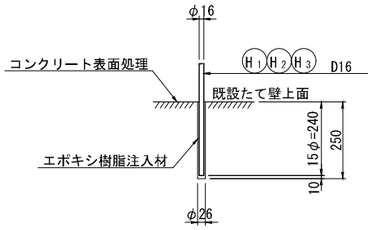
平 面 図



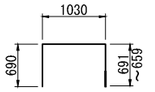
C － C



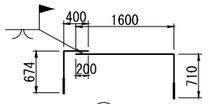
樹脂アンカー詳細図 S=1:10



H1 26 － D16 × 2400 （平均長）

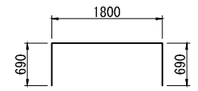


H2-1 2 － D16 × 1070

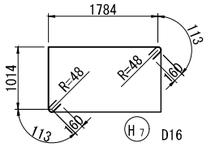


H2-2 2 － D16 × 2310

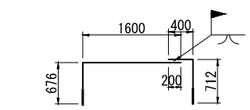
H4 6 － D16 × 3180



H7 4 － D16 × 3340

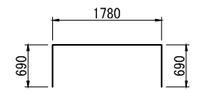


H3-2 2 － D16 × 1110

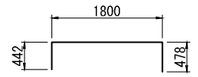


H3-1 2 － D16 × 2280

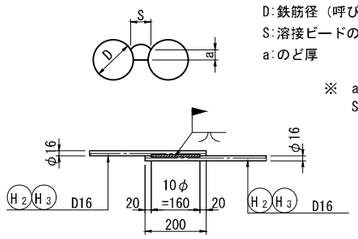
H5 2 － D16 × 3160



H6 2 － D16 × 2720



フレアー溶接詳細図 S=1:10



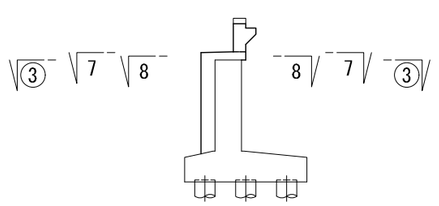
D:鉄筋径（呼び径） 16mm

S:溶接ビードの幅 8mm

a:のど厚 3.2mm

※ a=0.39D-3
S= 0.5D

マーク図



注）1. ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
(1) 道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
(2) 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

2. この図面の機械式定着工法は参考図であり製品を指定するものではない。

3. ※印表記の鉄筋長は、採用した機械式鉄筋定着工法に応じて適宜調整すること。

4. 機械継手を使用する鉄筋の鉄筋長は使用する機械継手の製品に応じて適宜調整すること。

5. 既設たて壁やフーチングに設置する樹脂アンカーは、既設鉄筋と干渉しないよう、施工の際は事前調査を行った上、本図と異なる場合には必要に応じて見直しを行うこと。なお、既設鉄筋は切断しないこと。

6. 細破線は、既設の鉄筋配置を示す。

7. 既設コンクリートの表面は十分な下地処理を行い、新旧コンクリートの一体化を図ること。

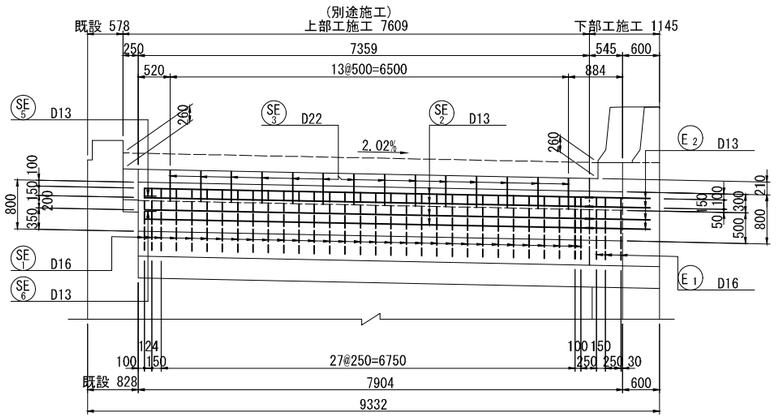
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	A2橋台 改築配筋図(その3)		
作成年月日	令 和 7 年 11 月 日		
縮 尺	図 示	図面番号	31 ／ 64
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

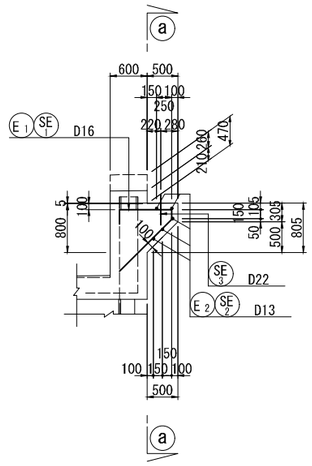
A2橋台 改築配筋図(その4) S=1:50

踏掛版受台配筋図

背 面 図
(ⓐ － ⓐ)

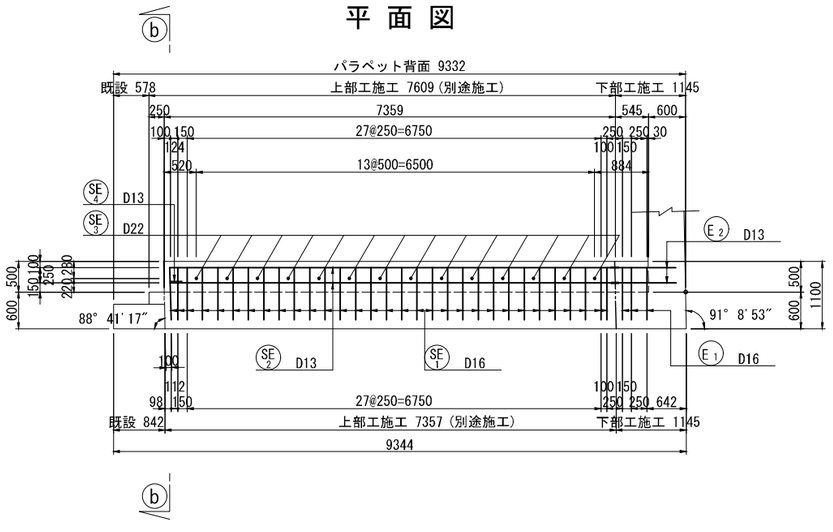


断 面 図

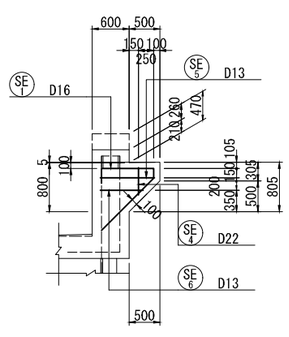


注) アンカー鉄筋 (SE3) の詳細は『A2橋台 踏掛版構造図』を参照こと。

平 面 図

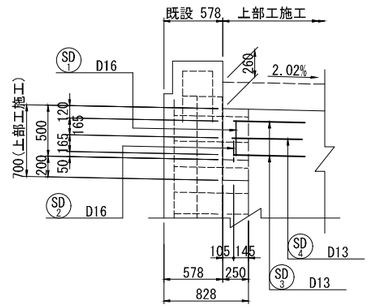


ⓑ － ⓑ

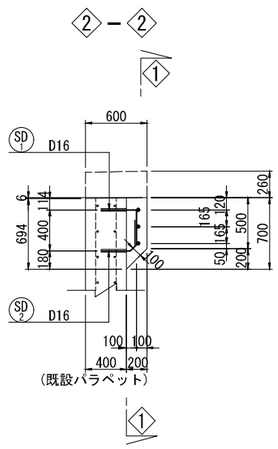


(別途施工)
既設パラペット拡幅部配筋図 S=1:30

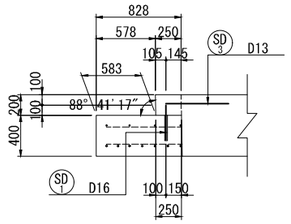
背 面 図
(◇1 － ◇1)



◇2 － ◇2



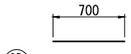
◇3 － ◇3



SD1 1 － D16 × 680



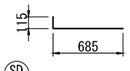
SD3 2 － D13 × 700



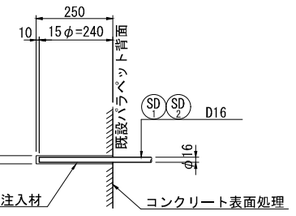
SD2 1 － D16 × 610



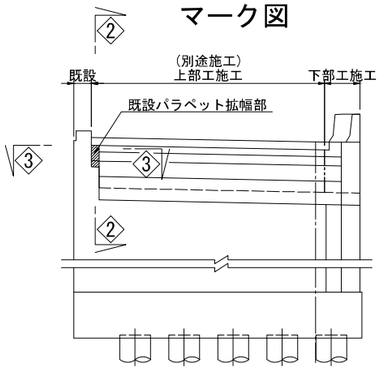
SD4 1 － D13 × 800



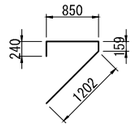
(別途施工)
樹脂アンカー詳細図 S=1:10



マーク図



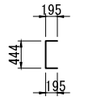
SE1 31 － D16 × 2450
E1 3 － D16 × 2450



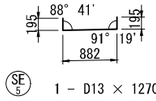
SE3 14 － D22 × 500



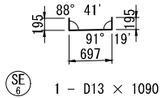
SE4 1 － D13 × 830



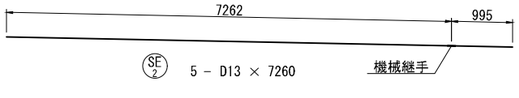
SE5 1 － D13 × 1270



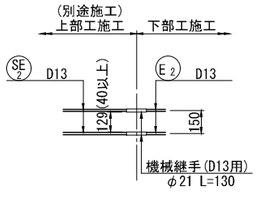
SE6 1 － D13 × 1090



E2 5 － D13 × 1000
SE2 5 － D13 × 7260



機械継手部あき詳細図 S=1:20



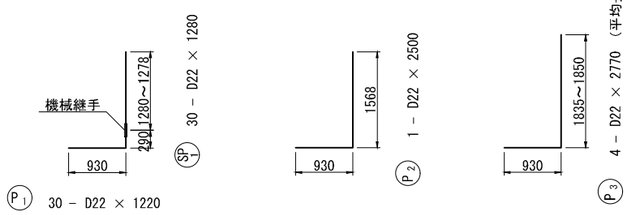
注) 上図は最小ピッチの値で作画し、鉄筋のあきを示す。
なお、鉄筋のあきは鉄筋径の1.5倍以上または40mm以上
かつ粗骨材の最大寸法の4/3以上を確保する。

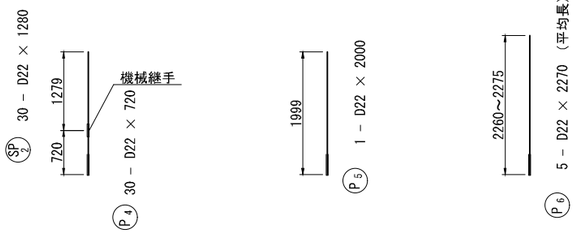
注) 1. 機械継手を使用する鉄筋の鉄筋長は使用する機械継手の製品に応じて適宜調整すること。
2. 既設コンクリートの表面は十分な下地処理を行い、新旧コンクリートの一体化を図ること。
3. 細破線は、既設の鉄筋配置を示す。
4. 鉄筋記号 (S*n) (SPn) (Un) は上部工施工の鉄筋を示す。(別途施工)

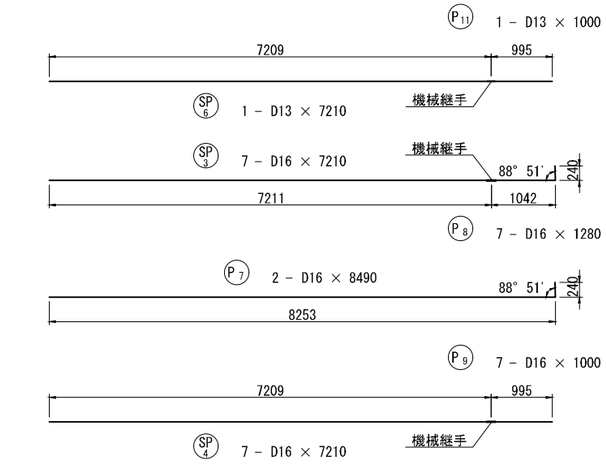
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

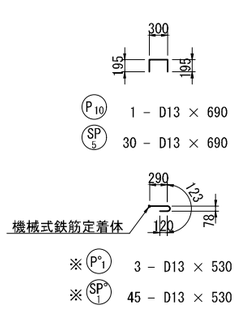
工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	A2橋台 改築配筋図(その4)		
作成年月日	令 和 7 年 11 月 日		
縮 尺	図 示	図面番号	32 ／ 64
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

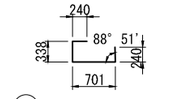
A2橋台 改築配筋図(その5)　S=1:50

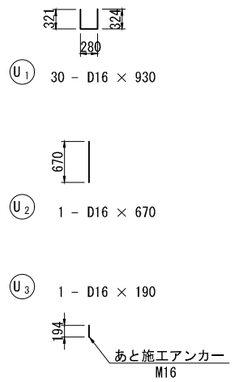


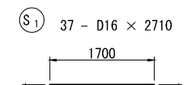


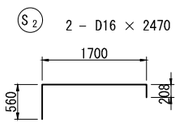


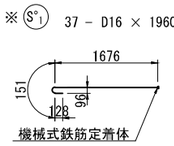


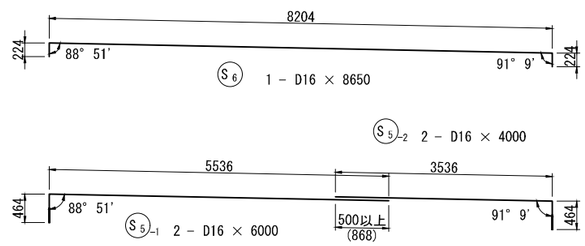


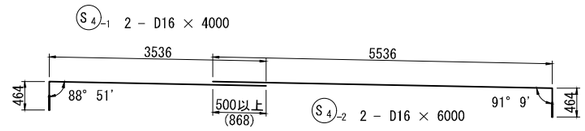


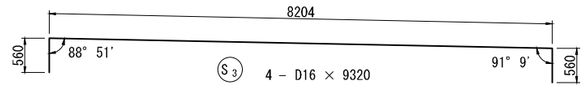


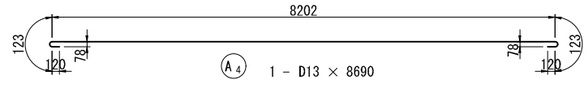


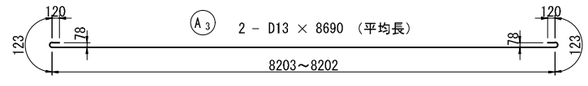


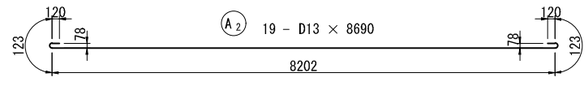


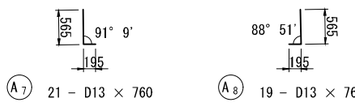


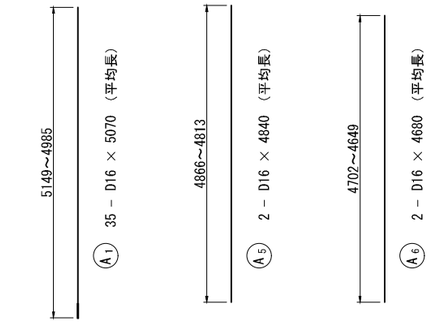


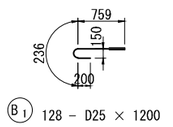












注）1. ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準等を満足すること。
(1) 道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
(2) 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
2. この図面の機械式定着工法は参考図であり製品を指定するものではない。
3. ※印表記の鉄筋長は、採用した機械式鉄筋定着工法に応じて適宜調整すること。
4. 機械継手を使用する鉄筋の鉄筋長は使用する機械継手の製品に応じて適宜調整すること。
5. 既設たて壁やフーチングに設置する樹脂アンカーは、既設鉄筋と干渉しないよう、施工の際は事前調査を行った上、本図と異なる場合には必要に応じて見直しを行うこと。なお、既設鉄筋は切断しないこと。
6. 既設コンクリートの表面は十分な下地処理を行い、新旧コンクリートの一体化を図ること。
7. 鉄筋記号 (S*n)(SPn)(Un) は上部工施工の鉄筋を示す。(別途施工)

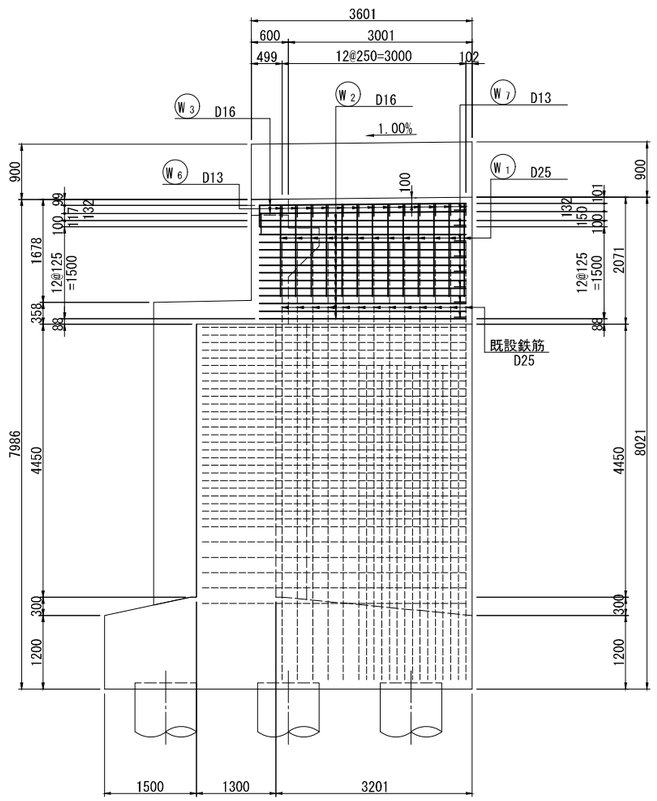
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	A2橋台 改築配筋図(その5)		
作成年月日	令 和 7 年 11 月　日		
縮　尺	1:50	図面番号	33 ／ 64
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

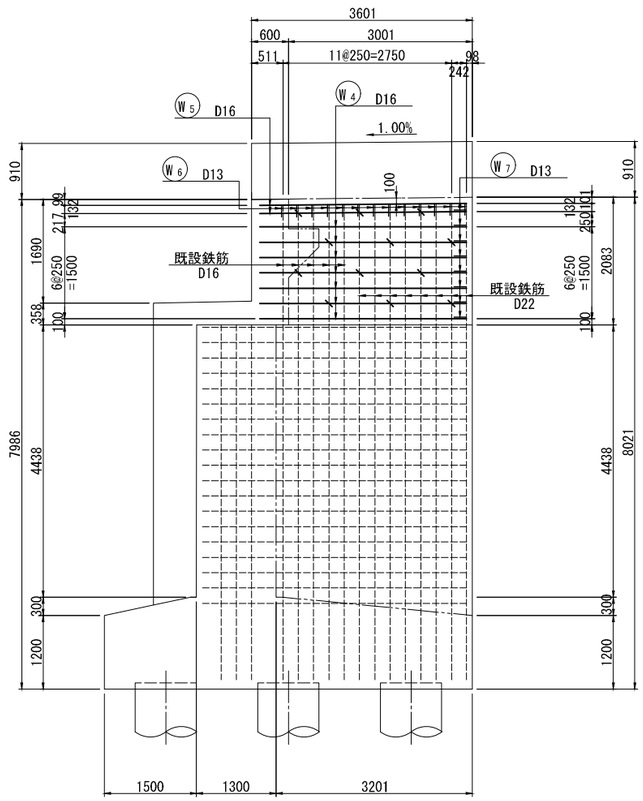
A2橋台 改築配筋図(その6)　S=1:50

ウイング

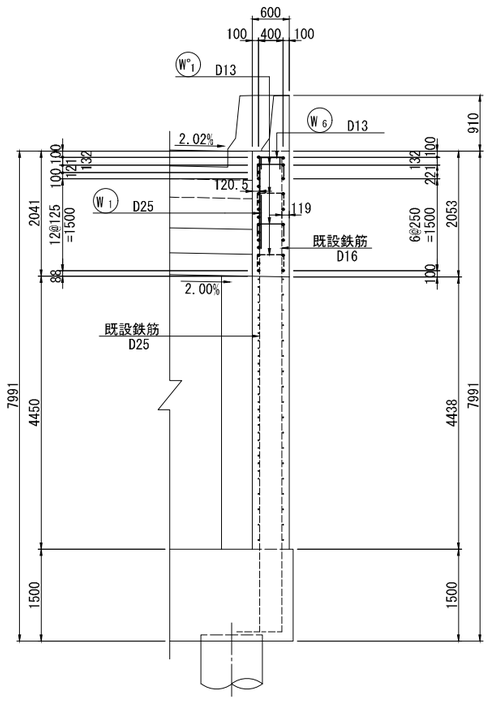
1 － 1



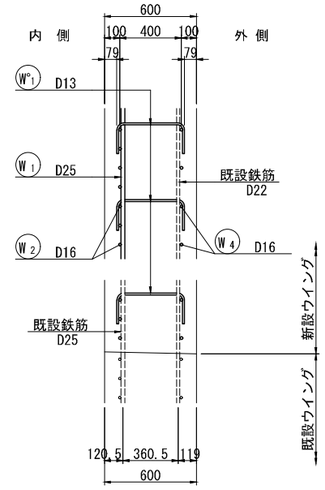
2 － 2



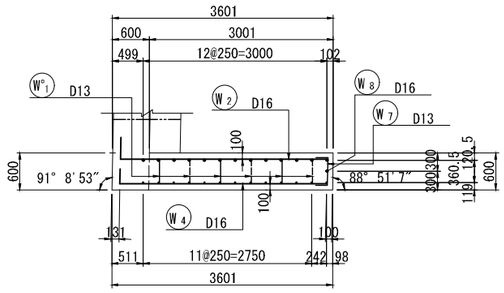
3 － 3

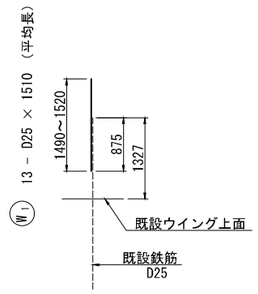


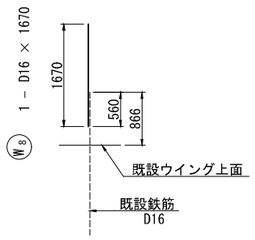
かぶり詳細図　S=1:20

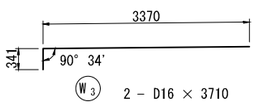


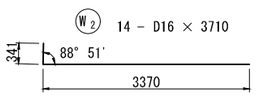
4 － 4

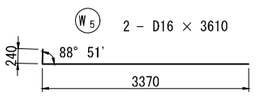


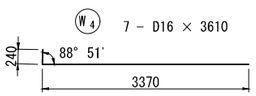


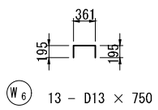


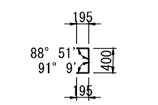


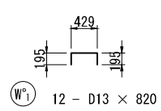




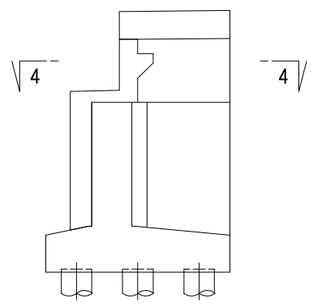


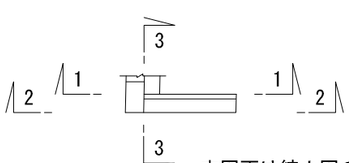






マーク図





本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

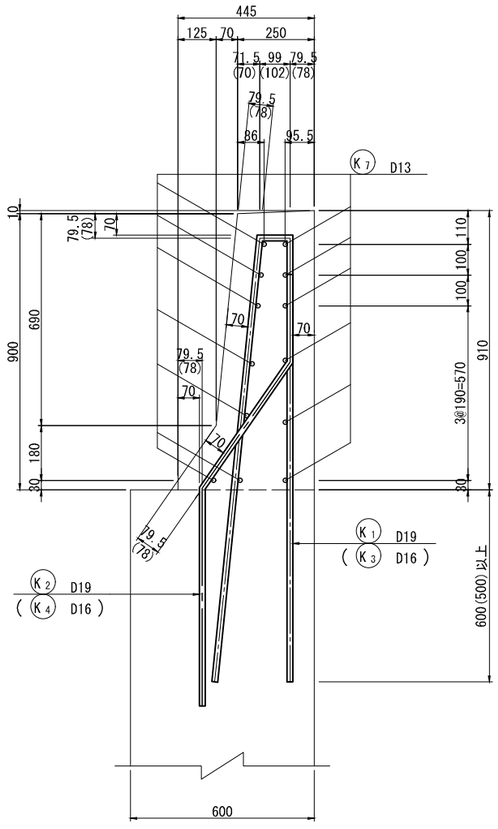
注）1. 細破線は、既設の鉄筋配置を示す。
施工の際は事前調査を行った上、本図と異なる場合には必要に応じて見直しを行うこと。
2. 既設コンクリートの表面は十分な下地処理を行い、新旧コンクリートの一体化を図ること。

工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	A2橋台 改築配筋図(その6)		
作成年月日	令 和 7 年 11 月　日		
縮　尺	図 示	図面番号	34 ／ 64
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

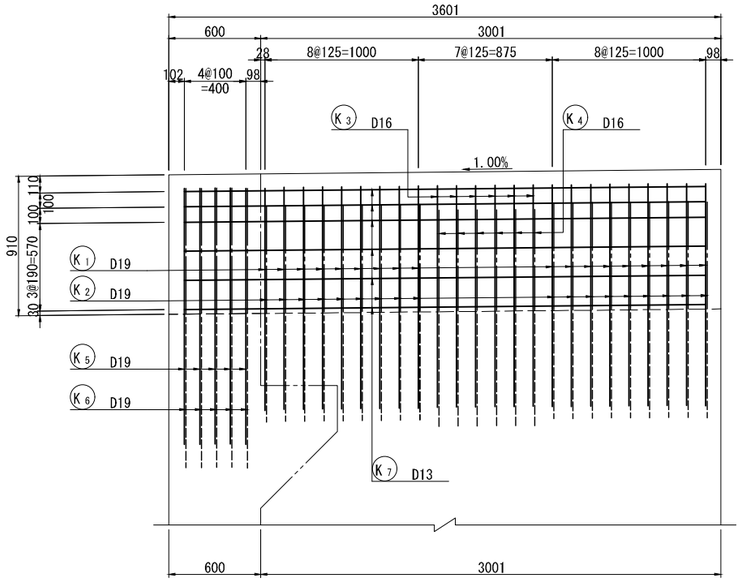
A2橋台 改築配筋図(その7)　S=1:20

壁高欄

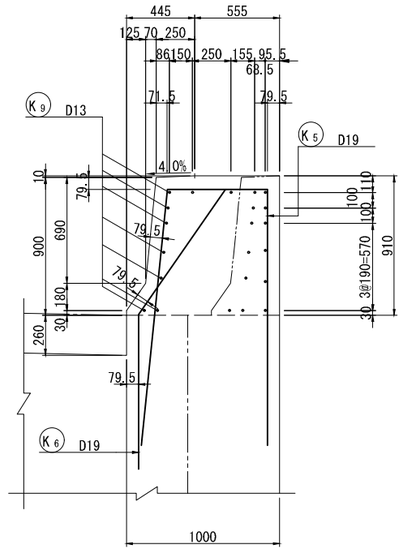
断面図　S=1:10



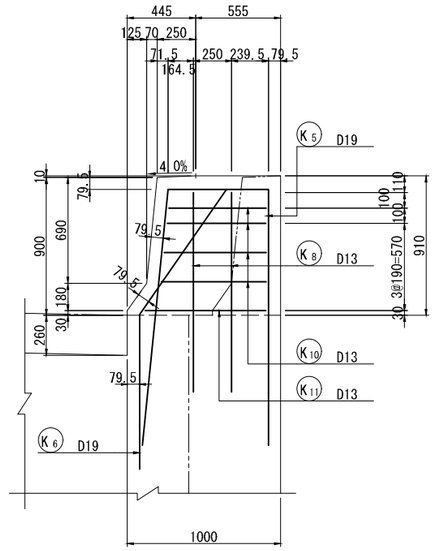
1 - 1



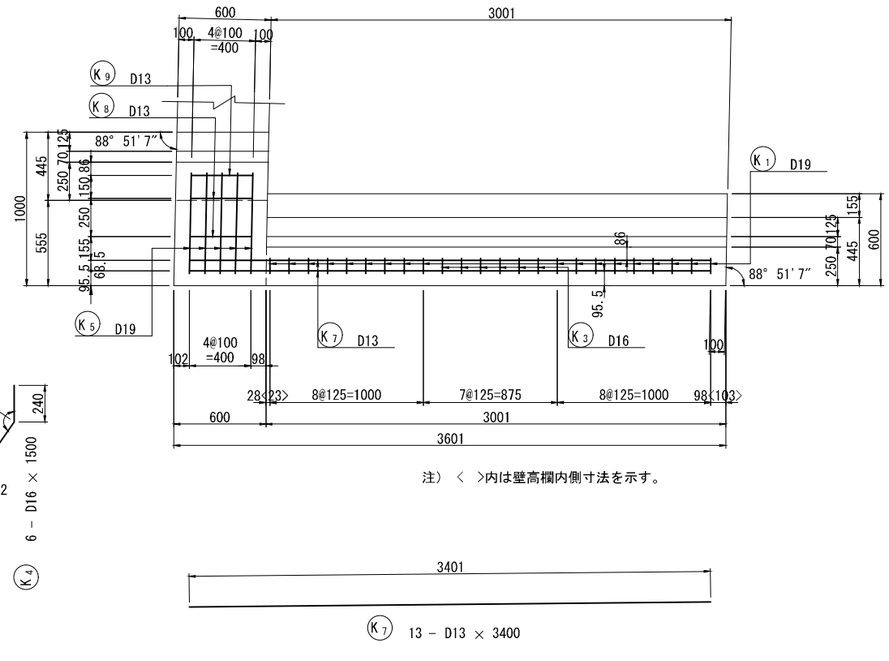
2 - 2



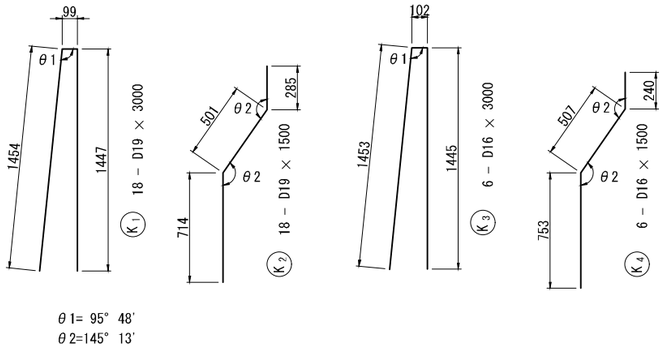
3 - 3



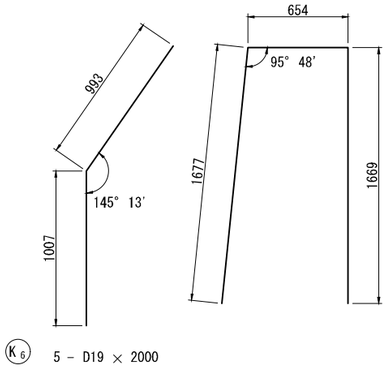
平面図

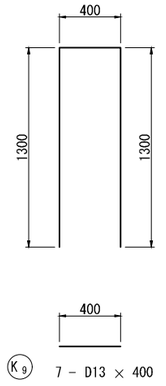


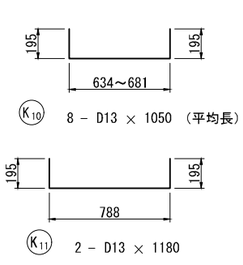
注) 〈 〉内は壁高欄内側寸法を示す。



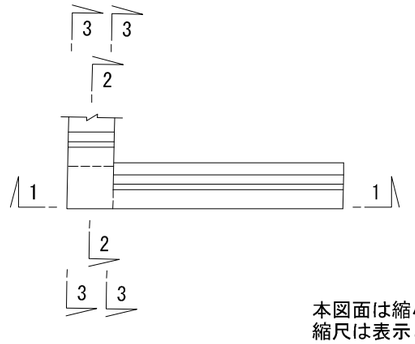
θ1= 95° 48'
θ2=145° 13'







マーク図



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事
図面名	A2橋台 改築配筋図(その7)
作成年月日	令和 7 年 11 月 日
縮尺	図示 / 図面番号 35 / 64
会社名	株式会社 長大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

A2橋台 改築配筋図(その8)

鉄筋質量表 (下部工施工)

符号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
P 1	D22	1220	30	3.04	3.71	111	【30】
2	〃	2500	1	〃	7.60	8	
3	〃	2770	4	〃	8.42	34	〃 (平均長)
4	〃	720	30	〃	2.19	66	<30> 【30】
5	〃	2000	1	〃	6.08	6	〃 <1>
6	〃	2270	5	〃	6.90	35	〃 <5> (平均長)
7	D16	8490	2	1.56	13.24	26	
8	〃	1280	7	〃	2.00	14	【7】
9	〃	1000	7	〃	1.56	11	【7】
10	D13	690	1	0.995	0.69	1	
11	〃	1000	1	〃	1.00	1	【1】
12	D16	1520	1	1.56	2.37	2	
						315 kg	
※ P° 1	D13	530	3	0.995	0.53	2	(3)
						2 kg	
E 1	D16	2450	3	1.56	3.82	11	
2	D13	1000	5	0.995	1.00	5	【5】
						16 kg	
A 1	D16	5070	35	1.56	7.91	277	<35> (平均長)
2	D13	8690	19	0.995	8.65	164	
3	〃	8690	2	〃	8.65	17	〃 (平均長)
4	〃	8690	1	〃	8.65	9	
5	D16	4840	2	1.56	7.55	15	(平均長)
6	〃	4680	2	〃	7.30	15	〃 (平均長)
7	D13	760	21	0.995	0.76	16	
8	〃	760	19	〃	0.76	14	
						527 kg	
B 1	D25	1200	128	3.98	4.78	612	<128>
						612 kg	
S 1	D16	2710	37	1.56	4.23	157	<37>
2	〃	2470	2	〃	3.85	8	
3	〃	9320	4	〃	14.54	58	
4-1	〃	4000	2	〃	6.24	12	<2>
4-2	〃	6000	2	〃	9.36	19	<2>
5-1	〃	6000	2	〃	9.36	19	<2>
5-2	〃	4000	2	〃	6.24	12	<2>
6	〃	8650	1	〃	13.49	13	
						298 kg	
※ S° 1	D16	1960	37	1.56	3.06	113	(37)
						113 kg	
H 1	D16	2400	26	1.56	3.74	97	<26> (平均長)
2-1	〃	1070	2	〃	1.67	3	≪2≫<2> (平均長)
2-2	〃	2310	2	〃	3.60	7	<2> (平均長)
3-1	〃	2280	2	〃	3.56	7	≪2≫<2> (平均長)
3-2	〃	1110	2	〃	1.73	3	<2> (平均長)
4	〃	3180	6	〃	4.96	30	
5	〃	3160	2	〃	4.93	10	〃
6	〃	2720	2	〃	4.24	8	〃
7	〃	3340	4	〃	5.21	21	
						186 kg	

符号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
W 1	D25	1510	13	3.98	6.01	78	(平均長)
2	D16	3710	14	1.56	5.79	81	
3	〃	3710	2	〃	5.79	12	
4	〃	3610	7	〃	5.63	39	
5	〃	3610	2	〃	5.63	11	〃
6	D13	750	13	0.995	0.75	10	
7	〃	790	8	〃	0.79	6	
8	D16	1670	1	1.56	2.61	3	
						240 kg	
W° 1	D13	820	12	0.995	0.82	10	
						10 kg	
K 1	D19	3000	18	2.25	6.75	122	
2	〃	1500	18	〃	3.38	61	
3	D16	3000	6	1.56	4.68	28	
4	〃	1500	6	〃	2.34	14	
5	D19	4000	5	2.25	9.00	45	
6	〃	2000	5	〃	4.50	23	
7	D13	3400	13	0.995	3.38	44	
8	〃	3000	2	〃	2.99	6	
9	〃	400	7	〃	0.40	3	
10	〃	1050	8	〃	1.04	8	(平均長)
11	〃	1180	2	〃	1.17	2	〃
						356 kg	

下部工施工 鉄筋質量合計

		機械継手	機械式鉄筋定着	フレアー溶接	樹脂アンカー
D25	690 kg				<128>
D22	260 〃	【60】			<36>
D19	251 〃				
D16	1156 〃	【14】	(37)	≪4≫	<114>
D13	318 〃	【6】	(3)		
合 計	2675 kg	【80】	(40)	≪4≫	<278>

注) 【 】は機械継手、( )は機械式鉄筋定着、[ ]はエンクローズ溶接、
≪≫はフレアー溶接、< >は樹脂アンカーの箇所数を示す。

鉄筋質量表 (上部工施工)(別途施工)

符号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
SP 1	D22	1280	30	3.04	3.89	117	
2	〃	1280	30	〃	3.89	117	〃
3	D16	7210	7	1.56	11.25	79	
4	〃	7210	7	〃	11.25	79	〃
5	D13	690	30	0.995	0.69	21	
6	〃	7210	1	〃	7.17	7	
						420 kg	
※ SP° 1	D13	530	45	0.995	0.53	24	(45)
						24 kg	
U 1	D16	930	30	1.56	1.45	44	
2	〃	670	1	〃	1.05	1	
3	〃	190	1	〃	0.30	1	〔1〕
						46 kg	
SE 1	D16	2450	31	1.56	3.82	118	
2	D13	7260	5	0.995	7.22	36	
3	D22	500	14	3.04	1.52	21	
4	D13	830	1	0.995	0.83	1	
5	〃	1270	1	〃	1.26	1	
6	〃	1090	1	〃	1.08	1	〃
						178 kg	
SD 1	D16	680	1	1.56	1.06	1	<1>
2	〃	610	1	〃	0.95	1	<1>
3	D13	700	2	0.995	0.70	1	
4	〃	800	1	〃	0.80	1	
						4 kg	

上部工施工 鉄筋質量合計

		機械式鉄筋定着	樹脂アンカー	あと施工アンカー
D22	255 kg			
D16	324 〃		<2>	〔1〕
D13	93 〃	(45)		
合 計	672 kg			

注) ( )は機械式鉄筋定着、< >は樹脂アンカー、〔 〕はあと施工アンカーの
箇所数を示す。

機械式鉄筋定着工法数量表 (下部工施工)

鉄筋径	箇所数					
	0<L≦1m	1m<L≦2m	2m<L≦3m	3m<L≦4m	4m<L≦5m	5m<L≦6m
D25	—	—	—	—	—	—
D22	—	—	—	—	—	—
D19	—	—	—	—	—	—
D16	—	37	—	—	—	—
D13	3	—	—	—	—	—
小 計	3	37	—	—	—	—
合 計	40					

機械式鉄筋定着工法数量表 (上部工施工)(別途施工)

鉄筋径	箇所数					
	0<L≦1m	1m<L≦2m	2m<L≦3m	3m<L≦4m	4m<L≦5m	5m<L≦6m
D25	—	—	—	—	—	—
D22	—	—	—	—	—	—
D19	—	—	—	—	—	—
D16	—	—	—	—	—	—
D13	45	—	—	—	—	—
小 計	45	—	—	—	—	—
合 計	45					

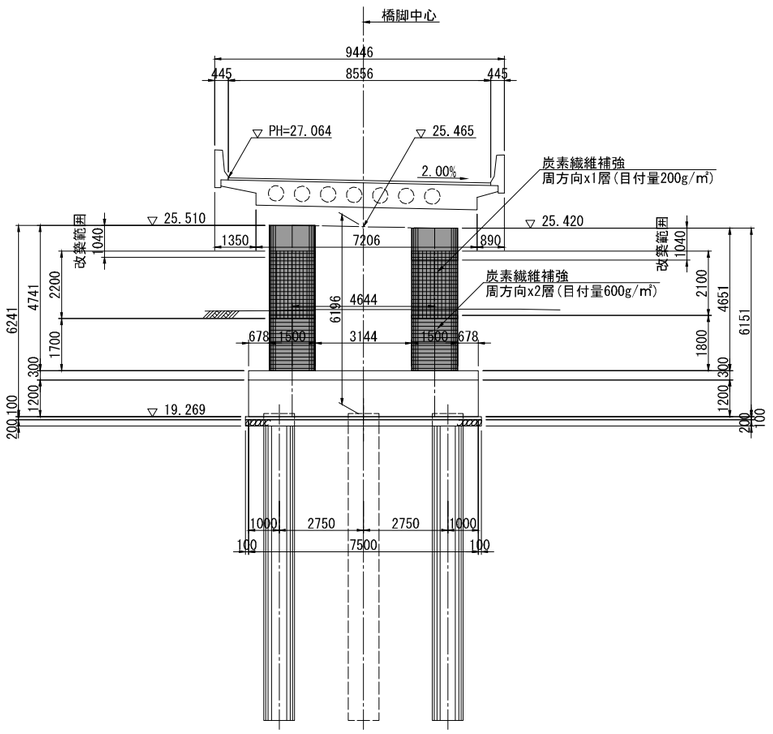
注) 1. ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準等を満足すること。
(1) 道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
(2) 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体
と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
2. この図面の機械式定着工法は参考図であり製品を指定
するものではない。
3. ※印表記の鉄筋長は、採用した機械式鉄筋定着工法に
応じて適宜調整すること。
3. 機械継手を使用する鉄筋の鉄筋長は使用する機械継手
の製品に応じて適宜調整すること。
4. 既設コンクリートの表面は十分な下地処理を行い、
新旧コンクリートの一体化を図ること。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

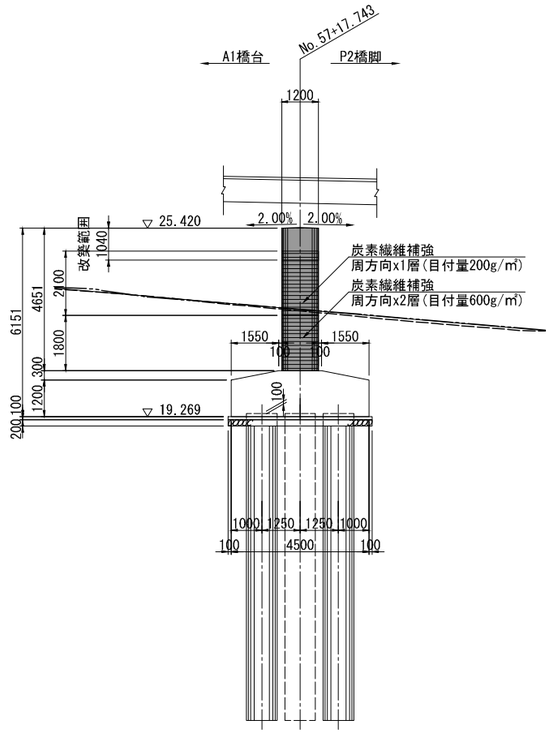
工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	A2橋台 改築配筋図(その8)		
作成年月日	令 和 7 年 11 月 日		
縮 尺	---	図面番号	36 ／ 64
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

P1橋脚 炭素繊維補強詳細図 S=1:100

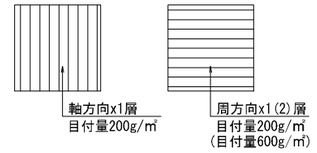
正 面 図



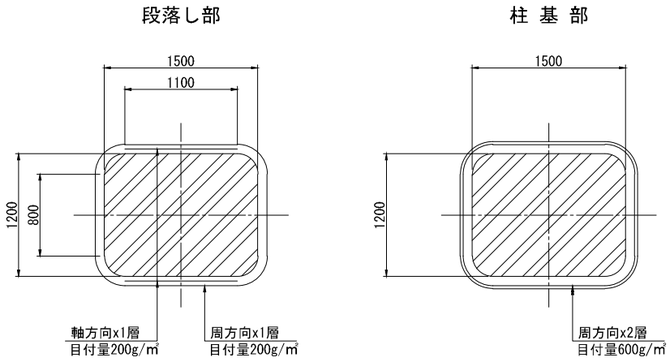
側 面 図



炭素繊維方向詳細図



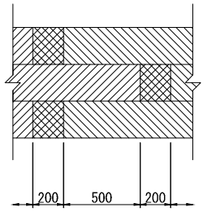
柱断面詳細図 S=1:30



炭素繊維シートの種類

シート区分	高強度	高強度
繊維目付量	200g/m^2	600g/m^2
厚 さ	0.111mm	0.333mm
引 張 強 度	3400N/mm^2	3400N/mm^2
引張弾性係数	2.45×10^{5}N/mm^2	2.45×10^{5}N/mm^2
破断伸度	1.5 %	1.5 %

炭素繊維重ね継ぎ手詳細図 S=1:20

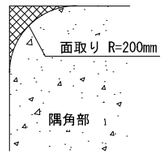


横方向

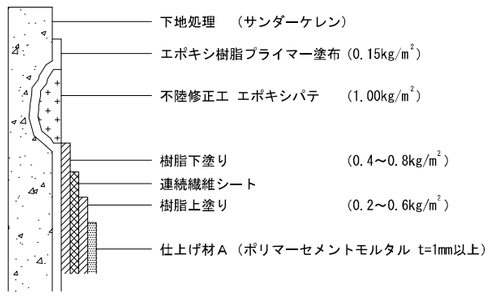
・炭素繊維の重ね継ぎ手長は２０cmとする。なお、上下または左右に継ぎ合わせる炭素繊維の先行・後行は問わない。施工順序に合わせて決めること。

・隣り合う炭素繊維や重ねる炭素繊維の継ぎ手位置は５０cm以上離すものとする。

繊維シート コーナー処理図



繊維シート施工断面図



数量表

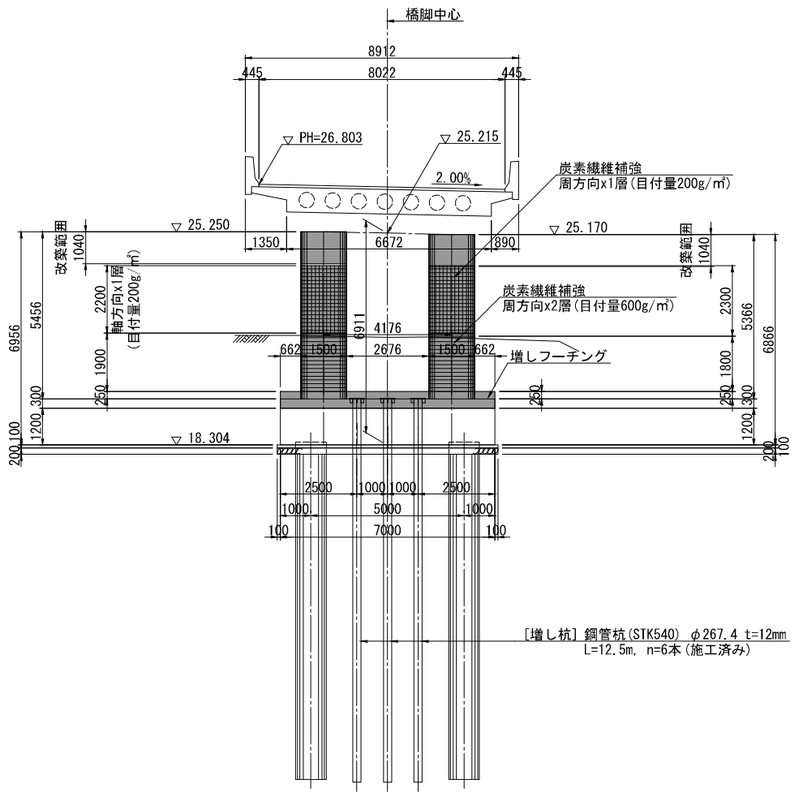
項 目		単位	数 量	備 考
下地処理		m^2	39.4	
エポキシ樹脂プライマー		m^2	39.4	0.15kg/m^2
不陸修正		m^2	39.4	1.00kg/m^2
繊維材シート	目付量 200g/m^2	m^2	30.9	柱・軸、周方向 1層 含浸接着樹脂 0.6kg/m^2
	目付量 600g/m^2	m^2	36.4	柱・周方向 2層 含浸接着樹脂 1.2kg/m^2
仕上げ材	仕上げ材A	m^2	39.4	厚さ 1mm

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

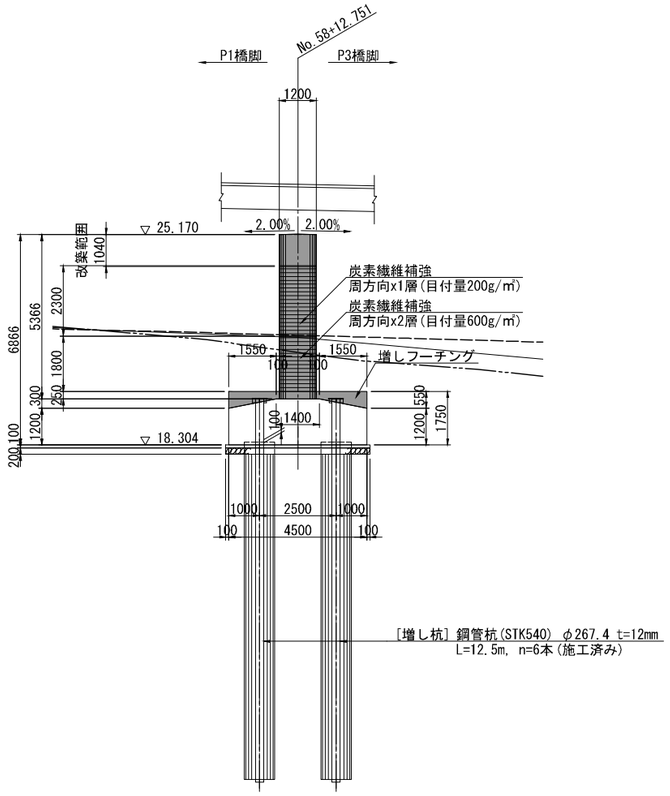
工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	P1橋脚 炭素繊維補強詳細図		
作成年月日	令 和 7 年 11 月 日		
縮 尺	図 示	図面番号	37 ／ 64
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

P2橋脚 炭素繊維補強詳細図 S=1:100

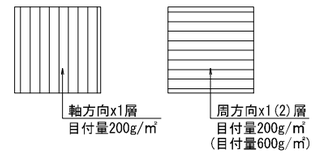
正 面 図



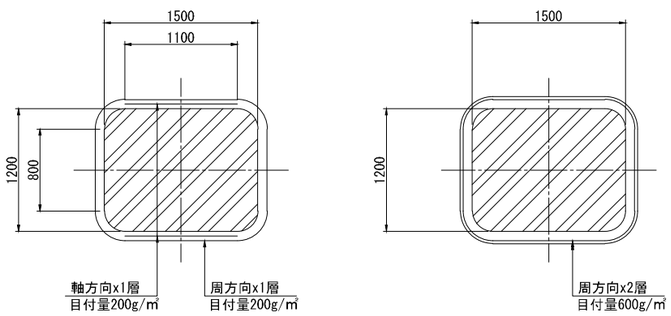
側 面 図



炭素繊維方向詳細図



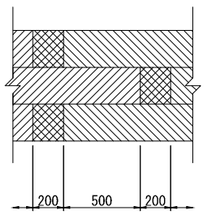
柱断面詳細図 S=1:30



炭素繊維シートの種類

シート区分	高強度	高強度
繊維目付量	200g/m^2	600g/m^2
厚 さ	0.111mm	0.333mm
引 張 強 度	3400N/mm^2	3400N/mm^2
引張弾性係数	2.45×10^{5}N/mm^2	2.45×10^{5}N/mm^2
破断伸度	1.5 %	1.5 %

炭素繊維重ね継ぎ手詳細図 S=1:20

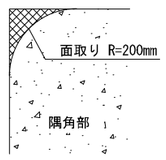


横方向

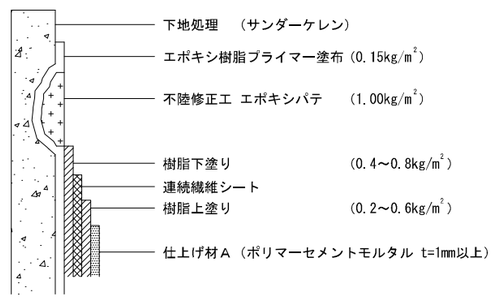
・炭素繊維の重ね継ぎ手長は２０cmとする。なお、上下または左右に継ぎ合わせる炭素繊維の先行・後行は問わない。施工順序に合わせて決めること。

・隣り合う炭素繊維や重ねる炭素繊維の継ぎ手位置は５０cm以上離すものとする。

繊維シート コーナー処理図



繊維シート施工断面図



数量表

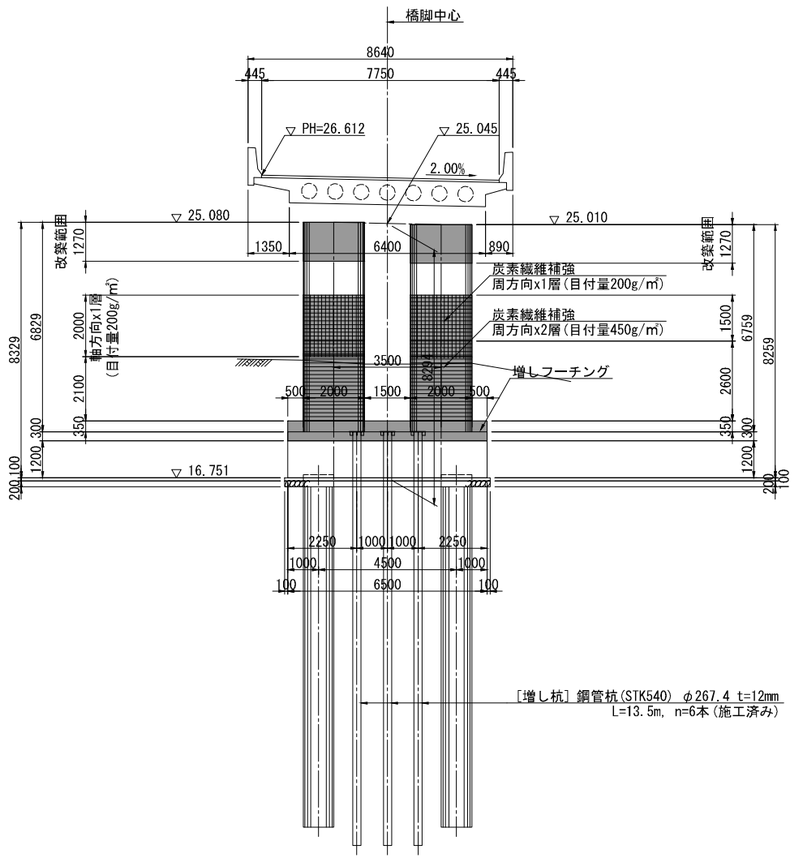
項 目		単位	数 量	備 考
下地処理		m^2	41.5	
エポキシ樹脂プライマー		m^2	41.5	0.15kg/m^2
不陸修正		m^2	41.5	1.00kg/m^2
繊維材シート	目付量 200g/m^2	m^2	32.9	柱・軸、周方向 1層 含浸接着樹脂 0.6kg/m^2
	目付量 600g/m^2	m^2	36.4	柱・周方向 2層 含浸接着樹脂 1.2kg/m^2
仕上げ材	仕上げ材A	m^2	41.5	厚さ 1mm

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

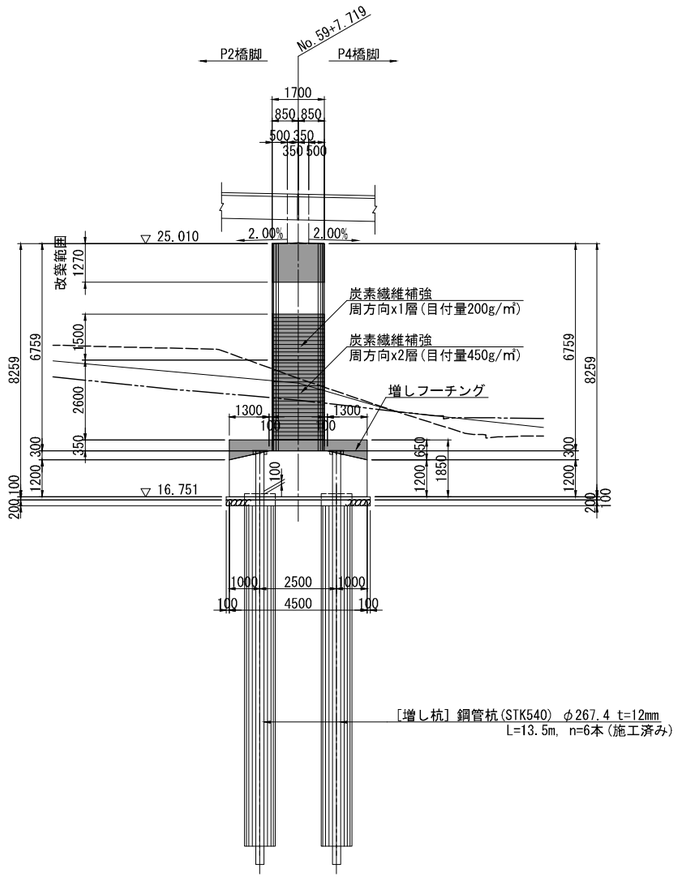
工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	P2橋脚 炭素繊維補強詳細図		
作成年月日	令 和 7 年 11 月 日		
縮 尺	図 示	図面番号	38 ／ 64
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

P3橋脚 炭素繊維補強詳細図 S=1:100

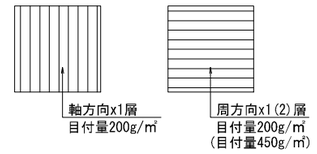
正 面 図



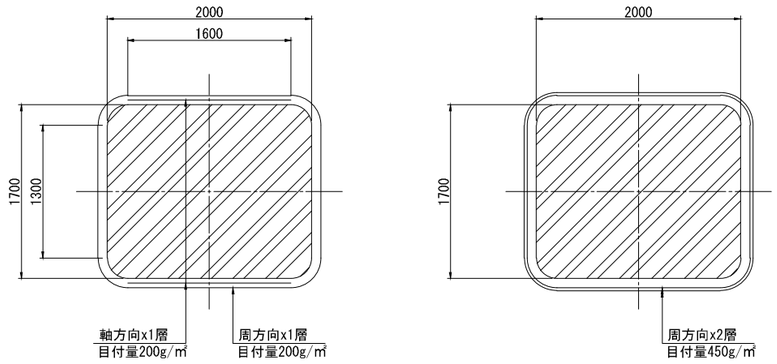
側 面 図



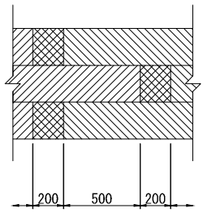
炭素繊維方向詳細図



柱断面詳細図 S=1:30



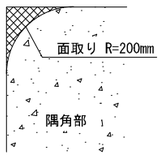
炭素繊維重ね継ぎ手詳細図 S=1:20



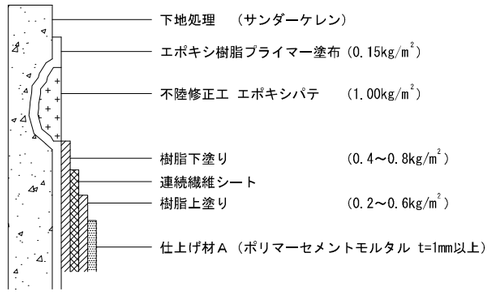
・炭素繊維の重ね継ぎ手長は２０cmとする。なお、上下または左右に継ぎ合わせる炭素繊維の先行・後行は問わない。施工順序に合わせて決めること。

・隣り合う炭素繊維や重ねる炭素繊維の継ぎ手位置は５０cm以上離すものとする。

繊維シート コーナー処理図



繊維シート施工断面図



炭素繊維シートの種類

シート区分	高強度	高強度
繊維目付量	200g/m²	450g/m²
厚 さ	0.111mm	0.250mm
引 張 強 度	3400N/mm²	3400N/mm²
引張弾性係数	2.45×10⁵N/mm²	2.45×10⁵N/mm²
破断伸度	1.5 %	1.5 %

数量表

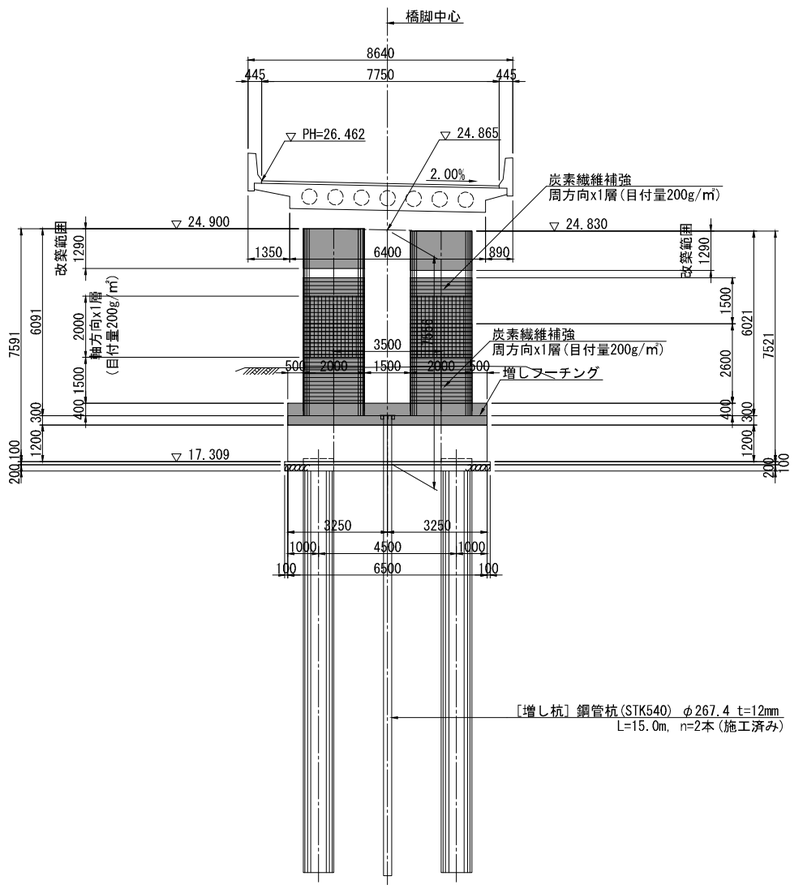
項 目		単位	数 量	備 考
下地処理		m²	57.9	
エポキシ樹脂プライマー		m²	57.9	0.15kg/m²
不陸修正		m²	57.9	1.00kg/m²
繊維材シート	目付量 200g/m²	m²	34.0	柱・軸、周方向 1層 含浸接着樹脂 0.6kg/m²
	目付量 450g/m²	m²	73.4	柱・周方向 2層 含浸接着樹脂 1.05kg/m²
仕上げ材	仕上げ材A	m²	57.9	厚さ 1mm

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

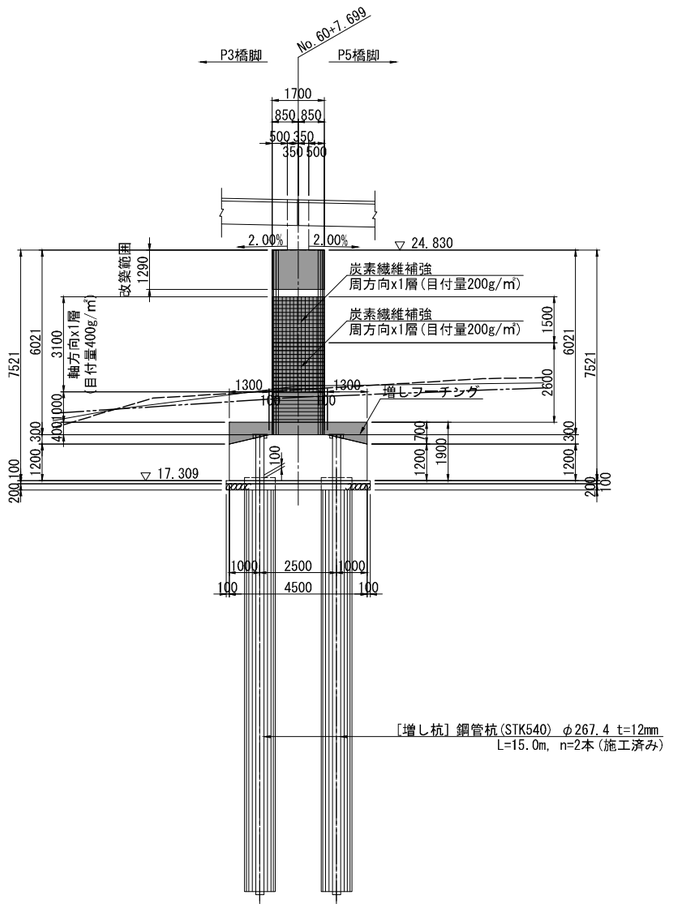
工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	P3橋脚 炭素繊維補強詳細図		
作成年月日	令 和 7 年 11 月 日		
縮 尺	図 示	図面番号	39 ／ 64
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

P4橋脚 炭素繊維補強詳細図 S=1:100

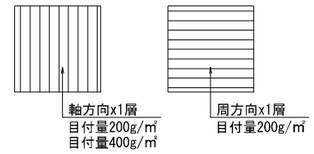
正 面 図



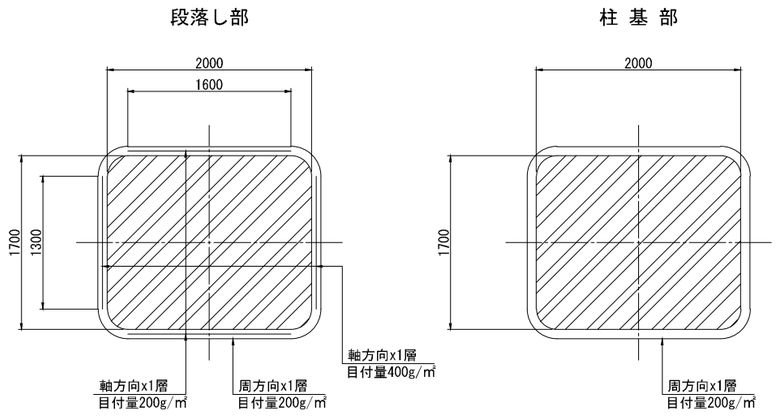
側 面 図



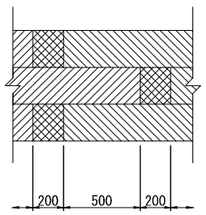
炭素繊維方向詳細図



柱断面詳細図 S=1:30



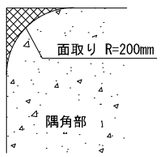
炭素繊維重ね継ぎ手詳細図 S=1:20



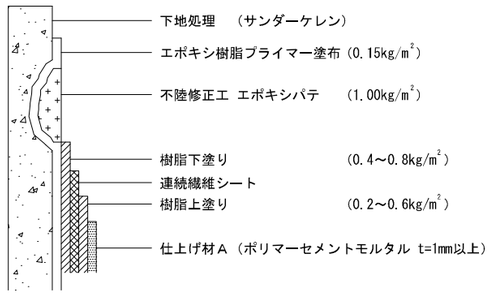
・炭素繊維の重ね継ぎ手長は２０cmとする。なお、上下または左右に継ぎ合わせる炭素繊維の先行・後行は問わない。施工順序に合わせて決めること。

・隣り合う炭素繊維や重ねる炭素繊維の継ぎ手位置は５０cm以上離すものとする。

繊維シート コーナー処理図



繊維シート施工断面図



炭素繊維シートの種類

シート区分	高強度	高強度
繊維目付量	200g/m²	400g/m²
厚 さ	0.111mm	0.222mm
引 張 強 度	3400N/mm²	3400N/mm²
引張弾性係数	2.45×10⁵N/mm²	2.45×10⁵N/mm²
破断伸度	1.5 %	1.5 %

数量表

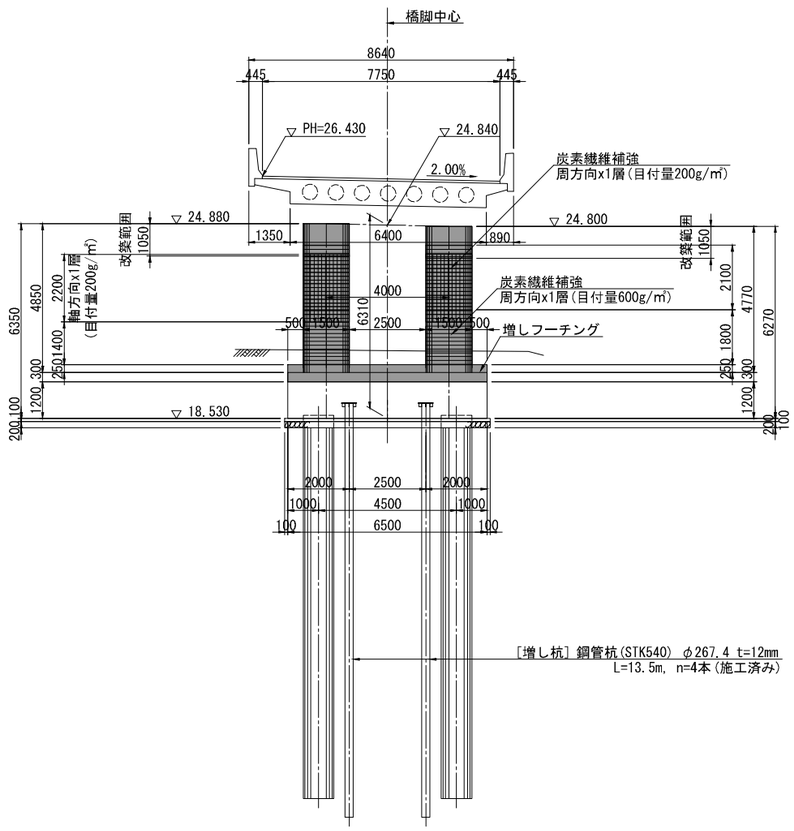
項 目		単位	数 量	備 考
下地処理		m²	57.9	
エポキシ樹脂プライマー		m²	57.9	0.15kg/m²
不陸修正		m²	57.9	1.00kg/m²
繊維材シート	目付量 200g/m²	m²	70.7	柱・軸、周方向 1層 含浸接着樹脂 0.6kg/m²
	目付量 400g/m²	m²	16.1	柱・軸方向 1層 含浸接着樹脂 1.0kg/m
仕上げ材	仕上げ材A	m²	57.9	厚さ 1mm

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

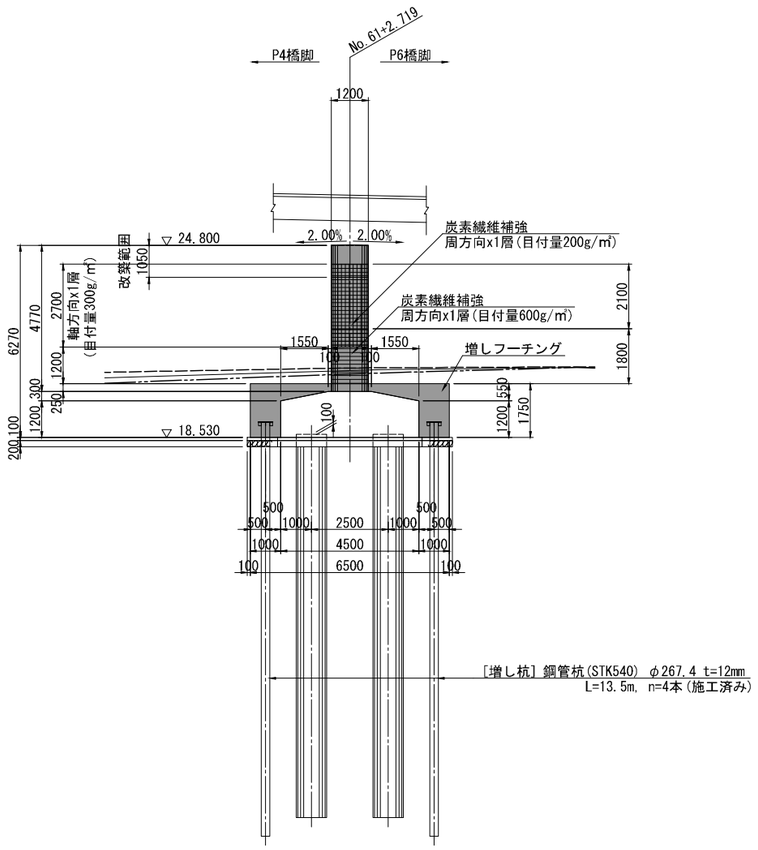
工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	P4橋脚 炭素繊維補強詳細図		
作成年月日	令 和 7 年 11 月 日		
縮 尺	図 示	図面番号	40 ／ 64
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

P5橋脚 炭素繊維補強詳細図 S=1:100

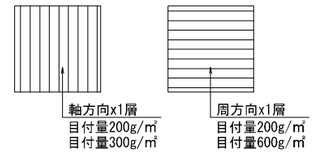
正 面 図



側 面 図

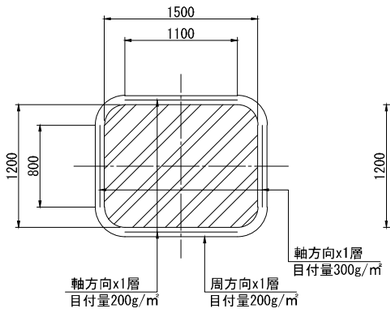


炭素繊維方向詳細図

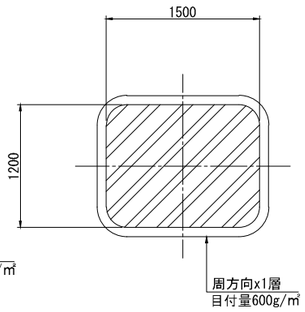


柱断面詳細図 S=1:30

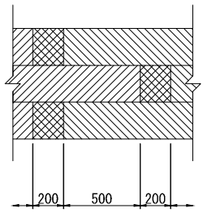
段落し部



柱 基 部



炭素繊維重ね継ぎ手詳細図 S=1:20

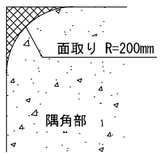


横方向

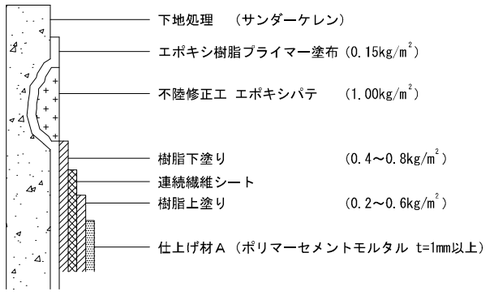
・炭素繊維の重ね継ぎ手長は２０cmとする。なお、上下または左右に継ぎ合わせる炭素繊維の先行・後行は問わない。施工順序に合わせて決めること。

・隣り合う炭素繊維や重ねる炭素繊維の継ぎ手位置は５０cm以上離すものとする。

繊維シート コーナー処理図



繊維シート施工断面図



炭素繊維シートの種類

シート区分	高強度	高強度	高強度
繊維目付量	200g/m²	300g/m²	600g/m²
厚 さ	0.111mm	0.167mm	0.333mm
引 張 強 度	3400N/mm²	3400N/mm²	3400N/mm²
引張弾性係数	2.45×10⁵N/mm²	2.45×10⁵N/mm²	2.45×10⁵N/mm²
破断伸度	1.5 %	1.5 %	1.5 %

数量表

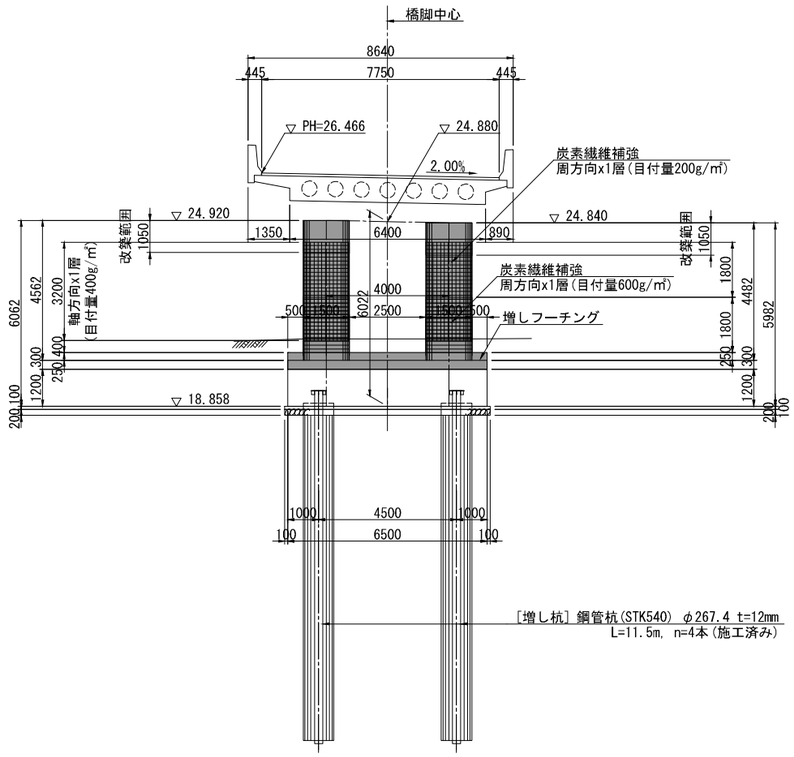
項 目		単位	数 量	備 考
下地処理		m²	39.4	
エポキシ樹脂プライマー		m²	39.4	0.15kg/m²
不陸修正		m²	39.4	1.00kg/m²
繊維材シート	目付量 200g/m²	m²	30.9	柱・軸、周方向 1層 含浸接着樹脂 0.6kg/m²
	目付量 300g/m²	m²	8.6	柱・軸方向 1層 含浸接着樹脂 0.8kg/m²
	目付量 600g/m²	m²	18.2	柱・周方向 1層 含浸接着樹脂 1.2kg/m
仕上げ材	仕上げ材A	m²	39.4	厚さ 1mm

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

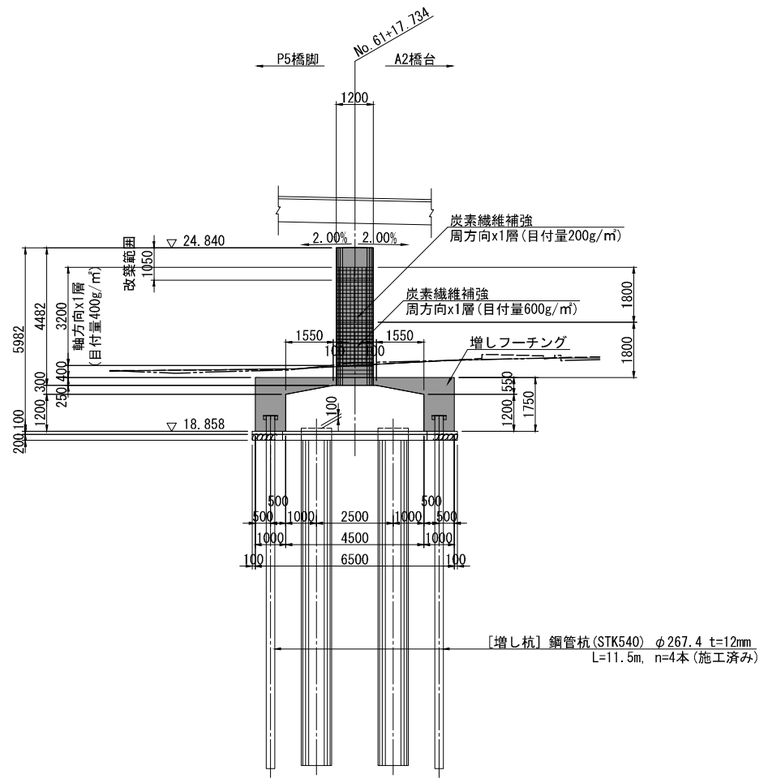
工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事
図面名	P5橋脚 炭素繊維補強詳細図
作成年月日	令 和 7 年 11 月 日
縮 尺	図 示
図面番号	41 ／ 64
会社名	株式会社 長 大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

P6橋脚 炭素繊維補強詳細図 S=1:100

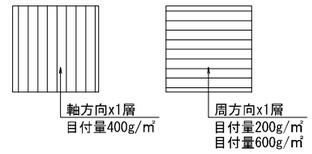
正 面 図



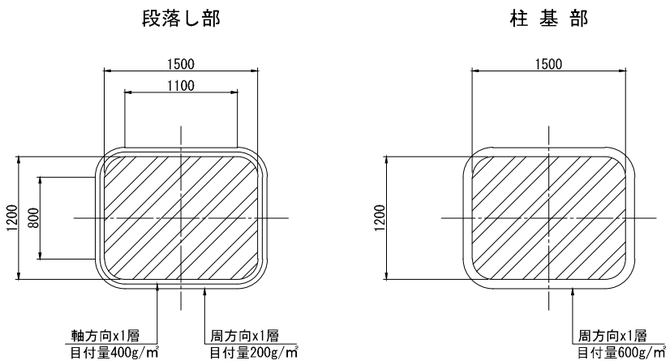
側 面 図



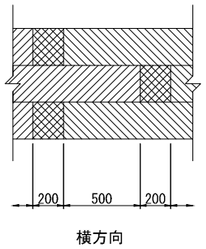
炭素繊維方向詳細図



柱断面詳細図 S=1:30



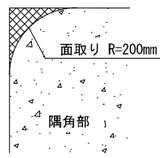
炭素繊維重ね継ぎ手詳細図 S=1:20



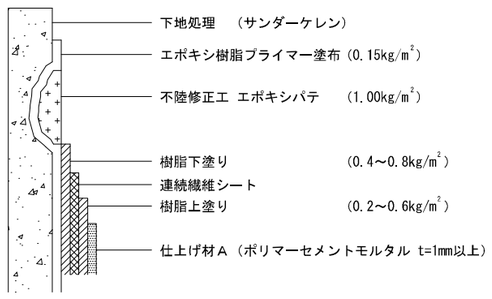
・炭素繊維の重ね継ぎ手長は２０cmとする。なお、上下または左右に継ぎ合わせる炭素繊維の先行・後行は問わない。施工順序に合わせて決めること。

・隣り合う炭素繊維や重ねる炭素繊維の継ぎ手位置は５０cm以上離すものとする。

繊維シート コーナー処理図



繊維シート施工断面図



炭素繊維シートの種類

シート区分	高強度	高強度	高強度
繊維目付量	200g/m²	400g/m²	600g/m²
厚 さ	0.111mm	0.222mm	0.333mm
引 張 強 度	3400N/mm²	3400N/mm²	3400N/mm²
引張弾性係数	2.45×10⁵N/mm²	2.45×10⁵N/mm²	2.45×10⁵N/mm²
破断伸度	1.5 %	1.5 %	1.5 %

数量表

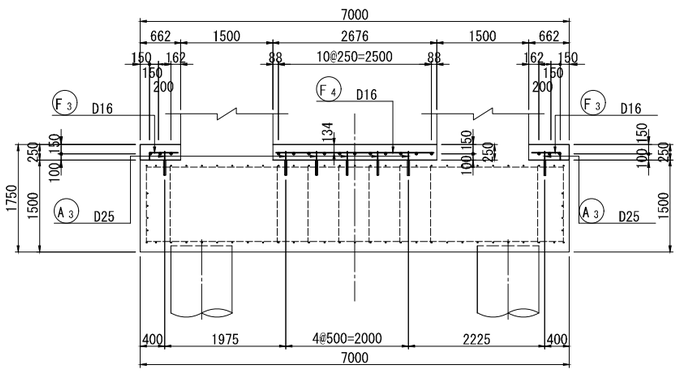
項 目		単位	数 量	備 考
下地処理		m²	36.4	
エポキシ樹脂プライマー		m²	36.4	0.15kg/m²
不陸修正		m²	36.4	1.00kg/m²
繊維材シート	目付量 200g/m²	m²	18.2	柱・周方向 1層 含浸接着樹脂 0.6kg/m²
	目付量 400g/m²	m²	32.4	柱・軸方向 1層 含浸接着樹脂 1.0kg/m²
	目付量 600g/m²	m²	18.2	柱・周方向 1層 含浸接着樹脂 1.2kg/m
仕上げ材	仕上げ材A	m²	36.4	厚さ 1mm

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

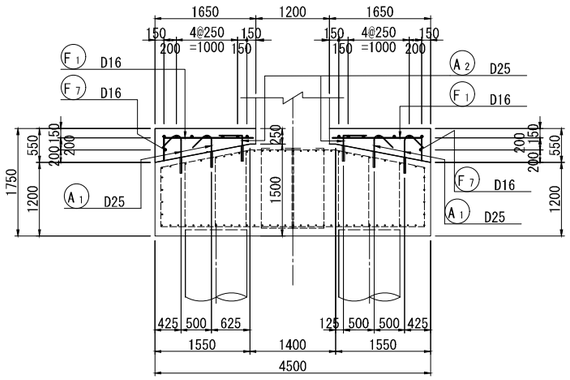
工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	P6橋脚 炭素繊維補強詳細図		
作成年月日	令 和 7 年 11 月 日		
縮 尺	図 示	図面番号	42 ／ 64
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

P2橋脚 基礎補強配筋図(その1) S=1:50

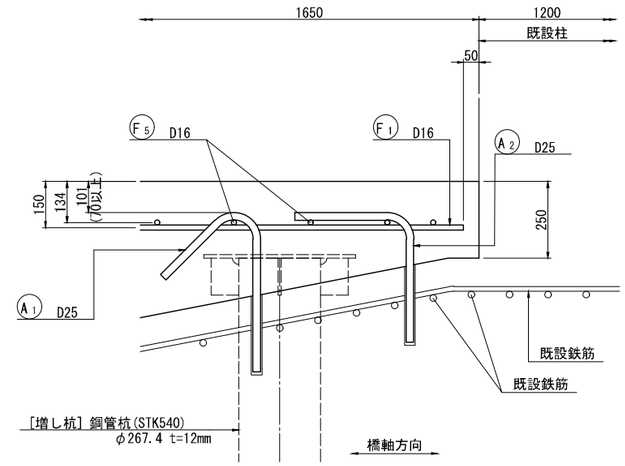
1 － 1



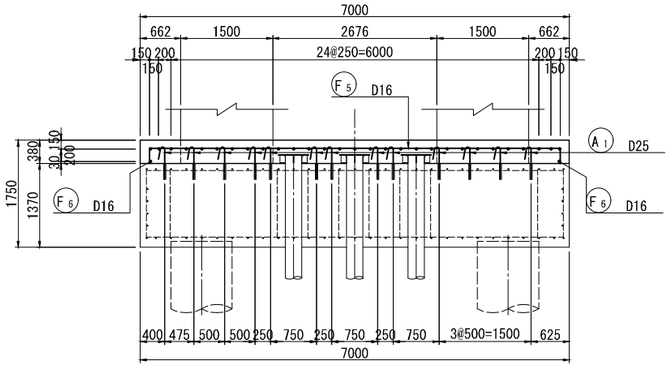
3 － 3



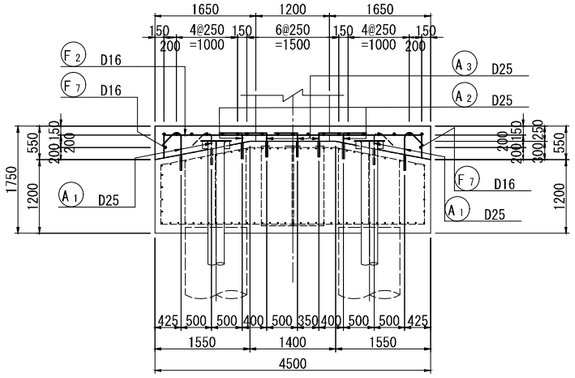
かぶり詳細図 S=1:10



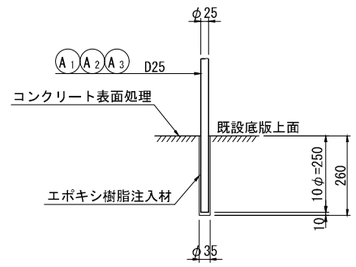
2 － 2



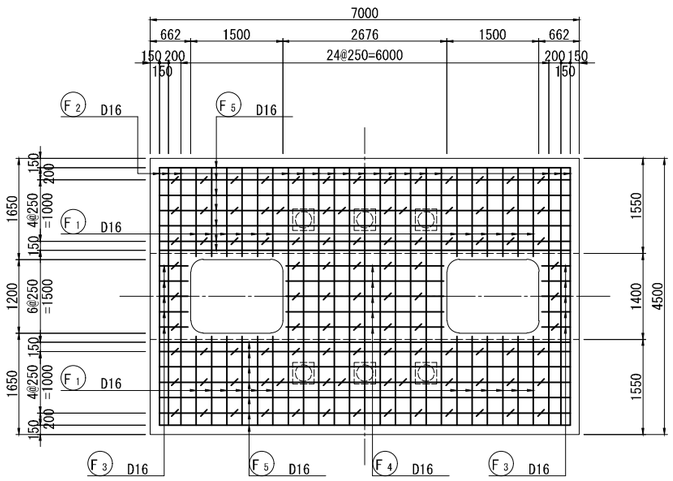
4 － 4



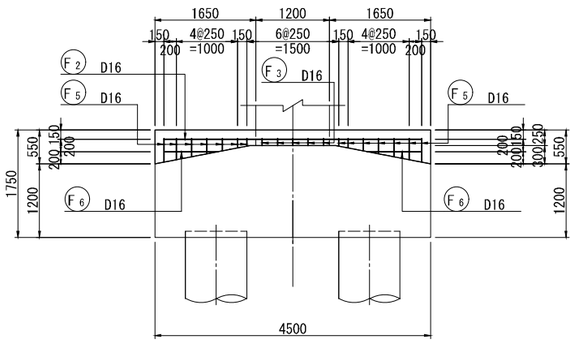
ずれ止めアンカー詳細図 S=1:10



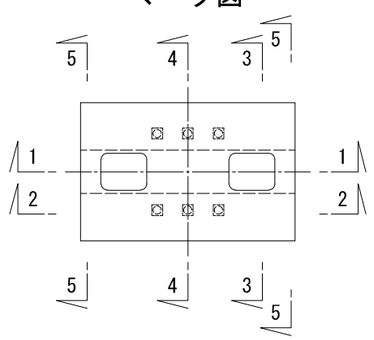
平 面 図



5 － 5



マーク図



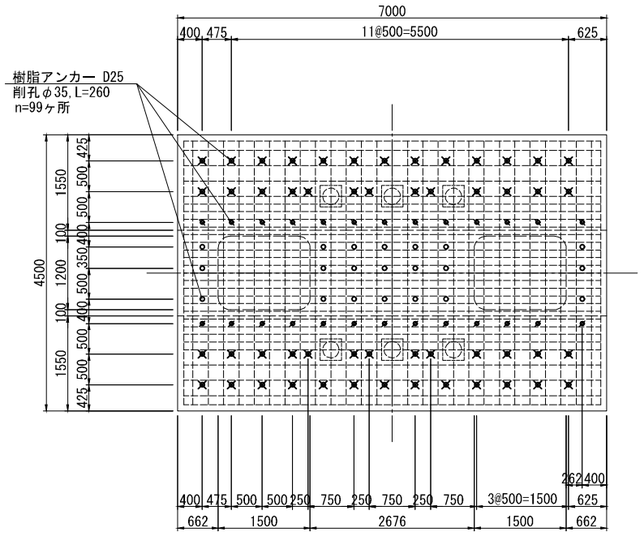
注）1. フーチングに設置するずれ止めアンカーは既設鉄筋と干渉しないよう、施工の際は事前調査を行った上、本図と異なる場合には必要に応じて見直しを行うこと。なお、既設鉄筋は切断しないこと。
2. 細破線は、既設の鉄筋配置を示す。
3. 既設コンクリートの表面は十分な下地処理を行い、新旧コンクリートの一体化を図ること。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	P2橋脚 基礎補強配筋図(その1)		
作成年月日	令 和 7 年 11 月 日		
縮 尺	図 示	図面番号	43 ／ 64
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

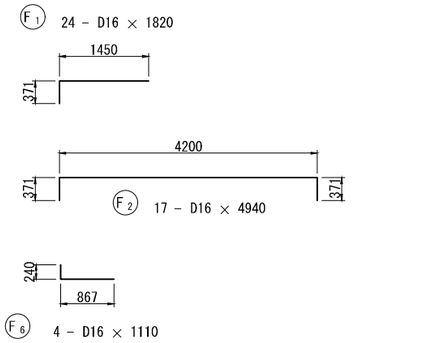
P2橋脚 基礎補強配筋図(その2)　S=1:50

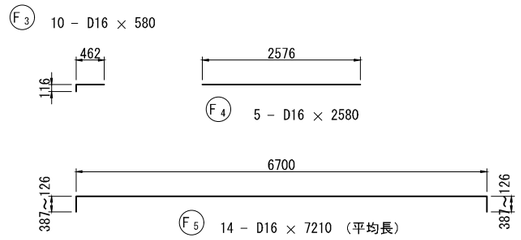
ずれ止めアンカー配置図

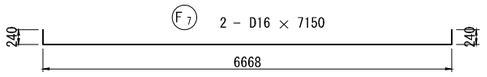


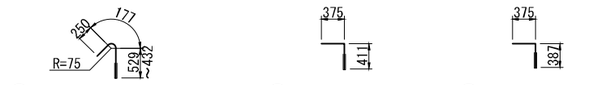
凡　例

記号	鉄筋番号
⊠	A1
⌀	A2
○	A3









鉄筋質量表

符号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
F 1	D16	1820	24	1.56	2.84	68	
2	〃	4940	17	〃	7.71	131	
3	〃	580	10	〃	0.90	9	
4	〃	2580	5	〃	4.02	20	
5	〃	7210	14	〃	11.25	158	（平均長）
6	〃	1110	4	〃	1.73	7	
7	〃	7150	2	〃	11.15	22	
						415 kg	
A 1	D25	910	52	3.98	3.62	188	〈52〉（平均長）
2	〃	790	26	〃	3.14	82	〈26〉
3	〃	760	21	〃	3.02	63	〃 〈21〉
						333 kg	

樹脂アンカー箇所数

D25	333 kg	〈99〉
D16	415 〃	
合 計	748 kg	〈99〉

注）〈　〉は樹脂アンカーの箇所数を示す。

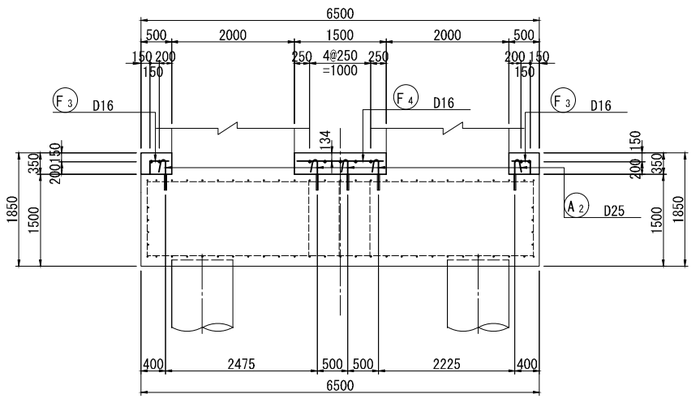
注）1. フーチングに設置するずれ止めアンカーは既設鉄筋と干渉しないよう、施工の際は事前調査を行った上、本図と異なる場合には必要に応じて見直しを行うこと。なお、既設鉄筋は切断しないこと。
2. 細破線は、既設の鉄筋配置を示す。
3. 既設コンクリートの表面は十分な下地処理を行い、新旧コンクリートの一体化を図ること。

工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	P2橋脚 基礎補強配筋図(その2)		
作成年月日	令 和 7 年 11 月　日		
縮　尺	1:50	図面番号	44 ／ 64
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

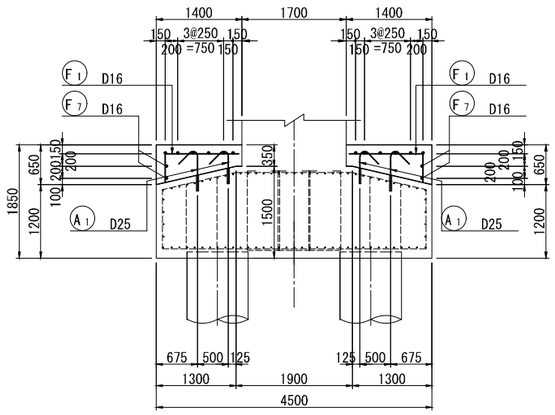
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

P3橋脚 基礎補強配筋図(その1) S=1:50

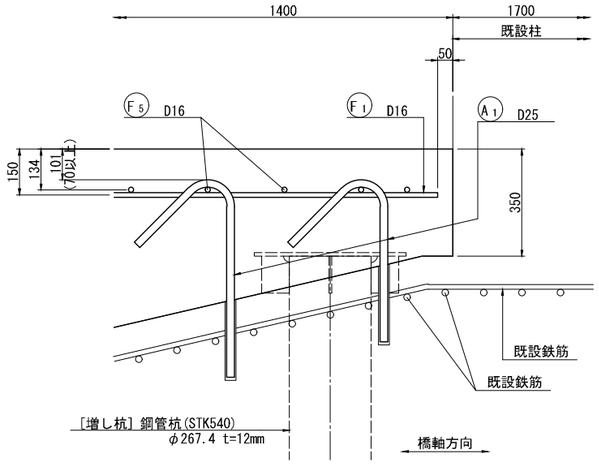
1 － 1



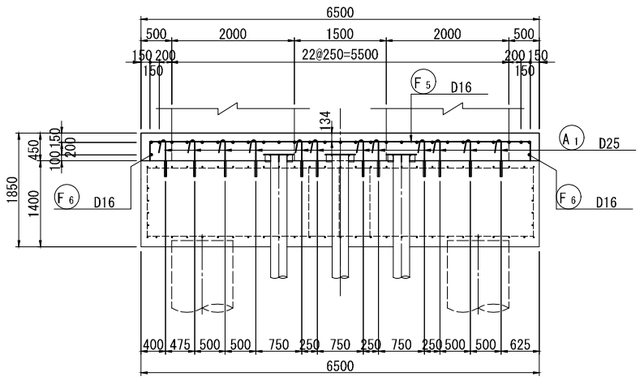
3 － 3



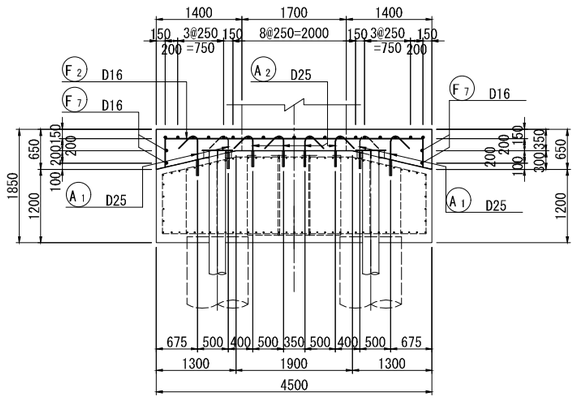
かぶり詳細図 S=1:10



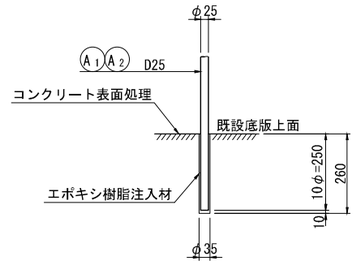
2 － 2



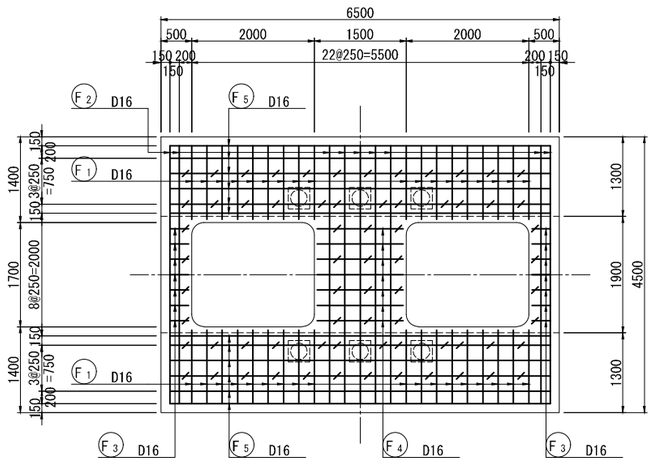
4 － 4



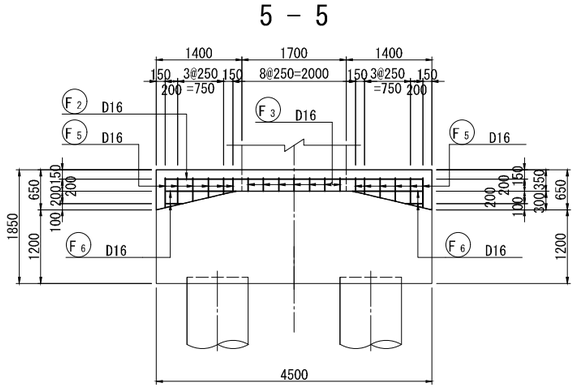
ずれ止めアンカー詳細図 S=1:10



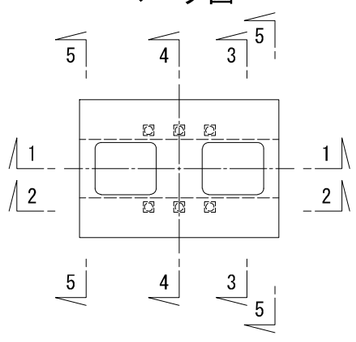
平 面 図



5 － 5



マーク図



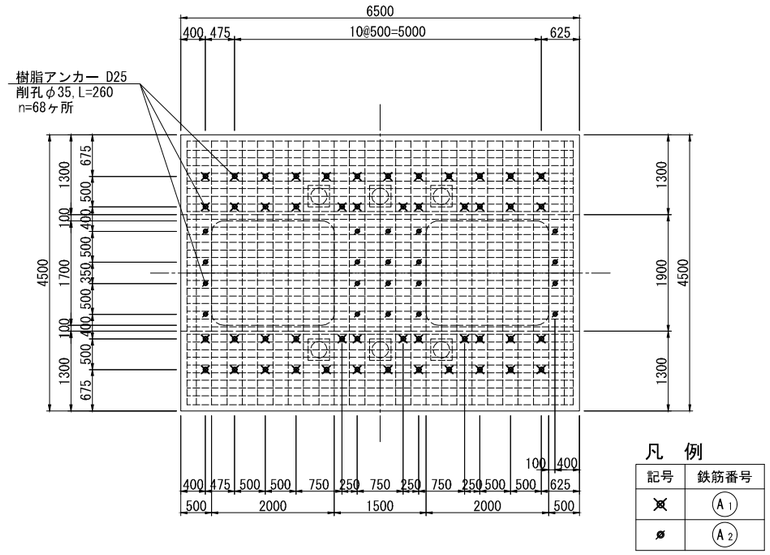
注）1. フーチングに設置するずれ止めアンカーは既設鉄筋と干渉しないよう、施工の際は事前調査を行った上、本図と異なる場合には必要に応じて見直しを行うこと。なお、既設鉄筋は切断しないこと。
2. 細破線は、既設の鉄筋配置を示す。
3. 既設コンクリートの表面は十分な下地処理を行い、新旧コンクリートの一体化を図ること。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事
図面名	P3橋脚 基礎補強配筋図(その1)
作成年月日	令 和 7 年 11 月 日
縮 尺	図 示
図面番号	45 ／ 64
会社名	株式会社 長 大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

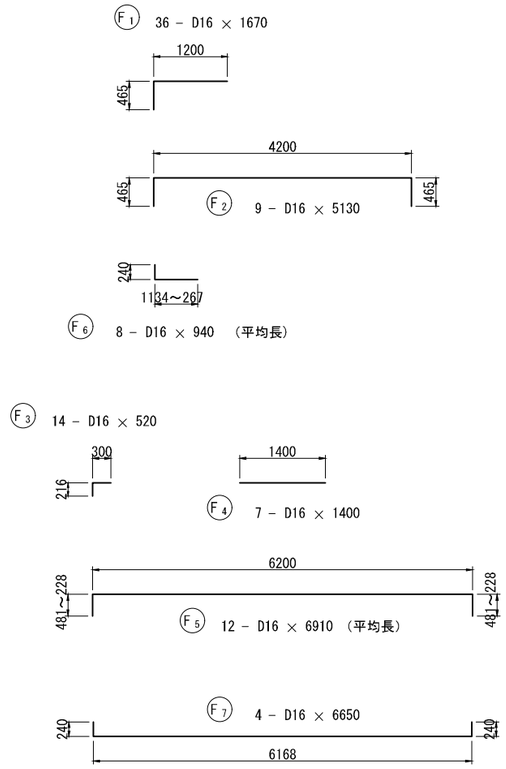
P3橋脚 基礎補強配筋図(その2)　S=1:50

ずれ止めアンカー配置図



凡　例

記号	鉄筋番号
⊗	A1
⌀	A2





鉄筋質量表

符号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
F 1	D16	1670	36	1.56	2.61	94	
2	〃	5130	9	〃	8.00	72	
3	〃	520	14	〃	0.81	11	
4	〃	1400	7	〃	2.18	15	
5	〃	6910	12	〃	10.78	129	（平均長）
6	〃	940	8	〃	1.47	12	（平均長）
7	〃	6650	4	〃	10.37	41	
						374 kg	
A 1	D25	930	48	3.98	3.70	178	<48>（平均長）
2	〃	840	20	〃	3.34	67	〃 <20>
						245 kg	

樹脂アンカー箇所数

D25	245 kg	<68>
D16	374 〃	
合 計	619 kg	<68>

注）〈　〉は樹脂アンカーの箇所数を示す。

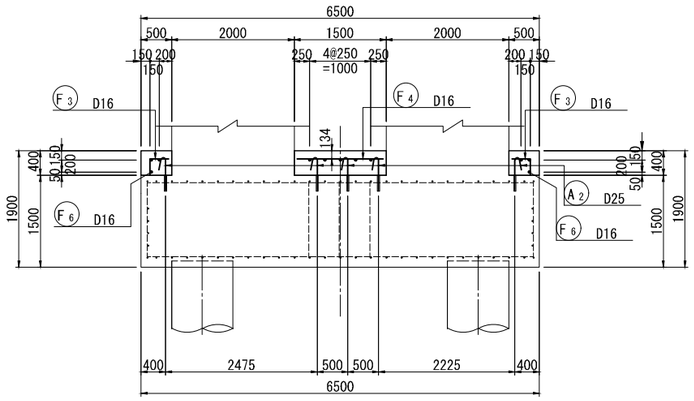
注）1. フーチングに設置するずれ止めアンカーは既設鉄筋と干渉しないよう、施工の際は事前調査を行った上、本図と異なる場合には必要に応じて見直しを行うこと。なお、既設鉄筋は切断しないこと。
2. 細破線は、既設の鉄筋配置を示す。
3. 既設コンクリートの表面は十分な下地処理を行い、新旧コンクリートの一体化を図ること。

工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	P3橋脚 基礎補強配筋図(その2)		
作成年月日	令 和 7 年 11 月　日		
縮　尺	1:50	図面番号	46 ／ 64
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

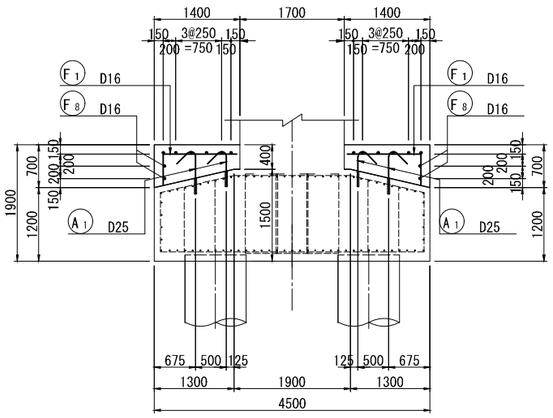
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

P4橋脚 基礎補強配筋図(その1) S=1:50

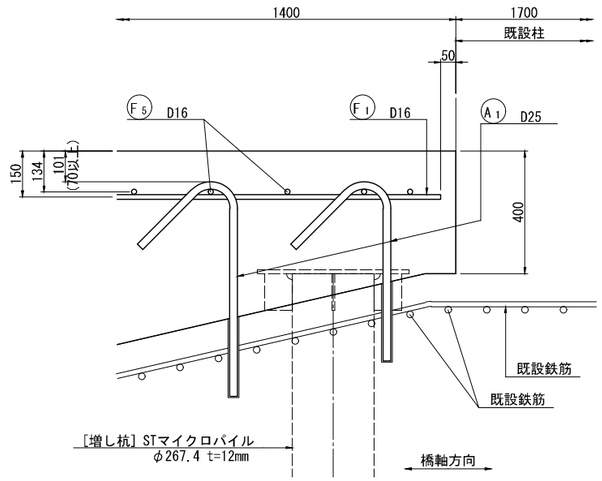
1 － 1



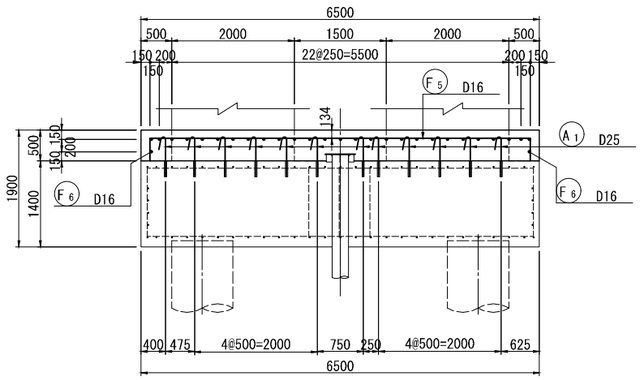
3 － 3



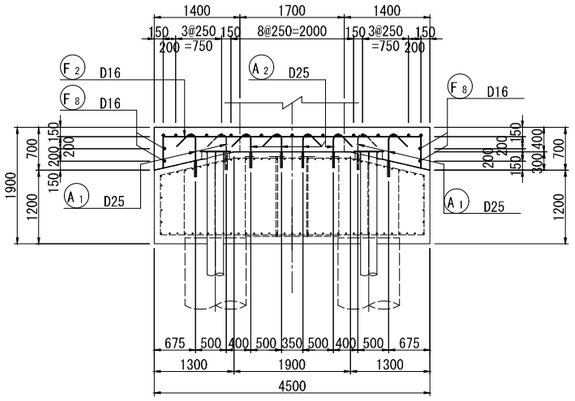
かぶり詳細図 S=1:10



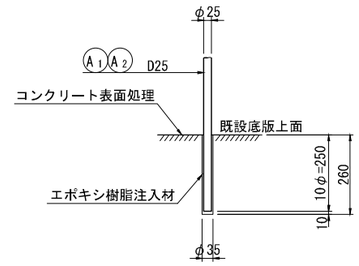
2 － 2



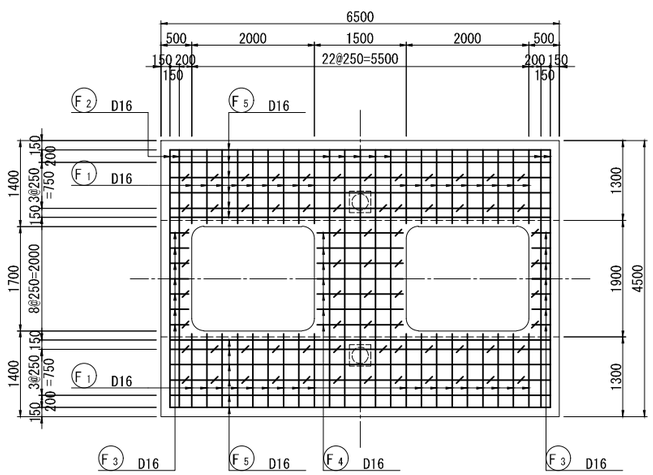
4 － 4



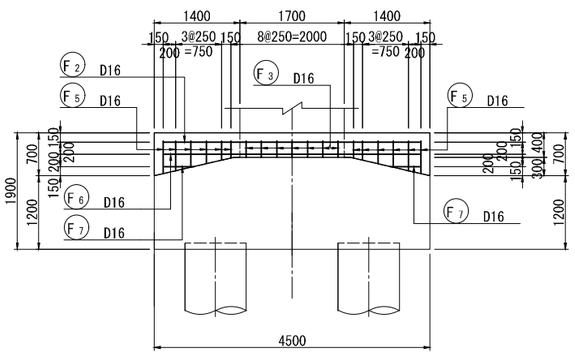
ずれ止めアンカー詳細図 S=1:10



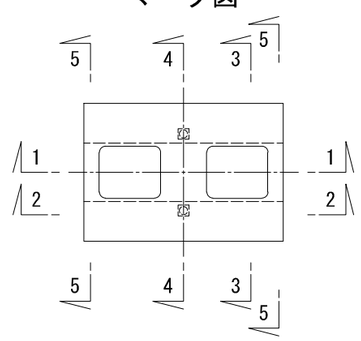
平 面 図



5 － 5



マーク図



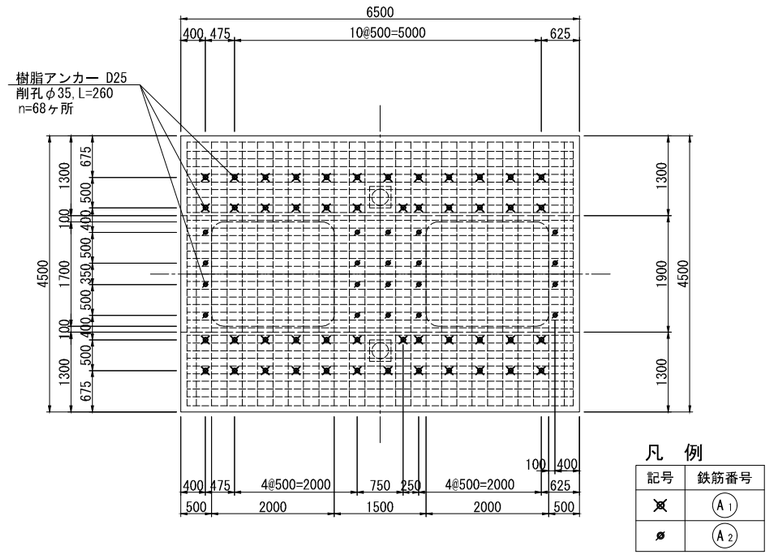
注）1. フーチングに設置するずれ止めアンカーは既設鉄筋と干渉しないよう、施工の際は事前調査を行った上、本図と異なる場合には必要に応じて見直しを行うこと。なお、既設鉄筋は切断しないこと。
2. 細破線は、既設の鉄筋配置を示す。
3. 既設コンクリートの表面は十分な下地処理を行い、新旧コンクリートの一体化を図ること。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	P4橋脚 基礎補強配筋図(その1)		
作成年月日	令 和 7 年 11 月 日		
縮 尺	図 示	図面番号	47 ／ 64
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

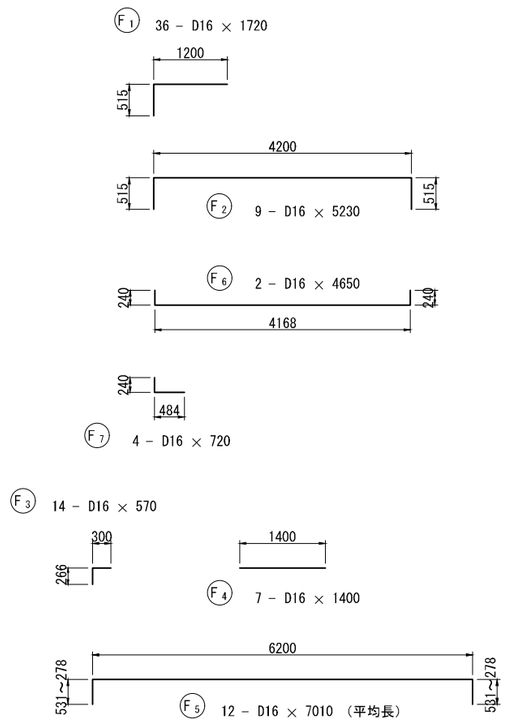
P4橋脚 基礎補強配筋図(その2)　S=1:50

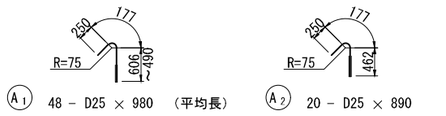
ずれ止めアンカー配置図



凡　例

記号	鉄筋番号
⊗	A1
⌀	A2





鉄筋質量表

符号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
F 1	D16	1720	36	1.56	2.68	96	
2	〃	5230	9	〃	8.16	73	
3	〃	570	14	〃	0.89	12	
4	〃	1400	7	〃	2.18	15	
5	〃	7010	12	〃	10.94	131	（平均長）
6	〃	4650	2	〃	7.25	15	
7	〃	720	4	〃	1.12	4	
8	〃	6650	4	〃	10.37	41	
						387 kg	
A 1	D25	980	48	3.98	3.90	187	<48>（平均長）
2	〃	890	20	〃	3.54	71	〃 <20>
						258 kg	

樹脂アンカー箇所数		
D25	258 kg	<68>
D16	387 〃	
合 計	645 kg	<68>

注）〈　〉は樹脂アンカーの箇所数を示す。

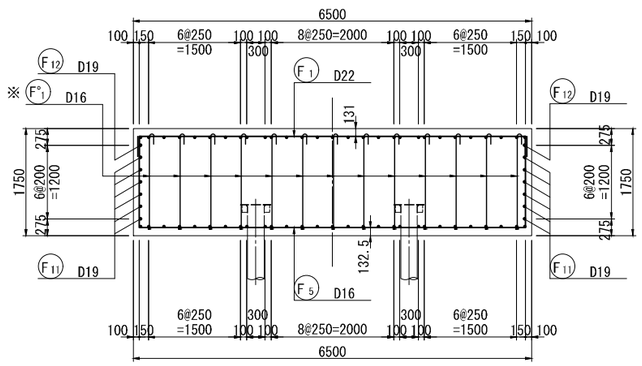
注）1. フーチングに設置するずれ止めアンカーは既設鉄筋と干渉しないよう、施工の際は事前調査を行った上、本図と異なる場合には必要に応じて見直しを行うこと。なお、既設鉄筋は切断しないこと。
2. 細破線は、既設の鉄筋配置を示す。
3. 既設コンクリートの表面は十分な下地処理を行い、新旧コンクリートの一体化を図ること。

工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	P4橋脚 基礎補強配筋図(その2)		
作成年月日	令 和 7 年 11 月　日		
縮　尺	1:50	図面番号	48 ／ 64
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

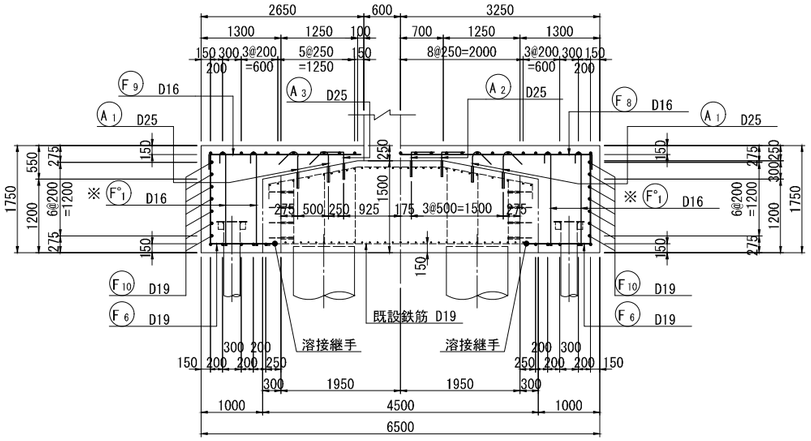
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

P5橋脚 基礎補強配筋図（その1） S=1:50

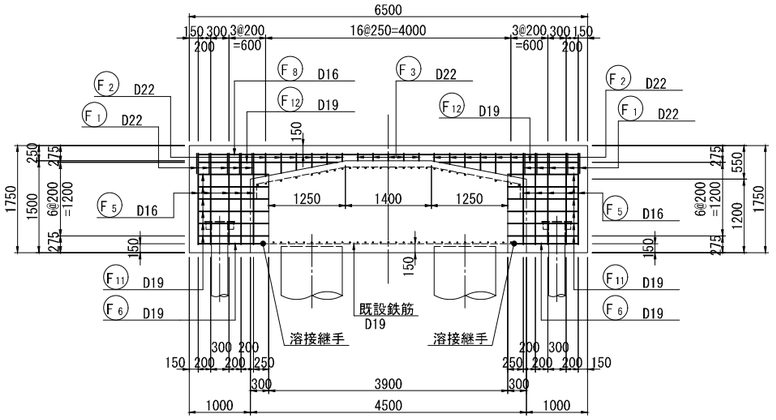
1 － 1



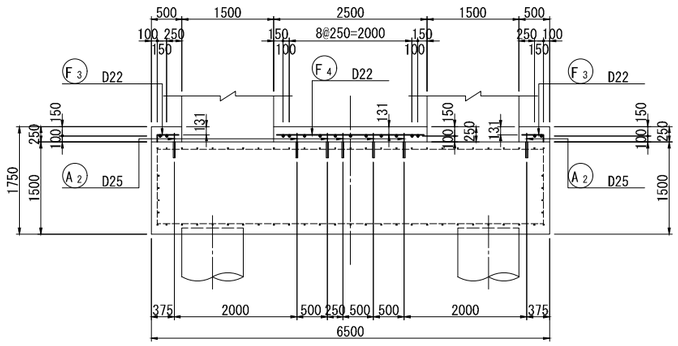
3 － 3　　4 － 4



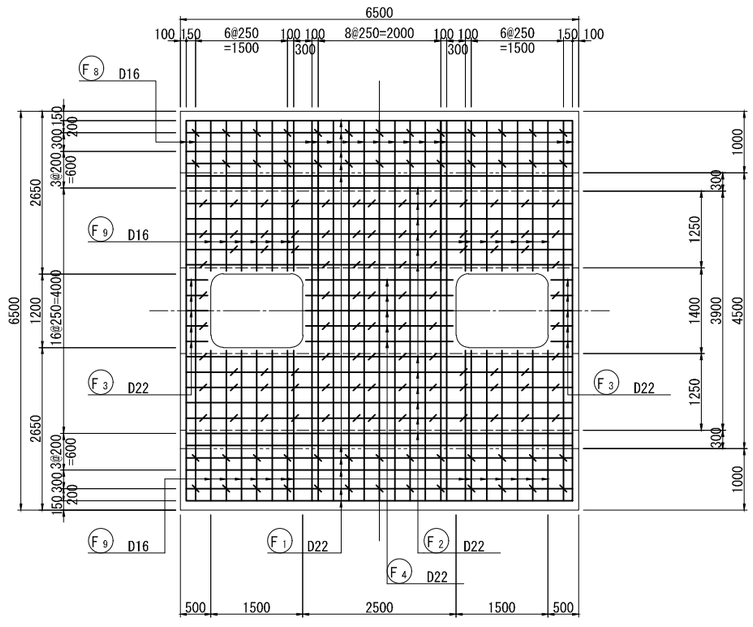
5 － 5



2 － 2



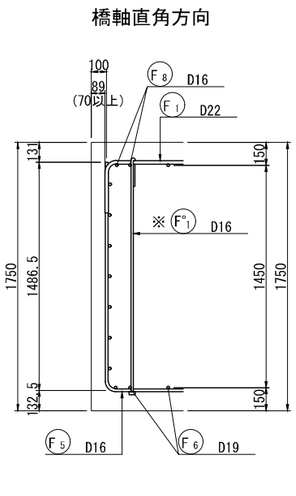
6 － 6

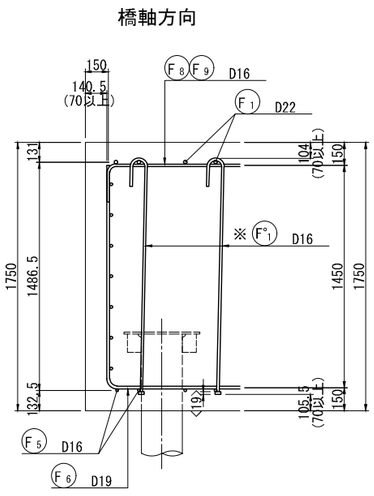


注）＼ は F°1 スターラップ(半円形フック側)，／ は A1 A2 A3 ずれ止めアンカーを示す。

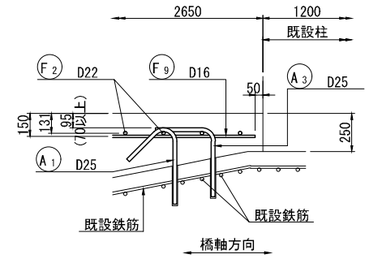
かぶり詳細図 S=1:20

拡幅部



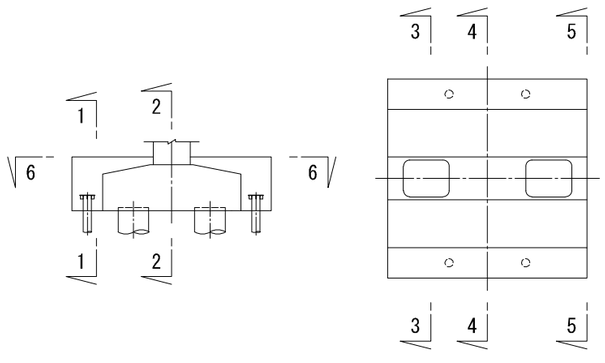


既設部

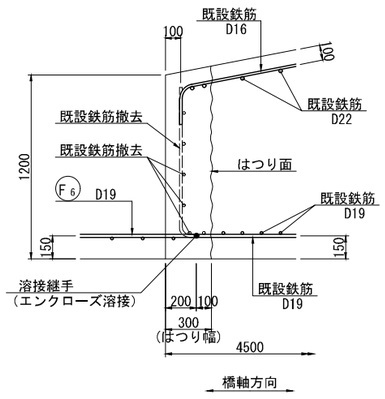


注）1. スターラップ F°1 は上面に半円形フックを配置する。
2. < >内数値は、建設技術審査証明を取得した機械式鉄筋定着工法一覧(土木)の拡径部厚さ(最大値)を示す。
cf. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン

マーク図



既設底版部鉄筋処理図 S=1:20



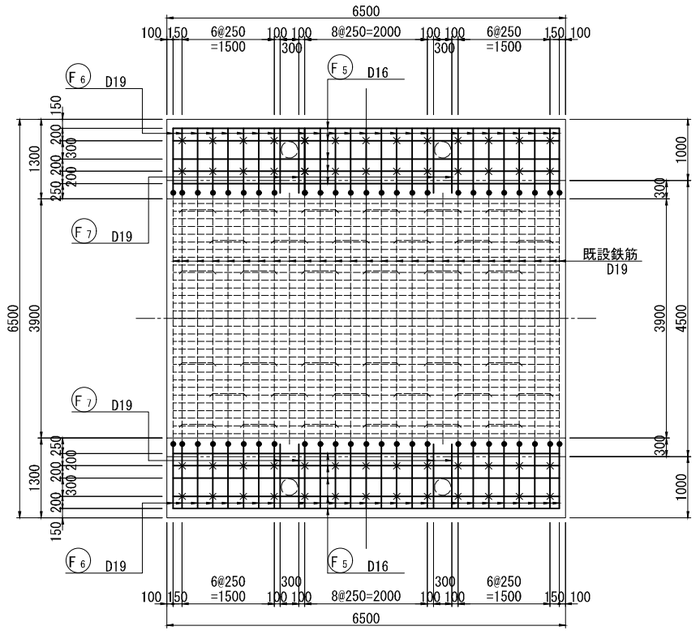
注）1. ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
(1) 道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
(2) 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
2. この図面の機械式定着工法は参考図であり製品を指定するものではない。
3. ※印表記の鉄筋長は、採用した機械式鉄筋定着工法に応じて適宜調整すること。
4. フーチングに設置するずれ止めアンカーは既設鉄筋と干渉しないよう、施工の際は事前調査を行った上、本図と異なる場合には必要に応じて見直しを行うこと。なお、既設鉄筋は切断しないこと。
5. 細破線は、既設の鉄筋配置を示す。
6. 既設コンクリートの表面は十分な下地処理を行い、新旧コンクリートの一体化を図ること。

工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	P5橋脚 基礎補強配筋図（その1）		
作成年月日	令 和 7 年 11 月 日		
縮 尺	図 示	図面番号	49 ／ 64
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

P5橋脚 基礎補強配筋図(その2) S=1:50

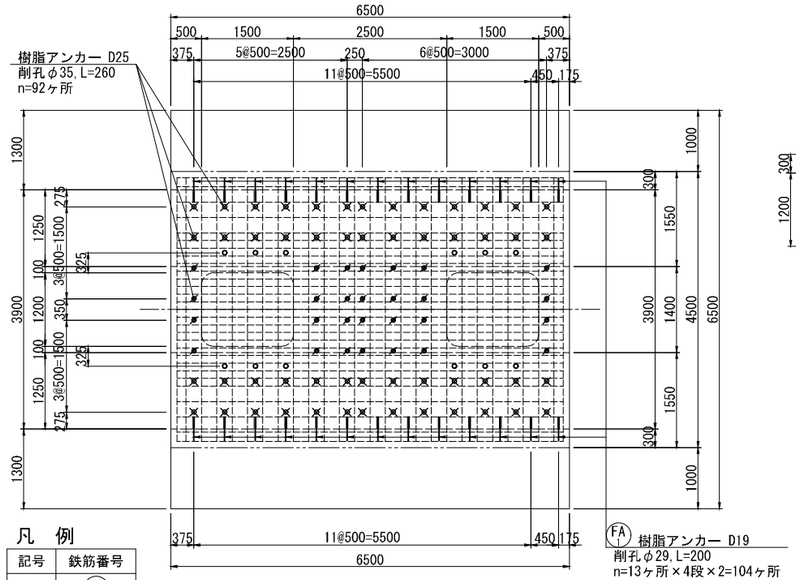
7 - 7



注) × は (F°1) スターラップ(定着体側)を示す。

ずれ止めアンカー配置図

平 面 図



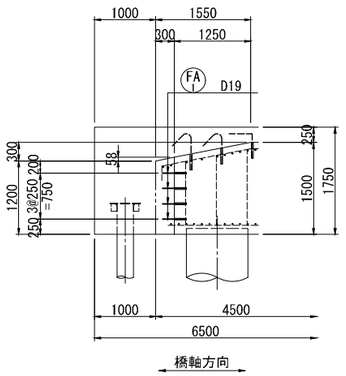
凡 例

記号	鉄筋番号
⊗	A1
⊘	A2
○	A3

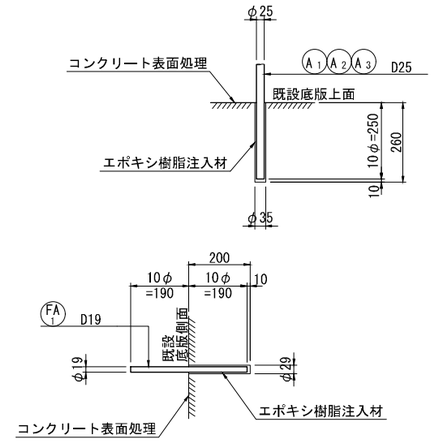
(FA1) 樹脂アンカー D19
削孔φ29, L=200
n=13ヶ所×4段×2=104ヶ所

注) ずれ止めアンカー (A1)(A2)(A3) はフーチング上面に配置し、
(FA1) はフーチング側面に配置する。

(FA1) 鉄筋配置図

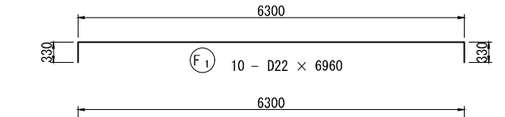


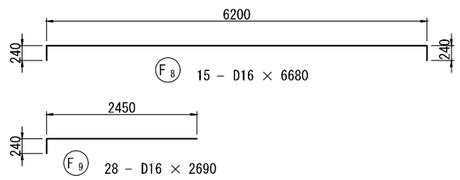
ずれ止めアンカー詳細図 S=1:10

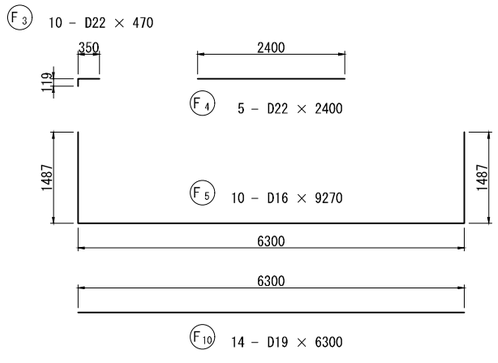


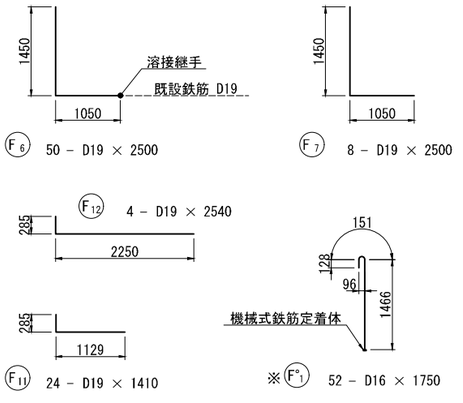


(A1) 52 - D25 × 880 (平均長)　(A2) 28 - D25 × 770　(A3) 12 - D25 × 810　(FA1) 104 - D19 × 380

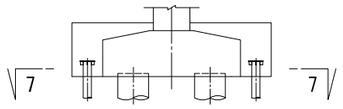








マーク図



鉄筋質量表

	符号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
	F 1	D22	6960	10	3.04	21.16	212	⌐
	2	〃	6800	12	〃	20.67	248	〃 (平均長)
	3	〃	470	10	〃	1.43	14	⌐
	4	〃	2400	5	〃	7.30	37	―
	5	D16	9270	10	1.56	14.46	145	⌊
	6	D19	2500	50	2.25	5.63	282	⌊ [50]
	7	〃	2500	8	〃	5.63	45	⌊
	8	D16	6680	15	1.56	10.42	156	⌐
	9	〃	2690	28	〃	4.20	118	⌐
	10	D19	6300	14	2.25	14.18	199	―
	11	〃	1410	24	〃	3.17	76	⌊
	12	〃	2540	4	〃	5.72	23	〃
							1555 kg	
※	F° 1	D16	1750	52	1.56	2.73	142	⌉ (52)
							142 kg	
	A 1	D25	880	52	3.98	3.50	182	⌉ (52) (平均長)
	2	〃	770	28	〃	3.06	86	⌉ (28)
	3	〃	810	12	〃	3.22	39	〃 (12)
							307 kg	
	FA 1	D19	380	104	2.25	0.86	89	― (104)
							89 kg	
						機械式鉄筋定着 エンクローズ溶接 樹脂アンカー		
		D25	307 kg					(92)
		D22	511 〃					
		D19	714 〃			[50]		(104)
		D16	561 〃		(52)			
		合 計	2093 kg		(52)	[50]		(196)

注) ( )は機械式鉄筋定着、[ ]はエンクローズ溶接、〈 〉は樹脂アンカーの箇所数を示す。

機械式鉄筋定着工法数量表

鉄筋径	箇所数 0<L≦1m	1m<L≦2m	2m<L≦3m	3m<L≦4m	4m<L≦5m	5m<L≦6m
D25	―	―	―	―	―	―
D22	―	―	―	―	―	―
D19	―	―	―	―	―	―
D16	―	52	―	―	―	―
D13	―	―	―	―	―	―
小 計	―	52	―	―	―	―
合 計						52

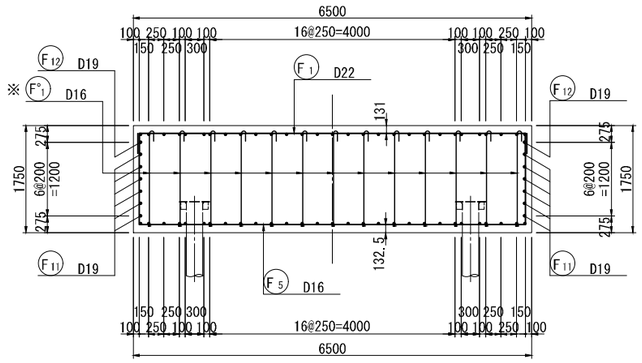
注) 1. ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準等を満足すること。
(1) 道路標示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
(2) 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
2. この図面の機械式定着工法は参考図であり製品を指定するものではない。
3. ※印表記の鉄筋長は、採用した機械式鉄筋定着工法に応じて適宜調整すること。
4. フーチングに設置するずれ止めアンカーは既設鉄筋と干渉しないよう、施工の際は事前調査を行った上、本図と異なる場合には必要に応じて見直しを行うこと。なお、既設鉄筋は切断しないこと。
5. 細破線は、既設の鉄筋配置を示す。
6. 既設コンクリートの表面は十分な下地処理を行い、新旧コンクリートの一体化を図ること。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

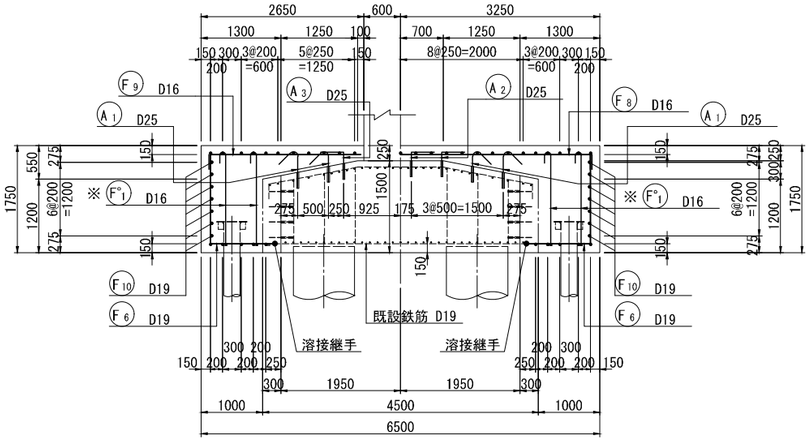
工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事
図面名	P5橋脚 基礎補強配筋図(その2)
作成年月日	令 和 7 年 11 月 日
縮 尺	図 示
図面番号	50 ／ 64
会社名	株式会社 長 大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

P6橋脚 基礎補強配筋図(その1) S=1:50

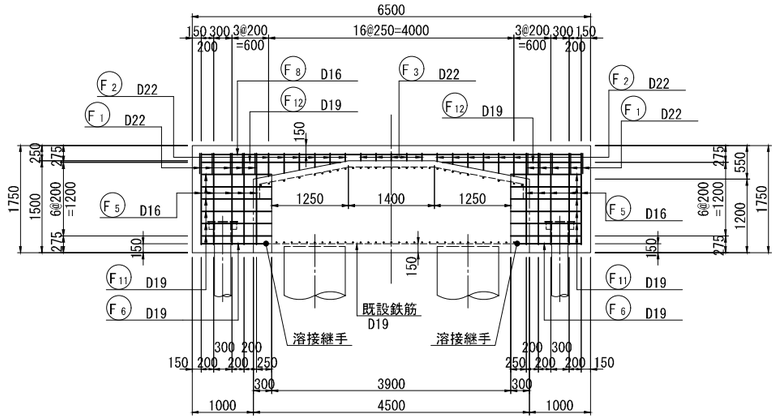
1 － 1



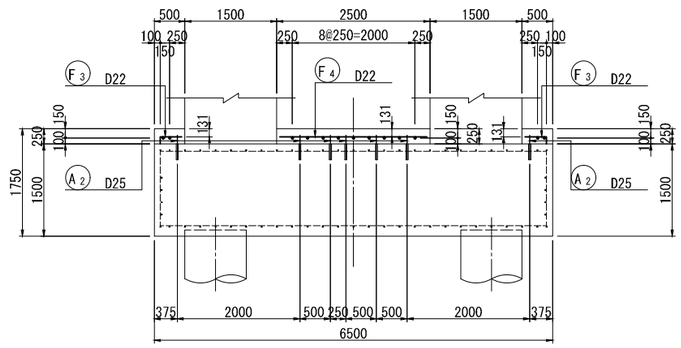
3 － 3　4 － 4



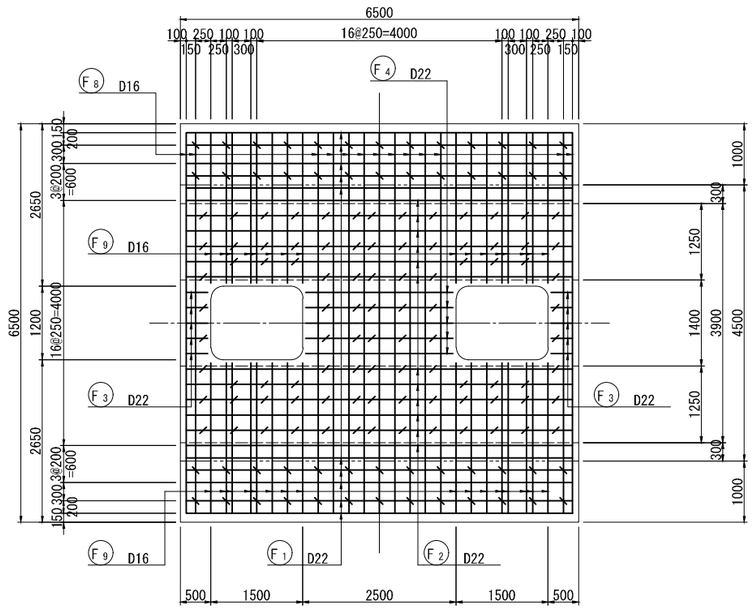
5 － 5



2 － 2



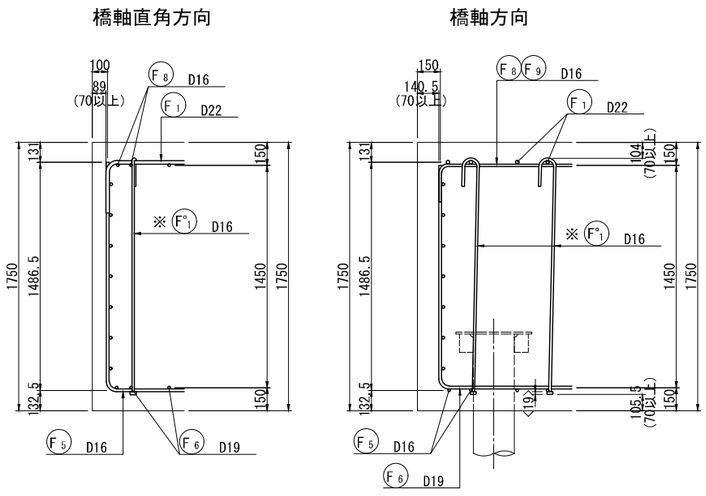
6 － 6



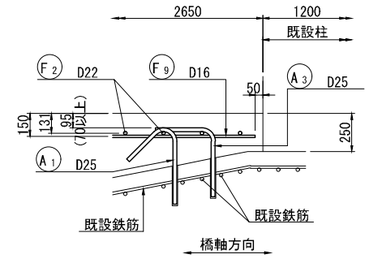
注）＼ は F°1 スターラップ(半円形フック側)，／ は A1 A2 A3 ずれ止めアンカーを示す。

かぶり詳細図 S=1:20

拡 幅 部

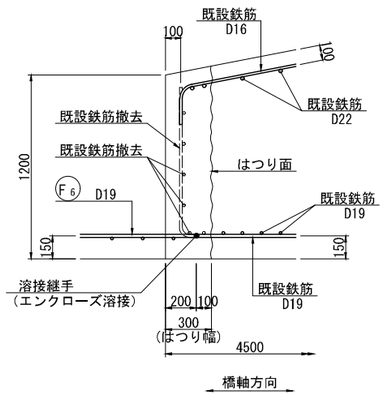


既 設 部

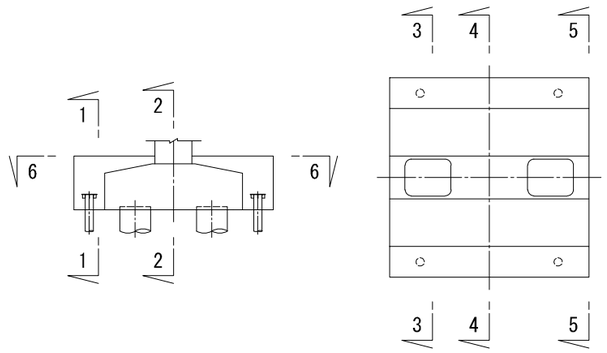


注）1. スターラップ F°1 は上面に半円形フックを配置する。
2. < >内数値は、建設技術審査証明を取得した機械式鉄筋定着工法一覧(土木)の拡径部厚さ(最大値)を示す。
cf. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン

既設底版部鉄筋処理図 S=1:20



マーク図



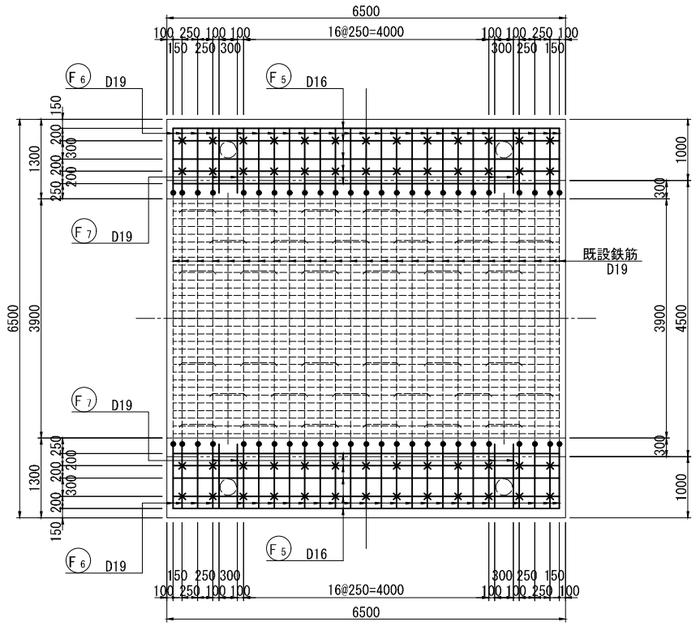
注）1. ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
(1) 道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
(2) 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
2. この図面の機械式定着工法は参考図であり製品を指定するものではない。
3. ※印表記の鉄筋長は、採用した機械式鉄筋定着工法に応じて適宜調整すること。
4. フーチングに設置するずれ止めアンカーは既設鉄筋と干渉しないよう、施工の際は事前調査を行った上、本図と異なる場合には必要に応じて見直しを行うこと。なお、既設鉄筋は切断しないこと。
5. 細破線は、既設の鉄筋配置を示す。
6. 既設コンクリートの表面は十分な下地処理を行い、新旧コンクリートの一体化を図ること。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	P6橋脚 基礎補強配筋図(その1)		
作成年月日	令 和 7 年 11 月 日		
縮 尺	図 示	図面番号	51 ／ 64
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

P6橋脚 基礎補強配筋図(その2) S=1:50

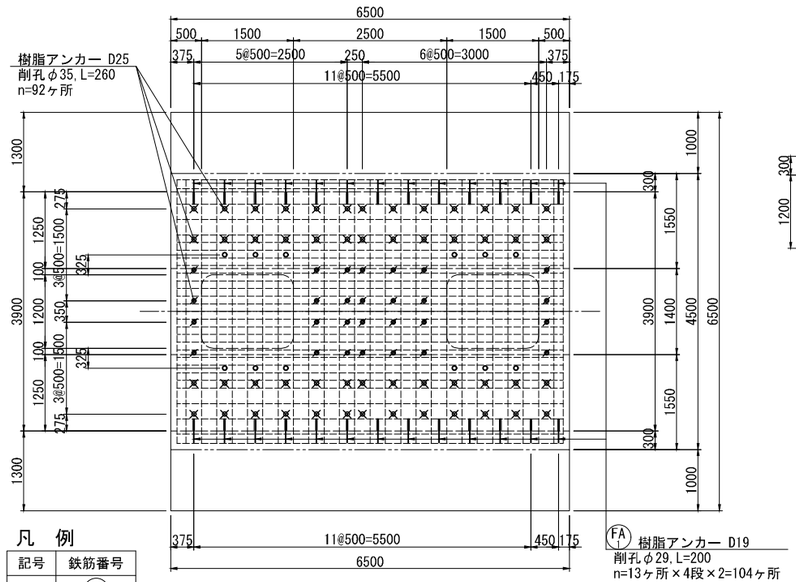
7 - 7



注) × は (F°1) スターラップ(定着体側)を示す。

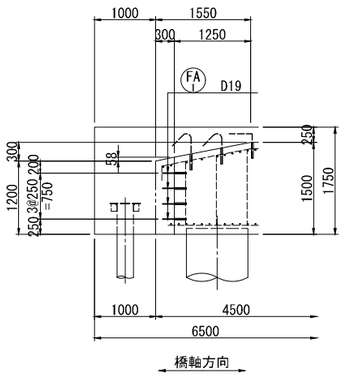
ずれ止めアンカー配置図

平 面 図

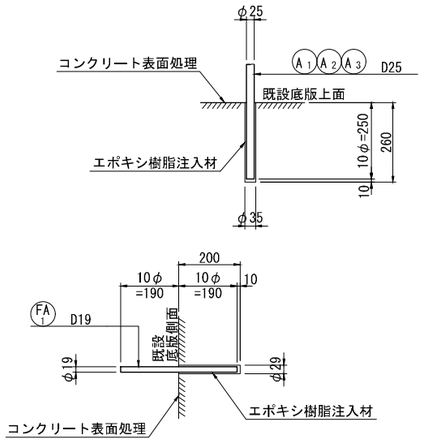


注) ずれ止めアンカー (A1)(A2)(A3) はフーチング上面に配置し、
(FA1) はフーチング側面に配置する。

(FA1) 鉄筋配置図



ずれ止めアンカー詳細図 S=1:10

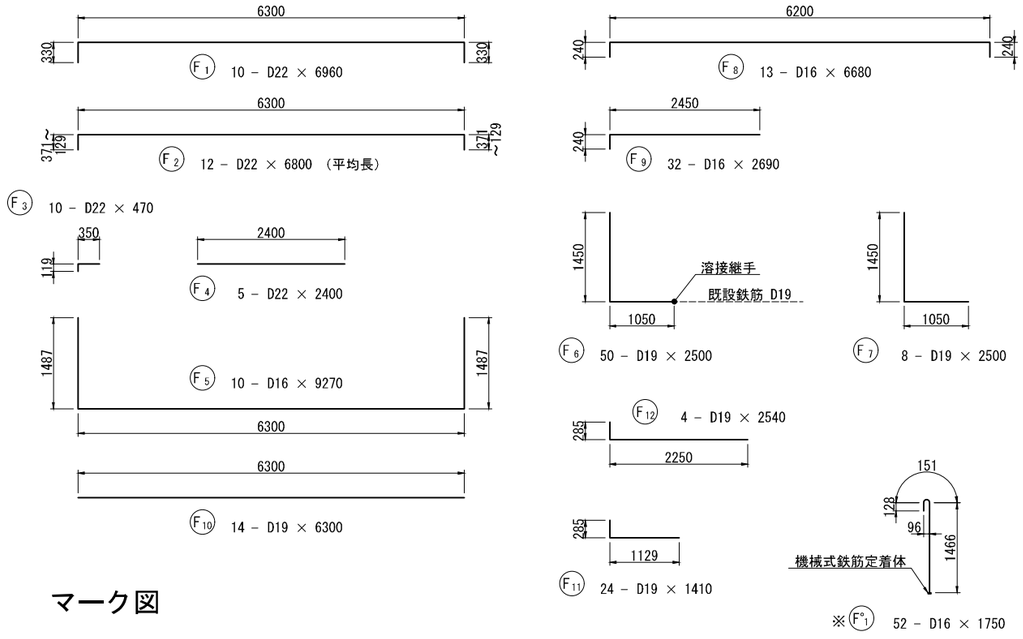




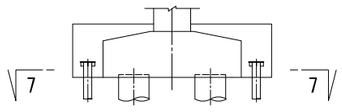
(A1) 52 - D25 × 880 (平均長)　(A2) 28 - D25 × 770　(A3) 12 - D25 × 810　(FA1) 104 - D19 × 380

凡 例

記号	鉄筋番号
⊠	(A1)
⊘	(A2)
○	(A3)



マーク図



鉄筋質量表

符号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
F 1	D22	6960	10	3.04	21.16	212	⌐
2	〃	6800	12	〃	20.67	248	〃 (平均長)
3	〃	470	10	〃	1.43	14	⌐
4	〃	2400	5	〃	7.30	37	―
5	D16	9270	10	1.56	14.46	145	⌊
6	D19	2500	50	2.25	5.63	282	⌊ [50]
7	〃	2500	8	〃	5.63	45	⌊
8	D16	6680	13	1.56	10.42	135	⌐
9	〃	2690	32	〃	4.20	134	⌐
10	D19	6300	14	2.25	14.18	199	―
11	〃	1410	24	〃	3.17	76	⌙
12	〃	2540	4	〃	5.72	23	〃
						1550 kg	
※ F° 1	D16	1750	52	1.56	2.73	142	⌐ (52)
						142 kg	
A 1	D25	880	52	3.98	3.50	182	⌐ <52> (平均長)
2	〃	770	28	〃	3.06	86	⌐ <28>
3	〃	810	12	〃	3.22	39	〃 <12>
						307 kg	
FA 1	D19	380	104	2.25	0.86	89	― <104>
						89 kg	
				機械式鉄筋定着 エンクローズ溶接 樹脂アンカー			
	D25	307 kg					<92>
	D22	511 〃					
	D19	714 〃			[50]		<104>
	D16	556 〃		(52)			
	合 計	2088 kg		(52)	[50]		<196>

注) ( )は機械式鉄筋定着、[ ]はエンクローズ溶接、< >は樹脂アンカーの箇所数を示す。

機械式鉄筋定着工法数量表

鉄筋径	箇所数					
	0<L≦1m	1m<L≦2m	2m<L≦3m	3m<L≦4m	4m<L≦5m	5m<L≦6m
D25	―	―	―	―	―	―
D22	―	―	―	―	―	―
D19	―	―	―	―	―	―
D16	―	52	―	―	―	―
D13	―	―	―	―	―	―
小 計	―	52	―	―	―	―
合 計	52					

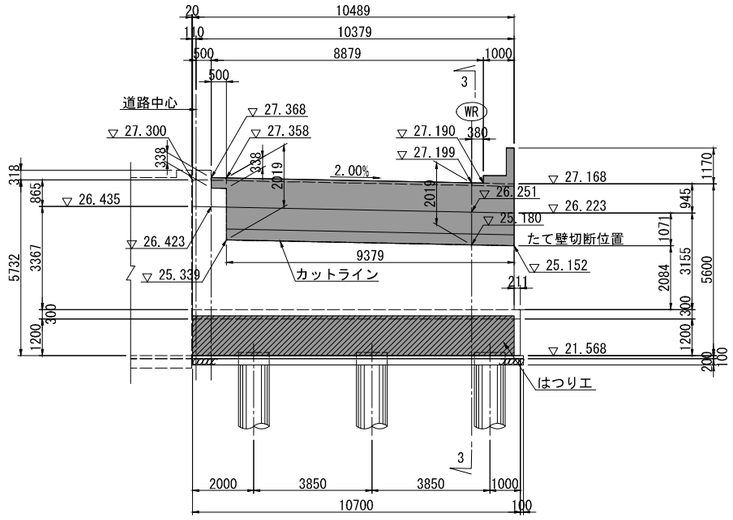
注) 1. ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準等を満足すること。
(1) 道路標示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
(2) 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
2. この図面の機械式定着工法は参考図であり製品を指定するものではない。
3. ※印表記の鉄筋長は、採用した機械式鉄筋定着工法に応じて適宜調整すること。
4. フーチングに設置するずれ止めアンカーは既設鉄筋と干渉しないよう、施工の際は事前調査を行った上、本図と異なる場合には必要に応じて見直しを行うこと。
なお、既設鉄筋は切断しないこと。
5. 細破線は、既設の鉄筋配置を示す。
6. 既設コンクリートの表面は十分な下地処理を行い、新旧コンクリートの一体化を図ること。

工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事
図面名	P6橋脚 基礎補強配筋図(その2)
作成年月日	令 和 7 年 11 月 日
縮 尺	図 示
図面番号	52 ／ 64
会社名	株式会社 長 大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

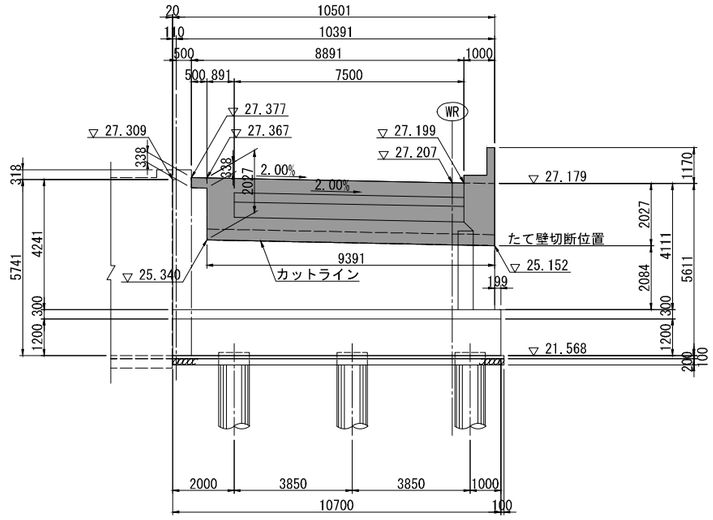
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

A1橋台 撤去構造図　S=1:100

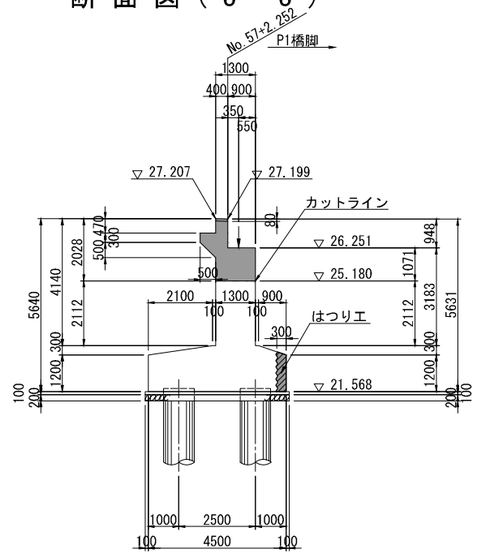
正 面 図（１－１）



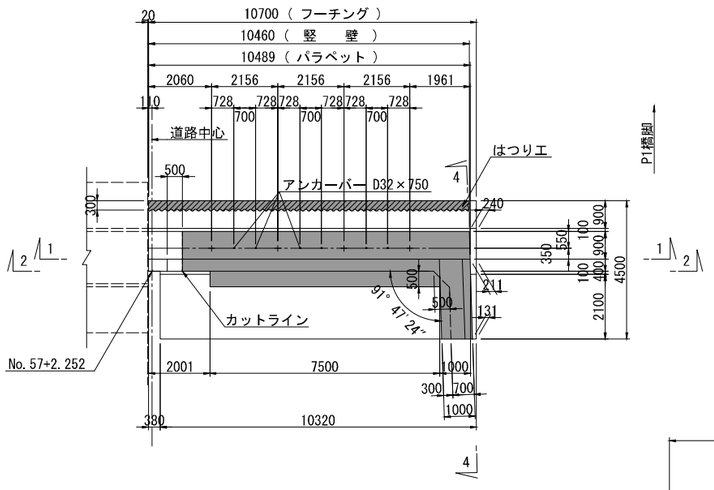
背 面 図（２－２）



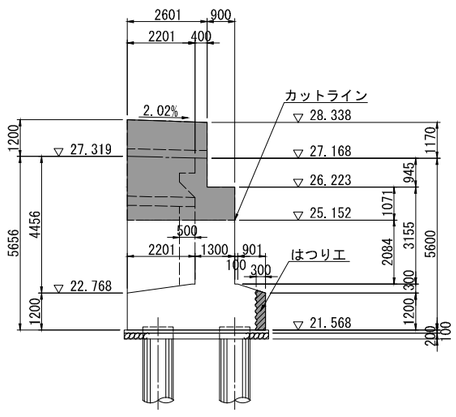
断 面 図（３－３）



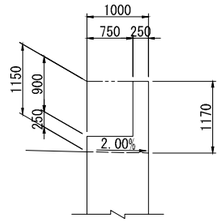
平 面 図



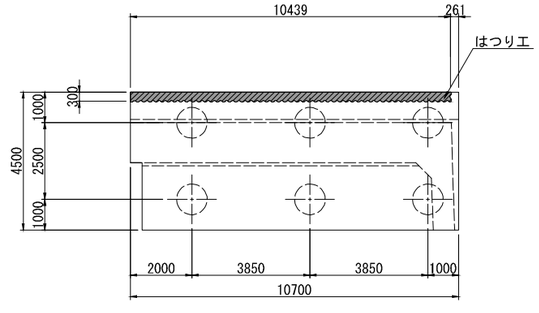
4 － 4



壁高欄詳細図　S=1:50



杭 配 置 図



注）1. 既設踏掛版を現場で確認すること。

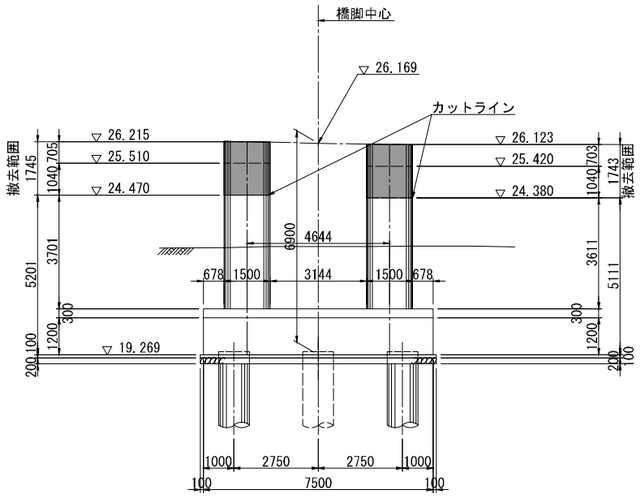
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	A1橋台 撤去構造図		
作成年月日	令 和 7 年 11 月　日		
縮　尺	図 示	図面番号	53 ／ 64
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

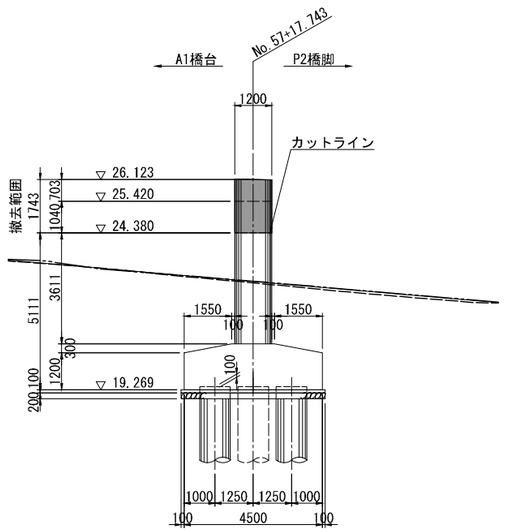
P1・P2橋脚 撤去構造図　S=1:100

P1橋脚

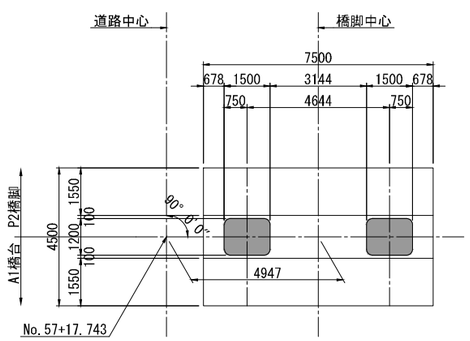
正面図



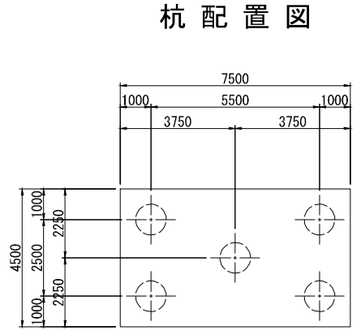
側面図



平面図

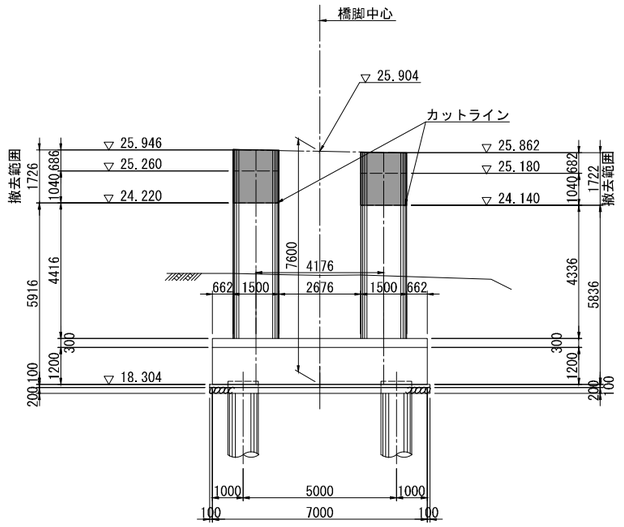


杭配置図

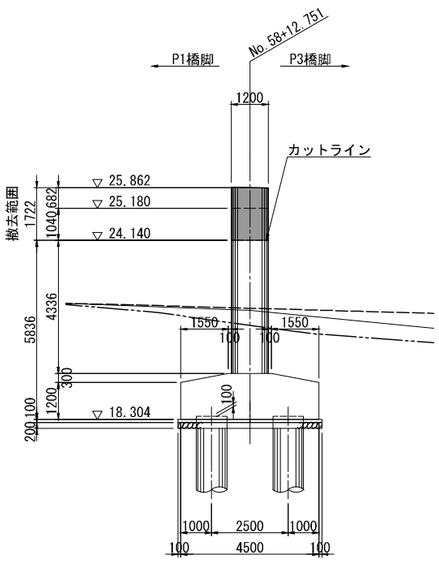


P2橋脚

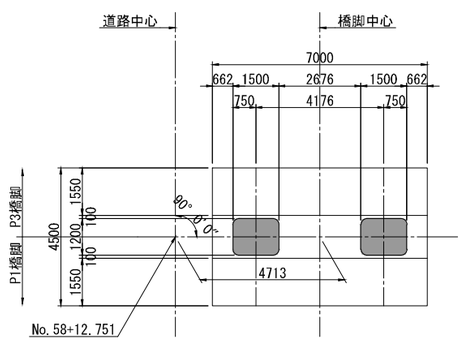
正面図



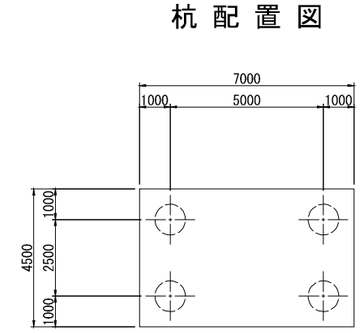
側面図



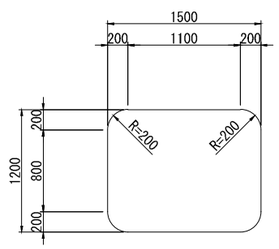
平面図



杭配置図



柱断面詳細図　S=1:30



使用材料一覧表

	コンクリート	鉄　筋
柱	σck = 24 N/mm²	SD345

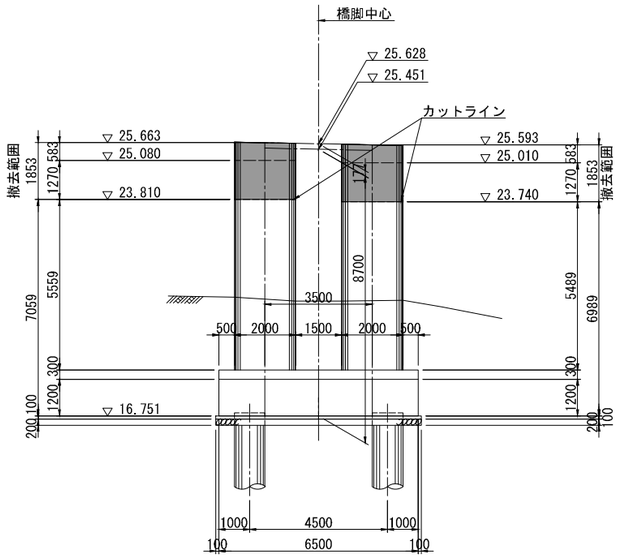
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	P1・P2橋脚 撤去構造図		
作成年月日	令 和 7 年 11 月　日		
縮　尺	図 示	図面番号	54 ／ 64
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

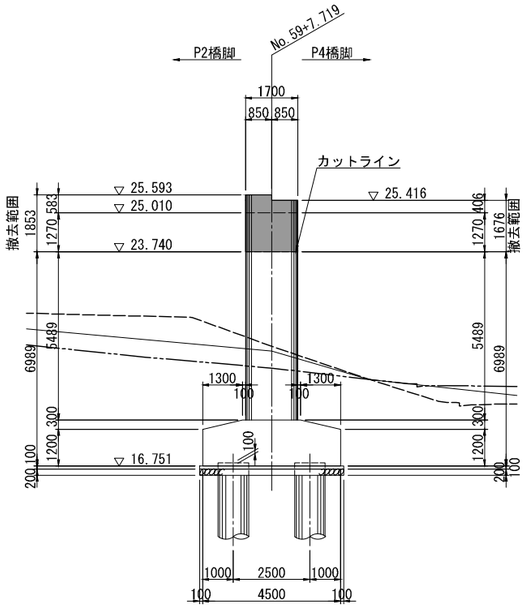
P3・P4橋脚 撤去構造図　S=1:100

P3橋脚

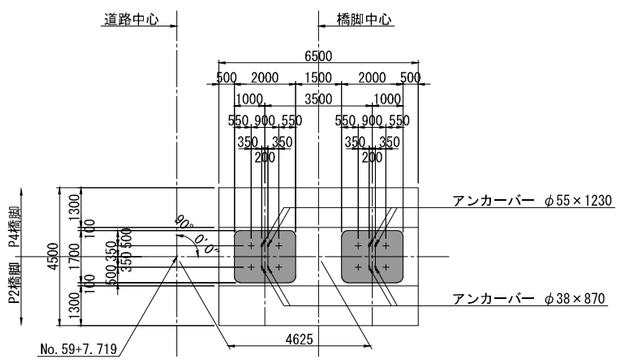
正面図



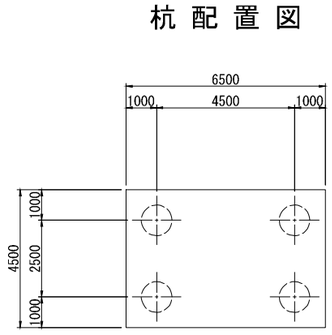
側面図



平面図

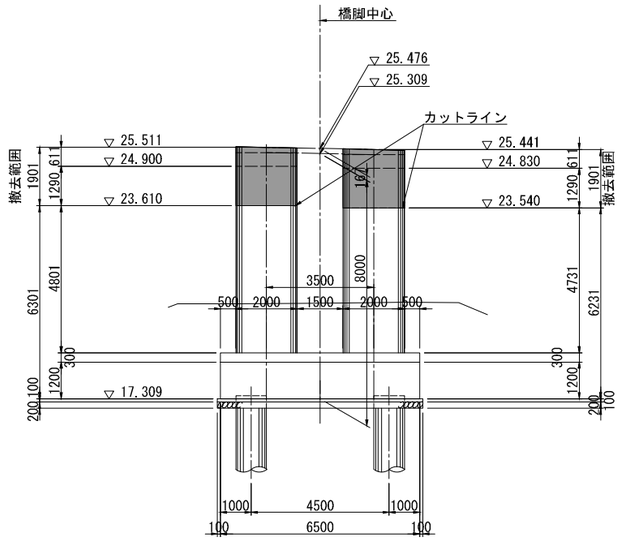


杭配置図

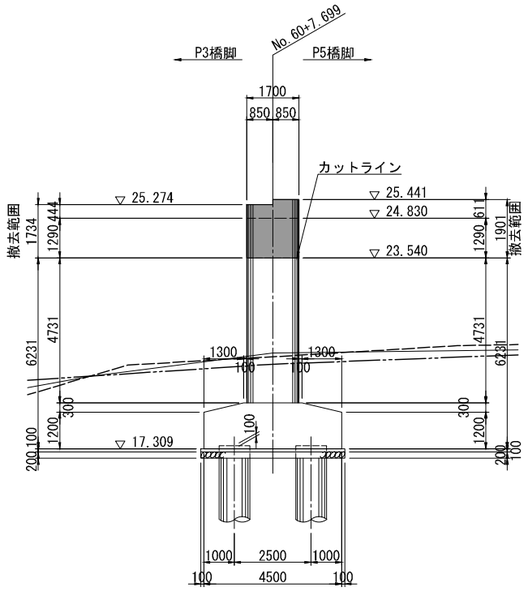


P4橋脚

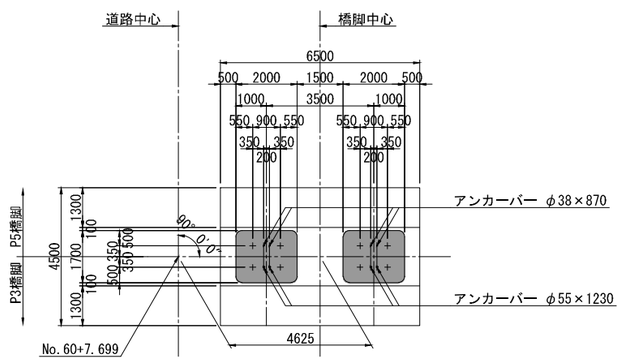
正面図



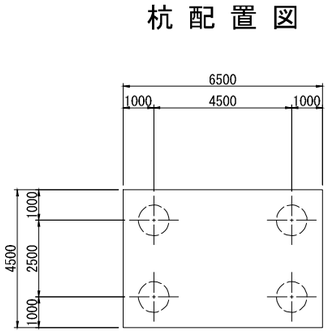
側面図



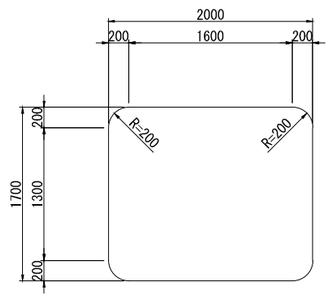
平面図



杭配置図



柱断面詳細図　S=1:30



使用材料一覧表

	コンクリート	鉄　筋
柱	σck = 24 N/mm²	SD345

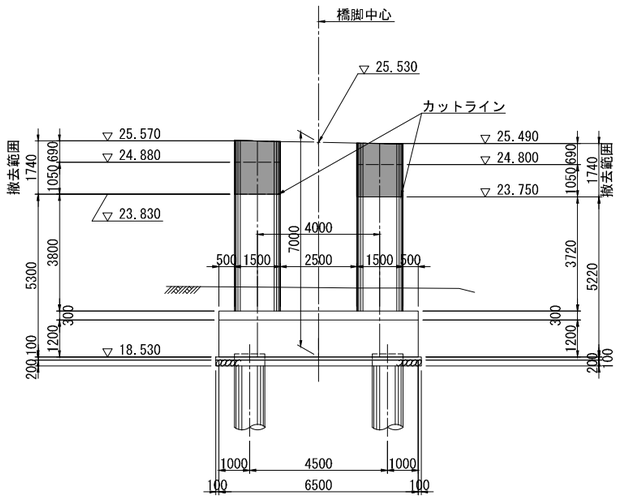
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	P3・P4橋脚 撤去構造図		
作成年月日	令 和 7 年 11 月　日		
縮　尺	図 示	図面番号	55 ／ 64
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

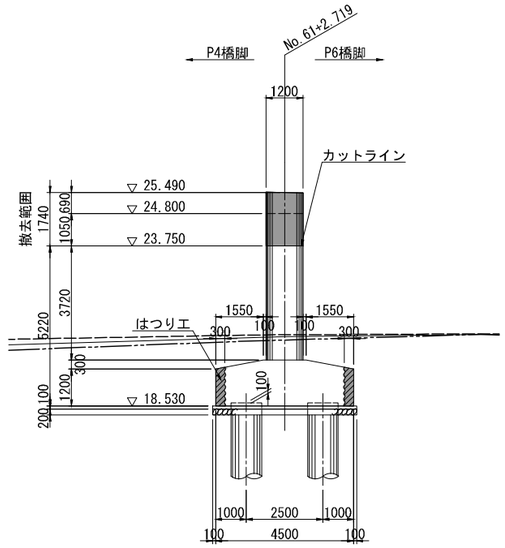
P5・P6橋脚 撤去構造図 S=1:100

P5橋脚

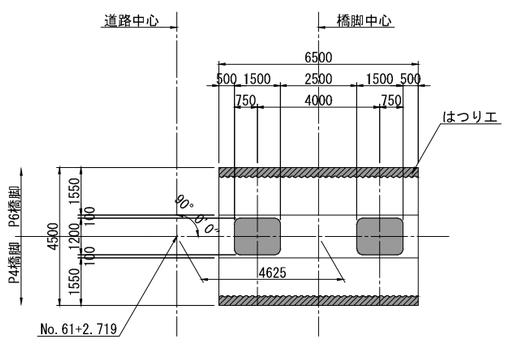
正 面 図



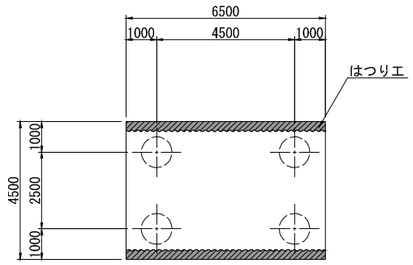
側 面 図



平 面 図

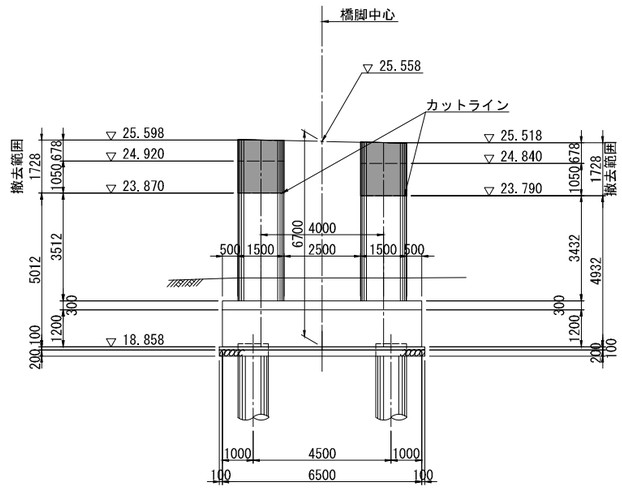


杭 配 置 図

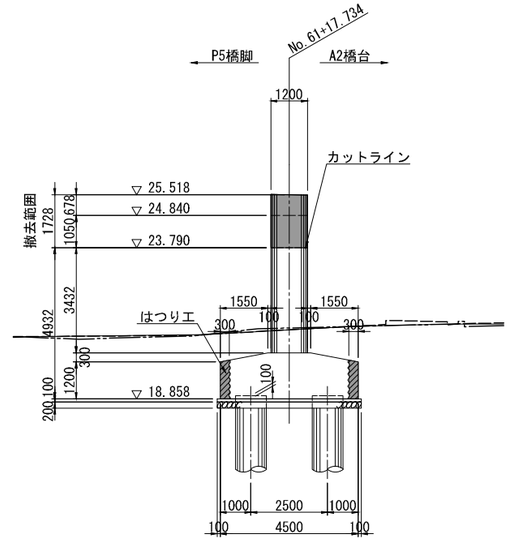


P6橋脚

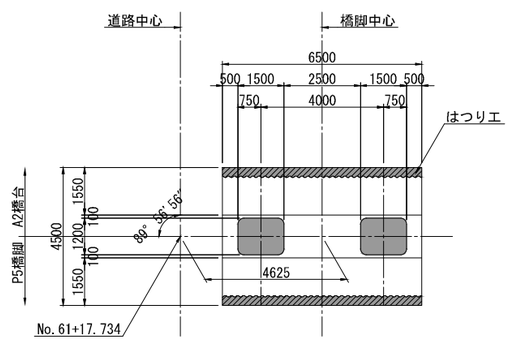
正 面 図



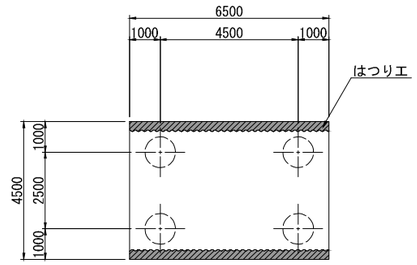
側 面 図



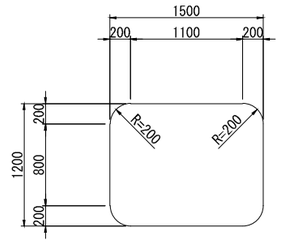
平 面 図



杭 配 置 図



柱断面詳細図 S=1:30

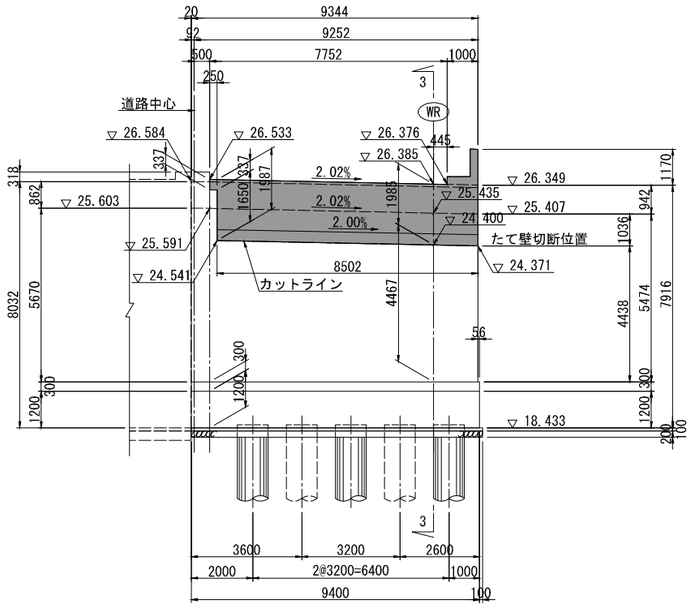


本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

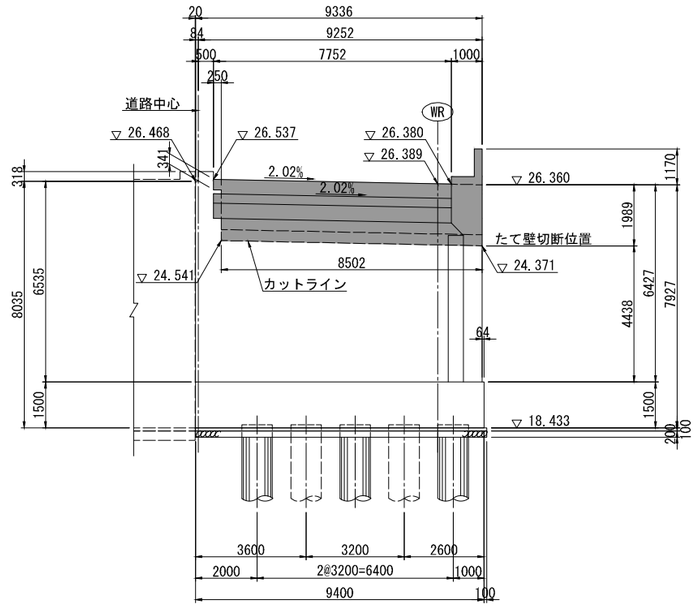
工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	P5・P6橋脚 撤去構造図		
作成年月日	令 和 7 年 11 月 日		
縮 尺	図 示	図面番号	56 ／ 64
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

A2橋台 撤去構造図 S=1:100

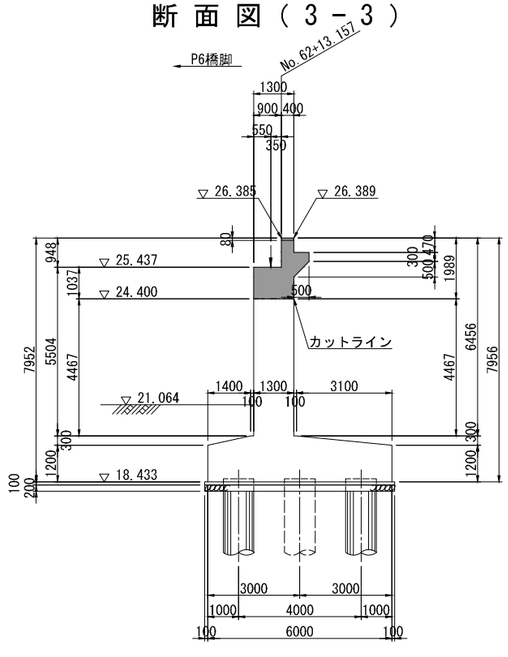
正 面 図 （ 1 － 1 ）



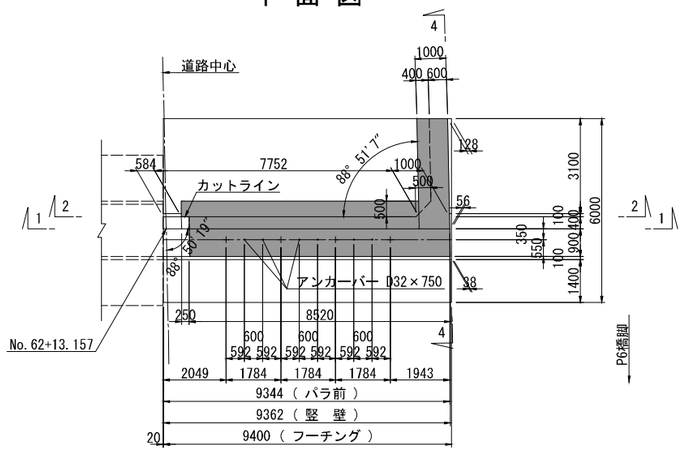
背 面 図 （ 2 － 2 ）



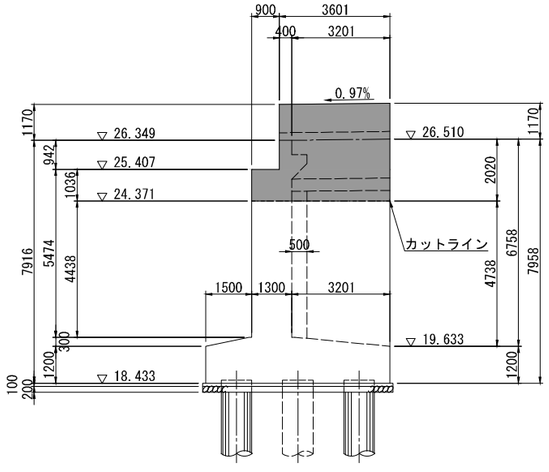
断 面 図 （ 3 － 3 ）



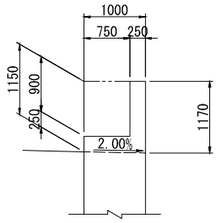
平 面 図



4 － 4



壁高欄詳細図 S=1:50



注） 1. 既設踏掛版を現場で確認すること。

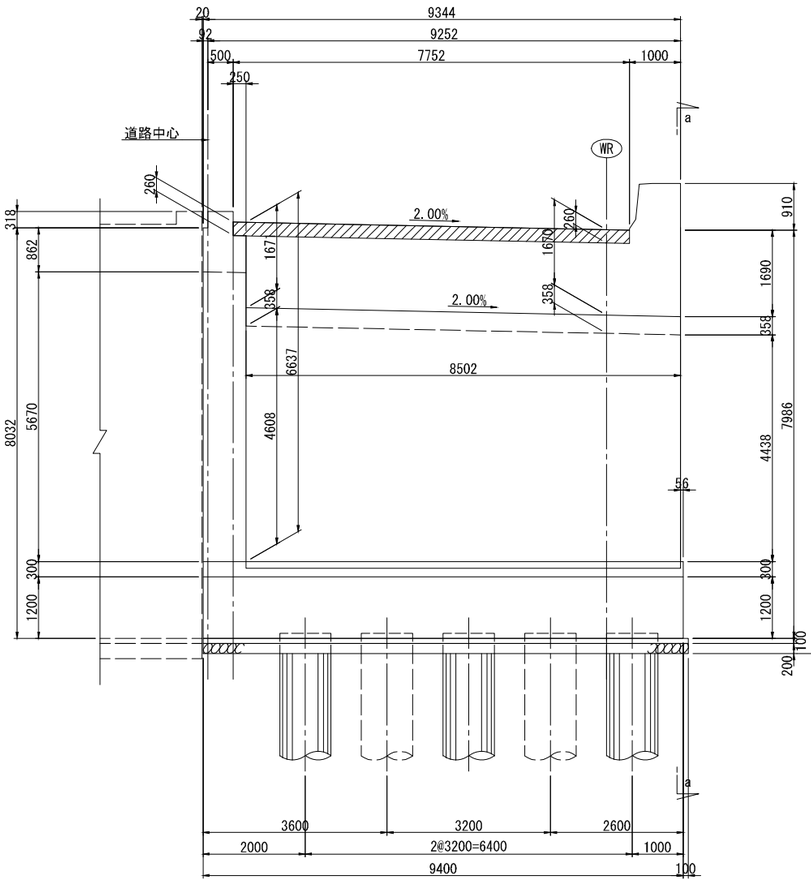
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	A2橋台 撤去構造図		
作成年月日	令 和 7 年 11 月 日		
縮 尺	図 示	図面番号	57 ／ 64
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

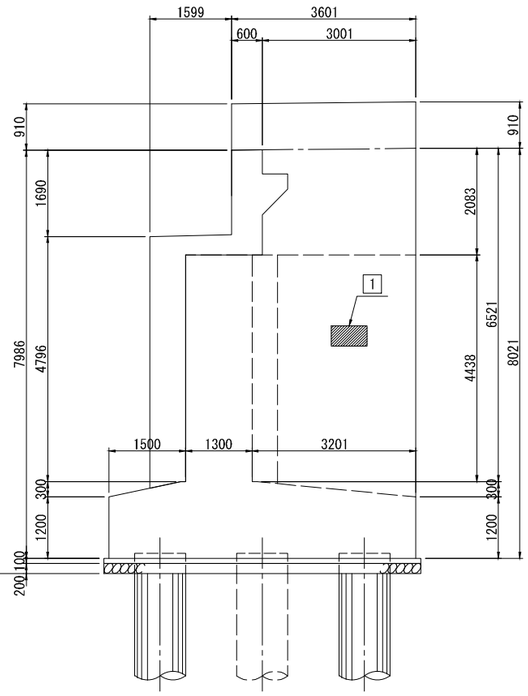
A2橋台 補修図　S=1:30

断 面 修 復

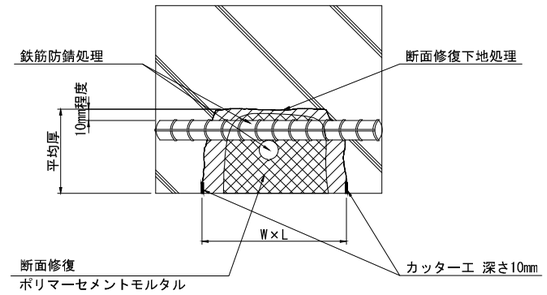
正 面 図



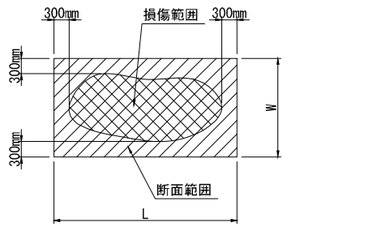
a － a



断面修復詳細図



範囲図



断面修復寸法表(左官工法)

番号	幅(m)	長さ(m)	平均厚(m)
1	0.70	0.40	0.05

注記)

1. 図中の補修計画は、「既存点検データ」、「現地踏査」等に基づくものであり、工事に際しては現地状況を十分把握し、併せて監督職員の了承を得た上で行うこと。
2. 施工数量については、現地再確認を行った上、監督職員の承諾を得て決定すること。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	A2橋台 補修図		
作成年月日	令 和 7 年 11 月　日		
縮　尺	1:30	図面番号	58 ／ 64
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

数 量 総 括 表 （ 1 ）

橋脚巻立て工

細　別	規　格		単位	数　量							摘　要
				P1橋脚	P2橋脚	P3橋脚	P4橋脚	P5橋脚	P6橋脚	合　計	
下地処理			m2	39	41	57	57	39	36	269	
プライマー塗布	エポキシ樹脂プライマー	0.15 kg/m2	m2	39	41	57	57	39	36	269	
不陸修正	エポキシパテ	1.00 kg/m2	m2	39	41	57	57	39	36	269	
炭素繊維シート接着	高強度 引張3400N/m2 全面貼り	目付量 200g/m2	m2	30	32	34	70	30	18	214	
		目付量 300g/m2	〃	—	—	—	—	8	—	8	
		目付量 400g/m2	〃	—	—	—	16	—	32	48	
		目付量 450g/m2	〃	—	—	73	—	—	—	73	
		目付量 600g/m2	〃	36	36	—	—	18	18	108	
仕上げ塗装	ポリマーセメントモルタル		m2	39	41	57	57	39	36	269	

作業土工

細　別	規　格		単位	数　量									摘　要
				A1橋台	P1橋脚	P2橋脚	P3橋脚	P4橋脚	P5橋脚	P6橋脚	A2橋台	合計	
床掘り	土　砂	標　準	式	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
		自立式	式	1	—	—	—	—	—	—	1	1	
埋戻し	土　砂	1m以上4m未満	式	1	—	—	—	—	1	—	1	1	
		4m以上	式	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
積込み(ルーズ)	土　砂		式	1	—	1	—	—	—	—	1	1	
土砂運搬	土　砂		式	1	—	1	—	—	—	—	1	1	

工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事
図面名	数 量 総 括 表 （ 1 ）
作成年月日	令 和 7 年 11 月　　日
縮　尺	—— 図面番号 59 ／ 64
会社名	株式会社 長 大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

数 量 総 括 表 (2)

橋台改良工

細　別	規　格		単位	数　量			摘　要
				A1橋台	A2橋台	合　計	
下地処理	チッピング		m2	7.6	—	7.6	
コンクリート削孔	φ26×250　下向き		孔	46	—	46	
	φ29×200　横向き		孔	84	—	84	
基 礎 材	RC-40 t=20cm		m2	10	—	10	
均しコンクリート	t = 10cm		m2	10	—	10	
コンクリート	σck=24N/mm2		m3	26		26	
鉄　筋	SD345	D13	t	0.12	—	0.12	
		D16～D25	t	0.66	—	0.66	
型　枠	一般型枠		式	1	—	1	

橋台天端改良工

細　別	規　格		単位	数　量			摘　要
				A1橋台	A2橋台	合　計	
下地処理	チッピング	ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ・たて壁・ｳｲﾝｸﾞ部	m2	33	53	86	
		ﾌｰﾁﾝｸﾞ部	m2	—	6.0	6.0	
コンクリート削孔	φ200×61　下向き		孔	—	8	8	
	φ200×63　下向き		孔	4	—	4	
	φ200×64　下向き		孔	4	—	4	
	φ26×250　下向き		孔	77	114	191	
	φ32×340　下向き		孔	38	36	74	
	φ35×260　横向き		孔	54	128	182	
コンクリート	σck=24N/mm2		m3	26	41	67	
鉄　筋	SD345	D13	t	0.20	0.31	0.51	
		D16～D25	t	1.68	2.35	4.03	
機械式継手	D13		箇所	6	6	12	
	D16		箇所	14	14	28	
	D22		箇所	66	60	126	
フレア溶接	D16+D16		箇所	8	4	12	
型　枠	一般型枠		式	1	1	1	
支承箱抜き	円筒型枠	φ200×530	箇所	8	—	8	
		φ200×532	箇所	—	8	8	
支　保			式	1	1	1	
足　場	手摺先行型枠組足場		式	1	1	1	
足　場	単管足場		式	—	1	1	

工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事
図面名	数 量 総 括 表 (2)
作成年月日	令 和 7 年 11 月　日
縮　尺	--- / 図面番号 60 ／ 64
会社名	株式会社 長 大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

数 量 総 括 表 (3)

橋脚改良工

細　別	規　格		単位	数　量							摘　要
				P1橋脚	P2橋脚	P3橋脚	P4橋脚	P5橋脚	P6橋脚	合　計	
下地処理	チッピング		m2	—	28	23	23	22	22	118	
コンクリート削孔	φ35×260　下向き		孔	—	99	68	68	92	92	419	
	φ29×200　横向き		孔	—	—	—	—	104	104	208	
鉄　筋	SD345	D16～D25	t	—	0.74	0.61	0.64	2.09	2.08	6.16	
型　枠	一般型枠		式	—	1	1	1	1	1	1	
コンクリート	σck=24N/mm2		m3	—	11	12	14	37	37	111	

橋脚天端改良工

細　別	規　格		単位	数　量							摘　要
				P1橋脚	P2橋脚	P3橋脚	P4橋脚	P5橋脚	P6橋脚	合　計	
コンクリート削孔	φ26×250　下向き		孔	—	—	64	72	—	—	136	
	φ29×295　下向き		孔	48	48	—	—	48	48	192	
コンクリート	σck=24N/mm2		m3	3	3	8	8	3	3	28	
鉄　筋	SD345	D16～D25	t	0.48	0.48	0.60	0.61	0.49	0.49	3.15	
フレア溶接	D16+D16		箇所	—	—	64	68	—	—	132	
	D19+D19		箇所	48	48	—	—	48	48	192	
型　枠	一般型枠		式	1	1	1	1	1	1	1	
型　枠	一般型枠(合板円形型枠)		式	1	1	1	1	1	1	1	
支承箱抜き	円筒型枠	φ250×730	箇所	8	8	8	8	8	8	48	
足　場	手摺先行型足場		式	1	1	1	1	1	1	1	

表面被覆工

細　別	規　格	単位	数　量									摘　要
			A1橋台	P1橋脚	P2橋脚	P3橋脚	P4橋脚	P5橋脚	P6橋脚	A2橋台	合　計	
ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗布		橋	1	—	—	—	—	—	—	1	2	
下塗り(ﾊﾟﾃ塗布)		橋	1	—	—	—	—	—	—	1	2	
中塗り材塗布		橋	1	—	—	—	—	—	—	1	2	
上塗り材塗布		橋	1	—	—	—	—	—	—	1	2	

工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事
図面名	数 量 総 括 表 (3)
作成年月日	令 和 7 年 11 月　日
縮　尺	--- / 図面番号 61 ／ 64
会社名	株式会社 長 大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

数 量 総 括 表 （ 4 ）

断面修復工

細　別	規　格	単位	数　量								摘　要
			A1橋台	P1橋脚	P2橋脚	P3橋脚	P4橋脚	P5橋脚	P6橋脚	A2橋台	合　計	
左官工法	ポリマーセメントモルタル	構造物	—	—	—	—	—	—	—	1	1	

構造物取壊し工

細　別	規　格	単位	数　量								摘　要
			A1橋台	P1橋脚	P2橋脚	P3橋脚	P4橋脚	P5橋脚	P6橋脚	A2橋台	合　計	
コンクリートはつり	平均はつり厚さ　t=30cm	m3	3	—	—	—	—	4	4	—	11	
殻積込	コンクリート殻	m3	3	—	—	—	—	4	4	—	11	
コンクリート切断	水平切断	m2	14	3	3	6	6	3	3	13	51	
	垂直切断	m2	2	—	—	—	—	—	—	2	4	
コンクリート構造物取壊し	鉄筋構造物	m3	70	6	6	11	12	6	6	72	189	

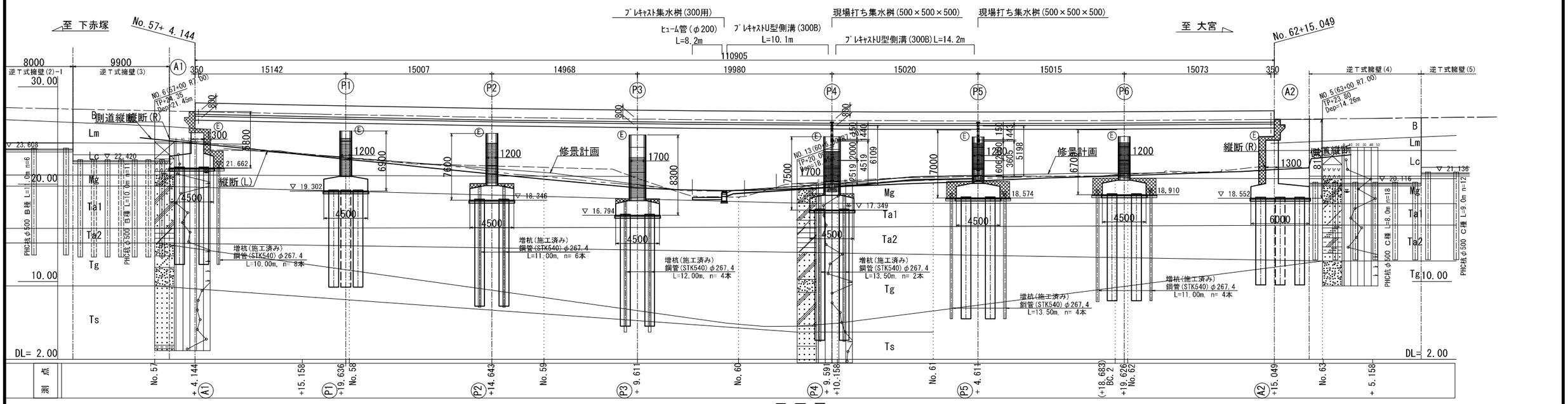
運搬処理工

細　別	規　格	単位	数　量								摘　要
			A1橋台	P1橋脚	P2橋脚	P3橋脚	P4橋脚	P5橋脚	P6橋脚	A2橋台	合　計	
殻運搬	コンクリート(鉄筋)	m3	70	6	6	11	12	6	6	72	189	
	コンクリート(無筋)	m3	3	—	0.02	0.02	0.02	4	4	0.05	11	
殻処分	コンクリート(鉄筋)	m3	70	6	6	11	12	6	6	72	189	
	コンクリート(無筋)	m3	3	—	0.02	0.02	0.02	4	4	0.05	11	

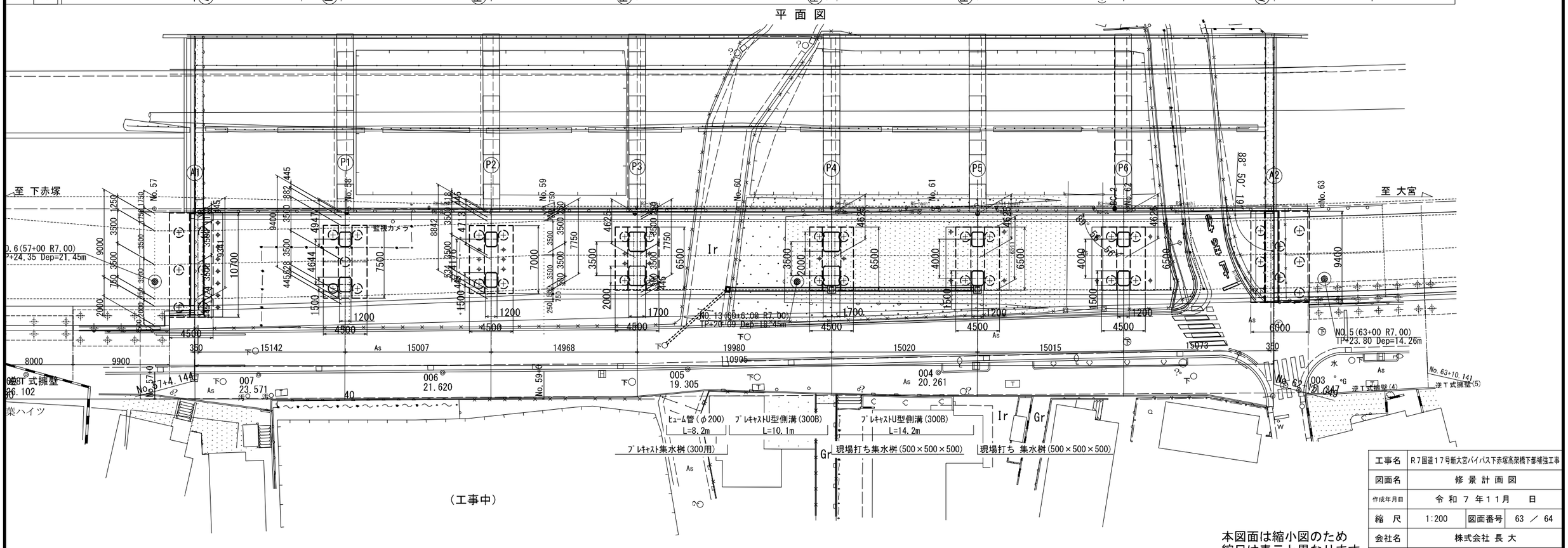
工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事
図面名	数 量 総 括 表 （ 4 ）
作成年月日	令 和 7 年 11 月　日
縮　尺	--- / 図面番号 62 ／ 64
会社名	株式会社 長 大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

修 景 計 画 図 S=1:200

側 面 図



平 面 図

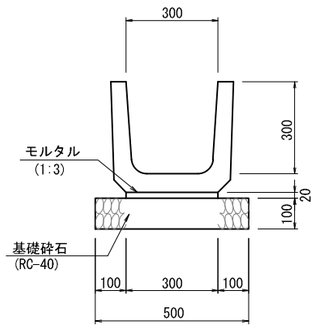


本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	修 景 計 画 図		
作成年月日	令 和 7 年 11 月 日		
縮 尺	1:200	図面番号	63 ／ 64
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

小 構 造 物 図

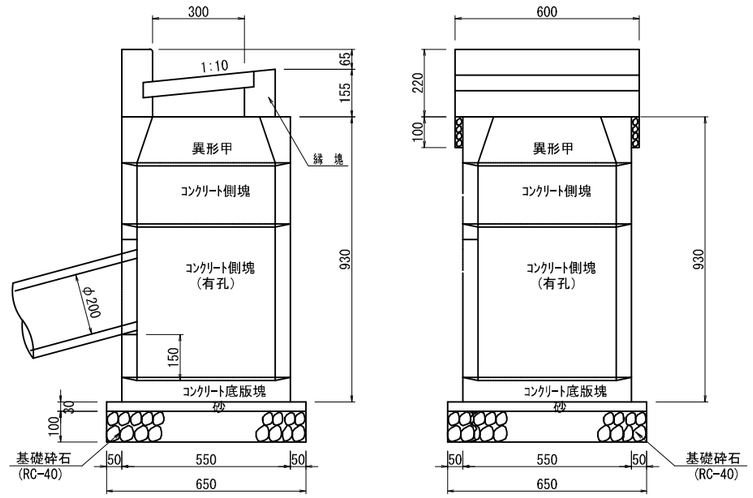
プレキャストU型側溝 S=1：10
(300B)

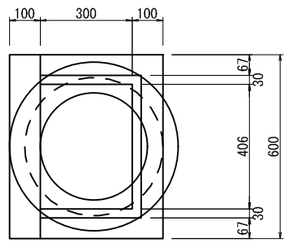


材 料 表 (10m当り)

品 名	形状・寸法	単位	数量	摘要
U型側溝	300B	m	10.0	
モルタル	1:3	m^3	0.06	
基礎砕石	RC-40, t=100	m^2	5.0	

プレキャスト集水桝 S=1：10
(300用)



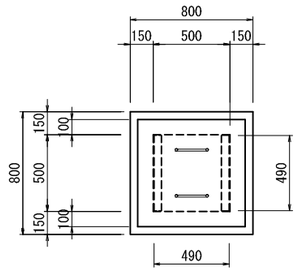


材 料 表 (10箇所当り)

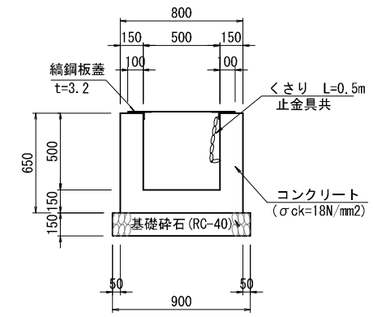
品 名	形状・寸法	単位	数量	摘要
縁 塊	ふ た 共	個	10	
側 塊	異 形 甲	個	10	
側 塊	異 形 甲	個	10	
側 塊	有 孔	個	10	
底 版 塊		個	10	
モルタル	1:3	m^3	0.07	
砂	敷 砂	m^3	0.10	
基礎砕石	RC-40, t=100	m^2	3.77	

現場打ち集水桝 S=1：20
(500×500×500)

平面図



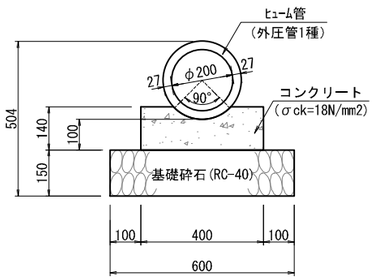
側面図



材 料 表 (10箇所当り)

品 名	形状・寸法	単位	数量	摘要
縞鋼板蓋	t=3.2mm	枚	10.0	
コンクリート	σck=18N/mm2	m^3	2.91	
型 枠		式	1	
基礎砕石	RC-40, t=100	m^2	8.1	

ヒューム管 S=1：10
(φ200)



材 料 表 (10m当り)

品 名	形状・寸法	単位	数量	摘要
ヒューム管	φ200	m	10.0	外圧管1種
コンクリート	σck=18N/mm2	m^3	0.50	
型 枠		式	1	
基礎砕石	RC-40, t=100	m^2	6.0	

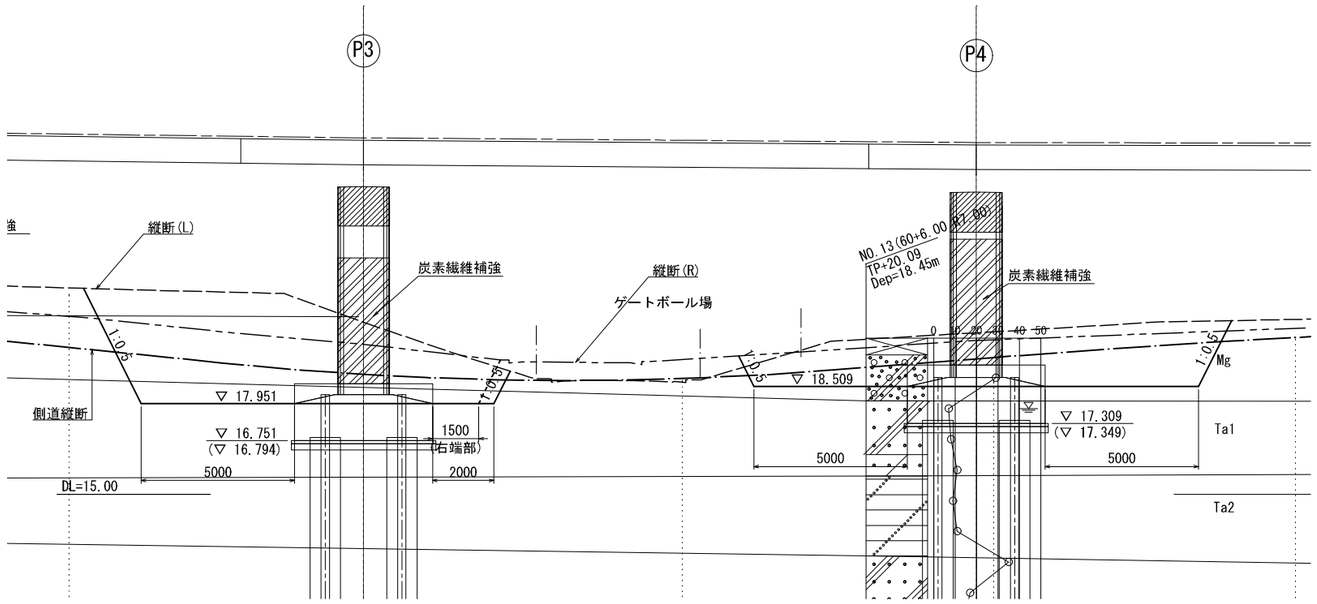
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	小 構 造 物 図		
作成年月日	令 和 7 年 11 月 日		
縮 尺	図示	図面番号	64 ／ 64
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

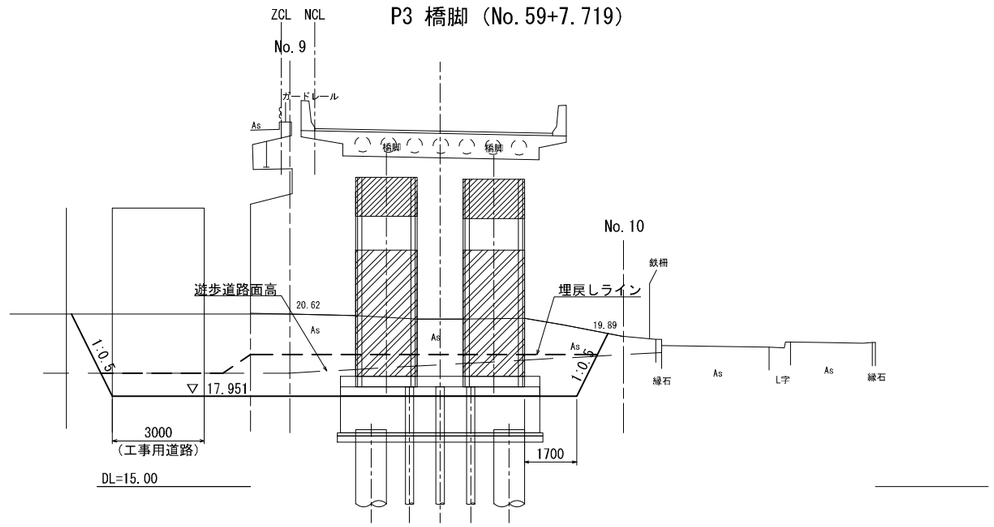
仮設一般図(その1)(参考図)　S=1:100

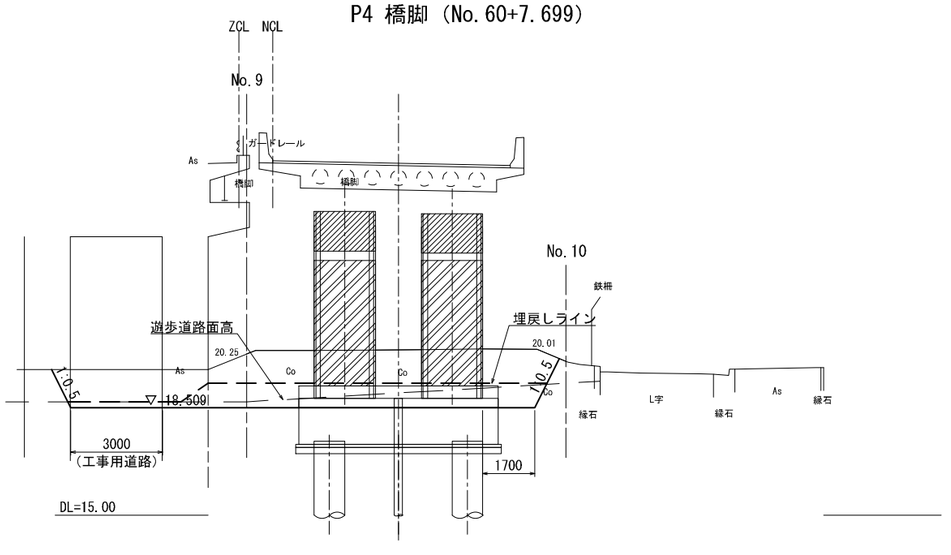
側 面 図

P3,P4橋脚施工時

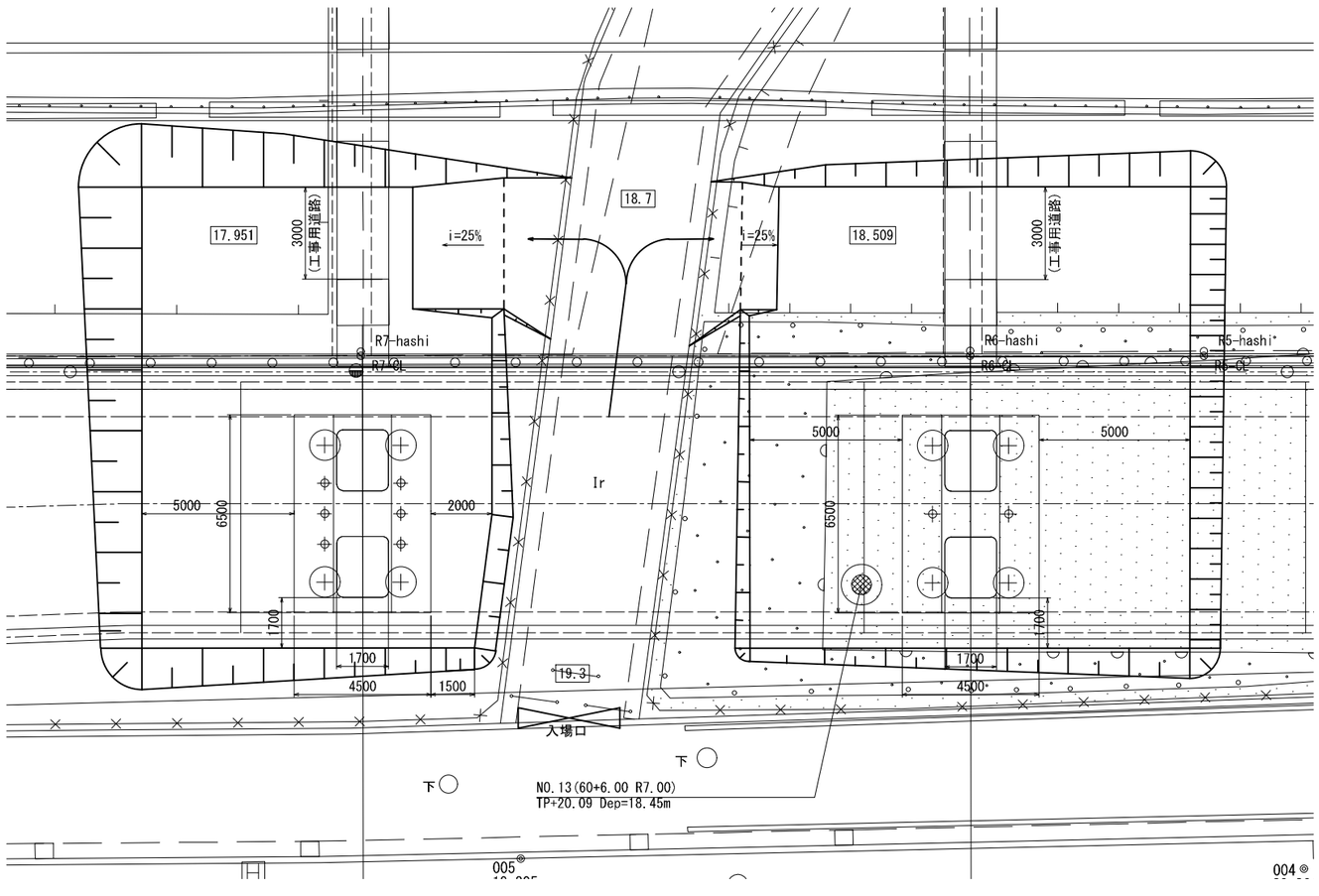


断 面 図





平 面 図



この「参考図面」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。従って「参考図面」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
　なお、この「参考図面」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

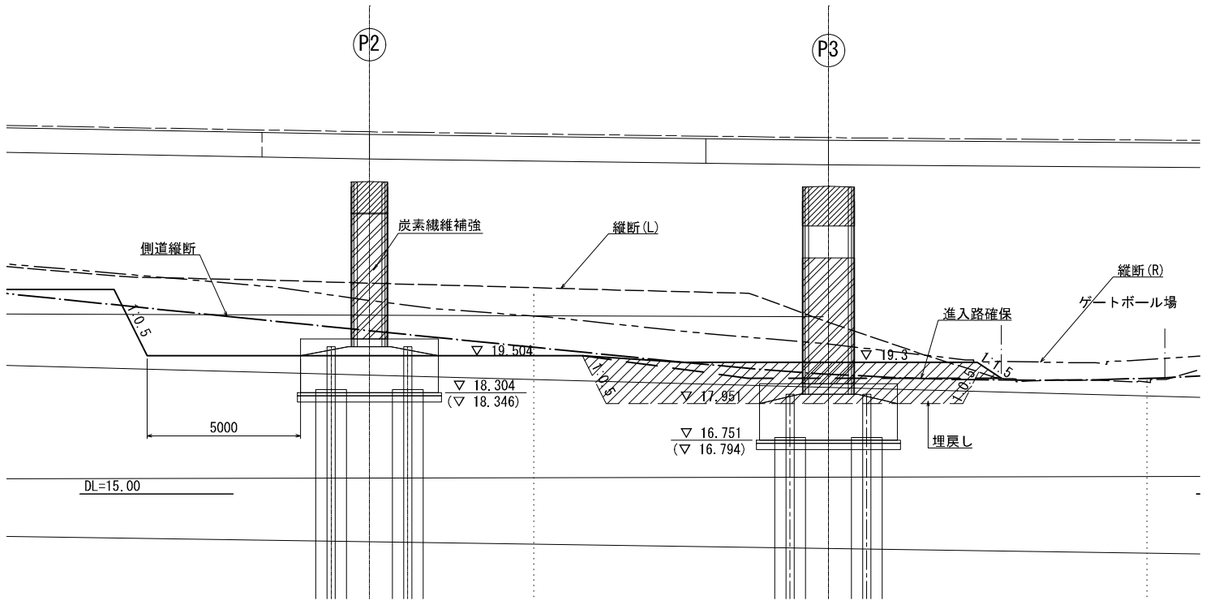
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	仮設一般図(その1)(参考図)		
作成年月日	令 和 ７ 年 １１ 月　　日		
縮　尺	1:100	図面番号	1 － 23
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

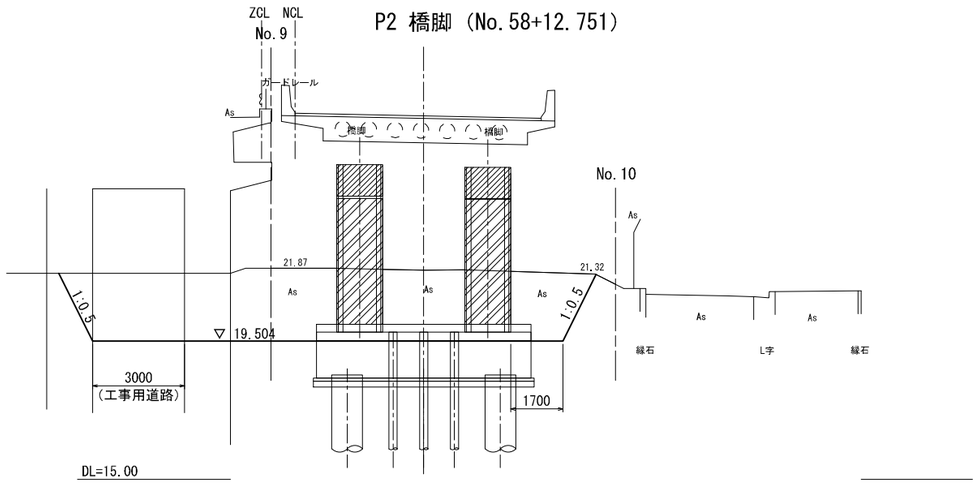
仮設一般図(その2)(参考図)　S=1:100

側面図

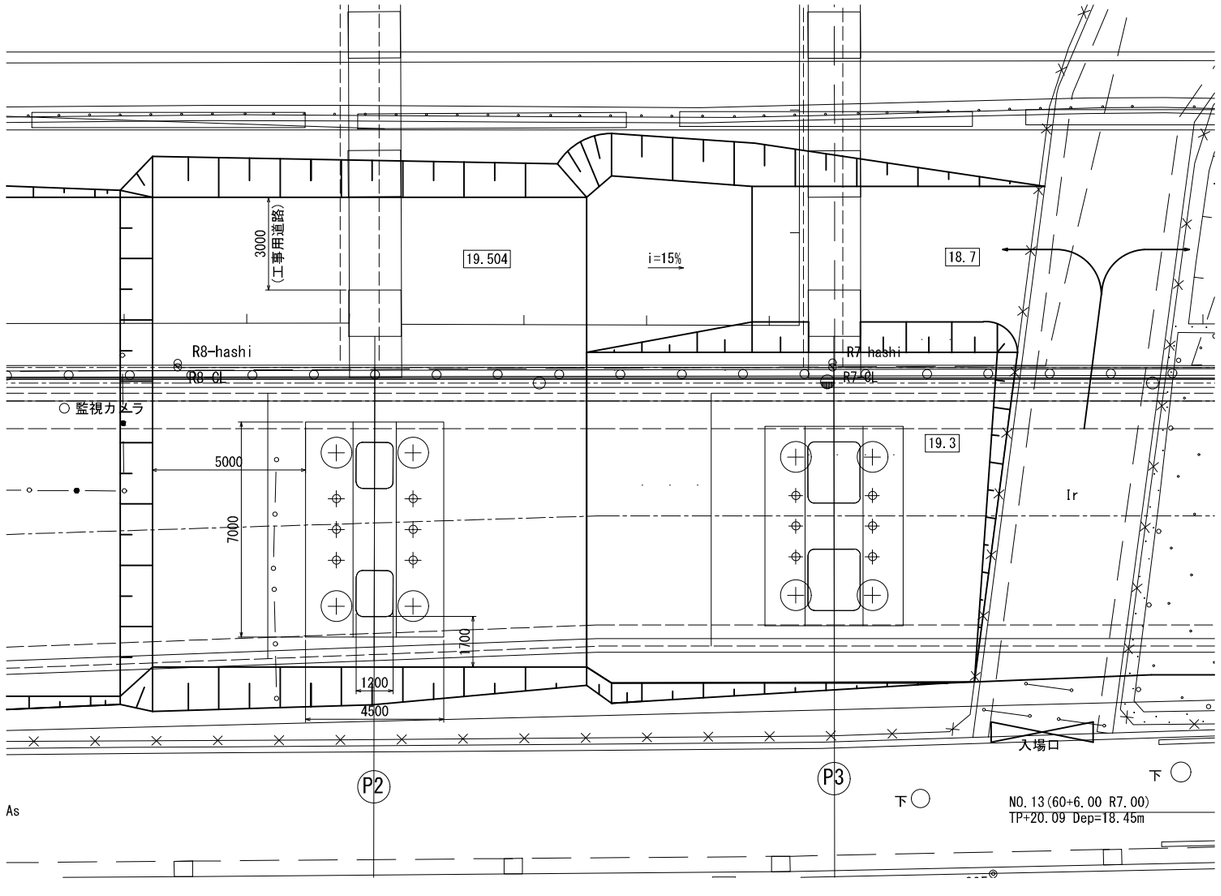
P2橋脚施工時



断面図



平面図



この「参考図面」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。従って「参考図面」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
　なお、この「参考図面」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

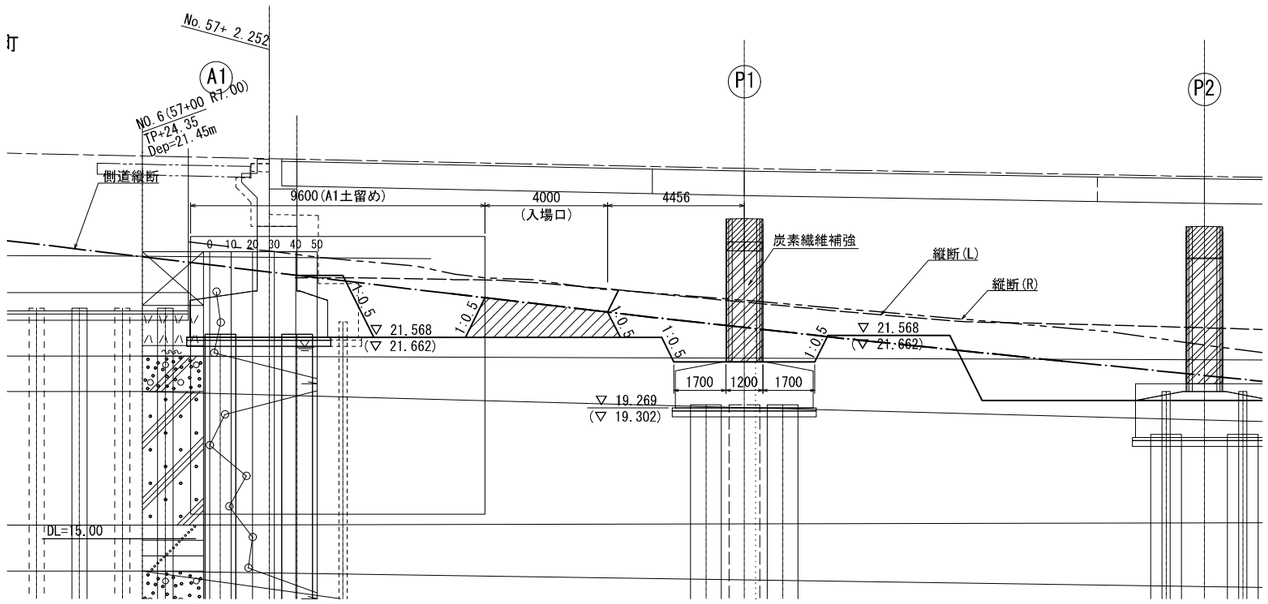
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	仮設一般図(その2)(参考図)		
作成年月日	令 和 ７ 年 １１ 月　　日		
縮　尺	1:100	図面番号	2 － 23
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

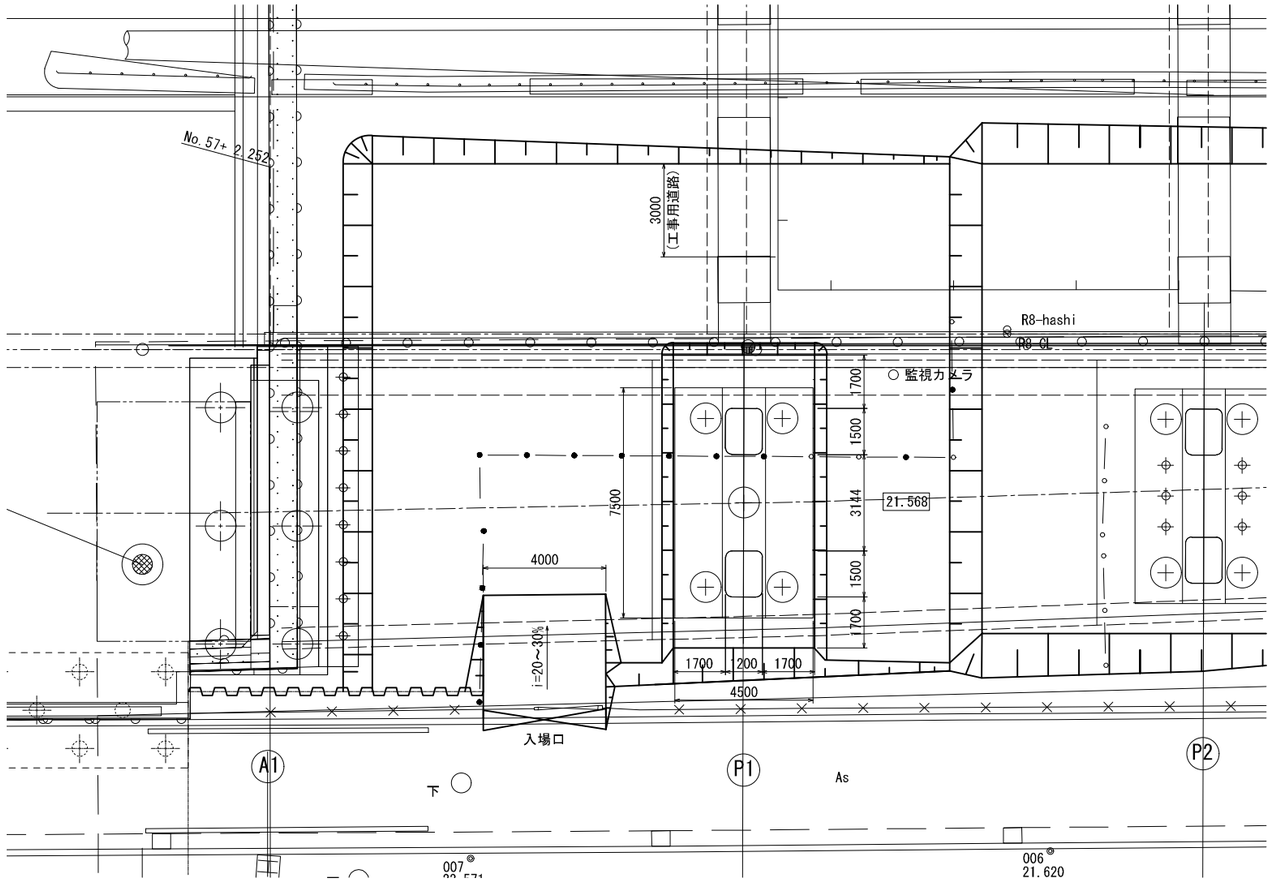
仮設一般図(その3)(参考図)　S=1:100

P1橋脚施工時

側面図

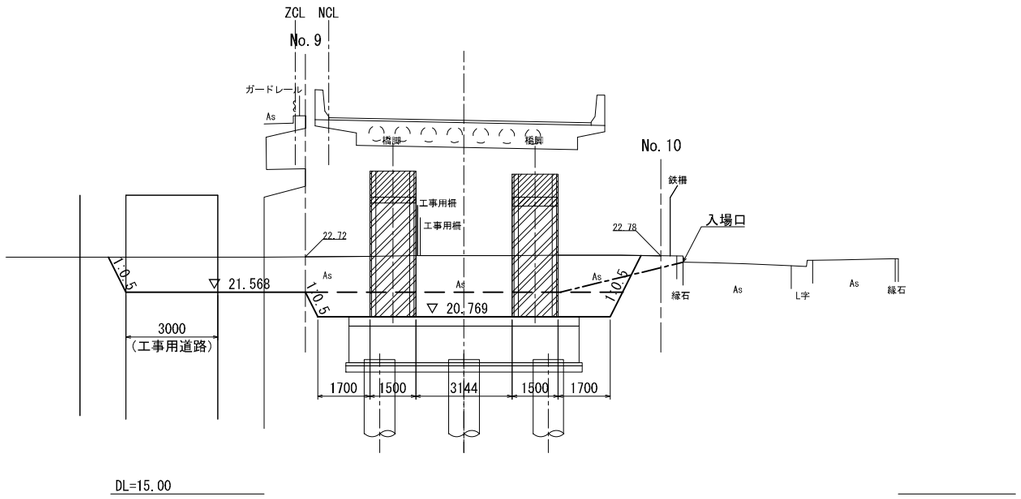


平面図



断面図

P1 橋脚 (No.57+17.743)



この「参考図面」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。従って「参考図面」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
　なお、この「参考図面」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

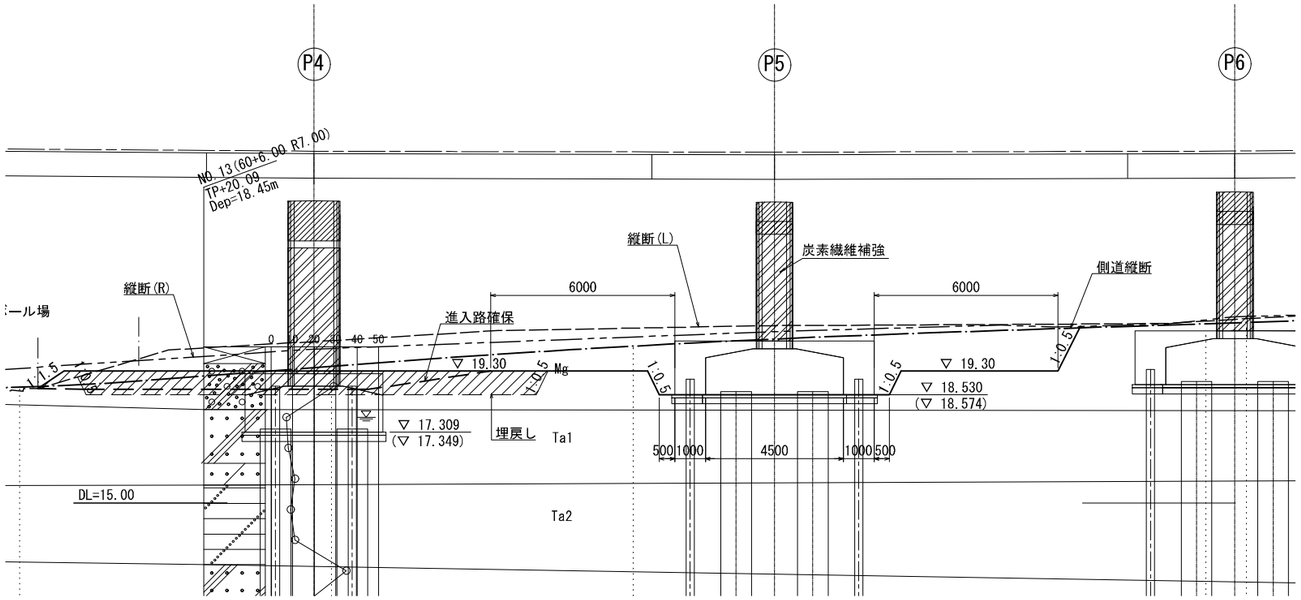
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	仮設一般図(その3)(参考図)		
作成年月日	令 和 ７ 年 １１月　　日		
縮　尺	1:100	図面番号	3 － 23
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

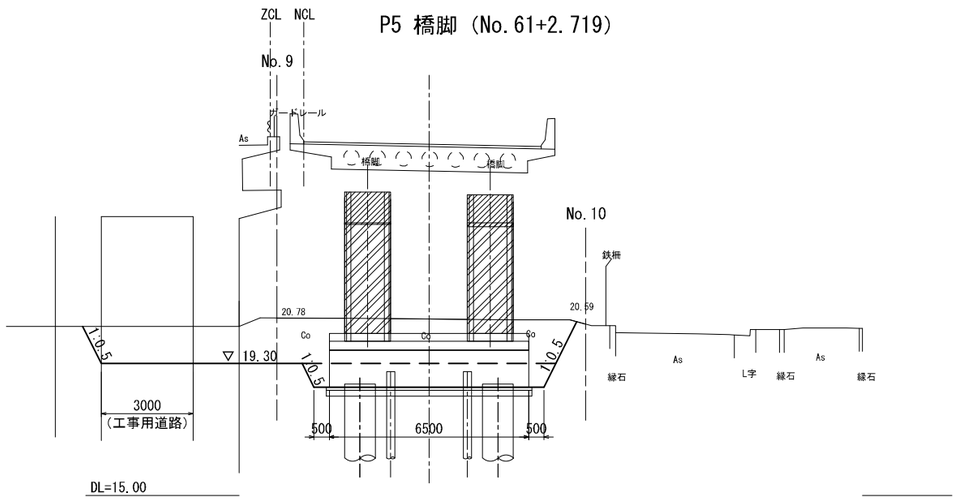
仮設一般図(その4)(参考図)　S=1:100

P5橋脚施工時

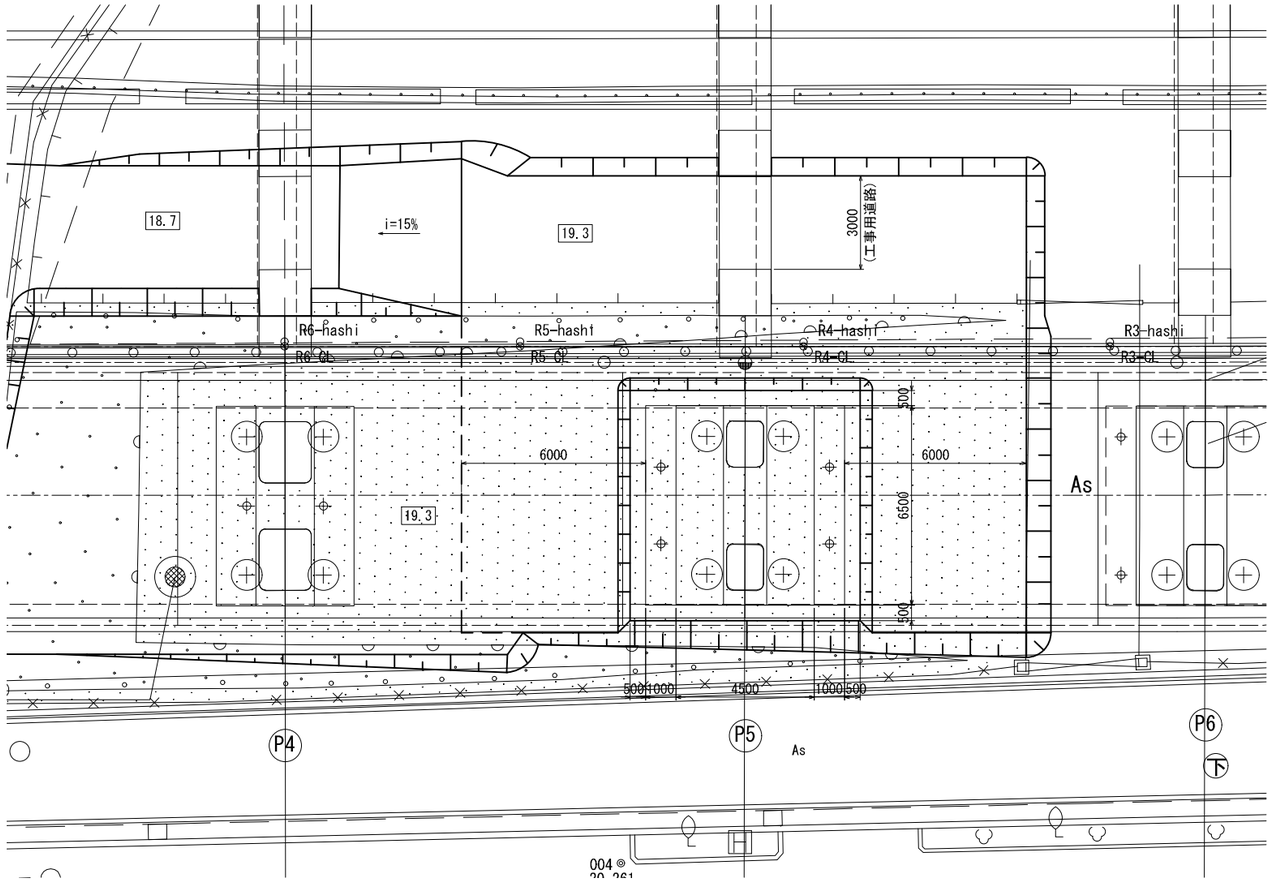
側 面 図



断 面 図



平 面 図



この「参考図面」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。従って「参考図面」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
　なお、この「参考図面」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

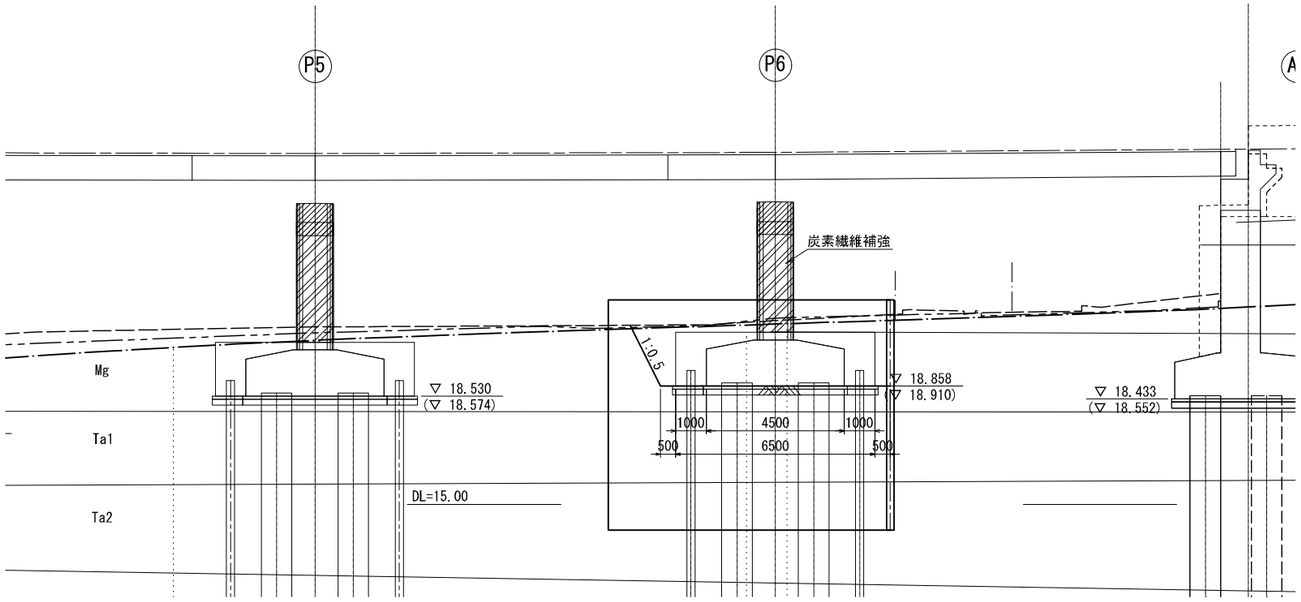
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	仮設一般図(その4)(参考図)		
作成年月日	令 和 ７ 年 １１ 月　　日		
縮　尺	1:100	図面番号	4 － 23
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

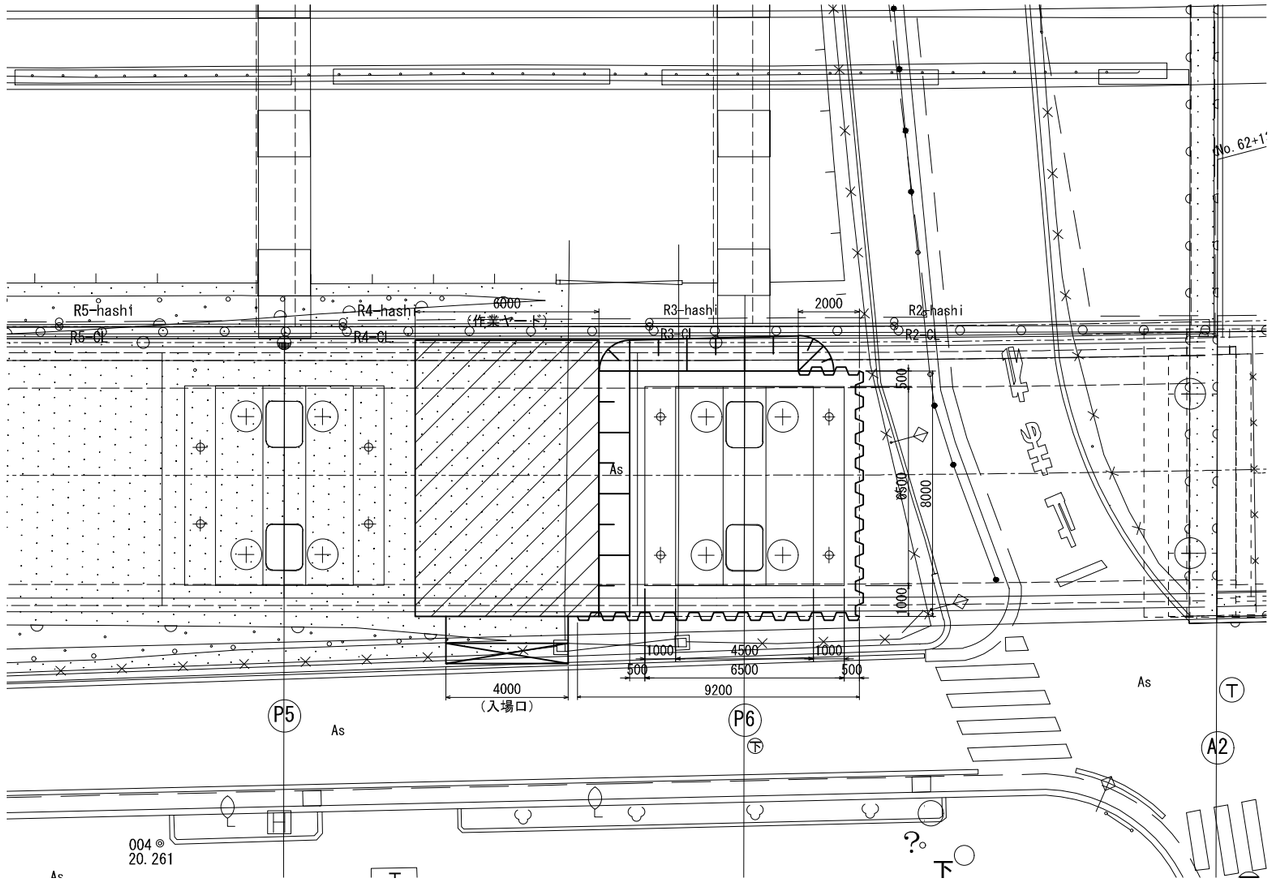
仮設一般図(その5)(参考図)　S=1:100

側 面 図

P6橋脚施工時

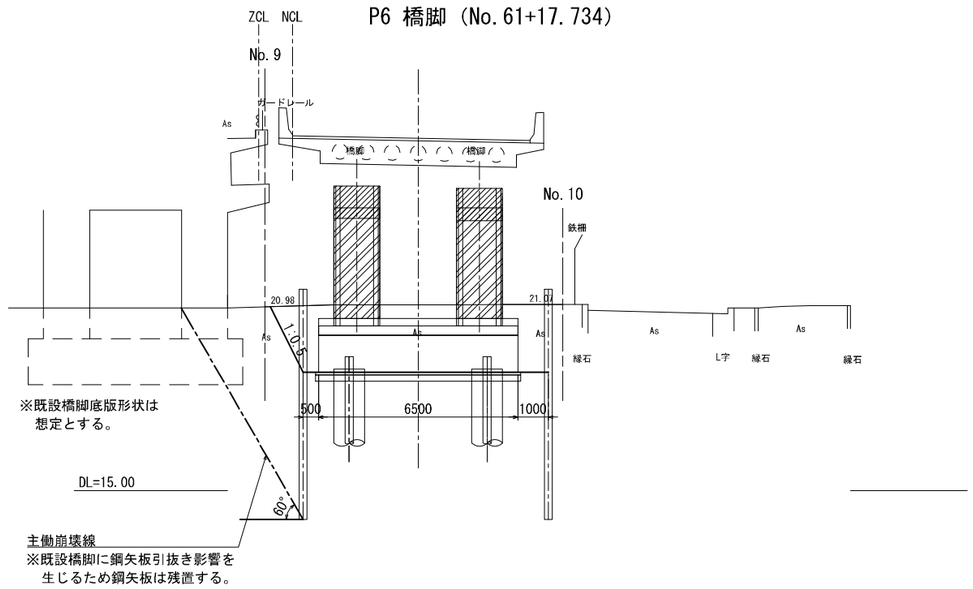


平 面 図



断 面 図

P6 橋脚 (No.61+17.734)



この「参考図面」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。従って「参考図面」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
　なお、この「参考図面」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

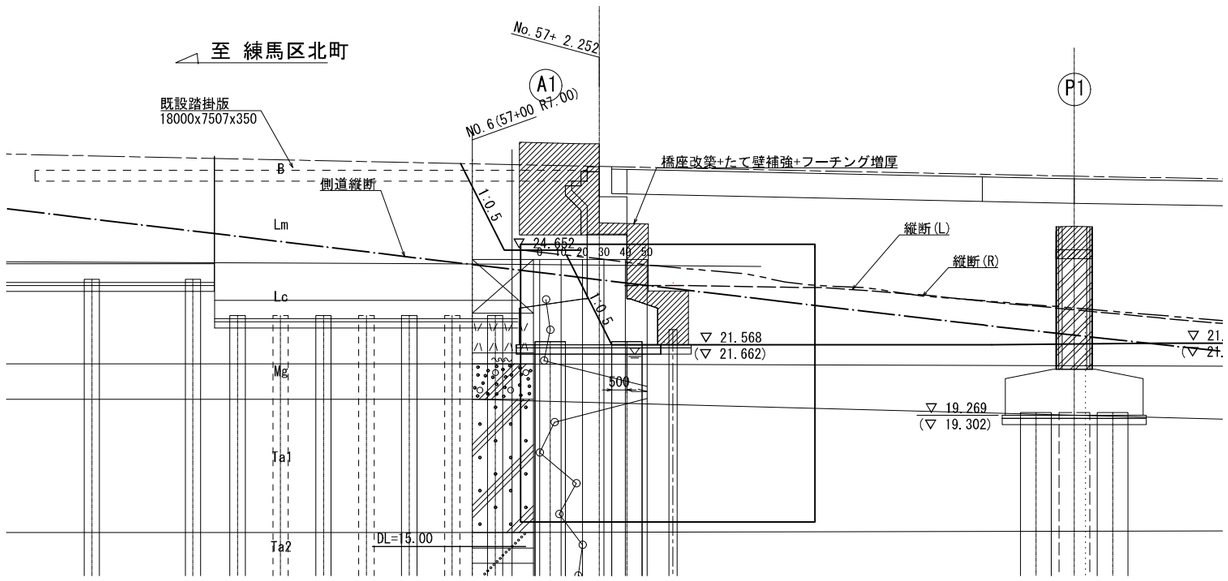
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	仮設一般図(その5)(参考図)		
作成年月日	令 和 ７ 年 １１ 月　　日		
縮　尺	1:100	図面番号	5 － 23
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

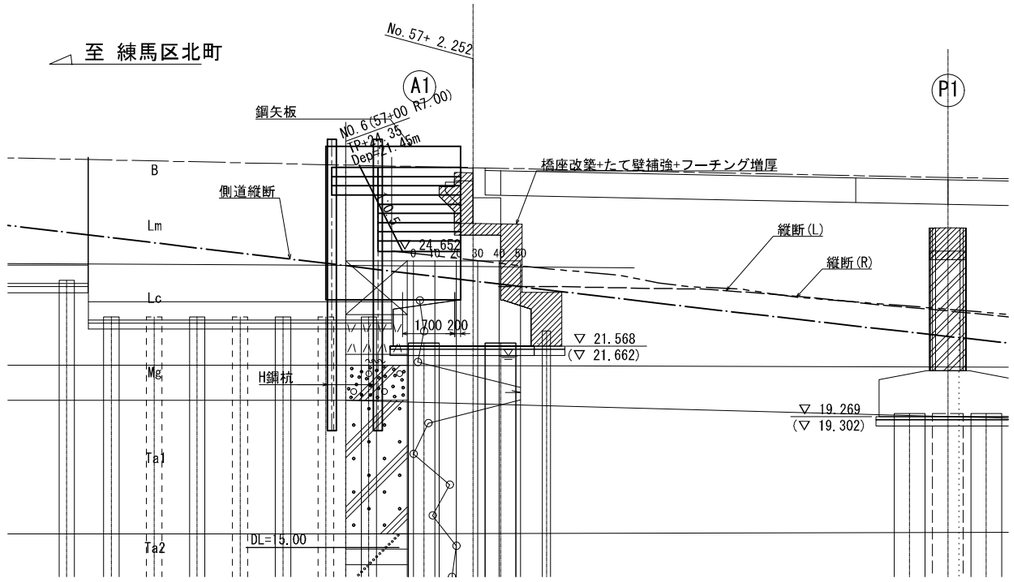
仮設一般図(その6)(参考図)　S=1:100

A1橋台施工時

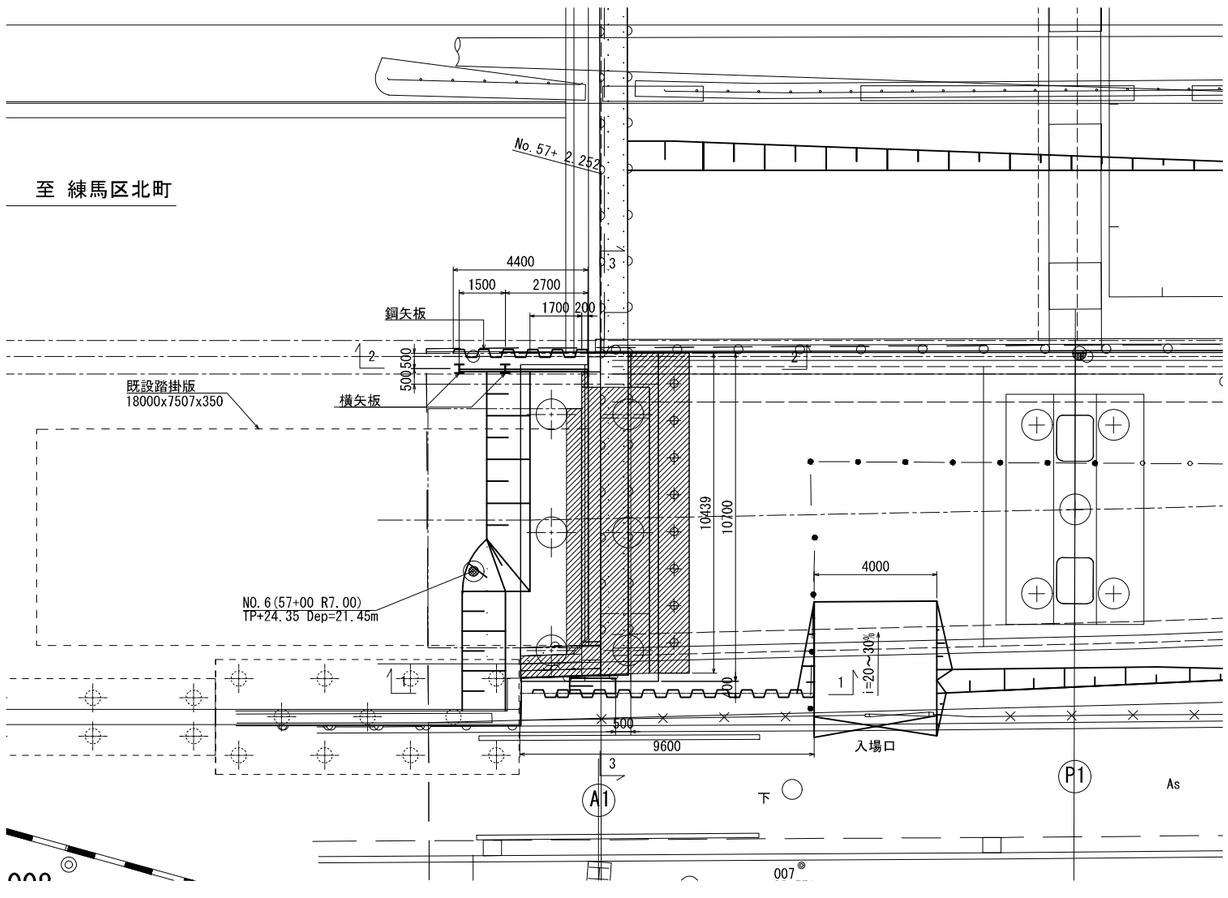
側 面 図
1－1



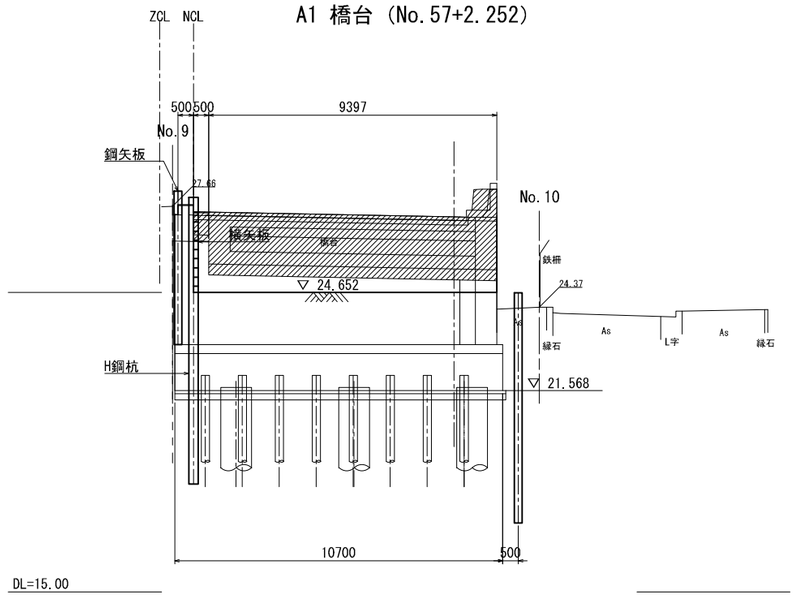
側 面 図
2－2



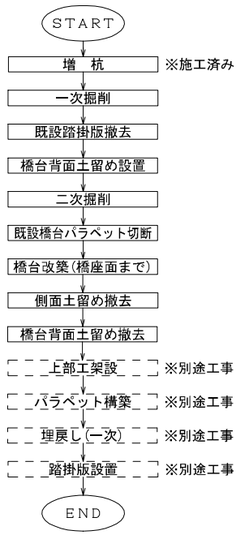
平 面 図



断 面 図
3－3



◆施工フロー



この「参考図面」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。従って「参考図面」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
　なお、この「参考図面」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

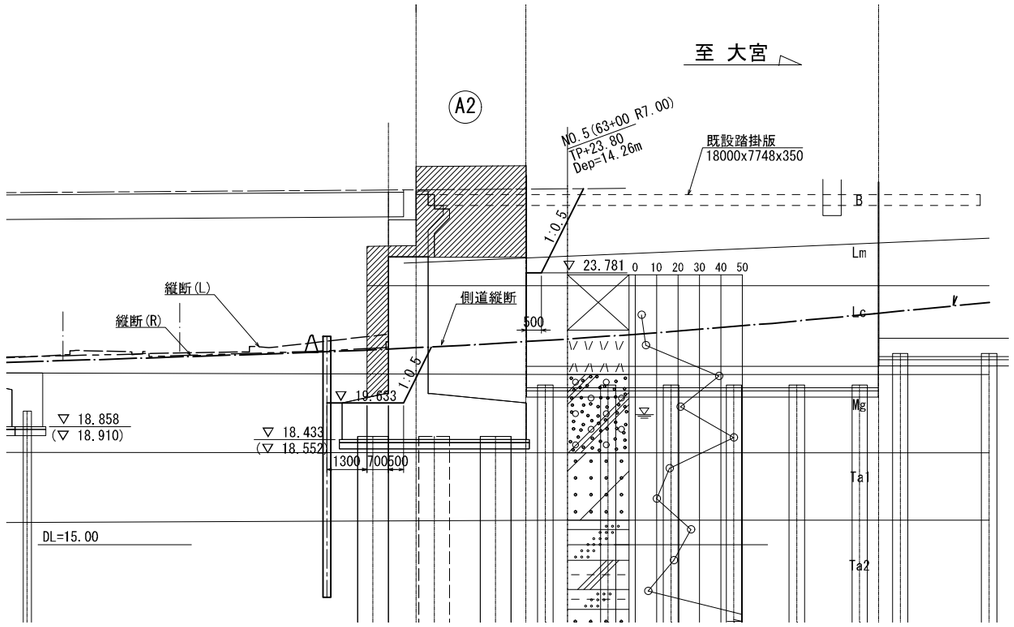
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	仮設一般図(その6)(参考図)		
作成年月日	令 和 ７ 年 １１月　日		
縮　尺	1:100	図面番号	6 － 23
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

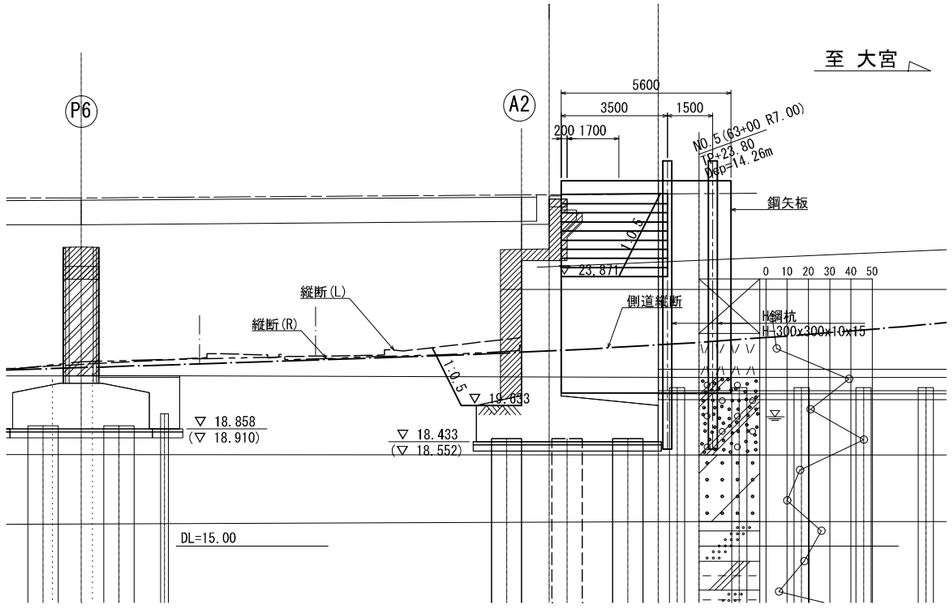
仮設一般図(その7)(参考図)　S=1:100

A2橋台施工時

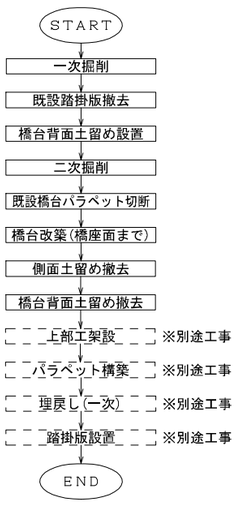
側面図 1－1



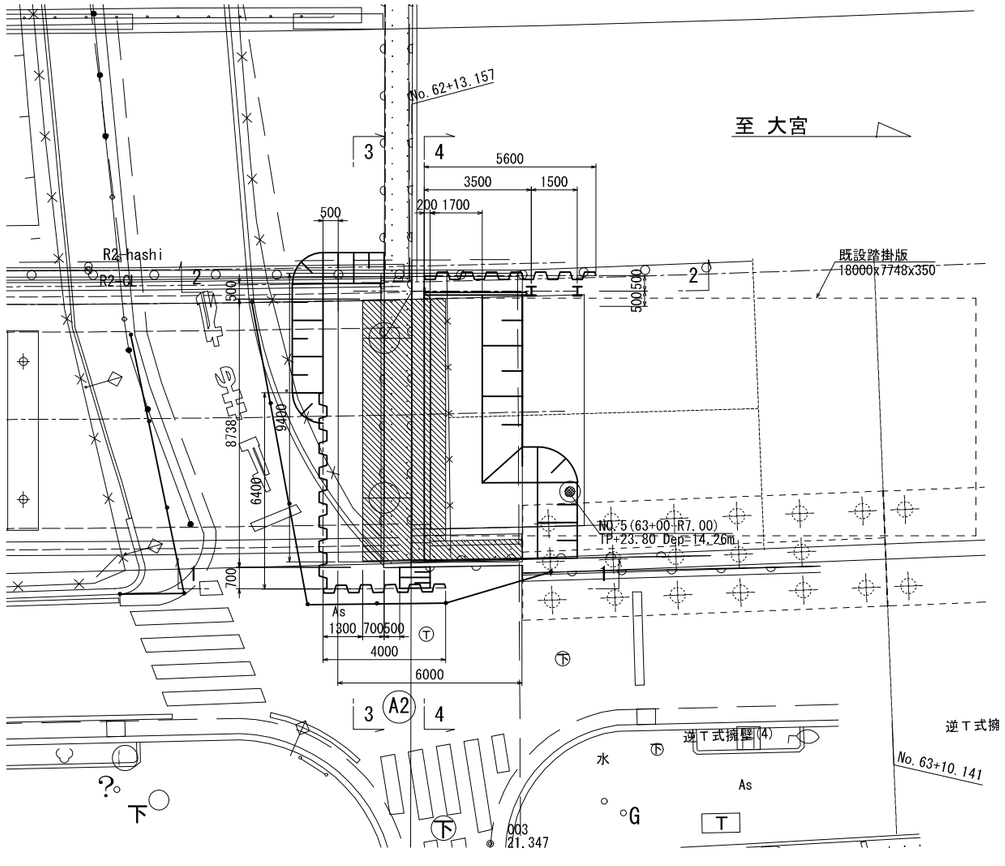
側面図 2－2



◆施工フロー

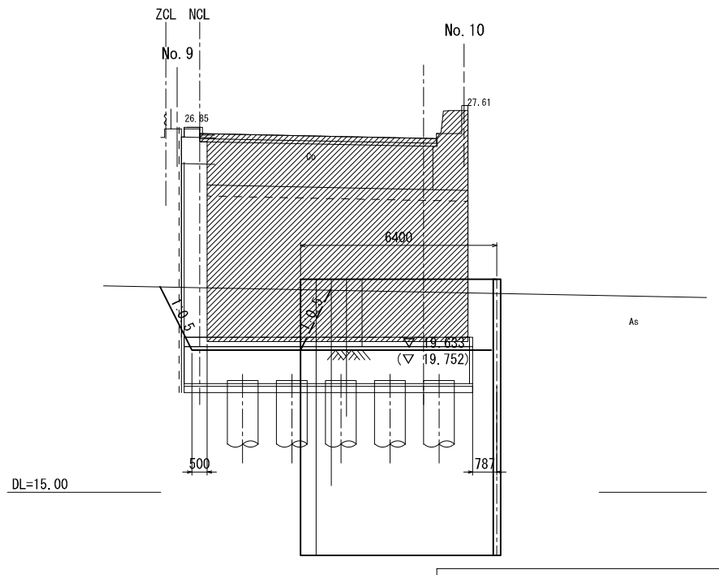


平面図



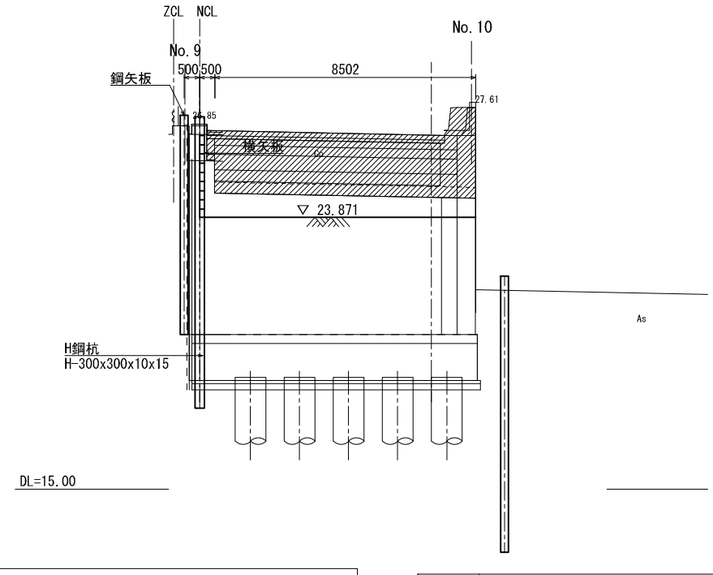
断面図 3－3

A2 橋台 (No.62+13.157)



断面図 4－4

A2 橋台 (No.62+13.157)



この「参考図面」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。従って「参考図面」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
　なお、この「参考図面」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

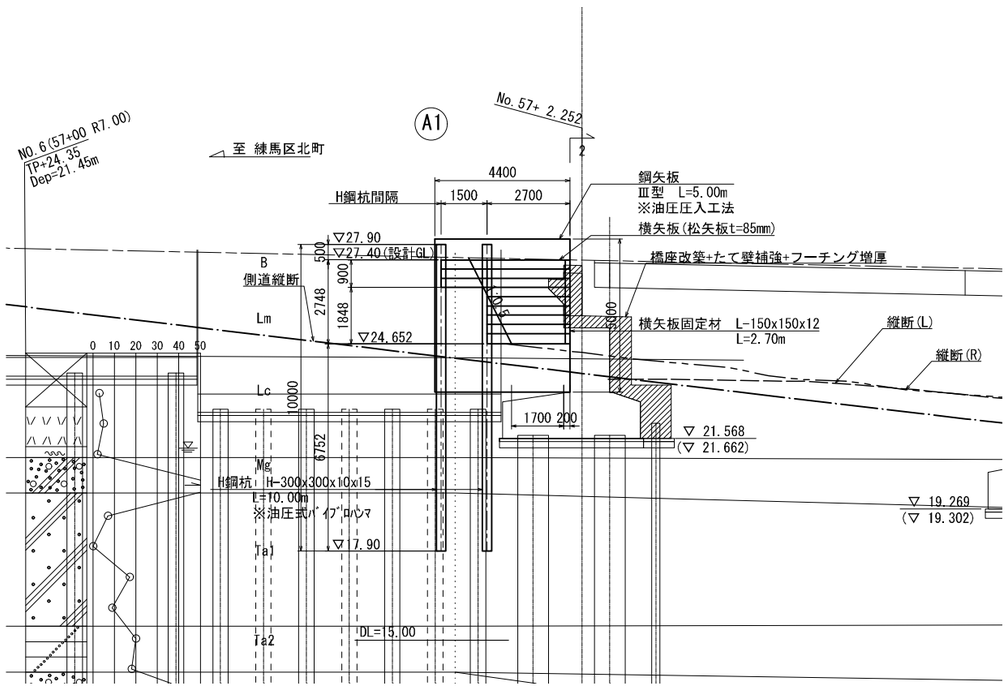
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	仮設一般図(その7)(参考図)		
作成年月日	令 和 ７ 年 １１月　　日		
縮　尺	1:100	図面番号	7 － 23
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

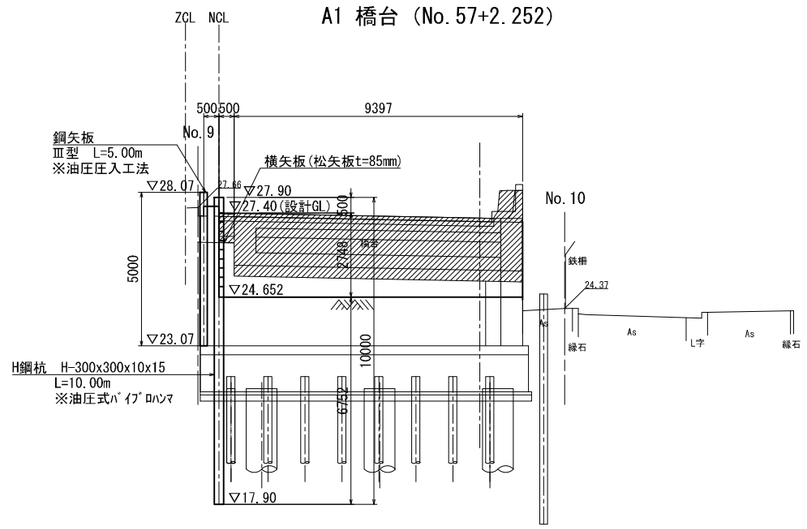
土留め詳細図(その1)(参考図)

A1橋台背面土留め

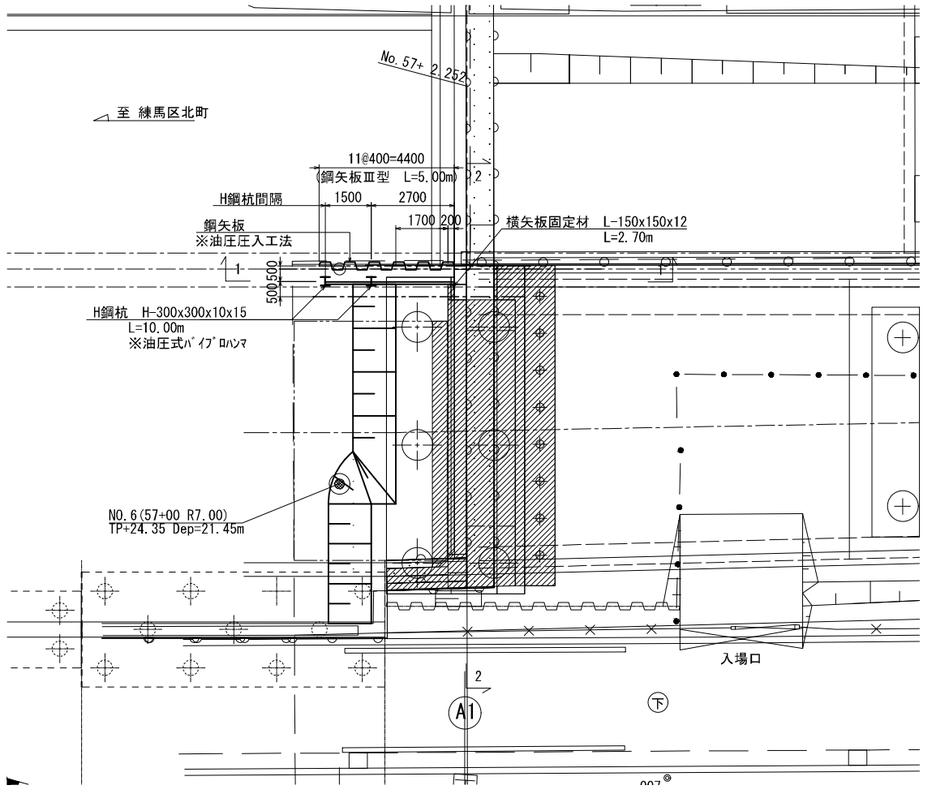
側 面 図 S=1:100
1－1



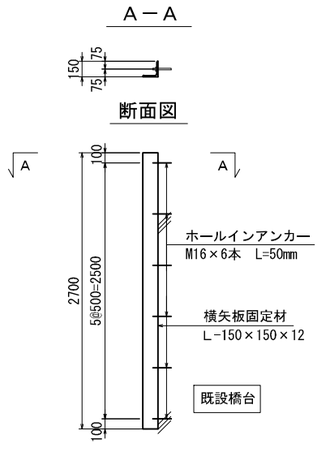
断 面 図 S=1:100
2－2



平 面 図 S=1:100



横矢板固定材取付け詳細図 S=1:30



※施工計画上の留意点

1) 横矢板設置時の道路への掘削影響を低減するため、H鋼杭外側に鋼矢板を設置する。
2) 鋼矢板及びH鋼杭の打設は低騒音・低振動での施工が可能な油圧圧入工法及び油圧式ﾊﾞｲﾌﾞﾛﾊﾝﾏを適用する。
3) 既設橋台と土留め壁の取合い部は既設橋台側に山形鋼(L-150)をホールインアンカーで固定し、横矢板を設置する。
横矢板の設置は1m毎に掘削→山形鋼設置→横矢板設置を繰返す。

土留め工数量集計表

名 称	規 格	長さ (m)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
H鋼杭	H-300×300×10×15	10.00	2	93.0	930.0	1,860.0	リース材
小計						1,860.0	
鋼矢板	Ⅲ型	5.00	11	60.0	300.0	3,300.0	リース材
小計						3,300.0	
横矢板固定材	L-150×150×12	2.70	1	27.3	73.7	73.7	
小計						73.7	
合計						5,233.7	

H鋼杭打設	油圧式ﾊﾞｲﾌﾞﾛﾊﾝﾏ、H-300、N≦50	(L≦12m/本)	N=	2 本
鋼矢板打設	油圧圧入工法、Ⅲ型、N≦25	(L≦6m/枚)	N=	11 枚
H鋼杭引抜	油圧式ﾊﾞｲﾌﾞﾛﾊﾝﾏ、H-300	(L≦12m/本)	N=	2 本
鋼矢板引抜	油圧圧入工法、Ⅲ型	(L≦6m/枚)	N=	11 枚
横矢板	松矢板 t=85mm		A=	8.8 m2
ホールインアンカー	M16、L=50mm		N=	6 本

この「参考図面」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。従って「参考図面」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
なお、この「参考図面」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

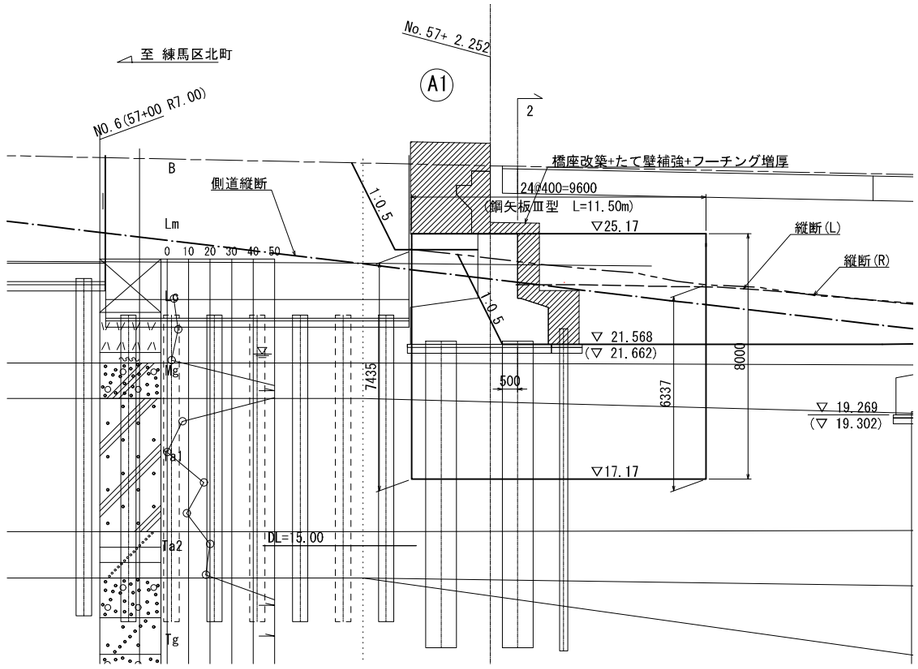
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事
図面名	土留め詳細図(その1)(参考図)
作成年月日	令 和 ７ 年 １１月 日
縮 尺	図 示
図面番号	8 － 23
会社名	株式会社 長 大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

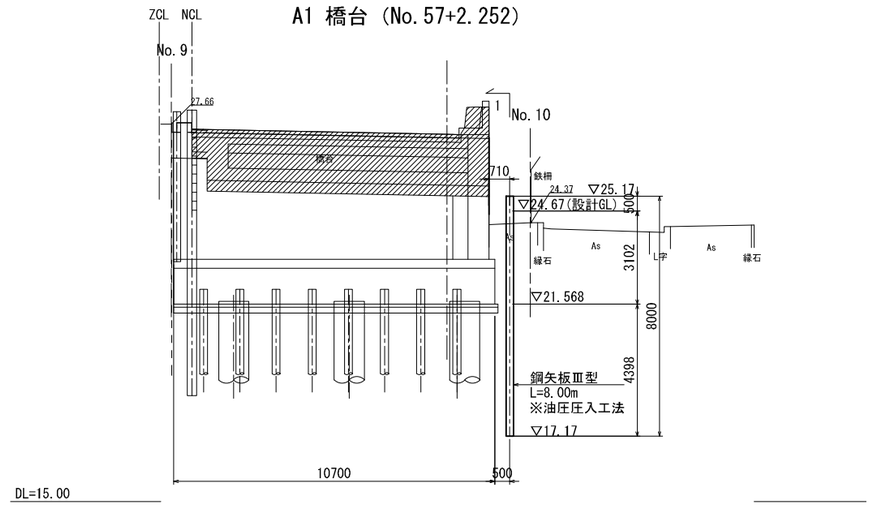
土留め詳細図(その2)(参考図)　S=1:100

A1橋台側面土留め

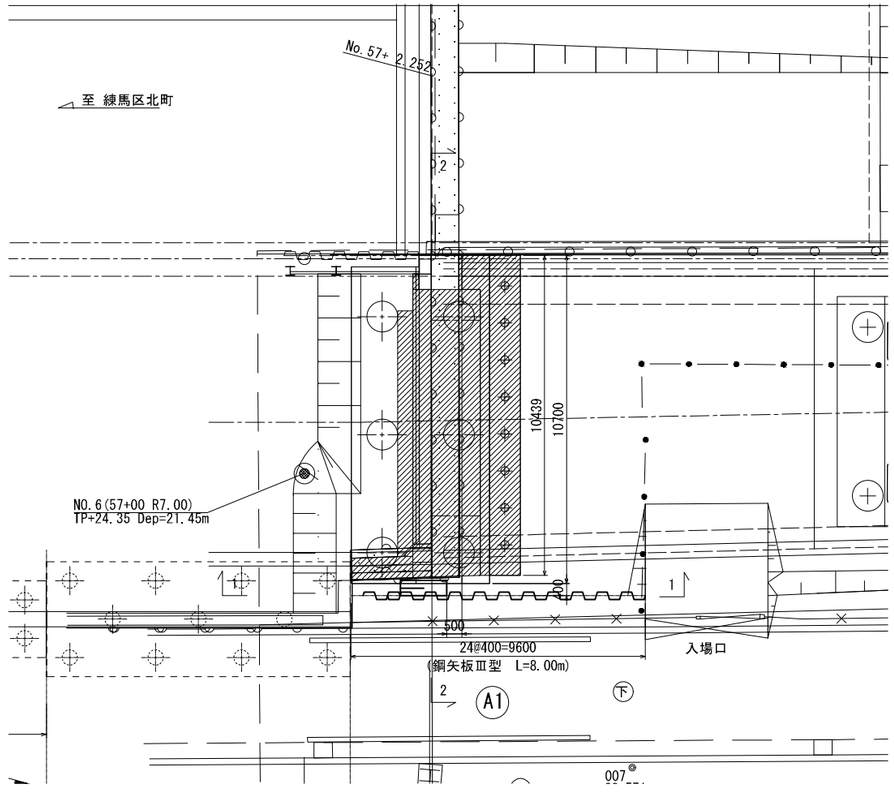
側 面 図
1－1



断 面 図
2－2



平 面 図



土留め工数量集計表

名　称	規　格	長さ (m)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
鋼矢板	Ⅲ型	8.00	24	60.0	480.0	11,520.0	リース材
小計							
						11,520.0	
合計						11,520.0	

鋼矢板打設	油圧圧入工法、Ⅲ型、N≦50	(L≦9m/枚)	N=	24 枚
鋼矢板引抜	油圧圧入工法、Ⅲ型	(L≦9m/枚)	N=	24 枚

この「参考図面」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。従って「参考図面」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
　なお、この「参考図面」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

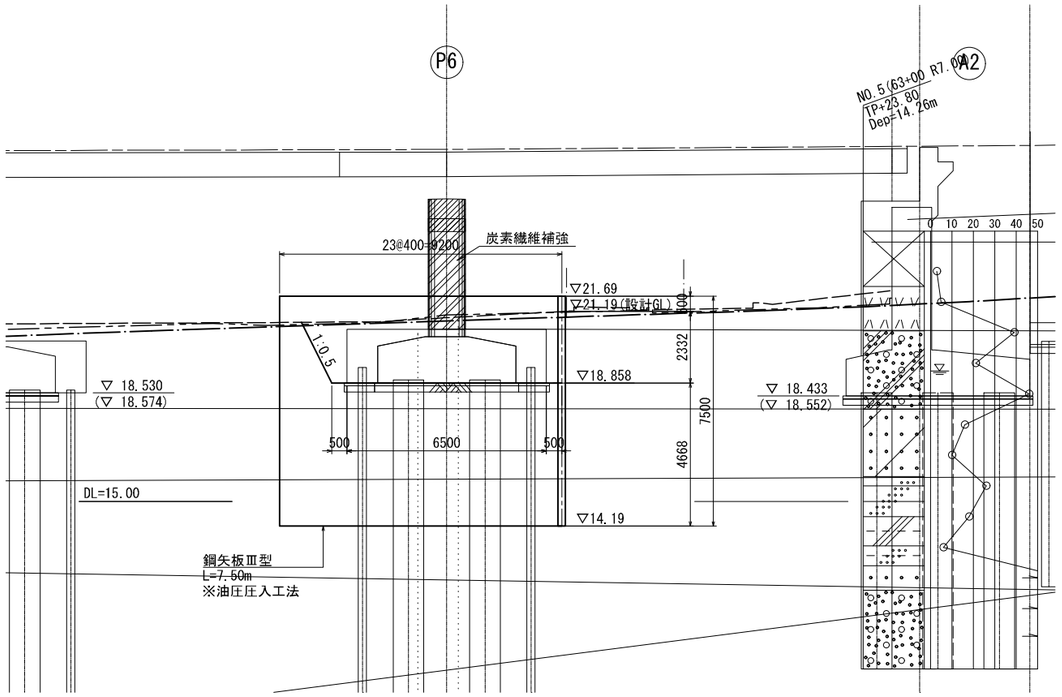
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	土留め詳細図(その2)(参考図)		
作成年月日	令 和 ７ 年 １１月　日		
縮　尺	1:100	図面番号	9 － 23
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

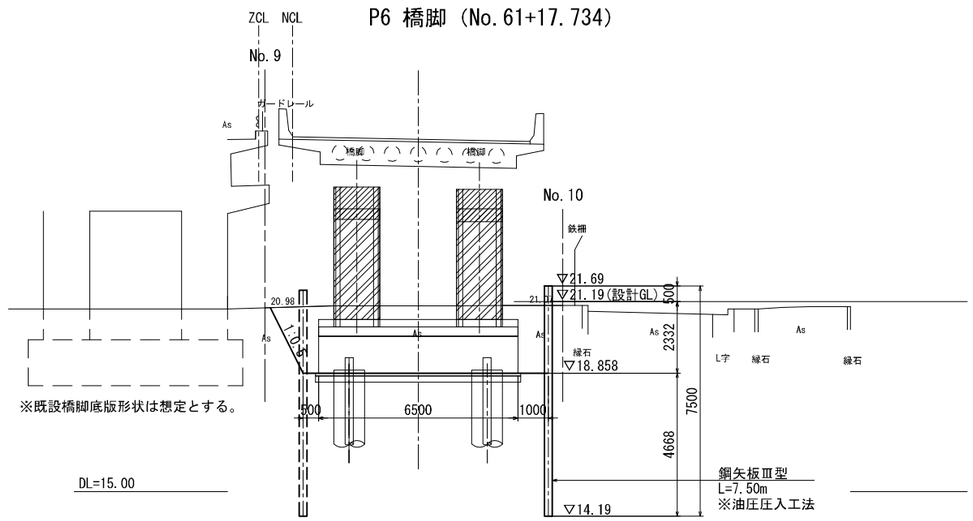
土留め詳細図(その3)(参考図)　S=1:100

P6橋脚土留め工

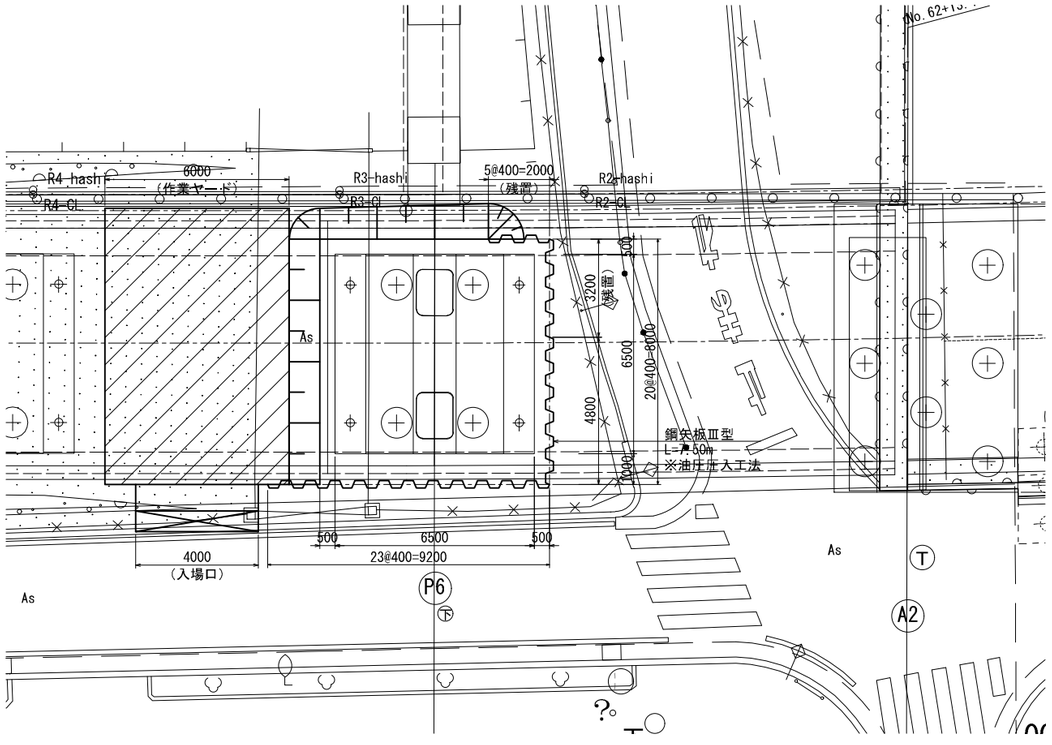
側 面 図



断 面 図



平 面 図



土留め工数量集計表

名　称	規　格	長さ (m)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
鋼矢板	Ⅲ型	7.50	35	60.0	450.0	15,750.0	リース材
〃	Ⅲ型	7.50	13	60.0	450.0	5,850.0	購入材
小計						21,600.0	
合計						21,600.0	

鋼矢板打設	油圧圧入工法、N≦50、Ⅲ型	(L≦9m/枚)	N=	48	枚
鋼矢板引抜	油圧圧入工法、Ⅲ型	(L≦9m/枚)	N=	35	枚
鋼矢板発生品重量			W=	390.0	kg
鋼矢板切断数	Ⅲ型		N=	13	箇所

この「参考図面」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。従って「参考図面」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
　なお、この「参考図面」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

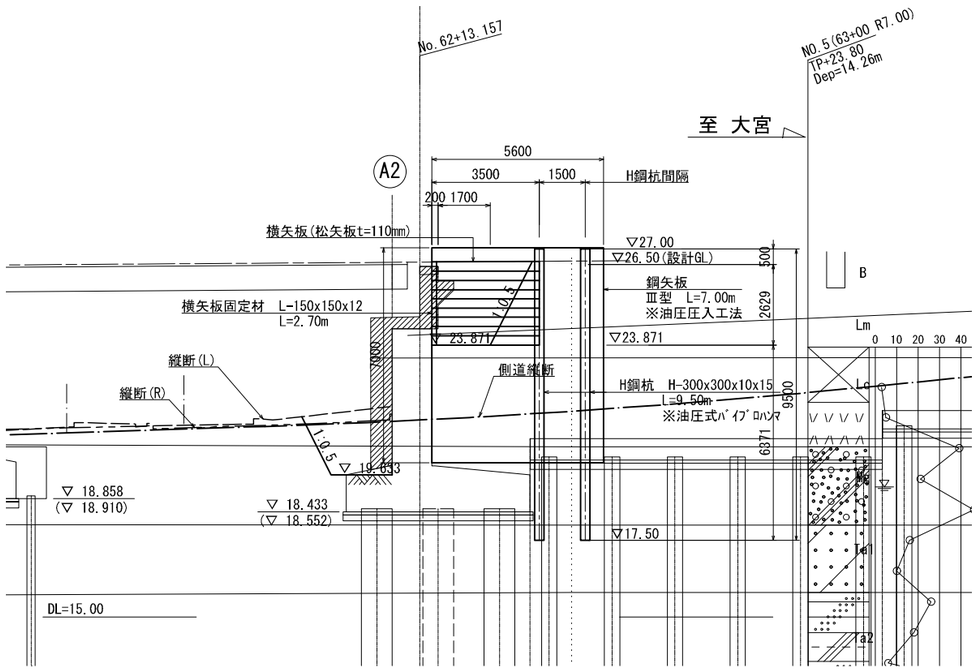
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	土留め詳細図(その3)(参考図)		
作成年月日	令 和 7 年 11 月　日		
縮　尺	1:100	図面番号	10 － 23
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

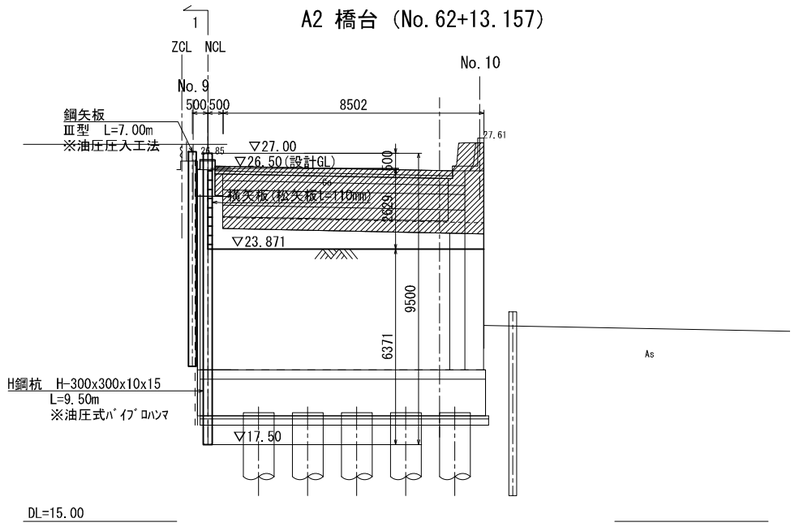
土留め詳細図(その4)(参考図)

A2橋台背面土留め

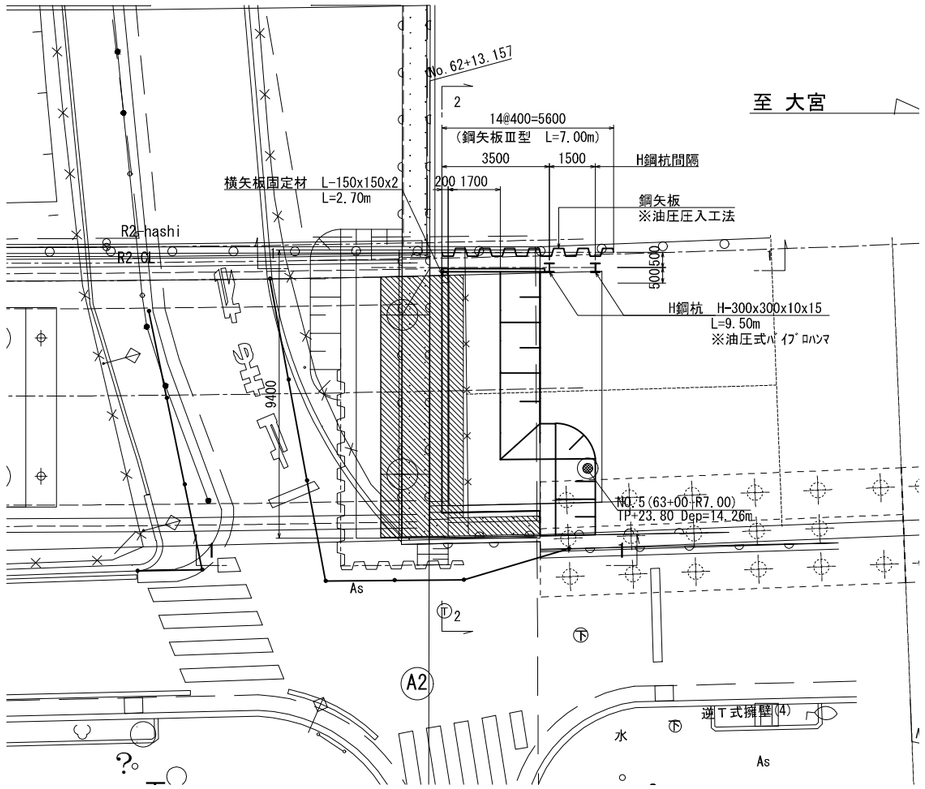
側 面 図 S=1:100
1－1



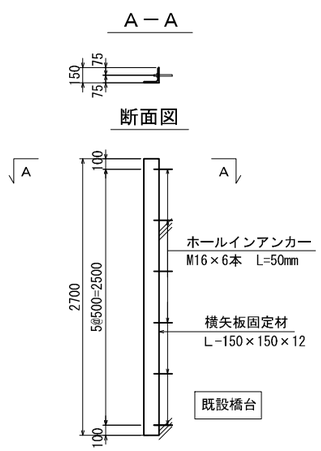
断 面 図 S=1:100
2－2



平 面 図 S=1:100



横矢板固定材取付け詳細図 S=1:30



※施工計画上の留意点

1) 横矢板設置時の道路への掘削影響を低減するため、H鋼杭外側に鋼矢板を設置する。
2) 鋼矢板及びH鋼杭の打設は低騒音・低振動での施工が可能な油圧圧入工法及び油圧式ﾊﾞｲﾌﾞﾛﾊﾝﾏを適用する。
3) 既設橋台と土留め壁の取合い部は既設橋台側に山形鋼(L-150)をホールインアンカーで固定し、横矢板を設置する。
横矢板の設置は1m毎に掘削→山形鋼設置→横矢板設置を繰返す。

土留め工数量集計表

名 称	規 格	長さ (m)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
H鋼杭	H-300×300×10×15	9.50	2	93.0	883.5	1,767.0	リース材
小計						1,767.0	
鋼矢板	Ⅲ型	7.00	14	60.0	420.0	5,880.0	リース材
小計						5,880.0	
横矢板固定材	L-150×150×12	2.70	1	27.3	73.7	73.7	
小計						73.7	
合計						7720.7	

H鋼杭打設	油圧式ﾊﾞｲﾌﾞﾛﾊﾝﾏ、H-300、N≦50	(L≦9m/本)	N=	2 本
鋼矢板打設	油圧圧入工法、Ⅲ型、N≦25	(L≦9m/枚)	N=	14 枚
H鋼杭引抜	油圧式ﾊﾞｲﾌﾞﾛﾊﾝﾏ、H-300	(L≦9m/本)	N=	2 本
鋼矢板引抜	油圧圧入工法、Ⅲ型	(L≦9m/枚)	N=	14 枚
横矢板	松矢板 t=110mm		A=	9.2 m2
ホールインアンカー	M16、L=50mm		N=	6 本

この「参考図面」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。従って「参考図面」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
なお、この「参考図面」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

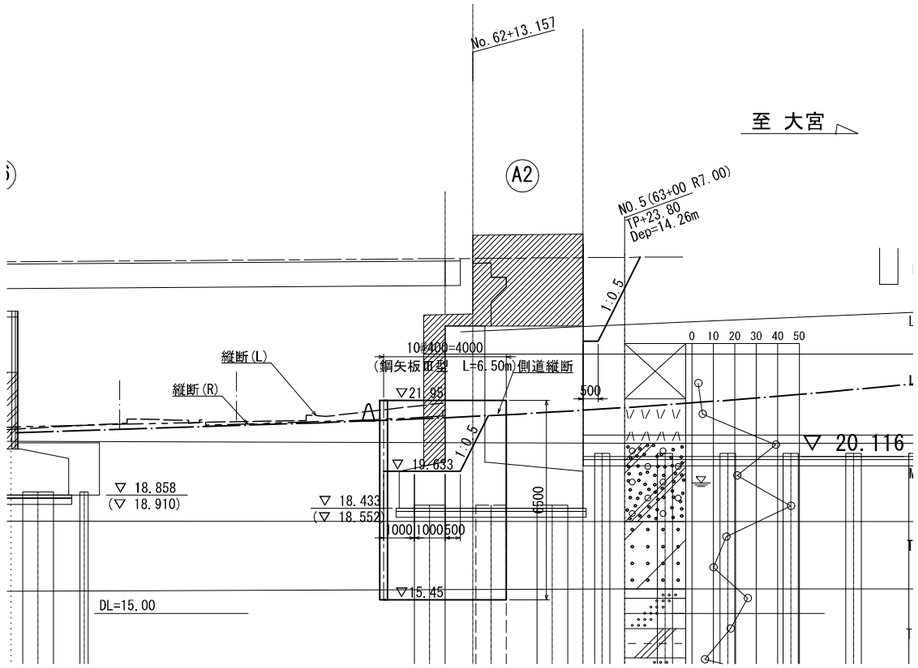
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事
図面名	土留め詳細図(その4)(参考図)
作成年月日	令 和 ７ 年 １１月 日
縮 尺	図 示 / 図面番号 11 － 23
会社名	株式会社 長 大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

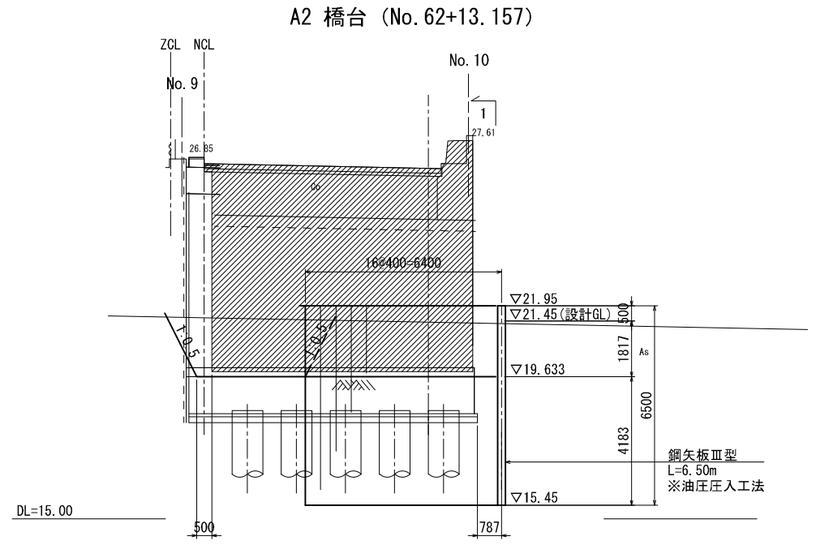
土留め詳細図(その5)(参考図)　S=1:100

A2橋台側面土留め

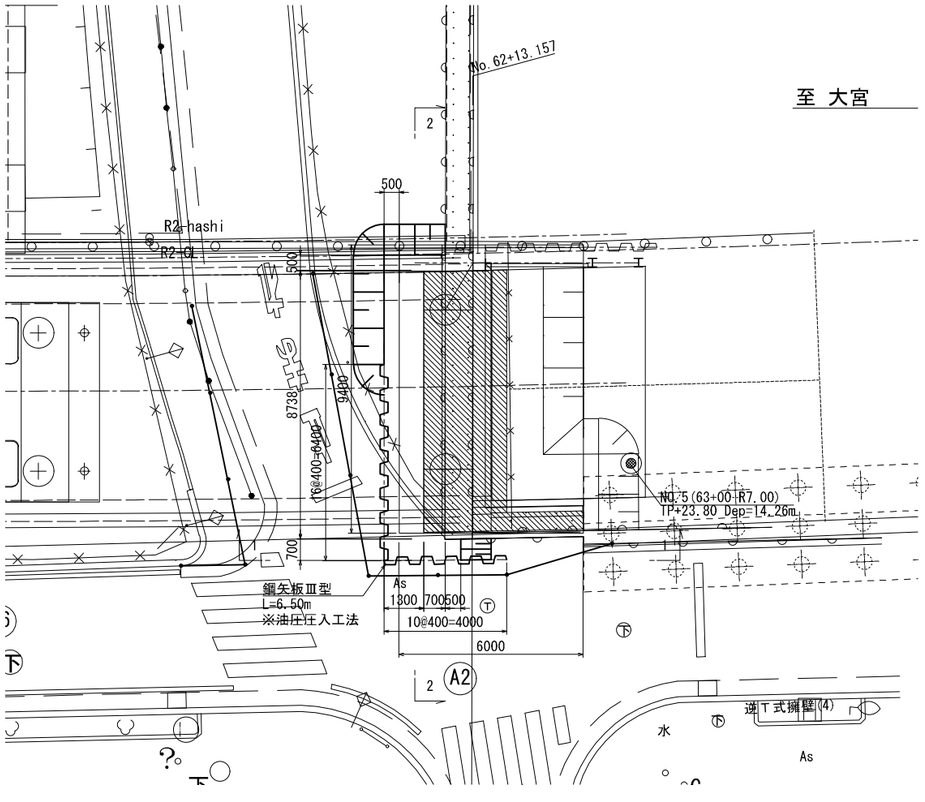
側 面 図
1－1



断 面 図
2－2



平 面 図



土留め工数量集計表

名　称	規　格	長さ (m)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
鋼矢板	Ⅲ型	6.50	26	60.0	390.0	10,140.0	リース材
小計						10,140.0	
合計						10,140.0	

鋼矢板打設	油圧圧入工法、Ⅲ型、N≦50	(L≦6m/枚)	N＝	26　枚
鋼矢板引抜	油圧圧入工法、Ⅲ型	(L≦6m/枚)	N＝	26　枚

この「参考図面」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。従って「参考図面」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
　なお、この「参考図面」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

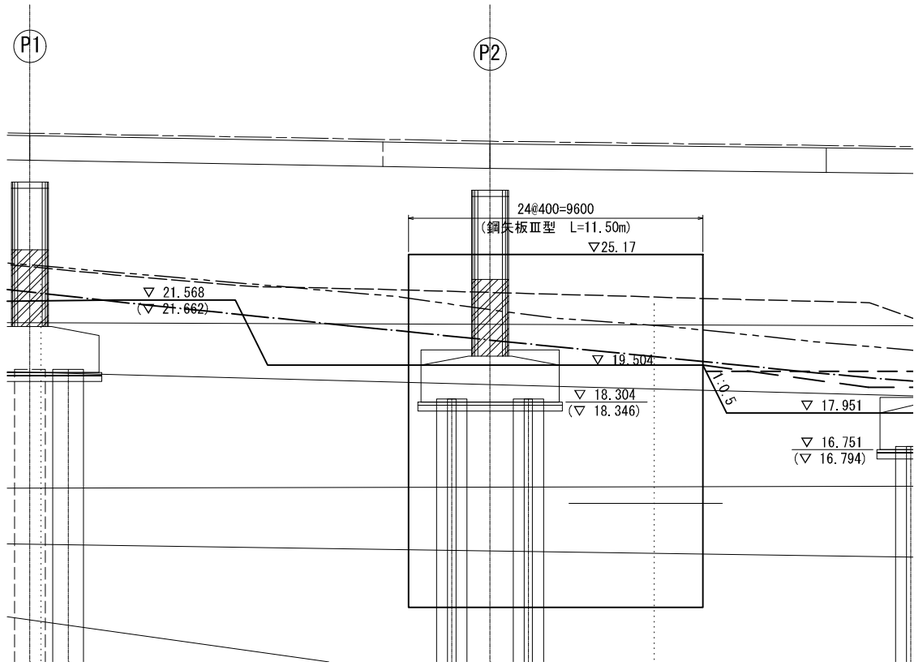
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	土留め詳細図(その5)(参考図)		
作成年月日	令 和 ７ 年 １１月　　日		
縮　尺	1:100	図面番号	12 － 23
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

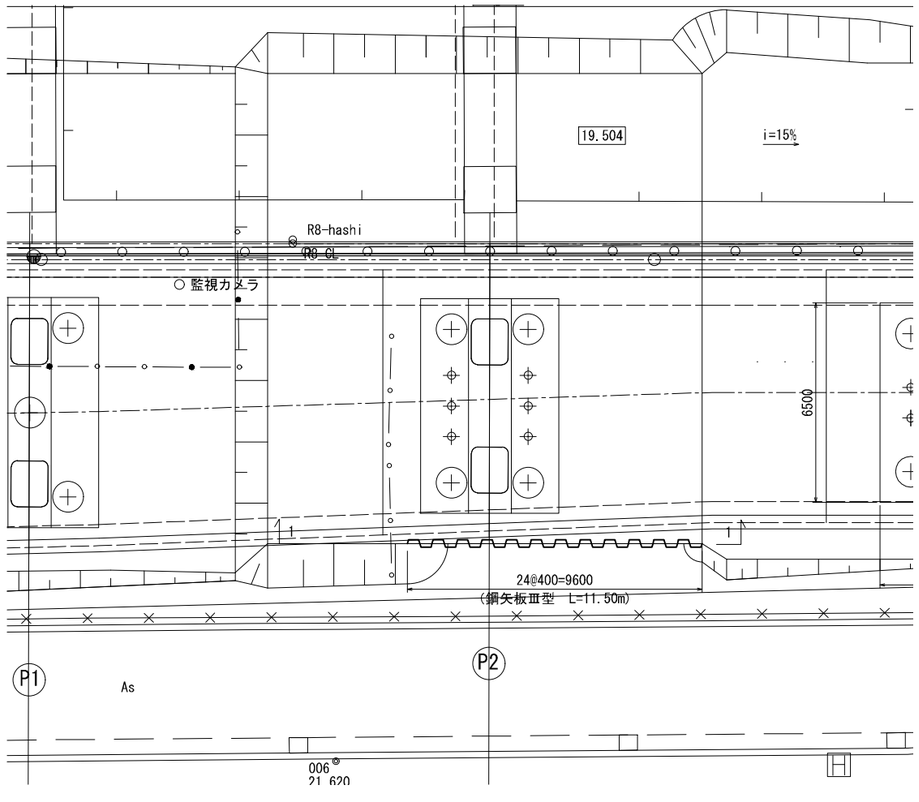
土留め詳細図(その6)(参考図)　S=1:100

P2橋脚側面土留め

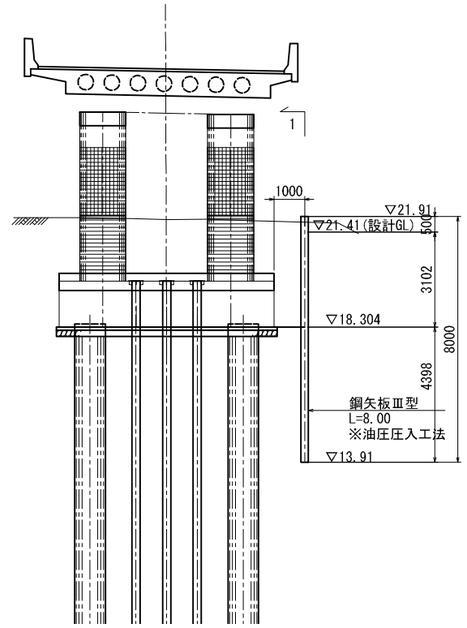
側 面 図
1－1



平 面 図



断 面 図
2－2
P2橋脚 (No.57+2.252)



土留め工数量集計表

名　称	規　格	長さ (m)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
鋼矢板	Ⅲ型	8.00	24	60.0	690.0	11,520.0	リース材
小計						11,520.0	
合計						11,520.0	

鋼矢板打設	油圧圧入工法、Ⅲ型、N≦50	(L≦12m/枚)	N=　24　枚
鋼矢板引抜	油圧圧入工法、Ⅲ型	(L≦12m/枚)	N=　24　枚

この「参考図面」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。従って「参考図面」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
　なお、この「参考図面」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

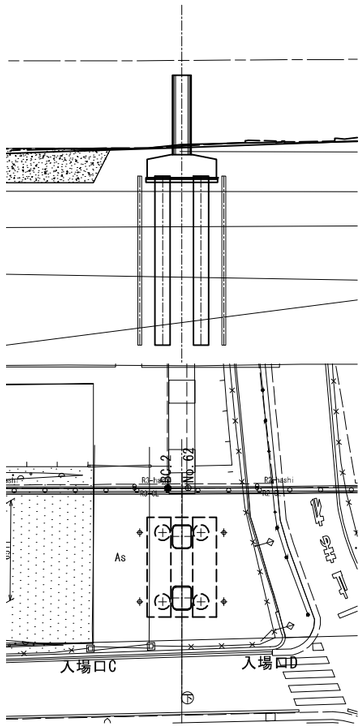
※本図は、P2橋脚付近のマンホールへ掘削の影響を与えないために参考図として作成した。
P2橋脚は基本的には、オープン掘削で計画しているが、マンホールの詳細位置等を確認必要に応じて土留め工を設置すること。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	土留め詳細図(その6)(参考図)		
作成年月日	令 和 ７ 年 １１月　日		
縮　尺	1:100	図面番号	13 － 23
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

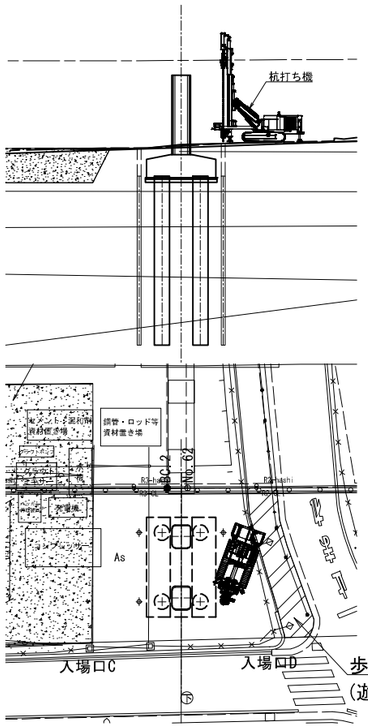
P6橋脚施工概要図(参考図)

ステップ① 試掘→芯出し(施工済み)



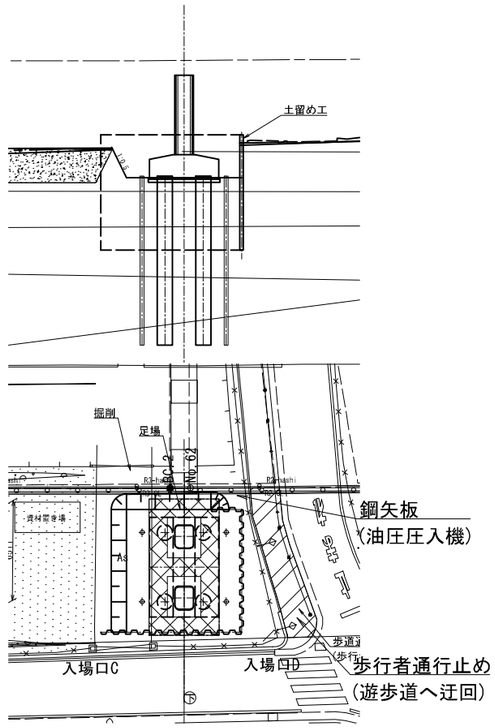
⇒

ステップ② 杭打設(施工済み)



⇒

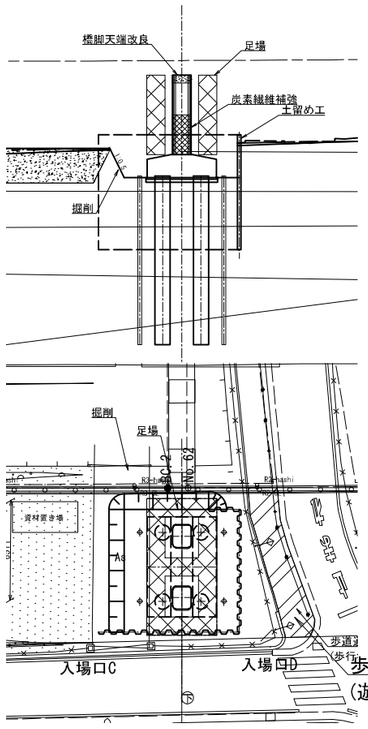
ステップ③ 土留め工→掘削



施工フロー

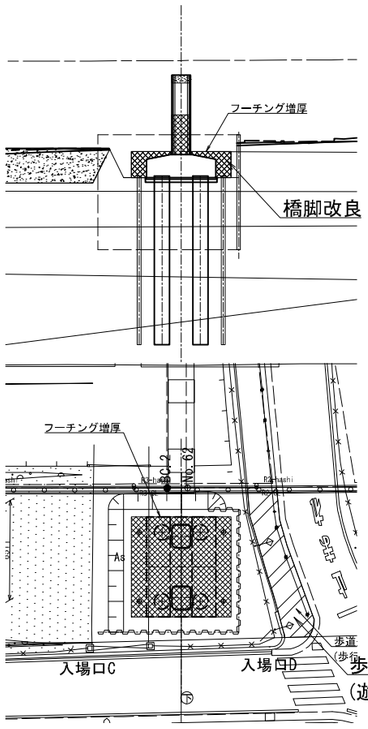
掘削(試掘)	(施工済み)
芯出し (検測・位置決め)	(施工済み)
埋戻し (施工基面整正)	(施工済み)
杭打設	(施工済み)
土留め工	
掘削	
足場設置工	
炭素繊維補強・橋脚天端改良	
橋脚改良	
埋戻し	
鋼矢板引抜き(一部残置)	

ステップ④ 足場設置→橋脚施工



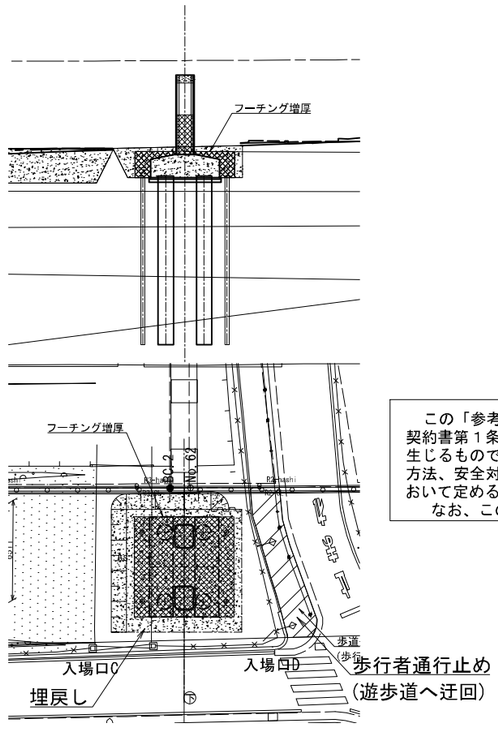
⇒

ステップ⑤ フーチング施工



⇒

ステップ⑥ 埋戻し→鋼矢板引抜き(一部残置)



注記)

・杭打ち機設置スペース確保のため、先行して試掘、位置決め後、埋戻しを行い、現地盤から杭を打設すること。

・杭打ち機設置スペース確保のため、歩道部は通行止めとし、施工時は遊歩道を迂回路とする。

この「参考図面」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。従って「参考図面」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「参考図面」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R7国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	P6橋脚施工概要図(参考図)		
作成年月日	令 和 7 年 11 月 日		
縮 尺	――	図面番号	14 ― 23
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		

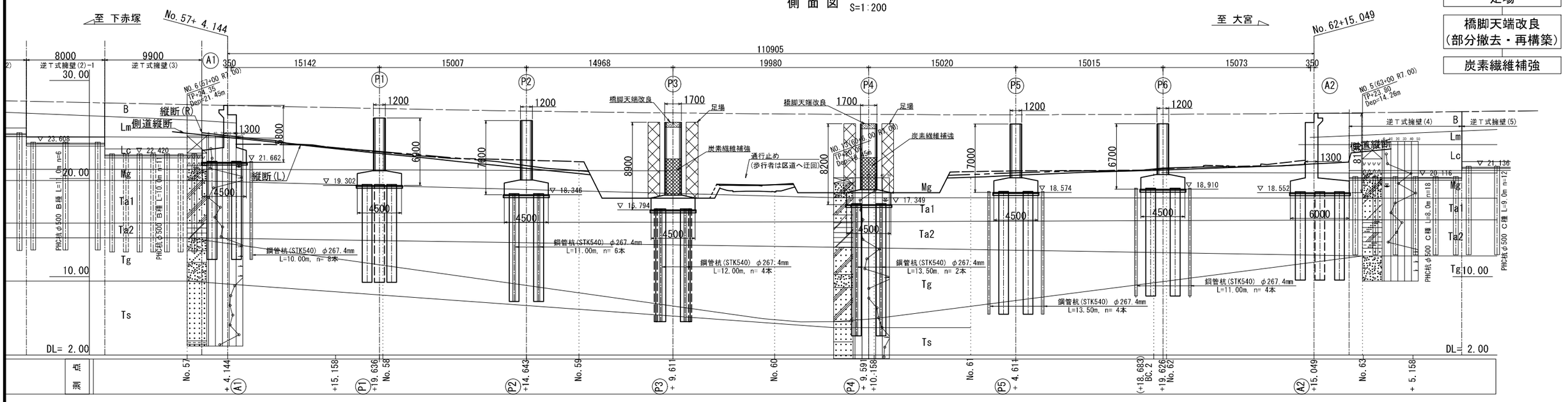
施工ステップ図（その1）(参考図)

【施工対象】
・P3, P4橋脚

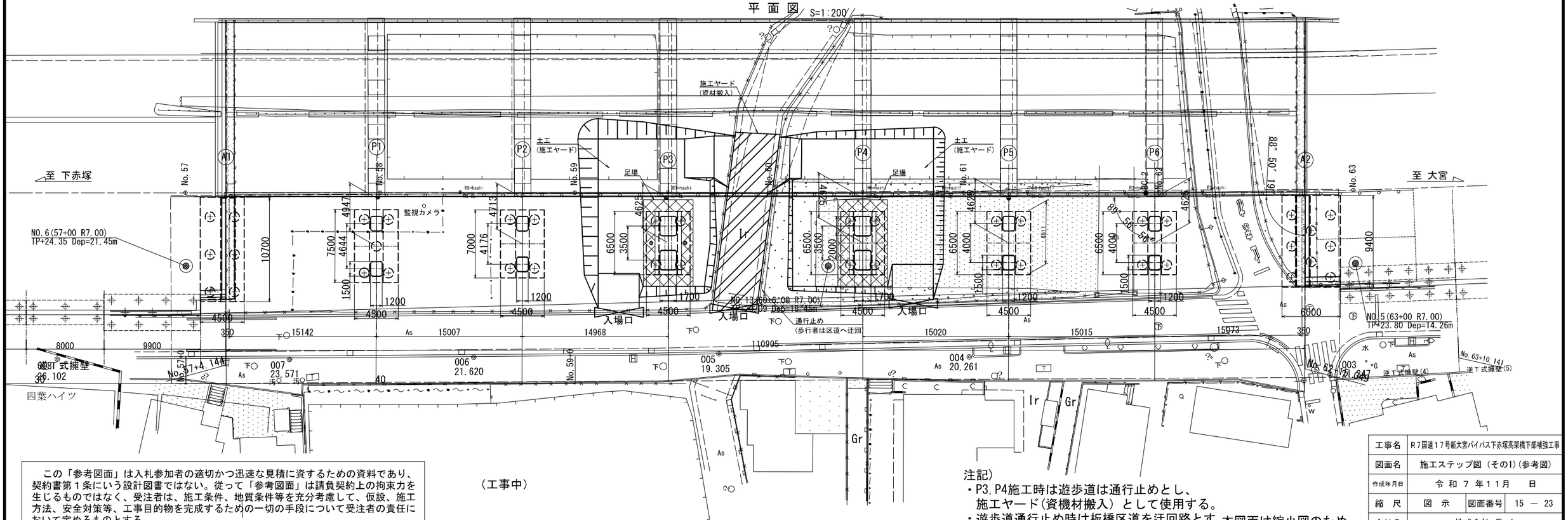
炭素繊維補強および橋脚天端改良

P3, P4橋脚
床掘り
↓
足場
↓
橋脚天端改良
（部分撤去・再構築）
↓
炭素繊維補強

側面図 S=1:200



平面図 S=1:200



（工事中）

この「参考図面」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。従って「参考図面」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
なお、この「参考図面」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

注記）
・P3, P4施工時は遊歩道は通行止めとし、施工ヤード(資機材搬入）として使用する。
・遊歩道通行止め時は板橋区道を迂回路とする。

本図面は縮小図のため縮尺は表示と異なります

工事名	R７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事
図面名	施工ステップ図（その1）(参考図)
作成年月日	令 和 ７ 年 １１ 月 日
縮 尺	図 示
図面番号	15 － 23
会社名	株式会社 長 大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

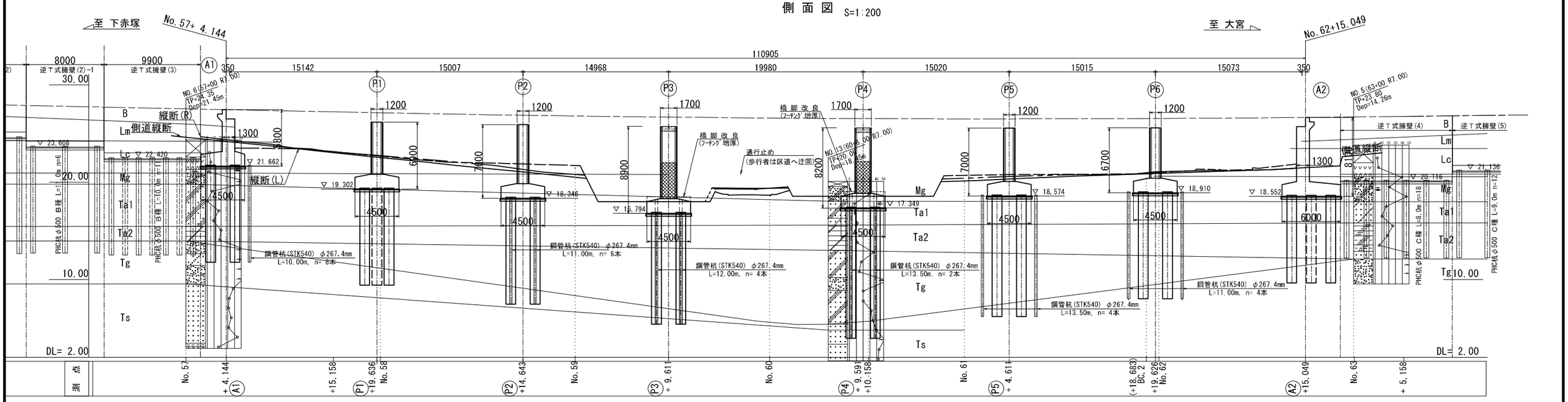
施工ステップ図（その2)(参考図)

【施工対象】
・P3,P4橋脚

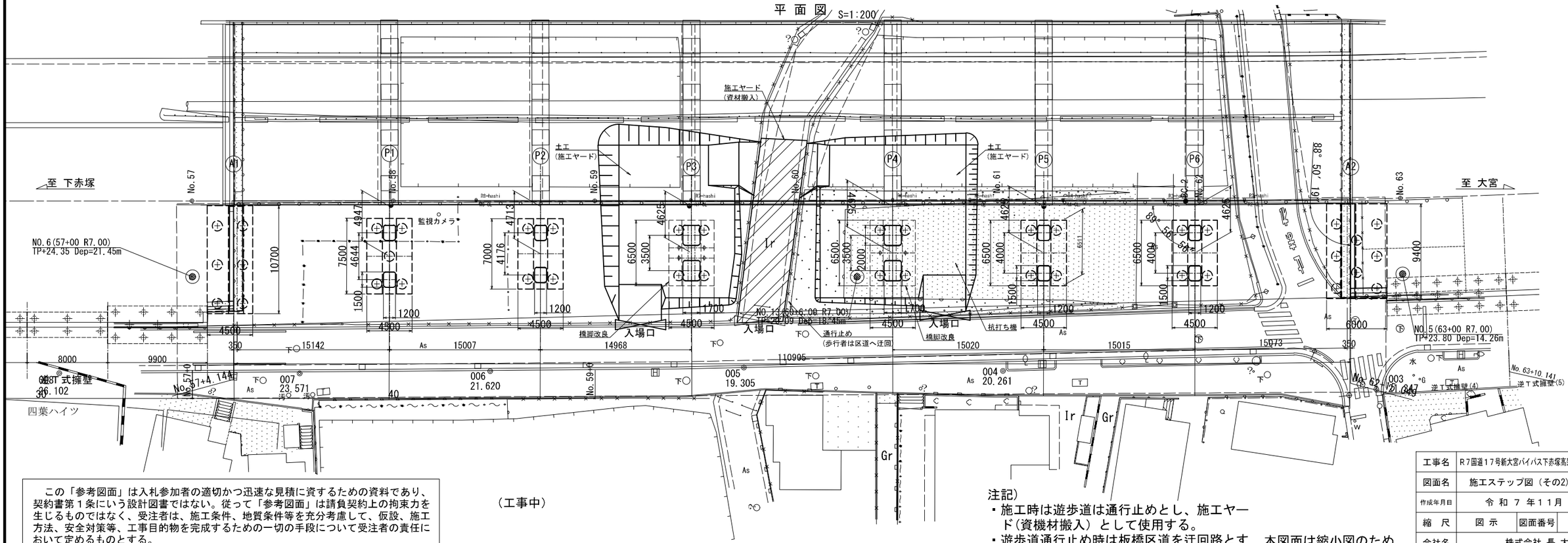
橋脚改良(フーチング)

P3,P4橋脚
橋脚改良(フーチング)

側面図 S=1:200



平面図 S=1:200



（工事中）

この「参考図面」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。従って「参考図面」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
なお、この「参考図面」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

注記）
・施工時は遊歩道は通行止めとし、施工ヤード(資機材搬入）として使用する。
・遊歩道通行止め時は板橋区道を迂回路とする。

本図面は縮小図のため縮尺は表示と異なります

工事名	R７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事
図面名	施工ステップ図（その2)(参考図)
作成年月日	令 和 ７ 年 １１ 月 日
縮 尺	図 示
図面番号	16 － 23
会社名	株式会社 長 大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

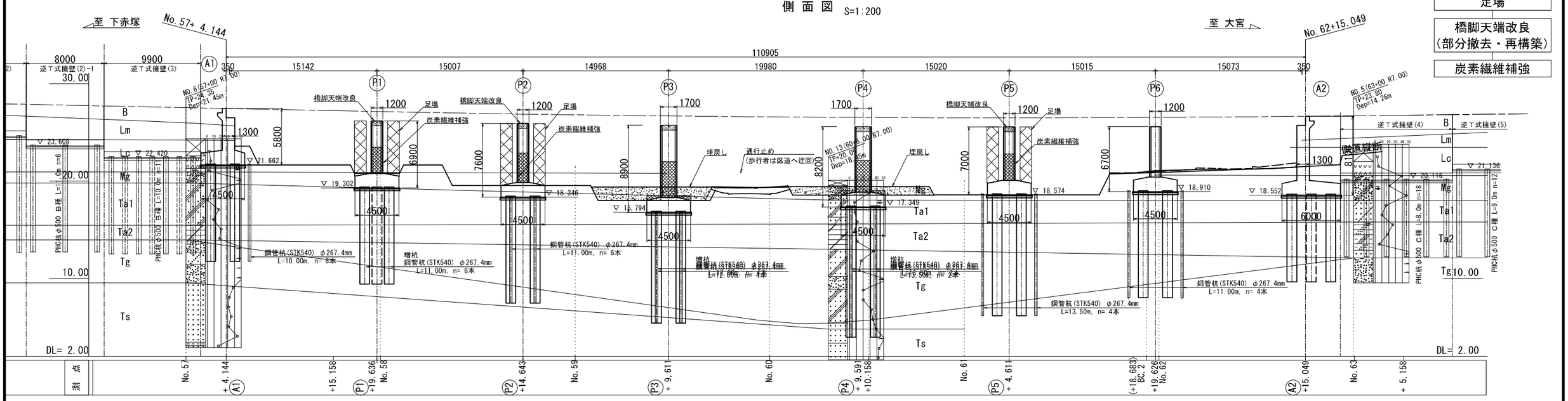
施工ステップ図（その3)(参考図)

【施工対象】
・P1～P5橋脚,A1橋台

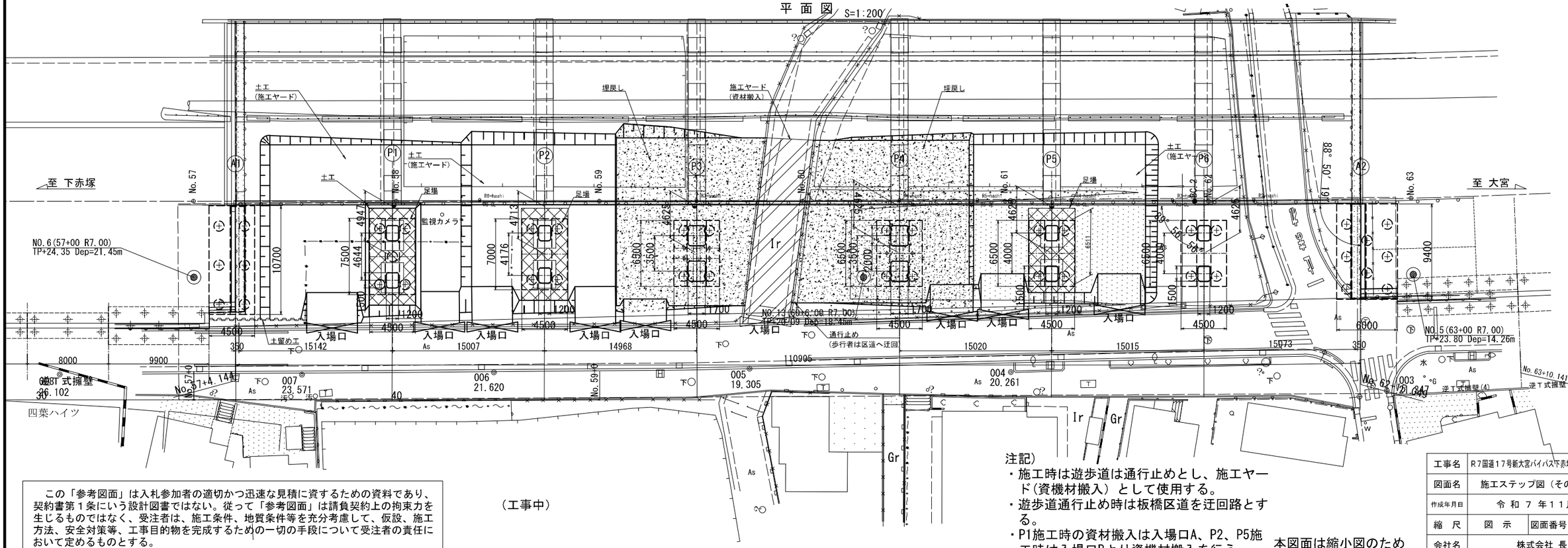
炭素繊維補強および橋脚天端改良

A1橋台	P3,P4橋脚	P1,P2,P5橋脚
土留め	埋戻し	床掘り・整地
		足場
		橋脚天端改良（部分撤去・再構築）
		炭素繊維補強

側面図 S=1:200



平面図 S=1:200



（工事中）

この「参考図面」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。従って「参考図面」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
なお、この「参考図面」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

注記）
・施工時は遊歩道は通行止めとし、施工ヤード(資機材搬入）として使用する。
・遊歩道通行止め時は板橋区道を迂回路とする。
・P1施工時の資材搬入は入場口A、P2、P5施工時は入場口Bより資機材搬入を行う。
・A1橋台は適切な土被りを確保すること。

本図面は縮小図のため縮尺は表示と異なります

工事名	R７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事
図面名	施工ステップ図（その3)(参考図)
作成年月日	令 和 ７ 年 １１ 月 日
縮 尺	図 示
図面番号	17 － 23
会社名	株式会社 長 大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

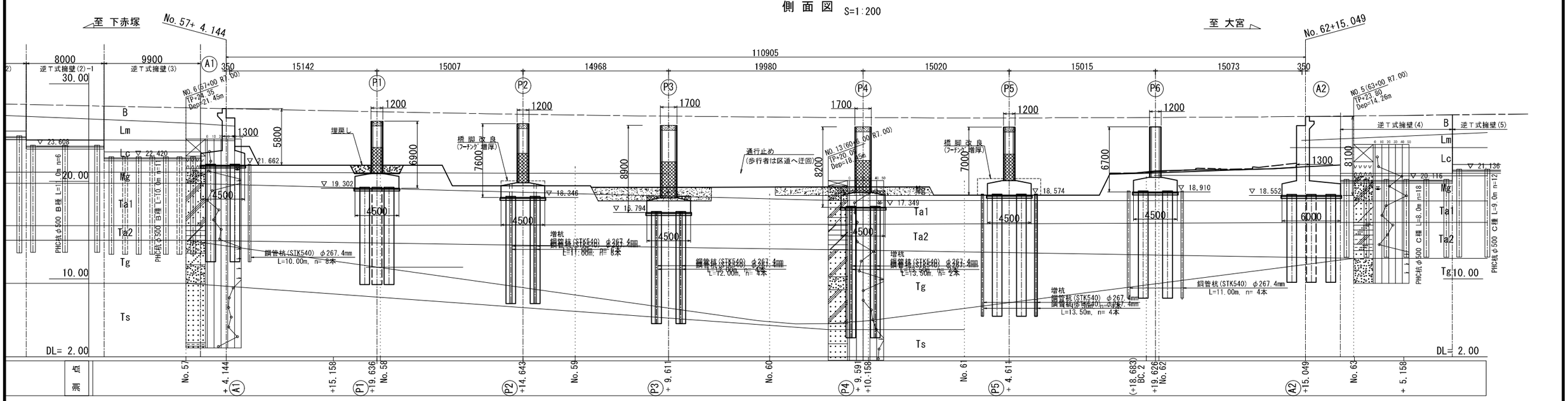
施工ステップ図（その4)(参考図)

【施工対象】
・P1、P2、P5橋脚

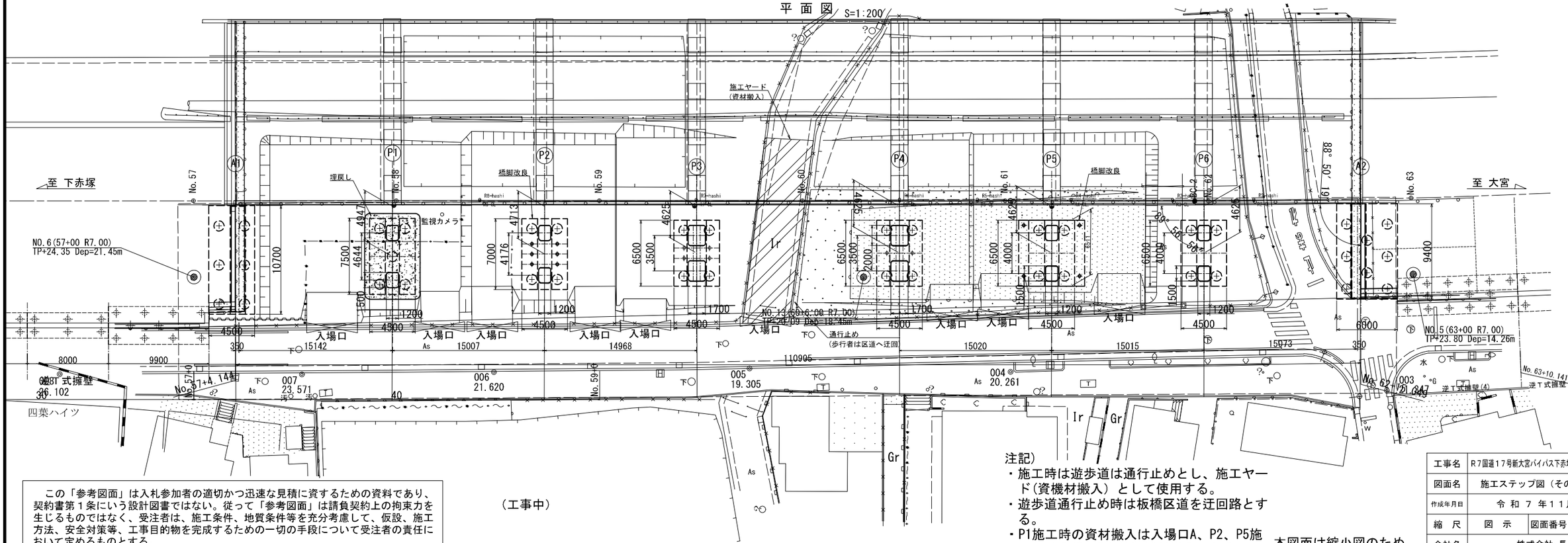
橋脚改良(フーチング)

P1橋脚	P2,P5橋脚
埋戻し	橋脚改良(フーチング)

側 面 図 S=1:200



平 面 図 S=1:200



（工事中）

この「参考図面」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。従って「参考図面」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
なお、この「参考図面」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

注記）
・施工時は遊歩道は通行止めとし、施工ヤード(資機材搬入）として使用する。
・遊歩道通行止め時は板橋区道を迂回路とする。
・P1施工時の資材搬入は入場口A、P2、P5施工時は入場口Bより資機材搬入を行う。
・A1橋台は適切な土被りを確保すること。

本図面は縮小図のため縮尺は表示と異なります

工事名	R７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事
図面名	施工ステップ図（その4)(参考図)
作成年月日	令 和 ７ 年 １１ 月 日
縮 尺	図 示
図面番号	18 － 23
会社名	株式会社 長 大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

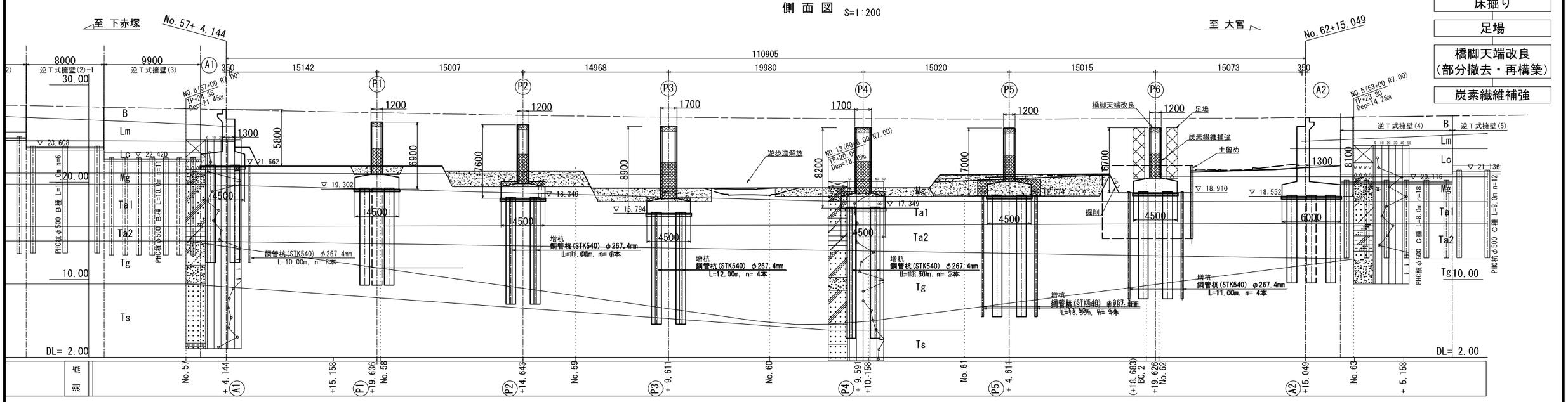
施工ステップ図（その5)(参考図)

【施工対象】
・P6橋脚

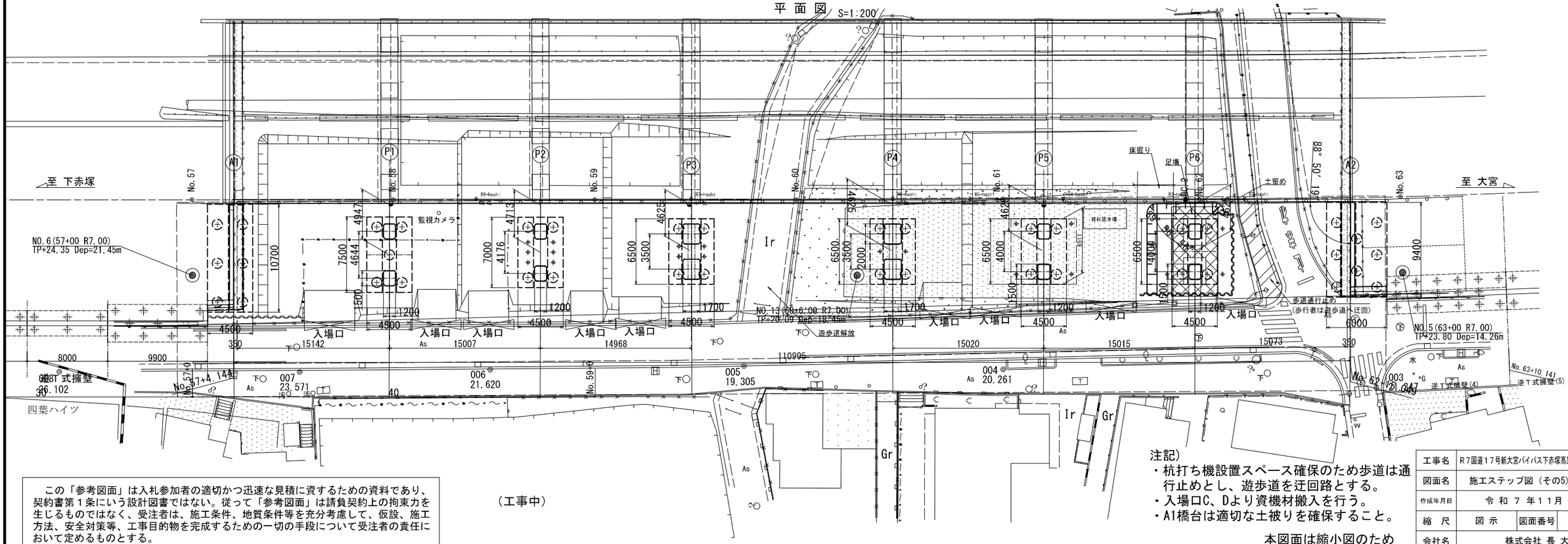
炭素繊維補強および橋脚天端改良

P6橋脚
土留め
床掘り
足場
橋脚天端改良
（部分撤去・再構築）
炭素繊維補強

側面図 S=1:200



平面図 S=1:200



（工事中）

注記）
・杭打ち機設置スペース確保のため歩道は通行止めとし、遊歩道を迂回路とする。
・入場口C、Dより資機材搬入を行う。
・A1橋台は適切な土被りを確保すること。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

この「参考図面」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。従って「参考図面」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
なお、この「参考図面」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

工事名	R７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事
図面名	施工ステップ図（その5)(参考図)
作成年月日	令 和 ７ 年 １１ 月 日
縮 尺	図 示
図面番号	19 － 23
会社名	株式会社 長 大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

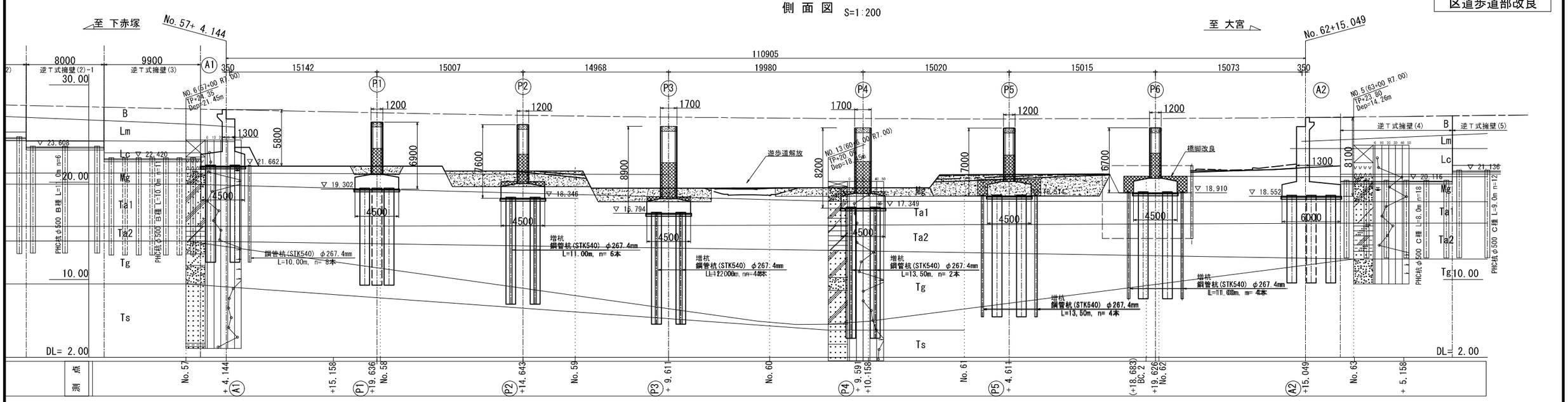
施工ステップ図（その6)(参考図)

【施工対象】
・P6橋脚

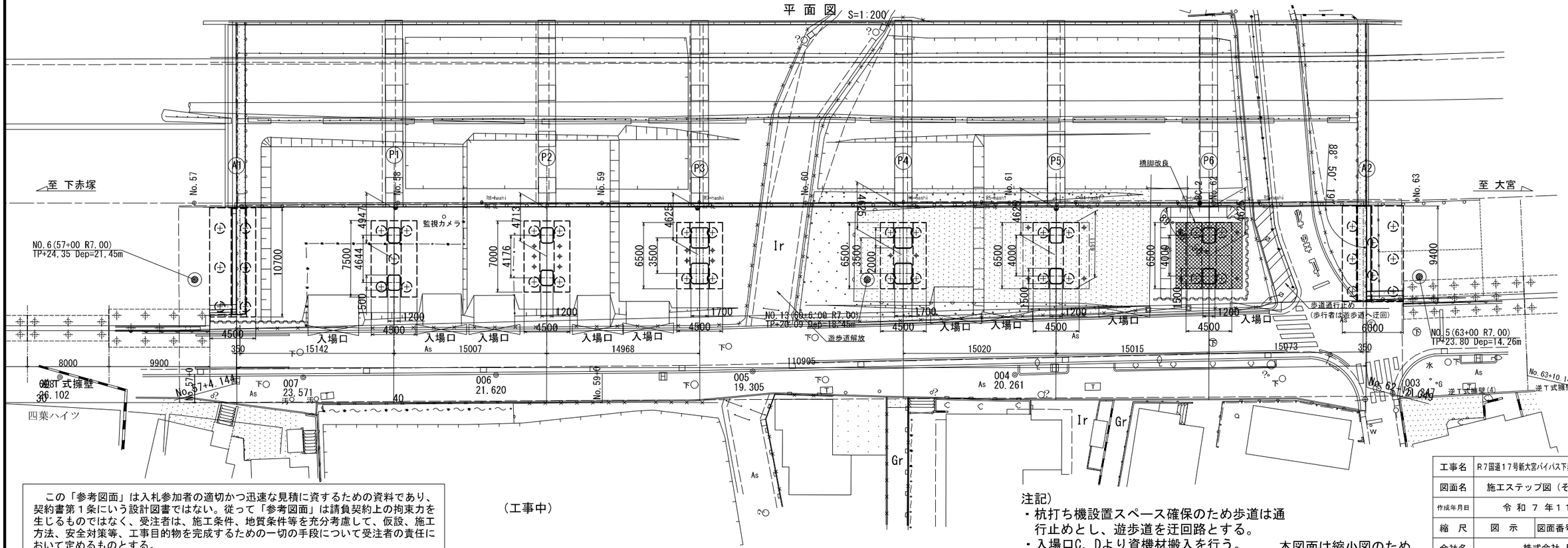
橋脚改良(フーチング)

P6橋脚
橋脚改良(フーチング)
区道歩道部改良

側 面 図 S=1:200



平 面 図 S=1:200



この「参考図面」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。従って「参考図面」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
なお、この「参考図面」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

（工事中）

注記)
・杭打ち機設置スペース確保のため歩道は通行止めとし、遊歩道を迂回路とする。
・入場口C、Dより資機材搬入を行う。
・A1橋台は適切な土被りを確保すること。

本図面は縮小図のため縮尺は表示と異なります

工事名	R７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事
図面名	施工ステップ図（その6)(参考図)
作成年月日	令 和 ７ 年 １１ 月 日
縮 尺	図 示
図面番号	20 － 23
会社名	株式会社 長 大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

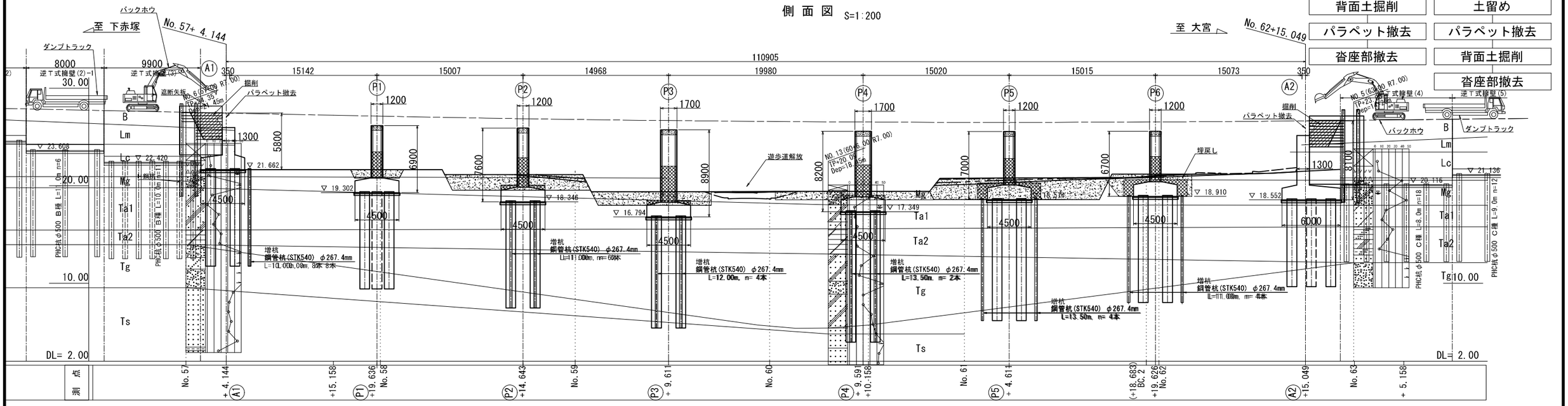
施工ステップ図（その7)(参考図)

【施工対象】
・P6橋脚,A1,A2橋台

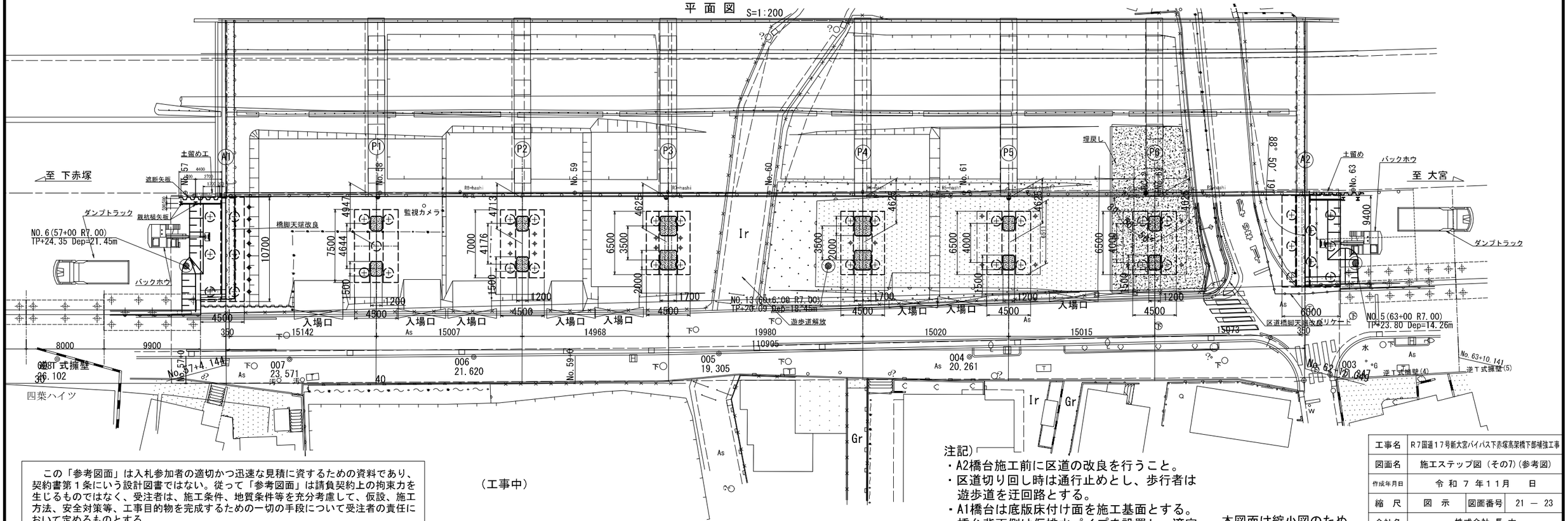
基礎補強・橋脚天端改良(部分撤去)

P6橋脚	A1橋台	A2橋台
埋戻し	土留め	区道歩道部改良
	背面土掘削	土留め
	パラペット撤去	パラペット撤去
	沓座部撤去	背面土掘削
		沓座部撤去

側 面 図 S=1:200



平 面 図 S=1:200



この「参考図面」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。従って「参考図面」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
なお、この「参考図面」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

注記)
・A2橋台施工前に区道の改良を行うこと。
・区道切り回し時は通行止めとし、歩行者は遊歩道を迂回路とする。
・A1橋台は底版床付け面を施工基面とする。
・橋台背面側は仮排水パイプを設置し、適宜排水対策を行うこと。

本図面は縮小図のため縮尺は表示と異なります

工事名	R７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事
図面名	施工ステップ図（その7)(参考図)
作成年月日	令 和 ７ 年 １１ 月 日
縮 尺	図 示
図面番号	21 － 23
会社名	株式会社 長 大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

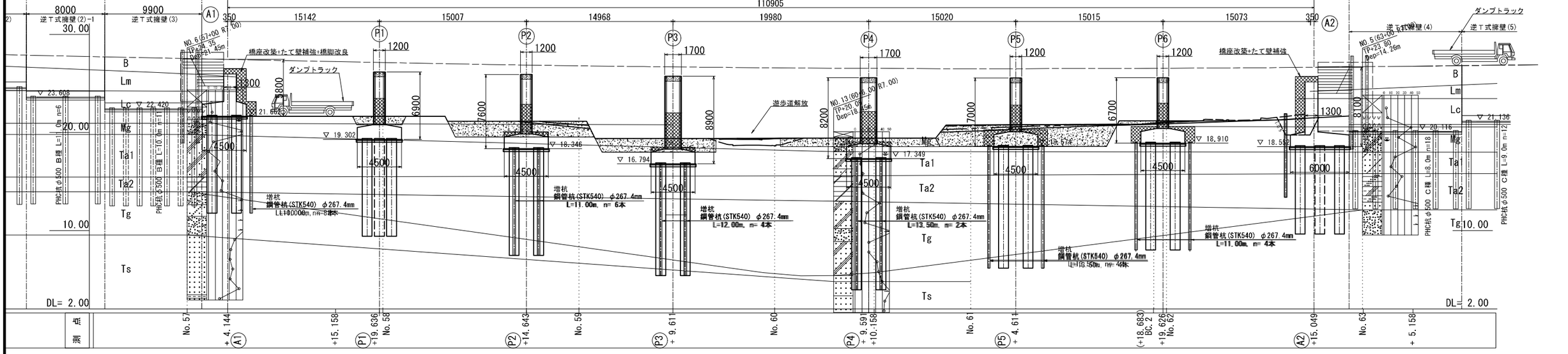
施工ステップ図（その8)(参考図)

【施工対象】
・A1,A2橋台

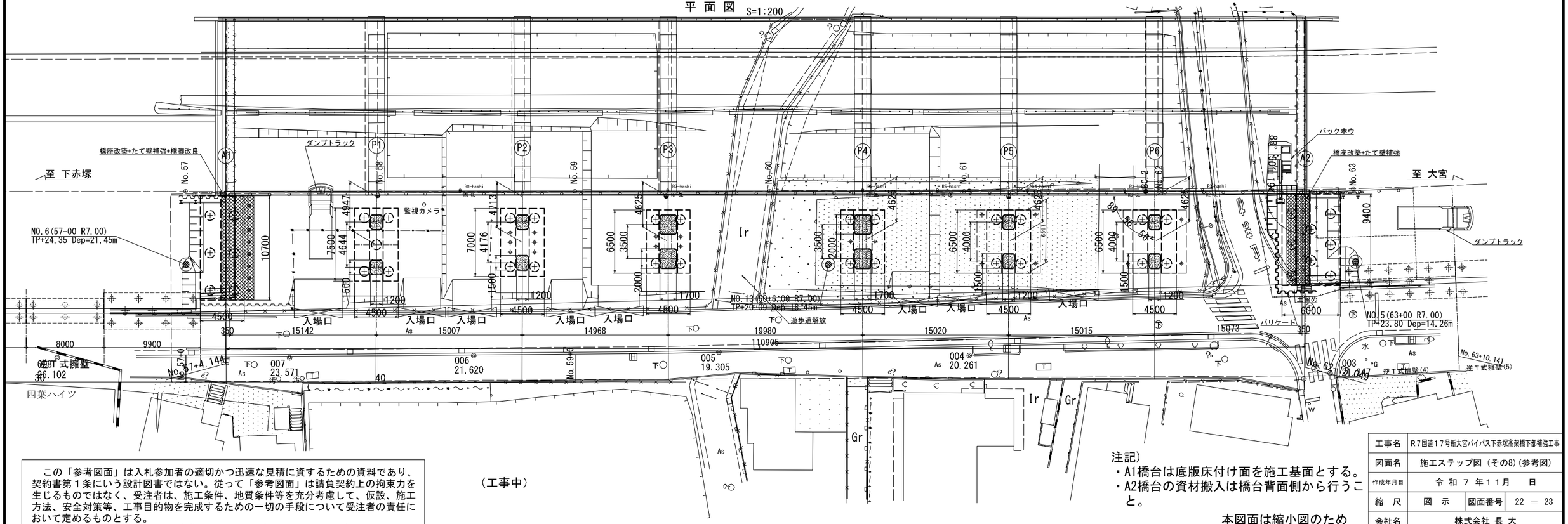
橋台改良・橋台天端改良

A1橋台	A2橋台
橋台改良	土留め・床掘り
たて壁補強	たて壁補強
沓座再構築	沓座再構築

側 面 図 S=1:200



平 面 図 S=1:200



（工事中）

この「参考図面」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。従って「参考図面」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
なお、この「参考図面」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

注記）
・A1橋台は底版床付け面を施工基面とする。
・A2橋台の資材搬入は橋台背面側から行うこと。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

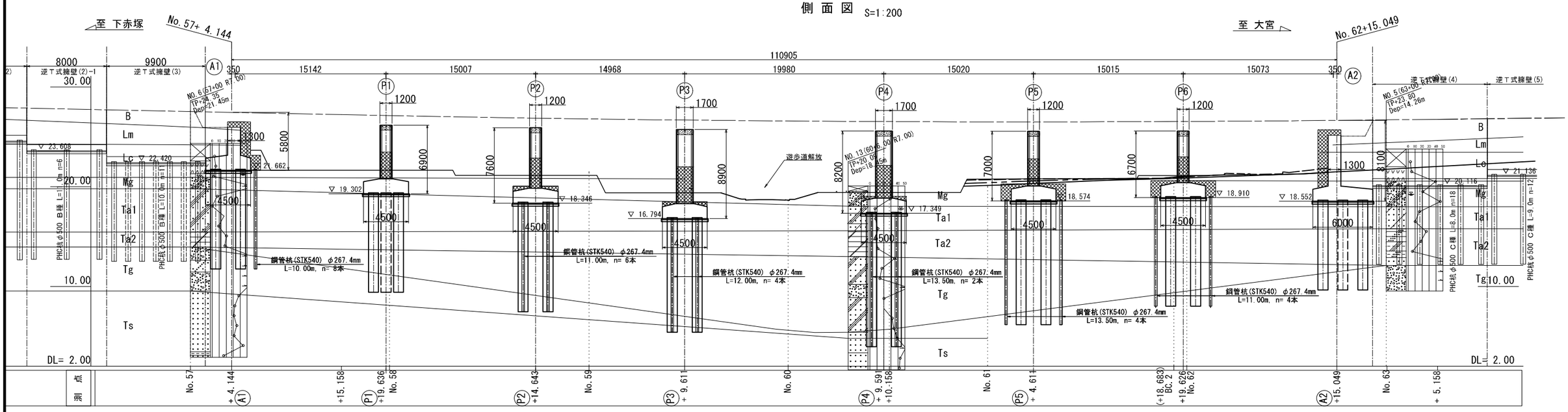
工事名	R７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事
図面名	施工ステップ図（その8)(参考図)
作成年月日	令 和 ７ 年 １１月 日
縮 尺	図 示
図面番号	22 － 23
会社名	株式会社 長 大
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所

施工ステップ図（その9)(参考図)

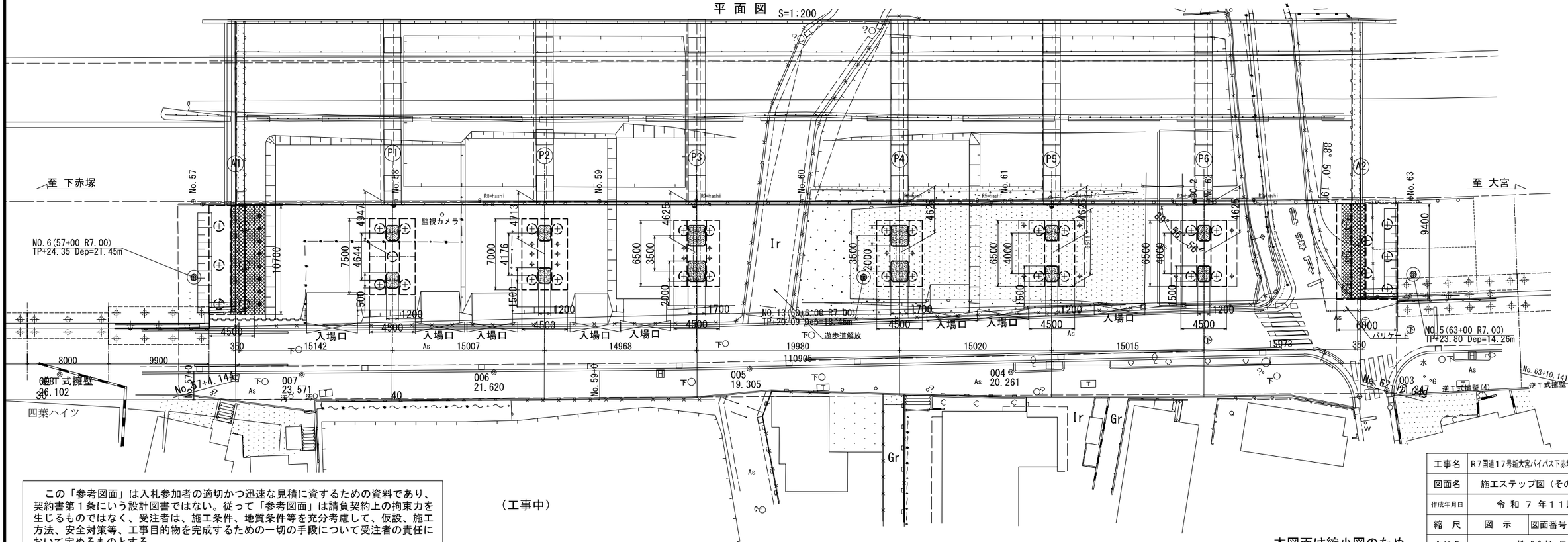
【施工対象】
・なし

下部工工事完了

側 面 図 S=1:200



平 面 図 S=1:200



（工事中）

この「参考図面」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。従って「参考図面」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
なお、この「参考図面」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R７国道１７号新大宮バイパス下赤塚高架橋下部補強工事		
図面名	施工ステップ図（その9)(参考図)		
作成年月日	令 和 ７ 年 １１月 日		
縮 尺	図 示	図面番号	23 － 23
会社名	株式会社 長 大		
事業者名	国土交通省 大宮国道事務所		